

新光源発達度研究調査委員会
報告書

平成23年3月

社団法人 照明学会

目 次

はじめに	1
1. 委員会の概要	2
1. 1 委員会の設立経緯	2
1. 2 委員会の活動	2
1. 3 委員会の構成	4
2. LED と有機 EL の情報	5
2. 1 論文・解説・報告など	7
2. 2 単行本・小冊子など	16
2. 3 規格・基準・報告書など	17
2. 4 新 聞	19
2. 5 ホームページ	98
2. 6 委員会・プロジェクトなど	123
2. 7 講演会・シンポ・展示会など	125
2. 8 新製品・施設例など	127
おわりに	139

はじめに

LED や有機 EL のような新しい光源は、ハード的には各メーカーや研究機関で鋭意開発を進めているが、それらの最新情報が、ソフト的使用者にあまり伝わってきていない。また逆に、使用者の希望や期待がハード担当者にはあまり伝わっていないとも思われる。したがって、このようなお互いに必要とする情報を、集中的に収集し、整理、公開することが望まれている。

そこで、平成 17 年度に對外活動委員会産学 WG において種々検討を行った結果、LED や有機 EL についての正確で、最新で、豊富な情報の収集、整理、公開を試行するための「新光源発達度研究調査委員会」の設立を願い出ることとなり、幸い平成 18 年 1 月の理事会で承認された。さらに、平成 19 年 11 月 29 日の理事会で、平成 23 年 3 月までの継続が認められた。

本報告書は、既に報告済みの平成 18 年度(JIER-094)、平成 19 年度(JIER-100)、平成 20 年度(JIER-102)、平成 21 年度(JIER-110)に引き続き平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの 1 年間に亘って、LED と有機 EL に関する情報を収集し、次のような項目別に分類し整理したものである。

- (1) 論文・解説・報告など
- (2) 単行本・小冊子など
- (3) 規格・基準・報告書など
- (4) 新聞
- (5) ホームページ
- (6) 委員会・プロジェクトなど
- (7) 講演会・シンポ・展示会など
- (8) 新製品・施設例など

本報告書は、これまでと同様に情報システム管理委員会のご協力を得て、ホームページへの掲載(無料ダウンロード)とメールマガジンによる PR を行なう予定である。

なお、本委員会は平成 23 年 3 月で終了である。これまでに公開した情報が、LED と有機 EL のハード、ソフト両面での進展に少しでもお役に立てば、この上ない喜びである。

最後にこの 5 年間、情報収集活動にご協力を頂いた新光源発達度研究調査委員会の幹事、委員各位ならびに関係者の皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

(社)照明学会
新光源発達度研究調査委員会
委員長 大谷 義彦

1. 当委員会の概要

1. 1 当委員会の設立経緯

- ① 平成 15 年度の会長から経営企画委員会への諮問事項「対外活動委員会(仮称)設立の検討」に対する答申を受けて、平成 16 年 6 月度の理事会において「対外活動委員会」の設立が決定され、次のような事業計画が示された。
 - ・ より広い視野からの学会活動を推進し国内及び国際社会に広く貢献するために、産業界、官公庁、関連団体、大学等との連携を強化するように次の 3 つのテーマに取り組む。
 - i) 海外の関係団体との情報交換の充実：国際 WG
 - ii) 日本照明委員会、日本電球工業会、日本照明器具工業会との連携強化：産学 WG
 - iii) 広報活動の強化：広報 WG
 - ・ 当委員会は、この後「産学 WG」から生まれることとなる。
- ② 平成 16 年 8 月開催の産学 WG において、照明の産業活性化や発展のための産学連携に関連する課題、研究テーマを各委員が提出することとなる。
- ③ 平成 17 年 3 月開催の産学 WG において、集まった課題、研究テーマを整理する。
- ④ 平成 17 年 6 月開催の産学 WG において、取り組みの優先順位を定め、上位 5 テーマについて担当者を割り当てて、それぞれのアクションプランを作成することとなる。
- ⑤ 平成 17 年 9 月開催の産学 WG において、それぞれのアクションプランについて検討を行い、対外活動委員会の意見を聞くこととする。
- ⑥ 平成 17 年 10 月開催の産学 WG において、対外活動委員会の意見を踏まえ、省エネルギー関係の課題 2 件(新光源発達度研究調査委員会が含まれている)について、研究調査委員会を立ち上げることを決め、新設委員会提案書を作成して、研究運営企画委員会に申請する。
- ⑦ 平成 17 年 12 月開催の研究運営企画委員会、平成 18 年 1 月開催の理事会において、新光源発達度研究調査委員会の設立が承認される。
- ⑧ 平成 18 年 4 月開催の新光源発達度研究調査委員会準備会において、委員長、幹事が集まり、委員会の目的、設立の経緯を確認し、委員会の進め方、委員構成等について検討する。
- ⑨ 平成 18 年 5 月開催の産学 WG において、当委員会の進め方、委員構成について確認する。

1. 2 当委員会の活動

- ① 第 1 回委員会：平成 18 年 6 月 13 日(火)
 - ・ 委員会設立の経緯説明
 - ・ 調査対象を LED(表示用も含む)と有機 EL に限定する
 - ・ 調査する場合、「論文、資料、解説など」、「法規、基準、指針など」、「新聞」、「単

- 行本」、「小冊子」、「ホームページ」、「講演会、シンポジウム、展示会など」、「学協会、工業会、官公庁などの動向」、「新製品、施設例、その他」に分ける。
- ・ 入力フォーマット(エクセルの表)を作成する。
 - ・ 集まった情報は、委員長と幹事で整理する。
- ② 第2回委員会：平成18年9月1日(金)
- ・ 155件の情報が集まったが、まだ少ないとの指摘あり。
 - ・ 「論文、資料、解説など」の項目から「論文」は削除する。
- ③ 第3回委員会：平成18年11月14日(金)
- ・ 488件の情報が集まる。
- ④ 第4回委員会：平成19年2月6日(火)
- ・ 834件の情報が集まる。
 - ・ 有機EL関係が少ないとの指摘あり。
 - ・ 年度末まで情報の収集を行う。
 - ・ これらの情報に、「はじめに」、「委員会の概要」などを加え、体裁を整えて報告書とする(委員長、幹事に一任)。
 - ・ 報告書は、理事会に報告するほか、委員全員に配布する。
 - ・ 情報システム管理委員会を通じて、ホームページやメールマガジン上で公開する。
 - ・ 今後も継続的に情報を収集、整理、公開するための常置の委員会を設立するように、理事会に願い出る。
- ⑤ 平成19年3月31日：新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-94)を提出し、学会ホームページ上の「委員会報告」欄より無料ダウンロードできるようにした。
- ⑥ 平成19年11月29日：理事会において、新光源発達度研究調査委員会の平成23年3月までの継続が認められた。
- ⑦ 平成20年1月10日：委員会の継続承認を受けて、今後の運営方針、委員会開催準備などについて委員長と幹事で協議する。
- ⑧ 第5回委員会：平成20年2月4日(月)
- ・ 委員会継続の経過説明
 - ・ これまでの反省とこれからの進め方について検討。今後は、年に一度の委員会開催とし、主としてメールによる情報交換とする。
- ⑨ 平成20年3月31日：新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-100)を提出し、学会ホームページ上の「委員会報告」欄より無料ダウンロードできるように申請した。
- ⑩ 平成21年3月31日：新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-102)を提出し、学会ホームページ上の「委員会報告」欄より無料ダウンロードできるように申請した。
- ⑪ 平成22年3月31日：新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-110)を提出し、学会ホームページ上の「委員会報告」欄より無料ダウンロードできるように申請した。
- ⑫ 平成23年3月31日：新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-***))を提出し、学会

ホームページ上の「委員会報告」欄より無料ダウンロードできるように申請した。

1. 3 委員会の構成

委員長	大谷 義彦	日本大学生産工学部電気電子工学科
幹事	阪口 敏彦	パナソニック電気(株)照明事業本部照明 R&D センター
幹事	清水 恵一	東芝ライテック(株)LED 事業推進室技術担当
委員	赤塚美津雄	(社)日本照明器具工業会
委員	落合 勉	M&O デザイン事務所
委員	皆本 真樹	NEC ライティング(株)光応用事業部
委員	小紫 正樹	LED 照明推進協議会事務局
委員	小中大二郎	オスラム・メルコ(株)品質保証部品質企画課
委員	齊藤 一朗	独立行政法人産業技術総合研究所計測標準研究部門 光放射計測科
委員	佐久間 茂	アイティーエル(株)
委員	高司 裕一	岩崎電気(株)技術研究所照明研究室
委員	成清 謙爾	(社)日本電球工業会技術部担当
委員	松本 稔	LED 照明推進協議会事務局

2. LED と有機 EL の情報

2. 1	論文・解説・報告など	7
2. 2	単行本・小冊子など	16
2. 3	規格・基準・報告書など	17
2. 4	新聞	19
2. 5	ホームページ	98
2. 6	委員会・プロジェクトなど	123
2. 7	講演会・シンポ・展示会など	125
2. 8	新製品・施設例など	127

* 各項目で、無色はLED関係、着色は有機EL関係である

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
今日の課題	大谷義彦(日本大学)	LED照明への期待	照明学会誌	94-4 (2010)	219
資料	小紫正樹(LED照明推進協議会)	LED照明特集 総論:LED照明の現状と将来	照明学会誌	94-4 (2010)	220-223
資料	薮洋司(産業技術総合研究所)	LED照明特集 LEDの測光と課題	照明学会誌	94-4 (2010)	224-227
資料	坂東完治(日亜化学工業)	LED照明特集 照明用白色LEDの発光効率と進歩	照明学会誌	94-4 (2010)	228-232
資料	阪口敏彦(パナソニック電工)	LED照明特集 LED照明の上手な使い方	照明学会誌	94-4 (2010)	233-239
資料	日本照明委員会	LED照明特集 LED照明の課題(生体安全性)	照明学会誌	94-4 (2010)	240-244
資料	本間睦朗(日建設計)	LED照明特集 LED照明の建築計画への応用	照明学会誌	94-4 (2010)	245-249
論文	小林正自(小系製作所)、大川正夫(小系製作所)、岡嶋克典(横浜)	全照灯照明光源の分光分布が視対象の明るさに与える影響	照明学会誌	94-5 (2010)	275-282
楽しいあかりのヒント	小谷朋子(東芝ライテック)	LEDのあかり～照明ソフトの観点から	照明学会誌	94-6 (2010)	342-344
年報ズームアップ	大谷義彦(日本大学)ほか	有機EL照明におけるガイドライン作成の課題	照明学会誌	94-8B (2010)	478-482
年報	斉藤明子(東芝ライテック)	第1章光源及び点灯回路、1.3LED光源	照明学会誌	94-8B (2010)	486-489
資料	五十嵐賢治(東芝ライテック)	第3章照明器具および機器:3.3LED照明器具	照明学会誌	94-8B (2010)	507
今日の課題	泥 正典(日本照明器具工業会)	LED照明について思うこと	照明学会誌	94-9 (2010)	597
研究速報	菊川祥吉(宇都宮高専)ほか	カイワレ大根の成長におけるLED光色とオゾン吐出条件の影響	照明学会誌	94-11 (2010)	747-750
会議報告	齋藤直樹ほか	合同国際コンファレンス(第12回光源と科学と技術に関する国際シンポジウム(LS-12)-第3回白色LEDと固体照明国際コンファレンス(White LED3))に参加して	照明学会誌	94-11 (2010)	751-759
今日の課題	佐伯耕三(経産省)	次世代照明の成長戦略と照明産業への期待	照明学会誌	95-3 (2011)	131
資料	大谷義彦(日本大学) 落合 勉(M&Oデザイン事務所)	特集:LED照明の適切な計画方法 総論 照明計画の役割と考え方	照明学会誌	95-3 (2011)	132-137
資料	別所 誠(東芝ライテック)ほか	特集:LED照明の適切な計画方法 LED照明製品の選び方	照明学会誌	95-3 (2011)	138-144
資料	野口公喜(パナソニック電工)ほか	特集:LED照明の適切な計画方法 LED照明に対する照明設計法	照明学会誌	95-3 (2011)	145-151
資料	川上幸二(日本電球工業会)	特集:LED照明の適切な計画方法 電球形LEDランプの照明効果	照明学会誌	95-3 (2011)	152-157
資料	堀井めぐみ(日建設計)	特集:LED照明の適切な計画方法 LED照明に期待される省エネルギーと空間設計	照明学会誌	95-3 (2011)	158-162
資料	松本 稔(LED照明推進協議会)	特集:LED照明の適切な計画方法 LED照明の課題と今後の展望	照明学会誌	95-3 (2011)	163-167
資料	後藤英司(千葉大学)	特集:光技術を応用した植物栽培 植物生産における人工光利用	照明学会誌	95-4 (2011)	199-204

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
資料	金山喜則(東北大学)ほか	特集:光技術を応用した植物栽培 光質による開花制御の技術とメカニズム	照明学会誌	95-4 (2011)	205-210
資料	山田 真(パナソニック 電工)	特集:光技術を応用した植物栽培 人工光を用いた植物の病害・害虫防除技術	照明学会誌	95-4 (2011)	211-215
資料	岩井万祐子(ホト・アグリ)	特集:光技術を応用した植物栽培 農業分野における光技術の応用	照明学会誌	95-4 (2011)	230-232
資料	尾崎美雪(東芝ライテック)	特集:舞台・スタジオ照明の動向と展望 舞台・スタジオへのLED照明導入	照明学会誌	95-6 (2011)	309-312
資料	吉田正彦(東芝ライテック)ほか	特集:四国のあかりが繋ぐ・ひと・まち・未来:四国支部 ライトアップ手法の科学—ライトアップに使用される光源—	照明学会誌	95-7 (2011)	357-361
資料	小田正志(岩崎電気)	特集:四国のあかりが繋ぐ・ひと・まち・未来:四国支部 ライトアップ手法の科学—日本における手法の変遷—	照明学会誌	95-7 (2011)	362-366
資料	田部 泉(宮地電機)	特集:四国のあかりが繋ぐ・ひと・まち・未来:四国支部 四国のLEDライティングデザイン	照明学会誌	95-7 (2011)	367-372
資料	山本行洋(宮地電機)ほか	特集:四国のあかりが繋ぐ・ひと・まち・未来:四国支部 自治体の「まちづくり」と照明計画	照明学会誌	95-7 (2011)	373-375
Technical Trend	Tse-ming CHUNG et al.	A Study of the Spatial Intensity Distribution of LED for General Lighting	J. Light & Vis. Env.	34-3 (2010)	170-175
Paper	R.Deepa et al.	Modeling and Simulation of Multielement LED Source	J. Light & Vis. Env.	35-1 (2010)	34-41
Letter	T.Kazuno et al.	Study of White LED Using Amorphous Carbon Nitride Grown by RF-sputtering and ECR-plasma CVD	J. Light & Vis. Env.	35-1 (2011)	86-89
技術探索	板東完治(日亜化学工業)	発光ダイオード(LED)の効率向上技術の変遷	電気学会誌	131-1 (2011)	34-37
特集	清水恵一(東芝ライテック)	注目の省エネ照明技術の現状と展望: LED照明の現状と将来予測	電気学会誌	131-3 (2011)	147-150
特集	菰田卓哉(パナソニック 電工)ほか	注目の省エネ照明技術の現状と展望: 有機EL照明技術の現状と展望	電気学会誌	131-3 (2011)	151-154
論文	別所 誠(東芝ライテック)ほか	特集「光源・照明の新潮流」 LED照明の最新動向	電気学会論文誌A	131-5 (2011)	315-320
論文	小野 景子(龍谷大学理工学部)ほか	特集「光源・照明の新潮流」 LED照明を用いた知的照明システムの実オフィスへの導入	電気学会論文誌A	131-5 (2011)	321-327
資料	島末紀之(きんでん)ほか	特集新人技術者のための電気設備入門/電気設備技術者のための大学院教育システム 太陽光発電とLED照明に関する動向	電気設備学会誌	30-5 (2010)	377-381
資料	中国支部	中部支部だより ——LED照明の現状と今後の動向——	電気設備学会誌	30-6 (2010)	463-464
資料	高橋陽平(岩崎電気)	特集:照明設備のリニューアルの課題と動向(省エネと快適性の改善 LED器具による屋外照明の改修事例)	電気設備学会誌	31-1 (2011)	37-39
論文	内田 暁(日本大学)ほか	バックライト方式による飲料自動販売機ディスプレイ部のLED化に関する基礎的検討	電気設備学会誌	31-1 (2011)	80-85
資料	中辻光彦 (パナソニック電工)	特集:家電と住設備機器の省エネ技術の動向について LED照明による住宅の省エネルギー	電気設備学会誌	31-2 (2011)	120-124
特集	宮本雅央(新陽社)	最近の駅設備 電気掲示器	電気設備」学会誌	31-6 (2011)	404-407

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
巻頭言	森 星豪 (パナソニック電工)	白色LED光源による快適な屋外照明環境の取り組み	日本照明委員会誌	28-1 (2011.2)	1
活動報告	大嶋浩正(大塚電子)	GIE TC2-63「ハイパワーLEDの光学特性測定」活動報告	日本照明委員会誌	28-2 (2011.5)	62-63
報告	糸川 剛(岩崎電気)	2010年ライト+ビルディング見本市と欧州照明事情視察報告(Ⅰ) (3)LED器具	日本照明器具工業会会報「照明」	12-2 (2010.7)	48-50
報告	日本照明器具工業会	直管蛍光灯形LEDランプなどの装着時、蛍光灯照明器具改造での注意点	日本照明器具工業会会報「照明」	12-3 (2010.9)	10~14
標準化	日本照明器具工業会	ガイド134「LED照明器具性能に関する表示についてのガイドライン」の制定	日本照明器具工業会会報「照明」	12-3 (2010.9)	23~28
標準化	日本照明器具工業会	JIL5006「白色LED照明器具性能要求事項」の改正	日本照明器具工業会会報「照明」	12-3 (2010.9)	29
報告	通島茂夫(東芝ライテック)	2010年ライト+ビルディング見本市と欧州照明事情視察報告(Ⅱ) (9)LED	日本照明器具工業会会報「照明」	12-3 (2010.9)	57~59
報告	平林 信(アイ・ライティング・システム)	2010年ライト+ビルディング見本市と欧州照明事情視察報告(Ⅱ) (10)安定器・LED制御装置・照明システム	日本照明器具工業会会報「照明」	12-3 (2010.9)	59~61
報告	神谷文夫(日本照明器具工業会技術部)	関東照明器具協同組合でのLED照明器具の法規に関する講演	日本照明器具工業会会報「照明」	12-4 (2010.11)	7
報告	八木敏治(日本電球工業会技術部)	日本電球工業会のLED照明に関する規格等の発行について	日本照明器具工業会会報「照明」	12-4 (2010.11)	10~13
標準化	日本照明器具工業会	JLA2005「LED照明器具の固有エネルギー消費効率(lm/W)の表示について」の発行	日本照明器具工業会会報「照明」	12-5 (2011.1)	20~21
報告	淵田隆義(JCIE会長・SSL戦略推進委員会委員長・東芝)	LED照明の評価技術に関する国際標準化活動について	日本照明器具工業会会報「照明」	12-5 (2011.1)	26~27
報告	吉本 豊(経産省)	ライティングフェア2011セミナー報告:基調講演「次世代照明の成長戦略と国際標準化」	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	23-32
報告	淵田隆義(JCIE会長・SSL戦略推進委員会委員長・東芝)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「LED照明評価技術の濃く会い標準化活動とSSL戦略推進」 ~測光、演色性、グレアなど照明ソフト評価について	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	33-35
報告	赤澤幸造(日本電球工業会)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「一般照明用LED光源の標準化の動向(LEDランプ編)」	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	35-37
報告	神谷文夫(日本照明器具工業会)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「LED照明器具の標準化の動向」 ~電気用品安全法とJISを中心に~	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	37-39
報告	落合 勉 (Light Bridge Association JAPAN)	有機EL照明デザインコンペ2010の発表 ライティングフェア2011特設会場「有機ELラウンジ」	日本照明器具工業会会報「照明」	12-8 (2011.7)	40-41
行事報告	中岡久宣(コイズミ照明)	LIGHTFAIR2011と米国照明事情視察報告(Ⅰ) (3)LED器具、有機EL	日本照明器具工業会会報「照明」	12-8 (2011.5.7)	28-29
報告	工藤祥裕(NEDO)ほか	LED照明の国際標準化への動き」	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	38-47
報告	恒川真一(東芝ライテック)	Global Lighting Forum LED-WG 会議報告	日本照明器具工業会会報「照明」	12-7 (2011.5)	48-49
行事報告	通島茂夫(東芝ライテック)	Light + Building 欧州照明事情視察団 2010 「LED」	電球工業会報	513 (2010.7)	19-21
行事報告	平林 信(アイ・ライティング・システム)	Light + Building 欧州照明事情視察団 2010 「安定器、LED制御装置、照明システム」	電球工業会報	513 (2010.7)	22-24
特別寄稿	落合 勉 (M&Oデザイン事務所)	Frankfurt Light + Building 2010 を見聞して「LED照明の実用化と、OLED照明のデザイン」	電球工業会報	513 (2010.7)	33-38

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
おしらせ	日本電球工業会	日本電球工業会規格JEL 8XX「直管型LEDランプシステム(一般照明用)案」に係る産業財産権の申告のお願い	電球工業会報	514 (2010.8~9)	1~26
行事報告	武内永記(東芝ライテック)	平成22年度(第43回)照明学会全国大会概要報告「LED照明(ハード分野)」	電球工業会報	515 (2010.10)	14
技術情報	鈴木 篤(日立アプライアンス)	LUMEX PAP/PRESCO 合同LEDエキスパート会議報告	電球工業会報	517 (2011.1)	17~21
技術情報	日本電球工業会広報委員会	ライティングフェア2011 出展動向	電球工業会報	519 (2011.4)	13~35
行事報告	松下幸嗣(パナソニック電工)	LIGHTFAIR2011視察報告(LED屋内照明編)	電球工業会報	521 (2011.7)	10~13
行事報告	山本匡宏(パナソニック電工)	LIGHTFAIR2011視察報告(LED屋外照明編)	電球工業会報	521 (2011.7)	14~16
報告	吉本 豊(経産省)	ライティングフェア2011セミナー報告:基調講演「次世代照明の成長戦略と国際標準化」	電球工業会報	521 (2011.7)	29-37
報告	淵田隆義(JCIE会長・SSL戦略推進委員会委員長・東芝)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「LED照明評価技術の濃く会い標準化活動とSSL戦略推進」 ~測光、演色性、光色、グレアなど照明ソフト評価	電球工業会報	521 (2011.7)	37-39
報告	神谷文夫(日本照明器具工業会)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「LED照明器具の標準化の動向」 ~電気用品安全法とJISを中心に~	電球工業会報	521 (2011.7)	39-41
報告	赤澤幸造(日本電球工業会)	ライティングフェア2011セミナー報告:講演「一般照明用LED光源の標準化の動向(LEDランプ編)」	電球工業会報	521 (2011.7)	41-43
報告	工藤祥裕(NEDO)ほか	LED照明の国際標準化への動き	電球工業会報	521 (2011.7)	60-67
基調講演 I	佐伯耕三(経産省)	次世代照明の成長戦略と照明業界への期待	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	33-35
基調講演 II	泥 正典(日本照明器具工業会)	低炭素社会実現に向けた、日本の照明業界の取り組み	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	36
受賞者講演	泉 昌裕、久安武志、平松拓朗(東芝ライテック)	照明技術開発賞:一般電球形 高効率LED電球の開発	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	38
シンポジウム	川島康貴(NECライティング)	ディスプレイと照明技術の将来:有機ELの照明応用	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号S-6 286-287
シンポジウム	馬場雅裕(東芝ライテック)	ディスプレイと照明技術の将来:液晶テレビのLEDバックライト制御技術	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号S-7 288-289
講演会	神門賢二(産総研)	測光・放射量測定技術と赤外放射応用:LEDの測光・放射量測定技術の開発と今後の展開	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号L-2 270
口頭発表	池田貴裕(パイフォニクス)	高指向性LED照明装置を用いた遠隔ライトアップ実験—ホロライトを用いた県立森林公園大草山の景観照明について—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号5-12 97-98
口頭発表	松井俊成(パナソニック電工)ほか	LED防犯灯のグレア規制とその評価方法	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-21 191
口頭発表	湯尻 照(広島工業大学)ほか	LED照明による物体色の明るさ知覚	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-22 192
口頭発表	山田浩嗣(住友林業)ほか	夜間の生活環境での使用を想定した光源の印象評価(第1報)—LED電球、白熱電球、電球型蛍光灯での実空間における印象評価比較—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-23 193-194
口頭発表	松久裕子(パナソニック電工)ほか	白色有機EL照明の開発	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-24 195
口頭発表	竹井尚子(パナソニック電工)ほか	白色LEDパッケージの蛍光体利用効率向上技術	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-25 196

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
口頭発表	豊嶋 勉(九州工業大学)ほか	HLEDパッケージ及び高放熱照明モジュールの開発—LED照明新時代の幕開けに伴う新技術の提案—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-26 197-198
口頭発表	松田周平(東芝ライテック)ほか	電球形LEDランプ用モジュールの伝熱解析	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-27 199
口頭発表	甲斐 誠(パナソニック)ほか	小形LED電球の放熱設計	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-28 200
口頭発表	中島啓道(東芝ライテック)ほか	LED照明点灯装置	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-29 201
口頭発表	大澤 滋(東芝ライテック)ほか	GX53口金を採用したLEDユニットの開発	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-30 202
口頭発表	小川光三(東芝ライテック)ほか	6000lmクラス高効率LEDダウンライトの開発	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-31 203
口頭発表	古川一茂(星和電機)ほか	LEDトンネル照明器具の開発	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-32 204
口頭発表	中嶋芳雄(富山大学)	高齢者を配慮したバリアフリー用LED表示に関する基礎的研究	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-33 207-208
口頭発表	岡嶋克典(横浜国立大学)	高齢者対応型可視化システムによるLED照明光の演色性評価法	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-34 209
口頭発表	阿山みよし(宇都宮大学)ほか	空間的布置の異なる白色LED光のグレア評価	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-35 210
口頭発表	木村英樹(愛媛大学)ほか	LEDのパルス点灯時の実効光度向上効果における発光色シフトの影響	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-36 211
口頭発表	唐澤宣典(パナソニック電工)ほか	LED照明機器を用いた屋外照明における省エネ設計技術	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-37 212
口頭発表	萩原 亨(北海道大学)	米国におけるLED街路照明実証実験についてのレビュー—札幌市における実証実験との比較—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-38 213-214
口頭発表	桃井恒浩(シャープ)ほか	LED防犯灯の配光設計および応用展開について	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-39 215-216
口頭発表	斎 尚樹(因幡電機製作所)ほか	調光制御を用いた白色LED照明灯による駅前広場と周辺道路照明	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-40 217
口頭発表	小山潤一(札幌市)ほか	札幌市LED街路灯導入実証実験の概要	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-41 218
口頭発表	赤坂人司(岩崎電気)ほか	札幌市LED街路灯静止印象評価実験	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-42 219
口頭発表	松尾 浩(パナソニック電工)ほか	街路灯照明による視環境の評価方法の検討—LED街路灯導入実証実験での心理評価値と輝度分布データとの関係—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-43 220
口頭発表	竹之内光彦(星和電機)ほか	積雪を考慮したLED街路灯の検討	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9-44 221
口頭発表	小泉 健(テクノローク)ほか	HP LEDの光束測定上の諸問題(2)	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号11-8 239
口頭発表	三島俊介(大塚電子)ほか	積分半球を用いた 2π 配光光源の測定	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号11-9 240
口頭発表	大澤祥宏(大塚電子)ほか	蛍光体溶液サンプルの量子吸収率測定方法の検討	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号11-10 241
口頭発表	小谷朋子(東芝ライテック)ほか	LEDを含むランプの光源色及び演色性による区分の提案—JIS Z9112改正提案に向けた光源色及び演色性区分の事前検討WGの検討—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号11-11 242

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
口頭発表	淵田隆義(東芝ライテック)ほか	CIE TC1-69(白色光源の演色性評価)に対する日本意見—日本の実用ランプによるCQS,CRI-CAM02UCSの評価—(JCIE TC1-69技術委員会の検討結果)	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号11-12 243
ポスター発表	田中佑樹(富士産業)ほか	ベランダに設置した太陽光発電パネルによるLED点灯実験	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号5- 7 88-89
ポスター発表	稲垣 忍(浜松ホトニクス)ほか	高指向性LED照明装置を用いた空中光線生成システム—ホロライトを用いた光ツリー像の空中生成実験について—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 1 167-168
ポスター発表	吉野 薫(木更津高専)ほか	小型イカ釣り漁船用LED集魚灯光源の基本性能評価試験結果について	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 2 169
ポスター発表	神田陽平(木更津高専)ほか	小型イカ釣り漁船用LED集魚灯システムの海面上の放射照度分布シミュレーション結果について	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 3 170
ポスター発表	堀本祥史(金沢工大)ほか	ハイパワーLEDランプ用FET型高効率駆動回路	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 4 171-172
ポスター発表	佐藤 翔(金沢工大)ほか	ハイパワーLEDランプ用充電周波数4倍型高効率駆動回路	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 5 173-174
ポスター発表	植本昌則(北海道工大)ほか	カラーLEDパーサライタの制作	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 6 175
ポスター発表	佐野一賢(千葉大学)ほか	光源の分光特性が不快グレアに及ぼす影響	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 7 176
ポスター発表	三宅 俊(宇都宮大学)ほか	晴天・雨天環境におけるLED前照灯の視認性—色票の見え方(高齢者と若年者の比較)—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 8 177
ポスター発表	溝口晶子(宇都宮大学)ほか	晴天・雨天環境におけるLED前照灯の視認性—人形模型の見え方(高齢者と若年者の比較)—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 9 178
ポスター発表	李 太花(東洋大学)ほか	RGB色LEDを用いた照明による老視改善に関する研究	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 10 179
ポスター発表	大田恵理(三晃堂)ほか	LED照明が視認性・作業性に及ぼす影響に関する研究—高齢者を対象として—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 11 180-181
ポスター発表	中村弥生(共立女子大)ほか	白色LEDの演色性視感評価実験とCIE演色評価数の適用性に関する実験—緑色、紫色染色布の演色性評価—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 12 182
ポスター発表	田川ゆうほ(信州大学)ほか	光源の違いによる物体の明るさ感に関する研究	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 13 183
ポスター発表	高橋幸次(秋田大学)ほか	パルス駆動のLEDを照射した際の対象物による見え方の違い	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 14 184
ポスター発表	石上雄太(摂南大学)ほか	LEDおよび蛍光灯の違いによる色の見え方に関する研究	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 15 185
ポスター発表	作田慎伍(富山大学)ほか	照明の色相が及ぼす影響に関する基礎研究—フルカラーLED光源における—	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 16 186
ポスター発表	戸部和希(千葉大学)ほか	LED照明下の色の見え方と印象評価	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 17 187
ポスター発表	高 乗佑(東京大学)ほか	同一色の蛍光灯とLED照明における印象評価の違い	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 18 188
ポスター発表	中嶋啓輔(富山大学)ほか	省エネ型フルカラーLED表示装置の画質評価に関する研究	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 19 189
ポスター発表	山内泰樹(山形大学)	白色有機EL照明下での色知覚特性	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号9- 20 190
ポスター発表	葛 浩司(九州大学)ほか	ZnOナノワイヤをベースとした紫外発光ダイオードの作製	照明学会全国大会講演論文集	平成22年度	講演番号10- 3 227-228

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
PRESENTED PAPERS	Guanying Cao(China)	Design of the Intelligent Solar LED Lawn Lamp	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
PRESENTED PAPERS	Kenichiro Kinoshita (Japan)	Developed White LED Floodlighting Fixtures with Outdoor Use and Their Characteristics on the Energy Saving Perspective	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
PRESENTED PAPERS	Janghee Yun(Korea)	Temperature Characteristics of High Luminance White LED by Driving Condition	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
PRESENTED PAPERS	Jinbo Jiang(China)	LED Secondary Optics Design	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
PRESENTED PAPERS	Mitsuhiro Takenouchi (Japan)	Study on High-Performance of Street Lighting	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
PRESENTED PAPERS	Wan-Ho Jeon(Korea)	Propose New Technical Solution for Heat Management of LED Lighting System	第3回日・中・韓照明シンポジウム	2010.9.29	
発表	河村希典(秋田大学)ほか	青色発光ダイオードを用いたハタハタの種苗生産における稚魚の飼育	電気関係学会東北支部連合大会	2010.8.26-27	
発表	呂彦韶(富山大学)ほか	LED色光の視認特性に関する研究—濃霧中における—	電気関係学会北陸支部連合大会	2010.9.11-12	
発表	中嶋啓輔(富山大学)ほか	省エネ型フルカラーLED表示装置の画質評価に関する研究	電気関係学会北陸支部連合大会	2010.9.11-12	
発表	松本雄多(広島工大)ほか	LEDと蛍光ランプによる物体色の明るさ比較	電気関係学会中国支部連合大会	2010.10.23	
発表	谷口尚宏(広島工大)ほか	LED照明による色の見えの質的評価	電気関係学会中国支部連合大会	2010.10.23	
発表	山口 亮(中電工)ほか	高出力LEDを使用したライトアップの施工事例	電気関係学会中国支部連合大会	2010.10.23	
発表	正木和夫(阿南高専)ほか	電解液によるLED電極の腐食	電気関係学会四国支部連合大会	2010.9.25	
発表	松本将和(徳島大学)ほか	Gan系UV-LEDの偏光特性	電気関係学会四国支部連合大会	2010.9.25	
発表	真鍋佑輔(徳島大学)ほか	UVA-LEDを用いた殺菌装置の容器内放射照度分布の検討	電気関係学会四国支部連合大会	2010.9.25	
発表	阿久強志(徳島大学)ほか	UV-LEDを用いたタンク型水殺菌装置	電気関係学会四国支部連合大会	2010.9.25	
発表	川島明慎(佐世保高専)ほか	プラズマプロセスによる有機EL薄膜の作製に関する研究	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	清原剛志(九州産業大学)ほか	有機EL多層薄膜の作製と発光の測定	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	久米田章夫(九州大学)ほか	NAPLDを用いたZnOナノワイヤの作製と紫外発光素子への応用	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	蔦 浩司(九州大学)ほか	ZnOナノワイヤ紫外LEDで励起されたZnOベース蛍光体の可視光発光特性	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	久保佳津輝(九州大学)ほか	レーザ照射によるn型ZnOナノワイヤ/p型GaIn膜へのヘテロ接合LEDの特性改善	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	遠矢和勇騎(九州大学)ほか	ナノインプリントを用いたCVD法によるZnOナノワイヤの配列制御	電気関係学会九州支部連合大会	2010.9.25-26	
発表	犬塚達基(日立)	RGB3色LEDバックライトを備える液晶ディスプレイの色再現特性の検討	発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会(光関連材料・デバイス研究専門部会)	2010.1.28-29	

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
発表	矢田竜也(エプソンイメージングデバイス)ほか	RGB蛍光体と近紫外LEDを組み合わせた発光型液晶ディスプレイ—蛍光体層の励起効率の改善—	発光型/非発光型ディスプレイ合同研究会(光関連材料・デバイス研究専門部会)	2010.1.28-29	
発表	天野 浩(名古屋大学)	白色LEDの現状と将来の可能性	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	板東完治(日亜化学工業)	白色LEDの高効率化技術	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	山元 明(東京工科大学)	白色発光ダイオード用蛍光体の技術動向	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	近藤俊幸(スタンレー電気)	LED照明の課題と展望	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	小谷朋子(東芝ライテック)	LED光源を用いた快適な照明空間とは？	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	城戸淳二(山形大学)	有機EL照明の現状と将来展望	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	遠藤 剛(出光興産)	高効率・長寿命な有機EL照明に向けた材料開発の現状と将来	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	Philip Welmam (ノバルレッド)	Novald PIN-OLED Technology for Advanced Lighting Applications	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	菰田卓哉(パナソニック電工)	有機EL照明技術の最新動向と将来展望	次世代固体照明光源の最新動向(光関連材料・デバイス研究専門部)	2010.10.7	
発表	東 洋邦(東芝ライテック)	不快を感じにくいLED照明設計の検討	LED照明光の視覚的効果(視覚研究専門部会)	2010.12.13	
発表	野口公喜(パナソニック電工)	光の生物時計機構への作用とLED照明への期待	LED照明光の視覚的効果(視覚研究専門部会)	2010.12.13	
発表	矢口博久(千葉大学)	LED照明の演色性評価	LED照明光の視覚的効果(視覚研究専門部会)	2010.12.13	
口頭発表	小川光三(東芝ライテック)ほか	高効率LEDダウンライト6000シリーズの開発	電気設備学会全国大会講演論文集	2010.8.27	F-13 283-284
口頭発表	山崎 誠(東芝ライテック)ほか	LEDライン器具の開発	電気設備学会全国大会講演論文集	2010.8.27	F-14 285-286
口頭発表	小宮 覚(東光電気工事)	LED照明の導入と効果の検証	電気設備学会全国大会講演論文集	2010.8.27	F-18 297-300
口頭発表	久保田 元(日本大学)ほか	LEDを用いた電飾看板発光面の輝度分布測定について	電気設備学会全国大会講演論文集	2010.8.27	F-19 301-302
ポスター発表	仲田浩一郎(東芝ライテック)ほか	NTT横須賀研究開発センターにおけるLED照明への更新実施概要	電気設備学会全国大会講演論文集	2010.8.26-27	P-20 473-474
解説	(株)アムクルー	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第25回(株)アムクルー 高機能LED照明システムFLS	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-4 (2010)	34-35
解説	加美電機(株)	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第26回加美電機(株) バッテリー内蔵のレス球	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-5 (2010)	26-27
解説	加賀電子(株)	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第27回加賀電子(株) 独立系エレクトロニクス総合商社	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-6 (2010)	46-47
解説	ミマキ電子部品(株)	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第28回ミマキ電子部品(株) Narrow Flex Strip Light とは？	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-7 (2010)	30-31
解説	Xicato(ズイカト) Japan(株)	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第29回Xicato Japan(株) 超高演色シリーズ「アーティスト」	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-8 (2010)	30-31
解説	(株)ICS コンベンションデザイン	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第30回(株)ICS コンベンションデザイン LEDジャパン/Strategies in Light とは？	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会)	52-9 (2010)	30-31

1. 論文・解説・報告など

種別	著者	題目	雑誌名	巻一号	ページ
解説	(株)オービカル特機	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第31回 (株)オービカル特機 「直管型LED器具一体型」について	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	52-10 (2010)	54-55
解説	東神電気(株)	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第32回 東神電気(株) LED蛍光灯「美蛍」について	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	52-11 (2010)	38-39
解説	(有)ORIENTAL	LED関連企業による解説コーナー「LEDフロントライン」第33回 (有)ORIENTAL LED照明「EAGLED」について	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	52-12 (2010)	42-43
特集	TDKラムダ(株)ほか	LEDの周辺機器・周辺部材	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	52-12 (2010)	20-27
解説	(株)オーテックエレクトロニクス	LED関連企業による解説コーナー「LED FRONT LINE」第34回 (株)オーテックエレクトロニクス LED検査テストについて	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-1 (2011)	34-35
解説	ジャパンソウル半導体(株)	LED関連企業による解説コーナー「LED FRONT LINE」第35回 ジャパンソウル半導体(株) LED一筋20年「Acriche」ブランド	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-2 (2011)	26-27
解説	コニカミノルタセンシング(株)	LED関連企業による解説コーナー「LED FRONT LINE」第36回 コニカミノルタセンシング(株) 光を測る/光で測る 各種計測器	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-3 (2011)	26-27
解説	(株)コマデン	LED関連企業による解説コーナー「LED FRONT LINE」第37回 (株)コマデン ドイツ・フランクフルト見本市会場レポート	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-5 (2011)	38-41
解説	TDKラムダ(株)	LED関連企業による解説コーナー「LED FRONT LINE」第38回 TDKラムダ(株) LED機器用AC-DC電源「ALC/ALVシリーズ」	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-6 (2011)	46-47
特集	栗原利行(岩崎電気)	2011LED投光器徹底解剖	サイン&ディスプレイ (マスコミ文化協会)	53-6 (2011)	21-28

2. 単行本・小冊子など

著者	題目	発行所	発行年月日	定価	概要
LED照明推進協議会	LED照明信頼性ハンドブック	日刊工業新聞社	2008/2/25	2700円	
山崎 浩	省エネLED/EL照明設計入門	日刊工業新聞社	2010/2/20	2200円	
LED照明推進協議会	LED照明ハンドブック	オーム社	2011/5/23	3800円	
マスコミ文化協会	LED完全ガイド Vol.3	マスコミ文化協会	2009/12/1	4000円	LED周辺のトピックス、LEDメーカーを始めとした関連企業による技術・応用解説、LEDサインやイルミネーション、照明などの3本立てとなっている。
分析工房(株)ほか	LED照明製品とその製品開発・製品戦略の現状と予測2009	グローバルネット(株)		89250円	数年後の世界市場が10兆円市場とも言われる照明分野を目指して、白色LEDデバイスなどの次世代照明デバイスが日々技術革新される中、本レポートは、LED照明デバイス・照明器具の研究開発・設計・商品化・製造・計測・市場開発に必要な世界動向を、国内外での調査と国内出願の特許マップ分析(※)によって得た最前線情報に基づき、以下の内容をまとめたものです。(A4版、170ページ)
分析工房(株)	世界LED照明産業年鑑2010	グローバルネット(株)	2010/1/31	39900円	数年後の世界市場が10兆円市場とも言われる照明分野を目指して、LED照明などの次世代照明機器が日々が日々技術革新される中、本産業年鑑は、LED照明器具・材料・製造装置の研究開発・設計商品化・製造・市場動向に必要な世界動向を、国内外での調査によって得た最前線情報に基づき、まとめたものです。(A4判、150ページ)
臼田昭司	作ってわかるLED照明入門	日刊工業新聞	2010/3/1	2500円	
東レリサーチセンター調査研究部	LEDの最新動向—基礎から最新技術まで、LEDのすべてがわかる—	東レリサーチセンター調査研究部	2010/5/1	71400円	<ul style="list-style-type: none"> ・LEDの原理、結晶成長技術、LEDの構造など、必要な基礎知識を網羅 ・LEDのパッケージ技術と熱対策について詳述 ・LED技術の現状と開発動向、特にLEDの高効率化、高出力化について詳述 ・本格化を迎えたLED照明、特に各社の白色LED、パワーLEDと白色LEDモジュールについて詳述 ・LEDの市場動向と各社の戦略について詳述 ・LEDの点灯に必須のLEDドライバについて詳述 ・LED照明、液晶バックライト、車載用およびその他への応用の状況を詳述 ・今後の課題を列挙
分析工房(株)	世界有機EL照明産業年鑑2010	グローバルネット(株)	2010/5/1	39900円	数年後の世界市場が16兆円市場とも言われる照明分野を目指して、有機EL照明パネルなどの次世代照明デバイスが日々技術革新される中、本産業年鑑は、有機EL照明パネル・照明器具・材料・製造装置の研究開発・設計・商品化・製造・計測・市場開発に必要な主要メーカーの開発動向を国内外での調査によって得た最前線情報に基づき、以下の内容をまとめたものです。(A4、152ページ)
	'10 LED関連ビジネスの実態と将来展望	日本エコミクスセンター	2010/5/14	73500円(B5版)	LED関連のビジネスのうち、競争が激化するLED照明ビジネスにスポットを当て、その他の関連ビジネスも踏まえ調査・編集したものである。
日本電球工業会企画推進委員会	LED照明の適正使用ガイド～正しい普及促進のための提言～	日本電球工業会	2010/6/17	3000円(会員2000円)	このところ、電球形LEDランプを始めとしたLED照明製品の商品化が急速に進んでおり、ここにLED照明の適正な使用方法を提供するとともに、現行の光源のどの領域まで、LED照明に換えていく意義があるのかをまとめたものである(本文62ページ、付録18ページ)
臼田昭司	絵とき「白色LED」基礎のきそ	日刊工業新聞	2010/8/1	2100円	
伊藤 尚末	実践!LED電子工作マスターブック—基本がわかる!使いこなすテクニックが身につく!	誠堂新光社	2010/8/1	1400円	
日本ビジネス出版	月刊誌「環境ビジネス」2010年9月号 LED照明・買ってはいけない製品の見分け方	日本ビジネス出版	2010/9/1	1200円	
辻村隆俊	有機ELディスプレイ概論—基礎から応用まで	産業図書	2010/11/20	2800円	
CIRAC LED研究会	中部産業レポートVol.7 LED関連産業報告書	(財)中部産業・地域活性化センター	2010/12/1		
安藤 幸司	らくらく図解 LED—発光ダイオードのしくみ—	オーム社	2010/12/1	1900円	
家庭電器文化会	家電月報ALLE(アルレ) ・省エネ効果の高いLEDが地球を守る ・メーカー別最新LED電球/LED照明ガイド(シャープ、東芝、パナソニック、三菱、日立)	家庭電器文化会	2010/12/1		
杉本 靖	LED電子工作の素(基礎入門)	技術評論社	2010/12/21	2800円	
日経アーキテクチャ	日経アーキテクチャAD Special 「LED照明 最新32プロジェクトによる検証」	日経BP社	2011 Spring		
日本ビジネス出版	月刊誌「環境ビジネス」2011年5月号 導入前に知っておきたいLED照明の使い方	日本ビジネス出版	2011/5/1	1200円	

3. 規格・基準・報告書など

種別	題目	作成団体	発行年月日	ページ数	定価
報告書	JIER-091 「白色LED照明環境・システム技術特別研究委員会」報告書	照明学会	平成18年3月31日	26	会員 ¥6,815 円 非会員 ¥9,135 円
報告書	JIER-094 新光源発達度研究調査委員会報告書(平成18年度) http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-094.pdf	照明学会	平成18年3月31日	59	無料ダウンロード
報告書	JIER-100 新光源発達度研究調査委員会報告書(平成19年度) http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-100.pdf	照明学会	平成20年3月31日	49	無料ダウンロード
報告書	JIER-101 白色LED照明システム応用技術特別研究委員会報告書	照明学会	平成20年3月31日	47	会員 2,205円 非会員 2,940円
報告書	JIER-102 新光源発達度研究調査委員会報告書(平成20年度) http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-102.pdf	照明学会	平成21年3月31日	63	無料ダウンロード
報告書	JIER-103 「LEDを用いた交通表示装置並びに信号灯等の視認性とその応用に関する研究調査委員会報告書」	照明学会	平成19年7月20日	120	会員 ¥4,961 円 非会員 ¥6,615 円
	札幌市LED街路灯導入実証実験報告書 http://www1.ieij.or.jp/shibu/hokkaido/1001LEDhoukoku.pdf	照明学会北海道支部 LED街路灯研究委員会	平成22年1 月		無料ダウンロード
報告書	JIER-110 新光源発達度研究調査委員会報告書(平成21年度) http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-110.pdf	照明学会	平成22年3月31日	143	無料ダウンロード
規格	JIS C 8152:2007 「照明用白色発光ダイオード(LED)の測光方法」	日本規格協会	平成19年7月20日		¥2,520
規格	TS C 8153:2007 「照明用白色LED装置性能要求事項」	日本規格協会	平成19年7月20日		¥3,255
規格	JIS C 8147-2-13:2008 「ランプ制御装置—第2-13部:LEDモジュール制御装置の個別要求事項」	日本規格協会	平成20年10月20日		¥2,730
規格	JIS C 8153:2009 「LEDモジュール用制御装置——性能要求事項」	日本規格協会	平成21年3月20日		¥1,470
規格	JIS C 8154:2009 「一般照明用LEDモジュール——安全仕様」	日本規格協会	平成21年3月20日		¥1,890
規格	JIS C 8155:2010 「一般照明用LEDモジュール——性能要求事項」	日本規格協会	平成22年9月21日	32	¥2,310
規格	JIL5006 「白色LED照明器具性能要求事項」	日本照明器具工業会	平成22年7月7日		¥630 会員504
ガイド	ガイド134 「LED照明器具性能に関する表示についてのガイドライン」	日本照明器具工業会	平成22年7月7日		¥147 会員126
標準	JLA2004 直管蛍光ランプ形LEDランプなどの装着時、蛍光灯照明器具改造での注意点	日本照明器具工業会	平成20年7月		
標準	JLA2005 LED照明器具の固有エネルギー消費効率($\ell m/W$)の表示について	日本照明器具工業会	平成20年9月		
資料	LED照明の適正使用ガイド～正しい普及促進のための提言～	日本電球工業会	平成22年6月17日	80	¥3000 (会員2000)
規格	JEL600「光源製品の正しい使い方と表示方法」 LED光源及び制御装置を追加	日本電球工業会	平成22年7月16日		¥3200 (会員2500)

3. 規格・基準・報告書など

種別	題目	作成団体	発行年月日	ページ数	定価
規格	JEL800 「電球形LEDランプの形式付与方法」	日本電球工業会	平成22年7月16日		¥650 (会員500)
ガイド	ガイド008 「電球形LEDランプの性能表示等のガイドライン」	日本電球工業会	平成22年7月16日		¥650 (会員500)
規格	JEL801 「L形ピン口金GX16t-5付直管形LEDランプシステム(一般用)」	日本電球工業会	平成22年12月3日		会員1600円 非会員2000円
規格	JIS C 8156:2011 「一般照明用電球形LEDランプ(電源電圧50V超)—安全仕様」	日本電球工業会にて原案作成中	平成23年4月予定		
規格	JIS C 8157:2012 「一般照明用電球形LEDランプ(電源電圧50V超)—性能要求事項」	日本電球工業会にて原案作成中	平成24年4月予定		
規格	JIS C 8158:2012 「一般照明用電球形LEDランプ(電源電圧50V超)—製品規格」	日本電球工業会にて原案作成中	平成24年8月予定		
	CIE 127 Measurement of LEDs LEDの測定	国際照明委員会		32	¥8400 (会員4300)
	CIE 177 Colour rendering of white LED light sources 白色LED光源の演色性	国際照明委員会		8	¥7100 (会員3700)
規格	IEC 62031 Ed.1.0:2008(b) LED modules general lighting : Safety specifications 「一般照明用LEDモジュール—安全仕様書」				
規格	IEC 61347-2-13 Ed.1.0:2006(b) Lamp controlgear—Part 2-13 Particular requirements for d.c. or a.c. supplied electronic controlgear for LED 「ランプ制御装置—第2-13部:LEDモジュールのための直流又は交流電源電子制御装置の特定要求事項」				
規格	IEC 62384 Ed.1.0 :2006(b) DC or AC supplied electronic control gear for LED modules – Performance requirements 「LEDモジュールのためのDC又はAC電源電子制御装置—性能要求事項」				
	IEC/TS62504 General lighting—LEDs and LED modules—Terms and definitions Edition 1.0 一般照明用LED及びLEDモジュール 用語と定義 第1版		平成23年3月1日		
報告書	平成18年度LED応用機器システムにおける標準化調査報告書 http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/kensaku/pdf/2007/18hyojun_01.pdf	(社)日本機械工業連合会 (財)金属系材料研究開発センター	平成10年3月	170	
規格	LM-80-08 IES Approved Method for Measuring Lumen Maintenance of LED Light Sources	IESNA	2008.9.22	4	¥25
規格	ENERGY STAR Program Requirements for Solid State Lighting Luminaires www.energystar.gov/ia/partners/product_specs/program_reqs/SSL_prog_req_V1.1.pdf		2008.12.19	23	
規格	OLEDディスプレイのIEC規格 IEC 62341-6-1 Ed. 1.0:2009 (b) Organic light emitting diode (OLED) displays— Part 6-1: Measuring methods of optical and electro-optical parameters 有機発光ダイオード(OLED)ディスプレイ—第6-1部:光学及び電気光学パラメタの測定方法		2009.5.13	53	ISA Web Storeにて ¥11812
	LED照明器具に関する課題と施工標準化の検討—標準化に向けた中間報告書 Ver.1.1—	日本電設工業協会 技術・安全委員会 LED照明器具取付標準化WG	2011.2.1	51	

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東武とパナ電エースカイツリーに最新LED駆使(先取り現場技術)	日経産業新聞	2010年4月1日	3月29日に東京タワーの高さ333メートルを追い抜いた新電波塔「東京スカイツリー」。2012年春の完成を目指し工事が進むこの塔を運営する東武鉄道子会社の東武タワースカイツリー(東京・墨田)とパナソニック電工は、電飾に最新の照明技術を取り入れる。パナ電工が注力する発光ダイオード(LED)を駆使し、高さ634メートルとなる世界最高のタワーを日替わりで彩る。東京スカイツリーでは白を基調に近隣の隅田川をイメージした水色の「粋」と、伝統的に日本人に好まれてきた江戸紫の「雅」の2種類の電飾パターンを採用する。3月初め、両社は完成後の電飾イメージをCG(コンピューターグラフィックス)画像として初公開した。
LED、ほのかな光 太陽光発電施設 御嶽宿広場で点灯 御嵩町	岐阜新聞	2010年4月1日	御嵩町が名鉄御嵩駅南側に整備を進めている太陽光発電施設「御嶽宿さんさん広場」の点灯式が30日、同広場であり、108基のLED(発光ダイオード)照明が「ほのかに」光り、同広場を照らした。4日にはオープンイベントがある。同施設は10キロワットの太陽光発電システムを備え、広場で使う電力をまかなう。屋根の下には8プースの販売所や湯を湯わずにセラミック球で温める足湯「足癒」を設けた。
LED道路灯新技術公募/4月末まで受付/九州整備局のフィールド提供型	建設通信新聞	2010年4月1日	九州地方整備局は、「LEDを使用した道路照明灯」をテーマにしたフィールド提供型新技術の公募を開始した。技術提案を5月31日まで郵送か持参で企画部施工企画課で受け付ける。9月に試行技術を選定し、現場での試行調査に入る。2011年度の評価会議で評価する。同局が直轄管理区間に設置しているナトリウム灯の道路照明灯は約3万灯で、CO2排出量は年間1万7000tに上る。LED道路照明灯の導入により、CO2排出量の削減を図る。要求性能では国道の主要幹線道路で平均路面輝度を確保し、道路照明灯の基準を満たすことを求める。平均路面輝度は1.0カンデラ(cd)/m2か0.7cd/m2とし、1.0cd/m2を優先して選定する。
有機エレクトロニクス研が開発、製作の有機EL照明を独のフェアに出展 7年間の研究成果集大成	山形新聞	2010年4月1日	米沢市の有機エレクトロニクス研究所(城戸淳二所長)が開発、製作した有機EL照明の製品群が、4月1日からドイツ・フランクフルトで開催される世界最大規模の照明フェア「Light+Building 2010」に出展されることになった。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が、トップレベルにある日本の有機EL技術を世界へアピールするブースの中で展示される。同研究所は3月31日で活動し終止符を打ち、新年度からは組織と活動内容が改編される。7年間の研究成果の集大成を披露する場となる照明フェアでは、同研究所が製作し、2月末まで米沢市の伝国の社に設置していた展示ブースを移設して紹介する。
太陽光で発電→キャパシタに蓄電、LED街路灯に活用、日本ケミコンなど開発。	日経産業新聞	2010年4月1日	省エネ、10年間保守不要 日本ケミコンはスタンレー電気、タムラ製作所と共同で、電気をためる機能を持つ電気二重層キャパシタを活用した発光ダイオード(LED)街路灯を開発したと発表した。エネルギー源に太陽光のみを使うため、省エネ性能に優れている。搭載する電気二重層キャパシタは気温が氷点下でも高い充放電性能を持つため、寒冷地でも街路灯を設置できるようになる。
青色照明 路切自殺防げ JR九州が試験設置 緊張緩める効果	西部読売新聞	2010年4月3日	急増する路切での飛び込み自殺を防ごうと、JR九州(福岡市)は管内の路切の一部に、気持ち落ち着かせる効果があるとされる青色照明を試験的に設置した。青色が心に及ぼす影響は科学的には実証されていないが、先に導入した他社では自殺者が減っている。JR九州は「痛ましい事故を1件でも減らしたい」と効果を期待している。 同社はこれまで、自殺が多い区間に柵を取り付けたり、白い照明を増やしたりしてきた。しかし、深刻な不況を背景に、2009年度に管内で起きた飛び込み自殺は約50件に上り、前年度の22件から急増。特に夜間の自殺が多かった。
ラ・ヴィータ、LED照明の新シリーズ50種を発売	日刊工業新聞	2010年4月5日	ラ・ヴィータは、発光ダイオード(LED)照明「MultiLEDs」シリーズの新製品を発売した。シャープなデザインで立方形の「MultiCube(マルチキューブ)」と、丸く柔らかなデザインの「MUltiRound(マルチラウンド)」の計50種類。年間6000台の販売を見込む。マルチキューブ標準タイプは、同社の従来品に比べ明るさが約2倍で、価格も2万円を切った。同高輝度タイプは消費電力が9・8ワットで、60ワット白熱灯と同等の明るさ。ランニングコストは毎日7時間、15年間使用した場合、一台当たり約4万4000円を節約できるとしている。マルチラウンドは従来品に比べ6倍の明るさ。市販の自動調光器と組み合わせ、明るさを自在に調整できる。
LED照明3割明るく、富士フィルム、部材に参入——拡販フィルム、薄く加工案に。	日経産業新聞	2010年4月5日	富士フィルムは発光ダイオード(LED)照明用部材に参入する。照明のまぶしさを抑える光拡散フィルムを開発。現在主流のアクリル製乳白板に比べ明るさの度合いを示す照度が約30%向上するほか、厚さも約7分の1になり加工しやすい。照度が上がることで消費電力も少なくて済む。長寿命で省エネ性能に優れたLED照明の需要は拡大が見込め、高機能材料の光拡散フィルムを新たな収益源に育成する。
LED照明拡販、販社支援へ技術営業員、三菱電機照明、商談にも参加	日経産業新聞	2010年4月6日	三菱電機照明はLED照明の拡販に向け、販売会社の支援体制を整える。4月から販売会社に技術営業員を派遣し、技術研修を施すほか、顧客との商談にも直接加わる。導入のメリットなどの説明を求めた声が高まっていることにいち早く対応。売上高に占めるLED照明比率を2009年度の1割から12年度までに3割に引き上げる。販売会社の三菱電機住環境システムズに、技術や対費用効果などLED照明の知識が豊富な技術営業員2人を4月から出向させる。同時に、ランプを手掛ける三菱電機オスラムも、同様な人材2人を派遣。計4人が販社に協力する形になる。
LED電球:普及本格化 値下げ続々、エコポイントも追い風	毎日新聞	2010年4月6日	長寿命で消費電力も少ないLED(発光ダイオード)電球の店頭価格が、販売競争の激化を背景に下落している。調査会社GfKジャパンによると、昨秋大手が相次いで発売した当時は小型を含めた平均価格が3800円前後だったが、3月は3200円程度となった。電球全体に占めるLEDの比率も個数ベースで昨年10月の4%から今年3月に13%に拡大。大手各社がシェア確保にしのぎを削る一方、4月からエコポイントによる交換が従来の半分のポイントで済むことも追い風となり、本格的に普及が進みそうだ。
セブンイレブン、省エネ店舗世界に2万店、5年計画、電力消費3割抑制。	日本経済新聞	2010年4月6日	世界最大のコンビニエンスストアのチェーンを運営するセブンイレブン・ジャパンは、環境配慮型店舗を国内外で展開する。LED照明や太陽光発電など日本が得意な省エネ技術を集めた国際標準店舗を開発、5年間で世界約2万店に導入する計画。店の消費電力を最大3割抑制し、CO2排出も削減する。セブンイレブンが大規模な省エネに乗り出すことで、出陣した小売業の環境対策が進む契機となるほか、環境関連市場の拡大にも弾みがつきそうだ。環境配慮型となる「エコ店舗」は国内外の新店を中心に、既存店も改装して導入する。
街路灯LED電球で「受信障害」 浦谷で交換へ 栗原は調査中=宮城	東京読売新聞	2010年4月7日	浦谷町と栗原市の商店街に設置されている街路灯の電球を3月下旬、省エネルギータイプのLED(発光ダイオード)電球に取り換えたところ、「テレビやラジオの受信障害が発生している」と町などに苦情が寄せられていることがわかった。メーカー側は、LED電球を、受信障害対策とした電球に付け替えることを決めた。浦谷町によると、商店街の電力料金の負担軽減のため、町が3月、136基計272個の水銀灯をLED電球に切り替えたところ、今月6日までに、「街路灯が点灯している間、アナログテレビやFMラジオにノイズが入る」という苦情が町に3件寄せられた。
岡山——浅利電機、熱くならないLED照明(列島ダイジェスト)	日本経済新聞 朝刊	2010年4月7日	電子機器製造の浅利電機(岡山市、渡辺信二社長)は器具が熱くならない発光ダイオード(LED)照明を開発し、販売を始めた。セラミックと熱硬化樹脂を原料とする塗料をアルミニウム製基板の裏に塗る。LEDが発する熱を約20%抑える。発光効率が高まり、寿命を延ばせるといふ。外光を感知し照明の明るさを調整する自動調光システムと組み合わせて工場やオフィス向けに売り込み、月100〜200個の販売を目指す。
東京エレデバイス、照明LED化モジュール販売。	日経産業新聞	2010年4月7日	東京エレクトロデバイス6日、発光ダイオード(LED)照明システムを手がけるリンクラプス社が開発した照明装置をLED化するモジュールの販売を開始した。通常はDC(交流)電源で動作するLEDをAC(直流)電源で使用できる。AC12ボルトから240ボルトまで幅広い電圧に対応しており、電圧による調光もできる。産業機器や自動販売機など照明での実用化を想定しており、2010年度で1億円の売り上げを目指している。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
スターライト工業、自動車部品、LED照明用へ参入、放熱する樹脂使用。	日経産業新聞	2010年4月7日	自動車向けの樹脂部品を製造するスターライト工業(大阪市、西郷隆暉社長)は、LED(発光ダイオード)照明用の部品事業を開始する。部品の材料に放熱効果をもつ特殊な樹脂を使う。この部品をLEDの周辺に取り付け、点灯中にLEDが発する熱を外部に逃がし劣化を抑えるという。4月から自動車部品や家庭用照明メーカー向けなどに受注を始める。
パナ電工、「照明ひとすじ」新社長、成長路線を照らせるか	日本経済新聞	2010年4月8日	パナソニック電工の株価が堅調だ。家電や太陽電池、住設機器まで住宅やビル建設にかかわる製品・サービスをパナソニックグループで囲い込む戦略への期待が高まっているのが背景だ。6月18日付でトップに就く長栄周作副社長は新たな成長戦略に発光ダイオード(LED)照明を核に据える。グループのシナジー効果を発揮し、思惑通り成長路線を照らすことができるか。パナ電工の事業構成は水回り設備や建材、制御機器、電子材料など「ほとんど関連のない6事業の集合体」(幹部)で成り立つのが特徴。その中でも長栄氏は自他ともに認める「照明ひとすじの電工人生」を歩いた。
パナソニック電工、海外で有機EL照明の啓発活動本格化	化学工業日報	2010年4月8日	パナソニック電工は、出光興産や液晶製造装置メーカーのタツモと共同開発中の有機EL照明の早期商品化を目指し、海外での啓発活動を本格化する。耐衝撃性を高めた試作品の開発を完了しており、今年から海外の照明デザイナーらと連携し、心理面に与える有機EL独自の照明効果などを検証する。同社は2012年の商品化を目指す。同社は1999年から有機ELの開発に乗り出し、04年にはNEDOの有機LEDの関連プロジェクトに参画。昨年、NEDOの次世代照明開発プロジェクトを受託し、1フット当たりの発光効率40ルーメン、輝度1000カンデラ、寿命2万時間以上の発光パネルの試作に成功している。
パナ電工、有機ELパネル、海外で初の出展。	日経産業新聞	2010年4月8日	パナソニック電工は7日、有機EL照明パネルの試作品を海外の展示会に初めて出展すると発表した。薄さや扱いやすさなどの特徴を照明器具メーカーの関係者などにアピールする。2011年度の商品化をにらみ認知度を高めておく狙いだ。
福建省アモイ市：台湾と戦略提携、LED産業の発展を促進	新華社ニュース	2010年4月9日	中国本土初の「台湾との技術提携・交流国家レベル拠点」である福建省アモイ市は、光エレクトロニクス分野で台湾と産学研連携を広く展開し、発光ダイオード(LED)産業の発展に取り組んでいる。アモイ国家半導体発光デバイス(LED)応用製品品質監督検査センターは今年2月、台湾工研院の太陽光エレクトロニクスLED照明計量実験室と、LED製品の検査とテストで戦略提携を実施することで合意した。
サンケン、LED照明用電源量産、蛍光灯の転用容易に。	日経産業新聞	2010年4月9日	サンケン電気は、蛍光灯型LED(発光ダイオード)照明用の電源モジュール(複合部品)の量産を始めた。小型化により、既存の蛍光灯設備の電源を置き換え可能にし、容易にLED照明へ転用できるようにした。照明メーカーに加え、電気設備会社などにも売り込む。サンプル価格は6000円。当初月3000個、2011年には月10万個の量産を目指す。
アピックヤマダ、LED部品事業参入、素子実装基板、今夏に量産。	日本経済新聞 地方経済面	2010年4月10日	アピックヤマダは発光ダイオード(LED)用の部品事業に参入する。LED素子を実装する基板の量産ラインを今夏にも稼働、2011年度に10億円規模の売り上げを目指す。半導体分野で培ったリードフレームや金型技術を生かし、照明用に需要が急拡大しているLED市場を開拓する。
照明用LED、シチズン電子が生産増強	日本経済新聞	2010年4月11日	シチズンホールディングス子会社のシチズン電子は2010年度中に白色LEDの生産能力を世界で2割引き上げる。中国の拠点再編などで照明向け白色LEDの設備を増強する。シチズン電子は携帯電話向けLEDの世界大手だが、白熱電球から省エネ型のLED照明へのシフトが加速する中、12年3月期に照明向けで世界シェア1割以上を確保したい考え。上海や蘇州など中国3都市に分散していたLED製品の生産拠点を広東省江門市に集約した。江門市では従来の工場に加えて新たに2万平方メートルの建屋を借りており、白色LEDの一貫生産ラインを導入する。福島県と山梨県にある国内拠点の増強も合わせ、投資額は15億円。
有機EL照明、明るさ白熱電球並み、コニカミノルタ、米GE、年度内に実用化	日本経済新聞	2010年4月11日	コニカミノルタホールディングスと米ゼネラル・エレクトリックは共同で、次世代照明として期待される有機EL照明用の光源を2010年度にも実用化する。白熱電球と同水準の明るさを出す試作品開発に成功、今秋までに量産技術を確立する。折り曲げなど加工しやすい特徴を生かし、店やホテルのディスプレイ・インテリアの用途を狙う。試作した有機EL照明光源は、輝度が1平方メートルあたり1000カンデラ、色の特性を示す色温度が3000ケルビンと白熱電球と同水準の明るさ。厚さは500マイクロメートルと薄い。寿命は実用化段階で7000時間を目指す。両社のブランドで照明を売るほか、外販も手掛ける見通し。
コニカミノルタと米GE、有機EL照明、明るさ白熱電球並み、年度内に実用化。	日本経済新聞 朝刊	2010年4月11日	コニカミノルタホールディングスと米ゼネラル・エレクトリック(GE)は共同で、次世代照明として期待される有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)照明用の光源を2010年度にも実用化する。白熱電球と同水準の明るさを出す試作品開発に成功、今秋までに量産技術を確立する。折り曲げなど加工しやすい特徴を生かし、店やホテルのディスプレイ・インテリアの用途を狙う。
照明用LED、シチズン電子が生産増強。	日本経済新聞 朝刊	2010年4月11日	シチズンホールディングス子会社のシチズン電子は2010年度中に白色LED(発光ダイオード)の生産能力を世界で2割引き上げる。中国の拠点再編などで照明向け白色LEDの設備を増強する。シチズン電子は携帯電話向けLEDの世界大手だが、白熱電球から省エネ型のLED照明へのシフトが加速する中、12年3月期に照明向けで世界シェア1割以上を確保したい考え。
ベース照明のLED化ーベースライトのLED化が進むー環境 「LEDNextStage」で効率向上や低価格化を競う	日経アーキテクチャ	2010年4月12日	ダウンライトなどの用途では競争力を持ち始めたLED照明。ただし、オフィスなどのベースライトとして使う場合には、総合的な発光効率や価格面でH(蛍光灯の方が優位)との評価が一般的だ。とはいえ、今後はLEDの性能向上が見込めるうえ、普及が進めば価格も下がる。そうなれば蛍光灯に代わるベースライトとしての需要も増えそうだ。3月9-12日に東京国際展示場で開催された「第3回LEDNextStage2010」では、各社がLEDのベースライトを展示していた。総合効率向上と低価格化を追求
東芝、世界最高水準LED電球技術 明るさ2.8倍、放熱性も向上	FujiSankei Business i.	2010年4月13日	東芝は12日、長寿命で省エネ効果が高いLED(発光ダイオード)電球の明るさを従来製品の2.8倍に高める技術を開発したと発表した。技術レベルでは世界最高水準という。配置を工夫して搭載するLED光源の数を増やし、同時に放熱性も向上させ明るさの増大を実現した。家電エコポイントの交換対象となっているLED電球は、4月から交換に必要なポイント数が引き下げられ、普及に拍車がかかっている。メーカーの参入も相次いでおり、東芝は技術優位性を前面に押し出すことで差別化を図る考えだ。
東芝グループがドイツ照明見本市に初出展 LED電球など訴求	電気新聞	2010年4月13日	東芝と東芝ライテックは12日、ドイツのフランクフルトで11日に開幕した世界最大規模の照明見本市「ライト・アンド・ビルディング」に、同社グループとして初めて出展すると発表した。高出力のLED照明やLED電球など、既存照明をすべてLED化することを目的に開発した6つの商品・技術を展示する。見本市は16日までの会期中開催されている。東芝グループのブースでは、東芝ライテックが開発した「光学技術」「高効率技術」「放熱技術」を活用した6つの開発品を展示している。技術展示のコーナーでは、白熱電球100ワットクラスに対応したLED光源として、従来のLED電球の約2.8倍の明るさを実現したLED電球を出展した。
エーワン、LED蛍光灯を拡販、代理店方式で、栗本鉄工所系と契約。	日本経済新聞	2010年4月13日	エーワンメディテック(金沢市、高木政則社長)は、蛍光灯タイプの発光ダイオード(LED)を代理店方式で拡販する。このほど栗本鉄工所の子会社、栗本商事(堺市)と契約を結び、月間1千本を目標として取引を開始した。オフィスビルなどの省エネが求められる中、消費電力が小さく取り付けやすいLED蛍光灯を販路が豊富な代理店を通じ普及させる。同社DLED蛍光灯は照明器具を改造せずに使用できるなどの特徴があるが、40W蛍光灯タイプ1本で約2万5000円と、アジアからの輸入品に比べて価格が高い。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明で明るさ基準統一、国内業界、11年度までに、「分かりにくい」不満受け。	日本経済新聞	2010年4月13日	国内の照明器具・電球メーカーは省エネ照明として人気を集めている発光ダイオード(LED)の明るさの表示基準を統一する方針を固めた。現状はメーカーごとに異なっており、消費者から「分かりにくい」との不満が寄せられているという。2011年度末までの統一を目指す。照明器具メーカーで構成する日本照明器具工業会と、電球メーカーが加盟する日本電球工業会が電球やLED内蔵照明器具の基準を定める。現在は白熱灯電球の明るさで換算し「40形相当」「60形相当」などと表示したり、光の単位の「ルーメン」や、実際の消費電力量を「ワット」で示したりする手法が混在している。
横浜道路の横須賀PA、エコに改修 EV用充電器やLED照明 ／神奈川県	朝日新聞	2010年4月13日	横浜横須賀道路の横須賀パーキングエリア(PA)を自然環境に配慮した「エコPA」にする改修が終わり、13日にリニューアルオープンする。東日本高速道路では初の試み。電気自動車(EV)用の急速充電器を設置し、太陽光発電によるLED照明に換えるなど二酸化炭素(CO2)排出削減を目的とした技術が導入されている。エコPAに生まれ変わったのは横須賀PAの上下線。これまでも下り線の周辺に樹木を移植し森を整備したり、調整池をビオトープにしたりするなど環境対応に取り組んできた。
ローム：LED照明システムなど、環境分野に注力	毎日新聞	2010年4月13日	半導体大手ロームの沢村論社長は毎日新聞のインタビューに応じ、LED(発光ダイオード)照明システムなど環境関連分野に注力する考えを明らかにした。名誉会長に退いた創業者の佐藤研一郎前社長は公の場に出るのが苦手と知られたが、1日付で専務から昇格した沢村社長は「営業出身を生かし、どんだん外に出てトップセールスをしたい」と述べ、先代との違いをアピールした。半導体業界は海外との競争が激しく、沢村社長は「トップセールスすることで時代の変化に遅れを取らないようにしたい。機敏な対応をしたい」と述べ、記者会見などにも積極的に出席し、社長として説明責任を果たす考えを示した。
見上げればエコ街灯 *道内でLED設置進む*害虫寄せず防犯効果も	北海道新聞	2010年4月13日	地球温暖化防止の機運が高まる中、道内の自治体で街灯を発光ダイオード(LED)灯に交換する動きが活発化している。LEDは消費電力が小さく二酸化炭素(CO2)の排出量を削減できるため、各自治体は「環境にやさしく、電気代も節約できる」と期待。さらに防犯や害虫よけなど、省エネ以外の効果に目を向ける自治体もある。上川管内東神楽町は本年度から5年ほどかけて、水鏡町の街路灯約千基をすべてLED灯にする。本年度は市街地や学校周辺の240基で実施予定だ。
SMD、有機EL事業強化、月産3400万個体制へ増強	化学工業日報	2010年4月13日	サムスン・モバイル・ディスプレイ(SMD)は、有機エレクトロルミネッセンス(EL)の生産能力を増強する。現在3インチ換算で月産300万個のパネルを生産しているが、5.5世代のガラス基板対応設備の導入を進めており、2011年には同3400万個を目指す。これまで携帯電話など小型パネル向けを中心に展開してきたが、大型化についてもめどをつけており、12年には46インチ以上のテレビの生産も行う計画。
LED照明で明るさ基準統一、国内業界、11年度までに、「分かりにくい」不満受け。	日本経済新聞 朝刊	2010年4月13日	国内の照明器具・電球メーカーは省エネ照明として人気を集めている発光ダイオード(LED)の明るさの表示基準を統一する方針を固めた。現状はメーカーごとに異なっており、消費者から「分かりにくい」との不満が寄せられているという。2011年度末までの統一を目指す。
LED照明、海外勢と火花——東芝副社長室町氏、チップ生産1、2年で結論。	日経産業新聞	2010年4月15日	「前回の照明展(2008年開催)ではLEDを展示する企業はほとんどなかったが、逆に今回は展示しない方が珍しい。欧州ではタフな戦いとなる。LEDなど新型照明事業で15年に3500億円の売上高が目標。うち海外分で欧米中心に800億円を目指す」「欧州で東芝は一般照明事業の実績はゼロに等しいが、逆にLED照明に集中できる。独シーメンスの照明部門オスラムやオランダ・フィリップスは、既存の照明事業を維持しながらLEDも並行して進めなくてはならない。そこにチャンスがあるかもしれない」
注目の会社—遠藤照明 商業施設用照明の大手—LED照明で先行、業績V字回復狙う	オール投資	2010年4月15日	次世代照明、LEDへ熱い視線が注がれている。照明メーカー各社が対応を強化するが、中でも遠藤照明の勢いは際立っている。グローバル展開も視野に入れ、LEDで会社の大転換を図ろうとしている。市場拡大が期待されるLED照明。目下、国内外の企業が注力姿勢を鮮明にしているが、中でも際立ったスピードで事業展開を進める企業がある。それが大証2部に上場する遠藤照明だ。遠藤照明は照明器具メーカー。光源自体は外部から調達、同社是对するソケット類を製造し、組み合わせて販売する。顧客は百貨店やスーパーなど商業施設向けが主力だ。
有機EL照明、技術磨き、装置メーカーが開発競争——長州産業、タツモ	日本経済新聞	2010年4月15日	中国地方の装置メーカーが、次世代照明として有望視されている有機EL照明の関連技術の開発を加速させている。太陽光発電パネル製造などを手がける長州産業とタツモは、新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)から基盤技術開発の委託を3月に受け、それぞれ開発装置の増強に乗り出した。有機EL照明は今年度後半から来年度にかけて商品化が始まるとみられており、様々なメーカーの開発競争に拍車がかかっている。長州産業は次世代テレビやカメラ、自動車用ナビゲーションなどに使われる小型有機ELパネルの製造ラインの販売を2005年から行っている。
LED照明、海外勢と火花——三菱ケミカルHD社長小林氏、素材優位、欧州でM&A。	日経産業新聞	2010年4月15日	——グループの米パーベイタムの販路で欧州の白色LED市場に参入する。「パーベイタム・ブランドのDVDは世界シェア4割と首位。欧州の消費者には『三菱』よりもなじみが深い。我が社のLED事業のポイントは素材と販路。素材の蛍光性は長年の技術の蓄積がある。販路はパーベイタムを活用。中間にある製造部分は受託業者を活用しコストを減らす」
LED照明、海外勢と火花——東芝副社長室町氏、チップ生産1、2年で結論。	日経産業新聞	2010年4月15日	欧州で発光ダイオード(LED)照明をめぐる競争が激化しそうだ。独フランクフルトで開幕した世界最大の国際照明展「ライティング+ビルディング」では、世界の電機大手がLEDの最新技術を競った。日本企業は海外勢にどう対抗するの。LED照明で欧州市場に参入する三菱ケミカルホールディングスの小林善光社長と東芝の室町正志副社長に戦略を聞いた。(聞き手はフランクフルト=下田英一郎)
アピックヤマダ、LED用基板を量産、照明向け、耐熱樹脂使う。	日経産業新聞	2010年4月15日	【長野】半導体製造装置やリードフレームが主力事業のアピックヤマダは、照明に使う高輝度発光ダイオード(LED)用基板の受託製造・販売事業に参入する。耐熱性や耐光性の高い樹脂材料を使用した結果、基板内の放熱部品が不要になり、耐久性向上やコスト削減につながるという。基板量産ラインを今夏にも稼働、2011年度に10億円規模の売り上げを目指す。
薄型ディスプレイ展都内開催、次世代機能競う、有機EL、世界最薄の0.1ミリ	日経産業新聞	2010年4月16日	日本電気硝子は樹脂フィルムの代わりにガラス基板でガスを封入する構造にして寿命を延ばしつつ、厚さを約0.1ミリメートルに抑えた有機ELの照明器具を展示した。山形県の研究機関と共同開発した。0.05ミリメートルまで薄くしたガラス基板を使っており、0.1ミリメートルという薄さは同種の製品では世界で最高水準になるという。有機ELは発光するために特殊なガスをフィルムで挟み込む方式が一般的。ただフィルムでは機密性が不十分で、酸素に触れることで劣化し寿命が短くなる可能性があった。同社の実験では、ガラスを使った場合の気密性は一般的なフィルムに比べて高くこれまでの数倍の寿命を実現できるのではないか」と自信を見せる。
カネカ、有機EL市場に参入、照明用など20年度に1000億事業へ	化学工業日報	2010年4月16日	カネカは、有機EL(エレクトロルミネッセンス)市場に参入する。主要材料と関連プロセス技術を独自に開発しており、2020年度には1000億円事業を目指す。「新規事業としてぜひ育てたい」としている。同社の開発した有機ELは照明用で、色温度が2500~6500ケルビンと幅広いことが特徴。有機ELは発光効率の低下から、色温度を下げるのが難しい。既存製品の色温度は2800ケルビン程度だが、同社は白熱球に近く落ち着いた感じを出せる2500ケルビンが可能。このため、飲食店や車内向けに差別化が図れるとして国内外で需要を開拓する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
オプテックス、明るさ自在LED照明、消費電力10分の1、屋外施設向け	日経産業新聞	2010年4月19日	センサー開発大手のオプテックスはLED照明の明るさを自在に制御できる調光システムを開発した。人や車などが近づいた時だけ照明を明るくすることができ、水銀灯に比べ消費電力を10分の1程度に抑えられる。リモコンなどで設定も容易に変更できるため、光の当て方を変える場合でも従来のように改修の必要がない。システムは照明装置とセンサー、コントローラーで構成。108個の白色LEDとレンズを組み合わせた照明は、水銀灯並みの明るさと光の拡散域を確保した。センサーで人や車の接近を感知すると増光する。照明は400ワット、200ワット、100ワット相当を用意。待機時の光量は10～100%の範囲で設定できる。
JETの「研究事業センター」着工 分散型電源対応を強化	電気新聞	2010年4月19日	その他の書誌情報を表示 電気安全環境研究所(JET、末廣恵雄理事)は16日、太陽光発電など分散型電源設備に関する試験設備整備を図って計画された「研究事業センター」の建設工事を開始した。同日には末廣理事長らJET職員と工事関係者による地鎮祭も行われ、工事の無事竣工を祈った。横浜市鶴見区のJET横浜事業所に隣接して建設される同センターには、試験・測定需要増加が見込まれる分散型電源設備と発光ダイオード(LED)照明に関する試験設備が配備されることとなっており、来年1月末に完成、早ければ今年度中の業務開始を予定している。
山形大学／(米沢)有機デバイス研究施設新営他機械設備2入札公告	日刊建設工業新聞	2010年4月19日	山形大学は16日、同大学(米沢)有機デバイス研究施設新営他機械設備工事(その2)の一般競争入札を公告した。参加申請書は27日まで電子入札システムなどで受け付ける。5月7日までに入札書の提出を求め、同10日に開札する。参加資格は山形または宮城県内に本・支店、営業所があり、文部科学省省一般「官」AまたはB等級など 工事概要は、同大学米沢団地構内にRC造5階建て延べ5711平方メートルの新たな研究拠点を建設するにあたり、機械設備工事を行う。工期は10年5月31日まで。工事場所は山形県米沢市城南4の3の16。
ローソン、LED照明導入店2倍、今年度700店に、新店すべて対象。	日経MJ(流通新聞)	2010年4月19日	ローソンは2010年度、看板・照明に発光ダイオード(LED)を使った省エネ型店舗を現在の2倍程の約700店に増やす。これまでの実施店で成果が上がっていることを踏まえ、10年度の新店はすべて省エネ型にする。店舗の電力使用量を平均約7%減らす。他のコンビニエンスストアも導入を進めており、LED照明がコンビニの標準設備になってきた。
LED用放熱部材、熱伝導率、鉄の6倍、帝人、炭素を繊維状に加工。	日経産業新聞	2010年4月19日	帝人は熱伝導性が高い炭素材料を使った発光ダイオード(LED)ランプ向け放熱部材を開発した。LEDや電源の基材を除くすべての部材を樹脂でつくる「樹脂ランプ」の実用化を目指す。先端技術開発センター(山口県岩国市)に設置している試験設備での生産を近くフル稼働に引き上げ、照明メーカー向けのサンプル出荷を拡大する。
パナ電工、LED照明116台、コンビニに納入	日経産業新聞	2010年4月20日	パナソニック電工は19日、阪急電鉄系のコンビニエンスストア「アズナス」の阪神西梅田店(大阪市)に発光ダイオード(LED)照明116台を納入したと発表した。パナ電工のコンビニへの納入事例では過去最大規模となる。従来の蛍光灯と比べ同店舗が照明に使う電力は約16%減った。116台の内訳はダウンライトやシーリングライトなど。アズナスは同店舗をモデルとして店舗のエコ化を進める。
LED「廉価版」を投入 一室複数灯提案に貢献／パナ電工	電気新聞	2010年4月20日	パナソニック電工は、同社従来品より価格を抑えた住宅用LED(発光ダイオード)照明器具、4タイプ30品番を、21日から順次発売する。白熱灯60形器具相当の明るさを持つLEDダウンライト拡散タイプの場合、価格が従来品と比べ約4割安くなっている。30品番合わせて、10年度に10万台の販売を見込んでいる。価格は、ダウンライトが1万5540円～3万4125円、ダウンシーリングが2万0790円～2万2575円、スポットライトが2万9190円、ブラケットが2万0790円。価格を抑えたことに加え、角形タイプや傾斜天井用など豊富な種類をそろえたことで、同社では、LEDによる一室複数灯提案に貢献できるとしている。
遠藤照明、LED照明、国内生産、需要増にらみ迅速に供給	日経産業新聞	2010年4月20日	遠藤照明は19日、商業施設などに設置する発光ダイオード(LED)照明の国内生産に乗り出すと発表した。佐野事業所(栃木県佐野市)に7億円を投じて9月までに月産能力10万台の製造設備を新設。2011年初めから本格稼働する計画だ。これまでは中国とタイの自社工場から日本に供給してきたが、納期を短縮するには国内生産が必要と判断した。中国とタイを含めた同社の生産能力は従来の2倍に高まる。百貨店やドラッグストア、ホテルなどの天井につける照明を生産する。物流拠点である佐野事業所内に製造設備を導入。7億円の投資額のうち、1億6000万円は経済産業省からの環境関連の補助金で賄う。
LGのLEDランプに「高効率エネルギー省機材」認証	朝鮮日報	2010年4月20日	LG電子は19日、ハロゲン代替型LEDランプが、エネルギー管理公団の「高効率エネルギー省機材」認証を受けたと発表した。従来の20ワット級ハロゲンランプを代替するこの製品は、消費電力が4ワットに過ぎない。寿命は5万時間に達し、1日12時間点灯させて10年間使える計算になるが、大きさは従来の製品と同じだ。LG電子は、LED照明分野を成長動力事業に定め、今年1月にハロゲン代替型LEDランプを発売した。また、2月には従来の蛍光灯を代替する平型LEDランプを発売するなど、LED照明市場の攻略を強化している。
シナジーテック、日軽金グループ、小型の植物工場開発、LED使い省エネ。	日本経済新聞 地方経済面	2010年4月20日	照明器具設計・製造のシナジーテック(徳島県阿南市、大栗克俊社長)はアルミ最大手の日本軽金属グループと共同で、発光ダイオード(LED)照明を使った水耕栽培専用の小型ハウスを開発した。プレハブタイプの建物と植物を植栽するケース、棚、循環ポンプ、LED照明、空調機器をセットにし価格を抑えた。植物工場への参入を検討する企業や農業分野を研究する学校向けに売り出した。
シャープ、年度内に白色LED量産一広島・福山の半導体ライン転換	日刊工業新聞	2010年4月21日	シャープは2010年度末にも白色LED素子の量産を福山事業所で始める。福山事業所はイメージセンサーやシステムLSIなど半導体の生産拠点で、旧式のラインがある第2工場をLED生産用に切り替える。投資額は100億円を超えると見られる。白色LEDは液晶モジュールのバックライトや照明用に需要が増えている。シャープは福山事業所に量産設備を導入することで、現在ほとんどを外部から調達している白色LEDの内製率を3割程度に高める。シャープは09年に参入したLED照明事業を強化するとともに、テレビ用にLED搭載の液晶モジュールを大幅に増産する。
オーデリック、LED照明を来月から最大5割値下げ	日刊工業新聞	2010年4月21日	オーデリックは5月から、LED照明製品を最大で約5割値下げする。既存製品330機種種の3分の1以上に当たる120機種が価格見直しの対象となる見直し。今後のLED照明の需要増加を見込み、価格を低下させても、利益を確保できると判断した。住宅や商業施設向けダウンライトなどを中心に値下げし、価格競争力を高める。2011年3月期にLED関連照明事業で22億円の売り上げを目指す。
シャープ白色LED量産	日刊工業新聞	2010年4月21日	福山で年度内 半導体ライン転換 シャープは2010年度末にも白色発光ダイオード(LED)素子の量産を福山事業所(広島県福山市)で始める。福山事業所はイメージセンサーやシステムLSIなど半導体の生産拠点で、旧式のラインがある第2工場をLED生産用に切り替える。投資額は100億円を超えると見られる。白色LEDは液晶モジュールのバックライトや照明用に需要が増えている。
斜め付け用LED電球、パナソニック、発光部下向きに	日経産業新聞	2010年4月23日	パナソニックは22日、電球を斜めにつける照明用の小型(LED)球「LDA6L-E17/BH」など6種類を6月25日から順次発売すると発表した。電球内部でLEDチップを斜めに配置して、光が下に向かうよう工夫した。天井のダウンライトは斜めや横付けが全体の9割を占める。新製品の投入で白熱電球からの切り替え需要を振り起こす。電球内のLEDチップを水平状態から約60度の角度をつけて設置。口金部分を工夫することで、電球部分を回すと発光部を自由に下に向けられるようにしたという。LEDは熱によって発光力が落ちるため、放熱性能を高めることで電球の明るさや寿命を従来製品より大幅に伸ばした。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
有機EL照明採用の一般住宅が完成 初の実用化、普及に期待・山形	山形新聞速報版	2010年4月23日	次世代光源として期待される有機EL照明を採用した一般住宅が山形市馬見ヶ崎に完成した。ルミオテックが出荷しているサンプル用パネルを使い、デザインや製造を県内で手掛けた「山形生まれ」の照明装置。試作品ながら有機EL照明が一般住宅で実用化されるのは初めてで、今後の普及が期待される。照明装置は、住宅設計などの秋葉アトリエの秋葉圭史社長がデザインを手掛け、製造は東根市に主力工場を持つ照明メーカーのオーデリックが担当した。ルミオテックが、昨年4月に東京で開かれた次世代照明技術展に出品した製品と同様の形状。
シーシーエス、美術館向けLED薄型ライン照明	日刊工業新聞Newsウェブ	2010年4月23日	シーシーエスは22日、展示棚や展示ケース内の設置に適した「LED薄型ライン照明シリーズ」を27日に発売すると発表した。色の再現性が高い照明も品ぞろえしており、美術館や博物館、化粧品売り場など向けに売り込む。価格は8000〜7万円程度。3か年で1万台の販売を目指す。
アイリスオーヤマ、LED生産・販売強化、ドラッグ店など販路開拓、小型球追加投入	日本経済新聞	2010年4月23日	生活用品製造卸のアイリスオーヤマ(仙台市、大山健太郎社長)は発光ダイオード(LED)分野の製造販売事業を強化する。今年3月から本格販売を始めた標準型電球が好調なことを受け、今夏から年末にかけて小型球なども追加投入、ドラッグストアなどの販路開拓も進める。LED市場の急拡大が見込まれ、早期に看板事業に育てる。まず今夏をメドに投入するのは、小型球やボール球など。さらに秋から年末にかけてはLEDを使ったインテリア照明関連器具などの販売を検討する。
LED光源製造のベンチャー倒産 モモ・アライアンス /岡山県	朝日新聞	2010年4月23日	東京商工リサーチ岡山支店は、LEDを使った光源の開発・製造で知られるベンチャー企業「モモ・アライアンス」が今月14日、岡山地裁から破産開始決定を受けたと発表した。負債総額は約3億8800万円。発表によると、同社は1989年にモモネットとして設立し、2000年に社名変更、電気電子機器の製造を主業とし、LEDを使った照明や、工業製品の傷や異物をチェックする検査用光源の技術力に定評があった。しかし、開発から量産までに長期間を要することなどで資金繰りが悪化。07、08年7月期は、10億円超の売上高がありながら開発費償却で赤字を計上。
パナソニック電工、5月から東京本社で照明講座	化学工業日報	2010年4月23日	パナソニック電工は、5月25日から東京都港区の東京本社で建築設計者を対象にした照明関連の講習会「あかりワークショップ」を開く。照明の基礎からLED(発光ダイオード)を活用した新たなライティング提案の手法など最新の動向までを学ぶことができる。定員は各講座15人で参加は無料。実施日は第1講座「あかりの基礎」が5月25日と26日、第2講座「あかり実践」が7月29日、同30日、第3講座「あかり計画」が9月30日と10月1日。先着順で第1講座の申し込み期間は5月7日〜17日。照明設計者向けの同社のポータルサイト「P・L・A・M」内の「あかりワークショップ応募サイト」で受け付ける。
鳥海工業、蛍光灯型LED照明を電通大・自治体などから相次ぎ受注	日刊工業新聞	2010年4月23日	鳥海工業は、蛍光灯型のLED照明を大学、企業などから相次ぎ受注、納入した。電気通信大学、鳥根県川本町の公共施設のほか、設計事務所、大手衣料品のフランチャイズ店舗などが導入した。一連の受注実績を足がかりに今後とも販路の拡大を進め、大手メーカー、流通業などからの大型受注につなげる考え。鳥海工業は、蛍光灯型LED照明「ECOLUX(エコルクス)」の40ワット型66本を電気通信大学の3教室に納入。また同社の販売代理店であるケイショウ(松江市)を通じて鳥根県川本町の旧中央公民館の講堂、事務所、会議室に40ワット型80本、20ワット型9本の計89本を供給した。
展示場にLED照明、INAX、CO2年23トン削減。	日経産業新聞	2010年4月23日	INAXは22日、名古屋市のショールームの一部の照明を発光ダイオード(LED)照明に切り替えたと発表した。二酸化炭素(CO2)排出量削減につながるとして、残りの照明も順次切り替える。全体を切り替えると、年間23・1トン分のCO2排出量削減につながるという。
クリアー、LED照明、電源も寿命4万時間——業界で最高水準、交換の手間省く。	日経産業新聞	2010年4月23日	LED照明開発のクリアー(東京・中央、宮本和則社長)は業界最高水準の長寿命を実現したLED照明製品を商品化する。LED照明は光源が4万時間と長寿命だが、駆動させる電源部の寿命が短いため、早く交換する必要がある。同社は光源と同レベルの寿命を持つ電源を開発し照明器具に内蔵した。メンテナンスの手間が省ける利便性を武器に企業や自治体に売り込む。
パナ・東芝の土俵にシャープ参入 LED照明「法人需要」争奪戦	週刊ダイヤモンド	2010年4月24日	「パナソニックが提示した、採算度外視の破格の条件には、とても太刀打ちできなかった。ある東芝幹部はため息をつく。この3月、東京都墨田区で建設中の「東京スカイツリー」のライトアップ用LED照明を、パナソニック電工が受注した。受注額は約3億円と見られる。落札に当たっては、老舗照明メーカーの意地をかけて、パナソニックと東芝が競り合った。スカイツリーだけではなく、来年に開通する東京臨海大橋をはじめとして、「東京都内だけでも、数千万円以上の大型案件が20〜30件ある」という。景観照明、ショッピングモール照明など、大型受注を見込める法人需要をめぐり、激しい受注争奪戦が繰り広げられている。
食品に優しいLED照明 IDEC ショーケース用発売へ	産経新聞	2010年4月24日	制御機器大手のIDECは、スーパーやコンビニエンスストア、洋菓子店などの冷凍・冷蔵ショーケース用の発光ダイオード(LED)照明ユニットを、28日に発売する。LEDは蛍光灯に比べ消費電力が約4割で、平均寿命は3・3倍の約4万時間。光に熱をほとんど含まないため、食品などに熱い商品への影響が少ないとされる。同社は独自設計の光学レンズを組み合わせた、オープン式や扉開閉式などケースの形状に合った光の当たり方を、照射角度80度▽同120度▽両側面に各40度—の3種類から選べるようにした。
豊田合成、LED生産能力2倍、パソコン・照明用、13年3月期までに。	日本経済新聞	2010年4月26日	トヨタ自動車系の部品メーカー、豊田合成はLEDを大幅増産する。2013年3月期までに生産能力を現在の2倍の年間100億個規模に引き上げる。開発費を含む投資額は11年3月期だけで100億規模の見通し。世界シェアの約6割を持つパソコンのバックライト用LEDのほか照明用などの供給体制を強化。自動車部品が苦戦する中でLEDを収益源の柱に育てる。豊田合成は現在、平和町工場(愛知県稲沢市)を中心にLEDを年間50億個規模で生産し、佐賀工場で最終工程にあたる検査を手掛けている。増産に向けて佐賀工場でも年内をメドに生産を始める。
タイ照明大手、LED型増産、L&E、アジア外にも輸出—子会社設立、ライン拡充	日経産業新聞	2010年4月26日	タイ照明機器大手のライティング・アンド・エキップメント(L&E)は発光ダイオード(LED)照明事業を強化する。新たに専門の生産子会社を設立、生産ラインも増設する。省エネルギーで長寿命のLED照明は世界中で需要拡大が見込める。L&Eはアジア域内だけでなく欧米への輸出拡大も目指し、2015年には売上高全体に占めるLED照明の比率を2割まで高める計画だ。LED照明の生産部門を分社化し、4月中にも全額出資子会社「L&Eソリッド・ステート」を設立する。新会社の資本金は1000万バーツ(約3000万円)。分社化で増産対応などの意思決定を速める狙いがある。
豊田合成、LED生産能力2倍、パソコン・照明用、13年3月期までに。	日本経済新聞 朝刊	2010年4月26日	収益の柱に育成 トヨタ自動車系の部品メーカー、豊田合成はLED(発光ダイオード)を大幅増産する。2013年3月期までに生産能力を現在の2倍の年間100億個規模に引き上げる。開発費を含む投資額は11年3月期だけで100億規模の見通し。世界シェアの約6割を持つパソコンのバックライト用LEDのほか照明用などの供給体制を強化。自動車部品が苦戦する中でLEDを収益源の柱に育てる。
スタバがエコ店舗、福岡、LED照明など採用。	日経MJ(流通新聞)	2010年4月26日	スターバックスコーヒージャパンは26日、福岡市に環境に配慮して設計した店舗を出店する。店内照明には発光ダイオード(LED)を採用して消費電力を削減。店舗で廃棄されるコーヒー豆の絞りかすを利用したテーブルを配置した。環境負荷を減らすと同時に、同社初の「エコ店舗」として集客に生かす狙い。
有機EL、高機能化へ産学連携、九大が拠点、材料開発など狙う	日本経済新聞	2010年4月27日	九州大学は有機ELの最先端研究を強化する。京大や広島大など8大学のほか、素材・電機・装置メーカー約10社と次世代の発光機構や、3次元(3D)ディスプレイ、有機半導体レーザーなどを開発する。新たに「最先端有機光エレクトロニクス研究センター」(OPERA)・センター長、安達千波矢教授)を発足。内外の研究機関と連携し、アジアの有機EL開発の中核拠点を狙う。26日、参加企業と大学を招き説明会を開いた。OPERAは当面は既存設備を活用するが、2011年夏をめどに伊都キャンパスに3階建て、延べ床面積2400平方メートルの研究棟を新設する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パナ電工、営業益、3年後2.1倍に、LED照明強化、中国で7割増収計画。	日経産業新聞	2010年4月28日	パナソニック電工は2012年度までの3か年の中期経営計画を発表した。アジアと環境分野に注力し、12年度の売上高を09年度比11%増の1兆6200億円、営業利益を同2.1倍の770億円に高める。国内の電設資材などが低迷しており、成長分野に経営資源を集中する。環境分野では発光ダイオード(LED)照明事業の売上高を15年度に09年度の8.1倍の1000億円に引き上げる。まぶしさを抑えるなどして快適性を高めた商品を投入し、中国や欧米を含めたグローバル展開も加速する。パナソニックや三洋電機と連携したエネルギーマネジメント事業にも力を入れる。
光波、取り付け作業を容易にしたLED照明器具投入	日刊工業新聞	2010年4月28日	光波は取り付け作業を容易にした発光ダイオード(LED)照明器具「ボードライト910」を完成、7月をめどに発売する。販売価格は4万円程度となる見込み。主にオフィス照明としての採用を目指す。天井裏にある梁(はり)や下地に直接ビス止めが可能。天井ボードをはる感覚で取り付けができる。さまざまなオフィスのレイアウトに対応した。ビスは8カ所固定する。天井の開口や補強工事などが不要で、導入時の作業負担の軽減につながる。取り外しが容易なため、間仕切りなどの変更時にも移動作業がしやすい。ボードのサイズは910ミリ×227ミリメートル。LEDの設計寿命は4万時間で消費電力は47ワット。動作温度はマイナス20度C—プラス40度C。
CO2削減、節電効果も*エコ街路灯 管内で拡大* 釧路市、設置費用助成へ	北海道新聞	2010年4月28日	釧路管内の自治体や町内会で、街路灯を発光ダイオード(LED)など環境配慮型照明に切り替える動きが広がっている。LEDは二酸化炭素(CO2)の削減に加え節電効果も高く、さらなる普及を目指して交換費用の補助に乗り出す自治体も出てきた。釧路市黒金町黒金明町町内会が町内会で管理する28カ所の街路灯をLED照明に交換した。従来の白熱灯より消費電力が減り、町内会で負担する電気料は年間1万1千円程度で済む見通し。北上後一会長は「極めて有効」と話す。
前橋市役所を省エネ化、LED照明や断熱フィルム。	日本経済新聞 地方経済面	2010年4月29日	前橋市は市役所の省エネ化を進める。1階と2階で消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明を導入するほか、一部の窓に特殊なフィルムを張り付けることで冷暖房の使用を減らす。設備の改修によって光熱費の負担を減らすほか、訪れる市民の省エネ意識を高める狙いがある。県内の自治体でこうした取り組みは珍しい。
大光電機照明デザイナー高木英敏さん	日経産業新聞	2010年4月30日	飲食店や家庭で発光ダイオード(LED)照明を目にする機会が増え始めた。シャープなど大手電機メーカーが電球の振販に知恵を絞る一方、住宅などの照明のあり方を提案し顧客をつかんでいるのが照明器具メーカーの大光電機だ。その先頭に立つ照明デザイナーの高木英敏さん(42)は顧客と対話し、現場を巡りながら「美しい住宅のあり方」を追求している。「どこ照らしたらいいの?」「夜の現場に行かないで何がわかる?」、住宅メーカーの社員やインテリアコーディネーターを前に、高木さんは関西なまりの熱弁をふるう。講演回数は年100回超、多いときには聴衆が1日で300人に及ぶ。
白色LED消費電力3分の1、三菱化学、15年に売上高200億円。	日本経済新聞 夕刊	2010年4月30日	三菱化学は照明などに使う白色発光ダイオード(LED)の消費電力を3分の1に減らせる技術を開発した。素子の基板に、従来の窒化ガリウム薄膜の代わりに結晶を使って発光効率を上げた。結晶は2012年に発売し、15年に売上高200億円を目指す。LEDは白熱電球に比べ消費電力が10分の1と低いが、これをさらに抑えられれば家庭の電力消費を減らせ普及に弾みがつく。
光波、厚さ1センチLED照明、補強不要、天井に直付け。	日経産業新聞	2010年4月30日	タムラ製作所傘下の光波は厚さ約1センチメートルの薄型発光ダイオード(LED)照明を開発した。一般的なオフィスの天井と同厚さを確保。天井に埋め込んで一体化できるため地震に強いという。特別な補強工事が要らないため設置費用を抑えられる利点もある。7月から量産し、省エネ性能や耐久性を売りにオフィスや店舗向けに売り込む。
シグマ電機工業社長鹿瀬賢二氏——蛍光灯形LED、収益源に	日本経済新聞	2010年5月1日	電子機器製造のシグマ電機工業が、蛍光灯形のLED照明を新たな収益源に育てようとしている。陣頭指揮を執るのは、昨年4月、創業者である父の跡を継いだ42歳の鹿瀬賢二社長だ。企業規模は小さいが、長年シャープの下請けとして携帯電話の基板実装などを手掛けて、コスト競争力を磨いてきた。LED照明でも製品の費用対効果には自信があるという。——LED照明の市場は競争が激しい。何を売り物にするのか。「昨年、蛍光灯形の第1号製品として40ワット形で消費電力が16ワット、1メートル直下の照度が370ルクスの製品を発売した。小回りのきく強みを生かし、今後も顧客の要望を製品開発に反映させていく」
LED電球商戦点灯——町の電器店も売り込み、顧客回りで需要を開拓。	日経MJ(流通新聞)	2010年5月3日	地域の電器店も有望商材であるLED電球の売り込みに動き出した。シグマ高山の石田利夫社長は4～6月に300個の販売目標を掲げ「顧客との話題に必ずあげろ」と従業員に励ましかける。最近では顧客から「長持ちする電球が出ていますよ」と問われる機会が増えた。「消費者がこれほど興味を持つ商材も珍しい。エコポイントで買いやすくなったのも追い風だ」と語る。地域の優良顧客の自宅を訪問し、家電の買い替えを促すのが一般的な電器店の販売スタイル。電球の交換は顧客宅に上がり込むチャンスだ。10年交換不要をうたうLED電球の普及は営業の機会損失につながると思える向きもあるが、石田社長は意に介さない。
LED電球商戦点灯——値下げ競争白熱、商品多様化価格手探り	日経MJ(流通新聞)	2010年5月3日	発光ダイオード(LED)電球の商戦が過熱してきた。従来の電球などに比べ消費電力が小さく、長持ちする特性が広く認知されたうえに、新規参入が相次ぎ低価格化も進行。購買層のすそ野が広がっている。ただ、メーカーや販売店にとっては有望商材にだけに、需要に点火するはいえ急激な値下がりには悩ましい事態。いかに利益を確保しながら売り上げを伸ばすか、作り手、売り手の模索が始まった。4月末、東京・池袋のヤマダ電機LAB11日本総本店池袋を訪れた。さいたま市在住の56歳男性は地下1階の売り場でLED電球を購入した。その数は実に22点、約7万2000円分。「この機会に家中の電球をかえようと思って」と話す。
LED電球商戦点灯——町の電器店も売り込み、顧客回りで需要を開拓。	日経MJ(流通新聞)	2010年5月3日	地域の電器店も有望商材であるLED電球の売り込みに動き出した。シグマ山田(東京・世田谷)の石田利夫社長は4～6月に300個の販売目標を掲げ「顧客との話題に必ずあげろ」と従業員に励ましかける。
パナソニック、幅広い電圧対応、LED駆動IC。	日経産業新聞	2010年5月3日	パナソニックは、幅広い電圧で発光ダイオード(LED)を点灯させられる駆動IC=写真=を開発した。携帯電話の液晶画面のバックライトからランタンまで、様々な用途に利用できる。3～20ボルトまでの電圧でLEDを駆動できる。5月末から1個100円でサンプル出荷を始める。
LED電球商戦点灯——「台風の日」アイリスオーヤマ、低コスト量産、HCに販売網。	日経MJ(流通新聞)	2010年5月3日	新規参入が相次ぐLED電球市場で「台風の日」と目されるのがアイリスオーヤマだ。部品点数を抑えた独自の製品設計と、中国・大連の自社工場をフル活用した「低コスト・大量生産」により価格競争力で一歩リード。ホームセンター(HC)などの販路を通じて一気に高シェア獲得を狙う。
岩崎電気、防爆用照明にLED、工場・プラントに提案	日刊工業新聞	2010年5月5日	岩崎電気は工場や石油プラントなど向けの防爆用照明として、LEDを搭載したタイプを完成、5月に発売する。消費電力は20W。明るさを維持し、従来の防爆用白熱灯の消費電力200Wと比べ、90%省電力化した。直付、投光器、透視灯の各タイプを用意している。
岩崎電気、工場・プラント向け防爆用照明にLED搭載タイプを追加	日刊工業新聞	2010年5月5日	岩崎電気は工場や石油プラントなど向けの防爆用照明として、発光ダイオード(LED)を搭載したタイプを完成、5月に発売する。従来の防爆用途では光源にセラミックメタルハライド灯や水銀灯、白熱灯などを中心に利用してきた。省エネルギー性が高く、省スペース化にも役立つLED照明への切り替えを提案していく。照明器具タイプの消費電力は20ワット。明るさを維持し、従来の防爆用白熱灯の消費電力200ワットと比べ、消費電力を約90%省電力化した。
OLED照明、2013年までに家庭に普及へ	朝鮮日報	2010年5月6日	知識経済部は5日、有機発光ダイオード(OLED)照明の開発・普及計画を発表した。それによると、当面は2013年までに一般家庭に普及させることを目標としている。これまでの発光ダイオード(LED)照明とは異なり、OLEDは導光板(明るさを一定レベルに調節する装置)や放熱板(発生する熱を外部に放出する装置)が必要なく、さまざまな形にすることが可能な高付加価値照明器具だ。水銀や鉛などの重金属を使う必要もなく、非常に薄く(2～3ミリ)することもできる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明、販売代理店を倍増、シャルレライテック、今秋、家庭向け参入。	日本経済新聞	2010年5月7日	発光ダイオード(LED)照明販売のシャルレライテック(横浜市、馬場博明社長)はLED照明の販売代理店を2010年度末までに現在の2倍に増やす。企業や地方自治体など業務用の販路を拡大し、今秋には家庭向け市場にも参入する。消費電力が少ないとして市場拡大が見込めることに対応。10年度に売上高20億円を目指す。同社は台湾企業で委託生産したLED照明を販売している。自治体の防犯灯用や企業のオフィス用、小売店舗用など業務向けLED照明の販売代理店を現在の約10社から10年度末に20社程度に増やす。
シーシーエス、集客施設LED参入、百貨店・美術館向け、環境配慮志向に対応	日本経済新聞	2010年5月7日	LEDメーカーのシーシーエスは集客施設向けのLED事業に本格参入する。独自開発した自然光に近いLEDの新製品の発売や開発を加速する。環境配慮志向の高まりを背景とした。百貨店や美術館などでのLEDへの切り替え需要を取り込む狙い。同社は半導体などの製造ラインに組み込み検査用LEDを、国内シェア6割を占める主力製品としていた。このほど、美術館や博物館向けの主力製品として「薄型ライン照明シリーズ」を発売。自然光に近いLEDは、展示品や商品の色合いを忠実に再現するのに適しているという。3年間で1万台の販売を見込む。
LED道路照明技術評価／6月30日まで募集／大阪府	建設通信新聞	2010年5月7日	大阪府は、LED(発光ダイオード)を使用した道路照明灯を積極的に導入するため、2009年度に創設した「大阪府LED道路照明技術評価制度」の認定製品を募集している。応募は6月30日まで、都市整備部交通部道路環境課で受付により受け付ける。面接や試験設置などを経て、10月ごろに審査結果を公表する予定だ。参加資格は、日本国内に本店登記するメーカーなど。募集する製品は、自社で開発設計し、道路照明灯として性能や経済性、維持管理性、環境負荷削減に関して優れているもの。定格消費電力を160W未満に設定し、二酸化炭素排出量削減に寄与する商品であることが条件だ。
出光、LED照明部材、曲げても全面発光、透過率高い樹脂製。	日経産業新聞	2010年5月7日	出光興産は折り曲げられる発光ダイオード(LED)用の樹脂製部材を開発した。曲げた状態でも光を面全体に発することができるほか、現在主流の照明用部材に比べ光の透過率が高く、光沢感が出やすいのが特長。公共空間の円柱などに取り付ける面状のLED照明や広告のバックライトの用途を見込み、2年後の実用化をめざす。
LEDの活用自治体活発に——歩道の誘導ブロック、防犯灯に導入	日本経済新聞	2010年5月8日	長野県内の自治体が発光ダイオード(LED)の活用を加速している。諏訪市は2010年度、玄関口のJR上諏訪駅から諏訪湖までの歩道にLED内蔵の誘導ブロックを敷き、飯田市は地元企業と組んで防犯灯をLED型に切り替える。長寿命で省電力、二酸化炭素(CO2)の排出量削減につながる照明で環境配慮をアピールしつつ、観光客の誘致拡大に向け話題づくりも狙っている。東京・新宿と長野県を結ぶ特急「あずさ」の全列車が停車するJR上諏訪駅。県内最大の湖、諏訪湖をすぐ近くに望み、湖畔の温泉街などを目的に毎年多くの観光客がやってくる。しかし改札口は湖の反対側で、「湖までの道順が分かりづらいとかねとより不満の声が出ていた。
救世観音立像 美しく浮かぶ LED照明で	大阪読売新聞	2010年5月8日	斑鳩町・法隆寺の東院伽藍にある夢殿で、本尊の秘仏・救世観音立像の特別公開が行われている。今回初めてLED照明器具を取り付けており、美しく浮かび上がった像を拝観できる。クスノキの一木造りで高さ1.79メートル。法隆寺を創建した聖徳太子の等身像とされ、明治時代まで白布に包まれていた。現在は春と秋に公開されている。仏像の構みに影響する熱や紫外線を出さないLEDは、すでに金堂と大講堂に導入されている。夢殿では、厨子内の左右と、両脇にある行信僧都や道隆律師の坐像の厨子上部に設置。これまで暗く見えにくかった救世観音立像の神秘的な顔立ちや、透かし彫りの宝冠、金箔で輝く様子などが金網越しでもよくわかる。
上新電機、LED販促狙い、白熱電球下取り。	日本経済新聞 地方経済面	2010年5月8日	上新電機は8日、発光ダイオード(LED)電球の買い替えキャンペーンを始める。2000円以上のLED電球1個の購入につき、不要になった白熱電球1個を引き取って200円値引く。家電販売の約170店で数カ月続ける。
LEDの活用自治体活発に——歩道の誘導ブロック、防犯灯に導入(信州リポート)	日本経済新聞 地方経済面	2010年5月8日	長野県内の自治体が発光ダイオード(LED)の活用を加速している。諏訪市は2010年度、玄関口のJR上諏訪駅から諏訪湖までの歩道にLED内蔵の誘導ブロックを敷き、飯田市は地元企業と組んで防犯灯をLED型に切り替える。長寿命で省電力、二酸化炭素(CO2)の排出量削減につながる照明で環境配慮をアピールしつつ、観光客の誘致拡大に向け話題づくりも狙っている。
LED照明、東芝が一貫生産、素子内製化、コスト競争力	日本経済新聞	2010年5月10日	東芝は発光ダイオード(LED)照明の基幹部品である素子の自社生産に乗り出す。北九州市の半導体工場で約100億円を投資し、2011年初めに量産を開始。今年度からLED照明で中国など新興国市場に進出する計画で、内製化でコスト競争力を高める。日本勢でいち早く素子から器具まで一貫生産する体制を整え、フリリプスなど海外勢に対抗する。北九州工場でラインを改造し、LED素子を生産する。材料には直径4インチのサブワット基板を採用、蛍光体を組み合わせて白色LEDにする。まず自社のLED照明に使うほか、外販も検討する。
東芝は反発 今期最終損益は700億円の黒字予想	日経速報ニュース	2010年5月10日	4営業日ぶりに反発。朝方は前週末比10円高の531円まで上昇した。前週末まで3日続落した反動で買いが優勢になった。7日に2011年3月期の連結最終損益(米国会計基準)が700億円の黒字(前期は197億円の赤字)で黒字に転換する見通しだと発表した。東芝は、メモリーを中心に半導体事業と原子力発電など社会インフラ事業の収益増を見込む。野村証券の山崎雅也シニアリサーチオフィサーは「7日付のリポートで、NAND型フラッシュメモリー事業については「寡占化と微細化の進展で収益性改善が進んでいる」と評価したものの、11年3月期予想については「意外感はない」と冷静な見方を示した。
遠藤照明、LED好調で最終黒字	日本経済新聞	2010年5月10日	10年3月期はLEDの販売が下期から急拡大。従来予想より減収幅が縮小。デリバティブ評価差益の発生もあり最終黒字予想に転換。11年3月期はLEDの需要が引き続き好調に推移し増収増益へ。佐野事業所に7億円を投じてLEDの生産設備を新設。11年初めから本格稼働する。
今後は、効率的な照明機器導入が64・8% 21年度中小白書、投資による省エネ取組	石油通信	2010年5月10日	中小企業庁の21年度中小白書によると、中小企業の投資による省エネの取組は(1)高効率な照明機器の導入(LED等)9・7%(2)照明制御装置の導入(人感センサー等)7・5%(3)空調機器制御装置の導入(インバーター等)7・4%(4)設備機器の台数制御を実施4・2%(5)高効率空調機器の導入(ビル用マルチエアコン等)3・6%(6)高効率な熱源機器の導入(高効率ボイラー等)2・9%(7)太陽光発電の導入1・9%(8)高効率なエネルギー供給システムの導入(コージェネレーション等)0・9%となっている。
LEDで演出 夜バラ観賞	中国新聞	2010年5月10日	香木の森公園(島根県邑南町矢上)のバラ温室で7日夜、夜の観賞会が始まった。ルイス・キャロルの児童文学「不思議の国のアリス」をテーマに、温室内の紅白のバラをLED照明で照らし、幻想的なムードを演出している。花が高温でしおれない夜間に見てもらおうと、昨年初めた企画。今回は町の招きで、大阪の「御堂筋イルミネーション」を手掛けた照明デザイナー 長町志穂さんが担当。20台の投光機を使い、紅白のバラを「アリス」に登場する白の女王、赤の女王に見立てて浮かび上がらせるなどした。
LEDで明るさ21段階——ティアック	日本経済新聞	2010年5月11日	米アップルの携帯音楽プレーヤー「iPod」、多機能携帯電話「iPhone」向けのスピーカー、天井部には明るさ21段階で調整できる発光ダイオード(LED)がついており、枕元などでの照明としても利用できる。起床時間の30分前から徐々に照明を明るくして自然な目覚めを促す「目覚ましタイマー」、設定時間に向けて徐々に暗くなる「スリープタイマー」といった機能もつけた。充電器やラジオとしても使える。(オープンだが店頭想定は2万円前後。販売中)
サムスン、電池など1.9兆円投資、10年間で成長5分野に。	日本経済新聞 夕刊	2010年5月11日	ソウル=尾島雄雄】韓国のサムスングループは11日、リチウムイオン電池や発光ダイオード(LED)など成長5分野の設備投資や研究開発で2020年までに2兆3000億ウォン(約1兆9000億円)を投じる計画を発表した。20年に新分野で50兆ウォンの売上高を目指す。いずれの分野も日本メーカーが成長を見込んでおり、競合が激しくなるのは確実だ。
堀場製、今期純利益58%増。	日本経済新聞 朝刊	2010年5月11日	堀場製作所は10日、2010年12月期の連結純利益が前期比58%増の50億円になりそうだと発表した。従来見通しを18億円上回る。半導体や発光ダイオード(LED)製造装置向けの機器の需要が拡大しているため。経費削減も寄与する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明、業務用に光、トランプ、水銀灯の代替品、テクノス、自然な色を演出	日本経済新聞	2010年5月12日	中小メーカーがLED照明で業務用の市場を開拓している。物流拠点に取り付けられる水銀灯の代替品や、色を正確に判別できる印刷工場向けの照明などを開発。家庭用のLED照明は家電大手の相次ぐ参入で価格競争が激化し、中小の販売力では太刀打ちできなくなった。特徴のある技術でずき間の市場を掘り起こし、活路を開く。LED照明開発のトランプは水銀灯の代わりに使う製品を開発した。水銀灯は物流拠点や工場の資材置き場を高所から照らすため、400ワット程度の高出力が必要で、通常の照明より熱が発生しやすい。新製品は形状の工夫で熱を放出しやすくし、熱に弱いLEDチップを保護する。防水性も高い屋外に設置可能にした。
LED照明、業務用に光——家庭用は大手の独壇場、消費者に浸透、市場、急速に広がる	日本経済新聞	2010年5月12日	富士経済(東京・中央)によるとLED照明の国内市場は2015年に09年の4倍強の約1342億円で拡大する見通し。けん引役は従来の蛍光灯や白熱電球を置き換える家庭向けだが、現在の家庭向け市場は大手メーカーの独壇場だ。ただ大手が家庭向けで広告宣伝を強化したことで、LEDの認知度が急上昇したのも事実。中小が家庭向け市場の開拓を進めていた2~3年前は、LEDのメリットを理解してもらおうのが大変だった。今では営業の現場で電気代の削減や空調の効率化といったメリットを訴えやすくなったという。コスト面の効果に企業は敏感だ。
LED照明、業務用に光、得意の技術でずき間市場開拓——トランプ、テクノス。	日本経済新聞 朝刊	2010年5月12日	トランプ 水銀灯の代替品 テクノス 自然な色を演出 中小メーカーが発光ダイオード(LED)照明で業務用の市場を開拓している。物流拠点に取り付けられる水銀灯の代替品や、色を正確に判別できる印刷工場向けの照明などを開発。家庭用のLED照明は家電大手の相次ぐ参入で価格競争が激化し、中小の販売力では太刀打ちできなくなった。特徴のある技術でずき間の市場を掘り起こし、活路を開く。
IDEC、LEDで攻勢、「オーダー照明」展開、ビルや店舗内こまめに調整。	日経産業新聞	2010年5月13日	制御機器大手のIDECが発光ダイオード(LED)照明を成長の柱と位置付け、事業拡大に本腰を入れ始めた。建物や空間に合った明るさや配光、サイズなどを調整できる「オーダー照明」を武器に、大手メーカーとは違う独自路線で攻勢をかける。主力の制御用スイッチの不振などで業績低迷に苦しんだIDECだが、LEDなど新事業をテコに巻き返しを図る。「LEDは今後、化ける可能性がある」。12日に2012年度までの中期経営計画を発表した席上、船木俊之会長兼社長はLED事業の成長に並々ならぬ期待を示した。
デザインのカ〜県内ものづくりの現場から(6・完) 有機EL照明 秋葉圭史さん	山形新聞	2010年5月13日	次世代光源として注目を集める有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明。製造技術に課題は残るが、県内でサンルパパネルの出荷が始まり実用化へ一歩近づいた。一方で有機ELはまだ「未来の話」というイメージが強い。生活に結び付けるには用途提案を含めたデザイン力が鍵を握ってくる。「まったく新しい素材。電球や蛍光灯の代替という考えを打ち破ることがスタートになる」。住宅や大型施設の設計監理を手掛けた秋葉アトリエ(山形市)代表の秋葉圭史さん(42)は、自らがデザインを手掛けた有機EL照明「Floating(浮遊)」を指しながら語った。
LED、電球の過半に、4月販売額、単価下落進む。	日本経済新聞 朝刊	2010年5月13日	全国の家電量販店で電球全体の販売額に占める発光ダイオード(LED)電球の割合が4月、初めて過半に達した。約4千店の家電量販店の販売データを集めているGKジャパン(東京・中野)によると、4月のLED電球の構成比は約56%と3月から7ポイント上昇した。昨年4月に65%だった電球形蛍光灯は28%まで低下し、省エネ性能を強みにLEDが電球の主力になりつつある。
東芝機械、高輝度LEDパッケージ用金型・鏡面切削技術を確立	化学工業日報	2010年5月14日	産学連携の半導体ベンチャー、ナトライト・セミコンダクターは東芝子会社の東芝マテリアルと共同で、次世代の白色LEDを開発した。同社が得意とする紫外線LEDを利用し、従来の「疑似白色」とは違う自然な色合いを出せるのが特徴。携帯電話、テレビ、照明など幅広い用途にのみならず、量産化への準備を進める。両社が共同開発に成功した新方式は、ナトライト社が製造するLEDチップが発する目に見えない紫外線を、特殊な蛍光体を透過することで、可視光線のレベルの波長に活性化し、白く光らせるもの。色の調整がないため、自然に近い白色が出せる。現在の白色LEDは色合いの自然さを示す数値が80以下だが、新方式なら95以上に達するという。
パナ電工、LED照明器具、東南アで買収も、中国では普及価格帯に注力。	日本経済新聞	2010年5月14日	パナソニック電工の社長に6月18日付で就任する長岑周作副社長は13日、発光ダイオード(LED)照明事業の海外展開を急ぐため、東南アジアで器具メーカーのM&A(合併・買収)を検討する方針を明らかにした。中国では中間所得層向けのボリュームゾーン(普及価格帯)商品に投入。海外売上高比率を2018年度に40%(09年度は19%)まで高める。「同社は15年度にLED照明事業の売上高を1000億円(09年度は124億円)に増やす計画。「東南アジアは(照明器具を組み立てる)生産設備が足りず、市場開拓を急ぐには現地企業との資本提携やM&Aを考える必要がある」と語った。
蛍光灯型LED照明、JFEエンジが参入、台湾社と提携、従来の半額	日本経済新聞	2010年5月14日	JFEエンジニアリングは近く、蛍光灯と比べて消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明事業に参入する。台湾の新世紀光電(GPI)と提携し、従来の半額に抑えた蛍光灯タイプの照明を企業や自治体向けに販売する。空調や発電など他の省エネルギー技術と組み合わせ、工場やオフィスによる環境負荷の低減につなげる。価格は40ワットの蛍光灯型が1本8000円程度とし、工事費は20本取り付ける場合で同約1000円、60ワットの電球型は市場価格を下回る1個2000円以下とする。2010年度は蛍光灯タイプと電球タイプをそれぞれ15万本販売し、合計15億円の売り上げを見込む。14年度は合計50億円に引き上げる計画だ。
LED照明、発熱20%減、浅利電機、事業所向けに発売。	日本経済新聞 地方経済面	2010年5月14日	電子機器製造の浅利電機(岡山市、渡辺信二社長)は独自開発した発光ダイオード(LED)照明の全国販売を始めた。特殊な塗料を外装部品に塗ることで熱を逃がすのが特徴で、熱くならないが、LEDが長持ちするという。電子部品商社の中外(名古屋市中)を通じ、主に事業所向けに売り込む。初年度5000万円の売り上げを見込む。
シャープ、LED素子内製化、液晶向けに年内量産、150億円投資	日経産業新聞	2010年5月17日	シャープは液晶パネルのバックライトに使う発光ダイオード(LED)の素子を生産化すると発表した。約150億円を投じて福山工場(広島県福山市)などに設備を導入し、年内に量産を始める。LED素子を自社生産することにより液晶パネルの一貫生産体制を築こうとした。新たに生産するのは青色LED素子。黄や緑の蛍光体と組み合わせると白色LEDをつくる。白色LEDは省エネや薄型化につながるため、液晶テレビのバックライトとして採用が進んでいる。
JFEエンジ、LED照明、半額に、台湾社と提携。	日経産業新聞	2010年5月17日	JFEエンジニアリングは、蛍光灯と比べて消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明事業に参入した。台湾の新世紀光電(GPI)と提携し、従来の半額に抑えた蛍光灯タイプの照明を主に企業や自治体向けに販売する。空調や発電など他の省エネルギー技術と組み合わせ、工場やオフィスによる環境負荷の低減につなげる。
トクヤマ、樹脂に混ぜる新粉末、放熱性2倍超。	日経産業新聞	2010年5月17日	トクヤマは樹脂に混ぜると放熱性が高まる窒化アルミニウム粉末を開発した。電子部品の樹脂製回路基板や放熱シートに使えば、放熱性は一般的な樹脂の2~10倍以上になるという。熱による劣化を抑えることで発光ダイオード(LED)照明などの長寿命化につながる。自動車ライトや街灯などでの利用を見込み樹脂メーカーに売り込む。
25%削減の生活提案 新宿でエコハウス展示／環境省	電気新聞	2010年5月18日	環境省とロスクラブが共催する「第5回ロスデザイン大賞2010新宿御苑展」が13~16日までの4日間、東京都新宿区の新宿御苑で開かれた。6月5日の環境の日を前に行われたもので、イベント会場には、太陽光発電を設置したオール電化住宅に、LED照明や洗濯機などの省エネ製品を組み合わせたエコハウス/チャレンジ25ハウスが展示され、25%削減目標に向けた具体的な生活スタイルを提案した。環境省では、2020年までに90年比で25%温室効果ガスを削減するという国の中期目標に向けた国民運動として「チャレンジ25キャンペーン」を展開しており、エコハウスもこの活動の一環として展示した。
大阪府、道路照明LED化推進	日刊工業新聞	2010年5月18日	大阪府は府内へのLED道路照明灯設置を推進する。LED道路照明技術評価制度で認定した全国の手、中小企業のLED道路照明灯を国道308号線の府内区間に設置。さらにベンチャー-新技術活用照明灯LED化事業で府内中小ベンチャー企業のLED約100灯を認定、設置する。こうした取組により道路照明灯のLED化を進めるとともに関連企業の技術力向上やLED市場の拡大を目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パナ電工、高級照明器具、住宅用7製品	日経産業新聞	2010年5月19日	パナソニック電工は、シャンデリアなど住宅用の高級照明器具7製品を5月21日に発売すると発表した。内訳は発光ダイオード(LED)照明器具6製品と蛍光灯タイプ1製品。価格は7万円台から71万円台で、同社の照明器具のなかでも最高級クラスとなる。国内の富裕層の需要を見込む。7製品合計で年間1500台程度の販売を目指す。最も高価なLEDシャンデリアは71万4000円。多数の泡を含んだ透明な筒をLEDが内側から照らし、泡に光が反射して見える。
LED電球、寿命、3万時間以上に、第四電設、放熱板を工夫。	日経産業新聞	2010年5月19日	【長岡】電気設備工事を手がける第四電設(新潟県長岡市、斉藤隆社長)は、発光ダイオード(LED)電球に参入する。電気を光に変える発光効率の高いLED電球を開発、月内に発売する。電源部分を中国で製造するなどコストを抑える。地元の仕事向けに売り込むほか、天井のダウンライト用として大手照明器具メーカーと組み、全国販売も計画する。
照明器具工業会が新成長戦略、SSLの普及促進	電波新聞	2010年5月19日	国内の照明器具業界では、LEDや有機ELなど次世代半導体照明(SSL)の普及拡大などを中心とした新成長戦略を打ち出している。20年に照明器具の推定CO2排出量を1990年比20%削減を目標にSSLの飛躍的普及に取り組む。この戦略は、日本照明器具工業会がまとめ、ポジションペーパー(立場表明書)として宣言。
星和電機、LEDチップなどの生産能力増強—モジュールに重点	日刊工業新聞	2010年5月20日	星和電機は2010年度、30億円を投じて発光ダイオード(LED)チップや照明器具の生産能力を増強する。5月末に京都府城陽市の本社工場敷地に新棟を着工。既存棟にはチップ生産能力増強を狙いMOCVD(有機金属気相成長法)装置を導入する。11年初頭の稼働を予定。道路用・産業用LED照明市場の成長を背景に、照明モジュールを中心としたLED事業の拡大を目指す。新棟には照明モジュールの組み立てなどを移管し、既存棟にランプとチップの生産を集約する。照明のLED化進展で器具の需給は逼迫しており、工場が手狭になっていた。これによりモジュールの生産効率を上げて競争力を高める。
京都駅前ビルにLED照明導入、ローム、電力消費3割減	日経産業新聞	2010年5月20日	ロームは19日、京都駅前の自社ビルを大規模改修し、使用を始めたと発表した。室内の照明器具をすべて自社製のLED照明にするなど環境に配慮し、年間の電力消費量を改修前より約30%減らした。「ローム京都駅前ビル」は地上9階、地下2階建てで、延べ床面積は約9500平方メートル。10年前に取得した。築30年で、このほど21億円かけて躯体以外を全面的に改修。耐震補強したほか、設備機器も改修した。室内にある3757個の照明はすべて自社製のLED照明を採用。人感センサーを設置するなどして電力消費を抑えた。外壁を二重ガラスにして空調の効率を高めたほか、屋上緑化も採用した。開発部門や営業部門の約500人が入居する。
岩泉の龍泉洞が照明普及賞受賞 LEDで省エネ	岩手日報	2010年5月20日	国の天然記念物に指定されている岩泉町岩泉の龍泉洞は、社団法人照明学会の全国表彰「2009年照明普及賞」を県内で唯一受賞した。洞内をLEDでライトアップし、省エネに努めた点などが評価された。同賞は、昨年1年間に完成した施設が対象。設備の照明技法などを審査し、今回は全国の79施設が選ばれた。龍泉洞は、昨年8月からLEDによるライトアップを実施。洞内の月宮殿と第1地階湖展望台にLEDを24基設置した。LED化で従来の白熱灯から消費電力と二酸化炭素排出量を80%削減。紫外線や熱線もほとんど発生しないなど洞内の環境に配慮した。表彰式は21日、都内で開かれる。
光波、新中計でLED関連を世界展開、12年度売上高130億円	化学工業日報	2010年5月20日	光波は2012年度に売上高130億円、営業利益5億円を目標とする3か年の中期経営計画をまとめた。LEDを使った光ビジネスでグローバル展開を進め、ナンバーワン、ナンバーワンの製品展開を加速する。今後、市場拡大が期待されるLED照明などに力を注ぎ、現在売りに上の3割程度を占めるLED応用製品を3年間で4倍強の事業に引き上げ、主力ビジネスに成長させる。光波は08年5月にタムラ製作所と資本・業務提携しており、タムラグループに加わって初めての中計となる。
ローム自社ビル改修、LEDで電力3割減、京都駅前、ライトアップも。	日本経済新聞 地方経済面	2010年5月20日	ロームは19日、京都駅前の自社ビルを大規模改修し、使用を始めたと発表した。照明器具をすべて自社製の発光ダイオード(LED)にして、電力消費量を改修前より約30%減らした。京都駅から見える外壁部分ではLED照明を使ってライトアップをするという。
宮地電機、きょうから7会場でLED照明セミナー	日刊工業新聞	2010年5月21日	宮地電機(高知市、宮地貴嗣社長、088-871-1111)は21日から四国の7会場でLED照明セミナーを開く。LED照明の利点などを分かりやすく説明する。参加は無料。申し込みはホームページ(www.miyajidenki.com/shisetsu/led.html)で。開催日と会場は次の通り。
値下がり進むLED照明(上)中小メーカー参入で乱戦—蛍光灯型、1年で半値	日本経済新聞	2010年5月21日	発光ダイオード(LED)照明の値下がりが進み、市場が急拡大している。家庭用のLED電球だけでなく、省エネ法改正を背景にオフィスや店舗での採用も広がってきた。中小メーカーの新規参入が相次ぎ、海外製品の流入も増え、蛍光灯型LEDランプは1年前のほぼ半値となった。一方、市場急拡大に伴い、安全・性能基準の確立など課題も浮上している。東京都区内で4月に開催された次世代照明技術展「ライティングジャパン」。会場はLED関連製品を売り込む企業のブースで埋まった。蛍光灯型LEDランプを中心に展示した東神電気(大阪市)は「販売初年度の昨年1年間で1億円を超えた。今年は約4億円を目指す」と意気込む。
ミラノサローネ2010、パナソニック電工の「全体快適システム」	Business Media 誠	2010年5月21日	黒をベースにした空間に、ナチュラルブラウンのスリットが立ち並び、照明やトイレやキッチン。一体ここは何を見ているのだろうか、と足を止める人も多かったに違いない。実はここ、パナソニック電工の展示会場「(standard)3(スタンダード3乗) smart」。ミラノサローネではすっかり展示の常連となったパナソニック電工だが、今年は「モノを見せるのではなく、次世代のシステムを見せる」と新しい試みに挑んだ。テーマは「全体快適」。専業制の強い欧州の企業と違い、パナソニック電工のように住宅建材、家具や住宅設備、制御システム、電材と、1つのメーカーが幅広く商品や技術を持っていることは世界的にも珍しい。
LED照明、東芝、新興国で販売、中ロ・メキシコなどに拠点	日本経済新聞	2010年5月22日	東芝は2010年度中に、中国やロシアなど新興国でLED照明の販売に乗り出す。新興国でも省エネ照明の需要が伸びていることに対応する。新興国への本格進出は国内の照明大手で初めて。LED照明は業界勢力図が固まっていない。東芝はすでに販売している欧米に加え新興国市場の開拓でも先行。オランダのフィリップスや独オスラムなど海外大手を追い上げる。15年度にはLED照明の海外売上高比率を3割以上に引き上げる。東芝はまず、中国やロシアのほか、アラブ首長国連邦(UAE)ドバイ、メキシコなど6カ国・地域に販売拠点を設ける。
値下がり進むLED照明(下)安全・性能規格これから—国際競争力左右も。	日本経済新聞	2010年5月22日	約9千本に及ぶ庁舎内の蛍光灯を2月から発光ダイオード(LED)に切り替えている札幌市。交換作業の後、複数の職員が体調不良を訴えた。定電流回路が付いていない一部製品で、細かな点滅が起きていたのが原因だった。同市庁舎管理課の南野伸一課長は「場所や業務内容に合わせて選ぶなどの慎重さが必要と痛感した」と話す。宮城県涌谷町では、5つの商店街で街路灯をLED電球に切り替えたところ、周辺から「テレビやFMラジオにノイズが入る」との苦情が寄せられた。発生した磁力で受信障害が起きたもようだ。業者は対策機能の付いた製品に取り換えた。
大光電機社長前芝辰二氏—LED照明好調楽感	日本経済新聞	2010年5月22日	「需要拡大を実感できる段階になった」。照明器具メーカー、大光電機(大阪市)の前芝辰二社長は発光ダイオード(LED)照明器具の好調ぶりをこう表現する。製品の性能アップや価格の引き下げもあり、「顧客の衣料品店や飲食店などが迷わずLEDを選ぶようになった」。2011年3月期のLED照明器具の販売量は前期の4倍前後の約70万台を見込む。中小の照明器具メーカーでつくる全国照明器具協同組合連合会(東京・千代田)の会長も務め、「照明業界はLEDのおかげで向こう3～5年は安定期」と語る。もともと、収益の柱に立ちはかり一層の普及が欠かせない。自身も月の半分以上は顧客を訪問。社長が先頭に立ち需要を振り起こす。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
「ニューディール基金」/市民病院照明LED化/八戸市が活用5事業発表	東奥日報	2010年5月22日	八戸市は21日、国の補助金を基に造成した市グリーンニューディール基金を活用し、2010年度から2年間で取り組む事業を発表した。八戸市民病院の院内や駐車場等の照明を発光ダイオード(LED)化するなど5事業に取り組む。同基金は総額5854万円で、特別市の同市が3月、国の地球環境保全対策費補助金を受けて造成。同市が策定した地球温暖化防止の実行計画に基づき、低炭素社会実現へ向けた事業資金として基金を取り崩す。
掃除がラクな家建設ルポ-清掃性の良い照明は？-第3回	日経ホームビルダー	2010年5月22日	プロジェクトのリーダーは「掃除のプロ」であるクリーンプロデューサーの植木照夫さん。今回は照明機器の検討で、パナソニック電工を訪ねた。同社の担当者は当初、植木さんの話を聞いて少し戸惑った表情を見せた。「清掃性をアピールポイントのメーンに掲げた商品は必ずしも多くない」と担当者自身が考えていたからだ。しかし植木さんは、「清掃性を強くアピールしてなくても、有効な製品もあるんです」と説明。その指摘や要望を踏まえて照明計画案をまとめたのは、インテリア照明事業部東部ILCの増田幸恵さんと太田明子さんだ。
LED照明の展示会 広島	中国新聞	2010年5月22日	最新の発光ダイオード(LED)照明を紹介する展示会が24~26日、広島市中区袋町の市まらづくり市民交流プラザである。市内の照明器具販売業者などが小売店や飲食店向けに企画し、無料。国内の照明メーカーや販売業者など15社がLEDのスポットライトや間接照明を展示し、施工例も交えて紹介。省エネ効果についても説明する。出展業者などでつくるLED照明器具で明るい未来を創出する会の主催。事務局を務める照明器具販売のスクラムエイト(中区)は「環境対策としてLED照明への関心は高い。導入の後押しをしたい」としている。
トーンキ、越前和紙インテリア発信、照明やパネル、ネット販売。	日本経済新聞 地方経済版	2010年5月22日	和紙加工を手がけるトーンキ(福井県鯖江市、内田長信社長)は、越前和紙を使った製品の県外への販売を強化する。ウェブサイトを渡し、照明器具などを販売。首都圏などの需要を取り込み狙い。初年度は100万円の売り上げを見込む。
LED光源の住宅用装飾照明器具、シャンデリアなど高級感演出、「リュクスモンド」など、パナソニック電工	週刊住宅新聞	2010年5月24日	パナソニック電工は、LED光源の省エネタイプシャンデリアなど、住宅用装飾照明器具2シリーズ7品番を21日に発売した。高級感を演出するあかりコレクション「LUXEMONDE(リュクスモンド)」と、モダンシャンデリアの「Composition(コンポジション)」の2シリーズ。リュクスモンドシリーズの新製品の光源はすべてLEDで、きらめきのある光と高級感のある素材を使用して上質空間をコーディネートする。コンポジションシリーズは3品番のうち、2品番がLED光源で、LEDのきらめき感とコンパクトさを生かした先進的なデザインを提案する。残りの1品番はスワイバルバック蛍光灯を使用する厚さ78ミリの超薄型シャンデリアとなっている。
緑色LED、発光効率100%実現へ、京大、照明・表示装置に応用。	日本経済新聞	2010年5月24日	京都大学の野田進教授と北川均研究員らは、緑色光なら発光効率が100%を実現できる(LEDを開発した。光を反射する性質を持つ構造物「フォトリソグラフィ」でLEDを試作して、理論通りの値がでることを確かめた。民間企業と協力して照明やディスプレイ向けに実用化を目指す。フォトリソグラフィは一定の模様で表面を加工した構造物で、光をすべて反射したり一部の光をよじ込めたりする機能がある。光を高効率で取り出せるため、LEDへの応用などが期待される。野田教授らはガリウムやインジウム、窒素からなる素材「ガリウムナイトライド」などの基板に小さな穴をあけ、電極などを付けてLEDを試作した。
ソディック、LED照明事業に参入 クリアーを子会社化	日刊工業新聞	2010年5月24日	ソディックは発光ダイオード(LED)照明事業に参入する。LED照明の開発・製造を手がけるクリアー(東京都中央区、宮本和則社長)に55%出資し、子会社化した。出資額は7200万円。子会社化に伴い、クリアーは社名をクリアーソディックに変更した。ソディックは放電加工機を中心に工作機械から食品機械まで展開している。グループで培った電源技術、成形加工技術などのノウハウと、クリアーの製造技術などを組み合わせて新技術、新商品を開発し、LED事業を拡大する。
ウシオライティング、LED電球、ミニレフ調光可能に——年3万個販売目標。	日経産業新聞	2010年5月24日	ウシオライティングは口金が直径17ミリメートルと一般電球より一回り小さい発光ダイオード(LED)電球を発売した。反射鏡などを搭載し、周囲を扱い光で照らす「ミニレフランプ形白熱電球」に近い形状にしたほか、同形40ワット相当の明るさを3・5ワットの消費電力で実現する。店舗や家庭における代替需要を狙っており、2010年度中に3万個の販売を目指す。
パナソニック電工、LED防犯灯、省エネで取り換えリニューアルに最適	電波新聞	2010年5月25日	パナソニック電工は、EVERLEDS「LED防犯灯」2タイプを7月21日の予定で発売する。一般の同社現行品蛍光灯タイプ防犯灯と同じ取付間隔(FL20形-15m、FHP32形-28m)で、防犯に必要な「クラスB」の明るさを確保。省エネ取替えリニューアルに最適な商材として提案を強める。電気料金区分は20VAとなり蛍光灯防犯灯より1ランク電気代が安くなる。
パナソニック電工、省エネ・省メンテ対応のLED防犯灯を発売	日刊工業新聞	2010年5月25日	パナソニック電工は24日、省エネルギー・省メンテナンスの発光ダイオード(LED)照明「LED防犯灯」2種を7月21日に発売すると発表した。従来の直管蛍光灯やコンパクト蛍光灯と同じ取付間隔で、防犯灯に必要とされる明るさを確保した。このため既存の防犯灯用ポールを活用できる。価格は1万8900円から。年間5万台の販売を目指す。LED灯は光の指向性が高いが、光学レンズ部の工夫により横方向に光を拡散。これにより、蛍光灯型防犯灯と置き換えた時にも、4メートル先の人の顔の向きや姿勢が分かる明るさを満たした。
レシップ、自動車用照明販売拡大へ 電球型LED灯を開発	岐阜新聞	2010年5月25日	レシップは、発光ダイオード(LED)を光源とした自動車用照明関連器具の拡販を進める。蛍光灯からの置き換えタイプに加え、一般電球からの置き換えが可能で低価格な電球型LED灯を新たに開発、ラインアップを充実させた。今後3年間で、自動車用LED灯の年間売上高約5千万円を5億円規模に成長させる。新開発の電球型LED灯は、室内灯やメーターのバックライトなどに活用、既設の一般電球から簡単に置き換えることができる。開発段階からコストダウンを進め、品質を保ちながら流通品の半額程度の低価格を実現させた。産業用車両向けとして、自動車メーカーやディーラー、自動車関連用品店向けに販売していく。
双日システムズ、米社とLED照明器具の国内独占製造・販売契約を締結	日経速報ニュース	2010年5月25日	双日株式会社の子会社である双日システムズ株式会社(本社:東京都品川区、代表者:小幡 和徳)は、米国リングデール社(本社:テキサス州、社長兼CEO:クラウス・ポールマン、Ringdale Inc.)とLED照明器具の日本国内における製造・販売についての独占契約を締結しました。リングデール社は、独自開発技術(PCT特許出願済)を用いて、発光効率の高い高光束のLEDモジュールを活用した高照度のLED照明を設計・開発し、「ActiveLED(TM)」シリーズとして、全米をはじめとする世界各国で販売しています。
曲がる大型ディスプレイ——日本の研究成果、韓国勢、いち早く吸収。	日本経済新聞	2010年5月25日	安くて折り曲げ可能な大型ディスプレイの商品化が近い将来、韓国勢によって実現しよう。成功の背景には、日本の有望な成果や研究者を積極的に取り込む韓国の戦略がある。共同研究グループを束ねる飯島澄男・名城大学教授はナノテクの権威で、韓国側はその研究成果に注目した。成均館大学は先端炭素材料の実用化を急ぐため、飯島教授を2005年から学内のナノテクノロジー先端技術研究所長に招いた。研究費の一部は、高機能機器への応用を狙うサムスングループが負担している。
豊田合成、LED増産、収益の柱に、今期100億円投資、車載向けも期待。	日経産業新聞	2010年5月26日	豊田合成はLED(発光ダイオード)事業に力を入れている。2011年3月期に同事業への投資額は100億円規模と前期に比べ約2倍に増やし、佐賀工場(佐賀県武雄市)でLEDの量産体制を構築する。LEDは電機分野のみならず、車載用など自動車部品にも高い成長が期待される。新たな柱となる事業に育成する方針だ。「LEDの貢献で非自動車部品部門の営業利益は連結全体の2割を占めるまでに成長した」。若山南社長は10年3月期の決算発表の場で感慨深げに語った。豊田合成はトヨタ自動車向けの内外装部品などの自動車部品が主力で、LEDとはもともと関係が無い。
シチズン電子、LED、国内生産2割増強、富士吉田・福島で50人増員。	日本経済新聞	2010年5月26日	電子部品メーカーのシチズン電子は照明用のLEDの国内生産能力を2割増強する。今年度中に10億円を投じ、富士吉田市と福島県田村市の2工場で素子の高速実装機を増設。検査員など50人を増員する。省電力・長寿命のLEDはオフィスや街灯向けに需要が増えている。生産増強でLED関連の事業部門の売上高を前年度比15%伸ばす。照明用LEDの国内生産能力を使用素子の数量で月間3億個から同3億6000万個に増やす。同社によると、照明用LEDは13ワットの高出力で約70個もの素子を使うといい、回路が複雑で実装が難しい。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
岩崎電、LED屋外照明を5年で100億円へ——株価200円台復帰に期待	株式新聞	2010年5月26日	岩崎電気(6924)は、LED(発光ダイオード)を使用した道路灯、街路灯、防犯灯、投光器など屋外照明の売上高を、従来は15年後の2016年3月期に50億円としていたが、来期以降、需要が加速する可能性が出てきたことから売上高目標を「70億-80億円」(山内則明常務)へと引き上げた。さらに、地球温暖化防止に対する意識の高まりや、地方自治体の取り組みが積極化すれば同年に100億円に迫る売上高となる可能性もある。
LED照明と新発電システムによる大きなCO2削減とクラインスマネジメント /50万カ所まで2兆5千万円の内需拡大も	環境新聞	2010年5月26日	蛍光灯代替型のLED照明の製品化が進み、事業用の需要が急速に拡大し始めている。しかし、LED照明の取り付けが進み、電源を含めたトータルな省エネシステムとしては確立されていない。また、オフィスビルやマンションでは太陽光発電、工場では廃棄物発電、農業ではバイオマス発電などと組み合わせた新たなシステムが求められている。万一の災害時の電源確保と安全性の観点からも発電とLED照明は有効である。廃棄される蛍光灯をエリアごとに完全処理するための新たな事業化や、収集・運搬分野との連携も必要となる。
大光電機、LED照明拡販、ショールーム刷新、展示比率8割に。	日経産業新聞	2010年5月27日	中堅照明器具メーカーの大光電機(大阪府)は発光ダイオード(LED)照明を拡販する。6月の新製品投入に合わせて本社ショールームの展示品の8割をLED照明にするほか、展示会の主力も従来型からLED照明に切り替える。需要が伸びている省エネ照明を前面に出すことで、住宅メーカーなど約300社の新規顧客を開拓する計画だ。新しい本社ショールームは住宅メーカーや設計事務所、内装会社向けに6月中旬から公開する。従来1割だったLED照明の展示比率を8割に引き上げ、リビングやキッチン、寝室など住宅内部を再現したスペースも従来の2倍に広げる。
内田洋行、LED照明「Ubiqlight」シリーズを発売	日経速報ニュース	2010年5月27日	内田洋行は、2010年5月27日より、LED照明「Ubiqlight(TM)(ユビクライト(R))」シリーズの販売を開始いたします。内田洋行では、2008年より韓国サムスンLED社と協力して同社製LED素子を用いた照明灯具の開発およびPC制御と各種センサーとの連動を可能にした独自制御アプリケーションの開発に着手し、2010年1月にはLEDヒンネス推進部を発足。このたびのLED照明「Ubiqlight(TM)(ユビクライト(R))」シリーズの完成にてLED事業を本格的に開始します。販売の開始に先立って実施した本社ビル全館での実証実験では、照明における年間消費電力・年間CO2排出量63%の削減を実現しております。
日立アプライアンス、照明事業会社を統合し省エネ照明事業を強化	日経速報ニュース	2010年5月27日	日立アプライアンス株式会社(取締役社長:石津 尚澄)は、本年10月をめどに、照明事業を展開する日立ライティング株式会社(取締役社長:飯塚 健一)を吸収合併し、今後の伸びが期待される省エネ照明事業について強化していくことを決定しました。これにより、白物家電をはじめルームエアコンや店舗・オフィス用のバックステージエアコンといった空調機器、自然冷媒CO2ヒートポンプ給湯機(エコキュート)などのオール電化製品とともに、「スマートハウス」に向けたキーコンポーネントの品揃え拡充とシステム提案力の強化を図り、企業、公共/商業施設などでのさらなる省エネ化にも対応し、こうした環境関連事業を拡大していく考えです。
ソニー、有機ELディスプレイ、くるくる巻き取れます——表示性能劣化せず	日本経済新聞	2010年5月27日	ソニーは26日、巻けるほど軟らかい有機EL(エレクトロルミネッセンス)ディスプレイを開発し発表した。ディスプレイを巻き取って本体に収納できるパソコンや電子書籍端末などで実用化をめざす。画面サイズは4.1型、映像を映し出すために必要な部品に有機物でつくった薄膜トランジスタ(TFT)などを活用。硬いICチップを使わないことで、ディスプレイ全体を軟らかく4.0・0.8ミリメートルまで薄くした。最小で直径8ミリメートルの細い棒に巻き取ることも可能で、動画を映したまま巻き取り伸ばしたりできる。巻き取りを1000回繰り返しても表示性能は劣化しない。製品化の時期は未定。
内田洋行、ビル照明6割省エネ、LEDにセンサー・携帯連動、サムスン部品活用。	日経産業新聞	2010年5月27日	内田洋行は韓国サムスン電子と共同で、オフィスビルの照明の消費電力を最大6割削減できるシステムを開発した。明るさを自在に調節できる発光ダイオード(LED)照明と人感センサーや携帯電話を組み合わせて、照明を細かく調整することで消費電力を抑える。主にビルの改装需要を見込み、3年後に100億円程度の売り上げを目指す。
ウシオライティング、LED照明を海外展開	日刊工業新聞	2010年5月28日	ウシオライティング(東京都中央区、山中茂樹社長、03-3552-8261)は、発光ダイオード(LED)照明の海外展開に乗り出す。今夏にホールのシャンデリアや施設向けLEDフライムント電球「レット」を米国や欧州で販売する。需要を見てアジア地域への投入も検討する。このため既存照明製品を生産する台湾の現地法人にLED照明の生産設備を導入した。レットの販売数を2010年3月期の3万本から11年3月期に10万本に増やす。
LED電照で菊の栽培装置、オグラ金属、来春にも投入、消費電力10分の1に。	日本経済新聞 地方経済面	2010年5月28日	金属部品加工のオグラ金属(栃木県足利市、小倉健夫社長)は、発光ダイオード(LED)を使った菊の電照栽培装置を開発、早ければ来春から発売する。従来の白熱電球を使う電照栽培に比べ、消費電力を約10分の1に節約できる。同社はLED関連商品を手掛けるのは初めて。手始めに地元の花弁(かき)農家に売り込み、将来は全国に販売を拡大する考え。
日立AP、照明事業会社を吸収、10月MD、省エネ関連強化。	日経産業新聞	2010年5月28日	日立製作所の100%子会社で白物家電事業を手掛ける日立アプライアンス(AP)は27日、照明事業の日立ライティングを10月を以て吸収合併すると発表した。統合とともに、日立ライティングの国内開発2拠点をそれぞれ1拠点到減する。白物家電から照明まで幅広く製品群をそろえ、家や公共施設全体の省エネ提案などをできるようにする。
パナソニック電工、LED防犯灯発売、蛍光灯と同等照度を確保	化学工業日報	2010年5月31日	パナソニック電工は、蛍光灯方式と同レベルの照度を確保した発光ダイオード(LED)防犯灯2モデルを開発、7月に発売する。両モデルとも年間電料料金が1871円の電気料金区別「20VA」でありながら、「防犯照明の推奨照度」は4メートル先の人物の拳動姿勢が判別できるクラスB基準をクリア。価格は、明るさが直管蛍光灯20形相当モデルが1台1万9800円、32形相当モデルが同4万1475円。合わせて年5万台の販売を見込む。
防犯灯すべてLEDに 太田市、1万8000基交換へ 経費など削減効果期待 群馬県	朝日新聞	2010年5月31日	太田市は今年度、市内の防犯灯1万8千基すべてを青色発光ダイオード(LED)に交換することを決めた。市の発表によると、既存の防犯灯は電気代だけで年間約5千万円がかかっていた。また、毎年3分の1ずつを交換しているため、修繕費なども2千万円以上かかる。LEDに切り替えることで、電気代は4分の3ほど抑えられ、寿命も3年程度から10年程度に延びる。この結果、10年間で3億円以上の経費削減が見込めるという。CO2排出量でいえば、既存の防犯灯の半分に抑えられ、年間3000程度程度の削減効果があると見ている。国の制度を活用し、削減分を企業などに販売するクレジット(排出枠)として利用することも検討している。
徳島県、LEDを利用した光の名所の候補地を募集	日刊工業新聞	2010年5月31日	徳島県は、発光ダイオード(LED)などの光や照明関連産業の集積を目指す「LEDバレイ構想」の一環として、LEDを利用した光の名所「光の八十八カ所」の候補地を募集する。徳島県内でLEDを効果的に利用した常設の景観照明やモニュメントなどを設置した場所を認定し、産業集積や観光振興につなげる狙い。募集期間は6月30日まで。問い合わせは商工労働部新産業戦略課LEDバレイ・農商工連携担当(088-621-2198)へ。
積水ハウス、超省エネ型LED照明を大規模採用の環境配慮型オフィスビルを来年2月竣工	日経速報ニュース	2010年5月31日	積水ハウス株式会社は、東京都品川区「(仮称)御殿山プロジェクト」内で最大の面積を占めるAブロックにおいて、大規模な超省エネ型LED照明、クールビット(地中熱の恒温性を利用した省エネ技術)、自動CO2制御システム、外気冷房、大規模緑化などを採用し、地球温暖化防止に貢献する環境配慮型オフィスビル(地上9階・地下1階、延床面積63,935m2)を建設します。積水ハウスは当ビルにおいて最先端の省エネ技術を採用することにより、CO2の年間排出量の削減を行い、本年4月1日より施行された東京都「改正環境確保条例」における「トップレベル事業所」の認定を受けることを目指します。
GfKジャパン・アナリスト山形雄策氏(トレンドウオッチ)	日経産業新聞	2010年5月31日	LED電球、値下げどころか 年内に2000円台前半も 発光ダイオード(LED)電球の市場が本格的に立ち上がり始めた。家電量販店では薄型テレビなど照明以外売り場でも陳列されるなど消費者の認知度が向上。エコポイント制度の優遇策や新規参入などで昨年に比べると価格も下がり、買いやすくなった。現状や今後の見通しについてGfKジャパン(東京・中野)の山形雄策アナリストに聞いた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明、県、中小の設置助成、最大3分の1、環境意識高まり受け。	日本経済新聞	2010年6月1日	千葉県は発光ダイオード(LED)照明を採用する県内の中小企業を支援する。事務所や工場にLED蛍光灯や照明器具を設置する費用を最大で3分の1、800万円まで補助する。環境意識の高まりで、中小企業にも環境への配慮を取引の条件として求める動きが広がっていることに伴う。予定額100万円以上の設置工事が助成の対象となる。安全のためLED蛍光灯、LED電球などの光源だけでなく、照明器具もセットで取り換えることが条件。新築物件は対象とならない。7月15日から8月16日まで申請を受け付ける。
県の旧有機エレクトロニクス研究所 4月から閉鎖状態 施設を改編後＝山形	東京読売新聞	2010年6月1日	県の研究拠点「有機エレクトロニクス研究所」が今年度から、有機EL製品の実用化などに取り組む民間企業が共同利用できる施設に改編されたが、いまだにオープンへのめどが立っていないことが3日わかった。同研究所は2003年に開設。県産業技術振興機構が所管し、今年3月まで産学官連携で有機EL照明の実用化研究を担ってきた。衣替えは、既存の研究所設備を企業に貸し出し、実用化、事業化研究のメーンを民間に移すための措置。県は、「サンプルパネルの出荷が始まるなど一定の成果が出た。今後の事業化、実用化は民間に任せるべき」と説明していた。
LED照明、千葉県、中小の設置助成、最大3分の1、環境意識高まり受け。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月1日	千葉県は発光ダイオード(LED)照明を採用する県内の中小企業を支援する。事務所や工場にLED蛍光灯や照明器具を設置する費用を最大で3分の1、800万円まで補助する。環境意識の高まりで、中小企業にも環境への配慮を取引の条件として求める動きが広がっていることに伴う。
ショールーム 遠藤照明 LEDに特化したショールーム	建通新聞	2010年6月2日	遠藤照明名古屋営業所と名古屋ショールームは、名古屋市中区丸の内に移転し、5月24日から営業を開始した。ショールームは、同社のLEDブランド「LED2」に特化した展示と商談スペースなどで構成。LEDだけで運営されているショールームは同社のほかにはあまり例がない。アパレル店舗、食品スーパーなど、用途に合わせた状況を設定しており、LEDと従来の照明との違いを体感できるほか、電気代や照明の影響による室温の変化などをリアルタイムで見ることができる。
照明用LED、星和電機が参入	日本経済新聞	2010年6月2日	電子部品メーカーの星和電機は照明用発光ダイオード(LED)事業に参入する。年内に28億円を投じ、京都府城陽市の本社内に工場を増設する。新工場の敷地面積は約6600平方メートルで、稼働は2011年1月の予定だ。LEDに使う素子の月間生産能力を現在の3000万個から6000万個に増やす。従来は信号用などを中心に生産していたが、増産分を需要が急拡大している家庭用などの照明器具向けに充てる。3年後に一般照明器具分野で年間約50億円の売り上げを目指す。
東西電気産業、LED照明拡販の組織。	日本経済新聞	2010年6月2日	業務用照明メーカーの東西電気産業(大阪市、神保健作社長)は店舗向けの発光ダイオード(LED)照明を拡販する。7月に専門の営業組織を立ち上げ、自社製品の提案力を高める。飲食店やホテル、百貨店などに広く採用を促し、2011年1月期の同分野の売上高を前期比倍増の5億円に引き上げる狙い。7月1日に新組織「ネクストイ コーポレーション」を立ち上げる。その上で東京と大阪の営業拠点に2人ずつLED照明の専任担当者置き、LEDに関する技術や照明、インテリアなどの専門知識を持たせる。
有機エレクトロニクス研究所:閉鎖2カ月 光熱費、家賃で月920万円 /山形	毎日新聞	2010年6月2日	有機ELの研究拠点だった「有機エレクトロニクス研究所」が3月末で廃止され2カ月が過ぎた。県は今年度から企業などに貸し出し、商品開発に利用してもらう「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター(仮称)」に生まれ変わらせるはずだったが、いまだ閉鎖したまま。県産業振興課によると、閉鎖中の施設に4月だけで光熱費と家賃に計920万円を支払ったという。大部分が電気代で、施設再開に備えて、クリーンルームを動かし続ける必要があるためという。再開後は、施設を利用する企業から光熱費の一部などを負担してもらうが、閉鎖中の光熱費は全額県が負担している。
双日、米社開発のLED照明、商業用、国内で製販。	日経産業新聞	2010年6月2日	双日は米社の商業用発光ダイオード(LED)照明器具の国内での製造・販売を今夏から始める。LED照明の開発などを手がける米テキサス州のリングデール社とこのほど契約。同社が独自開発した倉庫の高所照明や街路灯向けのなどの高照度照明を国内で独占して製造し、販売する。2012年に約10億円の売り上げを目指す。
シャープ、LED照明海外販売、まず米で業務用4機種。	日経産業新聞	2010年6月3日	シャープはLED照明の海外販売を始める。米国でまず8社と代理店契約を結んでおり第1弾として、6月から順次、業務用ランプ4機種を投入する。現地の省エネ認証を得るため、不具合があった場合は無償交換する3年間の保証期間も設定した。今後、欧州やアジア市場にも参入。LED照明事業の売上高を年500億円とする目標の早期達成を目指す。米国には900ルーメンと720ルーメンで、それぞれ電球色と昼白色がある。主にホテルやレストランで使う。米国で一般的に使われているハロゲンランプに比べ、消費電力を約80%減らせるという。
空調・照明、席ごとに調整、竹中工務店、エコオフィス開発	日経産業新聞	2010年6月4日	竹中工務店は3日、空調や照明を座席ごとに調節できる省エネルギー型のオフィスを開発したと発表した。パソコンや多機能携帯端末「iPad(アイパッド)」から発光ダイオード(LED)照明、空調の気流などを自分好みに調節できるのが特徴。中小ビルの改装工事などで省エネ型オフィスに採用した新技術を顧客企業に提案し、早期の実用化を目指す。湿度を調整できるデジタロ空調や、天井を冷やして人体から熱を取り除く放射式の冷房などを組み合わせた。座席ごとに気流を調整できる「パーソナル空調」も備えた。人感センサーや照度センサーなどでLED照明などを制御する。
LED電球市場急拡大 昨夏比55倍 低価格化追い風	中日新聞	2010年6月4日	発光ダイオード(LED)電球の市場が急速に拡大している。市場調査会社GfKジャパンのまとめによると、5月のLED電球の販売数量は、市場が本格的に立ち上がった昨年七月の55倍に増加した。低価格化に後押しされ、拡大傾向はさらに強まりそうだ。LED電球は白熱電球の40倍近い寿命があり、消費電力も八分の一程度と「省エネ・長寿命」が最大の特徴。しかし、2007年末に市場に登場した当初は一万円近い高価格がネックとなり、販売はなかなか伸びなかった。その後も〇九年前半まで平均価格は七千～八千円で推移したが、〇九年七月に東芝が従来の半額近い製品を投入。
GfKジャパン、LED電球3000円割れ、量販店、年初から2割下落。	日経MJ(流通新聞)	2010年6月4日	調査会社のGfKジャパン(東京・中野)は全国の家電量販店における5月の発光ダイオード(LED)電球の販売動向を発表した。それによると、販売単価は約2950円となり、初めて3000円を割り込んだ。2010年初めと比べると、約2割下落した格好だ。
灯籠にLEDの光 銘店会や地元企業、宇治神社で設置 ろうそく型 太陽光で発電	京都新聞	2010年6月5日	宇治の夜景を環境に優しく楽しんでもらう取り組みを、宇治市の「宇治源氏タウン銘店会」と地元企業、市観光協会が連携して始めた。ソーラー発電で点灯するLED(発光ダイオード)照明を宇治神社境内(同市宇治)に設置。ろうそくのように輝く明かりが「エコ時代」をPRしている。銘店会は宇治橋東詰めの茶店や飲食店など20店舗で構成。これまで源氏物語の絵柄を付けたエコバッグを作るなど環境に配慮した活動を行ってきた。
山形県、有機エレ研、一部復活、産学共発、構想を大幅修正	日本経済新聞	2010年6月5日	山形県が3月末で解体した有機エレクトロニクス研究所(山形県米沢市)が規模を縮小しながら事実上「復活」する見通しとなった。いったん廃止した研究機能を部分的に復活させ、大学などに分散した研究員の一部も呼び戻す方針。県は当初、実用化支援に特化した施設に衣替えする予定だったが、民間企業や大学などが猛反発。わずか数カ月で構想を大幅に修正する形となる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
有機EL事業化推進センター、準備整い次第稼働へ /山形県	朝日新聞	2010年6月5日	県産業技術振興機構(山形市)は4日、昨年度で廃止された有機エレクトロニクス研究所(米沢市)を改編してオープンさせる予定の産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター(仮称)について準備が整い次第、出来るだけ早く稼働させたいとの意向を示した。時期のめどについては示さなかった。機構によると、事業期間は今年度から3年間、その後のあり方は改めて判断するという。現在、共同研究してきた24社からの聞き取り、装置の利用調整などを図っており、理解と協力を得るための会議を今月中に開く予定だ。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)から無償譲渡を受ける手続きが必要な装置があり、5月末に申請したという。
山形県、有機エ研、一部復活、産学反発、構想を大幅修正。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月5日	山形県が3月末で解体した有機エレクトロニクス研究所(山形県米沢市)が規模を縮小しながら事実上“復活”する見通しとなった。いったん廃止した研究機能を部分的に復活させ、大学などに分散した研究員らの一部も呼び戻す方針。県は当初、実用化支援に特化した施設に衣替えする予定だったが、民間企業や大学などが猛反発。わずか数カ月で構想を大幅に修正する形となる。
遠藤照明(大阪市)がつくる(金沢市)と提携/オリジナル家具「アビタスタイル」が好評	建設工業新聞	2010年6月7日	国内の商業施設における照明シェアトップの遠藤照明(本社一大阪市中央区、遠藤良三代表取締役)は、全国一流建築家やインテリアデザイナーらに支持されているENDOオリジナル家具「アビタスタイル」を展開するインテリア家具事業の強化に向けて、家具の企画提案から製造、再生までを手掛ける、つくる(金沢市間野町、橋本代表取締役)と事業提携を締結、これまで九州で行っていた家具の加工を、七尾市中島町小牧の「つくる七尾」に一部移管し、顧客からの注文に応じて、能登から全国に出荷する体制を完備した。
三菱化学やシャープ、LEDなど、デジタル部材大幅増産、家電向け需給逼迫	日本経済新聞	2010年6月8日	化学、電子部品メーカーが供給不足が深刻になっているLEDなど、デジタル家電向け部材の大幅増産に乗り出す。三菱化学は液晶テレビ向けに需要が急増しているLEDの生産に必要な素材の生産能力を2015年度までに6倍に増強。シャープは年内、東芝は11年からLED素子の量産を始める。新型デジタル家電の売れ行き拡大に伴い、関連部材は世界的に需給が逼迫しており、生産体制を強化する。現在、液晶テレビのバックライトや照明器具に使うLEDとその関連部材の供給不足が最も深刻になっている。デジタル機器に使われるハードディスク駆動装置(HDD)や半導体メモリーの品薄も続いている。
関連メーカー、LED新分野開拓、医療器具向け照明、距離測るセンサー	日本経済新聞	2010年6月8日	LEDの関連メーカーが事業領域を広げている。省エネ志向の高まりで幅広い電気製品で採用が進んでいる。医療器具向け照明の販売を始めるシーシーエスなど、将来の収益源と見込んだ新製品発売や新規参入の動きが相次ぐ。需要拡大に合わせ、素子を生産する星和電機は生産能力を倍増。関西景気を下支える役割も期待されている。半導体などの工場生産ラインに組み込む工業用LED照明で国内シェアトップのシーシーエスは、新たに医療器具向けのLED照明事業に参入する。薬事法に基づく製造・販売許可を取得、年内にも製品を発売する。
LEDの需要急増、素子増産急ぐ。	日本経済新聞	2010年6月8日	シャープやサムスン電子など世界中の電機メーカーが液晶テレビのバックライトにLEDをこぞって使い始めるなど、LED需要急増で、中小メーカーにとってLEDの発光部分である素子の調達に困難さを増してきた。業務用照明中堅の東西電気産業の神保健作社長は「1年前は生産の1カ月前に発注していれば十分間に合っていたが、現状は3カ月前でないと厳しい」と話す。こうした調達合戦を受けて、LED素子メーカーも増産を急いでいる。昭和電工は2010年夏をメドに、千葉事業所の青色LED素子の生産能力を現在の1.7倍の月3億4000万個に増やす。
経産省/環境JISの普及促進/スマートグリッドやLED照明など制定へ	日刊建設工業新聞	2010年6月8日	経済産業省は、環境関連分野のJIS(日本工業規格)への取り組み方針を示した。環境負荷低減につながる新たな製品群の普及促進に向け、スマートグリッド(次世代送電網)やLED(発光ダイオード)などのJIS制定を推進。既存の製品・技術では、窓の断熱性能評価方法や浴室ユニット全体の省エネ性能評価方法の標準化などに取り組む。併せて、環境関連技術の認証体制の整備、アジアとの連携強化といった市場環境の高度化にも対応していく。
有機EL、特許保有会社に出資、出光、韓国LG系に3割。	日本経済新聞	2010年6月8日	出光興産は7日、有機EL関連で約2千件の特許を持つ韓国LGグループの傘下企業に約3割出資したと発表した。出資額は数十億円。有機ELは次世代の照明などに用途拡大が見込まれている。有機EL材料の世界大手である出光はLGグループとの関係を強化し、関連特許の製品化を急ぐ。出光が出資したのは米グローバル・オーレッド・テクノロジー。7日付でLGグループからGOT株の32.73%を譲り受けた。LGグループは昨年12月、米イーストマン・コダックから有機EL事業を買収した際、GOTを設立。GOTを通じコダックが保有していた有機ELの関連特許を管理している。
九大の有機EL最先端研究、東芝など9社参加	日経産業新聞	2010年6月8日	九州大学は有機EL(エレクトロルミネッセンス)の最先端研究に新日鉄化学、東京エレクトロ、東芝など9社が参加すると発表した。九大に開設した「最先端有機エレクトロニクス研究センター」(OPERA、センター長・安達千波夫九大教授)に企業研究者が集まる。サテライト研究拠点として、広島大、京大、千葉大なども参加する。研究テーマは「非光のエネルギーを蛍光エネルギーに変換し、100%の高発光効率が可能で新しい蛍光発光材料の開発や、液体半導体を入れ替えて常に新しい発光材料が供給でき劣化しない有機ELパネル、パネルを大型化しやすくなる有機材料の開発など。
LEDの需要急増、素子増産急ぐ。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月8日	シャープやサムスン電子など世界中の電機メーカーが液晶テレビのバックライトにLEDをこぞって使い始めるなど、LED需要急増で、中小メーカーにとってLEDの発光部分である素子の調達に困難さを増してきた。業務用照明中堅の東西電気産業(大阪市)の神保健作社長は「1年前は生産の1カ月前に発注していれば十分間に合っていたが、現状は3カ月前でないと厳しい」と話す。
三菱化学やシャープ、LEDなど、デジタル部材大幅増産、家電向け需給逼迫。	日本経済新聞 朝刊	2010年6月8日	化学、電子部品メーカーが供給不足が深刻になっている発光ダイオード(LED)など、デジタル家電向け部材の大幅増産に乗り出す。三菱化学は液晶テレビ向けに需要が急増しているLEDの生産に必要な素材の生産能力を2015年度までに6倍に増強。シャープは年内、東芝は11年からLED素子の量産を始める。新型デジタル家電の売れ行き拡大に伴い、関連部材は世界的に需給が逼迫(ひっばく)しており、生産体制を強化する。
関連メーカー、LED新分野開拓、医療器具向け照明、距離測るセンサー。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月8日	発光ダイオード(LED)の関連メーカーが事業領域を広げている。省エネ志向の高まりで幅広い電気製品で採用が進んでいる。医療器具向け照明の販売を始めるシーシーエスなど、将来の収益源と見込んだ新製品発売や新規参入の動きが相次ぐ。需要拡大に合わせ、素子を生産する星和電機は生産能力を倍増。関西景気を下支える役割も期待されている。
家庭のCO2削減目標 国のエネルギー計画最終案 照明をLED化	岩手日報	2010年6月9日	経済産業省は8日、2030年までのエネルギー政策の指針となる「エネルギー基本計画」の最終案をまとめ、総合資源エネルギー調査会(経産相の諮問機関)に提示した。家庭のエネルギー消費で発生する二酸化炭素(CO2)を半減させるのが目標。家庭用照明機器をすべて、省エネ効果の高い発光ダイオード(LED)や有機ELを活用した製品に切り替えるよう促す。月内の閣議決定を目指す。
大型OLED照明パネルの開発に成功=蘇州の実験室	新華社ニュース	2010年6月9日	蘇州大学と張家港彩虹平板顯示有限公司が共同で設立した江蘇省カーボン系機能材料・部品ハイテク研究実験室はこのほど、国内最大となる24インチ型の有機発光ダイオード(OLED)発光照明パネル(110mm×110mm)の開発に成功した。関連の特許も取得したという。中国科学院の李流湯氏をはじめとする研究チームが開発した。OLEDは有機ELディスプレイとも呼ばれる新世代のディスプレイ技術。視野角がより大きく、バックライトが要らず、重量が軽くて節電できるといったメリットを持つ。
デイリーヤマザキ、全照明LEDの実験店、電力8%削減。	日経MJ(流通新聞)	2010年6月9日	デイリーヤマザキは10日、すべての照明に発光ダイオード(LED)を使ったコンビニエンスストアを開く。LEDは価格が高いため全照明をLEDにするケースは少なかった。同社は韓国メーカーから低価格で調達することで投資を抑えた。店全体の電力使用量が8%削減できる。実験店として年内にさらに1〜2店開く予定だ。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
コイズミ照明／LEDの光品質向上／演色性高め、まぶしさ解消	建設通信新聞	2010年6月10日	コイズミ照明は、LED(発光ダイオード)照明の新製品として、280アイテムをラインアップした。製品を増やしただけでなく、演色性やグレア(まぶしさ)対策など、快適性を重視した"光品質LED"として性能を高めている。9日には、東京都千代田区の同社ショールームで新製品の内部見学会を開催した。消費電力が少ないLEDは、低価格化を背景に新たな光源として急速に普及している。長寿命などのメリットが広く認識される一方で、まぶしさやちらつき、器具デザインなどに生活照明としての課題は残っている。
広東省、LED照明産業規模1000億円目指す 中長期計画発表へ	新華社ニュース	2010年6月10日	9日に広東省広州で開催した照明器具の国際見本市「広州国際照明展」で明らかになったところによれば、広東省はLED照明産業の中長期発展計画を近く発表する。大型のLED産業団地を数カ所設立するなどして省内のLED産業規模を2012年までに1000億円に拡大させ、同省の新たな支柱産業に育成することを目標とする。現在の産業規模は300億元超。省政府はLED照明を新型電子情報産業、電気自動車産業に並ぶ戦略性新興産業に位置づけている。見本市に出展した企業は主催者の予測を大きく上回る数となり、日本や米国などの企業が初めて参加した。
米沢・旧有機エレクトロニクス研 数カ月停止の可能性も 地場企業支援、センター開設準備中	河北新報	2010年6月10日	山形県が3月に閉鎖した米沢市の旧有機エレクトロニクス研究所で、閉鎖後も運転を続ける実験装置の一部が落雷による停電で止まり、復旧に1日半を要していたことが9日、分かった。直接の損害は免れたが、専門家によると、最悪の場合、復旧に数カ月かかる可能性もあったという。旧研究所を管理する県産業技術振興機構によると、停電があったのは土曜日の今月5日夕方。最も重要なクリーンルームの空調は直後に復旧したが、実験装置の再開は週明けの7日になった。機構の小松幸男専務理事は「生産ラインが動いていたら大変だったが、今回は産学官の連携で復旧できた」と説明した。
出光興産、有機EL照明の展示ケース試作	日経産業新聞	2010年6月11日	出光興産は10日、有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明を採用した展示ケース=写真=を試作したと発表した。出光製の材料を使ったパネル照明をガラスケースの天井部と底部に配置。面発光のため、柔らかい光が届くという。出光美術館(東京・千代田)で12日から展示を始める。従来は蛍光灯の補助照明として使っていた照明パネルを天井に8枚、底に4枚配置。有機EL照明だけで美術館を照らすようにした。従来の照明に比べてまぶしさがなく、ゆっくり鑑賞できるという。
ヨーカ堂、省エネ店舗拡大、全店の看板照明、3年でLEDに、地中熱で冷暖房効率化。	日経MJ(流通新聞)	2010年6月11日	イーヨーカ堂は省エネ店舗を増やす。全店の看板照明を3年以内にLED(発光ダイオード)に付け替える。一部店舗では地中熱や蓄熱システムを活用して冷暖房を効率化する。これにより新店の二酸化炭素(CO2)排出量を既存店より平均2割減らすことを目指す。省エネの取り組みはコンビニエンスストアが先行していたが、スーパーにも広がってきた。
特集 2010年 宇宙ビジネスの旅	週刊ダイヤモンド	2010年6月12日	今年度に打ち上げ予定のHTV(国際宇宙ステーションへの物資補給機)2号機では、従来取り付けられていた4組の蛍光灯のうちの2組がパナソニック電工業製のLED照明に変更される。蛍光灯はLEDに比べて寿命が短い。そしてなによりも問題なのは、薄いガラス管内に水銀蒸気が入っていることだ。交換の際などに割れるとガラスや水銀が空気に散り、宇宙飛行士が吸い込んでしまう危険がある。それを防ぐための開発・試験などには多額のコストがかかるため、「蛍光灯一つで数千円」という、ケタはずれの金額になってしまふ。
コイズミ照明、LED照明品揃え、品質・快適性前面に	化学工業日報	2010年6月14日	コイズミ照明(大阪市中央区)は、発光ダイオード(LED)ランプを使用した照明器具のラインアップを拡充する。これまでの明るさ追求型から演色性、グレア対策、調光、デザイン性など品質と快適性を加えた「光品質LED」を前面に打ち出し差別化を狙う。6月末を境にジャンプアップした約280アイテムを投入、進化したLED照明で攻勢をかける。同社は一般住宅向けに2008年からLED照明を展開、年々拡大する需要に対して、高輝度タイプなどを投入してきた。今回はLED照明が普及しつつあるなかで、照明器具としての快適さにこだわり、デザイン、パリエーションを大幅に拡大する。
照明国際見本市—LEDが会場を席巻導入に慎重だった欧州が本格普及に転じる	日経アーキテクチュア	2010年6月14日	LEDが世界中で普及することを予感させる国際見本市がドイツで開催された。「Light+Building 2010」だ。これまでLEDの導入に慎重だった欧州メーカーがこぞって新製品を発表。OLED(有機EL)を使った照明の開発に取り組み企業も目立った。照明の世界動向を報告する。
リョーサン、LED照明用放熱部品量産、3割軽く高性能、顧客要望に応え設計開発強化。	日経産業新聞	2010年6月14日	顧客要望に応え設計・開発強化 半導体商社のリョーサンが、発光ダイオード(LED)照明用の放熱部品市場に参入する。照明器具メーカーの発注を受けて部品を量産する体制を整えた。独自組成の材料と工法により、一般的な製法と比べ軽量化できるとなどが特徴。太陽電池や電気自動車(EV)向けの放熱部品と合わせて、2010年度に2億円の売り上げを目指す。
東芝ライテック、LED照明、新興国モデル、売上高比率2割目標。	日経産業新聞	2010年6月15日	東芝ライテックは発光ダイオード(LED)照明を拡販する。価格を抑えた新興国専用モデルを中国などで売り込み、出遅れていた海外市場を開拓。国内では東芝本体と連携し、空調機器などと組み合わせオプティカル工場に向けた総合的な省エネ提案を加速する。2010年にLED照明の売上高比率を09年度の1割弱から2割以上に引き上げる。東芝が中国で販売を始めた専用モデルは外観や明るさ、価格などが日本向けと異なる。
体感型照明ショールームが誕生／大光電機	建設通信新聞	2010年6月16日	照明器具専門メーカーの大光電機は12日、大阪市中央区にある同社ビル1階のショールーム「ライティング・コア大阪」をリニューアルオープンした。LED照明を中心に、戸建て住宅一軒分の照明モデルや商業店舗でのライティング効果展示。用途や場所、照明効果ごとの設置スタイルや光源種を提案する、日本国内でもめずらしい「体感型照明ショールーム」に生まれ変わった。新しいショールームでは、LED照明に加えて蛍光灯、白熱灯も展示している。シーンに合わせて各種光源の適宜切り替えが可能となっており、さまざまなパターンの照明効果を提案している。
照明メーカー各社、LED照明で差別化戦略	日刊工業新聞	2010年6月16日	照明メーカー各社が発光ダイオード(LED)照明事業で差別化戦略を打ち出している。住宅や景観、工場など、用途に合わせた製品点数の拡充のほか、白物家電事業への照明事業の取り込み、中国での部材調達など幅広い。また、海外展開の検討も進めている。新世代照明として市場拡大は見込まれるが、韓国や中国製品も台頭しており、すでに競争が激しい。各社、独自性を打ち出して勝ち残りを狙う。
都産業労働局 87件の申請受理 商店街のLED化補助	建通新聞	2010年6月16日	東京都産業労働局は、商店街や商店街連合会が行う街路灯のLED(発光ダイオード)化などを支援する「特定施策推進型商店街事業」で、2010年度の補助申請を87件受け付けた。街路灯の照明設備をLEDランプに取り替える工事などに対し、都が費用の5分の4を負担する事業。8月に交付先を決定する予定している。
米沢・有機EL研究所閉鎖2カ月 設備休眠、産学イライラ	河北新報	2010年6月16日	次世代照明の有力な技術と目される有機ELをめぐる、山形県の産学官連携を先導してきた有機エレクトロニクス研究所の閉鎖から2カ月が過ぎた。実験装置やノウハウなど権利関係の整理に時間がかかり、多いときで40人を超える所員がいた研究所はひっそり。県は近く企業支援に軸足を移した後継組織を発足させるが、産学サイドは悠長な「お役所仕事」に不満を募らせている。「得点圏に走者がいるのに、打者が関志をなくして倒れてしまったような状況だ」。エレ研を取り巻く環境を野球に例えて語るのは、山形大の城戸淳二教授。2003年のエレ研発足に準備段階からかわり、閉鎖まで所長を務めた。
三菱電機照明、ショールーム——リアルな店舗、LED実演	日経産業新聞	2010年6月16日	三菱電機の照明器具子会社、三菱電機照明が今年1月に全面刷新したショールームを活用して顧客の獲得を急いでいる。リアルな店舗などを再現し、LED照明を中心とした展示に切り替えた。新しいタイプの照明の登場に伴ってショールームの重要性が以前と比べて格段に増している。顧客に対する訴求方法の変革に取り組みを進める。百貨店のフロアの一角にあるような女性向けリアル店舗、グラスがテーブルに並びおしゃれなカフェ、生活用品や菓子類が並ぶコンビニ。天井のLEDダウンライトが部屋全体を明るく照らし、スポットライトが展示品を際立たせる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
サンゲツ、照明、LED軸に拡販、提案営業強化、今期黒字化狙う	日本経済新聞	2010年6月16日	インテリア商社のサンゲツは照明器具事業を強化する。省電力で需要が増えている発光ダイオード(LED)照明の拡販を狙って営業部隊を再編。従来の地域別から顧客別に見直し、顧客ニーズに合わせた「提案型」営業で既存の電球からLEDへの切り替えを促す。住宅着工の低迷で主力の壁紙などの市場が伸び悩むなか、LEDを軸とする照明器具事業を新たな成長源泉に育てる。サンゲツは2008年7月、商社の山田照明(東京・千代田)を子会社化して照明器具事業に参入した。製品の製造はメーカーに委託している。10年3月期の同事業の売上高は29億円。
シナジーテック、販路拡大を支援、経産局、LED照明で。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月16日	四国経済産業局は15日、照明器具製造・販売のシナジーテック(徳島県阿南市、大栗克俊社長)が開発した植物工場の光源となる発光ダイオード(LED)照明器具の販路拡大を、中小企業地域資源活用促進法に基づく支援事業に認定した。同社は政府系金融機関から低利融資を受けられるほか販路拡大で専門家のアドバイスや展示会出展などの支援を得られる。
LED新分野開拓、関連メーカー——医療器具向け照明(広域レーザー)	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月16日	距離測るセンサー 関連の発光ダイオード(LED)の関連メーカーが事業領域を広げている。省エネ志向の高まりで幅広い電気製品で採用が進んでいる。医療器具向け照明の販売を始めるシーシーエスなど、将来の収益源と見込んだ新製品発売や新規参入の動きが相次ぐ。需要拡大に合わせ、素子を生産する星和電機は生産能力を倍増、関西景気を下支えする役割も期待されている。
照明大手の三菱電機オスラム、白熱電球、生産終了前倒し、一般型、来年3月に。	日本経済新聞 朝刊	2010年6月16日	照明大手の三菱電機オスラムは15日、一般的な白熱電球の生産を2011年3月末に終了すると発表した。これまでは政府の要請に基づき12年に終了する計画だったが、環境に配慮する姿勢をアピールするため1年前倒しする。今後は消費電力が小さい発光ダイオード(LED)電球や電球型蛍光灯に注力する。
三菱電機照明、ショールーム——リアルな店舗、LED実演(追跡イノベーション)	日経産業新聞	2010年6月16日	技術的説明より体感 三菱電機の照明器具子会社、三菱電機照明が今年1月に全面刷新したショールームを活用して顧客の獲得を急いでいる。アパレル店舗などを再現し、発光ダイオード(LED)照明を中心とした展示に切り替えた。新しいタイプの照明の登場に伴ってショールームの重要性が以前と比べて格段に増している。顧客に対する訴求方法の変革に取り組む姿を追う。
旭硝子、高出力LED照明基板に参入。	日本経済新聞	2010年6月17日	旭硝子は16日、高出力の発光ダイオード(LED)照明の基板事業に参入すると発表した。ガラスの粉末を原料とするセラミック素材を使って放熱性を高め、自動車のヘッドライトなどでの利用を想定。初年度は10億〜20億円の売上を見込む。台湾に約10億円を投じて工場を新設した。ガラスの粉末などを焼き固めて作るセラミック基板を生産し、7月に発売する。従来のアルミナ製よりも光の反射率が高く、LEDの輝度が2〜3割向上するという。耐熱性や放熱機能が高いためLEDの長寿命化につながるという。
セラミック製LED照明基板、放熱性や反射率向上、旭硝子、前照灯など向け。	日経産業新聞	2010年6月17日	旭硝子は16日、セラミック製の発光ダイオード(LED)照明向け基板=写真=を7月に発売すると発表した。ガラス粉末を原料とした基板で、放熱性や光の反射率を向上。自動車のヘッドライトなどでの利用を想定しており、初年度で売上高10億〜20億円を見込む。
クオタムリープ、防水のLED照明、街路灯など市場開拓	日本経済新聞	2010年6月18日	無線通信機器などを製造するクオタムリープテクノロジー(塩尻市、小川洋史社長)は、防水加工の発光ダイオード(LED)照明を発売した。一般家庭向けは大手メーカーの価格競争が激しい。LED照明は虫が寄りにくいなどの特性があるため、街路灯や看板といった屋外の業務用などニッチ(すき間)市場の需要を開拓する。発売するのは蛍光灯型と電球型の2タイプ。カバーの密閉性を高めてホコリや水にも強くした。蛍光灯型は20ワットと40ワット相当の2商品を発売した。価格は1万1400円から。
三菱電機がLED照明事業を強化、12年までに器具効率で120ルーメン/W達成へ	日本経済新聞 電子版	2010年6月18日	事業強化の内容は主に三つある。第一に、オフィスや店舗など施設向け新商品の開発に注力する。という点。例えば、現在最高で約100lm/Wの器具総合効率を2012年までに120lm/Wにまで引き上げる。「現時点でLEDパッケージの効率は103〜110lm/W。100lm/Wの器具総合効率は、我々が内製する器具の損失を極限まで減らすことで実現した。例えば、電源回路の効率は93%を超える。今後これらをさらに改善し、LEDパッケージの効率向上と合わせて120lm/Wを実現できる」という。新商品の開発には、製品の種類の増加も含む。現時点で約400機種あるLED照明製品群を、2012年までに800機種、さらには2015年までに
LEDトンネル照明の効率向上技術募集/7月15日まで応募受付/首都高	建設通信新聞	2010年6月18日	首都高道路会社は17日、LED(発光ダイオード)トンネル照明の効率改善に向けた研究開発を進めるため、照明灯具を提供するメーカーの募集を始めた。参加資格は自動車専用道路または高速自動車国道において、トンネル照明の開発・納入実績があること。応募は7月15日まで技術管理室設計技術グループで受け付ける。参加者には2年後におけるLED素子効率とLED照明の総合効率や、目標とするニシヤルコスト・ランニングコストが具体的に確認できる資料などの提出を求め、実績や開発能力、将来性、経済性を総合的に評価して協力会社を選定し、8月から技術開発に着手する方針だ。開発期間は2年。
クオタムリープ、防水のLED照明、街路灯など市場開拓。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月18日	無線通信機器などを製造するクオタムリープテクノロジー(塩尻市、小川洋史社長)は、防水加工の発光ダイオード(LED)照明を発売した。一般家庭向けは大手メーカーの価格競争が激しい。LED照明は虫が寄りにくいなどの特性があるため、街路灯や看板といった屋外の業務用などニッチ(すき間)市場の需要を開拓する。
サムスンLED生産開始=今年100億円生産—天津市	Record China	2010年6月19日	2010年6月15日、サムスンLEDが出資する天津三星LED有限公司の工場が天津経済技術開発区の微电子工業区で完成し、このほど生産開始を記念する式典が行われた。地元メディアが伝えた。サムスンLEDは、LED液晶テレビ、室内や自動車照明、移動通信設備などの世界のリーディングカンパニーとされる。天津三星LED有限公司は全額出資の子会社で、海外で唯一の生産拠点。投資額は1億8000万元。今年の生産高は100億円、LED光源の生産量は90億個を見込んでいる。
LED活用を考える勉強会開催東海住まいづくり研究会	日刊木材新聞	2010年6月19日	東海住まいづくり研究会はこのほど、10年度総会と定例勉強会を開催した定例勉強会では、大光電機の花井架津彦氏が、LEDを導入した空間創出と注意点について講演した。花井氏は、消費電力が少ないLEDをPRする手法として、ランニングコストの経済性にエコポイントを絡めた提案を推奨した。LEDを導入した室内設計については、色合いや明るさが白熱電球とは異なることを理解し、色のばらつきを抑えて明るさを生かす照明の配置が必要になると指摘。また、内装材の色使いの工夫など、照明環境を意識した空間設計の重要性を解説した。
パナソニックのLED電球、テレビの電波障害で発売延期	家電ウォッチ	2010年6月21日	パナソニックは、同社が6月25日に発売する予定だったLED電球2機種について、7月13日に発売日を延期すると発表した。延期となるのは、E17口金用で、調光器に対応したLED電球「EVERLEDS(エバーレズ) 小型電球タイプ LDA6L-E17/D(電球色相当)」と、「LDA-D-E17/D(昼光色相当)」。延期理由について同社では、一部の条件下において、この種に放射ノイズによりテレビや無線機器に電波障害が発生することが判明したとされている。万全を期すために、製品に内蔵された調光回路の一部を変更するという。
首都高、新型LEDトンネル照明、開発メーカーを公募	建通新聞	2010年6月21日	首都高道路会社は、新型LEDトンネル照明を開発するため、協力して照明灯具の効率性向上に取り組み道路照明メーカーを公募する。首都高がメーカーが提供する照明灯具の性能要件の整理やフィールド実験などを行い、1-2年後に新型機器の仕様策定を目指す。7月15日まで技術資料の提出を受け付けている。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明、売上高、15年度500億円——三菱電機、国内シェア20%強に。	日経産業新聞	2010年6月21日	三菱電機は18日、発光ダイオード(LED)照明事業の売上高を2015年度に09年度比10倍の500億円に引き上げる目標を発表した。オフィスや店舗、工場など施設用照明を中心に製品ラインアップを09年度の200機種から1500機種に拡充。ランプ事業で合弁会社を抱える独オスラムとの提携も強化する。現在10%強の国内シェアを20%強に引き上げる。
不規則な会社でいかが？、「体内時計」整えるオフィス、竹中工務店が開発	日本経済新聞	2010年6月22日	竹中工務店は脳が活性化する周期などをコントロールする「体内時計」が狂うのを抑えるオフィスを開発した。独自に開発した照明の明るさや室温を制御。オフィスで働く人の体内時計のリズムを整え、帰宅後の深い眠りを促す。不規則な勤務形態になりがちなオフィスワーカーの生産性向上に役立つ技術として3年以内の商用化を目指す。子会社の新築ビル内に新技術を導入したオフィスを開発した。サーカディアンリズム(概日周期)と呼ぶ24時間周期の体内時計に着目し、これに合わせた照明や空調の制御手法も取り入れた。発光ダイオード(LED)照明はオレンジ色と白色の2種類を調節しながら使い、夕方からはオレンジ色を強める。
東芝ライテック社長に聞く、LED照明首位狙う、中国工場・ODMも活用	日経産業新聞	2010年6月23日	東芝が発光ダイオード(LED)照明事業で攻勢をかけている。国内では3月に一般白熱電球の生産を停止してLEDに急速にシフト。欧米や中国に進出するなど海外展開も本格的に始めた。新規参入が相次ぐなか、老舗としてどう迎え撃つのか。照明子会社、東芝ライテックの社長に4月に就任した福田正巳氏に今後の戦略などを聞いた。
コイズミ照明 新製品内覧会に1200人來場	建通新聞	2010年6月23日	コイズミ照明(本社・大阪市中央区備後町3/3/7、梅田照幸社長)は16日～18日の3日間、名古屋市東区の同社名古屋ショールームにおいて、「新製品内覧会」を開催し、3日間で延べ1200人が訪れた。内覧会は、住宅・店舗用照明器具の2010年度版カタログ「あかり専科2010～2011」の発行を機に開催されたもので、新製品360アイテムを(1)LEDダウンライト(2)LEDコーディネートシリーズ(3)新和風シリーズ「常永久(とことわ)」「(4)省エネ対応eco fit(エコフィット)シーリングシリーズ」のコンセプトに分け、4ブースを構成。来場者は、同社担当者の説明を聞きながら、商品を実際に見て、触りながら新製品の感触確かめていた。
丸善電機(株) 照明器具製造販売	東京商工リサーチ	2010年6月23日	丸善電機(株)(伊丹市東有岡2-16、設立昭和31年2月、資本金4950万円、善積弘明社長、従業員186名)は6月21日、神戸地裁に民事再生法の適用を申請し、同日保全命令を受けた。申請代理人は四宮草夫弁護士ほか4名(弁護士法人淀屋橋・山上合同、大阪市中央区北浜3-6-13土地淀屋橋ビル、電話06-6202-4776)。監督委員は上谷佳宏弁護士(弁護士法人東町法律事務所、神戸市中央区京町80クリエト神戸9階、電話078-392-3100)。負債総額は平成21年3月期末時点で約48億円。
店舗用LED、ハロゲン同等、電力10分の1——東西電気産業、レンズ形状工夫	日経産業新聞	2010年6月23日	業務用照明中堅の東西電気産業(大阪市、神保健作社長)は、店舗用の発光ダイオード(LED)照明の新製品を開発した。店舗でよく使われる従来の光源のハロゲンランプと同じ性能を確保しながら、消費電力を10分の1に抑え、寿命は13倍という。光を集めるレンズの形状を工夫した。百貨店やホテル、飲食店などに売り込む。「ネクステイ」の製品名でシリーズ化し、7月に発売する。照明の明るさは125～340ルーメン(ルーメンは明るさの単位)で、寿命は約4万時間。委託先である電子機器製造のアドシステム(大阪府吹田市、小林崇司社長)が製造する。
オプテックス、LED調光システム、「餃子の王将」に納入。	日経産業新聞	2010年6月23日	センサー開発大手のオプテックスは、省エネ効率の高い屋外用LED調光照明システムの第1号を王将フードサービスの「餃子の王将」堂ヶ池店(京都市)に納入した。人や車が近づいた時だけ照明を明るくして、水銀灯に比べ消費電力を約10分の1に抑えられる。王将フードでは今後、新規に出す店を中心に採用する考えだ。納入したLED調光システムの照明は108個の白色LEDとレンズを組み合わせ、水銀灯並みの明るさと光の広がりがある。センサーで人や車の接近を感知すると、ゆっくり明るくしたりパッと点灯させたり、フラッシュのように点滅させることができる。
NEDO、革新的省エネ技術研究開発14件採択	日刊工業新聞	2010年6月23日	新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は、革新的な省エネ技術の研究開発を支援する「省エネルギー革新技术開発事業」の2010年度第一次公募の採択テーマとして14件の提案を採択した。研究フェーズと研究開発テーマ、採択先は次の通り。 【実証研究】マ有機EL照明量産化実証に関する研究開発(NECライティング)
オプテックス、LED調光システム、「餃子の王将」に納入。	日経産業新聞	2010年6月23日	大阪【センサー開発大手のオプテックスは、省エネ効率の高い屋外用LED調光照明システムの第1号を王将フードサービスの「餃子の王将」堂ヶ池店(京都市)に納入した。人や車が近づいた時だけ照明を明るくして、水銀灯に比べ消費電力を約10分の1に抑えられる。王将フードでは今後、新規に出す店を中心に採用する考えだ。
東芝ライテック社長に聞く、LED照明首位狙う、中国工場・ODMも活用。	日経産業新聞	2010年6月23日	国内生産にこだわらず 中国工場・ODMも活用 東芝が発光ダイオード(LED)照明事業で攻勢をかけている。国内では3月に一般白熱電球の生産を停止してLEDに急速にシフト。欧米や中国に進出するなど海外展開も本格的に始めた。新規参入が相次ぐなか、老舗としてどう迎え撃つのか。照明子会社、東芝ライテックの社長に4月に就任した福田正巳氏に今後の戦略などを聞いた。
店舗用LED、ハロゲン同等、電力10分の1——東西電気産業、レンズ形状工夫。	日経産業新聞	2010年6月23日	業務用照明中堅の東西電気産業(大阪市、神保健作社長)は、店舗用の発光ダイオード(LED)照明の新製品を開発した。店舗でよく使われる従来の光源のハロゲンランプと同じ性能を確保しながら、消費電力を10分の1に抑え、寿命は13倍という。光を集めるレンズの形状を工夫した。百貨店やホテル、飲食店などに売り込む。
内田洋行マーケティング本部LEDビジネス推進部部長古橋清之氏(創るひと)	日経産業新聞	2010年6月23日	LED照明参入を指揮「工房」こもりから試作 消費電力が小さくて寿命が長く、急速に需要が高まっている発光ダイオード(LED)照明。勢いよく広がる市場には家電メーカーだけでなく異業種の参入も相次ぐ。内田洋行もその1社だ。同社のオフィス向けLED照明事業への参入を指揮した、LEDビジネス推進部部長の古橋清之(53)は、競争の激しい事業を軌道に乗せようと日夜奮闘している。
コイズミ照明、中国でLED照明拡販、北京などに営業拠点、日系企業向け開拓	日経産業新聞	2010年6月24日	中堅照明器具メーカーのコイズミ照明(大阪市、梅田照幸社長)は中国市場に本格進出する。今後2～3年かけて北京市や大連市など主要都市に営業拠点を開設する。日系企業が中国に商業施設などを設立するのに合わせ発光ダイオード(LED)照明などを提案。省エネを切り口に大型案件の受注を狙う。中国における売上高を2009年度の9億円から11年度にも30億円に引き上げる。今年度内に北京市にある設計拠点到営業要員を派遣して営業所に格上げする。大連市や広州市など、日系企業が多く進出している都市にも営業所を開設する。
遠藤照明 先高に余力一意的な設備投資を評価	日本証券新聞	2010年6月24日	遠藤照明(6932・大証2部)に先高余力。22日に年初来高値を更新した反動で、23日は小振戻しものの、今期の収益急回復など評価材料は豊富で上値期待に包まれたままの状態だ。小型株ながら、LED(発光ダイオード)関連銘柄としてすっかりおなじみの同社。従来の照明器具と同価格帯ながら、消費電力を大幅に低減したLED照明器具を2010年2月から販売しており、今3月期に大きな収益貢献が見込まれている。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
シナジーテック社長大栗克俊氏——LEDで小型植物工場(かける四国人)	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月24日	得意の照明、農業に応用 次世代の農業として注目を浴びる植物工場。照明器具設計・製造のシナジーテック(徳島県阿南市)社長、大栗克俊(48)は発光ダイオード(LED)を使った植物工場の分野で、トップランナーとして走り始めた。
LED電球使って!、神奈川県、家電量販店などと連携、POP広告を掲示。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月24日	神奈川県は家電量販店やスーパーと組み、発光ダイオード(LED)電球の普及を後押しする取り組みを始めた。県内197店でLED電球の利用を促す店頭販促広告(POP広告)を来月3月まで掲示する。白熱球から二酸化炭素(CO2)排出量が少ないLED電球への切り替えを促す。
パナソニック、LED電球で「金賞」。	日本経済新聞 朝刊	2010年6月24日	パナソニック 昨年10月に発売したLED(発光ダイオード)電球で、米工業デザイナー協会から2010年IDEA(工業デザイン優秀賞)金賞を受賞した。工業デザインで最も権威ある賞のひとつ。06年に斜めドラム洗濯乾燥機で受賞して以来、2度目の受賞。LED電球「エパレス」は口金と発光するLEDパッケージをつなぐケースの表面に放熱性に優れたアルマイトを使用。表面に放熱のための凹凸が不要でホコリがたまりにくい。
コイズミ照明、中国でLED照明拡販、北京などに営業拠点、日系企業向け開拓。	日経産業新聞	2010年6月24日	一貫提供体制を整備 中堅照明器具メーカーのコイズミ照明(大阪市、梅田照幸社長)は中国市場に本格進出する。今後2~3年かけて北京市や大連市など主要都市に営業拠点を開設する。日系企業が中国に商業施設などを設立するのに合わせ発光ダイオード(LED)照明などを提案。省エネを切り口に大型案件の受注を狙う。中国における売上高を2009年度の5億円から11年度にも30億円に引き上げる。
インテックス、色彩・明るさを自由に設定できるLED照明を発売	日刊工業新聞	2010年6月25日	インテックス(東京都千代田区、八木様社長、03-5281-8282)は、色を自在に変えられる発光ダイオード(LED)照明「フルカラーLED蛍光灯」を7月1日に発売する。赤、緑、青のLEDの輝度を調整して色彩・明るさを自由に設定できる。価格は約4万円円で初年度2000本の販売を目指す。紫外光から近赤外光まで最大6色のLED素子を実装でき、殺菌や日焼け機能も追加できる。カラオケボックスやホテルなどの照明への採用を見込む。使い方に応じてタイマー機能なども組み込める。
LED光源、植物工場で効率活用、シワ電装など、システム開発へ。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月25日	電子部品製造のシワ電装(宮城県登米市)は仙台高等専門学校、宮城県農業・園芸総合研究所と共同で、植物工場用に中輝度レベルの発光ダイオード(LED)を効率的に活用する光源システムの開発に乗り出した。野菜に对上からだけでなく、横からも立体的に光を照らすのが特徴。植物工場の省エネルギー化や生産する野菜の品質向上に役立てる。
LED照明に不二サッシ参入、耐水性高い製品開発。	日経産業新聞	2010年6月25日	不二サッシは24日、発光ダイオード(LED)照明事業に参入すると発表した。水や高温に強い製品を開発、屋外用照明としての利用や、植物工場などに売り込む。年間1億5千万円の販売を見込む。 開発した「面発光体LEDプレート」はプリント基板にLEDチップを複数のせ、光を通す樹脂で二重に封止した。通常のLED照明に比べて耐水性が高いという。価格は縦6センチメートル、横15センチメートルの基板で1万円程度。製造は協力企業に委託する。
長野発、アイゼット——LED照明に性能劣らぬ蛍光灯(キラ星)	日経産業新聞	2010年6月25日	反射板工夫、低価格で長持ち 発光ダイオード(LED)照明の関心が高まっているなか、照明器具の製造・販売のアイゼット(長野県南箕輪村)が製造する高性能の蛍光灯器具が好評だ。蛍光灯の本数を従来の半分抑えながら高い照度を実現する反射板の開発が強み。このほど発売した製品はLED照明より長寿命で価格も3割以上抑えられることもあり、環境意識の高い企業から注目を浴びている。
LED電球普及へ 販売店向け説明会 県、来月1日から福岡	西部読売新聞	2010年6月26日	地球にやさしい発光ダイオード(LED)電球の普及に取り組み県は、1個買うごとに1000円分のお米券が図書カードを「補助」する事業を始めるのに伴い、販売店向けの事業説明会を7月1日から県内6か所で開く。LED電球は省エネ効果が高く、二酸化炭素の排出抑制につながる。電気代も節約できる一方で、1個約4000円と白熱電球と比べて高価なことから、県が独自の事業を考案した。
オプテックス、王将フードに、屋外LED照明を初納入。	日本経済新聞 地方経済面	2010年6月26日	センサー開発大手のオプテックスはこのほど、省エネ効果大きい屋外用のLED調光照明システムを王将フードサービスに初めて納入した。人や車が近づいた時だけ照明を明るくするので、従来の水銀灯に比べて消費電力を約10分の1に抑えられる。
LED照明に切り替え/ヨーヨー	LED(発光ダイオード)とLED照明に関する情報	2010年6月27日	4月の改正省エネ法の施行にともなって小売り各社の環境対策は急務になっており、ヨーヨー堂も全店の看板の照明を3年以内にLED(発光ダイオード)に付け替えるなど省エネの取り組みはコンビニからスーパーにも広がってきた。24時間営業のコンビニや大型店舗がLED照明に変わると電気代やCO2の削減で地球環境にいいですね
LED電球、東芝が価格攻勢	日経ビジネス	2010年6月28日	中国で価格攻勢を仕掛け、「市場創造」を目論む。半導体の生産技術を生かし、1兆円の売り上げを目指す。「『あかりの東芝』として中国でも負けるわけにはいかない」。日系メーカーとして初めて中国でLED(発光ダイオード)電球を発売した東芝。同社中国法人の田中孝明董事長は、3月に開催した製品発表会で気炎を上げた。力が入るのも無理はない。東芝は創業事業の1つである白熱電球の製造を2010年3月に終了。CO2(二酸化炭素)の排出量削減に貢献するためとはいえ、120年の歴史ある事業からの撤退は苦渋の決断だった。
モスフード、CO2、3割減の省エネ店、照明器具を効率配置	日経MJ(流通新聞)	2010年6月28日	モスフードサービスは二酸化炭素を3割削減した省エネ型店を開発した。照明器具を効率的に配置する技術を採用したほか、厨房機器の使用度合いを感知し空調を自動的に調整するシステムを取り入れた。効果のある機能をフランチャイズチェーン店にも導入する。モスはこれほど「ECO-MOSプロジェクト」を推進させ、ドライブスルー店の「R-155刈谷店」を改装。壁面の照明にはパナソニック電工の「Feu(フー)理論」と呼ばれる技術を採用。同理論は人が感じる「空間の明るさ」を数値化する。同理論を使うとより効果的に高さに照明器具を設置できる。明るさを維持したまま、同規模の店と比べて器具数を3分の2に減らすことができる。
小型LED電球の販売が好調 E17口金製品の5月の販売数量は1月の約9倍に	日経アーキテクチャ	2010年6月28日	E17口金の小型LED電球が売れている。2010年5月の販売数量が、10年1月の約9倍に急増していることが、シーエフケーマーケティングサービスジャパン(GfKJapan、本社:東京都中野区)の調査で明らかになった。同じ期間のLED電球全体の販売数量は約2.5倍であり、E17口金製品の伸びは際立っている。LED電球全体に占める比率は、数量ベースで31.9%を占めるまでになった。10年2月以降、パナソニック、東芝、シャープのE17口金製品がそろったこともあり、売り上げが大きく伸び始めた。
東芝ライテック、64%の省エネ実現したLED防犯灯	日刊工業新聞	2010年6月29日	東芝ライテックは発光ダイオード(LED)照明「イー・コア」シリーズの防犯灯「LEDK-789 71W-LS1」を発売した。消費電力は8.5ワット。従来の20ワット1灯用防犯灯ステンレス器具同等の明るさで、約64%の省エネ化を実現した。アームにはさびに強いステンレスを使用しており、海岸地域での使用などにも適している。年間点灯時間が4000時間の場合、電灯料金は1871円。光源寿命は約6万時間で、約7倍の長寿命化を実現した。従来に比べ電灯料金を約30%削減し、サイズと重さを約55%コンパクト化した。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
ウシオライティング、省エネ・環境負荷低減の電球型LEDランプ「LEDIU LEDフィラメント電球Let」を発売	日経速報	2010年6月29日	ウシオライティング株式会社は、白熱電球用のソケットで使用可能な、省エネ、環境負荷低減に貢献する電球型LEDランプ「LEDIU(レヂュー)LEDフィラメント電球Let(レット)」(以下Let)の「36lmタイプ」を完成させ、7月から販売を開始しますので、お知らせします。「Let」は、LEDを従来型白熱電球の発光部分と同じフィラメント状に搭載したもので、発する光の質や色だけでなく、ランプ形状までも従来型の白熱電球に近づけたものです。LED照明は「点光源で眩しい光」という一般的なイメージを払拭、従来の白熱電球が発する温かい光色を再現し、それぞれの照明空間がもつ雰囲気に合わせて演出を可能にしました。
パナエ工 汐留ミュージアム／ギャラリー照明次世代LEDに	日刊産業新聞	2010年6月29日	パナソニック電工は、9月5日まで「パナソニック電工汐留ミュージアム」で開催されている企画展「ハンス・コパー展」に合わせて、同ミュージアムの常設展示コーナー「ルオー・ギャラリー」を、最先端のLED照明などの次世代照明でリニューアルした。LEDは省エネ性のほか、紫外線や赤外線などの有害光線が少なく、展示品の損傷を抑えられるため、美術館や博物館などで主照明としての採用増加が期待されている。これまで「ルオー・ギャラリー」では、ミニハロゲンダウンライトやミニハロゲンスポットライト、美術館用蛍光灯展示ケース照明などを使用していた。
キヤノン、上場2社を完全子会社化	日経産業新聞	2010年6月29日	キヤノンは28日、連結子会社である大証2部上場のキヤノンマシナリーと、ジャズダック上場のトッキを10月1日付で完全子会社化すると発表した。いずれも株式交換で実施する。2社とも9月28日付で上場廃止となる予定。キヤノンマシナリー株1株に対しキヤノン株0・6株、トッキ株1株に対しキヤノン株を0・12株を割り当てる。現在のキヤノンの出資比率はキヤノンマシナリーが64・23%、トッキが66・01%。キヤノンマシナリーは工場搬送システムや自動化装置などを手がける。NEC子会社だった同社を2005年に買収して子会社化していた。トッキは有機ELディスプレイや太陽電池の製造装置を手がけ、07年に買収した。
東芝ライテック、LED防犯灯64%省エネ化	日刊工業新聞	2010/6/29	東芝ライテックは、LED照明「イー・コア」シリーズの防犯灯「LEDK-78971W-LS1」を発売した。消費電力は8.5W、従来の20W1灯用防犯灯と同等の明るさで、約64%の省エネ化を実現した。光源寿命は6万時間、従来比電灯料金を30%削減し、サイズと重さを約55%コンパクト化した。価格は2万3600円。
コイズミ照明、大阪で内覧会、LED中心に新製品紹介	電波新聞	2010/6/29	コイズミ照明は、23-25日の3日間同社ショールーム大阪で「2010あかり専科新製品内覧会」を開催し、光の質にこだわったLED照明を中心に新製品を紹介した。
遠藤照明、8月に154種、主照明用LED発売—ビル・店舗向け開拓	日経産業新聞	2010年6月30日	遠藤照明は空間全体を照らす主照明用のLED照明を8月から国内で発売する。オフィスビルや店舗など業務用に販売し、蛍光灯や水銀灯からの代替需要を取り込む。副照明用の新商品も約700種類追加。LED照明の商品点数を従来の1・8倍の2000種類に拡充し、2010年度にLED照明器具で100億円の売り上げをめざす。主照明用として明るさや大きさ、デザインの違いによって154種類の商品を用意した。価格は1万4800～5万9500円。素子の大量購入などにより、他メーカーの商品より数割安く抑えた。蛍光灯と比べると約2倍の高価格だが、オフィスや商業施設などの省エネ需要を獲得できるとみており、10年度に20億円の売り上げを見込む。
明かりを減らし、くつろぎの夜を “ライトダウンキャンペーン	産経新聞	2010年6月30日	全国のライトアップ施設や家庭の明かりを絞って落ち着いた夜を過ごそうと、「CO2(二酸化炭素)削減/ライトダウンキャンペーン」が今年も七夕の7月7日、実施される。明るさを少し減らすだけで省エネになるだけでなく、くつろぎの空間が生まれるという。
有機エレ研、あす再発足、最高責任者に当摩氏内定	日本経済新聞	2010年6月30日	山形県が3月末に解体した有機エレクトロニクス研究所(山形県米沢市)が機能や規模を縮小し、7月1日付で新組織として再発足する。現場の最高責任者に東北バイオニア(山形県天童市)で有機EL(エレクトロルミネッセンス)開発リーダーを長年務めた当摩照夫氏が内定した。関連産業の集積に向け、県内企業の支援拠点として再始動する。運営主体の山形県産業技術振興機構が29日発表した。組織名は「産学官連携有機エレクトロニクス事業推進センター」だが、通称は旧組織と同じ「エレ研」にする。センター長は産技機構の遠藤剛理事長が兼務。
大光電機、全国で照明新製品発表会	電波新聞	2010/6/30	大光電機は、住宅照明器具カタログ発刊を記念し、新製品発表会を全国主要都市で開催。LED照明DECOLED' Sシリーズの製品戦略を強化しており、住宅・商業施設を合わせて約1千品番に充実させた。
小売業、環境対策導入に本腰、LED照明7割導入へ	日経MJ新聞	2010/6/30	4月に改正省エネ法が施行され、小売業が環境対策に本腰を入れ始めた。中でもLED照明は、導入済みの企業が36.5%、今後予定している企業は38.7%に上った。全体的にコンビニエンスストアの積極姿勢が目立った。
遠藤照明、主照明用LED発売、ビル・店舗向け開拓	日経産業新聞	2010/6/30	遠藤照明は、空間全体を照らす主照明用のLED照明を8月から国内で発売する。オフィスビルや店舗など業務用に販売し、蛍光灯や水銀灯からの代替需要を取り込む。LED照明の商品点数を従来の1.8倍の2000種に拡充する。
第43回日本の小売業調査—環境対策導入に本腰、LED照明、7割導入へ。	日経MJ(流通新聞)	2010年6月30日	4月に改正省エネ法が施行され、小売業が環境対策に本腰を入れ始めた。なかでも今年導入が進みそうなのが発光ダイオード(LED)照明。導入済みの企業が36・5%、今後予定している企業は38・7%にのぼった。全体的にコンビニエンスストアの積極姿勢が目立った。環境は消費者の関心も高く、店舗のイメージに大きな影響を及ぼしそうだ。
遠藤照明、8月に154種、主照明用LED発売—ビル・店舗向け開拓。	日経産業新聞	2010年6月30日	遠藤照明は空間全体を照らす主照明用の発光ダイオード(LED)照明を8月から国内で発売する。オフィスビルや店舗など業務用に販売し、蛍光灯や水銀灯からの代替需要を取り込む。副照明用の新商品も約700種類追加。LED照明の商品点数を従来の1・8倍の2000種類に拡充し、2010年度にLED照明器具で100億円の売り上げをめざす。
冷凍倉庫用LED照明、みの電子開発、零下60度でも明るく—冷食保管の需要開拓。	日本経済新聞	2010年7月1日	発光ダイオード(LED)関連機器メーカーの、みの電子パーツ(徳島市、見野幸一社長)は冷凍倉庫に設置するLED照明を開発した。周辺温度の低下で照度が落ちるのを防ぎ、零下60度の環境下の実験でも明るさを確保した。初期の設置費用も従来の蛍光灯などの照明と同程度という。少ない消費電力で明るさを確保できる点を強調し、冷凍食品を扱う企業などに売り込む。
東芝、ルーヴルにLED照明、無償で4500台提供	日本経済新聞	2010年7月1日	東芝は30日、フランスのルーヴル美術館にLED照明を無償で提供すると発表した。計4500台のLED照明を提供し工事費用も負担する。世界的に著名な美術館の照明改修計画に参加することで、ブランド認知度を高め照明事業の海外展開を加速する。ルーヴル美術館は建物の内部や壁面、屋根を照らす「投光器」を、従来の「キヤノンランプ」などから消費電力が小さく寿命が長いLED照明に置き換える。広場やガラスのピラミッド、中庭などを照らす照明も改修する。改修は2011年末に終える予定。中庭は12年内を目指す。改修費用は数億円規模とみられる。東芝は昨年4月から欧米などにLED照明の営業拠点を設置。
山大卓越研究教授に楊氏 第一号 有機太陽電池で指導—山形	東京読売新聞	2010年7月1日	山形大工学部(米沢市)は30日、同学部の卓越研究教授として、有機エレクトロニクス研究で世界的に著名な楊陽(やんやん)・カリフォルニア大ロサンゼルス校(UCLA)教授(51)と28日付で契約したと発表した。卓越研究教授は、同大が整備中の先端有機エレクトロニクス研究センターで有機ELや有機太陽電池などノーベル賞級の研究をする「ドリームチーム」のため設けた制度。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東芝、ルーブル美術館にLED照明を無償提供	日本経済新聞	2010/7/1	東芝は、フランスのルーブル美術館にLED照明を無償で提供すると発表した。計4500台のLED照明を提供し工事費用も負担する。世界的に著名な美術館の照明改修計画に参加することで、ブランド認知度を高め照明事業の海外展開を加速する。建物の内部や壁面、屋根を照らす投光器を従来のキセノンランプなどからLED照明に置き換える。
ウソライティング、フィラメント状LED電球、10ワット級、明るさ2倍。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月1日	ウソライティングは発光部をフィラメント状にして外観を白熱電球に近づけた発光ダイオード(LED)電球の新製品一写真一を1日に発売する。従来品と比べて明るさを2倍の36ルーメンに引き上げ、一般的な白熱電球で10ワット相当を実現した。省エネや長寿命などLEDならではの利点を武器に、店舗や商業施設などの装飾照明として初年度に10万本の販売を目指す。
冷凍倉庫用LED照明、みの電子開発、零下60度でも明るく—冷食保管の需要開拓。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月1日	発光ダイオード(LED)関連機器メーカーの、みの電子パーツ(徳島市、見野幸一社長)は冷凍倉庫に設置するLED照明を開発した。周辺温度の低下で照度が落ちるのを防ぎ、零下60度の環境下の実験でも明るさを確保した。初期の設置費用も従来の蛍光灯などの照明と同程度という。少ない消費電力で明るさを確保できる点を強調し、冷凍食品を扱う企業などに売り込む。
東芝、ルーヴルにLED照明、無償で4500台提供。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月1日	芝は30日、フランスのルーヴル美術館に写真一に発光ダイオード(LED)照明を無償で提供すると発表した。計4500台のLED照明を提供し工事費用も負担する。世界的に著名な美術館の照明改修計画に参加することで、ブランド認知度を高め照明事業の海外展開を加速する。
LED照明事業、2015年までに事業規模500億目指す 三菱電機	建通新聞	2010年7月2日	三菱電機は18日、省エネ、環境負荷低減の基幹商品であるLED照明事業の強化を図るため、施設用を中心に新商品開発を加速させるほか、「LED営業推進センター」を新設し2015年度までに事業規模で500億円を目指すとして発表した。執行役員社長でリテリング・デジタルメディア事業本部長の中村一幸氏は「世界的な低炭素社会形成の動きに伴い、電気製品の中でも消費電力量の大きい照明器具の高効率化が求められており、改正省エネ法の施行、家電エコポイント・住宅エコポイントの施行など環境政策の強化により、省エネルギー機器への関心・期待が高まっている。
商店街エコ化事業、LED灯を導入、電気料金67%減、モデル5団体、川崎市測定。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月2日	川崎市は2009年度の「商店街エコ化プロジェクト」で、発光ダイオード(LED)の街路灯に切り替えたモデル商店街5団体が電気料金を1年間に平均67・8%削減したと発表した。効率の良い設置場所も検討し、二酸化炭素(CO2)排出量を年間82トン減らした計算になるという。
パナソニック電工 長榮周作(ながえ・しゅうさく)	週刊ダイヤモンド	2010年7月3日	今年2月、次期社長を快諾した長榮周作は、松下幸之助氏の著書『社長になる人を知ってほしいこと』を読み直した。松下電工(当時)では照明畑を歩いてきた。入社して11年半は、化学工場などで使われる防錆性の高い特殊照明の設計を担当。課長と2人という小さな組織だったが、「お客のニーズをくみ取り、自分で考える姿勢が身についた」と振り返る。その後照明の商品企画を行ってきたが、転機が訪れたのは50歳のとき。3年間、インドネシアの子会社社長を務めることになった。照明用インバーターを生産し日本に輸出するのが主な仕事だが、当時は円安ドル高。
LED電球 照明部門で金額シェア1位	朝日新聞	2010年7月3日	今年4月、市場調査会社GfKジャパンによる家電量販店での売り上げ調査で、LED電球の金額ベースのシェアが30%と照明部門のトップになった。球形蛍光灯が25%、直管型蛍光灯が17%。5月にはその差はさらに広がった(数量ベースでは1割前後)。LED電球の特徴は省エネと長寿命。一般電球に比べ、同じ明るさで電球代は20～25%、寿命は6～10年とされている。問題は単価で、1年ほど前までは1個当たり77円前後だったが、シャープの新規参入などで半額以下になり、一気に市場が活性化。4月からはLED電球への買い替えの場合に、エコポイントの必要交換ポイントが半分で済む特典も加わり、勢いが加速している。
東北デバイス再生法申請、白色有機EL生産、負債総額37億円。	日本経済新聞	2010年7月3日	有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルなどを製造する東北デバイス(岩手県花巻市、相馬平和社長)は2日、東京地裁に民事再生手続を同日申し立て、保全命令を受けたと発表した。負債総額は約37億円で、うち銀行借入金など金融債務は約18億円。「スポンサーの支援を得て再生を目指す」(東北デバイス)方針で、49人いる従業員の雇用も継続する。同社は2005年設立。青森県の誘致を受けて、06年に六ヶ所村で世界初の白色有機ELパネル量産工場を稼働させた。有機ELは消費電力が少ない次世代光源として注目されており、累計で約50億円の設備投資を実施した。
有機EL世界拠点の夢(ひとりごと)	日本経済新聞	2010年7月3日	九州大学の伊都キャンパスに6月、全国の大学や企業から有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)の研究者約140人が集まった。九大が4月に開設した最先端有機エレクトロニクス研究センターの初会合に広島大学、京都大学、北陸先端科学技術大学院大学など研究実績のある大学のほか、新日鉄化学、東芝、リコーなど大手9社が集結した。
LED照明、日本で基幹部品、フィリップス供給、35種類。	日本経済新聞 朝刊	2010年7月5日	オランダのフィリップスは日本で発光ダイオード(LED)照明の基幹部品事業に乗り出す。商業施設や店舗、住宅など各分野ごとにに向けた製品群を今年度中に用意。部品製造まで自社で投資することに慎重な中堅・中小の照明器具メーカーなどに供給する。照明の世界最大手が日本で攻勢をかけることで、省エネで注目されるLED照明の普及が加速しそうだ。
LED照明、日本で基幹部品、フィリップス供給、35種類	日本経済新聞	2010年7月5日	オランダのフィリップスは日本でLED照明の基幹部品事業に乗り出す。商業施設や店舗、住宅など各分野ごとにに向けた製品群を今年度中に用意。部品製造まで自社で投資することに慎重な中堅・中小の照明器具メーカーなどに供給する。照明の世界最大手が日本で攻勢をかけることで、省エネで注目されるLED照明の普及が加速しそうだ。光源のLEDチップに駆動回路などを組み合わせた「LEDモジュール」を供給する。これを器具に取り付けたものがLED照明となる。住宅用のダウンライトや店舗で使うスポットライト、街路灯などに使えるLEDモジュールを今夏から順次発売、来年3月までに35種類程度をそろえる。
西友が1770円でLED電球発売	日経MJ(流通新聞)	2010年7月5日	西友は中国製の発光ダイオード(LED)電球を1770円で売り出した。調光機能のついた照明器具には対応しないなど機能を絞った。同社は「他社の同等の商品より200円程度安く、国内では最安値クラス」と説明している。商品は「アーベインLED電球」で、自然電球60ワットに相当。自然電球に比べて二酸化炭素(CO2)の排出量を9割削減できるという。全国の371店で販売する。
有機EL、事業化へ研究組織、山形県、数十社で秋メド発足。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月6日	山形県は有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)産業の集積を目指し、県内外企業を結集した研究会組織を今秋をメドに立ち上げる。7年にわたる「山形有機エレクトロニクス・バレー構想」に取り組んできたが、今春から民間企業によるサンプルパネル供給が始まるなど「事業化に向けて新たな段階に入った」と判断した。数十社規模での発足を目指す。
エコ商戦の今(4)LED照明、先行き明るく—年2000万個出荷に現実味。	日経産業新聞	2010年7月6日	発光ダイオード(LED)照明市場の先行きが一段と明るい。今年4月からエコポイントで割安で買えるようになったLED電球が順調に売り上げを伸ばしている。店舗やオフィスなど企業向けでも改正省エネ法の施行を受けて照明器具の交換が進み始めた。
エコ商戦の今(4)LED照明、先行き明るく—年2000万個出荷に現実味。	日経産業新聞	2010年7月6日	LED照明市場の先行きが一段と明るい。今年4月からエコポイントで割安で買えるようになったLED電球が順調に売り上げを伸ばしている。店舗やオフィスなど企業向けでも改正省エネ法の施行を受けて照明器具の交換が進み始めた。都内のある家電量販店。最新の薄型テレビが並ぶフロアの一角に、LED電球の特設コーナーが設けられている。エコポイント商戦の主役である薄型テレビと並び、LED電球への期待の高さがうかがえる。実際、LED電球の販売台数は右肩上がり伸びている。調査会社GfKジャパンによると、2010年6月の店舗販売数量は前年4月の930倍に膨らんだ。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
上手に選択「LED電球」明るさ、重さ 白熱電球と違いも	産経新聞	2010年7月6日	寿命が長く、電気代が安いLED電球。省エネ意識の高まりと、白熱電球が再来年に原則生産中止になることから関心は高い。ただ、光の広がり方や重さなど従来の電球と違う点も多く、付け替える際は場所や用途をよく考慮して選びたい。ビックカメラ有家町店では今年に入り、LED電球の販売個数が伸びている。4～5月の大型連休では帰省の土産として、高齢の親に代わって電球を付け替えるためにまとめ買いする人が目立ったという。同店家電コーナーの中村広輔主任は「価格は高めたが、LED電球は長く使う“家電”だという意識が定着してきた」と話す。
有機EL、事業化へ研究組織、山形県、数十社で秋メド発足	日経産業新聞	2010年7月6日	有機物を使って薄くて柔らかく効率の高い発光材料を創出する拠点が今春、九州大学に発足した。安達千波矢教授をセンター長とする「最先端有機光エレクトロニクス研究センター」(OPERA)だ。九州で採択された唯一のプロジェクトで大学とともに地元自治体の期待も大きい。安達教授はOPERAの活動内容を説明するとき「スーパー有機ELへの挑戦」という表現をよく使う。この20年、有機ELを表示装置に採用した携帯電話やカーオーディオなどが登場した。低消費電力で鮮明な画質などは長所だが、耐久性や価格に課題があり小さな画面にとどまる。
有機EL、事業化へ研究組織、山形県、数十社で秋メド発足	日本経済新聞	2010年7月6日	山形県は有機EL産業の集積を目指し、県内外企業を結集した研究会組織を今秋をメドに立ち上げる。7年にわたり「山形有機エレクトロニクスバレー構想」に取り組んできたが、今春から民間企業によるサンプルパネル供給が始まるなど「事業化に向けて新たな段階に入った」と判断した。数十社規模での発足を目指す。立ち上げるのは「OLEDヤマガタ」(仮称)。有機ELパネルの試作・製造や応用製品の研究・開発などに参入意欲を持つ企業をネットワーク化することで新産業の集積を促す。全体の研修会や個別テーマごとの勉強会のほか、技術情報の交換、パネルの提供などを想定している。有料の会員制組織とし、会費は年間数万円程度の見込み。
小売業調査から(3)環境対策——生協、太陽光発電進む。	日経MJ(流通新聞)	2010年7月7日	小売業調査では、環境対策の進捗状況を業態別に分析した。コンビニエンスストアやスーパー、百貨店の多くが実施しているのが「発光ダイオード(LED)照明の導入」。百貨店は42.9%、スーパーは41.9%にのぼった。
紫外線LEDで白色開発 ナイトライド、初めて成功 自然な色合い実現	徳島新聞	2010年7月7日	LED製造のナイトライド・セミコンダクターが、紫外線LEDをベースとする実用化レベルの白色LED開発に、世界で初めて成功し、海外の電機メーカーなどから早速引き合いが相次いでいる。現在では主流の青色LEDを応用した白色LEDと比べ、より自然な色合いを実現するのが特長。10月ごろのサンプル出荷開始に向け、準備を進めている。開発した白色LEDは紫外線LEDの光を赤、緑、青の3色(RGB)の蛍光体に通すことで、白く発光させる仕組み。白色LED開発で現在の主流は、青色LEDの光を黄色の蛍光体に通す方式。
有機エレクトロニクス事業化推進センター・当摩GMIに聞く ニーズごとに個別開発、3年後に事業化の芽	山形新聞	2010年7月7日	有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明の事業化に向けて県は今月1日、「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」(米沢市)を開設した。ゼネラルマネージャーに就いた当摩照夫氏は山形新聞のインタビューに応え、「秋には有機ELパネル供給が始めるが、事業化には性能向上が不可欠」とし企業の要望に応じた実用化研究を進める考えを示し、事業期間の3年後の目標は「企業との共同開発が芽を出す段階までもっていきたい。それが数的にも盛んになっていけば、事業延長の議論にもつながる」と述べた。以下は一問一答。 —有機ELとのかかわりは。
再生法申請の東北デバイス、カナカが支援検討	日本経済新聞	2010年7月8日	東京地裁に民事再生法の適用を申請した東北デバイス(岩手県花巻市、相馬平和社長)は7日、青森市内で債権者説明会を開いた。終了後、取材に応じた代理人の弁護士は、大坂市に本社を置く大手化学品メーカーのカナカが再建に向けた支援企業になることを検討中だと明らかにした。東北デバイスは、省エネルギー型光源として注目される有機EL(エレクトロルミネッセンス)パネルのメーカー。青森県六ヶ所村に量産工場を持つ。有機ELの市場拡大が計画より遅れ、初期投資が負担となり民事再生を申し立てた。
岩崎電気、高天井用LED照明24種発売	日経産業新聞	2010/7/9	岩崎電気は工場やガソリンスタンドなどに使う高天井用LED照明の新製品24機種を発売した。高出力のLEDを採用、器具設計の工夫により従来形と同じ明るさで消費電力を約57%削減できる。発売したのは「レディオックシーリングHB」で直下を照らす平面タイプと広範囲を照らすV字型の2種類。反射鏡による光の向きの違いで3種、光の色で2種類。価格はオープンだが市場想定は25万円前後の見込み。消費電力は180Wで従来形のメタルハライド400Wと同等の明るさで消費電力は57%少ない。
LED街路灯で受信障害、520基分交換	河北新報	2010/7/9	宮城県栗原市が商店街で導入を進めるLEDの街路灯の影響でテレビの受信障害が発生し、街路灯約520基分、LED約1000個を取り換えた。障害はVHFのアナログ波を使った放送局で発生。放送局の中継局の方角にLEDがあるとテレビの屋外アンテナがノイズを拾い強くする模様。
高い天井用、電力57%減、岩崎電、LED照明24種。	日経産業新聞	2010年7月9日	岩崎電気は工場やガソリンスタンドなどに使う高天井用発光ダイオード(LED)照明の新製品24機種を発売した。高出力のLEDを採用、器具の設計を工夫して従来型と同じ明るさを實現しつつ消費電力を約57%削減できるという。改正省エネ法の施行で省エネのニーズが高まる法人需要を開拓、1年間で3000台の販売を目指す。発売したのは「レディオックシーリング HB」。直下を照らす平面の「タイプF」と広範囲を照らすV字型の「タイプV」の2種類を用意した。反射鏡による光の向きの違いで3種類、光の色で2種類をそれぞれ用意した。価格はオープンだが市場想定は25万円前後の見込み。
高い天井用、電力57%減、岩崎電、LED照明24種	日経産業新聞	2010年7月9日	岩崎電気は工場やガソリンスタンドなどに使う高天井用発光ダイオード(LED)照明の新製品24機種を発売した。高出力のLEDを採用、器具の設計を工夫して従来型と同じ明るさを實現しつつ消費電力を約57%削減できるという。改正省エネ法の施行で省エネのニーズが高まる法人需要を開拓、1年間で3000台の販売を目指す。発売したのは「レディオックシーリング HB」。直下を照らす平面の「タイプF」と広範囲を照らすV字型の「タイプV」の2種類を用意した。反射鏡による光の向きの違いで3種類、光の色で2種類をそれぞれ用意した。価格はオープンだが市場想定は25万円前後の見込み。
オプティレッド、蛍光灯型LED照明、市場の半値に	日本経済新聞	2010年7月9日	LED照明のオプティレッド・ジャパンは8日、市場価格のほぼ半値の蛍光灯型LED照明を発売すると発表した。蛍光灯型LED照明市場へはメーカーの新規参入が相次ぎ、価格競争も激化している。代理店での販売価格は40ワット相当で1本4800円。現在は1万円前後が主流で、5月にJFEエンジニアリングが打ち出した最安値水準の8000円に比べても4割安い。工事費用は1本当たり1500～2000円。オプティレッド・ジャパンは、香港を拠点とするオプティレッド・ライティングの日本法人。グループでアジアにおける販売を拡大しており、L ED素子大手の米クワイー社から素子を大量調達することで価格の大幅引き下げを実現したという。
「有機EL」活用で対談、研究の第一人者、城戸山形大教授、工業デザイナーの奥山氏と	日本経済新聞	2010年7月9日	高級車フェラーリなどを手がけた世界的工業デザイナー、奥山清行氏と有機EL(エレクトロルミネッセンス)研究の第一人者、城戸淳二山形大教授が12日、山形市内で初めて対談する。テーマは「有機ELを活用したデザイン開発」。地元山形出身の奥山氏は有機EL照明にも強い関心を寄せており、今後、山形発の最新テクノロジーとデザインの融合が進む可能性もありそうだ。
東北デバイスが再生手続き開始、カナカなど支援検討	日本経済新聞	2010年7月10日	東北デバイス(岩手県花巻市、相馬平和社長)は9日、東京地裁から8日付で民事再生手続きの開始決定を受けたと発表した。同社は青森県六ヶ所村で有機EL(エレクトロルミネッセンス)を生産しているが、有機ELの市場拡大が遅れ、約37億円の負債を抱え民事再生法の適用を申請した。スポンサーを探して再建を目指す一方で、カナカなどから支援の打診や問い合わせが来ているという。東北デバイスは8月30日までに東京地裁に再生計画案を提出する予定。同社に対する債権の届け出は8月6日まで。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
シチズン電子、照明用LEDで世界シェア2位を目指す	化学工業日報	2010年7月12日	電子デバイスのシチズン電子(山梨県富士吉田市、郷田義弘社長)は照明用LED事業を拡大、世界シェア2位を目指す。このために新工場を建設し、生産能力を国内外で大幅に拡大する。高効率のパッケージ技術で差別化を図っている同社だが、今後はデバイスだけでなく、照明器具も自社で手掛け、多様なニーズに対応を図る方針。シチズンホールディングスは中期経営計画最終年度の2012年度で営業利益250億円を目指す。この約8%をシチズン電子が占める見通し。シチズン電子は電子デバイスのなかでもLED照明事業にリソースを絞り、現状の売り上げベース世界シェア約7%を10%超に高め、日亜化学工業に次ぐ2番手を目指す。
国交省、国道の照明LEDに	日本経済新聞	2010/7/13	国土交通省は地球温暖化対策の一環で、国道の照明灯にLEDを導入する。年度内に東京と九州の一部区間に設置し、路面の明るさの基準になる路面輝度を安定的に満たせるかの実証実験を実施する。民間に低価格品の開発を促し、温暖化ガスの削減につなげる。
国交省、国道の照明LEDに、温暖化ガス削減狙う。	日本経済新聞 夕刊	2010年7月13日	国土交通省は地球温暖化対策の一環で、国道の照明灯に発光ダイオード(LED)を導入する。年度内に東京と九州の一部区間に設置し、路面の明るさの基準になる路面輝度を安定的に満たせるかの実証実験を実施する。民間に低価格品の開発を促し、温暖化ガスの削減につなげる。
山形大・城戸教授、工業デザイナーの奥山氏、有機ELで協力。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月13日	山形を代表する2人の第一人者がタッグ——。世界的工業デザイナーの奥山清行氏と有機EL研究の城戸洋二山形大学教授が12日、山形市内の商業施設「水の町屋 七日町御殿」で初めて対談した。奥山氏は「薄くて透明パネルが実用化されれば、住宅の窓自体が照明やディスプレイになるかもしれない」と指摘。「世界を変える次世代照明を山形から生み出そう」と一致した。
NECライティング、LED照明品ぞろえ3倍、150種、用途別に対応。	日経産業新聞	2010年7月13日	ビル新設や置き換え狙う NECライティングは2010年度中に発光ダイオード(LED)照明の品ぞろえを現在の3倍にあたる約150品種に増やす。オフィスや店舗向けに発光効率の高い省エネ型の新製品を相次いで投入し、オフィスビルの新設や既存照明の置き換えるの需要を狙う。一般照明の売上高に占めるLEDの比率を今年度に1割に引き上げる。
徳洲会、新病院にLED照明。	日経産業新聞	2010年7月13日	医療法人大手の徳洲会は、9月に新築移転する湘南鎌倉総合病院(神奈川県鎌倉市)に蛍光灯型LED照明を導入する。消費電力を抑える効果に加え、ちらつきや電磁波の発生が少なく患者の快適性が高まる利点があると判断した。グループの新設や移転を計画している他の病院でも導入を検討する。
NECライティング、LED照明品ぞろえ3倍、150種、用途別に対応	日経産業新聞	2010年7月13日	NECライティングは2010年度中に発光ダイオード(LED)照明の品ぞろえを現在の3倍にあたる約150品種に増やす。オフィスや店舗向けに発光効率の高い省エネ型の新製品を相次いで投入し、オフィスビルの新設や既存照明の置き換えるの需要を狙う。一般照明の売上高に占めるLEDの比率を今年度に1割に引き上げる。今夏以降、100品種のLED照明を製品ラインアップに加える。オフィス向けでは、光源の配置を工夫して薄型にした天井用照明や、既存の直管型の蛍光灯に代わる製品を発売。ダウンライトでも品ぞろえを拡充する。店舗向けでは指向性の高いLEDの光を生かしたスポットライト型の電球などを売り出す。
国交省、国道の照明LEDに、温暖化ガス削減狙う	日本経済新聞	2010年7月13日	国土交通省は地球温暖化対策の一環で、国道の照明灯に発光ダイオード(LED)を導入する。年度内に東京と九州の一部区間に設置し、路面の明るさの基準になる「路面輝度」を安定的に満たせるかの実証実験を実施する。民間に低価格品の開発を促し、温暖化ガスの削減につなげる。現在の国道の照明灯は高圧ナトリウムランプが主流だ。かつて使用していた水銀ランプに比べて安全性が高いうえ、寿命も5年前後と2倍ほど長く、電力消費量も約半分に抑えられる。LEDランプは寿命が10年前後とさらに長い、電力消費量は高圧ナトリウムランプと同程度だが、製品開発が進めば、一段の低減余地が大きいという。
山形大・城戸教授、工業デザイナーの奥山氏、有機ELで協力	日本経済新聞	2010年7月13日	山形を代表する2人の第一人者がタッグ——。世界的工業デザイナーの奥山清行氏と有機EL研究の城戸洋二山形大学教授が12日、山形市内の商業施設「水の町屋 七日町御殿」で初めて対談した。奥山氏は「薄くて透明パネルが実用化されれば、住宅の窓自体が照明やディスプレイになるかもしれない」と指摘。「世界を変える次世代照明を山形から生み出そう」と一致した。対談場所の七日町御殿の蔵敷には有機EL照明の試作モデルなども展示。奥山氏は「有機ELにはデザイナー心を刺激される面白さがある」と強調した。城戸教授は「有機ELはこれから実用化が始まる段階で、今後5年、10年が重要」と指摘。
グリーンハウス、LED電球2種、電球色と昼白色。	日経産業新聞	2010年7月14日	デジタル家電の開発・販売を手掛けるグリーンハウス(東京・渋谷、小沢武史社長)は、発光ダイオード(LED)電球「ヒカリオ」を7月下旬に発売する。定格消費電力は6.5ワットだが、電球の明るさは60ワットに相当する。「E26」と呼ぶ電球で一般的な口金に付けられるタイプ。電球色と、白っぽい昼白色の2種類を用意している。
パナソニック、電球形蛍光灯など、海外売上高200億円に、12年度10倍狙う。	日経産業新聞	2010年7月14日	パナソニックは13日、電球形蛍光灯などの照明用光源の海外売上高を2012年度に09年度の10倍強の200億円に高める計画を発表した。中国などで省エネ型照明のニーズが高まっていることに対応し、09年度に4%にとどまっていた照明用光源の海外売上高比率を12年度に30%に高める。
岩崎電気/LED高天井用照明器具を発売/工場・倉庫やGS向け	日刊建設工業新聞	2010年7月14日	工場や倉庫、ガソリンスタンドなどの照明に適する。高出力LED13Wタイプを12個使用し、最高器具光束13800ルーメンを実現。メタルはラドランプ(400W)と同等の明るさを達成しながら、消費電力を約57%削減できる。設計寿命は標準で4万時間、オプション接続時で6万時間。光漏れを抑え直下を照らすタイプと広範囲を照らすタイプの展開。それぞれ狭角、中角、広角と昼白色、電球色を展開する。天井取り付け、ポール取り付けにも対応。
LED電球類、売上高200億円に、パナソニック、12年度	日本経済新聞	2010年7月14日	パナソニックは13日、2012年度のLED(発光ダイオード)電球類の売り上げを09年度の10倍強の200億円に増やす計画を発表した。家庭用の電球に加え、10年度後半からLEDを使った業務用照明の光源部品を投入。11年度以降にはアジアを中心に海外でも販売する。パナソニックは昨年10月に家庭用のLED電球を発売し、国内で3割強のシェアを持つ。09年度の売り上げは14億円。
LED照明事業開始内田洋行住宅市場等ターゲットに	日刊木材新聞	2010年7月14日	内田洋行(東京都、柏原孝社長)は、LED照明「ユビックライト」シリーズの販売を始めた。オフィス、商業施設、住宅市場などをターゲットとしており、3年後には100億円の売り上げを目指している。同社は08年から韓国・サムスンLEDと協力し、同社製のLED素子を用いた照明器具を開発、今年1月にLEDビジネス推進部を設立させた。ユビックライトシリーズは光を自在にコントロールできる柔軟性、無駄な点灯を削減するスマートコントロール、顧客の要望に応じて導入を実現する可変性などを特徴としており、安心保障付き直管型LED照明、調光が可能な業界初の無線型LEDスポットライトなど4品種を販売していく。
パナ電工、最高効率のLED照明。	日経産業新聞	2010年7月15日	パナソニック電工は8月、空間全体を照らす直線形の発光ダイオード(LED)照明器具の新製品を発売する。明るさを出力率は1ワットあたり104.6ルーメンと業界最高。同社の従来品より約52%改善し、オフィスで通常使う蛍光灯と同等の明るさを実現した。価格は1台20万円程度。2010年度に5000台の販売をめざす。
琵琶湖汽船、「ミシガン」、LED照明に。	日経産業新聞	2010年7月15日	夜のクルーズ船を彩るのは発光ダイオード(LED)——。琵琶湖汽船(大津市、中井保社長)は琵琶湖の観光外輪船「ミシガン」の外部照明を白熱灯からLEDに切り替え、17日から運航する。省エネ効果を高めるほか、紫外線成分が少なくあまり熱を発生しないため、ナイトクルーズで虫も集まりにくくなるのもメリットという。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パナ電工、最高効率のLED照明	日経産業新聞	2010年7月15日	パナソニック電工は8月、空間全体を照らす直線形の発光ダイオード(LED)照明器具の新製品を発売する。明るさを出す効率は1ワットあたり104・6ルーメンと業界最高。同社の従来品より約52%改善し、オフィスで通常使う蛍光灯と同等の明るさを実現した。価格は1台20万円程度。2010年度に5000台の販売をめざす。
三菱電機照明、既存の照明器具使用できるLEDリニューアルキット	日刊工業新聞	2010年7月15日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、中村俊夫社長、0467・41・2724)は、既存の照明器具を使用して発光ダイオード(LED)へリニューアルできる「LEDリニューアルキット」を完成、月内から提案活動を始め。原則として現地調査をした上で施工するなど、安全面でもアピールする。想定価格は6万5000円程度で、仕様などにより異なる。別途工事費が必要。従来の300ミリメートル幅蛍光灯埋め込み器具に対応した。既設の器具に組み込んだランプや反射板を外し、電源を切断する。器具には新たにLED光源と電源ユニット、反射板をセットする。
フェローテック、LED照明を本社ビル導入。	日経産業新聞	2010年7月16日	ジャズダック上場で半導体・太陽電池関連製品を製造するフェローテックは、本社ビル(東京・中央)の照明をLED(発光ダイオード)に切り替えた。LED照明の導入で年間27トンの二酸化炭素(CO2)が削減できるという。企業の社会的責任(CSR)活動の一環として、環境負荷の低減に向けた取り組みをアピールする。
ワタミ、10年でCO2半減、08年度比、グループ挙げ環境対策徹底。	日経MJ(流通新聞)	2010年7月16日	ワタミは店や本社での環境対策を徹底する。物流体制を見直し、食材以外の物品を店舗へ配達する回数を減らす。店では従来の白熱電球に比べて、電気使用量を削減できる発光ダイオード(LED)照明の導入を広げる。酒瓶の再使用などリサイクル率の向上にも取り組む。2020年度までにグループでの二酸化炭素(CO2)排出量を08年度比で半減する。
フェローテック、LED照明を本社ビル導入	日経産業新聞	2010年7月16日	ジャズダック上場で半導体・太陽電池関連製品を製造するフェローテックは、本社ビル(東京・中央)の照明をLED(発光ダイオード)に切り替えた。LED照明の導入で年間27トンの二酸化炭素(CO2)が削減できるという。企業の社会的責任(CSR)活動の一環として、環境負荷の低減に向けた取り組みをアピールする。フェローテックは本社ビルの蛍光灯約900本を、すべてLED照明に変えた。環境コンサルティング会社のウエルバーク(東京・中央)が提供するLED照明導入支援サービスを利用して、フェローテックは初期負担なしのリース形式で導入した。本社での実績を踏まえて、これからは工場や営業所などに拡大したい考え。
住友化や昭和電工、有機EL照明に参入、材料・パネル一貫生産。	日本経済新聞 朝刊	2010年7月18日	住友化学や昭和電工など素材各社が省エネ型の次世代照明である有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明事業に相次ぎ参入する。主要材料からパネルまで一貫生産し、2012年から照明器具を手掛ける電機メーカーに販売する。発光ダイオード(LED)照明と同様に日本の素材技術が生かせる分野で、18年に6000億円超の規模が見込まれる世界市場を開拓する。
住友化や昭和電工、有機EL照明に参入、材料・パネル一貫生産	日本経済新聞	2010年7月18日	住友化学や昭和電工など素材各社が省エネ型の次世代照明である有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明事業に相次ぎ参入する。主要材料からパネルまで一貫生産し、2012年から照明器具を手掛ける電機メーカーに販売する。発光ダイオード(LED)照明と同様に日本の素材技術が生かせる分野で、18年に6000億円超の規模が見込まれる世界市場を開拓する。有機EL照明はLED照明と同等の省エネ効果があり、量産化で製造コストも同程度になる見通し。光源を折り曲げて様々な形の照明器具の開発も可能になる。パナソニック電工や東芝、NECライティングなど照明メーカーとの共同開発が本格化しそうだ。
専門店調査から(1)環境対策——今後の予定「LED導入」40%。	日経MJ(流通新聞)	2010年7月19日	企業、消費者ともに関心が高まる環境問題。日経MJが実施した「第38回日本の専門店調査」(2009年度)の経営アンケートで各社の環境対策について聞いたところ、回答284社で今後取り組む予定として最も多いのは「LED(発光ダイオード)照明の導入」の40・5%だった。従来の蛍光灯などに比べ消費電力が小さく長持ちするうえ、価格自体も下がっていることから店舗やオフィスへの導入意欲が高いようだ。
三菱電機照明／倉庫など低温空間向けLED照明	日刊工業新聞	2010年7月20日	三菱電機照明 倉庫など、低温空間での使用に適した発光ダイオード(LED)照明器具「EL-LR4000N」を発売した。マイナス40度Cからプラス35度Cまでの低温特性を持たせた。LEDは光束の立ち上がり時間が早いので、不在時の消灯が可能。点灯時間を減らすことで、省エネ化につながる。従来の低温室用蛍光灯器具は点灯から最大光束になるまで20～40分程度かかり、常時点灯する必要があった。光源寿命は蛍光灯の約4倍の5万時間、メンテナンスを容易にした。従来式の照明器具と比べて約81%の省エネ化につながる。価格はオープン。
金沢工業大学教授平岡淳司さん——LEDの光でホテル誘導(ほくりism)	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月21日	農業代わり、防虫にも成功 金沢工業大学の平岡淳司教授はホテルを集める発光ダイオード(LED)光源を開発した。ホテルの光と同じ黄緑色のライトで呼び寄せさせる仕組みで、6月に実施した実証実験では金沢市内の水辺の草むらでホテルを100匹以上集めた。
菊川工業、省エネ防犯街路灯、風力・太陽光発電を搭載。	日経産業新聞	2010年7月21日	金属加工の菊川工業(千葉県白井市、宇津野嘉彦社長)は、風力と太陽光の発電機能を備えた防犯街路灯「街の守護神」=写真=を発売した。発電した電気は蓄電され、高輝度LED(発光ダイオード)を使った夜間照明に利用できる。独立電源のため、災害時や停電時でも利用できる。
IDEC:天神祭もエコの時代 オールLED船登場	毎日新聞	2010年7月21日	制御機器製造のIDECは、24、25日の大阪・天神祭で、すべての照明に発光ダイオード(LED)を使った「スペシャルオリンピックス号」を航行させる。照明の一部にLEDを使った船はあるが、「オールLED船」は同祭で初めてという。25日夜に大阪市中心部の大川を航行する。LED船の使用電力量は、蛍光灯などを使う場合に比べ、63%の省エネにつながるという。
9月、中村氏と城戸氏、無機と有機EL、第一人者が討論	日本経済新聞	2010年7月21日	青色LED(発光ダイオード)の発明者、米カリフォルニア大学サンタバーバラ校の中村修二教授が山形大学の招きで来日、9月6日に山形県米沢市で講演会を開く。講演に続くパネル討論会には白色有機EL(エレクトロルミネッセンス)研究で知られる城戸淳二山形大教授も参加。東北で初めて無機ELと有機ELの第一人者同士の顔合わせが実現する。会場は県立米沢興譲館高校の記念講堂。中村教授は青色LEDの開発や今後の展望などについて話す予定。パネル討論には大場好弘(山形大工学部長)も加わる。入場は無料だが、事前申し込みが必要だ。
LED電球、明るさが偏りにくく、日立系、小型の口金に対応。	日経産業新聞	2010年7月22日	日立ライティングは小型の口金「E17」に対応した発光ダイオード(LED)電球4機種を8月6日に発売すると発表した。発光面積が大きいカバーを採用したことで、従来の「ミニクリプトン電球」に近い光の広がりを実現した。斜めに取り付けでも明るさが偏りにくいという。オレンジ色に近い電球色と、白っぽい星光色の2色を用意し、消費電力は4・3ワットと7ワットの2種類。価格はオープンだが、店頭想定はそれぞれ3500円前後、3700円前後の見込み。4機種で合計40万台の年間生産を見込む。
LED電球、明るさが偏りにくく、日立系、小型の口金に対応	日経産業新聞	2010年7月22日	日立ライティングは小型の口金「E17」に対応したLED電球4機種を8月6日に発売すると発表した。発光面積が大きいカバーを採用したことで、従来の「ミニクリプトン電球」に近い光の広がりを実現した。斜めに取り付けでも明るさが偏りにくいという。オレンジ色に近い電球色と、白っぽい星光色の2色を用意し、消費電力は4・3ワットと7ワットの2種類。価格はオープンだが、店頭想定はそれぞれ3500円前後、3700円前後の見込み。4機種で合計40万台の年間生産を見込む。ネック部分にくびれがあるミニクリプトン電球に近い形状にして、ソケット付近が狭い照明器具にも取り付けやすくなった。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
オフィス照明をオールLED化／遠藤照明が展示会	建設通信新聞	2010年7月22日	遠藤照明(本社・大阪市中央区、遠藤良三社長)は、東京都港区の同社青山ショールームで、LED照明器具の新製品展示会をスタートさせた。2000点の豊富なアイテム数と低価格化により、ベース照明を含めたオフィスのオールLED化を実現し、省エネ、二酸化炭素(CO ₂)削減に寄与する。展示では、従来の蛍光灯と比較して、明るさや演色性に遜色がないことが確認できる。同社のLED製品の特徴はバリエーションの多さと低価格。今回、オフィス用の「LEDZ・Lシリーズ」と商業施設用の「同・Rシリーズ」合計860型番の新製品として追加し、LED照明器具の総アイテム数を2000点とした。
正倉院展見やすく 奈良博・西新館改装 低反射展示ケース、託児室＝奈良	大阪読売新聞	2010年7月22日	今秋開催予定の第62回正倉院展に向けて、奈良国立博物館の西新館で補強・改装工事が行われている。展示品を鮮明に見ることができる低反射ガラスの展示ケース8台を新たに整備、託児室も新設するなど、より鑑賞しやすい施設に生まれ変わる。西新館は建築家の吉村順三氏が設計し、1972年に建てられた。昨秋の正倉院展終了後から工事が始まり、柱や床面に炭素繊維を張り、壁を増やして施設全体の耐震性を強化する。西新館ではこれまで、外気を取り入れて温度や湿度を調整する展示ケースを採用していた。新たに導入するのはドイツ製の密閉型で、熱をほとんど出さないLED(発光ダイオード)照明や自動調湿機能を備える。
国交省、国道にLED導入へ、技術的課題を検証	電気新聞	2010/7/23	国土交通省は、国道の照明設備にLED照明を導入するための検討に入った。電気使用量やCO ₂ 排出量を抑え、ライフサイクルコストを低減させる目的。今年度中に東京都内などの一部国道にLED照明を導入し、安全性や照度などの技術的課題について検証を行う。
天神祭の船も省エネ、照明すべてLED、IDECが製作。	日経産業新聞	2010年7月23日	制御機器大手のIDECは、日本三大祭の一つとして知られる大阪天満宮(大阪市北区)の天神祭向けに、すべての照明を発光ダイオード(LED)でまかなう船を製作した。大阪市中心を流れる大川で25日に開かれる「船渡御(ふなとぎよ)」に参加する。
経営ひと言／パナソニックのライティング社・伊藤好生社長「女性を美しく」	日刊工業新聞	2010年7月23日	2012年度に発光ダイオード(LED)照明で200億円の売上高を目指すものの、「素子そのものを生産することは考えていない」と断言するのは、パナソニックのライティング社社長の伊藤好生さん。国内外でLED素子生産への参入が相次いでいるが、「むしろそれを最適調達して、長年ランプを作ってきた会社らしい商品を展開していきたい」と説明する。同社が電球の生産を始めてから74年、蛍光灯の生産からは33年がたった。「日本人女性が一番美しく見せる波長を知っている」というノウハウの蓄積はLED照明でも強みとなりそうだ。
イトーキ、学習机にLED照明	日本経済新聞	2010年7月23日	イトーキは発光ダイオード(LED)照明を採用した学習机を9月1日に発売する。学習机の秋の新商品の6割に当たる14品に長寿命で省電力のLED灯を搭載。実売価格は最大で約1万円高くなるが、電気代を年間700円ほど節約できる。省エネ効果のほか、蛍光灯のように熱くならない安全性を訴える。標準的な長さ80センチメートルのLED灯付きの学習機の希望小売価格は約10万円から。実売は3割ほど安くなる見込み。LED光源を多数使うことで、影もできにくい。
興和、LED照明強化、韓国VBと資本・業務提携。	日本経済新聞 地方経済面	2010年7月24日	興和は23日、韓国の発光ダイオード(LED)照明メーカー、テックザインライトパネル(城南市)と資本・業務提携したと発表した。興和がテックの発行済み株式の34%と、同社製品の日本での独占販売権を取得した。省エネ効果から日本でも需要が拡大しているLED照明で技術力のあるメーカーと連携し、自社事業の売り上げの増加につなげる。
鎌倉大仏や長谷寺など周囲に観光地が密集する商店会、街路灯にLED照明導入し、明るいおもてなし	神奈川新聞	2010年7月24日	鎌倉大仏や長谷寺など周囲に観光地が密集する鎌倉市の長谷駅前通り商店会(会員数62)の街路灯が新設され、発光ダイオード(LED)照明に切り替わった。街路灯へのLED照明導入は、同市内の商店会では初めて。従来の水銀灯と比べ、消費電力が4分の1、電球の寿命が約4倍に伸び、観光客にとってもエコで明るいおもてなしとなりそう。導入した街路灯は、支柱の高さが約5メートル。江戸電長谷駅周辺の道路に計20本を設置した。費用は約600万円で、うち約210万円は市から助成を受けた。
内田洋行本社ビル 環境対応型に再生	産経新聞	2010年7月26日	内田洋行は、約40年前に建てられた東京都中央区の本社ビルをリニューアルし、「環境対応型オフィス」として再生した。耐震補強を行ったうえで全館にLED(発光ダイオード)照明を導入。照明にかかる消費電力と二酸化炭素(CO ₂)の排出量の大幅削減に成功したという。使用するLED照明は、内田洋行が販売を開始した「ユビックライト」シリーズ。人感センサーや照度センサーによる自動運動、スマートフォンやモバイルパソコンを活用して制御を行っている。この結果、執務エリアや会議室、多目的イベントスペースなど場所別の照明管理ができるようになり、従来に比べCO ₂ 排出量を63%削減した。
シーシーエス、三菱化学とLED事業に関して資本提携を含む業務提携を決議	日経速報ニュース	2010年7月26日	当社は、マシンビジョン用LED照明分野で培った技術とノウハウを活用して、業界最高の演色性を持つ「自然光LED」照明を開発、製造、販売しております。三菱化学とは、当社の「自然光LED」デバイスの開発過程において、技術情報の交換等、良好な協力体制を築いてまいりました。今後、当社は民生・商業分野、バイオ・アグリ分野、メディカル分野等で、「自然光LED」デバイスを搭載したLED照明を展開していく予定であります。そのためにはLEDデバイス技術の更なる進化が求められ、LED関連材料に強みを持つ三菱化学との関係強化が必要と判断し、資本提携を含む業務提携をすることの合意にいたしました。
パナホーム、「CO ₂ ゼロ住宅」研究棟、滋賀工場に完成。	日経産業新聞	2010年7月26日	パナホームは23日、自家発電などで二酸化炭素(CO ₂)の排出量が差し引きゼロになる「CO ₂ ＋ゼロ住宅」の研究棟が遊覧工場で完成したと発表した。今後3年間、実際に4人家族が住んでCO ₂ の排出状況やエネルギーの使用状況を実証する。11年度には研究を生かして開発した住宅の発売を目指す。藤井康原社長は「顧客に買ってもらえるような実際の家を使って生活をして検証し、一日も早く世の中に出したい」とあいさつした。東京大学、日建設計、海法圭建築設計事務所と共同で研究する。今後はリチウムイオン電池を備え、太陽光発電による電力も蓄える。パナソニックグループの省エネ家電や発光ダイオード(LED)照明を配備する。
宇部興産、LED照明向け固形蛍光体、耐熱性10倍、長寿命化――車や屋外標識用。	日経産業新聞	2010年7月27日	宇部興産は発光ダイオード(LED)照明向けに、新たに固形の蛍光体を開発した。耐熱性や耐光性に優れるセラミックスでLEDを封止する構造。粉末の蛍光体と樹脂でLEDを覆う従来製法に比べて耐熱性が10倍以上になり、長寿命化につながるという。2012年度をメドに発売し、自動車のヘッドライトや屋外標識など、長期的に安定した性能が求められる用途を開拓する。
パナ電工 底離れへ始動ー収益増額、下期も好調	日本証券新聞	2010年7月27日	パナソニック電工(6991)が大幅続伸、底離れに動き始めた。直接のきっかけは、23日に開示された今3月期業績予想の増額修正。売上高は1兆4700億円から1兆5100億円(前期比4%増)、経常利益は380億円から580億円(同58%増)へと大きく引き上げられた。「詳しい内容については、28日の第1・四半期(4-6月)決算発表時にお話しする」(同社広報部)とのことだが、住宅着工戸数の底入れにより、住設建材事業などが回復基調にあることが背景の一つ。また、同社はLED(発光ダイオード)照明事業についても意欲的に展開しており、株式市場でも折に触れて注目されてきた経緯がある。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
NECライティング伊那工場閉鎖へ、140人配転が早期退職に	信濃毎日新聞	2010年7月27日	NEC(東京)の完全子会社、NECライティング(同)は26日、液晶テレビのバックライト用蛍光灯を生産する伊那工場(伊那市)を11月末に閉鎖すると発表した。販売不振の同製品の国内生産から撤退し、中国の上海工場に集約する計画。同工場の従業員140人は、NECグループの別会社への配置転換か早期希望退職となる。NECライティングはバックライト用LEDを生産しておらず、国内は今後、家庭用LED照明の生産強化と有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使った次世代照明の商品化を急ぐ。
店舗用LED間接照明器具、FKK(新製品)	日経MJ(流通新聞)	2010年7月28日	FKK(京都市南区、075・314・8760)の高輝度発光ダイオード(LED)を使用した間接照明器具「吉祥(きつしょう)FKSシリーズ」スーパーなどの商業施設向け。等間隔に並べたLEDを樹脂レンズで覆った。サイズは全長570ミリ、840ミリ、1120ミリの3種類。厚みは21ミリと薄型。レンズでLEDの照度を向上させた。従来の蛍光灯に比べて消費電力を最大60%削減できる。消費電力は全長840ミリの機種で8.1ワット。照明色は電球色、昼白色、昼光色の3種類をそろえた。
LED電球——白熱球に近い光好評(売り手にも言わせて)	日経産業新聞	2010年7月28日	発光ダイオード(LED)電球の認知度が高まっている。エコポイントで実質半額で買える制度が今春始まったほか、メーカー各社の品ぞろえも充実してきた。ヨドバシカメラマルチメディア上野(東京・台東)で売り場を担当する吉留大介さんに販売・価格動向を聞いた…… 「2009年と比較にならないくらい売れている。以前は試しに1〜2個買う人が多かったが、今は電気代を気にする中高年のまとめ買いが増えている。口金が小型の「E17」の品ぞろえが充実してきたのも好調な要因の一つだ。エコポイントを使えば実質半額で買える効果も大きい。(テレビを買って得たポイントを使えるよう)テレビ売り場にポイントをすぐ交換できるコーナーも設置した」 「平均単価も下がってきた。昨年は3000円強だったが、足元では2500〜2600円。5個買うと1000円引きにしたり、白熱電球を下取りしたりするキャンペーンで買いやすくなる。メーカー別では光の広がりや自然でちらつきが少ないパナソニックの人氣が高く、東芝やシャープが追う構図だ。白熱電球に近い光り具合かどうかが顧客が商品を選ぶ基準だ」 「LED電球の活況は続くだろう。エコポイント制度の終了をにらんだ今年末商戦では足元の2倍くらい売れるのではないかと。白熱電球の利用者はまだ多く、当面はLED電球の需要を期待できる」
LED街路灯で受信障害 国が商工会に改善要請＝宮城	東京読売新聞	2010年7月28日	栗原市築館の街路灯をLED(発光ダイオード)電球に付け替えたところ、一部民家から「テレビの受信障害がある」と苦情が出た問題で、総務省東北総合通信局は27日、「LED街路灯から電磁波の漏えいがあり、受信障害が起きている」と認め、電球を設置した栗原南部商工会に受信障害を除去するよう要請した。通信局は今年14日夜、電球メーカー立ち会いのもと、受信障害が発生している民家の近くの街路灯5基でノイズの発生状況調査した。いずれも60〜270メガヘルツ帯でノイズが発生し、アナログテレビの画面が乱れることを確認した。
パナ電工、200ワット級LEDダウンライト、直径10センチの穴に	日経産業新聞	2010年7月29日	パナソニック電工はオフィスや店舗など住宅以外の施設向けにLED(発光ダイオード)照明の新製品を投入する。白熱電球で200ワットに相当する明るさを引き出しながら、電球を埋め込み穴の直径を10センチメートル以下に抑えるなど小型化を実現した。8月1日から順次発売する。発売するLED照明は店舗などで使うダウンライト。埋め込み穴の直径が10センチメートルの新築用と15センチメートルのリニューアル用をそろえた。白熱電球の60ワットに相当する60形から200形まで明るさも4種類用意した。希望小売価格は1万5225円〜3万9690円(税込み)。
三菱化学、LEDなど省エネ型照明事業立ち上げ急ピッチ	化学工業日報	2010年7月29日	三菱化学は、照明事業の本格化に向け体制整備を急ぐ。同社は光源チップ、蛍光体など自社で基幹技術を持している強みを生かし、白色LED、有機ELの2タイプを世界市場で展開しようとしている。白色LED照明は9月から欧州で販売開始、有機ELは今年末を目標にサンプル出荷を開始する予定。同社は外部から照明設計、販売に知見のある人材を複数迎えており、照明器具開発会社にも出資。今後は欧州における販売会社の買収や、シンガポール拠点を活用した生産体制整備を検討している。三菱化学は白色LED、有機ELを用いた省エネ照明事業を推進中で、両事業とも部材、照明器具を合わせ、中期的に1000億円事業に育成する方針。
サイゼリヤ、300店の照明をLEDに変更。	日経MJ(流通新聞)	2010年7月30日	サイゼリヤは8月までに既存の約300店の店内照明を発光ダイオード(LED)電球に切り替える。電球の切り替えで電気の使用で生じる二酸化炭素(CO2)の排出量を3・3%削減すると見込む。 切り替えるのは客席のスポットライトとダウンライト。 同社は店内照明のLED化を2008年から検討し、一部店で実験的に使用してきた。LED照明の価格が下がってきたことや、十分な照度を保てる商品が出てきたことから一斉に切り替えることになった。
日立ビルシステム、エレベーターの天井照明改修サービス展開	日刊工業新聞Newsウェブ	2010年7月30日	日立ビルシステム(東京都千代田区、池村敏郎社長、03・3295・1211)は、既設エレベーターの天井照明をLED(発光ダイオード)照明に改修する商品を発売した。従来はエレベーターの制御方式を更新する際のオプションとしてLED照明化を提供していたため対象台数が4000台だったが、新商品により10万台に拡大する改修費は1986年以降に販売した標準型エレベーターで1台25万円程度。年600台の改修を見込む。従来は制御方式をマイコンインバーター方式に更新するエレベーターを対象にLED照明化をオプション販売してきた。新たに、86年以降にマイコンインバーター制御の標準型エレベーターの天井照明のLED化を商品とした。
東芝ライテック、LED道路灯「E-CORE(イー・コア)」シリーズから2機種を発売	日経速報ニュース	2010年7月30日	東芝ライテック株式会社は、水銀ランプ400W、高圧ナトリウムランプ180Wを搭載した道路灯と同等の明るさ(平均路面輝度)(注1)を実現したLED道路灯を「E-CORE」(イー・コア)シリーズに2機種ラインアップ、8月1日から発売します。道路照明は、夜間における路面や交通の状況を把握するため十分な路面の明るさを確保することはもちろん、近年では省エネや長寿命といったニーズの高まりから、LED道路灯の採用が進み、今後の普及が期待されています。
8月3、4日にLEDセミナー開催/コイズミ照明	建設通信新聞	2010年7月30日	コイズミ照明は、8月3、4日に東京都千代田区の同社東京ショールームでプロユーザーを対象としたLED基礎セミナーを開く。基礎知識から具体的に使う際の留意点、照明手法を解説する。LED照明の実体験コーナーも設置している。両日とも午前10時から、午後4時30分からの2回開催となる。
業界最多LED照明2000点超を発表LED新商品展示会開く 遠藤社長「非住宅分野でNo.1企業目指す」 遠藤照明 大阪	建設工業新聞	2010年7月30日	国内の商業施設における照明シェアトップの遠藤照明(遠藤良三代表取締役)は、総アイテム数2000点以上の業界最多の圧倒的なラインナップをそろえたLED照明器具を、オフィスビルや商業店舗向けに、いよいよ8月末から全国一斉発売するのに先立ち、このほど、大阪市中央区の本社ビルで「LED新商品展示会」を盛大に開催。ビルオーナーはじめ、建築・設備設計士、ゼネコン、電気工事関係者ら大勢が来場し、省エネ効果や光の質、さまざまな空間コミュニケーションを実際に体感し、進化したLED照明技術に驚きの声を挙げていた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
山形大、NHK技研の時任氏を教授に 映像技術を強化	日本経済新聞	2010年7月30日	山形大学は8月1日付で、NHK放送技術研究所の時任静士部長(51)を教授に招く。山形大は紙のように曲げられるフレキシブルディスプレイなどの実用化に欠かせない基盤技術の研究拠点づくりを進めている。地方大学としては異例のヘッドハンティングで、この分野で豊富な研究実績を持つ時任氏を引き抜き次世代ディスプレイの実用化を目指す。時任氏は九州大学大学院で工学博士号を取得。豊田中央研究所やNHK技研で有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使ったフレキシブルディスプレイ開発などに取り組んできた。有機EL研究の第一人者である城戸淳二教授との連携効果も期待できそうだ。8月2日に都内で記者会見する予定。
次世代有機デバイス研究、山形大、頭脳集め開発加速、第一人者招き一大拠点作り	日本経済新聞	2010年7月31日	山形大は工学部(山形県米沢市)に十数億円を投じ「先端有機エレクトロニクス研究センター」を建設中。科学技術振興機構(JST)が研究者のドリームチームを結成し研究開発を加速させる「地域卓越研究者戦略的結集プログラム」の採択を受け、3つの研究部門ごとに「ノーベル賞級の頭脳」をスカウトしようとする。有機EL(エレクトロルミネッセンス)部門は城戸淳二同大教授が率いる。有機太陽電池部門はオーストリアのリンツ大学(ヨハネス・ケプラー大学)からN・S・サリチチ教授を招く方針で、9月にも大詰めでの交渉を行う。移籍を伴わない「連携卓越教授」として米カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)の楊陽(ヤン・ヤン)教授と契約したほか、米ロチェスター大学のC・W・タン教授とも大筋合意した。
有機EL研の卓越研究教授に時任氏 NHK放送技術研部長で有機トランジスタディスプレイ開発の第一人者	山形新聞	2010年7月31日	山形大先端有機エレクトロニクス研究センター(センター長・大場好弘工学部長、米沢市)の卓越研究教授に8月1日付で、NHK放送技術研究所部長の時任静士(しずお)氏が就任することが決まった。時任氏は、有機トランジスタをベースにした折れ曲がる(フレキシブル)ディスプレイ開発の世界的第一人者。今後、同センターを拠点に、産業界と連携してフレキシブルエレクトロニクスの実用化に取り組む。
照明の色選んで快適、味覚や胃の働きにも影響、青白い光、体感温度下げ涼しく。	日本経済新聞	2010年8月1日	家庭やオフィスの照明にこだわる人が増えている。家電店の照明コーナーも多様な製品が並び目移りするほど。しかし照明の色合いが睡眠や味覚など、様々な生理現象に密接にかかわることは意外と知られていない。蒸し暑い夜、寝付けないのは照明の色も一因かもしれない。毎日を快適に過ごすために気を付けた照明のポイントをまとめた。「照明は、ただ「暗いところが見えれば良い」とだけ考えているは駄目。いろいろな状況に合わせた使い分けが大切だ」と。九州大学・芸術工学研究院の安河内朗・主幹教授は注意を促す。
LED電球は「暗い」? 特性知って賢く省エネを	産経新聞速報ニュース	2010年8月1日	LED(発光ダイオード)電球が目玉を集めている。白熱電球や蛍光灯と比べ、長寿命、省エネなどが特徴のLED電球は、低価格化や家電エコポイント制度の交換商品となったことなどから普及が進み、家庭用照明の主役となる日もそう遠くなくさうだ。ただ、従来の白熱電球との違いから、性能面への不満なども聞かれる。「1度交換すれば10年もつ」と言われる省エネ電球だが、購入には注意が必要なようだ。
光が織りなす新たな世界 ～新世代のあかりLED照明の可能性～	産経新聞	2010年8月2日	(社)日本表面科学会関西支部主催の市民講座。プログラムは「光がつくる快適な暮らし(奈良女子大学・井上容子教授)」、「植物工場、水産業、医療におけるLEDの新応用(香川大学・岡本研正教授)」、「しなやかな面光源 有機EL照明が拓く未来(エインテクノロジー株) 松本敬男開発本部長」
住友化や昭和電工、有機EL照明に参入—材料・パネル—貫生産	日本経済新聞	2010年8月2日	住友化学や昭和電工など素材各社が省エネ型の次世代照明である有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明事業に相次ぎ参入する。主要材料からパネルまで一貫生産し、2012年から照明器具を手掛ける電機メーカーに販売する。発光ダイオード(LED)照明と同様に日本の素材技術が生かせる分野で、18年に6000億円超の規模が見込まれる世界市場を開拓する。有機EL照明はLED照明と同等の省エネ効果があり、量産化で製造コストも同程度になる見通し。光源を折り曲げて様々な形の照明器具の開発も可能になる。パナソニック電工や東芝、NECライティングなど照明メーカーとの共同開発が本格化しそうだ。
エンドウ、ビジネスホテル、全照明、LEDに、グループ外食店も。	日本経済新聞 地方経済面	2010年8月3日	ビジネスホテル運営のエンドウ(水戸市)は8月中をメドに、ホテルで使うすべての照明器具をLED(発光ダイオード)に切り替える。併せて、グループ会社が運営する外食店の照明もLEDに替える。白熱球などに比べ寿命が長く、電力消費量の少ないLEDの導入で、電球交換の手間を少なくし、光熱費を抑える。茨城県内のホテルで客室を含むすべての照明をLEDにするのは珍しいという。
エクセルシステム(新潟市)——LED照明、成長に期待(中堅企業挑む拓く)	日本経済新聞 地方経済面	2010年8月3日	ソフトウェア開発・販売のエクセルシステム(新潟市、渡辺和市長)が、発光ダイオード(LED)照明の販売に乗り出した。社長個人が出資するベンチャー企業が開発した商品を扱う。本業のソフト販売が伸び悩むなか、成長性の高いLED照明を事業の新たな柱に据える。
エクセルシステム(新潟市)——LED照明、成長に期待(中堅企業挑む拓く)	日本経済新聞	2010年8月3日	ソフトウェア開発・販売のエクセルシステム(新潟市、渡辺和市長)が、発光ダイオード(LED)照明の販売に乗り出した。社長個人が出資するベンチャー企業が開発した商品を扱う。本業のソフト販売が伸び悩むなか、成長性の高いLED照明を事業の新たな柱に据える。新しい事業に参入したのは4月。専門の営業担当を3人置き、ソフト販売で取引のある小売店などの店舗用照明などとして売り込みを始めた。「問い合わせの電話が鳴りっぱなし」と渡辺社長は手応えを感じている。
東芝ライテック、段調光LED道路灯、CO2排出70%減	電波新聞	2010/8/4	東芝ライテックは、現状の道路照明に多く使用されている水銀ランプ400W、高圧ナトリウムランプ180Wの道路灯と同等の明るさを実現したLED道路灯「E-CORE」シリーズに2機種ラインアップし、今月1日から発売した。平均消費電力122Wで水銀ランプ400W比CO2排出量を70%削減し、大幅な省エネを図ることが可能。
レストラン「シズラー」、LEDで店内調光、新宿の旗艦店に導入。	日経MJ(流通新聞)	2010年8月4日	ロイヤルホールディング傘下のアールアンドケーフードサービス(東京・世田谷)は、レストラン「シズラー」で店内の照明をLED(発光ダイオード)に切り替えていく。二酸化炭素(CO2)や電気代の削減とともに、店内の明るさを時間帯や場所によって変えることで、店内空間の演出にも生かす。
東芝、海外でLED拡販—欧米向け、環境面アピール	日刊工業新聞	2010年8月4日	東芝は海外向け発光ダイオード(LED)製品を拡充する。2010年度中に投入する新製品800機種中、約160機種を海外向けに展開する。欧米向けには、LEDが持つ省エネルギー性や二酸化炭素(CO2)削減など環境面をアピールする一方、中国には現地モデルのLED電球を投入した。新興国向けには、生活レベルの向上に伴う市場拡大に期待して製品を投入していく方針だ。
フィリップス エレクトロニクス/千葉駅高架下商業ゾーンにLED照明製品採用	日刊建設工業新聞	2010年8月4日	フィリップス エレクトロニクス ジャパン(東京都港区)はこのほど、JR千葉駅のショッピングゾーン「ベリエイ千葉 ベリエ2(ストリート)」の照明演出に、同社のカラーライティングLEDと白色LEDが採用されたと発表した。同ショッピングゾーンは、千葉駅の高架下を活用した商業施設。高架下の暗いイメージを払しょくするため、全面ガラス張りの光壁を設置。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
OPTILED JAPANの蛍光灯型LED、永平寺に導入	日本経済新聞	2010年8月4日	OPTILED JAPANは、2010年8月2日、同社の蛍光灯型LEDが曹洞宗大本山の永平寺に導入されたと発表した。永平寺に設置されたのは、同社が販売する「REALTUBE」シリーズ。永平寺の大講堂とロビーに合計で240本設置した。今後、各施設でも順次導入していく予定。永平寺は環境に配慮した寺院運営を推進しており、その一環として蛍光灯型LEDの導入に至ったという。
山形大、有機エレクトロニクスで世界拠点へノーベル賞級研究者招く	日刊工業新聞	2010年8月4日	有機エレクトロニクス研究の中心地である山形大学が今年、新たな構想に向けて動き出す。年内完成予定の新施設「先端有機エレクトロニクス研究センター」に、ノーベル賞級の研究者を国内外から集めてドリームチームを結成する。地域の企業などと連携を図り、太陽電池、照明、ディスプレイの3大分野を核に、有機デバイスの実用化を強力に進める。世界有数の有機エレクトロニクス拠点は、第2のステージを迎えつつある。
次世代有機デバイスの「頭脳」結集、山形大、世界に挑む—産学官一体で拠点。	日経産業新聞	2010年8月5日	ディスプレイ第一人者も移籍 シリコンから有機材料へ「有機エレクトロニクス革命」を起こす——山形大学が壮大な構想を掲げて走り出した。有機EL(エレクトロルミネッセンス)、有機太陽電池、有機トランジスタの3分野に照準を定め、世界最高水準の研究拠点を築きつつある。ノーベル賞級の頭脳を集めた「ドリームチーム」を結成し、次世代有機デバイスの研究開発を加速する。
LED道路灯、電力7割減、東芝ライテック、水銀ランプ比で。	日経産業新聞	2010年8月5日	東芝ライテックは同社として初の本格的な発光ダイオード(LED)照明の道路灯2機種を発売した。現在、道路灯として普及している水銀ランプと同等の明るさを確保。消費電力を70%削減した。寿命も同ランプの5倍にあたる6万時間確保し、取り換える負担を軽減できる。国道など主要幹線道路の省エネ需要を見込み、今後1年間で5000台の販売を目指す。
県内新製品＝白色LED光測定器 HIOKI	信濃毎日新聞	2010年8月5日	HIOKI(上田市)は、白色LED(発光ダイオード)の光の色合いや明るさを計測する「TM6101」を今月下旬に発売する。LED光の測定器は同社初。LED1個当たりの測定時間は200分の1秒で、他社製品に比べ半分程度に短縮したという。センサーがLEDの光を感知し、測定結果を数値で表示。1台126万円。LEDメーカーやLED照明メーカーに売り込み、販売目標は年間200台。
照明工業会が直管LED灯の安全確保へ注意喚起 標準化へ取組み	電気新聞	2010年8月6日	日本照明器具工業会は、直管蛍光灯型LED(発光ダイオード)照明について注意喚起に力を入れている。直管型LED照明は、国内外の多くの事業者が製品開発と販売を活発化させている。省エネ化や市場活性化の効果が期待される一方、既存の照明器具との適合性や安全上の問題、改造に伴う品質保証の問題などの懸念を抱える。こうした状況を受け、同工業会では注意事項をまとめ、ウェブサイト(http://www.jlssn.or.jp)への掲載を開始した。
LED電球普及加速、本格販売1年、数量シェア2割に——年初比、平均価格2割低下。	日本経済新聞 夕刊	2010年8月7日	発光ダイオード(LED)電球の普及が加速している。全国の家電量販店で電球販売に占めるLEDの数量比率は7月に19.7%となり、8月には2割に達する見通し。LED電球は昨年7月に本格販売が始まり、今年3月にシェアが1割を超えたばかり。平均価格が年初から2割下がって3千円を切ったうえ、品ぞろえも多様になるなど商戦は熱を帯びており、普及に拍車がかかりそうだ。
省エネ設備、家庭に補助、富山県、LED照明導入など。	日本経済新聞 地方経済面	2010年8月7日	富山県は9日、富山県内の住宅に高効率給湯器や、そのほかの省エネルギー設備を導入する家庭に対して支援を始める。補助を受けた家庭から、省エネ設備導入前と後のエネルギー使用量のデータを集積する。結果を県のホームページ(HP)で公開することで、省エネ設備の導入を促す。対象となるのは「エコジョーズ」「エコキュート」「エコフォーム」などの高効率給湯器と、節水型トイレ、LED(発光ダイオード)照明器具、窓の断熱施工など省エネ設備だ。設置にかかった経費の10%(上限50万円)を補助する。申請はとよま環境財団が11月30日まで受け付ける。原則として先着順。約1000万円の予算がなく次第終了する。県はこれまで、家庭向けに太陽光発電システムの導入を支援してきた。
LED電球また発売延期 需要増部品間に合わず パナソニック	大阪読売新聞	2010年8月7日	パナソニックは6日、発光ダイオード(LED)を使った電球「エバーレックス」シリーズの小型電球タイプ2機種を発売日を、当初予定の8月27日から11月25日に延期すると発表した。予想以上にLED電球の需要が増え、電子部品の調達に間に合わなかったため。発売を延期するのは、2機種とも「E17」と呼ばれる小さな口金に差し込むLED電球だ。LED電球は、消費電力が少なく、寿命が長いため人気が高まっており、パナソニックは2010年度の国内市場規模の予想を、4月時点の700万個から1100万個に引き上げた。
旭化成、LED参入、殺菌・浄水向け、米VBIに10%出資。	日本経済新聞 朝刊	2010年8月12日	旭化成は発光ダイオード(LED)事業に参入する。LEDの基板製造技術を持つ米ベンチャー「クリスタル アイエス」(CIS、ニューヨーク州)に出資し、殺菌や浄水向けLEDの共同開発に乗り出す。出資額は約2億円、出資比率は10%程度とみられる。成長が見込める医療や水処理分野のLED需要を開拓し、電子部品事業の強化につなげる。7月にCISIに出資した。紫外線の中でも波長が短い深紫外線を発する深紫外LEDを共同開発し、2015年の事業化を目指す。
総合エナジー、広島に、LED照明のショールーム。	日本経済新聞 地方経済面	2010年8月12日	石油製品販売などを手掛ける総合エナジー(広島市、沢井昇三社長)は、広島市南区の本社1階に発光ダイオード(LED)照明事業のショールームを新たに開設した。照明の転換によって店舗や事業所の省エネルギー化を進めたい企業向けに営業体制を拡充する。一般店舗や倉庫、駐車場など顧客が施工を希望する対象ごとに、用途に合わせた複数の照明機器メーカーの製品を組み合わせて展示。導入の効果などが分かりやすいようにした。総合エナジーは2009年、日立製作所子会社と業務提携しLED照明事業に参入した。営業担当者も増員して売り込みを強化する方針だ。
日立ビルシステム、エレベーター、照明、手軽にLED化、対象10万台に拡大。	日経産業新聞	2010年8月13日	日立ビルシステムは保守契約を結んでいる標準型エレベーターの大半で、天井照明を蛍光灯から発光ダイオード(LED)に取り換えられるようにした。天井面全体が光るタイプのLED照明器具を新たに用意し照明だけの取り換えも受け付ける。対象は4000台から10万台に増える。
キーストーンテクノロジー——植物栽培にLED照明(この企業ここがポイント)	日本経済新聞 地方経済面	2010年8月13日	電子部品販売のキーストーンテクノロジー(横浜市、岡崎聖一社長)は植物栽培用の発光ダイオード(LED)照明の開発・販売事業に取り組んでいる。LEDを使った栽培は消費電力が少なく環境負荷を軽減できるうえ、栽培期間が短いなどのメリットもある。これらの特長を生かし、看板事業に育てようとしている。
菩薩映える 浄土の光 平等院ミュージアム LED照明を設置	京都新聞	2010年8月13日	宇治市の平等院ミュージアム鳳翔館で12日から、国宝の雲中供養菩薩像など一部展示物に、よりクリアに観賞できる高演色LED(発光ダイオード)の照明が設置された。人間の目に美しく映える見え方を高演色LEDが、博物館の常設展示で活用されるのは国内初という。東京の照明設計会社がLEDメーカーに特注し開発した。LEDの多くは人間が自然に見る指数である「演色」が低いのが特徴。開発されたLEDは指数が高いインゲンランプや白熱灯の演色(100)に近く、90以上と高いのが特徴。ワット数や照度が低くても従来の照明に比べ輝度が高く、展示物がはっきり見える。保存のため照度を低く抑える博物館照明に適しているという。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
岩崎電気、電球型LEDの屋外照明、既存器具に取り付け可能——消費電力9割減。	日経産業新聞	2010年8月17日	水銀ランプ代替 岩崎電気は看板や工事現場などに使う屋外用照明で、発光ダイオード(LED)を光源に使う製品を開発した。従来の水銀ランプに比べて消費電力を約9割削減できる。既存の器具に取り付けられるので、導入費用も抑えられるという。これを含め今年度中にLED照明の機種数を15%増やし、同照明で年間売上高15億円を計画している。 電球型のLED照明を開発した。消費電力は18ワット。明るさが1600ルーメンで、屋外で看板を照らせるだけの高出力を実現した。従来型の水銀ランプは160ワットで1450ルーメンだった。黄色っぽい電球色と白っぽい昼光色の2種類をそろえた。寿命は4万時間。
LED照明、直管型9800円程度、ドウシシャ、オフィス向け。	日経産業新聞	2010年8月18日	総合部のドウシシャは発光ダイオード(LED)照明の事業を強化する。従来の電球型に加え、オフィスなどで蛍光灯の代わりに使う直管型を今月末に発売。40ワットの蛍光灯と同じ明るさの製品で実勢価格を9800円程度と業界最低水準に抑える。ホームセンターなど小売店に卸すほか企業や病院にも売り込み、年間20億円の販売を目指す。
シャープ、住宅用のLED天井照明、薄型で調光・調色。	日経産業新聞	2010年8月20日	シャープは発光ダイオード(LED)を使った住宅用天井照明を9月17日に発売すると発表した。小型で光の調節ができるLEDの機能を利用し、薄型で調光・調色機能に優れた商品を展開。全光源にLEDを使った大型で明るい住宅用の天井照明は業界初という。リフォーム時の需要などを取り込む。中央部の一番厚い部分でも4・3センチメートル、円周部は8ミリメートルと薄型化を実現した。中央の円部を取り囲むようにLEDを配置した作りで、レンズや反射板、カバーなどを工夫し、LEDの光がまんべんなく反射するようにした。直下照度は469ルクス、平均照度も140ルクスと蛍光灯と比べても遜色(そんしょく)ない明るさという。
県の産学官連携有機EL推進センターが10月に組織発足 企業の事業化を支援	山形新聞	2010年8月20日	県が設立した産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター(米沢市)は、有機EL照明の事業化を目指す県内企業を対象にした研究・事業化組織「OLED(オーレド)ヤマガタ」を10月に発足させる。会員企業へは有機EL照明のサンプルパネルを貸し出すなどして事業化を支援。今月26日からは県内各地で企業対象の説明会を開く。OLEDヤマガタは、有機ELパネルの製造や、製品化に向けた電流制御などの周辺技術に関する情報を提供し、開発のアドバイスを行うほか、用途開発やデザイン、マーケティング調査などもサポートする。参加企業による連携を促して製品化を目指すなどのコーディネート機能も担う。
大光電機、店舗用LEDの機種2倍に 今秋、高出力タイプ	日経速報ニュース	2010年8月23日	中堅照明器具メーカーの大光電機(大阪市)は今秋、店舗向け発光ダイオード(LED)照明の機種数を2倍に増やす。スポットライトや天井に埋め込むベースライトで高出力タイプを発売。従来型ランプに匹敵する性能で消費電力が小さい製品を求めている顧客のニーズに対応する。品ぞろえを拡充し、競争が激しくなっているLED照明市場でシェア拡大を目指す。10月から投入するのは百貨店などで商品を照らすために使われているタイプや不快なまぶしさ「グレア」を抑えた天井埋め込み型のベースライトなど。合計462機種を順次発売する計画で、店舗向けLED照明の機種数は現在の450機種から2倍強に増える。
大成建設/LED照明の全面導入提案/国内最大級クリーンルームに採用	日刊建設工業新聞	2010年8月23日	大成建設は、製造工場の二酸化炭素(CO2)削減策として、クリーンルームにLED照明を全面導入する提案を行っている。天井高が高いクリーンルームに設置しやすいよう同社が手を加えたLED照明設備を用意。精密機械を製造する国内最大級のクリーンルームで、同社の提案が初めて採用された。LED照明が全面導入されるのは、延べ約1万平方メートルの巨大クリーンルームを抱える精密機械工場の新築工事。同社が設計・施工を担当している。従来の照明に比べて、消費エネルギーを3割削減できることに加え、照明からの発熱を抑制でき、空調の負荷を低減する効果もあるという。約2000灯を導入する計画だ。
総合化学メーカー、LED市場に挑む	日刊工業新聞	2010年8月23日	総合化学メーカーが発光ダイオード(LED)市場への攻勢を強めている。基板などの基礎材料や機能性樹脂など、キーとなる素材の開発を加速する一方、LED照明など最終商品に参入する動きも活発化。LED用途市場の拡大を機に、従来の「川上」ビジネスから「川下」への進出を狙う。ただ、韓国・台湾勢の台頭や特許の壁など、さまざまな難関も立ちはだかる。
有機EL照明 シート状光源が照明の可能性を広げる	日経エレクトロニクス	2010年8月23日	有機EL照明は既に購入可能である。例えば、ドイツPhilips Technologie GmbHやドイツOSRAM Opto Semiconductors GmbHといった欧州メーカーのほか、日本メーカーではLumitecがサンプル出荷中だ。販売中の有機EL照明の発光効率は20lm/W程度で、LEDや蛍光灯などに比べるとまだ低い。ただし、発光効率だけに着目すると、実用レベルの明るさを兼ね備えた試作品で50lm/Wを超えるものや、研究開発段階で100lm/W以上のものも登場している。欧州では実用レベルの寿命と面積、コストを備えつつ、同100lm/Wを目指すプロジェクト「OLED100_eu」が進む。有機EL研究の第一人者でLumitec設立にかかわった山形大学 教授の城戸淳二氏によれば、製品レベルでの発光効率は今後1~2年以内に40lm/W、5年以内に100lm/Wに達すると予測する。
エレベーター、天井照明、LEDに交換——日本オーチス、有償サービス	日経産業新聞	2010年8月24日	日本オーチス・エレベーターはエレベーターの低消費電力化を進める。天井照明を蛍光灯から消費電力の少ない発光ダイオード(LED)に取り換える有償サービスを始めた。蛍光灯に形や光り方が似ているLED照明をロームと共同開発した。大がかりな工事がいらぬ設計で、定期点検時に切り替えを提案する。国内ではビル新設の大幅な伸びが見込みにくく、各社とも既存設備の更新サービスを競っている。
山形大発VBのOLC、有機EL照明商品化、高級飲食店・ホテルに。	日本経済新聞	2010年8月24日	次世代照明器具開発・製造の山形大学発ベンチャー、オーガニックライティング(OLC、山形県米沢市、後藤芳英社長)は有機EL(エレクトロルミネセンス)パネルを使った照明器具を開発した。「薄い」「軽量」「面発光」という有機ELの特長を生かしたデザインに仕上げた。当面は高級飲食店やホテル、宝飾店など商業施設向け需要を見込み、今秋以降、本格的に売り込む。
星和電機、LED照明2種投入—産業用ラインアップ充実	日刊工業新聞	2010年8月26日	星和電機は25日、発光ダイオード(LED)照明2種を9月1日発売すると発表した。発売するのはクリーンルーム用照明と、防塵型照明。産業用LED照明の製品ラインアップを強化し、拡販する。それぞれ年間1000台の販売を目指す。クリーンルーム用照明は直付型で、従来の40ワット蛍光灯2灯型の照明と比べて明るさを約17%高め、消費電力も15%削減した。明るさが向上したため照明の設置台数が少なくて済み、さらに消費電力を減らせるという。また光源のLED化によって従来品の厚みより31%薄くなり、重量は54%軽くなった。価格は蛍光灯のものに比べて2倍程度の13万円前後。医薬品、食品、半導体工場などに売り込む。
LED照明の比較実験、江戸川区が10月、明るさ・電力測定	日本経済新聞	2010年8月27日	東京都江戸川区は区内の街路灯で発光ダイオード(LED)の明るさや消費電力などを比較する実証実験を10月に始める。水銀灯に比べて製品寿命が長いLED照明は次世代の街路灯として期待される。新製品の発売も相次いでいることから「実際の製品を用いて使い勝手を確かめる」(土木部)ことを決めた。実験期間は約1年間。実験にLEDを無償提供してくれる民間企業を募る。区は区役所周辺の街路灯に設置し、明るさを毎月測定。3カ月ごとに消費電力や汚れ具合なども点検する。実験には10社程度の参加を見込んでいる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東和薬品の新山形工場を全LED化 ユアテックが電気設備担当	電気新聞	2010年8月27日	東和薬品(大阪府門真市、吉田逸郎社長)は26日、建設中の同社新山形工場(山形県上市市)をオールLED(発光ダイオード)照明化すると発表した。パナソニック電工のLED照明「エバーレックス」を5千台以上採用。電気設備の設計・施工を担当するユアテックを加えた3社で今後、クリーンルーム専用のLED照明器具などの開発を進める。新工場は11年8月に完成し、12年3月から生産を開始する予定。総床面積は約4万7800平方メートルで、年間の生産能力は内用剤25億錠・カプセル、注射剤5千万本に上る。総投資額は約200億円と、東和薬品の09年度売上高の約5割に達する。
三洋電機、太陽電池搭載路線バス、来月1日から岡山で運行、車内LED照明に活用	日本経済新聞	2010年8月27日	三洋電機は26日、公共交通運営の両備ホールディングス(岡山市)と共同で太陽電池を搭載した路線バスを開発したと発表した。発電した電力は車内の発光ダイオード(LED)照明に活用する。9月1日から岡山市内で運行する。ディーゼルエンジンと電気モーターを使ったハイブリッド式のバスをベースに、合計798ワットの三洋製の太陽電池を屋根に搭載した。三洋によると、太陽電池を搭載した公共交通バスは世界で初めてという。
オーデリック、LED防犯灯、20W直管形蛍光灯比消費電力1/3	電波新聞	2010/8/30	オーデリックは、9月1日にLED防犯灯の新製品を発売する。従来の20W直管形蛍光灯の代わりに8WのLEDを光源に用いた。性能は同じで消費電力を3分の1に抑えた省エネルギー性の高い製品。税込18,375円。
岩崎電気、省電力・長寿命のLED道路灯「LEDioc ROAD」連続照明用・交差点照明用を発売	日経速報	2010年8月30日	岩崎電気株式会社(本社:東京都中央区、社長:渡邊 文矢)は、新形LED道路灯「LEDioc ROAD (レディオック ロード)」を8月30日より発売します。3月4日付の「ニュースリリース」にて「250シリーズ」と「400シリーズ」をご案内しましたが、新たに「300シリーズ」を加えて発売しますので、詳細を含めてお知らせいたします。
技術立社特集——この技術に注目、有機EL照明、発光効率改善がカギ。	日経産業新聞	2010年8月30日	発光ダイオード(LED)に続く省エネ照明として注目を集めているのが有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明だ。光源が点のLEDと違い、面状に柔らかく発光するため、天井の蛍光灯の代替品やデザイン照明として活用が期待されている。三菱重工業やローマが得意とするルミオテック(山形県米沢市)は今年2月から照明器具メーカーやデザイナーなど向けに試作品の出荷を始めた。同社は2013年度の量産開始を目指し、10年度中に事業性を判断する。
岩崎電気、屋外用LED照明、反射型電球	日経産業新聞	2010/8/31	岩崎電気がLED照明で反攻に出る。看板用などで高いシェアを誇る照明「アイランプ」で初めてLEDを採用した製品を年内にも投入する方針を表明した。アイランプは反射型電球の代名詞といわれる商品。LED化により伸び悩む屋外用照明市場を活性化したい考え。
岡村製作所、子どもの健康に配慮した目にやさしいLEDライト「Plume」を発売	日経速報ニュース	2010年8月31日	株式会社岡村製作所は、学習デスクシリーズにあわせてお使い頂けますLEDライト「Plume(プリューム)」を、2010年9月より発売いたします。LEDライトはエコロジーの面でも優れていますが、目への健康という面でも優れた特長があり、子どもの学習用ライトに最適です。目の疲れの原因の一つには照明器具のちらつきがありますが、LEDライト「Plume」は電流回路に常に一定の電流を流す方法で、光のちらつきをなくしました。また、LEDライトの明るさを机上面のすみずみまで広がるように、独自設計による拡散・配光を実現いたしました。本体はアーム式なので明るさの範囲を自由に移動することも可能です。LEDライト「Plume」は、子どものための学習デスクに最適な、子どもの健康に配慮した、目に優しい照明です。
伸び悩む屋外用照明、岩崎電、LED化で反攻、看板商品、年内にも代替。	日経産業新聞	2010年8月31日	岩崎電気が発光ダイオード(LED)照明で反攻に出る。看板用などで高いシェアを誇る照明「アイランプ」で初めてLEDを採用した製品を年内にも投入する方針を表明した。アイランプは反射型電球の代名詞といわれるほど業界では有名で、岩崎電気の「看板商品」。それをLEDで代替する思い切った決断を下し、伸び悩む屋外用照明市場を活性化したい考えだ。
岩崎電気、LED道路灯、連続照明用と交差点照明用を発売	電波新聞	2010/9/1	岩崎電気は、新型LED道路灯「LEDiocROAD(レディオックロード)」の250/300/400シリーズを8月30日に発売した。連続照明用では平均路面輝度が1.0、0.7、0.5cd/m ² 、交差点照明用では20、15、10lxの照明設計が可能。400シリーズは水銀灯400W(高圧ナトリウム灯220W)と同等の明るさをWLED120個(158W)で実現する。
コイズミ照明、LED、品ぞろえ拡充急ぐ、12年、全製品の5割	日経産業新聞	2010年9月1日	中堅照明器具メーカーのコイズミ照明(大阪市、梅田照幸社長)は発光ダイオード(LED)照明の品ぞろえを拡充する。住宅向けのほか、施設・店舗向けや家電量販店向けにも注力。今期中にLED照明の比率を全製品の約2割まで増やし、2012年には割合程度まで高める。多様な製品をそろえる需要が急拡大するLED照明市場でシェアを確保する。11月に施設・店舗向け用のダウンライトやスポットライト、ベース照明について、最新のLEDチップを使い70ワット相当の明るさを持つ製品や色の再現性に優れた製品など約270機種を投入する。前年の投入数と比べ約8割増と大幅に拡充する。
LED間接照明の色むら改善、フィリップスエレクトロニクスジャパン(新製品)	日経MJ	2010年9月1日	フィリップスエレクトロニクスジャパン(東京都港区、03-3740-5156)の発光ダイオード(LED)を使った間接照明器具「イダブリューコープ キューエルエックス パワーコア」店舗や飲食店、ホテルの壁面、天井、カウンター下の間接照明などとして使える。コネクターで連結接続するシンプルな配線構造。電源装置を別置きする必要もない。従来のLED照明は色むらが出ることもあったが、独自の製造技術により、器具間での色むらを改善し、光の均一性を高めた。明るさは従来品の約1.5倍。発光面の長さは12インチ(約30センチメートル)と6インチ(約15センチメートル)の2種類。光の色は2700、3000、3500、4000ケルビンの4色から選べる。
有機EL照明、国際標準化めざす、山形大が新組織、測定法など確立。	日本経済新聞	2010年9月1日	山形大学は有機EL(エレクトロルミネッセンス)パネルを使った次世代照明の標準規格策定に乗り出す。工学部(山形県米沢市)内に専任部署を設置し、産学連携で特性や電圧などの定格、測定法の確立などに取り組む。白熱灯や蛍光灯からの円滑な移行を図るには標準化が不可欠と判断した。照明産業は伝統的に欧米勢が強いが、日本主導での国際標準化を目指し、日本企業の競争力確保もつなげる。新規成長分野の国際標準化で日本が主導権を握ろうという国の方針とも合致。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が風力発電システムなど11分野で公募した「戦略的国際標準化推進事業」で山形大の提案が内定したもう。9月1日にも発表される。
山形大学卓越研究教授・時任静士氏(パーン)	化学工業日報	2010年9月2日	「フレキシブルな有機デバイスをロール・ツー・ロール(RtoR)法で製造、実用化するということにチャレンジしたかった」というのは、8月1日に山形大学に着任した時任静士卓越研究教授。同大学は山形県、科学技術振興機構(JST)と共同で山形県米沢市を有機エレクトロニクスの世界的拠点にするプロジェクトをスタート、フレキシブルディスプレイ研究の第一人者である同氏を招聘した。「寒さに弱いため、北の方に行くことはいらないと思っていたが、熱意に動かされた」と予想もしなかった展開に自身も驚いているという。
パナソニック電工、北海道浦幌町にLED防犯灯納入	化学工業日報	2010年9月3日	パナソニック電工はLED照明エバーレックスの防犯灯を北海道浦幌町に納入した。町内の防犯灯の約4割にあたる463台で、快適な生活ができるまちづくりを目指す同町が、交通安全・防犯の推進のためのLED防犯灯設置事業として予算を計上、整備された。浦幌町は寒冷地のため蛍光灯設置が困難で、水銀灯100形などが設置されていた。LED防犯灯は消費電力が少なく、寒冷地でも瞬時点灯できる。電気料金が約80%削減できる見込み。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
山形県、有機EL産業集積へ新組織	日本経済新聞	2010年9月4日	山形県は7日、「山形県有機エレクトロニクス産業集積会議」を設立する。県、山形大学、有機EL(エレクトロルミネッセンス)関連企業、地元金融界のトップらで構成。産学官一体となって新産業の育成・集積に向けた方策などを探る。有機エレクトロニクス分野で県が主導してこうした組織を立ち上げるのは初めて。会長に吉村美栄子知事、副会長に山形大学の結城章夫学長が就く。委員には有機ELパネル製造のルミオテック(米沢市)の重久夫社長、タカハチ電子(同)の安房毅社長、後藤電子(寒河江市)の後藤芳英社長ら企業トップに加え、県銀行協会の長谷川吉茂会長(山形銀行頭取)、県産業技術振興機構の遠藤剛理事長らが参画する。
桐井製作所/天井材型LED照明を発売/「光波」と共同開発	鉄鋼新聞	2010年9月6日	鋼製下地材最大手の桐井製作所(本社・東京都千代田区、社長・桐井隆氏)はオフィス・店舗向けの天井材型LED照明器具「ボードライト」シリーズをLED照明メーカーの光波(本社・東京都練馬区、社長・中島康裕氏)と共同開発し、1日から発売した。光波、桐井合わせて年間1万台の販売を目指す。今後も単一部材のみの高いだけでなく、他メーカーとの連携も視野に入れて内装ユニットの販売を強化していく方針だ。
東京農工大、中村修二氏を客員教授に任命	日経産業新聞	2010年9月6日	東京農工大学は3日、青色発光ダイオード(LED)を開発したカリフォルニア大学サンタバーバラ校教授の中村修二氏を客員教授に任命すると発表した。10日に称号授与式を開く。中村氏との共同研究を通じて、省エネを中心とした環境技術の研究開発を加速させる。今後、特別講義を開くことも検討する。LEDは長寿命で低消費電力の照明や薄型テレビのバックライトなどへの応用が進んでいる。東京農工大ではエネルギー貯蔵や太陽電池といった研究開発も進めており、今回の中村氏の就任でさらに環境技術の研究開発の活性化を狙う。
約4500人が来場 三菱電機新商品内覧会	建通新聞	2010年9月6日	三菱電機は1日、2日の両日、ポートメッセなご(名古屋市港区)で2010度の「三菱電機新商品内覧会」を開催し、家電販売店や住宅設備業者、電気工事店など取り引き先企業から約4500人が来場した。内覧会は、商品の特長・訴求ポイント、展示演出・提案方法などを紹介し、取り引き先企業の商機拡大に活用してもらおうと開催。特に市場の関心が高い「環境・省エネ」を意識した商品展示・提案を行った。商品展示は、テーマごとに4ゾーンに分け、「空調冷熱」「住宅設備」「AV・家事家電」「業務用映像」「太陽光発電システム」の各商品202アイテム350台を出展した。
有機EL 総合特区へ優遇策 県提案へ 開発、量産化後押し	東京読売新聞	2010年9月7日	有機EL産業の集積に向け、県は今年、国が新成長戦略に基づき創設する「総合特区」の認定を目指す。研究開発や量産化に向けた優遇策を提案する。「国際戦略」と「地域活性化」の2つの特区について、独自の規制緩和措置や税制、融資、財政上の支援措置を盛り込む予定。ノーベル賞クラスの研究者と家族が県内で安心して暮らせるための優遇措置なども提案する考えで、世界的な有機EL産業集積地帯の創造に向けた取り組みを加速させる。産学官を進める県内の有機EL関連事業は、山形大工学部の研究成果をもとに、置賜地方を中心とした企業による事業化、量産化につなげられるかが課題となっている。県は、県内で有機EL産業に参加するメリットを広く発信することで世界レベルの産業集積を目指している。
有機EL長寿・大型化——実用化へ課題なお、低コスト・耐久性向上、産学連携カギ	日本経済新聞	2010年9月7日	有機ELの産業利用を拡大するには材料の長寿命化とパネルの大型化、そして低コスト化の3つを同時に実現しなければならない。先端的なナノテクノロジー(超微細技術)を持つ大学などが、技術課題の解決へ活発な研究を展開している。産学連携などによって、いかにコストを削減した開発を加速し、液晶の価格に近づけるかが普及のカギを握る。有機EL材料の最大の弱点は、空気中の湿気によって劣化してしまうこと。材料を樹脂で包み込み高真空に密封して劣化を防ぐ必要があり、高い製造コストの一因にもなっている。
シリコン、エポキシ樹脂——LED封止材(VS素材技術)	日経産業新聞	2010年9月7日	店舗用の照明など発光ダイオード(LED)の用途が広がってきた。素子の保護などの機能を担う封止材に使われるのは、シリコンとエポキシ樹脂が2大素材。イルミネーションといった従来用途ではエポキシ樹脂が一般的だったが、室内照明や液晶テレビのバックライトに使う高出力のLEDではシリコンが台頭し、ほぼ独占状態だ。こうしたなか、構造を改良して高出力分野に挑む新たなエポキシ樹脂が出てくるなど、競争が再び激化している。
有機EL、長寿・大型化——実用化へ課題なお、低コスト・耐久性向上、産学連携カギ。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月7日	有機ELの産業利用を拡大するには材料の長寿命化とパネルの大型化、そして低コスト化の3つを同時に実現しなければならない。先端的なナノテクノロジー(超微細技術)を持つ大学などが、技術課題の解決へ活発な研究を展開している。産学連携などによって、いかにコストを削減した開発を加速し、液晶の価格に近づけるかが普及のカギを握る。
LED電球、ローム製ネット通販、セシール「節約」「エコ」訴え。	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月7日	通信販売大手のセシールは半導体大手のロームと組み、ロームが開発した発光ダイオード(LED)電球をセシールの通販サイトで販売する。ロームのLED電球は同社の直販サイトとセシールの通販サイトにのみ限定して販売する。セシールは、同社の通販サイトの主要顧客層である30～40歳代の主婦層を対象に「節約」「エコ」を訴えたいとしている。
アイリスオーヤマ、LED照明事業、法人向けに進出。語版	日本経済新聞	2010年9月8日	生活用品製造部のアイリスオーヤマ(仙台市)はオフィスビルや工場、商業施設など法人向けの発光ダイオード(LED)照明事業に進出する。10月下旬に直管型の照明を発売し、既設のLEDを対象に蛍光管からの交換を促すサービスも始める。3月に本格発売した家庭用のLED電球と合わせて2011年に100億円売り上げを目指す。発売するのは20、40、110ワットタイプの直管型照明。蛍光管から交換するための工事を施したうえでLED照明を販売、リースで提供する。
JR東京駅:赤レンガ駅舎、ライトアップ計画	毎日新聞	2010年9月8日	JR東日本は7日、JR東京駅丸の内駅舎の復元工事が完了する12年春から、赤レンガの駅舎をライトアップする計画を発表した。JR京都駅ビルやシンガポール国立博物館などを手掛けた照明デザイナー、面出薫(めんてかおる)さん(60)が、首都圏の玄関口にふさわしい風格ある夜間景観というコンセプトを基に、LED照明を使って和やかな景色を演出。塔屋のある正面など3カ所を光で強調する。日没に点灯させ午後9時に消灯するまで段階的に落とすことで、景色を変化させながら静かに消えるといった工夫をしている。
山形県、有機EL初会合、注文・批判が続出	日本経済新聞	2010年9月8日	山形県は7日、吉村美栄子知事をトップとする「山形県有機エレクトロニクス産業集積会議」の初会合を開いた。県内企業トップからは「有機EL産業育成のために県による思い切った支援策が欠かせない」と注文や批判が続出。有機エレクトロニクス研究所解体を契機に生じた県と産業界などとの溝が完全には埋め切れない実態があらわになった。県は同研究所を今春解体。7月から「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」に改編したが、事業期間は3年間としている。初会合では「事業化はどうか考えても3年では無理」「5年、10年というスパンで考えるべき」「このままでは急速に普及したLED照明に勝てない」との声が相次いだ。
米沢市 ルミオテックが有機EL新型パネルを11年から販売へ 機能を高め、性能も保証	山形新聞	2010年9月8日	有機EL照明のパネル生産会社ルミオテック(米沢市、重久夫社長)は7日、現在製造販売しているサンプルパネルについて、年明けから性能を高めたタイプと長方形のタイプのパネルも販売していく方針を明らかにした。ルミオテックは今年2月から正方形の有機ELサンプルパネルの販売を開始。ただ、現行のパネルは性能保証が付いておらず、このパネルを使って照明器具を試作する企業からは保証に関する要望があった。新型パネルは機能を高め、性能も保証する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED、消費電力半減、大日本スクリーン系、量産技術めど。	日本経済新聞 夕刊	2010年9月8日	国内の材料・装置メーカーは、照明用の発光ダイオード(LED)の性能を高める技術を相次ぎ開発した。大日本スクリーン製造の子会社、テックインテック(京都市)などはLEDの消費電力を半減できる技術の実用化にめどをつけ、東芝ライテックやシャープは発光効率を高める技術を開発した。LED電球を現在の半額以下にすることを目標にコスト削減の研究も進んでおり、実現すれば一般家庭への普及が加速すると期待される。
アイリスオーヤマ、LED照明事業、法人向けに進出。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月8日	生活用品製造卸のアイリスオーヤマ(仙台市)はオフィスビルや工場、商業施設など法人向けの発光ダイオード(LED)照明事業に進出する。10月下旬に直管型の照明を発売し、既設のビルを対象に蛍光灯からの交換を促すサービスも始める。3月に本格発売した家庭用のLED電球と合わせて2011年に100億円の売り上げを目指す。
放熱積層板、パナ電工、生産力1.5倍、LED用、中国に新ライン。	日経産業新聞	2010年9月8日	パナソニック電工は熱を外部に逃がしやすい放熱積層板を増産する。プリント基板メーカーなどと共同開発するための開発センターを開設したのに続き、12月までに約20億円を投じて中国に生産ラインを新設して、生産能力を1.5倍程度に高める。発光ダイオード(LED)の需要が照明や液晶ディスプレイ用などで急増しており、基板の放熱対策に関する需要も拡大すると判断した。
LED普及へ具体策を探る 都内でシンポ産学官の視点で討論/JLEDS	電気新聞	2010年9月9日	LED照明推進協議会は7日、都内でシンポジウムを開催した。07年の設立以来毎年、規模を拡大しながら開いているもので、今年度は「LED照明 飛躍の幕開け」をメインテーマに産官学の関係者が講演とパネル討論を展開。LED照明普及の意義や、課題を探った。基調講演は経済産業省商務情報政策局の吉本豊情報通信部長と東京大学の月尾嘉男名誉教授がそれぞれ行った。吉本氏は、政策の視点からLED照明普及の現状と展望を講演した。LED電球は09年を契機に多くのメーカーが参入し価格低下に拍車がかかっている現状を紹介。今後の課題は部材を含めた一層のコスト低減、発光効率の飛躍的向上を見据えた基礎技術開発の推進、統一的性能表書き順の整備を挙げた。
有機EL: 県産業集積会議が初会合 / 山形	毎日新聞	2010年9月9日	県内の有機EL産業の集積を目指す「県有機エレクトロニクス産業集積会議」(会長・吉村美栄子知事)の初会合が7日、県庁で開かれ、県や山形大、県内電子部品関連企業6社などが、今後の商品化や量産化について意見を交換した。企業からは「製品を売るだけでなく、知的財産権や特許が市場形成のポイントになると思う。これを山形大の研究センターでやってほしい」「有機ELパネルをたくさん使ってもらう方法を考えてほしい」「商品化までには時間がかかる。共同開発に経済的な支援をしてほしい」などの意見が出た。県商工観光部は「支援については検討したい」と答えた。
昭和電工、照明用有機EL量産、12年にも千葉の試作設備改良	化学工業日報	2010年9月9日	昭和電工は、照明用有機ELパネルの量産に乗り出す。現在、開発を進めている有機EL素子について年内にも製法、スペック、構造を確定。輝度ムラなどの課題解決も急ぎ、今後、急速な立ち上がりが見込まれる有機EL照明市場に備える。2年内に千葉事業所で量産体制を整え、本格的な事業展開を開始する予定。2015年をめどに150億円の事業規模に育成する。同社は現在、千葉事業所に試作ラインを有している。初期の量産化にあたっては、試作ラインの設備大型化などの改良で対応する。30センチメートル角の基板で年数万枚の生産能力となる見込みで、需要動向を見極め、国内外での工場新設も視野に入れる。ランプメーカーに有機ELパネルを提供する形態で事業展開する。
東芝ライテック、水銀ランプ400W・250Wから置き換え可能な「E-CORE」LED街路灯を発売	日経速報ニュース	2010年9月10日	東芝ライテック株式会社は、水銀ランプ400W、250Wを搭載した従来の街路灯と同等の明るさを実現したLED街路灯を「E-CORE」(イー・コア)シリーズに4機種ランアップし、9月10日から発売します。このたび当社が発売する「E-CORE」LED街路灯は、街路や広場の屋外景観照明として広く普及している水銀ランプ(400W、250W)を搭載した街路灯から置き換えて使用できる製品です。水銀ランプから置き換えることで大幅な省エネを達成するだけでなく、光源寿命60,000時間の長寿命により、高所作業をともなうメンテナンスの手間を軽減することが可能です。
HRD(鳥取市)——LED照明ニッチ開拓、医療用に光明(企業戦略次の一歩)	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月10日	発光ダイオード(LED)照明の核となるLEDモジュール。多数の大手メーカーがひしめく中、HRDは中小ならぬ小回りの利く経営で、次々とニッチ(すき間)市場を切り開いてきた。これまでは小型照明機器用の「砲弾型」を主体に事業展開してきたが、より汎用性の高い「チップLED」に軸足を移す方針に転換した。植物工場や医療向けの製品を開発し、一段の成長を目指している。
LED照明、三菱化学、欧州で販売、来年、日米でも来春以降に。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月12日	三菱化学は来年1月をめどに欧州で発光ダイオード(LED)照明を発売する。米子会社の「バーベイクム」ブランドで家電店や日用品店に7種類の電球を投入する。日本と米国でも来春以降、市場参入する。三菱化学はLEDの主要素材を手掛けているが、照明市場への進出で2015年に素材・機器合わせて1000億円の売上高を目指す。
パナソニック電工、FL20形蛍光灯と同等の明るさで約50%の省エネを実現するLED照明を発売	日経速報ニュース	2010年9月13日	パナソニック電工株式会社は、FL20形1灯蛍光灯器具とほぼ同等の明るさで約50%省エネが可能な「EVERLEDS(エバーレズ)」LEDベースライトストリートタイプ FL20形×1灯器具相当8品番を9月21日より順次発売します。一般直付型、防湿防雨直付型の2種類で、いずれも各透明プリズムタイプ、乳白パネルタイプを品揃え。器具カバーには、雑音性を高めたV-0グレードのポリカーボネートを採用し、安全性に配慮しています。光源の寿命は従来比約4.7倍で、省メンテナンス。一般直付型は、当社従来品比約43%のコンパクトなデザインで、スッキリとした空間づくりを実現。LED照明器具に多い直下照明重視の配光ではなく、明るさ感に配慮した配光設計で、天井面などの取付面も明るく照らします。
シャープが住宅用主照明に本格参入—独自の調色・調光機能を付加価値に	日経アーキテクチュア	2010年9月13日	シャープが住宅の主照明器具市場に参入する。LEDだけで部屋の照明を随えるシーリングライトを9月17日に業界で初めて発売。蛍光灯の照明器具からの置き換えを狙う。既設の天井用配線器具をそのまま使えるため、エンドユーザー自身で取り替えることができる。新製品「ELM(エルム)」の効率は既存の蛍光灯と同等だといふ。LED電球と異なり、省エネ性をアピールして既存品の代替を促すことはできない。そこで、蛍光灯では製品化例のない独自の調色・調光機能を搭載。これが大幅な省エネにつながることを訴求する。調色・調光にはそれぞれ10段階の設定があり、ユーザーはシーンに合わせて好みの組み合わせを選ぶことができる。
中国政府がLED照明産業の支援策を策定中	新華社ニュース	2010年9月13日	工業情報化省はこのほど、今年LED照明に関する多数の国家標準、業界標準の承認手順が終わり、財政省がLED照明産業支援策を発表する計画であることを明らかにした。商務省機電・技術産業部によれば、LED照明や新エネルギー自動車などの省エネ製品のコア技術、部品に対しては、条件に合致する企業に輸入上の優遇措置を適用するという。
三菱電機、有機EL方式大型映像装置「オーロラビジョン OLED」を発売	日経速報ニュース	2010年9月13日	三菱電機株式会社は、屋内大型映像表示装置の新製品として、世界で初めて有機ELを発光素子に用いた「オーロラビジョン OLED」を9月21日に発売します。 ■新製品の特長 1.薄型スクリーンで設置が容易 ・スクリーンを構成する標準モジュールは奥行き100mmを切る99mmの薄型 ・縦横384mm、約8kgのモジュール組立方式により、さまざまなスクリーンサイズを構成可能 ・設置が容易で、スペースが狭い通路やコンコースへの後付にも対応可能

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パナソニック電工、LEDベースライト2種(一般直付型、防湿防雨直付型)発売	電波新聞	2010/9/14	パナソニック電工は、FL20形1灯蛍光灯器具とほぼ同等の明るさで、約50%の省エネが可能なEVERLEDS「LEDベースライトストリートタイプFL20形×1灯器具相当」8品番を今月21日から順次発売する。一般直付型と防湿防雨直付型の2種類でいずれも透明プリズムと乳白ハネルタイプを品揃えし、器具カバーには耐燃性規格V-0グレードのポリカーボネイトを採用している。
大型スクリーン、三菱電機、有機ELで——電子看板向け、LEDより鮮明。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月14日	三菱電機は13日、有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使った大型スクリーンを21日に発売すると発表した。LED(発光ダイオード)を使うスクリーンより薄型で、より鮮明な映像を映し出せる。商業施設や公共施設のデジタルサイネージ(電子看板)向けの需要を見込む。発売する「オーロラビジョンOLED」は写真等は屋内用で、主に100型以上の大型スクリーンとして使う。有機EL素子でつくった38・4センチメートル角のモジュールを複数並べて組み立てる方式で、顧客の要望に応じて画面サイズや形状を決める。
東芝ライテック、LED街路灯4機種発売、水銀灯400W相当	電波新聞	2010/9/15	東芝ライテックは、水銀ランプ400W、250Wの従来の街路灯と同等の明るさを実現したLED街路灯を「E-CORE」シリーズに4機種をラインアップし、このほど発売した。水銀ランプ400Wに対し、約1.4倍の明るさを実現、器具光束は10850ルーメンのハイパワーにより、商業施設やオフィス街の外構に使用しても十分な明るさが得られる。
山形県、有機エレクトロニクス産業支援事業を強化、6割上積み、補正案に計上	日本経済新聞	2010年9月15日	山形県は2010年度の有機エレクトロニクス産業支援事業を強化し、当初予算に比べ6割以上上乗せする。14日発表した9月補正予算案に盛り込んだ。県は03年度から取り組んできた「山形有機エレクトロニクスバレー構想」を事実上打ち切り、関連予算を前年度の6分の1程度の1億8000万円に大幅削減したが、県内企業や山形大学などが猛反発。支援体制の見直しを急いでいた。同構想の推進主体だった有機エレクトロニクス研究所は7月に「産学連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」に改編。当初は企業化支援に特化する方針だったが、廃止した研究機能を一部復活、分散した元研究員も数人呼び戻す。
信号機向けLED電球、消費電力6分の1に、エクセル、本体の交換不要。	日経産業新聞	2010年9月15日	【福山】発光ダイオード(LED)関連製品を製造・販売するエクセル(広島県福山市、潮来和男社長)は交通信号機向けに、LEDを光源とする電球を開発した。電球を替えるだけで、白熱電球を使った従来の信号機をLEDに切り替えられるのが特徴。全国では依然、従来型の信号機が数多く残っているといい、信号機本体の交換が必要ない利便性と低コストを前面に、各地の警察に売り込む。
山形県、有機エレクトロニクス産業支援事業を強化、6割上積み、補正案に計上。	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月15日	山形県は2010年度の有機エレクトロニクス産業支援事業を強化し、当初予算に比べ6割以上上乗せする。14日発表した9月補正予算案に盛り込んだ。県は03年度から取り組んできた「山形有機エレクトロニクスバレー構想」を事実上打ち切り、関連予算を前年度の6分の1程度の1億8000万円に大幅削減したが、県内企業や山形大学などが猛反発。支援体制の見直しを急いでいた。
クオラムリープテクノロジー、業務用LED照明を拡販、無線と組み合わせ。	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月15日	無線通信機器や発光ダイオード(LED)照明を手掛けるクオラムリープテクノロジー(塩尻市、小川洋史社長)は、業務用LED照明の需要を開拓する。強みである無線通信技術を生かして、照明の電源を遠隔操作で自由に切り替えられる製品を投入していく。無線分野は市場の拡大が見込みにくい一方、企業は電力消費量が少ないLED照明への切り替えを進めており、こうした需要を取り込む。
パナソニック電工、「EVERLEDS」から「LEDダウンライト ラインタイプ」2タイプを発売	日経速報ニュース	2010年9月16日	パナソニック電工株式会社は、スリム設計でライン状に設置可能なEVERLEDS(エバーレズ)「LEDダウンライト ラインタイプ」2タイプ(全館照明用、ウォールウォッシュ)20品番を、2010年9月21日より発売します。ライン状に組み合わせることで、連続した光による演出が可能。埋込穴幅55mm(器具幅68mm)とスリムな器具設計で、天井面がスッキリとしたイメージになります。
大塚商会 LED照明事業、下期で巻き返し狙う 通期で35億円の売り上げ目指す	週刊BCN	2010年9月16日	大塚商会のLED照明事業の2010年度上期受注額は11億円で、伸び悩んだ。しかし、平塚正美・マーケティング本部プロダクトプロモーション部LEDプロモーション課長は「昨年に比べれば、LED照明の市場認知度は高まってきた。案件も増えている」と話し、下期で巻き返しを狙う考えだ。通期で35億円の売り上げを目指す。同社のIT系ビジネスパートナーの多くは、LED照明の販売ノウハウを有していないため、パートナー向けの勉強会を開催したり、仕事がかかどるオフィス環境づくりを提案するための照度計算を支援したりしている。平塚課長は「地方のSterlにとっては、売れる新規商材となるはず」と期待する。
東北デバイス、カネカが再建支援、有機ELに本格進出	日本経済新聞	2010年9月16日	中堅化学のカネカが民事再生手続き中の有機EL(エレクトロルミネッセンス)メーカー、東北デバイス(岩手県花巻市、相馬平和社長)の再建を支援することが16日、明らかになった。カネカは東北デバイスの事業を買収することで、省エネルギー型の光源として注目される有機EL分野に本格進出する。東北デバイスは青森県六ヶ所村に主力工場を持つ。関係者によると、カネカは全額出資子会社の「OLED青森」を新設し、東北デバイスの工場や約40人いる従業員を含めて有機EL事業全体を引き継ぐ。
LED電球、小型口金、明るさ最高、東芝ライテック、ミニクリプトン代替	日経産業新聞	2010年9月17日	東芝ライテックは小型の口金「E17」に対応したLED電球で、業界最高の明るさと発光効率を実現した製品など4機種を24日から順次発売する。熱を逃がす設計を改良するなどして、小型と明るさを両立した。住宅や店舗などで使われているミニクリプトン電球の代替を想定しており、今年度に100万個の販売を目指す。消費電力は5・4ワットで寿命は4万時間。黄色っぽい電球色と、白っぽい昼白色の2種類を用意している。それぞれ明るさを重視したタイプと光の広がりを重視したタイプがある。価格は5250円。昼白色で明るさを重視した「LDA5N-E17」の発光効率は1ワット当たり102ルーメンで業界最高。
ZOA、LED照明の営業強化 沼津市の本社照明切り替え	日本経済新聞	2010年9月17日	パソコン・バイク用品販売のZOAは発光ダイオード(LED)照明の法人向け販売を強化する。LED関連商品の専門サイトで法人窓口を設定、店頭でも専属の販売員が相談に応じる。中小企業向けに割安な商品を用意し、様々なニーズに応えるため特殊な用途の商品も積極的にそろえる。照明の固定器具など関連商品も含め、2013年までに年間1億8千万円の売り上げを目指す。2009年に開設した専門サイト「LED-ZOA」では、問い合わせ窓口を法人と個人に分離。法人用では取扱品の確認や見積もりなどに対応する。既にホテルや病院、マンションの建設会社などから問い合わせがあるという。
LED電球、小型口金、明るさ最高、東芝ライテック、ミニクリプトン代替。	日経産業新聞	2010年9月17日	東芝ライテックは小型の口金「E17」に対応した発光ダイオード(LED)電球で、業界最高の明るさと発光効率を実現した製品など4機種を24日から順次発売する。熱を逃がす設計を改良するなどして、小型と明るさを両立した。住宅や店舗などで使われているミニクリプトン電球の代替を想定しており、今年度に100万個の販売を目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東北デバイス、カネカに事業譲渡、有機EL、青森の工場継続。	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月17日	民事再生手続き中の有機EL(エレクトロルミネッセンス)メーカー、東北デバイス(岩手県花巻市、相馬平和社長)は16日、東京都内で債権者説明会を開き、中堅化学のカネカの支援を受けることを明らかにした。青森県六ヶ所村の主力工場を含めて、東北で有機EL事業を継続する。 東北デバイスの説明によると、カネカが新設した全額出資子会社「OLED青森」(資本金2億5千万円)に事業を譲渡する契約を9月13日に結んだ。譲渡予定日は同30日で、譲渡額は7億6千万円。45人いる従業員と役員のうち、少なくとも36人を継続雇用する。
ヨーカ堂、LED照明1万3000個、大型SC、相模原で開業	日本経済新聞	2010年9月18日	イトーヨーカ堂は神奈川県相模原市内に国内最大級の数の発光ダイオード(LED)照明を設置した大型ショッピングセンター(SC)を17日に開業した。LED照明をSC全体の約7割に当たる1万3千個設置し、二酸化炭素(CO2)排出量削減など環境に配慮する姿勢をアピールする。LEDを大量導入したのは「Ano(アリオ)橋本」。従来の照明と比較すると、消費電力は約2分の1に抑えられ、年間約554トンのCO2削減が見込めるといふ。
岩崎電気、屋外広告用投光器を強化、LEDタイプ拡充	日刊工業新聞	2010/9/20	岩崎電気は、屋外広告用投光器製品を強化する。LEDタイプの「レディオックフラッドプロード」は縦1m×横4m程度の看板を従来160W水銀灯4台使用していたのに対し、1台でカバーする。13WLEDを5個使用し、約88%の省エネ効果を実現。
ファミマ、店舗の半数環境配慮型に、15年度までに、内外の1万2000店。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月20日	ファミリーマートは2015年度までに国内外の1万2千店以上を環境配慮型の店舗にする。日本に韓国、タイなどを加えた全店の約半数にあたる。発光ダイオード(LED)照明や太陽光発電など日本で実験している技術・設備を広げる。二酸化炭素(CO2)の排出量を削減するほか、環境に優しいブランドイメージの確立を目指す。
「アリオ橋本」、LED照明1万3000個、ヨーカ堂、国内で最大規模。	日経MJ(流通新聞)	2010年9月20日	イトーヨーカ堂は神奈川県相模原市内に開いたショッピングセンター(SC)で、1万3000個の発光ダイオード(LED)照明を導入した。1店当たりでは日本最大規模で、SCの照明の約7割をまかなう。このほか人の動きに応じて明かりがつくセンサーなども設置した。照明だけで従来に比べて年間約1020トンの二酸化炭素(CO2)削減を見込む。
三菱化学、LED材料量産、基板や素子、150億円投資。	日本経済新聞 朝刊	2010年9月20日	三菱化学は照明などに使う発光ダイオード(LED)向け材料の量産に乗り出す。2015年度までに約150億円を投じ、光を発する素子の土台となる基板と、素子の生産体制を整備する。基板の生産コストを従来の10分の1にする手法の開発にも取り組む。来年にはLED電球を売り出す計画で、材料から製品まで成長市場を幅広く取り込み、15年度に1千億円の売り上げを目指す。
岡村製作所、千葉・柏市に照明システムを導入	日刊工業新聞	2010年9月21日	岡村製作所はライティングシステム「次・オフィス ライティングシステム(THE-office-lighting-system)」を千葉県柏市の「柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)」のオフィスエリアに納入した。同システムは照明デザイナーの石井幹子氏、ロームと共同開発し、2月に発売した製品。体内時計による「サーカディアンリズム」に則った照度や色温度の変化を、発光ダイオード(LED)を用いたプログラミングで調光して無線でコントロールする仕組み。調光により、一日のリズムに合わせた過ごしやすい快適な光環境を生み出す。
次世代発光源、開発を加速／有機3分野で専門家が連携／山形大／EL・トランジスタ・太陽電池／国際標準化、主導権狙う	河北新報	2010年9月22日	次世代の照明技術として期待される有機エレクトロルミネッセンス(有機EL)をめぐる国際競争が激化する中、山形大は技術開発や国際標準化を加速させる。有機デバイスの専門家の連携を強化するほか、ドイツのドレスデン市を拠点とする欧州勢に対抗し、政府レベルでの支援も求めている。研究開発の中核となる「ドリームチーム」として、有機EL、有機トランジスタ、有機太陽電池の3分野の専門家が連携して研究を始める。1993年に白色有機ELを開発した城戸淳二教授に加え、「曲がるディスプレイ」に使われる有機トランジスタ研究をリードする時任静士NHK放送技術研究所部長が8月に卓越研究教授に就いた。
太陽工業、ビル外壁光で演出、テント膜・LED活用。	日経産業新聞	2010年9月22日	建築設計・施工の太陽工業(大阪市、能村光太郎社長)は、テント状の膜と発光ダイオード(LED)照明を組み合わせた外装システムを開発した。ビルなどの外壁に光を透過しやすい樹脂素材の膜を張り巡らせ、夜間に膜の裏側からLED照明を投光すると、光の演出効果で建物外観を広告などに利用できる。ビル外観のデザイン性を高めて集客増を狙う店舗などに売り込む。
有機エレクトロニクス分野、国際戦略特区に提案 県、企業参入や投資狙う／山形県	朝日新聞	2010年9月23日	県は22日、国が導入を進めている「総合特区」に12件の提案をしたと発表した。国際レベルでの競争で優位とされる分野で認められる「国際戦略総合特区」には、有機エレクトロニクスの産業集積が可能な優遇策を提案した。総合特区は、地域活性化や国際競争力向上のため、特定地域に規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援などを一体的に行う制度。国は新成長戦略の一環として2011年度からの導入に向け、自治体や民間からアイデアを募っていた。
車用LEDヘッドランプ、低コストで高効率、メイバン、来年度量産	日経産業新聞	2010年9月24日	シンガポールのEMS(電子機器の受託製造サービス)企業、メイバンは低コストの自動車用発光ダイオード(LED)ヘッドランプの生産を2011年にも開始する。光工学を駆使した設計により、LED1個だけで下向きヘッドランプに十分な明るさを確保。生産コストが下がり、省電力効果の大きいLEDランプが低・中級車にも搭載しやすくなる。アジアで生産する自動車メーカーや照明メーカー約8社が採用を検討しているという。来年3月までに生産を開始したい考え。メイバン系列の光工学研究開発会社、i3ラプが開発・設計。中国、マレーシア、シンガポールに工場を持つメイバンが生産する。
LED、化学・電機業界が火花 将来の収益源、「すみ分け」崩れる	朝日新聞	2010年9月25日	白熱電球や蛍光灯に代わる省エネ商品のLED(発光ダイオード)照明器具を巡り、化学メーカーが最終商品の販売を始めた。もともと化学メーカーは「川上」の部品を手がけ、「川下」の製品販売は電機メーカーと、すみ分けてきた。単価が高く売り上げが伸びているLED照明では、それが崩れ、電機業界は部品の自社生産拡大で対抗。両業界の真つ勝負になっている。LED照明は消費電力が白熱電球の15%前後で済み、人気を集めている。2009年は318億円だった国内の市場規模は、15年には1342億円まで成長する見込みだ。
興和、目にやさしいLED照明器具「LUPINUS」シリーズを発売	日経速報ニュース	2010年9月27日	興和株式会社(本社:名古屋市中区、社長:三輪芳弘)は、3段階の調光機能を備え、学習机やビジネス机などでお使いいただける大型LED デスクライトと、軽量素材を採用し持ち運びにも便利で、特にネイルアートやホビーなど細かい作業などでもお使いいただける、小型LEDデスクライトを、2010年9月末に新発売いたします。
福岡市、産学連携拠点を増設、13年度にも開所計画、バイオや食品誘致	日本経済新聞	2010年9月28日	福岡市は九州大学など大学の先端研究を企業の新製品開発に結びつける共同研究施設「産学連携交流センター」を増設する。早ければ2013年度にも、九大伊都キャンパス(同市西区)近くに立地する初代センター周辺に開所する計画。先端研究ではバイオテクノロジーや食品化学などの分野を想定、地元ベンチャー企業も誘致する。産学連携拠点を充実させ、研究開発を後押しする。「第二産学連携交流センター」は同市西区の元岡地区の建設を検討中。建物の規模は今後詰めるが、初代センター(2階建て、延べ床面積約2400平方メートル)と同程度の公算が大きい。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
新航海図・有機ELの船出(1)市場拡大、高まる期待	日刊工業新聞	2010年9月28日	次世代ディスプレイとして注目される有機エレクトロルミネッセンス(EL)の市場が徐々に拡大はじめている。小型ディスプレイ向けに採用が増え、韓国デバイスメーカーなどが大型化を検討、欧米中心に照明の開発も進む。出光興産など日本の素材各社は市場拡大に期待を寄せる。ただ、開発費回収のためにも、薄型テレビや発光ダイオード(LED)照明の価格競争は避けたい。ようやく船出した有機ELだが、荒波が待ち構える。
E17——小型口金、LEDが人気(仕事に効くキーワード)	日経産業新聞	2010年9月28日	▽…電球の口金で直径17ミリのものを指す。家庭用照明で最も一般的なE26(直径26ミリメートル)よりも一回り小さい。玄関や廊下などで使われる小型の「ミニクリプトン電球」を省エネ製品に取り換える用途で、E17のLED(発光ダイオード)電球の需要が伸びている。
大西電子——強力LED、個別受注生産も(技あり中堅中小企業)	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月28日	夜の東海道新幹線。滋賀県近江八幡市を通る間、琵琶湖側の車窓から外を眺めていれば、白く照らされた看板が目に入るはずだ。ハイパワーLED(発光ダイオード)投光器でライトアップした大西電子の本社屋。明るさは水銀灯並みだ。
第一樹脂工業、LED照明用品増産、カバーレンズ、新工場に最新成型機。	日本経済新聞 地方経済面	2010年9月28日	プラスチックレンズ製造の第一樹脂工業(静岡県三島市、圓山哲三社長)は発光ダイオード(LED)照明向けのカバーレンズの増産に乗り出す。8月に防じんシステムを備えた新工場を建設。最新の射出成型機を2台投入し、生産量を1割増やす計画だ。自動車のライトや医療機関の照明器具などで、LEDが採用されるケースが増えていることに対応する。
新航海図・有機ELの船出(2)先行する低分子系	日刊工業新聞	2010年9月29日	現在、有機エレクトロルミネッセンス(EL)市場の拡大をけん引するのは、スマートフォンを中心とした携帯電話向けの小型ディスプレイだ。低分子系の発光材を気化して蒸着する方式で生産しており、出光興産や東レなどが素材を提供している。一方、開発が進む高分子系では低コストな塗布生産方式も検討されている。低分子系材料メーカーは先行の利を生かせるのか。有機EL主要素材の正孔輸送材を手がける保土台化学工業の尾原利夫常務執行役員は、「世界ではスマートフォン向けディスプレイは有機ELを採用する傾向が強い」と市場動向を説明する。
東北デバイスの有機EL、カネカが事業取得、製造設備など活用	日経産業新聞	2010年9月29日	カネカは28日、民事再生手続き中の東北デバイス(岩手県花巻市)から有機エレクトロルミネッセンス(EL)事業の譲渡を受けると発表した。これまでは自社や研究機関との技術開発にとどまっていたが、東北デバイスの製造設備などを活用し、有機EL事業を本格展開する。同事業で2015年度に約200億円の売上高を目指す。カネカが新設した全額出資子会社のOLED青森(大崎市)が30日付で事業を引き受ける。
晶元光電(台湾)——豊田合成と合弁立ち上げ(アジア新興国企業ファイル)	日経産業新聞	2010年9月29日	台湾で急成長するLED(発光ダイオード)チップメーカーの一つで、英語名の「エビスター」と呼ばれることも多い。会社設立は1996年。LEDの将来性に目を付けた半導体メーカーなどが出資して設立した。当時、総経理として招かれたのが経済部(経済産業省)傘下の工業技術研究院でLEDの研究開発にあたった李季傑氏で、現在は董事長に昇格している。主要株主は半導体委託生産会社(ファウンドリー)世界2位の聯華電子(UMC)や、LED封止大手の億光電子(エーパライ)、光宝科技(ライトオン)など。
LEDでエクステリア、新日軽、11月発売、省エネ&防犯も。	日経産業新聞	2010年9月29日	新日軽は28日、発光ダイオード(LED)照明を使ったエクステリア商品を11月1日に発売すると発表した。省エネ性能が高いLED照明を使うことで光熱費を削減しながら、住宅回りに夜間照明をつけ続けることで防犯性能を高められる点を売り込む。
東北デバイスの有機EL、カネカが事業取得、製造設備など活用。	日経産業新聞	2010年9月29日	カネカは28日、民事再生手続き中の東北デバイス(岩手県花巻市)から有機エレクトロルミネッセンス(EL)事業の譲渡を受けると発表した。これまでは自社や研究機関との技術開発にとどまっていたが、東北デバイスの製造設備などを活用し、有機EL事業を本格展開する。同事業で2015年度に約200億円の売上高を目指す。
大阪府LED道路照明技術評価制度 6製品を認定 消費電力160W未満で	建通新聞	2010年9月30日	大阪府は2010年度の「大阪府LED道路照明技術評価制度」で、6製品を認定し、うち3製品をベンチャー新技術活用事業に選定した。認定したのは、因幡電機製作所、岩崎電機、共立電商、中央電機計器製作所、東芝ライテック、パナソニック電工の製品。このうち、ベンチャー新技術活用府道照明LED化事業の選定製品は因幡電機製作所、共立電商、中央電機計器製作所の製品。省電力・長寿命のLED(発光ダイオード)を使用した道路照明灯について、技術開発と導入を促進するため、製品を公募し、一定水準以上の技術を有する製品を認定する府独自の制度。
第2部化学立国躍進の方程式特集 三種の神器、未来呼ぶ、LED・有機EL照明	日経産業新聞	2010年9月30日	白熱電球や蛍光灯に代わる省エネ型照明が普及期を迎えている。代表的なのがLED照明で、白熱電球の約8分の1の低消費電力が人気を集める。これに続く有機EL照明は大型車にも本格的な実用化が始まりそうだ。いずれも化学メーカーが主要素材を押さえる分野で、高い成長性に期待が集まっている。LED照明と有機EL照明は、有機化合物が自ら発光することから「固体照明」と呼ばれる。素子が光るLEDは「点照明」、パネル全面で発光する有機ELは「面照明」。LEDが従来の電球を代替するのに対し、有機ELは天井や壁に張り付けて使う。
ポスコがLED照明参入、新会社を設立	朝鮮日報	2010年9月30日	ポスコグループが発光ダイオード(LED)照明事業に参入するために設立した新会社「ポスコLED」の発足式が29日、京畿道城南市の本社で行われた。ポスコLEDへの出資比率は、ポスコ(16.7%)、ポスコICT(63.3%)、ソウル半導体(20%)。代表は許南勲(ホンナムク)社長が兼務する。2015年までに売上高1兆ウォン(約730億円)を達成し、LED照明分野で世界10位入りを目指す。
新航海図・有機ELの船出(3) 発光材料の開発加速	日刊工業新聞	2010年9月30日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)の市場拡大に欠かせないポイントは、発光効率の向上と低コストな大型ディスプレイの実現だ。発光効率の高さではリン光発光タイプの材料が目ざされており、すでに各社で赤・緑の発光材料の開発を終えており、残る青色の開発にしのぎを削っている。また、塗布や印刷技術で成膜できる高分子タイプも大幅なコスト低減が実現できる。有機EL市場の勢力図を塗り替えようという新材料は数年内にも完成しそうだ。
第2部化学立国躍進の方程式特集——三種の神器、未来呼ぶ、LED・有機EL照明。	日経産業新聞 第2部	2010年9月30日	白熱電球や蛍光灯に代わる省エネ型照明が普及期を迎えている。代表的なのが発光ダイオード(LED)照明で、白熱電球の約8分の1の低消費電力が人気を集める。これに続く有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明は来年度にも本格的な実用化が始まりそうだ。いずれも化学メーカーが主要素材を押さえる分野で、高い成長性に期待が集まっている。
照明用の白色LED市場、20年に8倍の9300億円、アジア中心に増産投資	日経産業新聞	2010年10月1日	矢野経済研究所は、照明用白色発光ダイオード(LED)の世界市場規模が2020年に10年比で約8倍の9323億円になると予測した。10年の市場は1151億円で、白色LEDの世界市場全体の19.8%を占めるといふ。一方、照明向けの白色有機EL(エレクトロルミネッセンス)の世界市場は20年に500億円を見込む。同研究所によると、照明用の白色LED市場は08年以降、前年比50%増を超える成長を続けている。韓国、台湾、中国メーカーを中心に増産に向けた設備投資が拡大しており、15年には6778億円になると予測している。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
新航海図・有機ELの船出(4)可能性秘める照明分野	日刊工業新聞	2010年10月1日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明は、ディスプレイに比べ実用化から普及へのスピードが速いと見て、本腰を入れる素材メーカーが増えている。材料供給にとどまらず照明パネルの生産を計画するメーカーも多い。面発光やシースルー化、フレキシブル化できるなどの特徴を持つだけに、既存照明にはない付加価値を提案できる。
照明用の白色LED市場、20年に8倍の9300億円、アジア中心に増産投資。	日経産業新聞	2010年10月1日	矢野経済研究所は、照明用白色発光ダイオード(LED)の世界市場規模が2020年に10年比で約8倍の9323億円になると予測した。10年の市場は1151億円で、白色LEDの世界市場全体の19・8%を占めるといふ。一方、照明向けの白色有機EL(エレクトロルミネッセンス)の世界市場は20年に500億円を見込む。
パナソニック、コンビニに一括納入、三洋の冷凍機や電工の照明、電力消費を半減。	日本経済新聞 朝刊	2010年10月2日	パナソニックはコンビニエンスストアなど小規模店舗向けに設備機器を一括納入する事業を始める。三洋電機の冷凍冷蔵ショーケースやパナソニック電工のLED(発光ダイオード)照明などを組み合わせ、全体を効率的に運用して店舗の消費電力を3〜5割減らす。10月から国内の大手コンビニチェーン向けのほか、アジア各国で売り込みをかける。
阪神高速本線にLED照明導入、まず池田線出入り口で。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月2日	阪神高速道路会社は1日、高速道路本線用のLED(発光ダイオード)照明柱を初めて導入したと発表した。従来のLED照明は輝度の不足に加え、明るさにムラがあり、本線用として使えなかった。阪神高速は因幡電機製作所(大阪市)と共同で設置基準を満たすLED照明を開発。来春、開通予定の京都線の区間(1・9キロ)で全面採用する。他の路線にも順次導入を進める計画だ。
阪神高速本線にLED照明導入、まず池田線出入り口で	日本経済新聞	2010年10月2日	阪神高速道路会社は1日、高速道路本線用のLED(発光ダイオード)照明柱を初めて導入したと発表した。従来のLED照明は輝度の不足に加え、明るさにムラがあり、本線用として使えなかった。阪神高速は因幡電機製作所(大阪市)と共同で設置基準を満たすLED照明を開発。来春、開通予定の京都線の区間(1・9キロ)で全面採用する。他の路線にも順次導入を進める計画だ。今回設置したのは11号池田線の池田出入り口付近。約550メートルの区間に約200万円をかけ、14基を設置した。
県有機エレクトロニクス推進センター 研究開発支援部長に福田氏が着任	山形新聞	2010年10月2日	県が今年7月に設立した産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター(米沢市)に1日、バイオニアで有機ELの開発に携わった経験のある福田善教氏(45)が研究開発支援部長として着任した。今月中旬に開所式を行い、有機EL照明の事業化に向け本格的に動き出す。福田氏は、早稲田大理工学研究科卒で1991年にバイオニアに入社。有機ELディスプレイの開発に参加し、事業化の核となっていた東北バイオニア(天童市)へも出向。バイオニアを退職後、化学メーカーに勤務していた。
フジコウヨウと大阪府立高専、白色と青色LED街路灯を共同開発	日刊工業新聞	2010年10月4日	フジコウヨウ(堺市西区、芳谷輝一社長、072-263-9725)と大阪府立工業高等専門学校(日田昭司産学交流室長の研究室は、白色と青色の発光ダイオード(LED)を組み合わせた街路灯を共同開発した。青色LEDに気持ちよさを落着かせたり、リラックス感を得られる効果があることを日田室長の研究室の実験で確認し、今回の開発に生かした。住宅地や公園、道路のパーキングエリア、コンビニエンスストアなどの用途が見込める。
江戸川区 LED街路灯実証試験の灯具無償提供事業者15社を公表	建通新聞	2010年10月4日	江戸川区は、道路に設置するLED街路灯実証試験で、灯具を無償提供する参加事業者15社を公表した。設置場所は幅員4〜8メートル程度の区間で、20〜30メートル間隔で電柱に共架する。実施期間は10月から2011年9月までの予定。同区は、この実証試験で、性能(照度、耐久性など)、汚損状況、グレアなどの問題点を把握し、今後、LED照明を使用する街路灯の本格採用時期などを検討する考えだ。今回決定した15社は、因幡電機製作所、岩崎電気、かがつ、共立電機製作所、小糸工業、資光電器産業、サン電子工業、星和電機、東芝ライテック、パナソニック、三菱電機照明、ヤマギワ、山田照明、GSユアサ、MARUWA SHOMEI。
岩崎電気/OSRAM OS、東京都中央区役所にLED防犯灯50台を寄贈	EJ Daily News	2010年10月4日	岩崎電気は9月30日、独OSRAM Opto Semiconductors(OSRAM OS)と共同で東京都中央区役所にLED防犯灯LEDiOC STREET 40VA)50台を寄贈したと発表した。同製品は40VAタイプのLED防犯灯で、寿命は6万時間、LEDに置き換えることで、従来の80〜100W水銀灯と比較して約75%の省エネルギーおよび電気代の低減ができる。すでに銀座5丁目に18台、日本橋馬喰町1丁目に32台を設置している。
山形、有機EL照明デザイン公募、横浜のNPO継続。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月5日	山形県が2006年度から実施してきた「有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明デザイン公募」について、横浜市の特定非営利活動法人(NPO法人)が事業を引き継ぐことが決まった。県は有機ELの支援縮小の一環として、同事業も打ち切る方針だったが、廃止は回避された。
山形、有機EL照明デザイン公募、横浜のNPO継続	日本経済新聞	2010年10月5日	山形県が2006年度から実施してきた「有機EL照明デザイン公募」について、横浜市のNPO法人が事業を引き継ぐことが決まった。県は有機ELの支援縮小の一環として、同事業も打ち切る方針だったが、廃止は回避された。このNPO法人は「あかりの架け橋」。次世代光源の早期普及などを目的に照明デザイナーの発掘と、有機EL研究の第一人者、城戸淳二山形大学教授らが昨年設立した。名称は「有機EL照明デザインコンベン」に変更。デザイン性だけでなく、製造コストや実用性などもより重視する。締め切りは11月15日。最優秀賞作品は賞金50万円を贈るとともに、実際に試作する予定。
米沢市 有機ELライティングセミナー 企業担当者に実用化研究の現状など紹介	山形新聞	2010年10月5日	有機EL(エレクトロルミネッセンス)ライティングセミナーが4日、米沢市のグランドホクヨウ米沢で開かれ、有機EL照明の実用化研究や標準化に向けた日本の取り組みなどが、企業の担当者らに紹介された。山形大大学院の城戸淳二教授は「有機EL照明のこれから」と題して講演し「発光効率アップと長寿命化が課題。今年4月から企業と大学で照明用高効率有機ELの実証化研究がスタートしている」と現状を説明。「10年以内パネルの製造法が蒸着方式から塗布方式に変わり、発光効率も高まるだろう」と展望した。山内泰樹准教授は面発光という従来のない特性を持つ有機EL照明について、ほかの照明との違いを示して標準化が必要な理由を解説。
大阪府、LED道路照明技術評価制度、認定9製品公表	建設通信新聞	2010/10/6	大阪府は、LEDを使用した道路照明灯を積極的に導入するため、2009年度に創設した「大阪府LED道路照明技術評価制度」の10年度認定製品9品を公表した。認定を受けたのは、因幡電機製作所、岩崎電気、共立電機、中央電機計器製作所、東芝ライテック、パナソニック電工の6社9製品。認定製品は不が予定している国道308号のLED照明灯設置工事約500灯に使用する。
イオンのPB、LED電球2〜3割安く。	日経MJ(流通新聞)	2010年10月6日	イオンは7日、プライベートブランド(PB=自主企画)のLED電球を発売する。物流コストの削減などで、国内メーカーの標準的な商品に比べて2〜3割安くした。グループ約2000店で扱い、年間約100万個の販売をめざす。商品名は「トップバリュ 共環宣言 LED電球」。26口金で60ワットは1680円、40ワットは1580円。通常のLEDは1個当たり100グラム以上が多いが、取り付け器具に負担がかからないよう同68グラムにした。
伊藤忠系2社、店舗用看板、7割省エネ、LED照明、反射活用、蛍光灯並み価格	日経産業新聞	2010年10月6日	伊藤忠商事子会社の伊藤忠プラントック(東京・港)など2社は共同で、発光ダイオード(LED)を組み込んだ店舗用看板で省エネ型の新商品を開発した。LEDの周囲に独自開発したポリカーボネートの反射板を配置してLEDの数が少なくても照度が上がるようにし、蛍光灯による看板に比べ使用電力を7割削減できるという。10月末に発売し、コンビニ向けなどに拡販する。環境素材などのプラントックと樹脂商社の伊藤忠プラスチック(東京・渋谷)が共同開発。伊藤忠が筆頭株主のファミリーマート向けを皮切りに初年度500個の販売を目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東北バイオニア、有機EL照明量産へ 来夏までに開始	山形新聞	2010年10月6日	東北バイオニア(天童市、塩野俊司社長)は5日、三菱化学とともに開発に取り組んでいる有機EL照明用パネルの量産を、来夏までに開始する方針を明らかにした。東北バイオニアの親会社のバイオニアと三菱化学は今年2月、次世代光源として注目される有機EL照明分野の業務提携を発表。東北バイオニアが米沢事業所で試験的にパネルを生産しており、サンプルの技術評価を重ね、量産化にめどがついたという。市場に供給するのは、業界最大級の14センチ四方のパネル。白色だけでなく、フルカラーの発光が可能で、照明のほかインテリアへの活用も想定している。
九州地方整備局、LED道路照明、5社の技術選定	日刊建設工業新聞	2010/10/7	九州地方整備局の新技术活用評価会議は5日、LEDを使用した道路照明への適用に関する技術をテーマとしたフィールド提供型技術募集で、MARUWA SHOMEI、岩崎電気、東芝ライテック、因幡電機製作所、パナソニック電工の5社の技術を選定した。同局では年内をめどに現場での試行に入る。
有機EL事業化、山形53社が研究会、次世代照明参入狙う。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月7日	有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)の事業化を目指す山形県内企業など53社が13日、研究会「OLEDヤマガタ」を設立する。次世代照明への参入に向けた情報収集や技術研修が狙い。運営主体の山形県産業技術振興機構は山形大学工学部と連携協定を結ぶことで基本合意、同日にも調印する見込み。研究会の設立で県も含めた産学官連携を強めたい考えだ。
九州整備局/LED道路照明で5社の技術選定/10年内めどに試行	日刊建設工業新聞	2010年10月7日	九州地方整備局の新技术活用評価会議(座長・高橋和雄長崎大学工学部教授)は5日、福岡市博多区で10年度第2回会議を開き、「LED(発光ダイオード)を使用した道路照明への適用に関する技術」をテーマとしたフィールド提供型技術募集で、MARUWA SHOMEI▽岩崎電気▽東芝ライテック▽因幡電機製作所▽パナソニック電工の5社の技術を選定した。同局では年内をめどに現場での試行に入る。
有機EL照明「標準化が必要」 米沢、山大准教授が講演 / 山形県	朝日新聞	2010年10月7日	山形大が主催する有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)ライティングセミナーが米沢市内で4日、開かれた。山形の「有機EL照明の標準化」事業が新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の事業の委託先に決まったのを受け、山内泰樹・山大准教授が最近の動向について講演した。山内准教授は「面光源である有機EL照明は、距離が遠くならざるほど暗くなる点光源とは違う。光の測定方法がないと議論が出来ない」と国際標準化の必要性を訴えた。近く、韓国から標準化について何らかの提案が出されることなど国際的な情勢を紹介した上で、測定・試験装置を備えた「標準計測ラボ」を使ってデータ集めをする方針を説明した。
バイオニア：有機EL照明用パネル、米沢拠点に量産へ / 山形	毎日新聞	2010年10月7日	バイオニアは三菱化学と共同で開発を進めている有機EL照明用パネルを来年中に東北バイオニア(天童市)の米沢事業所を拠点に量産を始めると明らかにした。パネルは次世代の照明として期待されている。米沢事業所で既にサンプルパネルを生産しており、千葉市で開催中のデジタル家電見本市「シーテック」に出品している。量産するパネルは14センチ四方で、白色だけでなくフルカラーの発光が可能。生産量や価格は明らかになっていない。東北バイオニアは97年に世界で初めて有機ELディスプレイの量産化に成功している。
日経広告賞に57点、最優秀賞に東芝、優秀賞、TOTOとJCB	日本経済新聞	2010年10月8日	日本経済新聞社は第59回日経広告賞(2010年)の最優秀賞をはじめ、計10賞の受賞作品57点を発表した。日経広告賞の審査対象件数は10賞合わせて1177点。日経広告賞の最優秀賞は東芝が受賞。「120年間つくり続けてきた白熱電球の製造を中止し、使わなくなった機械に涙々と頭を下げる社員の写真が胸を打つ。真しな企業姿勢とLED電球に力を注ごうとするチャレンジ精神が伝わってくる」とともに、モノづくりにおける日本の力を感ぜさせる(小林保彦審査委員長)と評価された。
三菱地所、イルミネーション、消費電力65%削減、高輝度LED採用。	日経産業新聞	2010年10月13日	三菱地所は街路を彩る発光ダイオード(LED)照明で消費電力量を従来の35%に抑えた新システムを開発した。11月中旬に東京・丸の内地区で始めるイルミネーションの一部で採用する。街のにぎわいにつなげるとともに、環境負荷低減への取り組みも合わせてアピールしたい考えだ。
エクセル、原発向けLED照明、中国電と開発、耐用期間3倍に――交換作業を省力化。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月13日	発光ダイオード(LED)関連製品を製造・販売するエクセル(広島県福山市、瀬来和男社長)は中国電力の研究所と原子力発電所向けのLED照明器具を共同開発し、販売を始めた。原発で使われている水銀灯に比べて耐用期間が約3倍の4万時間で、交換の手間が減り消費電力も25%少なくなるという。このほど中国電力の島根原発向けに納入、他の電力会社にも売り込む。
器具一体型のLEDライト、湯川商会(新製品)	日経MJ(流通新聞)	2010年10月13日	湯川商会(東京都江戸川区、03-5679-0586)の器具一体型のLED(発光ダイオード)蛍光灯「L—Light(エルライト)40形」器具一体型でスタイリッシュなデザイン。どこにでも簡単に取り付けできる。取り付け用の器具(ブラケット)とねじを付属。別売りの接合器具を使えば連結も可能。乳白色カバーが自然な光拡散を実現。素子には高品質なサムスン電子のLEDを採用した。
山形県、有機EL事業化拠点が始動。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月14日	山形県が今春閉鎖した有機エレクトロニクス研究所(山形県米沢市)が13日、「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」として再始動した。形式上は7月1日付で発足したが「予算、人員、設備がようやく整った」(遠藤剛センター長)と3カ月半遅れて「開所行事」を実施。存廃を巡り一時あつれきも生じたが、産学官関係者が再出発を祝った。
東芝ライテック、LEDダウンライト「9000シリーズ」4機種を発売	日経速報ニュースアーカイブ	2010年10月14日	東芝ライテック株式会社は、「E-CORE」(イー・コア)シリーズに、業界最高の器具光束で150W形コンパクト形メタルハライドランプ用ダウンライト相当の明るさを実現したLEDダウンライト「9000シリーズ」4機種をラインアップ。2010年11月20日から発売します。LED照明は、省エネ・長寿命などの優れた特性から高い注目を集めています。従来HID照明が使用されていた比較的天井の高いエリアでは、明るさの問題からLED照明への代替は難しいとされていました。
働き方に合わせ最適光環境実現/コクヨファニチャー	建設通信新聞	2010年10月14日	コクヨファニチャーは、デスク一体型のLED照明システムの販売を始めた。照明を身近で個別にON/OFF制御することで、オフィスの消費電力を削減する。また、働き方に応じた照明環境を選ぶことで、消費電力削減に加えてクワイエティブな仕事の実現に寄与する。デスク一体型のLED照明システム「インテリジェントワークライティング」は、門型形状フレームが向かい合わせのデスク中央部に設置されている。手元のスイッチで照明をON/OFFできる標準タイプと、6つのワークシーンの照明環境を選べる調光タイプがある。
タカハタ電子、官公向け照明事業参入、まずLED防犯灯、液晶に次ぐ柱に	日本経済新聞	2010年10月14日	電子機器製造のタカハタ電子(山形県米沢市、安房毅社長)は照明事業に参入する。第1弾として発光ダイオード(LED)を使った防犯灯を18日に発売する。当面は街路灯やトンネル内照明など官公需向けに照準を定め、液晶関連製品などに続く事業の柱に育てる。自治体による省エネルギー支援サービス(ESCO)導入をにらみ、従来の蛍光灯タイプからの代替需要も掘り起こす。開発したのは入力電力が20VA(ボルトアンペア)でLED素子72個を備えた「LP-195FH」。現在主流の20ワット形蛍光灯1本より明るく、消費電力は2割以上削減でき、年間電力料金は3分の2程度になるという。光源寿命は4万時間。
山形県、有機EL事業化拠点が始動	日本経済新聞	2010年10月14日	山形県が今春閉鎖した有機エレクトロニクス研究所(山形県米沢市)が13日、「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」として再始動した。形式上は7月1日付で発足したが「予算、人員、設備がようやく整った」(遠藤剛センター長)と3カ月半遅れて「開所行事」を実施。存廃を巡り一時あつれきも生じたが、産学官関係者が再出発を祝った。施設は旧研究所を引き継ぎ、研究員も再配置する。県などは「本格稼働」と強調するが、大型蒸着装置のメンテナンスに予想以上に手間取り、有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネル試作・供給の本格再開は12月以降に遅れそうという。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
長寿命の街路灯開発、パナ電工と三洋、来年1月発売。	日本経済新聞 朝刊	2010年10月15日	パナソニック電工と三洋電機は14日、太陽電池と蓄電池、発光ダイオード(LED)照明を組み合わせた街路灯を共同開発したと発表した。鉛蓄電池の代わりにリチウムイオン電池を使い、寿命を約10年に延ばした。2011年1月に発売し、11年度に500台の販売をめざす。
市光工業、車用LED照明参入、まず日産「リーフ」向け	日経産業新聞	2010年10月15日	自動車用ランプ大手の市光工業は自動車用LED照明の製造販売に参入する。使用するLED数を減らすことで省電力・低コスト化した製品を開発、ランプ1個当たりの消費電力で20ワット前後と一般的なハロゲンランプに比べて半分以下に抑えた。まず日産自動車から12月に日産で発売する電気自動車(EV)「リーフ」に前照灯を供給。環境対応車や低燃費車で採用拡大を目指す。開発したLED照明は2枚の反射板を組み合わせて光を制御する仕組み。全体的に光を発するハロゲンランプでは凸レンズを使って光を拡散するのが一般的だが、市光工業はLEDが一方方向を直線的に照らす特徴があることに着目。
読書灯にぴったりのLED、ツインバード工業(新製品)	日経MJ	2010年10月15日	ツインバード工業の読書灯に最適な発光ダイオード(LED)ライト「LEDベッドライト」隣の人の睡眠を妨げない直進性のある光で、女性向け雑誌を開いて読めるほどの範囲を照らす。本体からライト部分を外して明かりを持ち歩くことができ、夜中のトイレや非常時に便利。操作しやすい大型スイッチを採用。スリプタイマー付き。寸法は幅65ミリ×奥行100ミリ×高さ105ミリ。
福岡県／築上 LED防犯灯 自治会に提供 東芝ライテック／北九州・京築	西日本新聞	2010年10月16日	照明器具メーカーの東芝ライテック(東京)は、築上町の石堂自治会(中西正義会長、31世帯)に15基のLED防犯灯(1基1万8千円)を無償提供した。同地区の防犯灯が老朽化し町へ改修要望が出ていたことを知った同社がモデル地区に選定。蛍光灯タイプの防犯灯をLEDに取り換えたことによる電気料金削減効果などを今後1年間かけて調べる。LED防犯灯は従来の蛍光灯に比べ、電気料金が3割ほど安く寿命は約7倍の約10年。2年ほどで交換や取り換えが必要な蛍光灯と比べ経済的という。同社は「LED防犯灯の良さを多くの人に知ってほしい」と話す。
東芝ライテック、LEDダウンライトを4機種、器具光束業界最高の8600ルーメン達成	電波新聞	2010/10/18	東芝ライテックは、「E-CORE(イーコア)」シリーズから業界最高の器具光束で150W形HID用ダウンライト相当の明るさを実現したLEDダウンライト「9000シリーズ」4機種を11月20日から発売する。業界最高の器具光束8600ルーメンを達成。消費電力も約30%の省エネになる。
台湾LED大手、中国で合弁生産、国営IT大手と。	日本経済新聞 夕刊	2010年10月18日	台北＝新居耕治】台湾の発光ダイオード(LED)大手である晶元光電(エビスター)は、7千ドル(約57億円)を投じて中国国営のIT(情報技術)大手の中国電子信息产业集団(CEC)と合弁企業を設立し、中国・福建省アモイで2012年からバックライト、照明向けLEDチップの生産を始める。新会社にはCEC子会社が44%、晶元が40%を出資する。
LEDライト、高天井用を投入、東芝ライテック、4種	日経産業新聞	2010年10月18日	東芝ライテックは大型店舗の吹き抜けなど高天井に取り付けるLEDダウンライト「イーコア9000」シリーズを11月20日に発売する。直径150ミリメートルのLEDダウンライトで、業界最高の明るさ(器具光束)8600ルーメンを実現した。広く使われている高輝度放電(HID)ランプの代替を見込む。税抜き価格は9万円。光の色と方向によって計4機種がある。寿命は4万時間。年間1万台を見込む。高天井に使われる同社のHIDランプ「150ワット形コンパクト形メタルハライドランプ」と同程度の明るさを実現。一方、消費電力は115ワットで約3割削減できる。
ソーラーLED街路灯の製造・販売開始 富士テクノロジーシステム	建通新聞	2010年10月18日	富士テクノロジーシステムは、100%太陽光エネルギーで点灯する「ソーラーLED街路灯」の製造・販売を開始した。同社は、顧客の要望に応じてデザインなどが変えられるオーダーメイドにも対応する。ソーラーパネルの最大電力は70ワット。9ワット(LED6個)のLED照明は直下照度20ルクス以上で、照度の調整も可能。蓄電池は高寿命ディープサイクル鉛蓄電池を使用している。特長は、▽100%太陽光エネルギーで二酸化炭素排出量ゼロ▽完全独立システムで商用電源が不要(商用電源使用可)▽バッテリー運用で毎日照度65日間点灯可能—など。さらに、顧客の要望に合わせたオーダーメイドにも対応している。
LED照明施工の基準・標準化／耐震支持、放熱対策盛る／電設協	建設通信新聞	2010年10月18日	日本電設工業協会(林喬会長)は、2011年の年明け早々にも一般照明用白色LED(発光ダイオード)の取り付け標準化報告書を公表する。LED照明施工の基準、標準化と云えるもので、LEDモジュール(製品)の効率向上だけでなく、電源回路、放熱特性、大電流化対策、器具寿命といった部位ごとの技術開発の重要性や、高輝度(グレア)の解消といった問題点、施工上の留意点などを盛り込む。14日、仙台市のホテルメトロポリタン仙台で開いた2010年度会員大会で、技術・安全委員会の齋藤芳副委員長(九電工東京本社執行役員統括本部技術本部長)が明らかにした。
2010年のLED照明市場、シェアは世界照明市場の5%超へ	EJ Daily News	2010年10月18日	DigiTimesによると、2010年の世界照明市場において、LED照明のシェアは前年比2ポイント増の5%超となりそうだという。間Royal Philips Electronicsの予測によると、2015年にはLED照明のシェアが約50%に達するものと見ている。この他、米Creeの副社長兼アジア太平洋地区担当ゼネラルマネージャーのLee Soo Ghee氏も、2011年にはLED照明のシェアが同約10%に到達すると予測している。
パナソニックと東芝、直管形LED照明発売、年内、安全規格の策定受け。	日本経済新聞 朝刊	2010年10月19日	パナソニックと東芝は18日、直管形の発光ダイオード(LED)照明を年内に発売すると発表した。オフィスで幅広く使われる直管形蛍光灯をLED照明に切り替えるニーズに対応する。直管形のLED照明は安全基準が定まっていなかったため、大手は販売していなかった。業界団体の日本電球工業会が規格を策定したのを受け、販売を始める。
有機EL生産継続、カネカ子会社と青森県が協定。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月19日	青森県は18日、カネカが9月に新設した子会社、OLED(オーレド)青森と立地協定を結んだ。OLED青森は、民事再生手続き中の東北デバイスから有機EL(エレクトロルミネッセンス)生産を引き継ぎ、本社を大阪市から青森県六ヶ所村にある旧東北デバイス主力工場に移した。
旭電機化成——自社ブランドで「脱下請け」(技あり中堅中小企業)	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月19日	光ダイオード(LED)照明を使った電子ろうそく、差し込み口ごとに電源のオンオフができるマルチタップ——。旭電機化成(大阪市)が製造販売する自社商品は700点近くになる。「スマイルキッズ」のブランド名を冠し、売上高は全体の4割。主力のプラスチック成型事業と肩を並べる規模に育っている。
パナソニックと東芝、直管形LED照明発売、年内、安全規格の策定受け	日本経済新聞	2010年10月19日	パナソニックと東芝は18日、直管形の発光ダイオード(LED)照明を年内に発売すると発表した。オフィスで幅広く使われる直管形蛍光灯をLED照明に切り替えるニーズに対応する。直管形のLED照明は安全基準が定まっていなかったため、大手は販売していなかった。業界団体の日本電球工業会が規格を策定したのを受け、販売を始める。パナソニックとパナソニック電工が発売する直管形LED照明は、電源や口金を改造すれば、既存の蛍光灯用器具にも取り付けられる。価格や機種数などは今後詰める。東芝もオフィス向けの3機種を年内に発売する。
日本電球工業会が直管形LEDで規格制定 安全・品質の課題に対応	電気新聞	2010年10月19日	日本電球工業会は18日、直管形LED(発光ダイオード)ランプの規格を制定したと明らかにした。LED照明は省エネルギー性などが注目され、今年度に入り電球型ランプの普及が加速している。一方、直管形蛍光灯を代替する直管形LEDランプについては一部メーカーから発売されているものの安全性や品質に課題があった。新規格はこの解決を図るもので、今後、工業会会員企業を中心に標準製品の商品化が図られる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
有機EL生産継続、カネカ子会社と青森県が協定	日本経済新聞	2010年10月19日	青森県は18日、カネカが9月に新設した子会社、OLED(オーレド)青森と立地協定を結んだ。OLED青森は、民事再生手続き中の東北デバイスから有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)生産を引き継ぎ、本社を大阪市から青森県六ヶ所村にある旧東北デバイス主力工場に移した。 9月末時点で従業員36人を継続雇用し、2011年度にまず売上高2億円を目指す。カネカの有機EL照明事業が軌道に乗り、工場拡張や雇用増加があれば、青森県は新たな進出企業と同様に助成金などの支援を実施する方針だ。
岩崎電気、LED屋外用照明、消費電力・漏れ光削減	日刊工業新聞	2010/10/20	岩崎電気は、LED屋外用照明「レディオックフラッドブリッツ」を完成、11月をめどに発売する。消費電力は460Wと230Wの2タイプでショッピングセンターや行政機関などで垂れ幕などを照らす用途などに提案する。460Wタイプは従来1kWと同等の明るさを確保し、消費電力を約56%削減できる。
日野電子——LED照明、屋外開拓(戦略これぞ攻める)	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月20日	福井大学文京キャンパス(福井市)は、日が暮れると、13階建ての総合研究棟の上部がライトアップされ、「福井大学」の青い文字が夜空にくっきりと浮かび上がる。文字を照らすのが、電子機器設計・製造の日野電子(福井県坂井市、岡田正一郎社長)が製造した3台のLED(発光ダイオード)照明器だ。
広角度に光が届くLED電球、ローム(新製品)	日経MJ(流通新聞)	2010年10月20日	ローム(075-311-2121)の光の拡散性に優れた家庭向け発光ダイオード(LED)電球。LED電球は、直下は明るい、周辺部が暗くなる傾向がある。新製品は素子を立体的に配列することで、真下だけでなく広角度に光が届き、従来の家庭用の白熱灯と同等の明るさを確保しながら、器具の消費電力を約56%削減できる。高精度な反射鏡制御により、漏れ光を大幅に削減した。年間の二酸化炭素排出量は718キログラムで、1キロワットメートルハイドランプと比べて約920キログラムを削減できる。
岩崎電気、消費電力・漏れ光を削減したLED屋外用照明発売	日刊工業新聞	2010年10月20日	岩崎電気はLEDを使った屋外用照明「レディオックフラッドブリッツ」を完成、11月をめどに発売する。価格は未定。消費電力が460ワットと230ワットの2タイプをそろえ、ショッピングセンターや行政機関などで垂れ幕などを照らす用途などに提案する。460ワットタイプの場合、一般的な垂れ幕などの照明として使用される1キロワットメートルハイドランプと同等の明るさを確保しながら、器具の消費電力を約56%削減できる。高精度な反射鏡制御により、漏れ光を大幅に削減した。年間の二酸化炭素排出量は718キログラムで、1キロワットメートルハイドランプと比べて約920キログラムを削減できる。
パナソニック電工、LED道路灯発売、消費電力35%カット	日経産業新聞	2010/10/21	パナソニック電工は、LEDを利用した道路灯を11月22日に発売すると発表。道路灯に多く使われる高圧ナトリウム灯に比べて消費電力が35%少ない。独自設計の配光レンズで拡散し、道路灯に求められる明るさを確保。価格は40万円。
LED道路灯、パナ電工発売、消費電力35%カット。	日経産業新聞	2010年10月21日	パナソニック電工は20日、発光ダイオード(LED)を利用した道路灯を11月22日に発売すると発表した。道路灯に多く使われる高圧ナトリウム灯に比べて消費電力が35%少ない。LED灯への置き換えを進める地方自治体などに売り込み、2011年度に3000台の販売を目指す。
LED道路灯、パナ電工発売、消費電力35%カット	日経産業新聞	2010年10月21日	パナソニック電工は20日、発光ダイオード(LED)を利用した道路灯を11月22日に発売すると発表した。道路灯に多く使われる高圧ナトリウム灯に比べて消費電力が35%少ない。LED灯への置き換えを進める地方自治体などに売り込み、2011年度に3000台の販売を目指す。全光源にLEDを採用し、水銀灯に比べると約7割の省エネ、約3倍の長寿命となる。先進性の高いLEDの光を独自設計の配光レンズで拡散し、道路灯に求められる明るさを確保した。薄型デザインで、景観も損ねない。価格は40万円。
パナソニック、明るさ業界最高、LED電球発売。	日経産業新聞	2010年10月22日	パナソニックは業界最高の明るさ(825ルーメン)の発光ダイオード(LED)電球「エバーレッズ」LDA9D-Hを11月25日に発売する。白熱電球60形相当の昼光色で、家庭における白熱電球からの置き換え需要を見込む。色が電球色タイプのLDA9L-H(650ルーメン)も同時発売する。 今回発売する2機種はいずれもE26口金タイプで、価格はオープンだが店頭想定価格は4500円前後。2機種あわせて、月産3万台を計画する。
ワタミ系アメリカ料理店「TGIフライデーズ」、全店にLED照明。	日経MJ(流通新聞)	2010年10月22日	ワタミの子会社、TGIフライデーズジャパン(東京・大田、岡本勇一社長)は、展開するアメリカ料理店全店でLED照明を導入した。電気使用料を約90%、年間の電気代で360万円の削減を見込む。 同業態でLEDの効果を検証したうえで、グループ内の他店への展開も検討する。
LGディスプレイ、有機ELパネル5割増産、180億円追加投資。	日本経済新聞 夕刊	2010年10月22日	ソウル=尾島雄雄]液晶パネル世界2位の韓国LGディスプレイは2500億ウォン(約180億円)を投じて有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルの生産設備を増強する方針を固めた。「第4・5世代」と呼ぶガラス基板を使うラインで、同世代の生産能力は当初計画に比べ5割増となる。
グループ事業、パナソニック本体に集約、部門再編、電工・三洋含め半減	日本経済新聞	2010年10月23日	パナソニックが事業・組織再編に乗り出す。2012年1月を以て現在の16部門を9部門程度に集約。来春に完全子会社化する三洋電機とパナソニック電工の事業を製品やサービスごとに仕分けし、新組織に吸収していく。三洋の国内向け家電製品ブランドは12年4月にパナソニックに一本化する。グループ全体で事業を推進する体制を再構築し、成長戦略を加速する。 パナソニックは01年から事業部制を段階的に廃止、03年にデジタル家電や電池など「ドメイン」と呼ぶ14部門に再編した。現在はパナソニック電工、三洋電機の2社を加えた16のドメインで収益や人事などを管理している。
LEDで照明代が半減/テナントビルに5万平方メートル導入/竹中工務店	建設工業新聞	2010年10月23日	竹中工務店は、LEDベース(基幹用)照明の敷設面積が約5万平方メートルと現時点では国内最大規模を誇るテナントビル「飯野ビルディング」(東京都千代田区区内幸町、施主=飯野海運)を建設中だ。同ビルは、地上27階・地下5階、高さ147m、延床面積約10万4000平方メートルとなる。LEDベース照明は、7階～27階にある事務室フロア部分に1万4500台設置される。LED照明および照明制御システムの導入により、面積が同じ標準事務所「」に比べて照明のエネルギー消費量を約半減できるという。
低炭素型産業への補助活用、設備投資額1400億円に、経産省集計、外資も進出。	日本経済新聞 朝刊	2010年10月24日	経済産業省は、発光ダイオード(LED)など低炭素型産業への設備投資への補助金制度を使った投資額が総額で約1400億円になったとの集計をまとめた。投資総額は予算額の5倍程度だった。補助を活用した外資系企業進出の例もあり、産業の国外流出に一定の歯止めをかける効果があったようだ。
日本シャープ、米でソーラーLED街路灯販売語版	日刊工業新聞Newsウェブ21	2010年10月25日	シャープは米国で太陽電池を搭載した発光ダイオード(LED)街路灯の販売を始めた。ミネソタ州の太陽電池モジュール工場で生産する。同社は8月に業務用のLEDダウンライトを米国で発売しており、さらに今回の街路灯の投入によって、LED照明の品ぞろえを拡大する。米国市場に投入したのはソーラーLED街路灯で、太陽電池で発電した電気を鉛蓄電池にためた上で、LED街路灯を点灯する。満充電からなら追加充電なしで5日間の点灯が可能という。ミネソタ工場で生産し、45分程度で組み立て可能なキットとして販売する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パナ電工・三洋電機／一体型の太陽光街路灯／ Liイオン蓄電式／省スペースを実現したソーラー街路灯	日刊産業新聞	2010年10月25日	パナソニック電工と三洋電機は、太陽電池とリチウムイオン電池を一体化させたソーラー街路灯を商品化し「EVERLED」リチウムイオンソーラー街路灯として、2011年1月に発売すると発表した。従来のソーラー街路灯のような大型の鉛蓄電池を別途設置する必要がなく、省スペースで洗練されたデザインが特長。初年度販売目標は500台。同製品は三洋電機の世界トップクラスの交換効率を持つ単結晶系太陽電池モジュール「HIT太陽電池」とリチウムイオン電池を一体化した厚さ40mm、重量16.2キログラムの蓄電ユニットを搭載、鉛電池を搭載した従来品より13キログラム以上軽量化した。
シチズン電子、照明用LED、光量2倍に、来月から発売。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月26日	電子部品メーカーのシチズン電子(山梨県富士吉田市、郷田義弘社長)は11月、発光量を従来の2倍以上に高めた照明用の発光ダイオード(LED)を売り出す。時計や携帯電話で培った精密技術を生かし、発光素子を高い密度で並べた。LED1つで蛍光灯並みに明るい特長をアピールし、照明器具メーカーに売り込む。
パソコンとLED照明、リモコン1台で操作、ブルーマウス、装置開発	日経産業新聞	2010年10月26日	ブルーマウステクノロジー(青森県弘前市、三浦武社長)は12月に発光ダイオード(LED)照明とパソコンの両方を遠隔操作できるコントロールシステムを発売する。1つのコントローラーで、省エネルギー型光源のLED照明とパソコンを操作できる。将来はテレビなど家電製品を含め、1台のコントローラーで、多くの電化製品を制御する考えだ。ブルーマウスは、マウスの代わりにパソコンを操作できる無線式操作機器「オズパッド・エア」をすでに開発している。このほど、照明器具にオズパッド受信機を取り付けることで、パソコンに加え、壁などのスイッチに触れなくてもLED照明をつけたり、消したりできる装置を開発した。
シチズン電子、照明用LED、光量2倍に、来月から発売	日本経済新聞	2010年10月26日	電子部品メーカーのシチズン電子(山梨県富士吉田市、郷田義弘社長)は11月、発光量を従来の2倍以上に高めた照明用の発光ダイオード(LED)を売り出す。時計や携帯電話で培った精密技術を生かし、発光素子を高い密度で並べた。LED1つで蛍光灯並みに明るい特長をアピールし、照明器具メーカーに売り込む。新たに販売するのは消費電力で26ワットタイプと41ワットタイプの2種類。明るさは2800～4390ルーメンとオフィスで使われる蛍光灯(3000ルーメン程度)並み。従来製品の発光量は13ワットタイプで1400ルーメンが最高だった。
東芝ライテック、エネルギー効率23%向上した新型LEDベースライト発売	日刊工業新聞Newsウェブ21	2010年10月26日	東芝ライテックは、従来のLEDベースライトよりもエネルギー効率を向上させた新型LEDベースライト全18機種を2011年1月7日から順次発売する。実勢価格は11万円前後で仕稼などにより異なる。シリーズ合計で年間30万台の販売を目指す。1ワット当たりの光束が110ルーメンと、従来のLEDベースライトと比べ、約23%の効率向上を実現したタイプを用意した。主に高周波点灯(Hf)蛍光ランプ用器具の後継製品として提案する。「LEDR-760 21W-LD9」の消費電力は69ワットで、従来のHf蛍光ランプと比べて約22%省エネ化した。
第二東名・新名神の建設進む、総事業費はリニア新幹線を上回る9兆円	株式新聞速報ニュース	2010年10月26日	人口密度の薄い地方に整備する高速道路と違い、大動脈になっている幹線道路の整備は必須。空港が典型例だが日本のインフラ整備の悪い点は必要な部分に集中投資せず、効果の薄い物、個所に分散投資すること。高速道路の「休日 上層1000円割引」における混雑状況を見ても高速道路に対する潜在需要は高い。必要なインフラに関しては政争の具にせず整備を進めることが重要だろう。
三菱電機照明、LED防犯灯拡充、自治体・工場向け提案	日刊工業新聞	2010/10/27	三菱電機照明は、LED防犯灯のラインアップを拡充する。20W蛍光灯相当のタイプから水銀灯40W相当、80W-100W相当タイプなど幅広く用意し、合計4機種を29日に発売する。価格は1万7600-1万9500円。自治体向けや工場施設の照明用途など幅広く提案する。
LED照明、住宅用、機種数2倍に、大光電機「1軒丸ごと」対応。	日経産業新聞	2010年10月27日	照明器具メーカーの大光電機は住宅用発光ダイオード(LED)照明の取扱機種数を2011年春に現在の2倍に引き上げる。リビングルームの天井に取り付けるシーリングライトなどこれまで取り扱っていなかった分野の製品も投入。家全体でLED照明を使うよう品ぞろえを拡充し、住宅メーカーなどへの提案力を高める。11年度にLED照明全体の売上高を10年度見込み比2倍の100億円に引き上げる。
LED照明、住宅用、機種数2倍に、大光電機「1軒丸ごと」対応	日経産業新聞	2010年10月27日	照明器具メーカーの大光電機は住宅用LED照明の取扱機種数を2011年春に現在の2倍に引き上げる。リビングルームの天井に取り付けるシーリングライトなどこれまで取り扱っていなかった分野の製品も投入。家全体でLED照明を使うよう品ぞろえを拡充し、住宅メーカーなどへの提案力を高める。11年度にLED照明全体の売上高を10年度見込み比2倍の100億円に引き上げる。新しく発売するのはシーリングライトのほか、廊下や玄関、戸棚、吹き抜け、玄関の外などに取り付けるLED照明。人の存在を感知するセンサーを搭載して電気代を節約できる製品を増やすほか、40ワット形や60ワット形など明るさのバリエーションも広げる。
トライウイン、2割明るいLED製品、軽量化で作業もしやすく	日本経済新聞	2010年10月27日	カーナビ製造のトライウイン(横浜市、中城正一社長)は従来品より明るさを2割高めた蛍光灯型のLED(発光ダイオード)照明を開発した。設計の工夫で部品点数の削減を進めて軽量化を図り、取り付け作業の負担を軽減。価格も通常より最大4割ほど安く設定し、オフィスや店舗用の需要を開拓する。初年度10億円の売り上げを目指す。新開発のLED照明は「Fライト」で、40ワット型と110ワット型の蛍光灯に置き換えられる大小2種類の製品を用意。円筒形のガラス管の内部にLEDを敷き詰め、LEDに光を増幅・拡散させる特殊な部品をかぶせて明るさを高めた。
「エコ街灯」街に溶け込む、太陽光・風力だけで輝き——スリムな外観、「普通」貫く	日経MJ	2010年10月27日	夜の街を照らす、文明の象徴的な存在である街灯。時代が移り変わり、街灯にも環境への配慮が必要になってきた。自動車部品製造の有馬技研(静岡県掛川市)は、太陽光と風力だけで発電する街灯「エコ・ファニチャー」を開発した。風車と太陽パネルを装備しつつ、街灯らしい自然なデザインが特徴。景観に溶け込み、暮らしを優しく見守る。9月15日から17日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された、製造業向け環境・エネルギー対策の展示会「エコ・マニュファクチャー2010(ECOMA)」には国内91の企業、団体が集まった。環境への関心の高まりを受けて、今年の開催期間の来場者数は1万6700人余りと、一昨年に比べ約1万人増えた。
三菱電機照明、LED防犯灯を拡充	日刊工業新聞	2010年10月27日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、中村俊夫社長、0467・41・2724)は、発光ダイオード(LED)防犯灯のラインアップを拡充する。明るさが20ワット相当タイプに対応したタイプから水銀灯40ワット相当、水銀灯80-100ワット相当タイプなど幅広く用意し、合計4機種を29日に発売する。価格は1万7500-1万9500円。自治体向けや工場施設の照明用途など幅広く提案する。従来の蛍光灯20ワットの明るさに相当する「10VAタイプ」は、LEDを8個使用。消費電力8.2ワットで、蛍光灯タイプに比べ64%の省エネに貢献する。ランプ寿命は6万時間、従来(8500時間)と比べて約7倍長寿命化した。
スリーイーサイエンス、LED照明を市場最安値で攻勢	日刊工業新聞Newsウェブ21	2010年10月27日	スリーイーサイエンス(大阪市淀川区、渡辺正一社長、06・6395・7797)は、蛍光灯型発光ダイオード(LED)照明「3E」シリーズで攻勢をかける。40ワット相当の標準タイプで4600円と市場最安値クラスなど、3機種を11月1日に投入する。LED照明市場は新規参入が相次ぎ、価格競争が激しくなっている。後発組のため思い切った安い価格でブランド浸透を図り、成長を図る。販売するのはオフィスや工場で使われる普及タイプのほか、大型店舗や駅などの採用が期待できる長尺タイプ(長さ2.4メートルの取り付け器具と一体型)、ノイズなどOA機器への影響を抑える高調波対策を施した電源搭載タイプ。
アイリスオーヤマ、軽量のLED電球を開発	日本経済新聞電子版	2010年10月27日	生活用品製造部のアイリスオーヤマ(仙台市、大山健太郎社長)は、従来の半分に軽量化した発光ダイオード(LED)電球を開発した。従来のアルミニウムに代えて難燃性プラスチックで電球の構造部品を覆い、一般的な口金サイズの機種で68グラムと、業界最軽量を達成したという。取り付け部の負荷を抑えられる。11月1日に発売する。オープン価格で店頭想定は明るさが白熱電球60ワット形相当が2500円、40ワット形は2300円。10月29日にはオフィスビルや工場などで使用を想定した直管形LED照明も発売する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
シーアイ化成、水銀灯代替のLED、工場・屋外向けにユニット。	日経産業新聞	2010年10月28日	シーアイ化成は水銀灯と同程度の明るさで、消費電力が5分の1ですむ発光ダイオード(LED)照明ユニットを開発した。11月に発売する。省エネ性能を訴え、これまで手薄だった工場や駐車場などに利用を広げる。2015年度にLED照明事業の売上高を現在の4倍程度の15億円に引き上げることを目指す。
シーアイ化成、水銀灯代替のLED、工場・屋外向けにユニット	日経産業新聞	2010年10月28日	シーアイ化成は水銀灯と同程度の明るさで、消費電力が5分の1ですむ発光ダイオード(LED)照明ユニットを開発した。11月に発売する。省エネ性能を訴え、これまで手薄だった工場や駐車場などに利用を広げる。2015年度にLED照明事業の売上高を現在の4倍程度の15億円に引き上げることを目指す。開発したのはLED素子18個を直線に並べて100ワットの明るさを出す照明ユニット。一般的な丸形ではなく直線に並べたことで放熱部材の軽量化に成功した。ユニットを組み合わせて使うことができ、4つつなげれば、倉庫や工場などで使われている400ワットの水銀灯と同じ明るさになる。価格は400ワットのユニットが約1万4000円。
戦後電機技術史、研究者に焦点、東京電機大が報告書。	日経産業新聞	2010年10月29日	東京電機大学は国立科学博物館などと協力して、戦後日本における電機分野の技術開発を担った研究者の歩みを記録した調査報告書をまとめた。青色発光ダイオードを開発した赤崎勇・名古屋大学特別教授や、世界初のMPU(超小型演算処理装置)を開発した嶋正利氏ら63人を選出した。研究者の人格や体験談を中心とする技術開発史で、今後の研究開発の指針にしたいとしている。
大阪府、LED照明6社認定、年度内、道路に600灯設置。	日本経済新聞 地方経済面	2010年10月29日	大阪府は府内の道路灯に利用する発光ダイオード(LED)照明の認定製品に因幡電機製作所(大阪府)など6社6製品を選んだ。府から電気工事を受注した業者が6製品の中から選び、年度内に合計約600灯を設置する。府は認定を通じて技術開発を促し、企業の販路開拓を支援する。
ウソライティングと昭和電工、コメ育てるLED照明、光の強度従来品の10倍	日本経済新聞	2010/11/1	ウソライティングと昭和電工はイネを育てられるLED照明を開発した。素子や周辺部品を改良し、稲を成長させられる強い光を作り出すことに成功した。これまでレタスなど葉物をLEDで育てる試みはあるが、稲を育てられるLEDは初めて。葉物が育つ従来品の10倍に光の強度を引き上げた。稲作工場の研究に取り組む千葉大学大学院の後藤英司教授が開発したLED照明を使って栽培実験を近く始める。
パイオニア、有機EL照明、事業化へ専門組織、収益源育成狙う。	日経産業新聞	2010年11月2日	経営再建中のパイオニアは1日、有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)照明の事業化を検討する専門組織を同日付で設置したと発表した。これまでは研究開発部が技術的な検討を重ねてきたが、今後は社長直属の組織で事業性の検討を含め推進する。2015年3月期までに有機EL照明を含む新事業で1000億円の売上高を目指しており、早期に収益源に育てたい考えだ。
パイオニア、有機EL照明、事業化へ専門組織、収益源育成狙う	日経産業新聞	2010年11月2日	経営再建中のパイオニアは1日、有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)照明の事業化を検討する専門組織を同日付で設置したと発表した。これまでは研究開発部が技術的な検討を重ねてきたが、今後は社長直属の組織で事業性の検討を含め推進する。2015年3月期までに有機EL照明を含む新事業で1000億円の売上高を目指しており、早期に収益源に育てたい考えだ。設置したのは「有機EL照明事業推進室」。室長には井田和長、研究開発部事業開発担当部長が就任。研究開発部長を務める小勝貴典非常勤が、同推進室の担当役員となる。まずは数人が所属し、市場調査や事業戦略づくりを手掛けるという。
新興—オーデリック、経常益3億円、今期、LED照明好調	日本経済新聞	2010年11月3日	照明器具販売のオーデリックの2011年3月期の連結経常増損益は3億円強の黒字(前期は1億4100万円の赤字)になりそうだ。従来予想は2億円の黒字。消費者の省エネ志向の高まりで発光ダイオード(LED)照明の販売が伸びるうえ、LEDの素子の調達コストも想定を下回る。売上高は前期比3%増の225億円強。LED照明のほか、新設住宅着工の回復で住宅向け蛍光灯の販売も増える。
LED照明46%拡大、来年度市場規模、大型冷凍機も18%、民間予測。	日経産業新聞	2010年11月4日	民間調査会社の富士経済(東京・中央)は2011年度の主要省エネ機器の市場規模予測を発表した。今春の改正省エネ法の施行などで、省エネを進める店舗やビルの設備更新需要が顕在化。発光ダイオード(LED)照明器具が10年度見込み比46・1%増の434億円に膨らむのをはじめ、主要機器はいずれも市場が拡大する見通しだ。
シャープ、住宅用LED天井照明「ELM」(checkUP出足快調)	日経産業新聞	2010年11月4日	寒暖色切り替え、リフォームで好評 シャープの住宅用発光ダイオード(LED)天井照明「ELM(エルム)」シリーズが売れ行き順調だ。全光源にLEDを使った住宅向け天井照明は業界初。9月17日に売り出し、販売は同月末で2000台以上になったもよう。家電量販店からの引き合いも非常に強く、10月末で生産は1万台超と計画を上回る。価格は最上位機種で7万5000円前後と高いが、50～60代が家のリフォーム用に購入している。
シャープ、住宅用LED天井照明「ELM」(checkUP出足快調)	日経産業新聞	2010年11月4日	シャープの住宅用LED天井照明「ELM(エルム)」シリーズが売れ行き順調だ。全光源にLEDを使った住宅向け天井照明は業界初。9月17日に売り出し、販売は同月末で2000台以上になったもよう。家電量販店からの引き合いも非常に強く、10月末で生産は1万台超と計画を上回る。価格は最上位機種で7万5000円前後と高いが、50～60代が家のリフォーム用に購入している。最も受けたのはLEDの特長である「調色・調光性を生かし自由に光を変えられる点」。寒色系の色から暖色系の色まで10段階で調色可能で、明るさも10段階で調整できる。常夜灯の調光も含めて110通りの明かりを楽しめ、季節や時間帯、気分が好きな光をつくれる。
三菱電機オスラム、直管形LEDランプ参入	日刊工業新聞News	2010年11月4日	三菱電機オスラムは、オフィスなどの照明に使う直管形LEDランプに参入、「直管形LEDランプシステム」として発売した。直管形蛍光灯の代替として使うもので、既存の照明器具を活用でき、設備費と工期の削減につなげた。実勢価格はランプ本体と専用電源をセットにして1万5000円程度で、工事費などが別途かかる。大手電機メーカーでいち早く直管形LEDランプの製品を投入し、年間10万本の販売を目指す。直管形LEDランプシステムは、専用電源に取り付けたコネクタをLEDランプ本体に接続して給電する。ランプ本体にある口金ピンはランプを支える役割のみで、電気的な接続には使用しない。
LED照明46%拡大、来年度市場規模、大型冷凍機も18%、民間予測	日経産業新聞	2010年11月4日	民間調査会社の富士経済(東京・中央)は2011年度の主要省エネ機器の市場規模予測を発表した。今春の改正省エネ法の施行などで、省エネを進める店舗やビルの設備更新需要が顕在化。発光ダイオード(LED)照明器具が10年度見込み比46・1%増の434億円に膨らむのをはじめ、主要機器はいずれも市場が拡大する見通しだ。
照明部材、中国向け100%現地調達、パナ電工、コスト3割削減	日本経済新聞	2010年11月5日	パナソニック電工は2012年度までに中国で製造販売する照明器具の部材をすべて現地調達に切り替える。現在は必要な部材の4割を日本から持ち込んでいるが、今後は中国メーカーから調達。調達コストを3割引き下げる。パナソニックグループは調達から販売まで現地手がける「地産地消」を進めており、今回の取り組みを世界各地の拠点に広げる計画だ。現地調達の拡大に向け年内に中国・上海に「中国照明調達・評価センター」を開設する。調達部材の耐久性、耐熱性などを測定し技術力のある部材メーカーを発掘する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
名古屋市／街路・公園灯LED化で現地試験／15社が協力、4地区で品質検証へ	日刊建設工業新聞	2010年11月5日	名古屋市緑政土木局は、街路灯と公園灯のLED化に向けた現地試験に乗り出す。LED照明は従来の水銀灯や蛍光灯に比べ、省エネで長寿命とされており、導入により維持管理コストを削減する狙い。メーカーなど15社が協力して計120基を設置。照度などの品質を検証し、導入のための基準づくりに役立てる。フィールドは港区を中心に4地区を選んだ。期間は12月14日から1年間。市内の街路灯は約10万基、公園灯は約8000基に上り、修繕費や電気料金など維持管理に多額の費用が必要となっている。
東京電力埼玉支店が県認定環境都市6市にLED照明を寄贈／地域	電気新聞	2010年11月5日	東京電力埼玉支店(片岡和久執行役員・支店長)は、埼玉県が「環境みらい都市」に認定した熊谷市など6市に対し、総額300万円分のLED(発光ダイオード)照明を寄贈した。埼玉県内のエコキュート(自然冷媒ヒートポンプ式給湯機)販売台数が10万台を突破したことを記念して行った。埼玉県の「環境みらい都市」は、地球温暖化対策をまちづくりに取り入れ地域の発展に生かそうとしている市町村を認定し、支援する制度。初年度の09年度は川越市、秩父市、戸田市、今年度は熊谷市、春日部市、北本市が認定された。
曲がる有機ELパネル、サムスン解像度4倍に、基板に特殊ブラ	日経産業新聞	2010年11月5日	韓国のサムスンモバイルディスプレイは4日、解像度が従来の4倍となるWVGA(800×480ドット)の曲がる有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルを開発したと発表した。曲がる有機ELは将来、スマートフォン(高性能携帯電話)やタブレット端末のデザインへの自由度を高めるとみられている。基板に通常のガラスではなく高温での製造に堪えられる特殊なプラスチックを使用した。サイズは4.5型。曲率半径1センチメートルで円筒状に折り曲げ可能。
PCからLED簡単調光、慶大など開発、複数の照明を同調。	日経産業新聞	2010年11月8日	慶応義塾大学の脇田玲准教授らは、発光ダイオード(LED)照明の明るさや色を簡単に調整できるソフトを開発した。外光の差し込み方など1日の時間帯に合わせて複数の照明が同調するように設定する。LED照明は広まっており、将来は自宅の照明を簡単に自分好みに設定できるようになる。照明関連の企業と組んで実用化を目指す。
環境時代の死角—LED照明の採用で体調不良 ちらつきに原因の可能性—札幌市役所	日経エコロジー	2010年11月8日	札幌市役所は、本庁舎内ほぼすべての照明器具をLED照明に交換する予定を立てていた。2009年12月、一般競争入札方式によりLED照明9050本を4つに分けて入札にかけ、2010年2月末から納品が始まった。これにより、年間約800万円の費用削減を見込め、取り換え作業を進めたところ、しばらくして一部の職員から「目が疲れる」との訴えがあった。札幌市役所の庁舎管理課では、同型のLED照明に交換した15階の職員95人を対象にアンケートを実施。「違和感を感じる」と答えた職員が38人(40.0%)いた。この結果を受けて札幌市は、照明の取り換え工事を中止した。
パナ電工の直管形LED照明、開発担当者に聞く、光のムラ抑え主照明に(新製品物語)	日経産業新聞	2010年11月9日	口金、安全に配慮 パナソニック電工が12月から順次売り出す直管形発光ダイオード(LED)照明は親会社のパナソニックとタッグを組み、光の明るさや色合い、安全性などの課題を克服した。開発を担当したパナ電工・照明事業本部の山中直氏とパナソニック・ライティング社の南畑亮氏に、投入の狙いや今後の抱負を聞いた。(1面参照)
パナ電工、LED照明、販売180億円、今年度目標45億円上げ	日本経済新聞	2010年11月9日	パナソニック電工は8日、2010年度の発光ダイオード(LED)照明器具の国内販売目標を09年度実績の1.8倍の180億円にすると発表した。従来計画を45億円引き上げた。想定以上のペースでLED照明の普及が進んでいるため、オフィスや店舗の蛍光灯への付け替え可能な直管形を12月に発売するなど、高付加価値品の投入で販売拡大をめざす。4月の改正省エネ法の施行などに伴い、LED照明を導入する店舗やビルが増えている。パナ電工はLED照明器具の国内最大手で、09年度に7%だった同社の国内照明販売に占めるLED比率は、10年度に13%まで高まるとみている。
パナ電工、直管形LED照明——明るさ・色、蛍光灯なみ	日経産業新聞	2010年11月9日	パナソニック電工は8日、12月に発売する直管形発光ダイオード(LED)照明の商品発表会を東京と大阪で開いた。明るさも色も蛍光灯並みだが消費電力は蛍光灯より40%少なく、オフィスや店で蛍光灯からの切り替え需要を見込む。まず蛍光灯40ワット相当の5製品を発売。2011年4月までに20ワット相当も含む約80製品に広げる。2万9925円から。11年度に30万台を販売し、同分野で国内首位を目指す。LED特有の強い光や色ムラを除き、空間全体を柔らかく照らす。直管形LED照明は安全基準が定まっておらず、大手は販売していない。業界団体の日本電球工業会が10月に規格を制定したのを受け、新製品を売り出す。
日本ゼオン、有機EL向け塗布型絶縁材料開発、オレフィン系で高画質	化学工業日報	2010年11月9日	日本ゼオンは、スマートフォンなどの携帯機器向けに需要が拡大している有機エレクトロルミネッセンス(EL)ディスプレイの画質向上と低コスト化が図れる塗布型有機絶縁材料を開発した。すでに採用が決まり、富士工場・高岡製造所で量産プラントを立ち上げている。同社が開発した絶縁材「ゼオコート」は、独自のオレフィン系樹脂を用いたもので、中小型有機ELの画素分離向け。フォトリソグラフィプロセス用に高いレジスト性を有し、配線幅/配線間隔は数マイクロメートルが可能としている。
朝日ラバー、LED、標準品も販売、在庫そろえ低価格化。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月10日	工業用ゴム製造の朝日ラバーは主力の発光ダイオード(LED)事業で低価格帯製品の販売を強化する。顧客の希望に応じてオーダーメイドで製造する方式に加えて、製品の標準化を進める。需要の多い色合いの製品を標準品として一定量の在庫をそろえて、納期を短縮し製造コストも圧縮する。
コイズミ照明／LED新製品の内覧会、11月10日から4会場で順次開催	日刊建設工業新聞	2010年11月10日	コイズミ照明(大阪市中央区、梅田照幸社長)は、11月下旬から市場投入する店舗向け発光ダイオード(LED)新製品の内覧会を4都市で開く。LED照明器具シリーズ群「cledy」を店舗の形態や目的に合わせてバリエーション・アップを図った新製品75機種を出展。実用性・独自性のあるハイパワーLED製品を展示・訴求し、店舗向けLED市場のシェア拡大を目指す。店舗オーナーや照明デザイナー、デザイン・設計事務所、店舗内装会社などプロユーザーを対象に、4会場で延べ約2400人の来場を見込んでいる。
コニカミノルタ、LED照明器具・モジュールの光学特性を評価する「LED校正サービス」を開始	日経速報ニュース	2010年11月10日	コニカミノルタセンシング株式会社(本社:大阪府堺市、社長・唐崎 敏彦 以下コニカミノルタ)は、LED照明器具やLEDモジュール等の光学特性を評価するサービス「LED校正サービス」を、2010年12月6日より開始致します。【サービス名】LED校正サービス【価格(税抜)】50,000円～【サービス開始予定日】2010年12月6日【サービスの主な特長】1. 最新鋭のフラッグシップ機を使用 2. 約2週間のスピード納期
米沢市 米沢六中の創立60周年記念講演会 山形大・城戸教授が有機EL研究の概要など紹介	山形新聞	2010年11月10日	米沢六中(近野洋一校長)の創立60周年記念講演会が9日、同校で開かれ、山形大学大学院工学研究科の城戸淳二教授が世界をリードする有機EL研究の概要などを紹介した。「有機ELで世界を変える」と題して講演した城戸教授は、その仕組みを分かりやすく解説。薄く柔軟に曲がり、エネルギー消費量も少ない有機ELディスプレイや照明が普及する将来の社会を見通した。さらに、勉強が嫌いだっただけで自分が有機EL分野で世界トップレベルの研究者として認められるようになるまでの足跡や、ノーベル賞クラスの研究者との交流などに触れてハングリー精神の重要性を強調。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
三菱重工系、照明用有機ELパネルを世界初の量産	日本経済新聞	2010年11月10日	三菱重工工業などが出資する有機EL照明会社、ルミオテックは10日、照明用の有機ELパネルを世界で初めて量産すると発表した。2011年1月から年間6万枚を生産し、照明器具メーカーに売り込む。商業施設などの壁や天井、柱などに取り付けるデザイン照明用の光源としての需要を開拓する。有機ELはLEDに続く省エネ照明として期待されており、先駆けて量産し普及を狙う。米沢市にある同社の施設内で大きさの異なる有機ELパネル5機種を量産する。それぞれ黄色っぽい「電球色」と、白っぽい「昼白色」の2タイプをそろえた。税抜き価格は145ミリメートル角の正方形で3万円。
薄型パネル国際展示会、韓台、有機ELで存在感、大型・3D対応品ぞらり。	日経産業新聞	2010年11月11日	日本勢は液晶中心薄型ディスプレイパネルの国際展示会「FPDインターナショナル2010」が10日、千葉県の幕張メッセで開幕した。存在感を示したのはサムスン電子など韓国、台湾の大手メーカー。日本勢はまだ開発に成功していない大型の有機エレクトロルミネッセンス(EL)パネルなどを展示し、先行する姿を印象づけた。「クリエーティブ・リブレスメント(新技術への置き換え)こそ停滞を打破する鍵になる」。基調講演でサムスン電子の張元基(チャン・ウォンギ)LCD事業部長兼S-LCD最高経営責任者(CEO)はこう強調した。
LED照明用蛍光体原料、高純度品を販売、太平洋セメント、年度内に。	日経産業新聞	2010年11月11日	太平洋セメントは10日、発光ダイオード(LED)照明に使う蛍光体原料の量産技術を国内で初めて開発し、2010年度中に販売を始めると発表した。LED照明は家庭用や液晶テレビのバックライト用として需要が拡大しており、3~4年後に20億円の売り上げを目指す。
直管形LEDランプ——規格策定受け大手発売(攻防デジタル市場)	日経産業新聞	2010年11月11日	東芝やパナソニック 先行する海外勢に対抗 オフィスで使う蛍光管に置き換わる省エネ照明として、直管形発光ダイオード(LED)ランプに注目が集まっている。業界団体の規格策定を受け、パナソニック電工や東芝ライテックが年内に発売。三菱電機オスラムが2社とは別方式で売り出したほか、さらに別の方式で海外・新興メーカーの参入も増えている。方式の混在が長く続けば消費者の混乱を招く恐れもある。
三菱重工系、有機ELパネル、初の量産——照明用、年間6万枚。	日本経済新聞 朝刊	2010年11月11日	三菱重工工業などが出資する有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明会社、ルミオテック(山形県米沢市)は10日、照明用の有機ELパネルを世界で初めて量産すると発表した。2011年1月から年間6万枚を生産し、照明器具メーカーに売り込む。
福建省:今年、LED産業の年間生産額が130億元に	新華社ニュース	2010年11月11日	今年9月現在、福建省のLED企業数は250社を超え、年末にはLED産業の年間生産額が2006年比130%増の130億元に達する見込みになっている。福建省ではエディタキシャルウェアからチップ、製品パッケージング、テストをカバーするLED産業が発展しており、独自の知的財産権を有する企業も多数成長。アモイ国家半導体照明産業化拠点を中心とした産業体系ができていく。
LED防犯灯で街明るく 豊田合成寄贈 一宮で点灯式	中日新聞	2010年11月11日	トヨタ自動車グループの豊田合成(清須市)が一宮市防犯協会連合会を通じて、同市のJR尾張一宮駅北側に寄贈した発光ダイオード(LED)防犯灯の点灯式が10日夕、現地であった。十七基が一斉に光を放ち、夜道を明るく照らした。若山南(はじめ)社長が「地域貢献の一環として寄贈させていただいた。省エネ、長寿命、虫が寄り付かないなどの長所があるLED防犯灯が明るいまちづくり役に役立てばとあいさつ。谷一夫市長に目録を贈った。設置場所付近では、六月に女子高校生が重傷を負った殺人未遂事件が起きている。一宮署の伊藤敏男署長が「犯人逮捕と、犯罪が起きにくい環境づくりで最大限の努力をしたい」と謝辞を述べた。
ルミオテック、照明用有機ELパネル10タイプ出荷へ	化学工業日報	2010年11月11日	ルミオテックは10日、サイズの異なる有機ELパネル5モデル10タイプの出荷を2011年1月から開始すると発表した。需要家が製品に組み込むことを前提に、性能保証付きで出荷に踏み切る。照明用有機ELパネルの量産出荷は世界で初めてとしており、年間6万枚規模の生産を目指す。同社は照明用有機ELパネルの事業性検証会社で、三菱重工工業やローム、凸版印刷などが出資し08年5月に発足した。今回投入する有機ELパネルは正方形2種、長方形3種で、それぞれに電球色と昼白色の2つの色温度を持つ合計10タイプを用意した。
エプソン・東京エレクトロン、有機ELで連携、大型量産技術確立めざす。	日本経済新聞 朝刊	2010年11月12日	セイコーエプソンと東京エレクトロンは11日、大型の有機EL(エレクトロルミネッセンス)ディスプレイの製造技術を共同開発すると発表した。エプソンが持つインクジェット技術と東京エレクトロンの製造装置技術を持ち寄り、テレビ用の大型有機ELパネルの量産技術確立を目指す。
光波、照明用LED製品を拡販、10年度倍増の11億円へ	化学工業日報	2010年11月12日	光波は、照明用発光ダイオード(LED)関連製品の販売を強化する。照明分野では海外勢を含め新規参入が増え価格競争が激化しているが、オンリーワン製品開発を充実させ、競争力強化を進める。角度調整自在のLED電球、アルミ基板を利用したノイズレス電源回路用のマイクロハロゲンタイプなど新製品を投入。今年度は昨年度の2倍を上回る11億円の売り上げを目指す。同社は、「3in1」チップなど自販機やアミューズメント向けのLEDチップで事業を拡大してきたが、今後、市場拡大が期待されるLED照明に注力しており、独自の製品開発を加速している。
国交省／道路・トンネルにLED照明灯導入へ／実証実験参加者を募集	日刊建設工業新聞	2010年11月12日	国土交通省は、道路・トンネルにLED照明灯を導入するための実証実験を実施する。10日から実験に参加する民間企業の公募を始めた。来年1月上旬に実験協力者を決め、1月下旬に茨城県つくば市の国土技術政策総合研究所で実験を開始。LED照明灯の設計に必要な光学特性と関連する規格・基準の適合性などに関する基礎データを2月中旬までに収集し、3月中旬に結果をまとめる。LED照明灯に関する意見も幅広く募集する。実証実験で使う製品は、試験・実験用として特別に製造されたものではなく、標準的生産ラインで製造された連続照明、局部照明(交差点照明、横断歩道)、トンネル基本照明の製品とする。
お台場を彩るXマツツリー	東京読売新聞	2010年11月13日	東京・お台場の商業施設デックス東京ビーチ(港区台場)で今年も13日からクリスマスツリーのイルミネーションが点灯される。15回目となる今年は、高さ約20メートルの生木にLED電球約20万球が飾られ、毎時15分と45分には、ツリーを包み込む15色の光が輝く、レインボープリングと東京タワーとの競演を堪能し、撮影スポットもある。点灯期間は年内は12月25日、新年は1月10日までの午後5時～午前0時。パレナティンデーやホワイトデーのシーズンにも点灯される。
なんばに光のツリー	大阪読売新聞	2010年11月13日	大阪・難波の大型商業施設「なんばパークス」で12日、約10万5000個の発光ダイオード(LED)を使ったクリスマスイルミネーションの点灯式があり、白や黄金に彩られた高さ7メートルのクリスマスツリーもお目見えした。2003年のオープン時から始まり、今年で8回目。点灯式では、鹿児島・奄美大島出身の歌手、城南満さん(20)が、「きよしこの夜」を披露。約2万7000個のLEDで飾ったツリーに明かりがともると、訪れた買い物客からは歓声が上がった。12月25日までの午前10時～午前0時に点灯。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
技術的事項で意見募集／LED道路・トンネル照明灯／国交省／	建設工業新聞	2010年11月13日	国土交通省は、一般国道等の道路・トンネルにLED照明灯の導入を検討するため、照明設計、施工、維持管理、照明灯具の性能、安全性、ライフサイクルコスト等に関する意見を募集する。締切日は来月24日。意見募集の内容は(1)LED道路・トンネル照明灯の照明設計・施工および維持管理にかかる技術的事項(2)LED道路・トンネル照明性能、安全性、ライフサイクルコスト等の規定にかかる技術的事項—となる。
カネカ、有機EL照明デザインコンペで募集	化学工業日報	2010年11月15日	有機EL照明デザインコンペ カネカが10月から募集しており、「美しき日本の酒場を彩る、新感覚あかりオブジェ」がテーマ。大賞作品は同社の有機ELパネルで製作され、来年4月にイタリア・ミラノで開催のミラノ・サローネの同社会場で展示される。応募方法など詳細はwww.kaneka.co.jpまで。同社はデザイン照明分野における用途開発を推進、その一環としてミラノ・サローネで有機ELパネルを使ったBAR空間を出展する。コンペでは目玉となるオブジェを募集する。なお、ノーバーメッセ、ライティングフェアにも同照明を出展予定。
LED電球、単身・賃貸層、普及のカギ——持ち家派にじわり浸透(消費のなぜ)	日経産業新聞 朝刊	2010年11月16日	「お得感」認識に差 家庭用の発光ダイオード(LED)電球の購入者層が広がらない。価格は下落し、値ごろ感が出たことで販売数量そのものは伸びているが、白熱電球からの買い替え需要がなかなか盛り上がらないため。単身で賃貸住宅に住んでいる層には「長寿命」が利点と映らず、既存の電球をそのまま置き換えるだけの商品がそろっていないことも普及の足かせになっているようだ。
パナ電工、LEDで省エネ実現したスタジオ照明を来春発売	日刊工業新聞	2010年11月16日	パナソニック電工はテレビスタジオ照明「LED(発光ダイオード)プロードライト」を2011年春に発売する。約200ワットで従来のハロゲンランプ1000ワット相当の明るさを確保し、約8割の省エネルギー効果を見込む。テレビスタジオでは正確な色味を再現することが求められるため、演色性はRa92とし、ハロゲンランプのRa100とほぼ同等にした。
三菱電機照明、LED誘導灯をモデルチェンジ	日刊工業新聞	2010年11月16日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、中村俊夫社長、0467・41・2724)は、発光ダイオード(LED)を使った避難口や通路の誘導灯「ルセセントLEDsシリーズ」で長時間形7機種を拡充、8機種をモデルチェンジした。旧LED誘導灯から省エネ性を向上し、天井への直付けや壁の埋め込みなどの機種を用意した。価格は7万2000円から14万3900円。新製品は消防法の改正により、大型商業施設などを対象に60分間点灯する長時間定格形誘導灯の設置が義務づけられたことに対応するもの。各機種とも旧LED誘導灯と比べ約54—63%省エネ性能の向上を図った。
遠藤照明、インドに現地法人—LED照明器具市場に参入	日刊工業新聞	2010年11月17日	遠藤照明は2011年にインドのLED照明器具市場に参入する。早ければ同年春にもムンバイ市近郊に現地資本との合弁会社を設立する。急速にインフラ整備が進むインドで今後、業務用LED照明の需要拡大が見込めることから進出を決めた。将来の現地生産も視野に入れ、13年には売上高で数十億円規模を狙う。合弁会社の出資額、出資比率は今後詰めるが、遠藤照明は過半を出資して連結子会社とする方針。中国、タイの工場で製造した照明器具を合弁相手となる販売代理店に供給する。物流業務は現地のサード・パーティー・ロジスティクス(3PL)事業者に委託する
三菱化学メディア、日米でもLED照明器具販売、欧に続き11年から	化学工業日報	2010年11月17日	三菱化学メディアは2011年をめぐり、米国および日本市場で光ダイオード(LED)照明器具の販売を開始する。9月から開始した欧州での販売に次ぐもので、米国では11年早々から、日本では同年内を目標に発売する計画。現在準備を進めている演色評価数(CRI)を向上させた第2世代製品も同年に投入する予定。販売市場の拡大と高付加価値製品の投入により、LED照明器具販売事業を同社の新たな事業柱として育成し、15年度には同事業で数百億円規模の売上高達成を目指す。三菱化学メディアは自社ブランドであるパーバタムを使用し、9月から欧州市場でLED照明器具の販売を開始した。
英国視察団、山形大を見学 有機エレクトロニクス研究で	山形新聞	2010年11月17日	イギリスの有機エレクトロニクス研究をリードする大学教授や企業関係者らで構成する「英国プラスチック・エレクトロニクス視察団」が16日、米沢市を訪れ、山形大学大学院工学研究科の城戸淳二教授と意見交換するとともに研究室を見学した。大場好弘学部長と城戸教授から山大を拠点とする有機エレクトロニクス研究の概要や、企業を巻き込んだ産業化への展望などを聞いた一行は、イギリスにおける研究の現状を説明。ともに重要なテーマと位置付ける有機エレクトロニクスへの印刷技術の応用などについて意見交換した
次世代有機デバイス実用化、米沢に研究拠点整備へ、県内企業や大手30社参画。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月18日	産学官組織が発足 塗布方式の技術開発 次世代有機デバイスの実用化研究拠点を山形県米沢市に整備しようという構想が動き出す。有機エレクトロニクス産業の集積に向けた産学官の研究会組織が18日に発足、具体的な検討作業に着手する。山形大学を中心に山形県や県内企業のほか、大手企業、科学技術振興機構(JST)などを含むオールジャパン体制で国際競争に勝ち抜くための振興ビジョンを模索。産学官一体で国への緊急提言をまとめる。
次世代有機デバイス実用化、米沢に研究拠点整備へ、県内企業や大手30社参画	日本経済新聞	2010年11月18日	次世代有機デバイスの実用化研究拠点を山形県米沢市に整備しようという構想が動き出す。有機エレクトロニクス産業の集積に向けた産学官の研究会組織が18日に発足、具体的な検討作業に着手する。山形大学を中心に山形県や県内企業のほか、大手企業、科学技術振興機構(JST)などを含むオールジャパン体制で国際競争に勝ち抜くための振興ビジョンを模索。産学官一体で国への緊急提言をまとめる。新拠点は従来の真空蒸着方式に代わり、印刷技術に応じた塗布方式の製造プロセスの実現に取り組む。有機EL照明や有機太陽電池などの普及促進のためには塗布方式のプロセス確立が欠かせないと判断した。
遠藤照明、LED照明器具、インド合弁生産。	日経産業新聞	2010年11月19日	遠藤照明はタイ会社を通じ、インドの中堅照明器具販売会社ベクトラ社と12月に合弁会社を設立する。新会社はインド・ブネ市の工場で発光ダイオード(LED)照明器具を月5000台ペースで組み立てる計画。生産した照明器具の販売も手掛け、インド市場で年間約10億円の売上高を目指す。
先端技術の動向 けいはんなで紹介 3日にフォーラム	京都新聞	2010年11月19日	京都府中小企業技術センター(京都市下京区)と京都産業21(同)は、LED(発光ダイオード)や有機ELをテーマに先端技術の動向などを紹介する「けいはんなフロンティア産業フォーラム」を12月3日に京都府精華町光台のけいはんなプラザで開く。京都大工学研究科の川上養一教授が「白色LEDが拓(ひらく)明るい未来」、山形大理工学研究科の城戸淳二教授が「有機ELと地域活性化」と題してそれぞれ講演するほか、京都企業3社が自社の研究開発や商品化の実例を発表する。
シャルレライテック、台湾・鴻海のLED照明販売	日本経済新聞	2010年11月21日	発光ダイオード(LED)照明販売のシャルレライテック(東京・港)は、台湾の電子機器の受託製造サービス(EMS)、鴻海精密工業(フォックスコン)の部品を使ったLED照明を国内で販売する。工場や倉庫向けとして、年内に本格的な販売を始める。EMS世界最大大手であるフォックスコン傘下の半導体会社「Fii」が中国で生産しているLED照明の中核部品「LEDモジュール」を使う。シャルレライテックが器具を取り付け、企業や自治体に「シャルレ」ブランドで販売する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パーク24、新規駐車場にLED照明、省電力、寿命3倍に——最長8年で投資回収。	日経産業新聞	2010年11月22日	駐車場大手のパーク24は全国の時間貸し駐車場「タイムズ」に発光ダイオード(LED)照明を導入する。これまでは水銀灯を使っていたが、今後は新規開設する駐車場では省エネ性能が高いLEDに切り替え、既存駐車場でも水銀灯が寿命を迎えればLEDに交換する方針。LED照明は単価が高いが消費電力は小さく、最長でも8年で投資を回収できるとして導入を決めた。
オーガニックライティング(山形県米沢市)——有機EL照明製販(注目フロンティア)	日経産業新聞	2010年11月22日	薄く軽く家庭明るく 低価格化、普及を後押し ぐらぐらと 帰宅後の癒やし 帰宅してスイッチを入れたら、天井や壁が柔らかに光り出す——。オーガニックライティング(OLC、山形県米沢市、後藤芳英社長)は有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルを使った照明器具の製造販売を本格化する。面全体が発光するうえ、薄く軽量で加工しやすい。飲食店など商業施設や公共施設に売り込み、将来は家庭への普及を目指す。
光波社長中島康裕氏——LED照明、南アジアへ視線(ナビゲーター)	日経産業新聞	2010年11月22日	発光ダイオード(LED)照明の新製品の販売が好調だ。10月に発売した天井埋め込み型の製品は、厚みが業界最薄の約1センチメートルで耐震性も高いのでドラッグストアなど小規模店舗の引き合いが強い。
コイズミ照明、業務用でアジア開拓、香港に統括拠点、売上高2倍へ	日経産業新聞	2010年11月22日	中堅照明器具メーカーのコイズミ照明(大阪市)はアジア市場の開拓を加速する。来春から香港を拠点に台湾や韓国、東南アジアで業務用照明器具の販売を本格化するほか、生産拠点の新設やインド市場の開拓も検討する。同社はアジアでの売上高を今後2年間で2倍に引き上げる方針を打ち出しており、すでに進出している中国に続いて、販売エリアの拡大を急ぐこととした。2011年4月をめぐりに中国工場からの製品の輸出業務などを手掛けている香港の子会社、小泉産業(香港)に営業機能を追加する。まずは日本から3、4人の社員を常駐させて、香港やシンガポール、台湾、韓国など7カ国・地域を統括させる計画だ。
光波社長中島康裕氏——LED照明、南アジアへ視線	日経産業新聞	2010年11月22日	発光ダイオード(LED)照明の新製品の販売が好調だ。10月に発売した天井埋め込み型の製品は、厚みが業界最薄の約1センチメートルで耐震性も高いのでドラッグストアなど小規模店舗の引き合いが強い。当社はLED照明をバンラデッシュで生産している。労働人口が豊富で、人件費は中国沿岸部より8割安い。ベトナムと比べると半分だ。今後LED照明の需要増が見込めるインドに近いことも魅力だ。製造コストを抑えて価格競争が激しい中でも利益が出る体質をつくりたい。
オーガニックライティング(山形県米沢市)——有機EL照明製販	日経産業新聞	2010年11月22日	薄く軽く家庭明るく 低価格化、普及を後押し ぐらぐらと 帰宅後の癒やし 帰宅してスイッチを入れたら、天井や壁が柔らかに光り出す——。オーガニックライティング(OLC、山形県米沢市、後藤芳英社長)は有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルを使った照明器具の製造販売を本格化する。面全体が発光するうえ、薄く軽量で加工しやすい。飲食店など商業施設や公共施設に売り込み、将来は家庭への普及を目指す。
LED照明内蔵目覚まし、“朝日”風の光で起きて、アダライズがネット通販	日本経済新聞	2010年11月23日	工業製品の設計デザインを手掛けるアダライズ(松本市)は発光ダイオード(LED)照明の光を使った目覚まし時計「スリープナビ」=写真=を来春に発売する。設定した時間になると好みの音楽と共に内蔵の大型LED照明が朝日のように徐々に明るくなり、目が覚めやすい環境をつくる。インターネット通販などで販売する。
コイズミ照明、LED8Wタイプ防犯灯	電波新聞	2010/11/24	コイズミ照明は、従来の直管蛍光灯の20Wと同等の明るさのLED8Wタイプを採用した防犯灯を発売した。価格は18900円。新製品は従来タイプに比べ消費電力を約54%削減する。併せてコンパクトな器具サイズが特徴で、実行きは約385ミリ。
LED電球、返品可能に、アスクル、導入後押し期間限定で。	日経MJ(流通新聞)	2010年11月24日	オフィス用品通販のアスクルは発光ダイオード(LED)電球の販促キャンペーンを始めた。対象の2商品に限り、使用後も来月1月の期間中までならば返品を受け付ける。環境意識の高まりでLED電球の需要は伸びているが「既存の照明から切り替えられるかわからない」などの理由で導入を迷う人も多い。アスクルは返品可能として不安感を取り除き、オフィス用などの大口購入につなげる。
「コナカ」全254店、LED照明導入、コストとCO2削減。	日経MJ(流通新聞)	2010年11月24日	コナカは22日、主力業態「紳士服のコナカ」全254店にLEDのスポット照明を導入した。本社ビルの照明も11月末までに順次、LEDに切り替える。二酸化炭素(CO2)の排出抑制に加え、一段の低コスト運営にもつなげる。
LED相次ぎ市場投入／店舗、戸建住宅に照準／大光電機	建設通信新聞	2010年11月24日	照明器具メーカーの大光電機(本社・大阪市、前芝辰二社長)は、店舗、戸建て住宅にターゲットを絞り、同分野向けのLED(発光ダイオード)製品ラインアップを拡充している。今回、約400種類を追加したLED照明器具の総合カタログ『LZII』に続き、2011年3月に店舗用160～80点、同4月に住宅用400点以上の新製品を発表する予定だ。09年度に13億円だったLEDの売り上げを、10年度に56億円、11年度に100億円で高める。10年2月に発売した『LZ』に続く『LZII』は、高出力LED製品に注力し、スポットライトやダウンライトなど店舗に求められる光の演出の幅を広げた。
LED電球、返品可能に、アスクル、導入後押し期間限定で	日経MJ	2010年11月24日	オフィス用品通販のアスクルは発光ダイオード(LED)電球の販促キャンペーンを始めた。対象の2商品に限り、使用後も来月1月の期間中までならば返品を受け付ける。環境意識の高まりでLED電球の需要は伸びているが「既存の照明から切り替えられるかわからない」などの理由で導入を迷う人も多い。アスクルは返品可能として不安感を取り除き、オフィス用などの大口購入につなげる。12月29日までに商品を購入し、来月1月31日までに問い合わせセンターに連絡した場合は返品を受け付ける。対象となるのは東芝ライテックのLED電球。黄色っぽい「電球色」と白っぽい「昼白色」の2種類を用意した。価格は1個2480円だ。
有機EL、韓国勢が先行、国内、量産戦略足踏み。	日経産業新聞	2010年11月25日	有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)パネルは、液晶に代わる次世代ディスプレイとして開発競争が激化している。現在の主戦場はスマートフォン(高機能携帯電話)やタブレット端末の好調を受けて急拡大する中小型パネルで、韓国のサムスン電子が市場の大半を押さえる。米ディスプレイサーチによると2009年の有機ELパネル市場で、サムスン電子グループのサムスンモバイルディスプレイが2位以下を大きく引き離し68.4%のシェアを握る。
FKK、蛍光灯用器具にセットできるLEDランプ発売	日刊工業新聞	2010年11月25日	FKK(京都市南区、川田源二郎社長、075-314-8760)は、蛍光灯ライトの本体器具にセットしてそのまま使用できる「発光ダイオード(LED)スリム管ランプ」を、12月上旬に発売する。既存の蛍光灯ライト本体器具のインバーターに対応する回路をLEDスリム管内に組み込み、蛍光灯からランプを取り換えるだけで電気を節約できる。1、2年後に年間7億円の売り上げを目指す。ランプ内に電流値をコントロールする回路を組み込み、蛍光灯用の本体器具を用いたままでも電気を蛍光灯の約半分に減らせる。3年間使用した場合、50灯導入換算で約8万5000円コストダウンできるという。価格は全長844ミリメートルの機種で、5000円前後。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
大阪市立工業研究所、LED照明品質、中小対象に評価	日本経済新聞	2010年11月25日	地方独立行政法人の大阪市立工業研究所は来年4月から発光ダイオード(LED)関連機器の品質評価を始める。主にLED照明機器の中小メーカーを対象に、開発中の機器の照明の輝度や照度、色などを測定する。同研究所は数千万円をかけて光の測定システムを今年度中に導入する。LEDが熱を帯びるのを想定した照明器具部材の開発も支援する。大手メーカーは測定システムを持っているが、関西の中小メーカーが製品開発をする場合、東京の研究所未だ製品を持ち込み、測定する必要があったという。
高松空港、LED照明導入、待合室など省エネ推進	日本経済新聞	2010年11月25日	高松空港ビル(高松市)は24日、高松空港の利便性向上のため、年内に取り換える予定の133の電灯を発光ダイオード(LED)に切り替えると発表した。より明るい空間にするとともに、省エネ化を進める。混雑時に列ができてしまうトイレについても増設する。照明を取り換えるのは利用者が集中する国内線の待合室やコンコース。使用中の高輝度放電(HID)ランプをLEDに変更することにより、年間の消費電力量が約2万5000キロワット時減り、二酸化炭素(CO2)排出量も約8・8トン削減できるとしている。完了は12月20日の予定。
1月10日まで応募受付／有機ELデザインコンペ／カナカ	建設通信新聞	2010年11月25日	カナカは、有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明のデザインコンペを始めた。「美しき日本の酒場を彩る、新感覚あかりオブジェ」をテーマにありのオブジェデザインを募集している。大賞作品は試作品を制作し、同社が2011年のミラサローネに出展する空間に展示する。デザインコンペは、バー空間への設置を想定した有機ELを使ったオブジェを、デザイン画、企画コンセプト、プレゼンテーションにより選考する。バー空間は、建築家の鈴木浩一氏が有機ELパネルを使ってデザインし、ミラサローネに出展する。オブジェ作品は、同空間に展示される。
住友化社長、有機EL事業「パートナーとパネル一部生産も検討」	日経速報ニュース	2010年11月25日	住友化学の廣瀬博社長は25日、2012年に事業化を目指す有機ELについて「パートナーとパネルの一部の生産まで視野に入れ、ビジネスモデルを検討している」と述べた。同社が開発している高分子有機EL材料の特徴に関しては「コスト面で大型化に向いており、大型のテレビや照明に生かせる」と強調した。液晶ディスプレイ向けフィルムについては「光学フィルムなどは2、3割減産している。減産体制は1～3月期まで続く可能性がある」との見通しを示した。発光ダイオードテレビのバックライトの導光板に使うMMA(メチルメタクリレート)については「調整からの立ち上がりには強い注文があり、来年早々に製品の供給は動くのではないかと語った。
山形大、有機ELで海外交流、相互視察団やセミナー協力、実用化にらみ連携。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月26日	山形大学工学部(山形県米沢市)は有機エレクトロニクス分野で海外との本格交流に乗り出す。これまで研究者個人レベルでの交流にとどまっていたが、次世代有機デバイスの実用化をにらみ、欧米の大学や研究機関、自治体との連携が欠かせないと判断した。まず視察団相互派遣やセミナー協力などを足場に、将来は連携協定締結や共同研究推進などを目指す。
大阪市立工業研究所、LED照明品質、中小対象に評価。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月26日	地方独立行政法人の大阪市立工業研究所は来年4月から発光ダイオード(LED)関連機器の品質評価を始める。主にLED照明機器の中小メーカーを対象に、開発中の機器の照明の輝度や照度、色などを測定する。
米沢市 タカハタ電子が照明事業に参入 LED街路防犯灯を発売、官公庁の需要狙い売り込む	山形新聞	2010年11月26日	タカハタ電子は、新たに照明事業へ参入した。第1弾の商品として省エネと耐久性に優れたLEDの街路防犯灯を発売し、来月までに計4機種をそろえる計画。街路灯がLED式に切り替わっている流れに合わせ、主に官公庁の需要を狙って全国展開を図っていく。同社は液晶ディスプレイなどが主力商品。照明分野については、有機EL照明の共同研究に参加し、昨年から山形大と共同でLED照明駆動回路の研究に取り組むなど、エコ照明の技術を蓄積してきた。開発した照明は、入力電力が20VAで消費電力が17ワット。
光都東京来月21日から「生物共生」テーマの装飾も	交通新聞	2010年11月26日	東京の冬の風物詩となっている光の祭典「光都東京・LIGHTOPIA(ライトピア)2010」が、今年も12月21日から29日(一部26日)まで、JR東京駅西側の大手町・丸の内・有楽町地区で開催される。東京都や千代田区、JR東日本、ジェイアール東日本企画(Jeki)などで構成する光都東京実行委員会(会長・松山龍二東京観光財団副理事長)主催。エグゼクティブ・アドバイザーに照明デザイナーの石井幹子さんを迎える。今回5回目となるが、今年も国連の「国際生物多様性年」であることから、イルミネーションの一部に生き物をかたどった光のタペストリーを施し、環境保全や生き物との共生のメッセージを伝えていく。
山形大、有機ELで海外交流、相互視察団やセミナー協力、実用化にらみ連携	日本経済新聞	2010年11月26日	山形大学工学部(山形県米沢市)は有機エレクトロニクス分野で海外との本格交流に乗り出す。これまで研究者個人レベルでの交流にとどまっていたが、次世代有機デバイスの実用化をにらみ、欧米の大学や研究機関、自治体との連携が欠かせないと判断した。まず視察団相互派遣やセミナー協力などを足場に、将来は連携協定締結や共同研究推進などを目指す。大場好弘学部長を団長とする計28人の産学官合同視察団が10月、独ザクセン州ドレスデン市を訪れ、大学や研究所、大学発ベンチャーなどを視察した。
ローソン、電力2割削減の店舗、京都府に1号店、全照明にLED導入。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月27日	新店に原則導入 12年度以降 ローソンは電気使用量を既存の通常店に比べて約20%削減できる環境配慮型店舗を12月に新店する。全照明に発光ダイオード(LED)を採用し冷蔵ケースに断熱ガラス扉を使用するなど、最新の省エネ設備を集積した。同社の従来のエコ店舗より電力の削減幅が約5ポイント大きい。効果を検証したうえで、2012年度からほぼすべての新店に取り入れる方針だ。
照明部品の製造会社、パナ電工、セルビアに設立——欧州企業に電子安定器。	日本経済新聞 地方経済面	2010年11月27日	パナソニック電工は24日、照明部品の製造会社を8日付でセルビアに設立したと発表した。蛍光灯などの放電を安定させるために使う電子安定器を2011年1月から生産。欧州の照明器具メーカーに供給する。外部に生産委託していた分を自社生産に切り替えてコストを削減する。
東芝ライテック、ムラなく照らすLED天井照明。	日経産業新聞	2010年11月29日	東芝ライテックは明かりを均一にする導光板を内蔵した発光ダイオード(LED)シーリングライト6機種を12月6日に発売する。広範囲をムラのない光で照らすことができる。一般住宅の天井に取り付けて使う。これまで販売してきた電球型などに、リビングなどを広く照らす機種を加えて住宅向けの製品群を拡充する。
商品で新しい生活提案(1)アイリスオーヤマ社長大山健太郎氏(人間発見)	日本経済新聞 夕刊	2010年11月29日	LED電球好調、「いくらなら買う」考え低価格に 新型インフルでマスク大増産、トップダウンの強み 「あれはいない」をすれば環境時代がついてきた 収納・インテリア用品からカーテンング・ペット用品まで消費者に身近な商品を企画開発、製造販売するアイリスオーヤマ、今春発売した発光ダイオード(LED)電球の新シリーズは低価格を武器に売り上げ好調を続ける。創業社長の大山健太郎さん(65)はこれまでにない商品を出して日本人の生活を豊かにしてきた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東芝ライテック、ムラなく照らすLED天井照明	日経産業新聞	2010年11月29日	東芝ライテックは明かりを均一にする導光板を内蔵した発光ダイオード(LED)シーリングライト6機種を12月6日に発売する。広範囲をムラのない光で照らすことができる。一般住宅の天井に取り付けて使う。これまで販売してきた電球型などに、リビングなどを広く照らす機種を加えて住宅向けの製品群を拡充する。価格はオープンだが、3万5000～5万5000円を想定。照明の外枠の色は白と茶色の2種類で、それぞれ5490ルーメン、3660ルーメン、2770ルーメンの3種類の明るさがある。6機種合計で年8万台の販売を見込む。寿命は4万時間。
シーシーエス、LEDスポット照明の業界最小品発売	化学工業日報	2010年11月29日	工業用発光ダイオード(LED)照明製品を供給しているシーシーエス(京都市)は、半導体製造工程向けなどに業界最小・最軽量、質量18グラムのLED高出力スポット照明「HLV2-14」を発売した。国内市場に先行投入し、3年間の売り上げ目標は約1億5000万円。LEDスポット照明は電子・半導体部品の製造工程で、部品の位置合わせをする際などに使用され、ハロゲンランプからの代替が進んでいるという。LED照明には明るさのほかにも、小型化や低価格化といったニーズがあり、新製品はこうしたニーズに対応した。
岩崎電気、軽量・コンパクトなLED防犯灯「LEDioc STREET 10VA」を発売	日経速報ニュース	2010年11月30日	岩崎電気株式会社は、従来防犯灯蛍光灯20Wと同等の明るさを確保するLED防犯灯「LEDioc STREET 10VA(レディオック ストリート 10VA)」を11月30日より発売します。「LEDioc STREET 10VA」は、業界トップの軽量化を実現。LED光源の特長である長寿命60000時間で約15年間のランプメンテナンスコストの低減と、省電力でランニングコストと省エネルギー・CO2削減に貢献するLED防犯灯です。汎用されている蛍光灯20W×1灯用の従来防犯灯と比較して、同等の明るさを確保しながら約65%消費電力を削減、電料料金契約区分が40VA契約から1ランクダウンの20VA契約になり電気料金の負担も軽減できます。
インタビュー／山形大学・城戸淳二教授「有機ELで世界一を目指す」	日刊工業新聞	2010年11月30日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)研究の国際拠点形成を進める山形県。7年間で43億円を予算を投じて進めてきた「山形有機エレクトロニクスハレー構想」の立ち上げを経て、来年から産学官が連携した事業化の推進を軌道に乗せる。有機EL研究の第一人者で、構想の旗振り役である山形大学の城戸淳二教授に、世界の研究拠点を狙う意気込みと、地方大学のあり方、国の科学技術政策への意見を聞いた。
福岡県／「科学を身近に」九大などが講座 有機ELを紹介 西区で12月11日／福岡都市圏	西日本新聞	2010年11月30日	九州最大先端有機エレクトロニクス研究センター(OPERA)や福岡市などは12月11日午後2時から、同市西区の「さいとびあ」で科学講座「OPERA クリスマスサイエンス レクチャー」を初開催する。市民に科学に親しんでもらうのが目的。紙のように巻けるディスプレイなど、次世代の受像機や照明器具への活用が期待される有機EL(エレクトロルミネッセンス)をテーマに、最先端の研究を紹介する。この研究の第一人者で同大の安達千波流(ちはや)教授が有機ELを分かりやすく解説。液晶、プラズマに続く次世代テレビとして注目される有機ELテレビの最先端技術を、ソニーの研究者が報告する。有機ELを使った製品の展示コーナーもある。
サイバートランスジャパン、LED照明を一元管理、電気代4割削減。	日経産業新聞	2010年12月1日	通信機器メーカーのサイバートランスジャパン(東京・品川、大久保融社長)は、ネットを使って照明の明るさや利用時間を一元管理できる発光ダイオード(LED)の調光システムを開発した。通常のLEDに比べて電気料金を4割削減できるという。店舗やオフィス、ATMなどの利用を見込んでいる。
有機EL照明製造、OLC、3000万円増資——開発強化、来期黒字めざす。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月1日	有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使った次世代照明器具製造販売のオーガニックライティング(OLC、山形県米沢市、後藤芳英社長)は30日付で第三者割当増資を実施し、地元ベンチャーキャピタル(VC)2社から計3000万円の増資を受け入れた。財務基盤の拡充や製品開発の強化に充てる。2012年3月期に単年度黒字化を目指す。
ルネサスエレ、簡単にLED照明設計できる評価用ボード開発	日刊工業新聞	2010年12月1日	ルネサスエレクトロニクスは照明メーカーがLED照明の設計に使う評価用ボードを開発した。利用者は独自に複雑なプログラムを設計することなく、照明の明るさや色を簡単に微調整し、動作を確認できる。同社がLED向けの評価ボードを製品化するのは初めて。2011年3月の発売を予定する。新開発した評価用ボード「EZ-0011」は部屋全体を照らすのに利用する照明用の開発に主に使う。専用の制御ICを用いず、8ビットマイコンひとつで、LEDの電流制御やノイズの原因となる高調波対策を実現した。最大3チャンネルで合計60ワットまで光の調整の制御ができる。
有機EL照明製造、OLC、3000万円増資——開発強化、来期黒字めざす	日本経済新聞	2010年12月1日	有機ELを使った次世代照明器具製造販売のオーガニックライティングは30日付で第三者割当増資を実施し、地元ベンチャーキャピタル2社から計3000万円の増資を受け入れた。財務基盤の拡充や製品開発の強化に充てる。2012年3月期に単年度黒字化を目指す。山形銀行の関連会社、やまぎんキャピタルが1980万円、東北イノベーションキャピタルが運営するTICC大学連携投資事業有限責任組合(TUFP)が1020万円をそれぞれ出資した。OLCの資本金は1280万円から4280万円と3倍以上に拡充する。OLCは09年6月に有機EL研究の第一人者、城戸淳二山形大学教授らが設立した大学発ベンチャー。
有機EL研究成果 首都圏にアピール 山形大	東京読売新聞	2010年12月1日	山形大は30日、東京都千代田区丸の内内のホールで、有機ELに関する公開セミナーを開いた。米沢市の同大工学部に、有機ELや有機太陽電池などに関する世界トップクラスの研究者を集める取り組みなどについて、首都圏の企業関係者ら約500人にアピールした。講演した同学部の城戸淳二教授は、産学官が連携した県の有機EL研究の現状について、「照明パネルや照明器具の開発で世界のトップを走っている」と説明。同学部に来春開所する先端有機エレクトロニクス研究センターに関しては「世界に例のない研究拠点になる」と強調した。
有機EL照明製造に出資/TICC/東北イノベーションキャピタル	河北新報	2010年12月1日	東北イノベーションキャピタルは30日、運営するベンチャーファンドから、有機ELパネルを使った照明器具を開発製造するオーガニックライティングに1020万円を出資したと発表した。新製品の開発などに充てられる。オー社は後藤芳英社長と有機EL研究の第一人者として知られる城戸淳二山形大大学院教授らが出資し、2009年6月に設立された。「山形大と密接な連携が取れ、県内の産学官が先駆的に取り組んだ有機EL分野の蓄積も生かせる」と(TICC)と評価された。照明器具の設計とデザイン、販売を担う。有機ELパネルは城戸教授や三菱重工業など出資のルミオテックと、東北バイオナから調達し、器具製造は県内企業に発注する。
岩崎電気、コンパクトなLED防犯灯、約15年ランプ交換不要	電波新聞	2010/12/2	岩崎電気は、従来の防犯灯蛍光灯20Wと同等の明るさを確保するLED防犯灯「LEDioc STREET 10VA(レディオックストリート10VA)」(税別17500円)を11月30日に発売した。業界トップの軽量化で0.8kg、奥行き308mmと従来タイプと比較して約2分の1以下のコンパクト設計を実現。約65%の省エネルギー化も図った。寿命も6万時間を実現し、約15年間ランプ交換不要。
岩崎電気、業界最軽量のLED防犯灯。	日経産業新聞	2010年12月2日	岩崎電気は業界最軽量の発光ダイオード(LED)防犯灯を発売した。奥行きも従来の蛍光灯の約半分にして小型化した。消費電力を約65%できる省エネ型のLEDに取り換える際、小型・軽量なので作業員が電柱に取り付けやすい。年間3万台の販売を目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
有機EL用薄膜、低温で高い封止力、島津、ディスプレイ長寿命化。	日経産業新聞	2010年12月2日	島津製作所は有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)ディスプレイの長寿命化につながる成膜技術を開発した。高温と水分に弱い有機EL素子を傷つけずに封じ込める。有機ELは省エネ効果が高い次世代ディスプレイ候補だが、熱と水分の影響を受けて寿命が短いことが課題の一つ。技術の改良を進めて、実用化を目指す。
有機EL事業化、企業に助成制度、山形県、購入費の半分。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月4日	山形県は有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)を使った次世代照明の事業化を促すため今年度から新たな助成制度を設ける。製品開発に取り組み県内企業などを対象に有機ELパネル購入費の半額分、最大100万円を補助する。今年度の予算枠は420万円で、20日から申請を受け付ける。2011年度当初予算の部局要求にも同様の支援事業を盛り込んだ。
有機EL事業化、企業に助成制度、山形県、購入費の半分	日本経済新聞	2010年12月4日	山形県は有機ELを使った次世代照明の事業化を促すため今年度から新たな助成制度を設ける。製品開発に取り組み県内企業などを対象に有機ELパネル購入費の半額分、最大100万円を補助する。今年度の予算枠は420万円で、20日から申請を受け付ける。2011年度当初予算の部局要求にも同様の支援事業を盛り込んだ。09年度には県が生産委託する事業を実施したが、完成した試作品は県の所有物となる。県内企業のほか、県内に拠点を持つ法人や団体、個人も交付対象とする。これまで大学発ベンチャーのオーガニクライティングなどが一部商品化しているが、パネルが高価なためコスト削減が大きな課題となっていた。
有機EL向け新技術 水分透過抑制 最高レベルに TVなどディスプレイ向け 島津製	京都新聞	2010年12月4日	島津製作所は電気を流すと発光する有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)の薄膜形成に関する新技術をこのほど開発した。有機材料を劣化させる水蒸気の透過量を、1日に1平方メートル当たり100万分の1グラム以下と業界最高レベルに抑えた。有機ELの素子には劣化を防ぐため薄膜を施すが、薄膜の性能として1日1平方メートル当たり10万分の1グラム以下が求められる。ただし、現状では1万分の1グラム以下が中心という。島津製は、有機EL素子を載せる基板の表面にだけプラズマが作用する同社装置を活用し、プラズマ源と基板の距離を最適化。薄膜材料ガスの主原料である窒素とシリコンの比率も見直し、透過量を抑えた。
町田市が街路灯、調光LEDに換え実験 環境との調和など調査	朝日新聞	2010年12月6日	町田市は市内町田のみどりヶ丘自治会(約190世帯)で、39カ所の街路灯すべてを発光ダイオード(LED)を使った街路灯に取り換え、まぶしくないか、環境に調和しているかなどの実験を行う。実験は来年3月末までで事業費は約27万円。市によると、多摩地区26市のうち16市でLED街路灯を導入したが、いずれも20灯程度。約40灯を1地区でまとめて実験するのは珍しいという。実験に使うのは照度を0～100%の間で調光できたり、遮光板で光の方向を制限できたりするもの。街路灯としては市販されていない。市では実験後アンケートし、効果があれば、老朽化した街路灯を段階的にLED照明に換えしていく。
高速道路の本線にもLED照明、道路で進む環境対策(4)	日本経済新聞電子版	2010/12/7	阪神高速道路会社は国内で初めて、高速道路の本線に採用できる基準を満たしたLED照明を因幡電機製作所と共同で開発。2010年9月に11号池田線の池田出入口に採用した。阪神高速では、2011年春に開通予定の京都線斜久橋工区で全面採用するほか、供用している区間についても順次、LED照明に交換していく計画。
クオタムリープ、LED照明拡充、支持器具一体型など2種。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月7日	無線通信機器などを製造するクオタムリープテクノロジー(塩尻市)は、発光ダイオード(LED)照明の製品群を拡充した。これまでは照明のみを販売していたが、取り付け器具を一体となって開発した商品など2製品を追加した。今後も特徴ある製品を開発し、市場の需要を開拓する。
東芝ライテック、演色性に優れたLEDシーリングライト発売	日刊工業新聞	2010年12月7日	東芝ライテックは、演色性に優れた発光ダイオード(LED)シーリングライト「LEDH93000 Y-LLC」など6機種を発売した。化粧枠のデザインはビュアホワイトとダークブラウンの2色で、それぞれ6畳、8畳、12畳向けを用意した。実勢価格は3万5000～5万5000円前後。新たに開発した導光板によりLEDの光を均一にし、ムラの少ない発光面を実現した。器具に内蔵したセンサーにより、自動で明るさを調節する機能を搭載。日中など室内が明るい時は自動で減光しており、12畳タイプの場合、同センサー機能オフの状態に比べて約54%省エネ化した。明るさと光の色を調整でき、全304パターンから設定が可能だ。
コイズミ照明／高効率・長寿命のLED防犯灯	日刊工業新聞	2010年12月7日	コイズミ照明 高効率、長寿命の発光ダイオード(LED)防犯灯「XUE646465」を発売した。直管蛍光灯20ワットと同等の明るさでありながら、消費電力を約54%低減した。高効率な放熱設計により、6万時間の長寿命を実現した。メンテナンス回数の削減や作業の効率化につながる。従来タイプの器具出幅約25センチメートルに対し、新製品は38.5センチメートルと大幅にコンパクト化した。光色は白色で色温度は5000ケルビン。本体カラーはアイボリー色のほか、ブラウン色タイプを用意した。価格は1万8900円。(06・6266・8141)
オプトラン——レンズ・LED表面に光学膜、設計・装置製造一貫で	日経産業新聞	2010年12月7日	オプトランは、レンズやLEDの表面に特殊な光学膜を形成する装置で注目を集める。製品用途に応じて上流の設計から装置の製造まで総合的に担う開発力で、創業からわずか10年で世界シェアの20%を握るまでに成長した。さらなる成長に向けた新規分野への参入も積極的に進める。埼玉県の大川、坂戸、鶴ヶ島の3市にまたがる広大な富士見工業団地にあるオプトランの研究開発拠点。青い屋根の建物が2つ並ぶごちんまりした建物にある「クリーンルーム」は、冷却水を流すホースが縦横無尽に張り巡らされている。金属材料を加熱して気化する際に、真空にする装置内の基板温度は250度に達する。
クオタムリープ、LED照明拡充、支持器具一体型など2種	日本経済新聞	2010年12月7日	無線通信機器などを製造するクオタムリープテクノロジー(塩尻市)は、発光ダイオード(LED)照明の製品群を拡充した。これまでは照明のみを販売していたが、取り付け器具を一体となって開発した商品など2製品を追加した。今後も特徴ある製品を開発し、市場の需要を開拓する。蛍光灯を支える構造を持つ器具と一体型の「てくてるプライド」を発売した。最長で長さ2メートル40センチメートル程度。照明が長くなるほど、蛍光灯の重量によるたわみや落下の危険性があったという。回路設計を改良し、光のちらつきを抑えた。価格は大ききにより異なり、1万8000～6万9000円。
宝石貴金属店向けにLED照明	京都新聞	2010年12月7日	シーシーエスは、自然光に近い発色のLED(発光ダイオード)を使った宝石貴金属店向けのスタンド型照明を8日、発売する。2倍拡大ルーペの周囲に、美術館の展示品照明や顕微鏡などにも採用されている独自開発のLED30個を配置。屋内でも宝石本来が持つ輝きの再現性を高めた。内蔵の充電式バッテリー使用時は約8時間連続で点灯できる。想定価格は10万円程度。3年間で売上高約2億円を目指す。
高速道路の本線にもLED照明—道路で進む環境対策	日本経済新聞	2010年12月7日	阪神高速道路会社は国内で初めて、高速道路の本線に採用できる基準を満たしたLED照明を因幡電機製作所と共同で開発。2010年9月に11号池田線の池田出入口に採用した。明るさを容易に制御できるLEDの特徴を生かし、新品時の余分な明るさを抑え、6万時間以上にわたって道路面の明るさを一定に保つ。寿命は従来のLEDの1.8倍で、1日に12時間点灯したととして約13年持った。池田線では、550mの区間に14基、28灯を採用。従来のナトリウム灯に比べたときの削減量は消費電力量が24%、電気料金が年間4万4000円、CO2排出量が2.4t。長寿命化により、交換などの保守点検による交通規制も大幅に減る。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
博物館に相次ぎLED照明 作品傷めず多彩に演出	共同通信	2010年12月7日	全国の博物館や美術館で、展示スペースにLED照明を導入する動きが相次いでいる。絵画などにとって有害な赤外線や紫外線をほとんど出さず作品を傷めない特徴があり、光の調節で多彩な演出もできる。長寿命で省エネ性能に優れたエコ商品として注目を浴びることが多かったが、メーカー側は文化施設にも導入を積極的に働き掛けていく構えだ。造幣局の造幣博物館は、2009年にLED照明を導入した。蛍光灯の機器では入らない展示ケース内の狭い隙間から光を照らし、江戸時代の小判などを立体的に見せている。蛍光灯のようにまぶしくないため、訪れた人には「目に優しく見やすい」と好評だ。
岩崎電気、低消費電力のLED防犯灯発売	化学工業日報	2010年12月8日	岩崎電気は、従来の防犯灯蛍光灯(20ワット)と同等の明るさを確保する発光ダイオード(LED)防犯灯「LEDioc STREET(レディオック ストリート)10VA」(希望小売価格1万7500円・税別)を発売した。消費電力を約65%削減、電料料金契約区分を40VA契約から20VA契約と軽減できる。新製品は業界トップの軽量化を実現し、奥行きも約半以下のコンパクト設計。LEDとともに電源ユニット内のコンデンサー温度上昇を抑制し、電源ユニット寿命も6000時間の長寿命化を実現している。約15年間ランプ交換が不要で、メンテナンスコストを大幅に低減できる。
三菱電機照明、まぶしさ抑えたLED照明2種を発売	日刊工業新聞	2010年12月8日	三菱電機照明は、光源のまぶしさを抑えた発光ダイオード(LED)照明「LEDダウンライト拡散光シリーズ」2タイプ4モデルを発売した。ランプを見上げた際、ランプが見えなくなる角度「遮光角」を26度に設定するなど、省エネ性を高める工夫を施した。価格は「クラス700タイプ」が12万8000円、「クラス500タイプ」が11万8000円。一般的な遮光角15度と比べて改善した。「クラス700タイプ」はコンパクト蛍光灯(FHT)42ワットタイプ4灯相当の明るさでありながら、消費電力を従来比で半減させた。クラス700、クラス500タイプともに5万時間の長寿命化を図り、ランプ交換などのメンテナンス作業を軽減した。
有機ELの技術、市民向け講演会 11日、福岡で /福岡県	朝日新聞	2010年12月8日	薄くて軽くて曲げられる次世代のディスプレイ技術「有機EL」についての市民向け講演会が11日午後2時から、福岡市西区女原の西部地域交流センター「さいとびあ」で開かれる。第一線で研究している九州大やソニーの研究者らが、中高生にもわかりやすく話す。先着300人。無料。当日参加可。今春、有機ELの研究拠点として設立された九州大学最先端有機エレクトロニクス研究センターが主催。「クリスマス・サイエンス・レクチャー」として毎年の恒例行事にする。問い合わせは研究センター(092・802・6920)。
LEDランプ、樹脂多用、軽量化、岩崎電気、帝人と開発。	日経産業新聞	2010年12月9日	岩崎電気は8日、口金を除く外装をすべて樹脂製にした18ワットの高出力発光ダイオード(LED)ランプ「LEDアイランプ」を20日に発売すると発表した。帝人と共同で放熱性の高い樹脂材料を開発、同サイズでは業界最軽量になるという。屋外看板や工事現場用などのほか、屋内照明としても需要を開拓し、年3万本の販売を目指す。
阪急電鉄、新車両にLED、消費電力20%減、神戸線、17日から運転。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月9日	阪急電鉄は8日、車内の全ての照明に発光ダイオード(LED)を使った新車両＝写真＝を投入すると発表した。従来の車両と比べて価格は高くなるが、年間の消費電力を約20%削減できるといふ。日立製作所との共同開発で、阪急神戸線で17日から営業運転を始める。車両は8両1編成。既存の「9000系」をもとに、車内にある約200本の照明にLEDを採用した。従来の蛍光灯で発生していた紫外線や、経年劣化による光のちらつきを抑える効果があるという。
LEDランプ、樹脂多用、軽量化、岩崎電気、帝人と開発	日経産業新聞	2010年12月9日	岩崎電気は8日、口金を除く外装をすべて樹脂製にした18ワットの高出力LEDランプ「LEDアイランプ」を20日に発売すると発表した。帝人と共同で放熱性の高い樹脂材料を開発、同サイズでは業界最軽量になるという。屋外看板や工事現場用などのほか、屋内照明としても需要を開拓し、年3万本の販売を目指す。重さは340グラムで、アルミの筐体よりも軽し。取り付ける照明器具の強度を高める必要がなく、低コストで置き換えられる。電球色と昼白色の2色を用意し、160ワットのセルフバラスト水銀ランプの代替を見込む。税抜き価格は2万9800円。LEDが発する熱を新素材を使って本体へ効率よく伝達することで、定格寿命4万時間を達成した。
町田でLED街路灯を実験(多摩トピックス)	日本経済新聞	2010年12月9日	パナソニック電工、岩崎電気など電機8社は東京都町田市内の住宅地で発光ダイオード(LED)街路灯の実証実験を始めた。各社が開発した遮光板や調光機能が付いたLED街路灯を住宅地の「みどりヶ丘自治会」(約190世帯)内に39基設置。2011年3月末までの実験後、町田市はまぶしさや街並みとの調和などに関する住民の意見をメーカーに伝える。市は設置費用226万円を予算に計上した。
三菱ケミカル、電子分野を大幅拡大、LED照明など世界トップへ	化学工業日報	2010年12月9日	三菱ケミカルホールディングスは、次期中期経営計画でエレクトロニクス関連事業を大幅に拡大する。白色LED照明とリチウムイオン2次電池(LIB)部材で世界トップを目指す。フラットパネルディスプレイ部材は大幅に増産、太陽電池は事業化を進める。「中国などの海外企業との協業を進めなければならないだろう」とみている。省エネニーズに応じて需要が急増している白色LED照明・部材事業は10年度予想売上高140億円を15年度に1000億円に拡大。このため窒化ガリウム(GaN)の液相法量産設備を新設し、11年度から量産を開始、15年には生産量を200倍にする。
阪急電鉄、新車両にLED、消費電力20%減、神戸線、17日から運転	日本経済新聞	2010年12月9日	阪急電鉄は8日、車内の全ての照明に発光ダイオード(LED)を使った新車両を投入すると発表した。従来の車両と比べて価格は高くなるが、年間の消費電力を約20%削減できるといふ。日立製作所との共同開発で、阪急神戸線で17日から営業運転を始める。車両は8両1編成。既存の「9000系」をもとに、車内にある約200本の照明にLEDを採用した。従来の蛍光灯で発生していた紫外線や、経年劣化による光のちらつきを抑える効果があるという。客室だけでなく、乗務員室や計器類の照明にもLEDを使用。蛍光灯の寿命は1年半程度だが、LEDに切り替えることで約10年間使えるようにした。照明の長寿命化で、廃棄物の発生も抑制できる。
燕 市がLEDを導入	新潟日報	2010年12月9日	市は6日、地球温暖化防止対策の一環として、発光ダイオード(LED)照明を大曲八王寺保育園(八王寺)に導入した。今後、消費電力量など省エネ効果を調べ、他の公共施設での設置も検討していく。市は8月、ツインバード工業(吉田西太田)からLEDの蛍光灯120本の寄付を受けた。取り付け先として同保育園を選んだ。LED照明は一般的な蛍光灯と比較して寿命は5倍以上の一方、消費電力量は約60%。市によると、同保育園では年間約15万円の電気代が節約できる見込みという。
上田市が防犯灯LED化促進 補助制度新設へ	信濃毎日新聞	2010年12月9日	上田市は、自治会が設置している市内の防犯灯を省電力、長寿命の発光ダイオード(LED)に替えるよう促す新たな補助制度を2011年4月に設ける方針だ。8日の市議会2月定例会一般質問で、LED普及を求める質問への答弁で明らかにした。現行制度は、防犯灯新設に対して1基当たり3万円を上限に半額を補助。市側の案によると、新制度はLED防犯灯の新設について上限額を5万円、補助率を3分の2にそれぞれ引き上げる。電気料金を半額補助する制度は現行のままとする。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
三菱電機照明、コナカにLED照明を納入	日刊工業新聞	2010年12月9日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、0467・41・2724)はコナカが運営する「紳士服のコナカ」全店舗に発光ダイオード(LED)スポットライト合計2万3500台を納入した。卸価格は4億6000万円で、同社におけるLED照明器具1件あたりの金額では過去最大という。スポットライト利用による二酸化炭素排出量を85%削減できるほか、年間で約1800トン相当の二酸化炭素削減効果が期待できる。
東芝、シャープ、パナソニック、活況のLED電球市場	サーチナニュース	2010年12月9日	東芝が2009年、家庭用のLED電球を発売し始めたのだが、当初の価格は1万円前後で白熱電球の約40倍、電球形蛍光管の約10倍と高価格製品であった。そのため消費者への浸透率が低く、電球全体におけるLED電球の構成比は1%未満だったという。しかし同年7月に東芝が新モデルを発売、その後8月にシャープ、10月にパナソニックも新規参入。これら製品の平均価格が、3,000円台と従来製品の半値程度に抑えられたことで同市場は急速に拡大していった。
岩崎電気、メタルハイドランプ1kWと同等の明るさを実現する高出力タイプのLED投光器を発売	日経速報ニュース	2010年12月10日	岩崎電気株式会社(本社:東京都中央区、社長:渡邊 文夫)は、メタルハイドランプ1kWと同等の明るさをLEDで実現する高出力タイプのLED投光器「LEDioc FLOOD BLITZ(R)」(レディオック フラッド ブリッツ)6品番を12月13日より発売(受注開始)致します。「LEDioc FLOOD BLITZ」は、業界最高レベルの明るさを実現。従来メタルハイドランプ1kW用投光器と同等の明るさを、消費電力を約56%削減の460Wで得られます。LEDのメリットを活かし、40000時間の長寿命でランプ交換不要。HIDランプでは困難であった瞬時点灯可能で、点灯/消灯を容易に行える他、センサー等での点灯や演出照明の点灯切替などもスムーズに行えます。
矢野経済研究所、照明市場に関する調査結果を発表	日経速報ニュース	2010年12月10日	矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内照明市場の調査を実施した。1. 調査期間:2010年7月~11月 2. 調査対象:照明市場参入企業、電設資材卸事業者、関連業界団体等 3. 調査方法:当社専門研究員による直接面談、電話・e-mailによるヒアリング、ならびに文献調査併用
国際的な産業 後押し 有機EL照明応用製品 県、購入費助成を検討	東京読売新聞	2010年12月10日	県は来年度、有機EL照明パネルを使って製造した応用製品の普及拡大を目指し、購入費の助成制度創設を検討していることがわかった。国が近年、消費者を対象にした様々な購入費助成や減税制度を設け、一定の経済効果や省エネ機器の普及につなげていることを参考に、県が目指す「国際的な有機EL産業の集積」を後押しする制度として時限的に導入したい考えだ。9日の県議会商工観光常任委員会で、関係部局が2011年度当初予算の概要要求に盛り込んだことを明らかにした。規模は数百万円とみられる。県は既に、県内で生産された有機ELパネルを購入する際、半額を助成する制度を設け、関係予算420万円を9月補正予算で計上。
三菱電機照明、LED照明器具を増産ー静岡工場に新ライン	日刊工業新聞	2010年12月11日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、中村俊夫社長、0467・41・2724)は、発光ダイオード(LED)照明製品の生産体制を強化する。静岡県掛川市の静岡工場(写真)で月内に新生産管理システムを、1月にはLEDモジュールの専用ラインをそれぞれ稼働する。総投資額は数億円。製品ラインアップの拡充や品質強化につなげ、製品に占めるLED照明器具の構成比(金額ベース)を2011年度に約25%(10年度は約15%の見通し)まで高める。
米沢市 松が岬公園の板塀整備工事が完了 有機EL用いた灯笼も設置、落ち着いた風情と技術が融合	山形新聞	2010年12月11日	米沢商工会議所建設部会(小泉雅行部会長)が街並み景観形成事業として米沢市松が岬公園内で進めてきた板塀整備工事が完了し、10日、関係者に披露された。有機ELパネルを用いた灯笼も併せて設置され、落ち着いた風情と最先端技術が同居する空間に仕上がった。設置場所は松神社の西側。従来のプロック塀を、板で覆うよう施工した。長さは約30メートル、高さ1・4メートル。米沢産の杉を使用し、上部は白壁風に加工。全体的に黒い茶色の塗装を施してある。近くにある消火栓や交通標識の支柱も同色に塗り、全体の景色になじませた。
有機EL分野へ支援強化を要望 民主党に県など /山形県	朝日新聞	2010年12月12日	有機エレクトロ産業の集積を目指す山形大、県、米沢市は11日、国が予算化など同分野への支援強化をよう民主党に要望した。要望を受けた党副幹事長の近藤洋介衆院議員は「党本部から政府に上げる要望の最重要項目のうち、山形関係分では、酒田港と東北中央道の整備、有機エレクトロ分野の支援が内定した。力を合わせて発展できるように応援したい」と述べた。近藤議員は米沢市の「産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター」を訪れ、有機EL照明の試作品や実験施設などを視察した。支援を求めた3者は「有機エレクトロ分野は世界的な研究開発競争が進んでおり、国を挙げた取り組みが必要だ」と強調した。
矢野経済、2010年予測、LED照明市場2倍に拡大	電気新聞	2010/12/13	矢野経済研究所は、10年の国内LED照明市場が09年比約2倍になる見込みだと発表した。国内一般用途照明市場を調査したもので、全体では同2.7%増の7420億円となる見込み。LEDへの注目の高まりと省エネルギー推進を追い風に回復傾向を示した。なかでもLEDは09年比95.2%増の730億円となる見込み。
東芝ライテックとパナソニック電工、業界規格準拠の直管形LEDランプを披露	日本経済新聞	2010年12月13日	東芝ライテックとパナソニック電工はそれぞれ、日本電業工業会(JELMA)の規格(JEL801・210)に対応する直管形LEDランプを環境関連の展示会「エコプロダクト2010」(2010年12月9~11日、東京ビッグサイト)に出展した。東芝ライテックが出展した直管形LEDランプは、2011年1月に発売する品種である。明るさが同等の40形蛍光ランプと並べて展示・点灯させ、明るさにほとんど差がないこと、さらに従来の直管形LEDランプの課題とされてきた個々の白色LEDの発光が目立つ「ツブツブ感」を解消していることをアピールしていた。
韓国ー照明産業の変化をチャンスに LEDを新成長分野として育成	日経エレクトロニクス	2010年12月13日	今、照明産業はLEDの登場と本格的な普及によって、激しく変化している。日本ではLED照明の存在感が大きくなっているが、韓国も例外ではない。韓国では、2012年に「世界トップ3のLED産業強国になる」という目標まで掲げるほど、政府や企業などがLEDに力を入れている。実際、韓国国内ではLED照明を目にする機会がかなり増えた。一般消費者がよく目にする照明ブランドといえば、日本ではパナソニックや東芝、日立、NECといった、大手企業やその関連企業で占められている。一方、韓国では、照明産業は中小企業を保護する法律の下、中小企業によって構成されてきた。
有機ELは究極の照明ー山形大学教授・城戸淳二氏	日経アーキテクチャ	2010年12月13日	ー有機ELを使った空間照明とはどんなものなのか、イメージを分かりやすく説明してもらえますか。LEDが指向性の非常に強い点光源であるのに対して、有機ELは面光源です。しかも、とても薄いという特徴があります。今の有機ELは基板にガラスを使っていますから、ガラスの板自身が光るといイメージです。そう遠くない将来、基板がフレキシブルな素材になっていきます。ぐるぐる巻ける壁紙のような光源です。照明器具というよりも、建材そのものが光るわけです。
トレンド先読み / 建材ー有機ELが常用光源へー有機ELが常用光源へ	日経アーキテクチャ	2010年12月13日	2011年、照明用有機ELパネルの本格的な出荷が相次ぐ。1月、有機EL専門のルミオテック(三菱重工、ローム、凸版印刷、三井物産などが出資)が、量産出荷を始める。限定的に販売中のドイツのオスラム社は、11年に本格出荷する。さらにカネカ、ユニオス/三菱化学が、11年中の製品化を計画している。パナソニック電工は、11年度の製品化を目指す。白熱電球や蛍光灯を置き換えてつづけるLEDに加え、有機ELが新たな光源として利用可能となる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
ウシオライティング、ハロゲン代替LED電球、明るさ2倍増	日経産業新聞	2010/12/14	ウシオライティングは、小規模店舗でスポットライトとして使われる「ミラー付ハロゲンランプ」の代替となるLED電球を開発し24日に発売する。ハロゲン電球と同じサイズと明るさを両立させた。消費電力は6Wでハロゲン電球に比べて約8割小さい。演色性は85で実用水準の80をクリア。既存の照明器具に取り付けてもはみ出ることなく明るさは2割明るい。
JR東日本、山手線にLED照明、在来線車両で初	日経産業新聞	2010/12/14	JR東日本は13日、山手線の車両に環境に配慮したLED照明を導入すると発表した。1編成の客室内にある全ての蛍光灯をLED照明に置き換える。数年間の実証実験を経た後、他の在来車両にも広げる考え。蛍光灯に比べ約4割消費電力が削減できる。
LED街路灯、新料金区分を導入、電力業界が普及後押し	電気新聞	2010/12/14	電力業界は来年度中に、LED照明などを用いた低容量・高効率の街路灯を普及させるため、新たな電気料金の区分を導入する。20W未満でも区分を新たに設定し、より低い料金単価を適用する方針だ。10W以上と未満で料金を切り分ける形が想定される。LEDの普及を料金面で後押しして低炭素社会化に貢献する。
山手線にLED照明、JR東、在来線車両で初——環境配慮型、2種類を実験	日経産業新聞	2010年12月14日	東日本旅客鉄道（JR東日本）は13日、山手線の車両に環境に配慮したLED照明を導入すると発表した。15日からE231系の車両1編成（11両）の客室内にある全ての蛍光灯をLED照明に置き換える。数年間の実証実験を経た後、ほかの在来線車両にも広げる考え。蛍光灯に比べ、約4割消費電力が削減でき、二酸化炭素（CO2）排出量も年間約12トン減らせるという。
三菱樹脂、放熱用の炭素繊維量産、LED照明、車向け開拓、アルミより4割軽く。	日経産業新聞	2010年12月14日	三菱樹脂は放熱用に使う特殊な炭素繊維の量産に乗り出す。樹脂に混ぜて成型すると、アルミニウムと同水準の放熱効果を持ちながら約4割軽くできるという。軽量化や高機能化のニーズが高まる自動車用などの発光ダイオード（LED）照明向け需要を開拓。現在年1〜2トンにとどまる生産量を、2012〜13年度を境に同100トンに引き上げる計画だ。
ウシオライティング、ハロゲン代替LED電球、店舗用、切り替え主導。	日経産業新聞	2010年12月14日	明るさ2割増 ウシオライティングは小規模店舗でスポットライトとして使われる「ミラー付きハロゲンランプ」の代替となる発光ダイオード（LED）電球を開発した。24日に発売する。放熱設計を見直し、ハロゲン電球と同じサイズと明るさを両立させた。ハロゲン電球最大手の実績と販売網を武器に、省エネ性能の高いLEDタイプへの切り替えで主導権を握る狙いだ。
カネカが有機EL照明、来春、世界初の5色投入。	日本経済新聞 朝刊	2010年12月14日	カネカは有機エレクトロルミネッセンス（EL）を使った照明事業に参入する。2011年春にも白、青、赤など5色の照明用パネルの出荷を始め、海外販売も視野に入れる。15年度に売上高200億円を目指す。有機EL照明は環境負荷が少なく、次世代照明として有力。三菱重工系のルミオテック（山形県米沢市）も来年1月に世界初の量産を始める見通しで、有機EL照明の普及に弾みがつきそうだ。
秋田の大日向、農業用照明に参入、ブナシメジ向け、LEDライト開発。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月14日	自動車用発光ダイオード（LED）照明や雑貨の開発・販売を手掛ける大日向（秋田県由利本荘市、大日向直美社長）は農業用照明に参入した。第一弾として室内栽培のブナシメジ向けの蛍光灯型LEDライトを開発。今後は電照菊やイチゴ向けなども商品化し、3年後に3億円の販売を見込む。
NECライティング、導光板パネル採用のLEDベース照明を完成	日刊工業新聞	2010年12月14日	NECライティング（東京都港区、増田博行社長、03-6746-1500）は、導光板パネルを採用し、ムラを抑えた発光ダイオード（LED）ベース照明「MMD240201/W-W-28」を完成、受注を始めた。実勢価格は15万円前後で、仕様により異なる。オフィス向け照明として提案する。正方形タイプと長方形タイプを用意した。導光板パネルの採用により、従来の拡散板を用いたタイプに比べてまぶしさを抑え、光の均一性を向上させた。
Jフロント、百貨店にLED照明 大丸梅田店に3万台超	日本経済新聞	2010年12月14日	Jフロントライティングは百貨店に発光ダイオード（LED）照明を導入する。まず来春、大丸梅田店（大阪市）に国内の商業施設では数で最大級の3万5000台のLEDを取り付ける。2014年までに他の主力店でも照明を順次切り替える。二酸化炭素（CO2）排出量や電気料金削減のほか、店舗イメージを高め来店客増にもつなげたい考えだ。大丸梅田店は来春の全面開業を目指し増床・改装工事中。増床部分のほか、既存売り場の白熱電球なども切り替え、売り場の照明の約8割をLEDにする。
山手線にLED照明、JR東、在来線車両で初——環境配慮型、2種類を実験	日経産業新聞	2010年12月14日	東日本旅客鉄道（JR東日本）は13日、山手線の車両に環境に配慮したLED照明を導入すると発表した。15日からE231系の車両1編成（11両）の客室内にある全ての蛍光灯をLED照明に置き換える。数年間の実証実験を経た後、ほかの在来線車両にも広げる考え。蛍光灯に比べ、約4割消費電力が削減でき、二酸化炭素（CO2）排出量も年間約12トン減らせるという。蛍光灯本体ごと交換するタイプと、蛍光管だけを交換するタイプの2種類を実験する。耐久性やメンテナンスにかかる手間などを検証する。今回の実験にかかる費用は公表していない。
LED街路灯 新料金区分を導入 電力業界が普及後押し	電気新聞	2010年12月14日	電力業界は来年度中に、LED（発光ダイオード）照明などを用いた低容量・高効率の街路灯を普及させるため、新たな電気料金の区分を導入する。街路灯について電力各社は現在、20ワット、40ワット、60ワットなどの区分で料金を変えている。20ワット未満でも区分を新たに設定し、より低い料金単価を適用する方針だ。10ワット以上と10ワット未満で料金を切り分ける形が想定される。LEDの普及を料金面で後押しして低炭素社会化に貢献する。
カネカが有機EL照明、来春、世界初の5色投入	日本経済新聞	2010年12月14日	カネカは有機ELを使った照明事業に参入する。2011年春にも白、青、赤など5色の照明用パネルの出荷を始め、海外販売も視野に入れる。15年度に売上高200億円を目指す。有機EL照明は環境負荷が少なく、次世代照明として有力。三菱重工系のルミオテックも来年1月に世界初の量産を始める見通しで、有機EL照明の普及に弾みがつきそうだ。有機ELは電圧をかけると光る有機材を光源とする。平面で薄く、基板にプラスチックを使えば自由に曲げられる。電力消費量も少なく、LED照明と並ぶ次世代照明として期待されている。当番は既存の設備を活用してパネルを生産する。
米沢のルミオテック、照明用有機EL量産／年6万枚見込み／2011年から	河北新報	2010年12月14日	有機ELの照明用パネル製造、ルミオテックは来年1月、性能保証付きのパネルの量産に乗り出す。照明器具メーカーや住宅メーカーなどに出荷する方向で、年6万枚の生産を見込む。照明用有機ELパネルの量産は世界初という。パネルは14.5センチ四方などの正方形2種類と、縦28.7センチ、横9.7センチなどの長方形3種類で、厚さはすべて2.1ミリ。それぞれ白系とオレンジ系があり、計10種類を米沢市内のラインで製造する。14.5センチ四方の正方形タイプは重さ約100グラム、価格は3万円。重さ、価格とも2月に出荷を始めたサンプル製品の半分以下に抑えた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
カネカが破竹の10連騰、有機EL事業に参入を好感	株式新聞速報ニュース	2010年12月14日	カネカが破竹の10連騰で12月は負けなし。来春にも有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使用した照明事業に参入すると報道され、好感されている。5色の照明用パネルを海外販売も含めて15年度に売上高200億円を目指すとしている。10連騰のきっかけは12月1日に富山大学医学部の林利光教授との共同研究で、還元型コエンザイムQ10が、A型インフルエンザ感染に対して強い予防効果があることを動物実験で確認したと発表したこと。株式市場では新たな「インフルエンザ関連株」として、買い材視されていた。
岩崎電気、高出力LED投光器発売、50m先で200LX以上	電波新聞	2010/12/15	岩崎電気は、メタルハライドランプ1kWと同等の明るさをLEDで実現する高出力タイプのLED投光器「LEDioc FLOOD BLITZ(レディオックフロッドブリッツ)」6品番を13日から受注開始した。新製品は、50m先で200LX以上(維持照度保守率0.7)の明るさを確保できる業界最高レベルの高出力を実現する。メタルハライドランプ1kW用投光器と比較して同等の明るさで約56%の省エネを図った。
白色LED製造費半減、テープ化で工程減らす、波長を変換する蛍光体	日経産業新聞	2010/12/15	産業機械商社の東富士電機などは、照明用LEDの製造コストを約半分にする技術を開発。青色LEDに光の波長を変換する蛍光体を塗布して白色光を出すのが、蛍光体をシリコン樹脂に混ぜてテープ化することに成功。均一な量の蛍光体を密着させることで色合いのばらつきを低減し、作業工程も大幅に減らせるという。来年4月の量産を目指す。
大丸梅田店、照明の8割LEDに、来春までに3万5000個。	日経MJ(流通新聞)	2010年12月15日	J・フロントリテイリングは百貨店の店舗に発光ダイオード(LED)照明を本格導入する。まず来春までに、大丸梅田店(大阪市)の売り場の照明の約8割をLEDにする。2014年までに他の主力店舗でも照明を順次、LEDに切り替える。省エネ型照明の積極導入で、二酸化炭素(CO2)排出量と電気代削減の両立を狙う。
LED照明器具、静岡県内企業、新タイプ続々——タニモト電機、いちまる。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月15日	タニモト電機 イベント会場用 いちまる 照射角度を拡大 静岡県内の企業の間で、新タイプのLED(発光ダイオード)照明器具を開発したり、関連商品の販売を強化したりする動きが相次いでいる。コンパクトでデザイン性に優れた展示会向けや、照射範囲を広げた機種なども商品化された。省エネ効果の高いLEDは市場が急拡大している半面、メーカー・販売会社間での競争が激化している。独自性を前面に出してニーズを開拓する。
業界一の明るさ確保 岩崎電気が新型LED投光器発売	電気新聞	2010年12月15日	岩崎電気は、業界最高水準の明るさを実現したLED投光器を発売した。1キロワット型メタルハライドランプと同等の明るさを確保する一方、消費電力は約56%削減し460ワットとした。LEDは光の指向性が強いが、専用の高性能反射鏡の採用により、むらを感じさせない自然光を実現した。看板や建造物のライトアップ、駐車場などのエリア照明、競技場などのスポーツ照明などに適しており、年間2千台の販売を目指す。460ワットと230ワットの2タイプで、それぞれ光の届く範囲の異なる狭角、中角、広角モデルを用意した。このうち460ワットタイプでは、50メートル先で200ルクス以上と業界最高水準の明るさを確保した。
品川区、LED街路灯見送り、実証実験終了照明性能など課題	日経産業新聞	2010/12/16	東京都品川区は長寿命や環境面で注目されるLEDを使った街路灯の導入を検討するため、性能などを確かめる実証実験を実施した。実験の結果LEDは照明性能やコスト面で課題が残ったため導入は見送り、水銀灯から蛍光灯への付け替えを続ける。
遠藤照明、LED器具で米進出、800種投入——13年度、売上高50億円	日経産業新聞	2010年12月16日	遠藤照明は2011年5月をめどに米国市場に進出する。LED照明器具800種類を一齐に投入。駐在員事務所も設置し、照明デザイナーや代理店に売り込む。11年度に10億円、13年度に50億円の売上高をめざす。中長期で需要拡大が見込めるLEDをテコに照明器具の最大市場の米国で販路を開拓し、日本市場に次ぐ収益源に育てる。照明器具に関する米国の安全認証を11年春までに取得できる見通しで、これを受けて同年5月をめどに発売する。店舗やオフィス、ホテルなどで使うベース照明やスポットライトを中国やタイの自社工場から輸送して販売する。
採用進むLEDヘッドライト、衝撃に強く故障少ない長寿命性能で際立つ	日刊自動車新聞	2010年12月16日	ヘッドライトのLED(発光ダイオード)化が進行してきた。2007年5月に発売されたトヨタ自動車「LS600h」が世界で初めて、LEDヘッドライト(ロービーム)を採用。三菱自動車の電気自動車(EV)「アイミーブ」、20日発売の日産自動車のEV「リーフ」でもロービームにLEDライトを搭載している。また、15日発売のアウディA8は上級グレードで、ハイビームも含めたオールLEDライトを採用した。今後、LEDが持つさまざまな特性を生かし、採用はさらに活発化するだろう。
品川区、LED街路灯見送り、実証実験終了、照明性能など課題	日本経済新聞	2010年12月16日	東京都品川区は長寿命や環境面で注目される発光ダイオード(LED)を使った街路灯の導入を検討するため、性能などを確かめる実証実験を実施した。実験の結果、LEDは照明性能やコスト面で課題が残ったため導入は見送り、水銀灯から蛍光灯への付け替えを続ける。実験は2008年12月から約2年間、品川区役所近くの区道で実施。実験に使った6社のLEDすべてが光源を見たときのまぶしさを基準を超えた。均一の明るさで路面を照らす性能では、6社のうち2社のLEDが基準に満たなかった。
試行場所は国道3号/5社のLED道路照明/九州整備局	建設通信新聞	2010年12月16日	九州地方整備局は、フィールド提供型で選定したLED(発光ダイオード)道路照明の試行設置場所を福岡国道事務所管内の国道3号(福岡県筑紫野市針摺)に決め、17日までに設置工事を完了させる。その後、視認性など光学性能を確認し、2011年3月に開く10年度第4回新技術活用評価会議で評価する
LED照明普及、横浜市が推進、ノジマ、値引きで支援。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月16日	横浜市地球温暖化対策推進協議会は15日、家庭部門からの二酸化炭素(CO2)排出量を削減するため発光ダイオード(LED)照明の普及に乗り出すと発表した。家電量販店のノジマなどが協議会の趣旨に賛同し、CO2排出量が白熱電球より少ないLEDを通常価格1980円から100円引きで24日から販売する。
遠藤照明、LED器具で米進出、800種投入——13年度、売上高50億円。	日経産業新聞	2010年12月16日	遠藤照明は2011年5月をめどに米国市場に進出する。発光ダイオード(LED)照明器具800種類を一齐に投入。駐在員事務所も設置し、照明デザイナーや代理店に売り込む。11年度に10億円、13年度に50億円の売上高をめざす。中長期で需要拡大が見込めるLEDをテコに照明器具の最大市場の米国で販路を開拓し、日本市場に次ぐ収益源に育てる。
三菱電機照明、LED照明を値下げ一保証期間は延長	日刊工業新聞	2010年12月17日	三菱電機照明(神奈川県鎌倉市、中村俊夫社長、0467・41・2724)は、2011年1月から、発光ダイオード(LED)照明製品を最大で約35%値下げする。既存製品約400機種のうち、ダウンライトやベースライトなどを中心に約66機種が価格見直しの対象となる見通し。企業の初期投資費用を抑制し、導入しやすい環境を整える。拡散光ダウンライトは平均7〜15%、ベースライトは平均30〜35%値下げする。既存製品の型名はそのままに、性能や品質を向上させており、各器具の平均寿命は6万時間(従来は平均4万時間)と長寿命化した。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED普及で脱温暖化 横浜市が民間とキャンペーン	電気新聞	2010年12月17日	横浜市は15日、「横浜LED電球メガワットキャンペーン」を開始したと発表した。横浜市地球温暖化対策推進協議会、東芝ライテック、家電量販店のノジマの3者が協力し、市民へ省エネ効果の高いLED電球への買い替えを促す。PR活動や専用パッケージ、通常より低価格での販売などを展開し、総計1メガワット(1千キロワット)分の消費電力削減を目指す。10年度内は1万個の普及を図る。キャンペーンで東芝ライテックは、オリジナルパッケージのLED電球2種(電球色、昼白色)を用意。家庭の使用電力量における照明器具の割合を表記し、広く照明分野での省エネの重要性を訴える。
広がるLED照明(日経エコロジー-中村建太郎編集長の環境マーケティング)	日経MJ	2010年12月17日	LED(発光ダイオード)照明の実力が急速に進化している。「LED照明元年」ともいえる2009年がホップの年だったとすれば、10年はステップの1年だった。11年はジャンプ、飛躍の1年になりそうだ。ステップの1年を支えたのは製品力の進化である。照明の発する光の明るさの総和を示す全光束の量は、ほとんどのメーカーの製品で増加した。発光効率も改善している。色温度や演色性も、より自然なものになってきた。日経エコロジーで、従来の30〜40ワットの白熱電球と25ワットの小型電球に相当する2種類のLED照明について、照明デザイナーの石井幹子氏の協力を得て実力を検証した結果、明らかになった。
グリーンハウス、LED電球、消費電力7.7ワット追加(フラッシュ)	日経産業新聞	2010年12月17日	グリーンハウス(東京・渋谷、小沢武史社長)は発光ダイオード(LED)電球「ヒカリオ」シリーズの新製品を発売した。消費電力は7.7ワットで、明るさは60ワット相当。白熱電球のソケットにそのまま付けられる。これまで消費電力が3.8ワットで明るさの異なる機種を発売しており、ラインアップを拡充する。価格はオープンだが、2480円前後を想定。光の色が白に近い昼白色とオレンジに近い電球色の2色を発売する。
ベンチ広告で実際にLED電球を点灯させた展開は今回が初めて	アドバタイムズ	2010年12月20日	12月16日(木)より、JR東京駅をはじめとした11駅11面のホーム上ベンチ広告でLED電球を点灯させた「実照広告」を展開しています。ベンチ広告面内部に実際のLED電球を設置し、電球を点灯させる展開は、今回初めてです。LED電球の明るさを夕方から終電頃までの間、駅利用者へ体感していただき、商品特長を訴求します。広告主はパナソニックで、LED電球「EVERLEDS」の商品告知を実施しています。
JR東、LED照明使う山手線車両公開。	日経産業新聞	2010年12月21日	東日本旅客鉄道(JR東日本)は20日、環境に配慮したLED照明を搭載した山手線の車両を報道公開した。写真。今の器具を活用し蛍光灯のみを交換したものと、器具本体を丸ごと取り換える2種類を併用する。LED照明は自社グループで開発した揺れなどに強いタイプ。耐久性などを5年程度、検証した上で他の鉄道車両にも広げる方針だ。
NY年末イベント、東芝、LED看板彩る、今年も公式スポンサーに	日経産業新聞	2010年12月22日	東芝は米ニューヨークのタイムスクエアで12月31日に行われるカウントダウンイベントの公式スポンサー契約を2年連続で結んだ。100万人以上の観客が集まり、全世界10億人がテレビで視聴するとされるイベントを支援し、東芝の企業ブランドを高める。タイムスクエアの中心にあるワンタイムスクエアビルの最上層に発光ダイオード(LED)看板「東芝ビジョン」を使い、新年までの60秒のカウントダウンなどイベントを盛り上げる。
三井不動産販売、三井のリパーク全照明をLED化	日刊自動車新聞	2010年12月22日	時間貸し駐車場「三井のリパーク」を運営する三井不動産販売は21日、今後新設する駐車場のすべての照明をLED化すると発表した。場内照明と料金案内看板照明、精算機照明など駐車場内で使用する全照明にLEDを導入する。これにより1駐車場当たり約266キログラムのCO2を削減する計画だ。同社は今年3月から場内照明のLED化を進めてきた。現在約4千カ所の駐車場を運営しており、このうち約1200カ所にLED場内照明を設置した。残る駐車場についても設置状況を調査した上でLED化を進める方針だ。
横浜マリントワーをLEDライトアップ/フィリップスがサポート	建設通信新聞	2010年12月22日	フィリップスエレクトロニクスジャパンは、横浜マリントワーの期間限定ライトアップにLED(発光ダイオード)照明器具で貢献している。100m以上のタワーをLED投光器で照らすとともに、発光部を個別制御しながら多彩な光を演出するストリング形状の製品で、横浜のシンボルを鮮やかに浮かび上がらせている。ライトアップは、公開中のディズニー映画「トロンレーガシー」のプロモーションイベントの一環。映画のイメージに合わせた「トロンブルー」をコンセプトとしている。また、6色の光によるスターダストイルミネーションも実施している。
ウシオライティング、シャンデリア電球、LEDで調光型。	日経産業新聞	2010年12月22日	ウシオライティングはシャンデリア用発光ダイオード(LED)電球で明るさを調節できる調光型を開発し、2011年1月に発売する。白熱電球に形状を似せた製品は既に販売しているが、顧客の要望が強い調光まで白熱電球に近づけた製品は初めてという。省エネ型シャンデリア電球として、百貨店やホテルなどに売り込む。
シャープ、屋内照明用コントローラー、LED調光可能	日経産業新聞	2010年12月24日	シャープは発光ダイオード(LED)照明器具などに組み込んで3種類のLEDの調光・調色が可能な屋内照明用コントローラー「LR56001」を開発した。22日に1個450円でサンプル出荷を始めた。開発した製品は3系統の独立制御が可能なLEDコントローラー。家庭用のLEDシーリング(天井)ライトに組み込んだ場合、3種類のLEDを白色、電球色、常夜灯など好みの明るさに調節できる。それぞれの色を強めたり弱めたりすることで、赤みがかった光(暖色系)や青みがかった光(寒色系)などにも変えることができる。
シャープ、屋内照明用コントローラー、LED調光可能。	日経産業新聞	2010年12月24日	シャープは発光ダイオード(LED)照明器具などに組み込んで3種類のLEDの調光・調色が可能な屋内照明用コントローラー「LR56001」を開発した。22日に1個450円でサンプル出荷を始めた。開発した製品は3系統の独立制御が可能なLEDコントローラー。家庭用のLEDシーリング(天井)ライトに組み込んだ場合、3種類のLEDを白色、電球色、常夜灯など好みの明るさに調節できる。それぞれの色を強めたり弱めたりすることで、赤みがかった光(暖色系)や青みがかった光(寒色系)などにも変えることができる。
有機EL参入、補助制度新設/山形県	河北新報	2010年12月25日	山形県は、県内に拠点を置く企業などに対し、有機EL事業への参入を支援する補助制度を新設し、1月中旬まで利用を募っている。山形大工学部を中心とした産学官連携の成果を地場製造業の活性化につなげるのが狙い。県内で生産された有機ELパネルを用いて有機EL関連製品を開発する場合、購入経費の半額を県が助成する。対象製品の1例としては照明用有機ELパネルメーカーのルミオテックが世界初の量産製品として2011年1月に発売する145ミリ角モデルがあり、本体価格は3万円。従来のサンプル製品に比べ半額以下というが、県は多くの地場企業に関連製品を開発してもらうには、パネル調達価格の引き下げが欠かせないと判断した。
システムバスの照明にLEDも、TOTO、選択肢拡充。	日経産業新聞	2010年12月27日	TOTOはシステムバスルーム「スプリノ」と「サザナ」の追加オプションを来年2月1日に拡充する。発光ダイオード(LED)照明を選択肢できるようにする。高断熱浴槽が住宅エコポイントの対象になり、浴室に省エネ性能を求める消費者の増加に対応する。
三井不系の時間貸し駐車場、全照明をLED化、新設分、電力3分の1に。	日経産業新聞	2010年12月27日	三井不動産販売は今後開設する時間貸し駐車場の全照明を発光ダイオード(LED)照明に切り替える。年間消費電力をこれまでの3分の1程度に抑えることができ、二酸化炭素(CO2)削減効果を見込む。同社は「三井のリパーク」ブランドで駐車場を運営。全国約1200カ所でLED照明を導入しており、取り組みを本格化する。案内看板の照明や料金精算機の照明にLEDを使う。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
システムバスの照明にLEDも、TOTO、選択肢拡充	日経産業新聞	2010年12月27日	TOTOはシステムバスルーム「スプリノ」と「サザナ」の追加オプションを来年2月1日に拡充する。発光ダイオード(LED)照明を選択できるようにする。高断熱浴槽が住宅エコポイントの対象になり、浴室に省エネ性能を求める消費者の増加に対応する。風呂場の照明を白熱電球からLED照明に切り替えることで消費電力を88%削減できる。年間2286円程度の電気代削減につながるという。価格は未公表だが、スプリノのSタイプで標準モデルに比べ5万円程度高くなる見込みという。
三井物産、台湾LED部品会社に出資	日本経済新聞	2010年12月28日	三井物産は27日、台湾の発光ダイオード(LED)用部品メーカーである「圓光電(桃園市)」に出資すると発表した。同社が2011年2月に実施する第三者割当増資を引き受け、15%の株式を取得する。出資額は約76億円。テレビのバックライトや一般照明用に伸びるLED事業の成長を取り込む。圓光電は台湾証券取引所に上場するLEDウエハーやチップの製造販売会社で、09年12月期の売上高は59億円。ウエハー、チップ専業では台湾2位で、LEDチップの世界出荷額の5%程度を占めるという。
照明器具11年度構成比LED3割に、出荷加速10月前年比4倍	電波新聞	2010/12/29	日本照明器具工業会の予測によると、11年度の照明器具は白熱器具が削減減少、蛍光灯器具も削減となるなど既存照明の需要は減少が予想されるが、LED照明は拡大を続け全体を牽引する。LED比率は2割を越え3割に近づくとの見方もある。
バイオニア、銀座に情報発信拠点、有機EL照明など展示。	日本経済新聞 地方経済面	2010年12月29日	バイオニアは未発売の商品などの情報発信拠点を2011年2月中旬、東京・銀座に設置する。有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明など今後の商品化を見込む製品を中心に展示する予定。銀座2丁目のビルに設置。地下1階、地上2階の3フロアで、各フロアの半分のスペースを使って商品を展示する。カーナビゲーションシステムやスピーカーなどの商品も置く見込み。
バイオニア、銀座に情報発信拠点、有機EL照明など展示	日本経済新聞	2010年12月29日	バイオニアは未発売の商品などの情報発信拠点を2011年2月中旬、東京・銀座に設置する。有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明など今後の商品化を見込む製品を中心に展示する予定。銀座2丁目のビルに設置。地下1階、地上2階の3フロアで、各フロアの半分のスペースを使って商品を展示する。カーナビゲーションシステムやスピーカーなどの商品も置く見込み。
LED照明、IDEC、工場向け開拓、「お家芸」制御技術とセット。	日経産業新聞	2011年1月1日	建屋やフロア一括受注もIDECは生産ライン向けの発光ダイオード(LED)照明の市場を開拓する。天井設置型など新製品を相次ぎ投入して品ぞろえを拡充し、得意とする制御技術と合わせて工場向けのシステムとして提案する。建屋やフロアごとなど一括で受注する案件も増やし、2012年度のLED事業の売上高を10年度見込みの1.5倍の30億円に拡大する原動力とする。
元旦第2部・ITデジタル特集——重要性高まる省エネ、LED照明。	日本経済新聞 朝刊第2部	2011年1月1日	蛍光灯の交換需要に照準白熱電球などと比べて消費電力を抑えられるうえ、寿命も長い利点がある発光ダイオード(LED)照明。2010年は本格的な普及期に入ったといえる年だった。「日本で初めて電球を作ったからこそ、どこよりも早く製造停止を決断した」。10年3月に東芝が栃木県鹿沼市の工場一般白熱電球の製造を打ち切った式典で、佐々木剛夫社長はこう胸を張った。稼働を終えた工場内で白熱電球とLED電球を横に並べてエジソンの発明以来となる電球の主役交代を印象づけた。
スカイツリーから撮影現場まで LED時代到来	産経新聞	2011年1月3日	2011年は、少ない消費電力で建物の屋内外を美しい光で彩るLED(発光ダイオード)照明のエコの実力が広く認知される年となりそうだ。照明器具メーカー各社が今年から家庭だけでなく、オフィス向けなどでもLEDの販売攻勢を強めるためだ。政府も家庭・業務部門の二酸化炭素(CO2)排出削減対策という観点から導入支援を強める方針で、エコカーのように環境性能で照明器具を選ぶ時代がきている。
LED照明、東芝が直管形40機種、オフィスや工場向け強化。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月4日	東芝は直管形発光ダイオード(LED)照明の市場に参入する。3月までに40機種をそろえ、企業や官公庁のオフィス、工場などに売り込む。直管形は蛍光灯に代わる省エネ照明とされるが、これまで参入企業は海外や新興のメーカーが中心だった。パナソニック電工が2010年末に発売したのに続き、大手の東芝も売り出すことで市場の拡大に弾みがつきそうだ。
LED照明、東芝が直管形40機種、オフィスや工場向け強化	日本経済新聞	2011年1月4日	東芝は直管形発光ダイオード(LED)照明の市場に参入する。3月までに40機種をそろえ、企業や官公庁のオフィス、工場などに売り込む。直管形は蛍光灯に代わる省エネ照明とされるが、これまで参入企業は海外や新興のメーカーが中心だった。パナソニック電工が2010年末に発売したのに続き、大手の東芝も売り出すことで市場の拡大に弾みがつきそうだ。照明子会社の東芝ライテックが1月から順次、器具とランプのセット品を売り出す。価格は3万円前後から、既存の蛍光灯用器具を改造して取り付けられるキットも併せて用意する。年間20万本の販売をめざす。
サムスン、3.1兆円投資、18%増加、過去最大——有機ELは4倍、今年計画。	日本経済新聞 夕刊	2011年1月5日	【ソウル＝尾島島雄】韓国のサムスングループは5日、2011年の設備投資と研究開発費などの投資総額を過去最大となる43兆1000億ウォン(約3兆1500億円)にすると発表した。10年実績比で18%増。半導体メモリーや液晶パネルに一定額の投資を継続する一方、次世代の基幹部品として注力している有機EL(エレクトロルミネッセンス)向けを大幅に増額し、先行投資の姿勢を鮮明にした。
阪急十三駅の照明、LEDに切り替え。	日本経済新聞 地方経済面	2011年1月6日	阪急電鉄は3月末までに十三駅(大阪市淀川区)の照明を蛍光灯から発光ダイオード(LED)に切り替える。消費電力を約49%削減でき、年間の二酸化炭素(CO2)排出量も約42トン減らす効果があるという。十三駅は阪急神戸線と京都線、宝塚線が乗り入れる。大規模駅でのLED照明への切り替えは同社で初。
LEDで疑似太陽光、東京理科大、発電量を予測——地域ごとに再現。	日経産業新聞	2011年1月6日	東京理科大学の大川和宏教授は発光ダイオード(LED)を使い太陽光に似た光を作る装置を開発した。約30種類のLEDを組み合わせ、緯度や時間帯で異なる太陽光の色合いや光の量を再現する。屋内にしながら、地域ごとに最適な太陽電池の発電量を予測できるといふ。計測器メーカーなどと組んで2012年後半の実用化を目指し、太陽電池メーカーに利用を提案していく考えだ。
有機ELに1100億円、サムスンが追加投資、生産能力4割増。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月6日	【ソウル＝尾島島雄】韓国のサムスングループは次世代デバイスとして有望視している有機EL(エレクトロルミネッセンス)パネルに1兆5000億ウォン(約1100億円)を追加投資し、新鋭ラインの生産能力を従来計画に比べ4割増やす方針を固めた。スマートフォン(高性能携帯電話)向けの需要に応じきれないため、増産投資に踏み切る。将来のテレビへの転用を視野に入れ、有機EL量産で独走態勢を敷く狙いもある。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
タニモト電機、小型のLED照明機器開発	静岡新聞	2011年1月6日	展示会や見本市などイベント会場の電気工事を手掛ける静岡市清水区のタニモト電機(谷本正光社長)は、展示会ブース向けの照明器具として開発した発光ダイオード(LED)スポットエリスポシリーズを発売した。イベント関係者が求める低消費電力や明るさに加えて、ブースの雰囲気を変えないように小型化し、スタイルも重視したのが特徴。実用新案も取得済みで、全国展開を図っている。
LED照明に十三駅切り替え、阪急、大規模駅で初	日本経済新聞	2011年1月6日	阪急電鉄は3月末までに十三駅(大阪市淀川区)の照明を蛍光灯から発光ダイオード(LED)に切り替える。消費電力を約49%削減でき、年間の二酸化炭素(CO2)排出量も約42トン減らす効果があるという。十三駅は阪急神戸線と京都線、宝塚線が乗り入れる。大規模駅でのLED照明への切り替えは同社で初。ホームや改札口、地下道などに設置し、駅事務所やトイレは対象外。駅全体で使う照明の約90%を東芝ライテック製のLEDに替える。従来の蛍光灯で発生していた紫外線や経年劣化による光のちらつきを抑える効果もあるという。
11年、LED照明産業の市場シェアは10%	新華社ニュース	2011年1月6日	上流分野にあるチップ価格の下降と発光効率の向上を背景として、照明業の一環であるLED産業の飛躍的な発展が数多くの投資家の注目を集めている。業界関係者によると、全体照明市場に占めるLED照明産業の市場シェアは、2010年に3.2%前後に達したが、11年のその市場シェアは10%に達するとみられ、13年までに世界市場におけるLED照明産業の市場シェアは、さらに2割近く高まると予想されている。
有機ELに1100億円、サムスンが追加投資、生産能力4割増	日本経済新聞	2011年1月6日	韓国のサムスングループは次世代デバイスとして有望視している有機ELパネルに1兆5000億ウォン(約1100億円)を追加投資し、新規ラインの生産能力を従来計画に比べ4割増やす方針を固めた。スマートフォン(高機能携帯電話)向けの需要に応じきれないため、増産投資に踏み切る。将来のテレビへの転用を視野に入れ、有機EL量産で独走態勢を敷く狙いもある。傘下のサムスンモバイルディスプレイは韓国中部の忠清南道海井の工場に2兆5000億ウォンを投じて新ラインを建設している。「5・5世代」と呼ぶガラス基板で月産7万枚の生産能力を整え、7月に稼働する予定。
ソニー、有機ELの3DテレビをCESで展示 24.5インチ、裸眼で視聴	ITmedia News	2011年1月6日	ソニーは1月6日に米国ラスベガスで開催した「2011 International CES」に、有機ELパネルを搭載した裸眼3Dディスプレイや、3Dヘッドマウントディスプレイを参考展示している。商品化は未定。3D対応有機ELテレビは24.5インチ、3D解像度は640×360ピクセル(ベースパネルは1920×1080ピクセル)。裸眼で3D視聴が可能だ。裸眼3Dに対応した大型液晶ディスプレイも展示。56インチと46インチ機を展示しており、56インチの3D解像度は1280×720ピクセル、46インチは1280×720ピクセル。
IDEC、高効率LED電源、回路数減らした設計。	日経産業新聞	2011年1月7日	IDECは6日、発光ダイオード(LED)照明用の高効率電源を開発したと発表した。回路の数を減らすなど設計を工夫して電力損失を低減。電力の利用効率を示す電源効率を90%にまで高めた。高効率のLEDモジュール(複合部品)と組み合わせ、省エネ性能を一段と高めた照明器具として売り込む。
シントク、LED電球を開発 店舗スポットライト用	日本経済新聞	2011年1月7日	産業機械などを製造するシントク(諏訪市、小坂神之助社長)は発光ダイオード(LED)の電球を開発、営業活動を始めた。店舗などでスポットライトとして使われる「ハロゲンランプ」の代替品として、百貨店や貴金属店に売り込む。従来は蛍光灯を手掛けてきたが、大手各社も参入競争が激化。顧客獲得が難しくなった。比較的競争の少ないスポットライトに軸足を移し、LED事業を次の柱に育てる。このほど「LAIDEN(ライデン)」と名付けたハロゲンランプ型LED電球シリーズの販売を始めた。従来は蛍光灯型などを顧客の要望に応じて開発・販売しており、同社初の汎用品となる。
豊田合成、5万本の全蛍光灯を今後5年間でLED化	日刊自動車新聞	2011年1月8日	豊田合成は7日に発表した「第5次環境取り組みプラン」で、全社に設置している約5万本の全蛍光灯を今後5年間でLED(発光ダイオード)照明に更新することを明らかにした。同社は1980年代からLEDの開発・生産に取り組んでおり、白色LEDの開発・量産化にも成功している。社内の全照明をLED化することで、「環境にやさしいLEDメーカー」として貢献していきたい(同社)とする。第5次環境取り組みプランは2011年度から15年度までの計画で、第4次プランで設定した目標が全項目で達成する見通しになったことを受けて策定した。
有機EL開発で蓄積した技術など使用可能に 県産業技術振興機構が所有権利を整理 利用率は県内企業優遇	山形新聞	2011年1月8日	県産業技術振興機構は、有機EL開発で蓄積した特許技術やデザイン意匠、商標などの知的財産について所有権利を整理し、使用許諾の要綱をまとめ、7日までに施行した。これにより、機構が意匠権を持つ有機EL照明「ELシャンデリア」などの商品化も可能となり、権利の利用率については県内中小企業の場合、県外企業の6分の1まで引き下げて、地域産業の振興につなげたい考えだ。昨年3月で閉鎖された有機エレクトロニクス研究所は7年間の事業期間に、多くの独自技術を開発し、特許を出願。企業との共同出願を含めると特許だけで57件に上り、このうち約40件についてはエレ研を管理する機構が権利を有すると想定されている。
エコポイント減直前の薄型TV購入者、半数が「ついで買い」—民間まとめ	日経MJ(流通新聞)	2011年1月10日	LED電球など家電エコポイントが半減になる直前、昨年10〜11月に薄型テレビを購入した人の半数が発光ダイオード(LED)電球などの家電製品を「ついで買い」していたことが楽天リサーチ(東京・品川)の調査でわかった。家電購入金額は前年同時期より増えたと答えた人が全体の8割にのぼり、2011年の家電購入額については3分の1が減らすとしている。
IDEC、TISのDCIにLED照明納入	日刊工業新聞	2011年1月10日	IDECはTISが4月開業するデータセンター「GDC御殿山」(東京都品川区)に、発光ダイオード(LED)照明を納入した。納入したのは新たに完成したライン形ベースライト449各。1コンバーター方式を採用し、30ワット級で電源効率を従来の78%から90%に高めた。ランプ効率は107ルーメン/ワット。これらにより同社が2年前、データセンターに納入したLED照明に比べて21%の省エネルギーにつながった。
HTV2号機、20日打ち上げ、実験機材、宇宙に運搬—半導体の結晶作製	日本経済新聞	2011年1月10日	宇宙航空研究開発機構(JAXA)は20日、日本の無人物資輸送機「HTV(愛称・こうのとり)2号機」を大型ロケット「H2B」で種子島宇宙センター(鹿児島県)から打ち上げる。材料実験機材などを国際宇宙ステーション(ISS)に運ぶ。5月から日本人で3人目の長期滞在に臨む古川聡宇宙飛行士(46)らが使う。宇宙の舞台で日本の存在感が増す。古川飛行士は地上約400キロメートルの上空を周回するISSに約半年間滞在し、無重量の下で様々な科学実験をする。2号機で運ぶ加熱炉などの機材を日本の実験棟「きぼう」に設置して使う。
東芝ライテック、住宅天井向けLED拡充、照明の機種倍増、年30万台販売狙う。	日経産業新聞	2011年1月11日	東芝ライテックは住宅の天井に取り付ける発光ダイオード(LED)シーリングライトの製品群を拡充する。3月までに機種数を倍増するほか、4月以降も継続的に製品を増やしていく。東芝は液晶テレビの技術を生かして、電球よりも明るさが求められるシーリングライトの製品化に成功。品ぞろえの強化で先行することにより、年間30万台の販売を目指す。
都市機構、賃貸住宅、省エネ型に—照明100万個、LEDに交換、CO2削減。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月11日	廊下や階段の照明100万個 独立行政法人の都市再生機構(UR)は2020年度までに、全国で運営する賃貸住宅にある約100万個の蛍光灯を、エネルギー効率の良い発光ダイオード(LED)照明に切り替える。給湯器も省エネ型に替え、20年度に二酸化炭素(CO2)排出量を年間約2.7万トン(10年度と比べて1〜2割)削減することを目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東芝ライテック、住宅天井向けLED拡充、照明の機種倍増、年30万台販売狙う	日経産業新聞	2011年1月11日	東芝ライテックは住宅の天井に取り付けるLEDシーリングライトの製品群を拡充する。3月までに機種数を倍増するほか、4月以降も継続的に製品を増やしていく。東芝は液晶テレビの技術を生かして、電球よりも明るさが求められるシーリングライトの製品化に成功。品ぞろえの強化で先行することにより、年間30万台の販売を目指す。外觀を円形にするなどデザインを工夫したLEDシーリングライトの新製品12機種を2月から3月にかけて順次売り出す。現在販売中の12機種と合わせて機種数が2倍になる。新製品の店頭価格は、現行製品の3万5000円～5万5000円と同程度になる見込み。
市光工業、EVに対応 LEDのヘッドライト量産	FujiSankei Business i.	2011年1月11日	自動車用照明メーカーの市光工業は、省エネ性の高いLEDを使ったヘッドライトの量産を始めた。日産自動車が発売した電気自動車(EV)「リーフ」に供給。EVやハイブリッド車(HV)など、電気を動力に使う環境対応車では、省電力化は1回の充電で走れる距離の長さや燃費に直結する。このため、消費電力がハロゲン式ライトの約2分の1で済むLEDライトの需要が拡大傾向だ。価格が下がれば、ガソリン車に採用される可能性もあり、さらなる省電力化や価格低減に向け、ランプメーカーの研究開発競争が水面下で激しさを増している。リーフに供給するため、市光は昨年10月から伊勢原製造所(神奈川県伊勢原市)で量産を開始した。
都市機構、1800団地を省エネ型に LED照明100万個-CO2、10年後に1～2割削減	日本経済新聞	2011年1月11日	独立行政法人の都市再生機構(UR)は2020年度までに、全国で運営する賃貸住宅にある約100万個の蛍光灯を、エネルギー効率の良い発光ダイオード(LED)照明に切り替える。給湯器も省エネ型に替え、20年度に二酸化炭素(CO2)排出量を年間で約2.7万トン(10年度と比べて1～2割)削減することを目指す。URは全国に約76万の賃貸住宅(1800団地)をもつ。住宅の廊下や階段、屋外などに設置した照明器具を来年度から順次LEDに切り替える。更新により電力消費量が4割削減されるという。各住宅に設置している約7万台の給湯器についても、現状のものより熱効率が15%良い高効率ガス温水機器に切り替える。
三洋系から独立の技術者、有機EL照明、インド大手と事業化へ	日本経済新聞	2011年1月12日	三洋電機や米コダックの有機EL(エレクトロルミネッセンス)元技術者が立ち上げたベンチャー、イー・エル・テクノ(福岡市)は、インドの同業と資本・業務提携して有機EL照明の事業化に乗り出す。まず2011年秋にも熊本県に、有機ELパネル工場を稼働させる。インドにも工場を設けるなど次世代照明の世界展開を目指す。有機EL照明は発光ダイオード(LED)に次ぐ省エネ照明として実用化が期待されている。イー・エル・テクノは有機ELを発売したコダック、それに三洋が共同出資していた会社の技術者だった米田清氏が10年4月に設立した。
有機EL実用化拠点、米沢アルカディア有力、山形大など、候補地絞る	日本経済新聞	2011年1月12日	山形大学などが進めている有機エレクトロニクス実用化研究拠点構想で、建設候補地が米沢オフィス・アルカディア(山形県米沢市)に事実上絞り込まれたことが明らかになった。土地代を除く投資額は約15億円。県など地元自治体も支援策の検討に着手しており、建設用地は米沢市が取得する案が有力。国の資金支援を前提に2013年春の稼働を目指す。「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」(仮称)はオフィス・アルカディア内の2区画、約1万4000平方メートル分に建設する。
広島化成と福山大、青色LED防犯灯の生理効果を調査	日刊工業新聞	2011年1月13日	広島化成は、大阪府箕面市の箕面森町で青色LEDの防犯灯が人に与える生理効果を調べる。福山大学の平伸二教授と共同で脳波や心拍などを測定・分析し、自社製品が心を落ち着かせ、犯罪防止につながる効果を生理反応の変化から裏付ける。調査結果は5月に高知大学で開かれる日本生理心理学会などで発表する予定。調査は1月7、8日と17、18、23日の3日没から実施。1時間ごとに一人の参加者を防犯灯の直下でほかの防犯灯も見渡せる位置に座らせ、それぞれ30分間、脳波などを測定する。測定後には印象評定への記入も求める。箕面森町の住民10人と外部の住民10人、計20人の男女を調査対象にする。
OKIエンジ、LED特性評価、照明具メーカーなど向け	日経産業新聞	2011年1月13日	OKI子会社のOKIエンジニアリング(東京・練馬)は12日、LED(発光ダイオード)の特性評価サービスを同日から提供すると発表した。照明器具のメーカーなどに売り込み、2011年度に3500万円の売り上げを目指す。LED光の性質や、熱に対する劣化などの特性を総合的に評価する。照明メーカーのほか、液晶パネルを背後から照らすバックライト部品や自動車のヘッドライトのメーカーなどに提供する。
反射材、性能10%向上、タムラ製作所、白色増量——太陽電池、発電量増やす。	日経産業新聞	2011年1月14日	シャープは、調色や調色が可能なLED照明器具に向けたコントローラ「LR56001」の量産を、2011年1月31日に始める。LR56001はLEDの点灯を制御するチャネルを3系統備えており、例えばメイン照明に使う屋光色のLED制御、メイン照明に使う電球色のLED制御、そして夜灯に使う電球色のLED制御を1チップで実行できる(Tech-On関連記事)。2010年12月22日に製品発表して以来、「これまでありそうでなかった製品」(同社)として、製品に興味を持つ照明器具メーカーは多いという。
LED電球シェア最高、12月数量22%、買い替え進む——民間まとめ。	日経MJ(流通新聞)	2011年1月14日	電球全体の販売数量に占める発光ダイオード(LED)電球の割合が昨年12月、月ベースで過去最高の22.3%に達した。家電量販店の販売動向を調査するGfKジャパン(東京・中野)の調べで分かった。12月は大掃除で部屋の電球を交換する人などが多く、買い替えが進んだとみられる。昨秋にいったん伸びが鈍化したLED販売が再び活気づいた。
アイリスオーヤマ、11年経営方針、中国直営店、250店体制に、LED照明も拡販。	日本経済新聞 地方経済面	2011年1月14日	アイリスオーヤマ(仙台市、大山健太郎社長)は13日、中国の直営店を250店体制とするなど盛り込んだ2011年の経営方針を発表した。昨年本格展開している発光ダイオード(LED)照明の拡販や家電量販店・ドラッグストア向けの新商品開発も進める。
有機太陽電池のサリチチ氏、山形大教授に来月就任、実用化に意欲	日本経済新聞	2011年1月14日	山形大学は13日、有機太陽電池研究の第一人者、オーストリアのリッツ大学(ヨハネス・ケプラー大学)のN・S・サリチチ教授を2月から「特別連携卓越研究教授」として招くと発表した。同教授は記者会見で「学術的な研究成果だけでなく、特許などの知的財産を生み出し、工業製品や新規企業群の創出につなげたい」と実用化への意欲を強調した。同大は工学部(山形県米沢市)内に「先端有機エレクトロニクス研究センター」を整備中。3大テーマのうち有機EL(エレクトロルミネッセンス)は城戸洋二教授、有機トランジスタは昨年8月にNHK放送技術研究所から招いた時任静士教授が率いる。
2020年の日本力／第1ステージ・地球の限界－エコの相克(1)LED照明	日刊工業新聞	2011年1月17日	発光ダイオード(LED)照明国内大手の営業幹部は、商談のためモスクワで年越しを迎えた。ロシアは欧州の中でもLED導入に比較的前向きな国だが、「欧米では日本のようなLEDメーカーは起きていない」(福田正巳東芝ライテック社長)。野村証券金融経済研究所のレポートによると、一般照明におけるLEDの比率が2015年に5割を超え、20年には90億ドル(約7兆4000億円)市場になるという。予測の前提になっているのが、照明世界大手、オランダ・フィリップスの普及型LED。ところが普及の壁になっているのが、実はフィリップスや米ゼネラル・エレクトリック(GE)など既存の大手勢力。
2020年の日本力／第1シリーズ・地球の限界－環境で攻める(1)中小企業の挑戦	日刊工業新聞	2011年1月17日	蛍光灯、白熱灯に比べ消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明。二酸化炭素(CO2)排出量抑制や省エネルギーの機運が盛り上がる中、異業種の中小企業からの参入が相次ぐ。東洋製作所(大阪府豊川市)はLEDを利用した街路灯を開発している。建設機向け部品が本業だが、リーマン・ショック後の不況で需要が冷え込み、同分野に参入した。公共工事関係など建機で培った営業ルートを生かす。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
シーシーエス、LED市場開拓へタイに事務所		2011年1月17日	シーシーエスはタイ・バンコクに駐在員事務所を開設した。従来シンガポールなどから出張ベースで営業活動を行ってきたが、工業用LED照明市場拡大を見込み、拠点を置いた。電気、電子、半導体、自動車、食品業界向けに工業用LED照明を売り込む。シンガポール子会社「CCSアジア」の拠点として開設。事務所は延べ床面積90平方メートルで、3人体制でスタート。所長はCCSアジアセールスマネージャーのデレク・ウィー氏が務める。照明実験室を備え、画像処理検査用照明などを試せる体制を整えたほか、顧客先で簡単な照明実験が行える簡易型の実験キットも用意した。また、実際に照明を試験的に利用できる実験用貸し出し照明も約50台そろえた。
全事務室にLED/NTTファシリティーズ設計の事務所ビル	建設通信新聞	2011年1月17日	NTTファシリティーズが設計・監理を手掛けたネクストサイト深川ビル(東京都江東区)が竣工した。全事務室と共用部の大部分にLED(発光ダイオード)照明を採用し、大幅に消費電力を抑えている。このほか、太陽光発電設備や人感センサーによる照明制御など、環境負荷低減技術が数多く使われている。同ビルは、NTT東日本プロパティーズのテナントビルとして2010年12月に竣工した。LED照明を大量に採用したことで、事務室全体で年間8万8200kWhの電力使用量を削減でき、年間約194万円の電気料金削減につながる。これにより、年間約37tのCO2排出量を削減できる。
家の照明、LEDは本当にメリットがあるか	プレジデント	2011年1月17日	発光ダイオードを用いたLED電球。長寿命で省電力なエコ照明として注目されている。寿命は白熱球が約1000時間、電球型蛍光灯が約1万時間なのに対し、LED電球は約4万時間。一日平均5時間の使用なら、20年以上交換が不要な計算になる。点灯による劣化が少なく、目安の4万時間を達成しやすいとされている。消費電力は1時間あたり白熱球54ワット、電球型蛍光灯12ワットに対し、LED電球は7ワット。
東芝とシャープ、米アップル向け有機EL生産を計画	日刊工業新聞	2011年1月17日	東芝とシャープが米アップルのスマートフォン(多機能携帯端末)向けなどに実施する液晶パネルの大型投資で、将来、有機エレクトロニクス(EL)パネルの生産を計画していることが明らかになった。液晶の投資はそれぞれ1000億円を超える金額で、その大半をアップルが負担する枠組み。アップル側が出した条件に有機ELへの移行が含まれているという。アップル向け液晶パネルの大型投資では、まず高精細の低温ポリシリコン液晶にタッチパネルを組み込める設備を導入し生産を始める。
LED照明用光拡散フィルム、光の透過率70～80%、東洋紡、他社製は60%。	日経産業新聞	2011年1月18日	原材料に特殊ポリマー 東洋紡は17日、発光ダイオード(LED)照明用部材の光拡散フィルムを開発したと発表した。1点が明るくなる性質を持つLEDの光を分散させ、全体を明るくする役割を持つ。従来の乳白シートに比べ、同社の新フィルムは光の透過率を高めたのが特徴という。
パナソニック電工、LEDダウンライト2シリーズ投入	化学工業日報	2011年1月18日	パナソニック電工は、LED電灯「エバーレックスシリーズ」にダウンライトを加え2月1日から投入する。「LEDウォールウォッシャーダウンライト」「LED橋脚配光ユニバーサルダウンライト」の2シリーズ14品番で、空間の明るさを保ちながら器具の設置台数の削減が可能。落ち着いた雰囲気好まれる飲食店などに最適。11年度合計で約3万台の販売を目指す。
日本電球工業会会長恒川真一氏——直管形LEDランプ手応え	日経産業新聞	2011年1月18日	既存の蛍光灯器具に取り付ける直管形発光ダイオード(LED)ランプへの注目が集まっている。日本電球工業会が2010年10月に策定した直管形LEDランプ規格の冊子が、これまで800冊以上売れた。国内大手メーカーを中心とする会員企業のほか、(海外・新興メーカー、商社など)会員ではない企業からも申し込みがある。直管形LEDランプはこれまで規格が存在しなかったため、安全性を考慮して大手は参入してこなかった。規格ができたことで既に参入したパナソニック電工や東芝ライテックのほかにも、多くが発売してくるだろう。
防犯灯のLED化 11年度1万基を要望	建通新聞	2011年1月18日	横浜市消防局は、防犯灯のLED化事業で2011年度、1万基の付け替え予算を要望している。予算が確定次第、工法などの詳細を調整し、市内を数ブロックに分割して10月ごろから順次発注する。地球温暖化対策の一環で、市内各区の町内会に設置している蛍光灯の頭具一体型タイプの防犯灯を対象に、頭具部分をLEDタイプに付け替える。頭具、光源、自動点滅器とも10年以上の耐用年数とし、メンテナンスフリーを目指す。
LED照明、市場規模急速に拡大	電気新聞	2011年1月19日	照明機器がかつてない注目を集めている。地球温暖化問題に対応する省エネルギーで長寿命なLED(発光ダイオード)への期待が高まっているためだ。そうした中、照明各社は家庭向け、施設向けなど様々なニーズに応える製品を投入。市場規模も急速に成長している。まさに「LED照明普及元年」だった10年の動きを振り返るとともに、普及をリードする日本照明器具工業会の福田正巳会長(東芝ライテック社長)の話から今後の展望を探った。
LED照明、直管形の生産能力1.7倍、遠藤照明、今春、調達コスト抑制。	日経産業新聞	2011年1月20日	遠藤照明は直管形発光ダイオード(LED)照明器具の生産能力を、4月をめどに現在の1.7倍となる月間5万台に引き上げる。新規の設備投資は控え、組み立ての後工程にあたる人員の増強に対応する。蛍光灯に代わる需要が引き続き好調に推移しているため、部材メーカーとの長期契約で調達コストを抑え、販売価格での優位性を打ち出す。
ファミリーマート、店舗の省エネ化——看板照明のLED化加速(追跡エコBiz)	日経産業新聞	2011年1月20日	ファミリーマートが店舗の環境性向上の取り組みを加速している。2008年にコンビニエンスストアの深夜営業の直視を求めると自治体の動きが浮上。それ以降、多少のコスト増には目ををつぶりながらも、店舗のエネルギー使用量を減らすための施策を相次いで打ち出してきた。10年には店舗正面の看板照明を新規店ではすべて、従来の蛍光灯でなく、発光ダイオード(LED)照明にする方針を打ち出した。規制強化への危機感をバネにした店舗エコ化の推進も進める。
LED照明、直管形の生産能力1.7倍、遠藤照明、今春、調達コスト抑制。	日経産業新聞	2011年1月20日	遠藤照明は直管形発光ダイオード(LED)照明器具の生産能力を、4月をめどに現在の1.7倍となる月間5万台に引き上げる。新規の設備投資は控え、組み立ての後工程にあたる人員の増強に対応する。蛍光灯に代わる需要が引き続き好調に推移しているため、部材メーカーとの長期契約で調達コストを抑え、販売価格での優位性を打ち出す。専用工場である佐野事業所(栃木県佐野市)で、組み立てや梱包、検品を担当作業員を約2倍の30人程度に増やす。
住金鋳と東北大学、白色LED向け新蛍光体を開発	化学工業日報	2011年1月20日	住友金属鋳山は19日、近紫外光または青色光を照射することで青緑～黄色に光る高輝度シリケート蛍光体と、その新製法を東北大学の研究グループと共同開発したと発表した。近紫外光向け蛍光体の内部量子効率67%と過去にない高水準。同社は蛍光体の耐湿性と光学特性をさらに高めるため、表面を緻密な膜で被覆する技術の開発を目指すなど一層の高効率化を図り、近い将来、低コストで高輝度な白色発光ダイオード(LED)用製品を投入していく。住友金属鋳山は、東北大学多元物質科学研究所垣花真人教授の研究グループと共同で、シリコンを含む高輝度なシリケート蛍光体を開発するとともに、その新製法を確立した。
三菱電機オスラム、ハロゲンと同等の光度持つLED電球投入	日刊工業新聞	2011年1月20日	三菱電機オスラム(横浜市西区、津谷公三社長、045-323-5192)は、最大光度1000カンデラと、40ワット形ミラー付きハロゲンランプと同等の明るさを持たせた発光ダイオード(LED)電球「パナハロゲンランプ形4・5ワット」を開発した。消費電力は4・5ワットと、ハロゲンランプと比べ約88%省エネ化した。市場想定価格は5000円前後。年間25万本販売する。
岩崎電気、寿命90000時間のLEDトンネル照明器具「LEDi oc TUNNEL」を発売	日経速報ニュース	2011年1月20日	岩崎電気株式会社(本社:東京都中央区、社長:渡邊 文久)は、LED広スパントンネル照明器具「LEDi oc TUNNEL(レディオック トンネル)」5タイプ16品種を1月21日より発売します。「LEDi oc TUNNEL」は、国内最長寿命90000時間を実現。新発想、業界初の「路面輝度」に合わせた5タイプを開発。道路照明施設設置基準の地方道・国道のトンネル設計速度 40・50・60km/hに求められる「路面輝度」を満足し、設置台数を約2・3に減らすことが可能なLED広スパントンネル照明器具です。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
三菱ケミカル、白色LED照明製品で中国市場参入を検討	化学工業日報	2011年1月20日	三菱ケミカルホールディングスは、2011年度からの新中計で成長事業に選定した白色発光ダイオード(LED)照明で中国市場への本格参入を検討に入った。LED素子に使われる蛍光体などの材料販売を中国で開始しているが、LED市場は従来照明の代替を目指す白色照明製品が本命とされる。三菱ケミカルホールディングスは白色照明・部材事業の売上高を15年度に1000億円にする方針を立てている。まず、欧米市場で先行展開するが、中国市場への本格参入も検討、詳細を煮詰めていく。
伊藤電子工業 自由に曲がる、透明な有機EL商品を開発 / 山形	毎日新聞	2011年1月20日	自由に曲がる有機ELパネルや、透明な有機ELパネルを商品化。また、赤・青・緑の有機ELを使い、新商品を開発している。有機ELは、現在量産化されているLED(発光ダイオード)や液晶より薄くて軽く、自由な形に加工できる。赤・青・緑の有機ELは並べると有機ELテレビになるが、液晶テレビより軽いので、壁掛けテレビとして使うのも液晶より容易だ。また、LEDは発熱量が多く、熱くなるので、風を送るなどの冷却装置が必要だが、有機ELは発熱が少ないので省エネルギーになる。さらに、液晶はマイナス10度以下では起動しないが、有機ELはマイナス40度でも問題なく発光する、といった優位性がある。
エンプラス、LED向け光学部品、光を拡散、反射板不要—光源の重さ半減	日経産業新聞	2011年1月21日	樹脂部品メーカーのエンプラスはLEDにかぶせ、光を拡散して広範囲を照らせるようにする光学部品を開発した。屋外用の看板などに組み込めば、従来必要だった反射板を不要にできる。光源の重量が半分程度になるほか、看板の薄型化も図れる。照明への応用も検討。4月以降に本格的に量産を始め、2011年度内に月産数十万個体制を目指す。開発したのは気球に似た形状の円すい型レンズと、その周りを支える透明な筐体を一体化した光学部品。円すい型レンズがLEDの光を遠方に広げ、筐体の部分が近くに拡散する。広範囲をムラのない光で照らせるため、看板や照明などの光源として使えるようになる。
岩崎電気、トンネル向けLED照明、最適な配光性能実現	日刊工業新聞	2011/1/24	岩崎電気は、定格寿命が9万時間と長寿命化したトンネル向けLED照明「レディオオクトンネル」5タイプ16品種を発売した。放熱効果を高めてLED性能を安定化し、大幅な長寿命化を実現した。国道や地方道のトンネルごとに設定されている路面輝度に合わせて、最適な配光性能を持たせている。
シチズン電子、白色LED増産、能力1割アップ。	日経産業新聞	2011年1月24日	シチズンホールディングス傘下のシチズン電子は照明に使う白色発光ダイオード(LED、写真)の生産能力を約1割引き上げる。約10億円を投じて山梨県富士吉田市の本社地区などで設備を増強。製造工程も効率化し人員を増やさず増産体制を整える。照明用LEDの2012年度の売上高を200億円と10年度見込み比2倍以上にする方針だ。
有機材料、相次ぎ実用化へ、照明や太陽電池、国際競争が加速、レーザーも視野。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月24日	有機の分子材料を使う有機エレクトロニクスの研究開発が加速している。山形大学は白色照明で、早稲田大学などは発光素子で実用化に近づき新技術をそれぞれ開発した。すでに実用化が始まった携帯電話向け小型表示装置などに加えて、半導体や太陽電池など新市場を開拓する可能性が高まってきた。欧米や韓国などでも活発になっており、事業化に向けて激しい開発競争が繰り広げられそうだ。
有機材料、相次ぎ実用化へ——山形大・城戸教授に聞く、政府、大型支援で後押しを。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月24日	有機エレクトロニクスの研究は日本の強い分野といわれてきた。ところが産業応用では韓国サムスングループが大型投資を続け、日本勢を引き離そうとしている。日本の課題や展望を、この分野の研究を引っ張ってきた山形大学の城戸淳二教授に聞いた。——サムスングループが有機ELに4000億円近い投資を決めた。「日本企業はこれまで有機ELパネルの商品化で先行してきた。液晶に比べはるかに鮮明で消費電力が小さい。ただ、大画面に適した量産技術が確立せず、小さな表示用しか使えなかった。これから大型化へというときに、事業が育っていないからと、みんなあきらめてしまった。これが大きな間違い。日本企業から技術を学んだサムソンは機を見て街並いの投資を実行し、今一歩勝ちの状況といえる」
有機材料、相次ぎ実用化へ、照明や太陽電池、国際競争が加速、レーザーも視野	日本経済新聞	2011年1月24日	有機の分子材料を使う有機エレクトロニクスの研究開発が加速している。山形大学は白色照明で、早稲田大学などは発光素子で実用化に近づき新技術をそれぞれ開発した。すでに実用化が始まった携帯電話向け小型表示装置などに加えて、半導体や太陽電池など新市場を開拓する可能性が高まってきた。欧米や韓国などでも活発になっており、事業化に向けて激しい開発競争が繰り広げられそうだ。有機エレクトロニクスの代表的な応用例は、小型の表示用に使われている有機EL(エレクトロルミネッセンス)だ。これに続く分野として照明、太陽電池、発光素子などが有望視される。
有機材料、相次ぎ実用化へ——山形大・城戸教授に聞く、政府、大型支援で後押しを	日本経済新聞	2011年1月24日	有機エレクトロニクスの研究は日本の強い分野といわれてきた。ところが産業応用では韓国サムスングループが大型投資を続け、日本勢を引き離そうとしている。日本の課題や展望を、この分野の研究を引っ張ってきた山形大学の城戸淳二教授に聞いた。——サムスングループが有機ELに4000億円近い投資を決めた。「日本企業はこれまで有機ELパネルの商品化で先行してきた。液晶に比べはるかに鮮明で消費電力が小さい。ただ、大画面に適した量産技術が確立せず、小さな表示用しか使えなかった。これから大型化へというときに、事業が育っていないからと、みんなあきらめてしまった。」
卓見異異／世界をリードする研究開発—山形県知事・吉村美栄子氏	日刊工業新聞	2011年1月24日	山形県内では、世界をリードする二つの先端的な研究開発が進められ、新たな産業集積に向けた挑戦が展開されている。一つは山形大学工学部と県が共同で取り組んでいる「有機エレクトロニクス研究」であり、もう一つは慶応義塾大学先端生命科学研究所における「バイオ研究」である。山形県では、県産業をけん引する先導プロジェクトとして、2003年から7年間にわたり有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明を中心とする研究開発に取り組んできた。
市光工業、LED照明、「リーフ」搭載。	日経産業新聞	2011年1月25日	市光工業は24日、自動車用発光ダイオード(LED)照明が日産自動車の電気自動車(EV)「リーフ」に標準搭載されると発表した。採用されたのはヘッドランプで、一般的な自動車用ランプに比べて消費電力を半分に抑えながら、寿命は同2倍に延ばしたという。燃費効率の向上に役立つLED照明の需要は大きいとみて、今後も低価格化に力を注ぐ方針だ。
国土交通省、トンネル照明用LEDの実証実験	日刊自動車新聞	2011/1/26	国土交通省は、道路やトンネルの照明にLEDを使用するための基準策定などを目的に、実証実験を行うと発表した。参加者は公募で選定、東芝ライテックや小糸工業など10社の25製品を用いて2月中旬まで実施する予定。
LED照明の中核部品、フィリップス製独占調達、大光電機、ライト100種投入。	日経産業新聞	2011年1月26日	照明器具メーカーの大光電機(大阪市、前芝原二社長)はオランダのフィリップスからLED照明の中核部品「LEDモジュール」の新型品3機種を日本で独占的に供給を受ける。大光電機はモジュールを組み込んだLED照明、約100機種を5月以降に発売、シェア拡大を狙う。フィリップスはデザインに強い大光電機と組むことで日本事業拡大に弾みを付ける。
東京メトロ、銀座線にLED照明、省電力化へ試行運転。	日本経済新聞 地方経済面	2011年1月26日	東京メトロは銀座線で、蛍光管型の発光ダイオード(LED)照明を搭載した車両=写真=の試験運行を始めた。同社と照明メーカー2社、車両メーカーが共同で開発した車内照明器具を使用する。従来の蛍光灯に比べ、消費電力を35%以上削減できる見込み。1年程度の試験運行の後、本格導入できるか検討する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明の中核部品、フィリップス製独占調達、大光電機、ライト100種投入	日経産業新聞	2011年1月26日	照明器具メーカーの大光電機はオランダのフィリップスからLED照明の中核部品「LEDモジュール」の新型品3機種を日本で独占的に供給を受ける。大光電機はモジュールを組み込んだLED照明、約100機種を5月以降に発売、シェア拡大を狙う。フィリップスはデザインに強い大光電機と組むことで日本事業拡大に弾みを付ける。大光電機が独占供給を受けるのは、フィリップスの新型LEDモジュール「レディスク」「ツイスタブル」「SLM」の3機種。対象は国内で、期間は発売から1年間。LEDチップに制御回路などを組み込んだLEDモジュールに、自社製の器具を取り付け照明に仕立てて販売する。
パナソニック、白熱電球と同じように光が広がるLED電球	日本経済新聞	2011年1月26日	パナソニックは26日、白熱電球と同じように光が広がる発光ダイオード(LED)電球「エバーレックス」を3月18日に発売すると発表した。これまでのLED電球は光が限られた方向だけに集中して暗く感じやすかったが、反射板を2段にして光を拡散させることで全方向に明るくなるように工夫したという。口金は家庭用照明で一般的なE26(直径26ミリメートル)タイプで、明るさは40形白熱電球に相当する。電球色と昼光色の2種類。想定価格は1個3500円前後。電球の寿命は4万時間。月産15万個を予定している。
LED電球販売、パナソニックが2倍の900万個を計画－11年度、国内で	日本経済新聞	2011年1月26日	パナソニックは26日、2011年度のLED電球の国内販売を10年度計画(440万個)の約2倍の900万個に伸ばす方針を発表した。光の広がり方が白熱電球に近い新製品を投入するなど品ぞろえを拡充し、国内シェアで5割を獲得したいと考えた。LED電球は長寿命や省エネ効果で白熱電球からの置き換え需要が伸びており、パナソニックでは国内市場が10年度の1100万個から11年度には1800万個に拡大すると見込んでいる。3月18日には光の広がる角度(配光角)が白熱電球と同等の300度の新製品を発売する。LED電球は下方向に光が偏りやすいが、電球内部の反射を工夫して、従来は120度だった配光角を広げた。店頭想定価格は3500円前後。
LED照明事業好調 宮崎市の共立電機製作所	宮崎日日新聞	2011年1月26日	電気機器製造の共立電機製作所(宮崎市、米良充次社長)のLED(発光ダイオード)照明事業が好調だ。設計から製造までを一貫して手掛け、細かなニーズに対応。大手の大量生産と差別化して普及促進を図る。自治体での採用も相次ぎ、これまでに県内外約30の市町村が街灯やトンネル灯などと自社製品を導入。同社は生産体制も雇用の拡大も進める。同社は二酸化炭素(CO2)削減に寄与しているが、LED照明需要の高まりを見据え、08年にLED事業部門を創設した。09年には国内初のトンネル用LED照明を開発。昨年2月に新工場を建設した。同工場は県と宮崎市の誘致企業に認定され、同年5月から本格的な生産体制に入っている。
東京メトロ、銀座線にLED照明、省電力化へ試行運転	日本経済新聞	2011年1月26日	東京メトロは銀座線で、蛍光管型のLED照明を搭載した車両の試験運行を始めた。同社と照明メーカー2社、車両メーカーが共同で開発した車内照明器具を使用する。従来の蛍光灯に比べ、消費電力を35%以上削減できる見込み。1年程度の試験運行の後、本格導入できるか検討する。銀座線1編成のうち2両の照明をLEDに切り替えた。3月にはさらに2両で実施する。年1回交換している蛍光管をLED化することで、8倍程度の耐用年数が期待できるという。廃棄物削減や維持管理の効率化にもつなげる。鉄道車両へのLED照明の導入は、東日本旅客鉄道(JR東日本)が昨年末から、山手線1編成で試行している。
国土交通省、トンネル照明用LEDの実証実験	日刊自動車新聞	2011年1月26日	国土交通省は25日、道路やトンネルの照明にLEDを使用するための基準策定などを目的に、実証実験を行うと発表した。参加者は公募で選定、東芝ライテックや小糸工業など10社の25製品を用いて、2月中旬まで実施する予定。同省では、省エネルギー対策の一環で、道路、トンネルの照明灯にLEDの使用を検討しているが、光学特性などの基礎データが不足している。このため照明設計に必要な基準、規格の策定に向け、実証実験を行う。参加者は昨年11月に一般から募集、企業10社の応募があった。参加企業は東芝、小糸工業のほかイー・アイ・ジェイ、岩崎電気、パナソニック電工、星和電機、因幡電機製作所など。
白熱電球並みに広範囲を照らせる、パナソニックがLED照明の新製品を発表	日本経済新聞	2011/1/27	パナソニックは、LED照明「EVERLEDS」シリーズの新製品として300°の配光角を持つ口金E26対応のLED電球、および調光/調色(配光切り替え機能)を搭載したシーリングライトを発売した。白熱電球と同程度の配光角を持つことから、これまで広い範囲を照らせなかったLED電球への置き換えが難しかった照明でも同等の照明効果が得られるとしている。
大光電機、フィリップスとLEDモジュール3機種を独占契約～ベース照明、ダウンライトなど約100種類を開発～	朝日新聞	2011/1/27	大光電機は、フィリップスエレクトロニクスジャパンが新規に開発したLEDモジュール3機種の供給を独占する契約を行った。大光電機は今回、フィリップスが販売するLED照明モジュール「LEDディスク」「Twistable(ツイスタブル)」「SLM」の3種類に対し、大光電機が培ってきた照明ノウハウを提供するなど独自のLEDモジュールを開発し、まずは1年間の独占的な供給を受ける契約をした。灯具の開発を進め、合計で約100種類のLED照明器具ラインナップを増強する。
オプトデザイン、LED多重反射、照明効率化、明るさ10倍。	日経産業新聞	2011年1月27日	[多摩]光学機器メーカーのオプトデザイン(八王子市、佐藤栄一社長)は発光ダイオード(LED)の光を内部で多重に反射して面状に明るい光を取り出す高効率の照明システムを開発した。独自の光学設計に基づき、多数の穴を中心部で小さく、周縁部で大きくあけた反射部材「フラッター」を付けた。従来の10倍以上の明るい光を均一に取り出すという。
LED電球、900万個に倍増、パナソニック、来年度販売。	日本経済新聞 朝刊	2011年1月27日	パナソニックは26日、2011年度の発光ダイオード(LED)電球の国内販売を10年度計画(440万個)の約2倍の900万個に伸ばす方針を発表した。光の広がり方が白熱電球に近い新製品を投入するなど品ぞろえを拡充し、国内シェアで5割を獲得したいと考えた。
配光角広げたLED電球、パナソニック、天井設置型も投入	日経産業新聞	2011年1月27日	パナソニックは26日、光が広がりやすいLED電球などLED照明の新製品6種を3月から順次発売すると発表した。品ぞろえの拡充でLED電球の国内販売シェアを5割に高めるほか、同社では初の天井設置型のシーリングライトを投入する。LED電球「EVERLEDS」では、光が広がる角度(配光角)が300度の新製品2種を3月18日に発売する。LED電球は下方向に光が偏りやすいが、電球内部の反射を工夫して、従来は120度だった配光角を広げた。店頭想定価格はともに3500円前後。新製品の投入などで2011年度のLED電球の国内販売を10年度見込みの約2倍、900万個に伸ばす計画だ。
オプトデザイン、高効率のLED照明システム(多摩トピックス)	日本経済新聞	2011年1月27日	光学機器メーカーのオプトデザイン(八王子市、佐藤栄一社長)は発光ダイオード(LED)の光を内部で多重に反射して面状に明るい光を取り出す高効率の照明システムを開発した。独自の光学設計に基づき、多数の穴を中心部で小さく(周縁部で大きくあけた反射部材「フラッター」)を取り付け、従来の10倍以上の明るい光を均一に取り出す。点の光を面状に広げる導光板やレンズを使ったり、LEDを密集させたりする従来方式に比べ、軽く薄くコストも小さく導入できるのが特徴。大手電機メーカーを通し今春発売する。
東芝ライテック、LED電球、明るさ向上。	日経産業新聞	2011年1月28日	東芝ライテックは2月1日、発光ダイオード(LED)電球の新製品「一般電球形9・4ワット」2機種を発売する。8・7ワットの前機種に比べて、白っぽい昼白色で明るさが810ルーメンから850ルーメンに向上した。外径は6センチメートルのままで、全長も10・7センチメートルと1センチほど短くした。価格は5880円。年間50万個の販売を目指す。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東芝ライテック、LED電球、明るさ向上	日経産業新聞	2011年1月28日	東芝ライテックは2月1日、LED電球の新製品「一般電球形9・4ワット」2機種を発売する。8・7ワットの前機種に比べて、白っぽい昼白色で明るさが810ルーメンから850ルーメンに向上した。外径は6センチメートルのままで、全長も10・7センチメートルと1センチほど短くした。価格は5880円。年間50万個の販売を目指す。「ビームランプ形」のLED電球では9・4ワット2機種と14ワット2機種を製品ラインアップに加えた。従来品に比べて寿命を2万時間から4万時間まで延ばした。価格は9・4ワットが1万2600円、14ワットが1万4700円。4機種合計で年30万個の販売を目指す。「ミゼットレフ形」のLED電球では6・4ワットの新製品を売り出す。
仙台放送、LED照明事業拡大へ新会社。	日本経済新聞 地方経済面	2011年1月29日	Fジテレビ系列の仙台放送(仙台市、竹内次也社長)は発光ダイオード(LED)照明事業を拡大する。2月2日にLED照明の販売代理業務を担う新会社を設立し、本社から事業を移管する。これまで扱ってきた直管型のLED照明に加え、電球型やスタジオ照明用など取扱品目を拡充。テレビ放送を通じて販売を促進する。
関西鉄道各社に広がるLED採用	産経新聞	2011年1月31日	関西の鉄道で、駅や車両の照明、案内表示などにLEDを使う動きが広がっている。蛍光灯よりも電球の単価は高いものの、寿命が長く消費電力も小さいことから全体の維持費が下がるとみられるため、「環境に優しい鉄道」をアピールするねらいもありそうだ。京阪電気鉄道は1月19日、八幡市駅の駅舎内にLED照明器具を取り付け、点灯を始めた。改札口付近の壁の一部に竹林をイメージして凹凸を施したタイルを張り、緑色のLED照明の光を当てた。発明王エンジンが、白熱電球の発光体に地元産の竹を使ったというエピソードにちなんだものだ。パナソニック電工が昨年12月に発売した「直管形LED照明ランプ搭載ベースライト」を納入した。
IDEC、作業現場向けLED照明。	日経産業新聞	2011年2月1日	制御機器大手のIDECは工場などの生産現場の天井に設置する新型発光ダイオード(LED)照明を8日に発売する。反射板の配光制御などで不快なまぶしさやざらつきを抑え作業現場に適した明るさを実現。年5000台の販売を目指す。
IDEC、作業現場向けLED照明	日経産業新聞	2011年2月1日	制御機器大手のIDECは工場などの生産現場の天井に設置する新型発光ダイオード(LED)照明を8日に発売する。反射板の配光制御などで不快なまぶしさやざらつきを抑え作業現場に適した明るさを実現。年5000台の販売を目指す。発売するのは長さ約120センチメートルのライン型のLED照明。明るさは40ワットの蛍光灯と同等で消費電力は約半分。天井に埋め込むタイプと取り付けるタイプがあり、いずれも並べるLEDモジュール(複合部品)を2列にできる。計4種類の製品の想定価格は5万～7万5000円。
テクニコ、中小の宴会場向け調光型LED照明を発売	日刊工業新聞	2011年2月1日	テクニコ(大阪市北区、諏訪三社長、06・6357・0380)は照明演出などで培ったノウハウを生かした発光ダイオード(LED)照明を完成、販売に乗り出した。第1弾として中小規模の宴会場向け調光型スポットライト「SL1」を1日に発売する。同製品で2011年度に1億1200万円、14年度に3億2000万円の売り上げを目指す。テクニコはホテルなどでの照明や音声、映像を用いた演出などを手がける。照明の製造を外部委託することで、実際に現場で使用する際のニーズを生かしたLED照明を製品化した。
三菱化学、白色LED用液相法GaIn基板量産	化学工業日報	2011年2月1日	三菱化学は、窒化ガリウム(GaN)基板を用いた白色発光ダイオード(LED)照明および部材を本格事業化する。液相法GaIn基板の量産化を決め、3月末までに立地を決定する。投資額は100億円規模と見る見込みで、2012年中の量産開始を予定。蛍光体は小田原事業所(神奈川県)で12年までに生産能力を1.5倍に引き上げる。封止材は近紫外光励起に必要なシリコン系製品を開発、サンプル出荷を開始している。主要3部材の生産能力を整備し、市場で圧倒的優位確立を目指す。
延世大学と浦項工科大学、ナノチューブ使う有機EL(海外ハイテクフラッシュ)	日経産業新聞	2011年2月2日	韓国の延世大学と浦項工科大学は、電圧が従来より1けた低くても明るさは変わらない有機EL(エレクトロルミネッセンス)を開発した。代表的なテクノテック(超微細加工技術)素材の単層カーボンナノチューブ(筒状炭素分子)を蛍光樹脂に均質に分散した。交流の電流を流すことで電子と電子の穴(ホール)の対が効率よく発生し、明るく光るようになった。
LEDシーリングライト——大手、「聖域」死守へ氣勢(攻防デジタル市場)	日経産業新聞	2011年2月3日	パナソニック東月参入 付加価値高め収益源に 発光ダイオード(LED)照明でシーリングライト市場の攻防が激しくなってきた。シャープが昨年9月、東芝が同12月に発売したのに続き、パナソニックが今年3月に参入する。海外・新興メーカーが次々と参戦するLED電球などに比べ技術的な参入障壁が高い同市場。大手メーカーが照明市場で残された「聖域」の死守に意気込む。
LED照明、中国参入へ、アイリスオーヤマ、「大連工場生かす」。	日本経済新聞 地方経済面	2011年2月3日	生活用品製造卸のアイリスオーヤマ(仙台市)の大山健太郎社長は2日仙台市で講演し、重点事業と位置付けている発光ダイオード(LED)照明の中国での販売を始める方針を明らかにした。中国市場への参入時期や具体的な商品などは今後詰める。
LED照明、中国参入へ、アイリスオーヤマ、「大連工場生かす」	日本経済新聞	2011年2月3日	生活用品製造卸のアイリスオーヤマ(仙台市)の大山健太郎社長は2日仙台市で講演し、重点事業と位置付けている発光ダイオード(LED)照明の中国での販売を始める方針を明らかにした。中国市場への参入時期や具体的な商品などは今後詰める。アイリスオーヤマは現在、主に中国・大連の工場で家庭用やオフィス向けのLED照明を製造し、日本で販売している。大山社長は「今後中国が最も大きなLED市場になる可能性がある」と指摘。「大連で生産している利点を生かしたい。日本向けには日本の自社工場でも生産を広がっていくことになるだろう」と語った。
大阪・豊中市、本庁舎ロビーなどにLED照明	日刊工業新聞	2011年2月3日	大阪府豊中市は来庁者が多く訪れる本庁舎ロビーや玄関、議会棟周辺などの照明器具を、蛍光灯からLEDに変更した。これにより消費電力は蛍光灯使用時の約3分の2となり、年間CO2排出量を約200キログラム削減できる。変更したLEDは、計136個。「初期投資額が高いなどのネックはあるものの、PR効果を優先した」(環境部環境政策室)。投資額は約470万円。2010年度内に、このほか市内の緑道3か所で照明のLED化の計画があるという。豊中市は20年度に、一人あたりの温室効果ガス排出量を90年度比20%減らす目標を掲げている。これに基づき太陽光発電装置取り付けの補助金制度や、商店街で使うエコポイント制度などを実施。
LEDシーリングライト——大手、「聖域」死守へ氣勢(攻防デジタル市場)	日経産業新聞	2011年2月3日	LED照明でシーリングライト市場の攻防が激しくなってきた。シャープが昨年9月、東芝が同12月に発売したのに続き、パナソニックが今年3月に参入する。海外・新興メーカーが次々と参戦するLED電球などに比べ技術的な参入障壁が高い同市場。大手メーカーが照明市場で残された「聖域」の死守に意気込む。「蛍光灯のシーリングライトでトップなので、LEDでも製品の完成度にこだわった」。パナソニックの中島幸男アプライアンス・ウェルネスマーケティング本部長は、3月に投入するLEDシーリングライトへの意気込みをこう語る。
経済産業省、国際標準化に13テーマ、LED関連など重点	日刊工業新聞	2011/2/7	経済産業省は今後の経済成長を担う重要産業の中から、技術の国際標準化作業で日本が主導して取り組むべきテーマを選定した。安全性や性能評価方法など13テーマを決め、LED照明など7テーマは新たに11年度から3年かけて国際標準化に取り組む。メーカー任せとなっているLED照明の光量の測定方法など。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED照明効果、事務所使いPR／仙台・アイリスプラザ／発光ダイオード	河北新報	2011年2月7日	LED照明の製造・販売に力を入れるアイリスオーヤマは、通信販売子会社のアイリスプラザの事務所をLED導入のモデルオフィスとして活用することにし、照明の一部を蛍光灯から自社のLED製品に切り替えた。LED照明にしたのは仙台市青葉区北目町の自社ビル2階。オフィス向けの直管型80本を取り付けた。同社によると、蛍光灯を使う場合と比べて年間5万円の電気代を節約でき、約1トンの二酸化炭素の排出削減効果があるという。3階の事務所は蛍光灯のままとし、LED照明の2階と比較できるようにした。
急成長するLED市場の死角	日経ビジネス	2011年2月7日	LED照明が普及する一方で、品質上のトラブルも増えている。札幌市役所では、市職員が目の不調を訴えて交換する事態に。背景には、LED照明に関する規格や安全基準の不備がある。LED(発光ダイオード)照明市場が急拡大している。日本電球工業会によると、2009年度に約380万個だった出荷個数が、2010年度には約1300万個まで急増する見込みだ。当初は家庭などで使う電球形が市場を牽引したが、昨年から事務所などで使う細長い直管形が増えている。
コイズミ照明／飲食店向けLEDペンダント発売／信楽焼とカラーガラスの2シリーズ	日刊建設工業新聞	2011年2月8日	コイズミ照明は、飲食店向けのLEDペンダントを発売した。信楽焼の製法を取り入れた陶器セードの「信楽焼」と、色鮮やかなガラスを用いた「カラーガラス」の2シリーズ。店舗オーナーや照明デザイナー、デザイナー・設計事務所、店舗内装会社などを対象に販売活動を展開する。信楽焼LEDペンダントは、伝統技術を継承する信楽焼の窯元が製造を手掛け、仕上りの質感にこだわったシリーズ。「白粉引き仕上げ」や「黒いぶし仕上げ」など5タイプをそろえ、信楽焼特有の温かみのある色味や素材感が「わびさび」の趣を醸し出す。フレネルレンズを使用し、100度の広角配光を実現している。
宇宙マテリアルズ、新規のLED向け青色蛍光体開発	化学工業日報	2011年2月8日	宇宙マテリアルズは、従来に比べ発光強度を2倍以上に向上させた新たなLED向け青色蛍光体を開発した。マグネシウムやケイ素などを主成分とした複合酸化物に発光元素であるユーロビウムを添加し、同社独自の気相法マグネシア(酸化マグネシウム)などを出発原料に使用。これにより、高輝度な青色蛍光体の製造を可能にするとともに、演色性に優れた次世代型白色LEDの青色蛍光体として発光効率の向上に寄与する。さらに、高温時における輝度劣化の抑制も実現した。今後、LED照明用途をターゲットにサンプル出荷を推進し、早期の本格展開に乗り出す方針だ。
ソニーCID、LED照明用の熱伝導性両面粘着テープ開発	化学工業日報	2011年2月8日	ソニーケミカル&インフュージョンデバイスは、LED関連製品強化の一環として、LED照明の熱対策に適した新たな熱伝導性両面粘着テープを開発した。塵埃事業所において生産を行い、4月以降販売を開始する計画だ。LED照明やLEDテレビなど、LED関連製品が本格普及期を迎える状況において、その関連部材をタイミングよく供給することにより、同事業を拡大していく考え。現在開発を進めている粘着テープ「UT6530ML」は、LEDバックライトやLED照明器具のバックシャーシやヒートシンクの部位の固定などへの利用を見込んでいる。素早く熱を伝える熱伝導性の高い強力粘着タイプで、柔軟性やクッション性に優れている。
用途広いLED屋外照明、岩崎電気(新製品)	日経MJ(流通新聞)	2011年2月9日	岩崎電気(048・554・1124)の発光ダイオード(LED)の屋外用照明「レディオックフラッドブリッツ」 百貨店やショッピングセンターなどで垂れ幕を照らす用途をはじめ、大型施設のライトアップ、広場や駐車場のエリア照明、スポーツ競技の照明としても幅広く使える。
光と音で演出、有機EL照明、山形大発VBのOLC、米沢市に納入。	日本経済新聞 地方経済面	2011年2月9日	山形大学発ベンチャーのオーガニックライティング(OLC、山形県米沢市、後藤芳英社長)は有機EL(エレクトロルミネッセンス)を使った高さ約3メートルのタワー型照明器具を開発した。1号機は米沢市に納入する。有機ELパネルはルミオテック(米沢市)製で小泉創芸(同)が協力するなど「オール米沢」で製品化にこぎ着けた。技術力をアピールし、次世代照明普及につなげる。
用途広いLED屋外照明、岩崎電気(新製品)	日経MJ	2011年2月9日	岩崎電気(048・554・1124)の発光ダイオード(LED)の屋外用照明「レディオックフラッドブリッツ」 百貨店やショッピングセンターなどで垂れ幕を照らす用途をはじめ、大型施設のライトアップ、広場や駐車場のエリア照明、スポーツ競技の照明としても幅広く使える。中角、広角の3種類から配光角を選ぶことができ、場所や用途に適した照明効果が得られる。消費電力が230ワットと460ワットの2種類。460ワットの場合、垂れ幕などの照明として使われる1キロワットメタルハラドランプと同等の明るさを確保しながら、消費電力を約56%削減できる。年間4000時間使用した場合、10年間ランプ交換が必要。
光と音で演出、有機EL照明、山形大発VBのOLC、米沢市に納入	日本経済新聞	2011年2月9日	山形大学発ベンチャーのオーガニックライティングは有機ELを使った高さ約3メートルのタワー型照明器具を開発した。1号機は米沢市に納入する。有機ELパネルはルミオテック製で小泉創芸が協力するなど「オール米沢」で製品化にこぎ着けた。技術力をアピールし、次世代照明普及につなげる。「E-L-Tower」は高さ約280センチ、幅・奥行きが各88センチ、長方形パネル40枚を中心に厚さ2・1ミリのパネルを計45枚使い、5段のタワー構造に組み上げた。様々な自動点滅パターンがプログラムできるほか、スピーカー内蔵で光と音を駆使した演出も可能という。価格は約300万円。
シャープ、照明用LEDデバイス量産、業界最高発光効率91lm/W	電波新聞	2011/2/10	シャープは、25Wクラスで業界最高の発光効率91lm/W、全光束2370lmと太陽光に近い自然な柔らかな光の演色評価数Ra83を実現した照明用LEDデバイスを開発した。35Wセラミックメタルハラド電球並みの明るさを同電球より20%少ない25Wの消費電力で得られる。15Wクラスも取り揃え、3月より月産10万個で量産開始。店舗・商業施設のスポットライトやダウンライトの業務用LED照明用として灯具メーカーに供給する。
シャープ、店舗照明用LED、25ワットクラスで発光効率最高	日経産業新聞	2011年2月10日	シャープは店舗用スポットライトなどの光源向けに発光ダイオード(LED)を開発した。25ワットクラスで発光効率が業界最高という。一般的な自然電球60ワット相当の約3倍にあたる2370ルーメンの明るさを出力できる。省エネや長寿命などの利点を生かし、照明器具メーカー向けに売り込む。3月から量産する。業務用のメタルハラド電球で35ワットの明るさに相当。自然光への近さを示す演色評価数は83で商品の色を自然な色で照らす。寿命は4万時間、サンプル価格は3000円。15ワットクラスの製品も発売。サンプル価格は2000円。
東芝ライテック、LEDシーリングライト	日経産業新聞	2011年2月10日	東芝ライテックは、発光ダイオード(LED)シーリングライトを昨年12月に発売した。リビングルームや寝室、子供部屋など部屋の天井に原則1つは備え付けるシーリングライトは、消費者にとってなじみ深い明かりの1つ。同社は2011年を住宅用照明の主役を省エネ光源に切り替える「LEDシーリングライト元年」と位置付けて、拡販に努める構えだ。家電量販店で売り出したのは6畳、8畳、12畳と部屋の広さに応じて明るさが異なる3機種を用意。それぞれ外枠の色が白と茶の2種類をそろえる。店頭実勢価格は3万5000～5万5000円。量販店のほか、住宅メーカーなど法人ルートでも販売している。
三菱化学メディア、有機EL照明パネルをイタリアの展示会に出展	化学工業日報	2011年2月10日	三菱化学メディアは9日、このほど量産に成功した調色・調光型有機EL照明パネル「ヴェルヴ」を子会社の英バーベイトムを通じて、4月にイタリアで開催される展示会「フオーリ・サローネ」に展示すると発表した。有機EL照明は、面光源、超薄型、形状に制約がないなどの特徴を生かし、独創的な照明表現が可能。今回の展示会では、パネルサイズ1.4×1.4センチメートルのヴェルヴの有機EL照明で装飾を行っている。三菱化学メディアの親会社である三菱化学とバイオニアは昨年、有機EL照明に関する業務提携および資本提携に合意。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
札幌のホテル、婚礼施設テコ入れ センチュリーロイヤルなど	日本経済新聞	2011年2月10日	札幌市内のホテルが相次ぎ婚礼サービスを強化する。センチュリーロイヤルホテルは今春チャペルを改装し、京王プラザホテル札幌も花嫁専用の控室を新設する。邸宅風施設を特徴とするハウスウエディング大手が市内に新店舗を開業するなど競争が激化。各ホテルは婚礼関連の販促が活発になる春に向けて、老朽化した施設を見直し、サービス面もテコ入れする。センチュリーロイヤルホテルは3月、館内のチャペルを改装する。壁紙などの内装を白に統一するほか、パーズロードには有機ELの照明を埋め込み、新婦の入場に合わせて床が光るようにする。
LED電球——パナソニック脚光、1・2位、光の色に違い(ヒットを狙え)	日経MJ(流通新聞)	2011年2月11日	昨年、急速に普及した発光ダイオード(LED)電球。価格の下落が進んでいるうえ、10年交換不要という長寿命と、通常の白熱電球に比べ消費電力が7分の1程度という省エネで消費者に受け入れられつつある。売れ筋ランキングでは「明るさ」にこだわったパナソニックが1、2位を独占。人気製品が照らす新市場は、今後も拡大が見込まれ視界良好といえそうだ。
熊本県、有機EL、九大と連携、製品開発や人材育成、関連産業九州集積狙い。	日本経済新聞 地方経済面	2011年2月11日	九州大学と熊本県は有機EL(エレクトロルミネッセンス)の技術開発で連携する。九大の材料技術を熊本県内の企業に移転するほか、同県が開発する有機EL製品の試作・評価施設を活用した製品開発や人材育成に取り組む。有機EL照明を手掛ける地元企業とも協力し、九州に有機ELの関連産業を集積させる狙いだ。
九大・熊本県、有機ELで連携協定、製品開発や人材育成	日経産業新聞	2011年2月11日	【福岡】九州大学と熊本県は有機エレクトロルミネッセンス(EL)の技術開発で連携する。九大の材料技術を熊本県内の企業に移転するほか、同県が開発する有機EL製品の試作・評価施設を活用した製品開発や人材育成に取り組む。有機EL照明を手掛ける地元企業とも協力し、九州に有機ELの関連産業を集積させる狙いだ。熊本県などが今月設立する「くまもと有機薄層技術高度化支援センター」。支援センターには有機ELを使った機器の試作や評価ができる設備が整い、地元企業や大学が研究開発に活用する。
放熱特性改善LED電球：パナソニック・ライティング社開発	科学新聞	2011年2月11日	パナソニック(株)ライティング社は、独自の熱解析技術を用いて、放熱特性を改善したLED電球を開発した。LED代替ができなかった断熱材施行器具にも対応できるもので、業界初である。LED電球は、LED自体からの発熱による温度上昇で、LEDの発光効率が低下して暗くなったり、寿命が極端に短くなったりする特性劣化を起こすことがある。そのため、LED自体からの発熱をどのように抑えるかという放熱対策が製品の優劣を大きく左右しており、現状では、周囲温度が厳しい条件下では使用できない場合もある。
米沢市 JR米沢駅に有機EL照明のモニュメント設置 “オール米沢” 態勢で製造、魅力PRへ	山形新聞	2011年2月12日	米沢市は11日、JR米沢駅に有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルを使用したモニュメント「EL-Tower(イーエル・タワー)」を設置した。量産化が進む有機EL照明をPRし、駅利用者には「有機ELのまち・米沢」を売り込む。イーエル・タワーは高さ205センチ、幅と奥行きは88センチ。厚さ2・3ミリの照明パネルを45枚使用し、駅改札口前コンコースに展示した。さまざまな自動点滅パターンを記憶させたプログラムを採用し、優しい光が織りなす近未来的な照明の魅力を楽しめる。
学研都市 照らすエコ街灯 LEDと太陽光発電	京都新聞	2011年2月12日	精華町と京田辺市の関西学研都市エリアで府がこのほど、LEDと太陽光発電で点灯する省エネ対応の街灯を計21基設置した。学研都市で府などが実施する「けいはんなエコシティ推進プラン」に基づき、府が環境対策を広げるモデルとして約1700万円を整備した。街灯は、高さ約3・5メートルの鉄柱にLEDの照明器具(約40ワット相当)と発電用のパネルを備える。府が設置する街灯で初めて、蓄電用の装置は鉄柱に外付けせず、照明器具の内部に収納するタイプを採用し、周囲の景観にも配慮した。精華町内では精華大通りの歩道(精華台)と、けいはんなプラザ(光台)の周囲にそれぞれ8基ずつ設置。
東芝ライテック、LED投光器6機種発売、大幅に薄型化	電波新聞	2011/2/15	東芝ライテックは、水銀ランプ400W形を搭載した投光器とほぼ同等の明るさを実現した「E-CORE(イー・コア)」LED投光器6機種を21日から発売する。配光は、狭照・中照・広照の3タイプ。専用電源との組み合わせで水銀ランプ400W形と250W形投光器の2種類の明るさに対応する。
LED照明、光ムラなく、オプティカルソリューションズ、拡散板、成形品で。	日経産業新聞	2011年2月15日	光学部品メーカーのオプティカルソリューションズ(東京・千代田、関英夫社長)は光のムラをなくす拡散板を、顧客の要望に応じた成形品に仕上げ提供する事業を始める。照明メーカーなど顧客は発光ダイオード(LED)照明に組み込めば、光がきれいに広がる製品を簡単に作れる。2012年9月期に約1億円の売上高を目指す。
東芝ライテック、400Wの水銀ランプ並みLED投光器発売	日刊工業新聞	2011年2月15日	東芝ライテックは、水銀ランプ400ワット形を搭載した投光器とほぼ同等の明るさを実現した発光ダイオード(LED)投光器「イー・コア」6機種を21日に発売する。実勢価格は器具と電源あわせて25万円前後。自治体向けのほか、工場や倉庫など幅広く提案する。年間2500台販売する。器具の光束は6980ルーメンから1万2020ルーメンまでを用意した。光源寿命は6万時間で、従来の水銀ランプ400ワット形と比べて約5倍長寿命化した。専用電源の組み合わせにより、水銀ランプ400ワット形と250ワット形の2タイプの明るさが選択できる。
LED照明、光ムラなく、オプティカルソリューションズ、拡散板、成形品で	日経産業新聞	2011年2月15日	光学部品メーカーのオプティカルソリューションズ(東京・千代田、関英夫社長)は光のムラをなくす拡散板を、顧客の要望に応じた成形品に仕上げ提供する事業を始める。照明メーカーなど顧客は発光ダイオード(LED)照明に組み込めば、光がきれいに広がる製品を簡単に作れる。2012年9月期に約1億円の売上高を目指す。近く販売を始めるのは、光を通すとムラがなくなる「レンズ拡散板」の成形品。例えば顧客がダウンライトのカバーに拡散板を使う場合、オプティカルソリューションズがあらかじめ大きき形を合わせたり、ねじをはめ込む穴などを設けたりする。熱に強い樹脂を使うなど、素材も顧客の要望に合わせて提供する。
「省エネ照明アワード」最優秀に根津美術館 21件の事例表彰／環境省	電気新聞	2011年2月15日	環境省は14日、都内で10年度の「省エネデザイン照明アワード」表彰式を実施した。「省エネデザイン照明フォーラム」の一環として、今回初めて行われた。オフィスの二酸化炭素排出量の約2割を占める照明部門での省エネ推進を目指し、LED(発光ダイオード)などを活用した21件の優秀事例が表彰された。表彰に先立ちあいさつした松本龍環境相は、「環境配慮はあらゆる産業に欠かせない要素となっているが、今回選ばれた優秀事例はどれも先駆的で大きな力となる技術だ」として、成果の水平展開に期待を示した。
米沢市 ドイツの視察団が山形大工学部を訪問 有機ELについて情報交換	山形新聞	2011年2月15日	産学官が一丸となって有機エレクトロニクスの国際拠点づくりを進めるドイツ・ザクセン州の視察団が14日、米沢市の山形大工学部(大場好弘学部長)を訪れた。ザクセン州はドレスデン工科大を核とした国家的な有機エレクトロニクスプロジェクトの中心地。国の研究施設に加えてベンチャー企業群も形成され、基礎研究から実用化、産業化までを含む一体的な取り組みが行われている。研究開発分野を中心に1200人の雇用を生み出すなど、着実な成果を挙げている。同分野の卓越研究者が集う山形大工学部や米沢市とはライバル関係にあり、州関係者や国の研究機関、ベンチャー企業の担当者ら24人が「敵情視察」に訪れた。
東和産業、コンパクト蛍光灯 代替LED照明を販売開始	日刊工業新聞	2011/2/16	東和産業株式会社ではコンパクト蛍光灯(FPL型、FHP型)照明器具に取付可能なLED照明を2011年2月より販売開始。既設のFPL型(36W、55W)FHP型(32W、45W)蛍光灯器具に装着可能。蛍光灯と同等の照度と電力消費最大56%削減、長さの違う20Wと24Wとご使用の現場雰囲気に合わせて白色、温白色の2つのバージョンを用意。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
カネカ、来月、5色の有機EL照明発売。	日本経済新聞 朝刊	2011年2月16日	カネカは15日、白、赤、青、緑、オレンジの色に光る5種類の有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネル=写真=の販売を始めると発表した。同パネルを多色展開するのはカネカが世界で初めて。国内で3月22日、欧州では4月中旬にも発売する。外食店舗やホテル、高級住宅などでの利用を見込む。2015年までにパネルの生産能力を現在の10倍となる10万平方メートルに増強する計画だ。
消費者310人に聞く、購入したいLED電球は？(日経デザインブランド向上委員会)	日経MJ(流通新聞)	2011年2月16日	パナソニック過半「明るさ」わかりやすく 発光ダイオード(LED)電球の需要が急拡大している。長い寿命で省電力なことに加え、低価格化が進んだことで白熱電球の代替として普及し始めたことが要因だ。 通常の家電商品は店頭では商品がむき出しの状態に陳列されていることが多いが、電球のような消耗品は箱のパッケージの中に入ったまま並べられている。それだけに、パッケージを通じて中身をどのように訴求し、来店客とコミュニケーションできるかが消費者の心をつかむための鍵となる。
東芝ライテック、寿命6万時間のLED投光器(フラッシュ)	日経産業新聞	2011年2月16日	東芝ライテックは発光ダイオード(LED)を光源にした公園やビルの壁を照らす投光器6機種を21日に発売する。「LED5-15401WW」は従来の水銀ランプに比べ消費電力を65%抑えられるほか、寿命が5倍に延びる。本体と電源ユニットと合わせた参考価格は25万円。400ワットの水銀ランプとほぼ同等の明るさで、消費電力は従来の415ワットから144ワットに削減できる。寿命は6万時間に延ばせる。
消費者310人に聞く、購入したいLED電球は？(日経デザインブランド向上委員会)	日経MJ	2011年2月16日	発光ダイオード(LED)電球の需要が急拡大している。長い寿命で省電力なことに加え、低価格化が進んだことで白熱電球の代替として普及し始めたことが要因だ。通常の家電商品は店頭では商品がむき出しの状態に陳列されていることが多いが、電球のような消耗品は箱のパッケージの中に入ったまま並べられている。それだけに、パッケージを通じて中身をどのように訴求し、来店客とコミュニケーションできるかが消費者の心をつかむための鍵となる。
有機EL 次世代照らす 照明量産計画続々 カネカ来月受注開始	大阪読売新聞	2011年2月16日	有機EL(エレクトロルミネッセンス)の技術を使った照明の開発競争が加速してきた。化成大手のカネカはパネルの受注販売を3月22日に始め、本格生産に乗り出す。省エネ性能に優れ、LED(発光ダイオード)と並ぶ次世代照明の本命と期待されており、量産で低価格化が進めば普及に弾みがつきそうだ。「照明のスタイルを根本的に変える可能性を秘めている」。カネカの菅原公一社長は15日に東京都内で開いた記者会見で、有機EL照明の革新性を強調した。赤や青など世界初の5色展開で、デザイン性を重視する店舗用などの需要を見込む。
有機EL、未来照らす	日経産業新聞	2011年2月16日	未来を照らす5色の光——カネカは15日、5色の有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルを3月22日に発売すると発表した。白、赤、青、緑、オレンジ色のパネルで、有機EL照明用で多色展開するのは世界初という。薄型で軽量、高いデザイン性などの特長を備え、外食店舗やホテル、高級住宅向けに需要を開拓する。有機EL照明は発光ダイオード(LED)照明と並び、省エネ型の「次世代照明」と期待されている。ガラス基板の上に塗布した有機物に電圧をかけると発光する仕組みで、太陽電池の開発で培った薄膜形成技術に応用した。
岩崎電気、樹脂製LEDランプ、白色追加(フラッシュ)	日経産業新聞	2011年2月17日	岩崎電気は帝人と共同開発して、ロ金をのぞく外装をすべて樹脂製にした業界最軽量のLEDランプ「レディオック LEDアイランプ」で、発光部の周囲を白色にした新製品を発売した。写真。水銀ランプの代替品として2010年12月に黒色の製品を発売して以降、販売が好調なため、新色を追加した。屋内外の照明として用途拡大を見込む。2色合計で年間3万本の販売を目指す。
カネカ、有機EL照明デザインコンペの表彰式を開催	化学工業日報	2011年2月17日	カネカはこのほど、有機ELパネルで製作したオブジェを対象とした「OLEDデザインコンペティション2010」の表彰式を都内のホテルで開催した。この企画は、デザイン照明分野における有機ELの用途開拓を推進するためのもの。昨年10月から今年1月までに応募された496件の作品の中から大賞作品を含む6件が選ばれた。評価ポイントは、自由なデザイン設計が可能という有機ELの特徴を最大限に生かし、照明機器のスタイルの変革につながる作品であること。
パナ電工、個別調光可能なLEDライト発売	日刊工業新聞	2011年2月18日	パナソニック電工は17日、美術館・博物館向けの個別調光機能内蔵発光ダイオード(LED)スポットライトを3月1日に発売すると発表した。LED光は紫外線や赤外線を含みませんが、変色による展示物の損傷を抑えることが可能。個別で調光できるため、展示品に最適な照明を演出できる。従来のミニハロゲン電球用器具と比べて約85%の消費電力削減を見込める。価格は3万2650—4万7250円。2011年度に年間1万台の販売を目指す。
フィリップス/店舗向けLED充実/食品ごと染色性向上	建設通信新聞	2011年2月18日	フィリップスエレクトロニクスジャパンは、スーパーマーケットなど店舗用LEDモジュールのラインアップを充実させている。消費電力を低減するだけでなく、生鮮食品の種類にあわせて染色性を高めるダウンライトモジュールや施工性に配慮したLED製品など、幅広い商品群をそろえた。同社のLED照明は、店舗の消費電力を抑えるほか、染色性や熱の発生抑制にもつながり、生鮮食品を扱うスーパーマーケットなどで効果を発揮する。ダウンライトモジュール「フォルティモLED」シリーズは、蛍光体を練り込んだ拡散板を使うため、一般的なLEDと異なり「目玉」が見えず、均一でやわらかな光を生み出す。
防犯灯2600基LED化 年内に庄原市 総事業費9000万円	中国新聞	2011年2月19日	庄原市は、市内の防犯灯約2600基をLED化する。中国電力が3月末で電球の無料交換サービスを終了するため、維持費が安く長寿命な照明に変更。年内に整備を終える予定。市内の防犯灯は市管理分が約900基、自治組織管理分が約2200基ある。このうち当面、市管理分428基と、自治組織管理分全てを、地域バランスや老朽化の度合いを考慮しながら変更する。総事業費は9千万円。財源は国からのきめ細かな交付金を充てる。市によると、蛍光灯タイプの防犯灯は寿命が2、3年なのに対し、LEDは約10年。さらに電球代も1基につき1カ月約80円安い約190円で済み、地元負担の軽減につながるという。
パナソニック電工、美術館・博物館向け個別調光機能内蔵LEDスポットライト発売	電波新聞	2011/2/21	パナソニック電工は、EVERLEDS「美術館・博物館向け個別調光機能内蔵LEDスポットライト」を3月1日から発売する。器具本体に調光機能がついているため、それぞれの展示に合った最適な演出照明が可能となる。展示物の色も忠実に再現する高い演色性(Ra92)も実現した。
九州大、有機EL材、希少金属含まず。	日本経済新聞 朝刊	2011年2月21日	九州大学の安達千波矢教授らは、有機EL(エレクトロルミネッセンス)用の新しい発光材料を開発した。現在の材料はイリジウムなどのレアメタル(希少金属)を含むが、新材料はすべて有機物。製造がより簡単でコストが下がる。次世代の有機EL用の中核材料になるとみている。
大阪市工研、次世代光デバイス評価支援センター設置、LED産業支援	化学工業日報	2011年2月21日	大阪市立工業研究所は今春、「次世代光デバイス評価支援センター」を立ち上げる。関西では初めて、発光ダイオード(LED)を活用した照明器具などの性能評価を総合的に行える研究機関となる。LEDチップ単体から最大120センチメートルの直管型蛍光灯、液晶ディスプレイといった、さまざまなLED関連製品の光学特性の測定や品質評価が行える。中小企業を中心に支援し、関西だけでなく全国から利用を募り、LED照明器具などの製品化に貢献していく。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
朝晩の空の色、LEDで再現、日本PA&D、介護施設向け	日経産業新聞	2011年2月21日	LED照明の日本PA&Dは空を模したパネルにLEDを組み付けて天井に設置する“人工の空”を開発し、月内をメドに発売する。発熱を抑えた無段階調光式のLEDを活用し、時刻に応じた明暗を再現できるという。自社販売のほか、NECネットワークスを通じて介護施設やホテルなどに売り込む。新製品は、通常はLED照明に組み込んである電源機能を外部に独立させ、発熱によるひび割れなどパネルへの悪影響を抑えた。また、この電源部には交流と直流を混ぜ合わせて発生させる特殊電源を採用。光量を1～100%の範囲で安定して変えられるよう工夫した。基本セットの価格は120万円前後を想定しており、年間80セットの販売を目指す。
リビング用LED照明——「光の味わい」普及のカギ	日経産業新聞	2011年2月21日	今年は家庭用の発光ダイオード(LED)照明市場が活性化しそうだ。けん引役となるのがリビング用の天井設置型シーリングライト。昨年9月にシャープが「エルム」、昨年末には東芝ライテックが「イー・コア」を発売。今年3月にはパナソニックが「エバーレックス」を発売予定で、大手3社がついに顔をそろえる。LED照明は長寿命(約4万時間)、省電力という利点はすでに知られているが、光源が小粒なので、照明本体が薄く(最薄部平均が約4センチ)、リビングへの収まりもいい。
九州大、有機EL材、希少金属含まず	日本経済新聞	2011年2月21日	九州大学の安達千波矢教授らは、有機EL(エレクトロルミネッセンス)用の新しい発光材料を開発した。現在の材料はインジウムなどのレアメタル(希少金属)を含むが、新材料はすべて有機物。製造がより簡単でコストが下がる。次世代の有機EL用の中核材料になるとみている。新材料は「PIC-TRZ」といい、カルバゾールとリアジンという2種類の有機物を組み合わせた。放熱で失う発光のためのエネルギーを、蛍光に変える性質がある。この有機材料で試作した薄膜素子に電流を流すと、波長が約500ナノ(ナノは10億分の1)メートル前後の緑色に光った。現在の有機ELは「りん光」という発光原理を用いている。
IDEC——LED、独自戦略で攻勢、制御技術活用、工場などに(針路解剖)	日経産業新聞	2011年2月22日	制御機器大手のIDECが発光ダイオード(LED)照明の事業拡大に力を入れている。電機大手など競合が多数ひしめく市場で他社と違う特徴を出すため、得意の制御技術の高度化や「移動するシーリング」など目新しい手段を次々に繰り出す。2010年度の売上高は前年比20%増の20億円に達する見込み。12年度には30億円に拡大する。新幹線の新大塚駅から車で5分ほど。08年3月に完成したIDECのセールスオフィス(大阪市淀川区)は「世界で初めて(同社)館内のすべての照明にLEDを使用した建物だ。職場として使う一、さまざまな技術を検証する実験施設としての機能を持つ。
NECライティング、直管形LEDに参入—「JEL801」対応	日刊工業新聞	2011年2月22日	NECライティング(東京都港区、増田博行社長、03・6746・1500)は、オフィスや工場向けなどに、蛍光灯ランプの代替として使う直管形発光ダイオード(LED)ランプに参入する。今春を以て、日本電球工業会が定めた規格「JEL801」に対応した直管形LEDランプを発売する。昨年秋に同工業会の規格が制定されて以降、照明大手では、パナソニックと東芝ライテックが相次いで同規格に対応した製品を投入している。同規格に対応した製品が増えて、販売競争が激しさを増しそうだ。同工業会が定めた直管形LEDランプの規格「JEL801」は、全光束2300ルーメン以上、演色性80以上、口金L16などの基準を満たす必要がある。
太陽光電源LED街路灯を贈呈 北九州の会社、苅田町に福岡県	朝日新聞	2011年2月22日	電気機械器具や制御装置を製造販売する岡住工業が自社で開発したソーラー独立電源型のLED街路灯1基を苅田町に寄贈し、岡住美社長が21日、町役場で吉広啓子町長に目録を手渡した。街路灯は馬場小学校の校門前に設置された。岡住工業は行橋市内にも工場がある。岡住社長が「地元でこういう街路灯がありますので、ぜひ活用してほしい」と話すと、吉広町長は「環境にやさしい製品で、ありがたい。街路灯導入などの際の参考にさせていただきます」と礼を述べた。本体価格は約100万円。電源は太陽光電池で、最大出力160ワット。高輝度白色LEDを180個使い、日没から日の出まで、自動的に点灯する。
LEDの照度、模擬実験、オプティカルソリューションズ、器具設計用ソフト	日経産業新聞	2011年2月23日	光学部品メーカーのオプティカルソリューションズ(東京・千代田、関英夫社長)は照明を実際に使用したときの照度などをシミュレーション(模擬実験)できるソフトを発売する。照明器具の開発時に利用すれば試作品や実験回数を減らせ、開発期間やコストの削減につながる。発光ダイオード(LED)照明などを開発する照明器具メーカーへ年間100本の販売を目指す。発売するソフトは「照明シミュレーター CAD」で近く本格的な販売を始める。税別価格は49万8000円。ソフト開発のベストメディア(東京・中央)が開発した。
サイバーコイン、LED照明の新会社、3年後に100万本販売目標	日経産業新聞	2011年2月23日	ネット関連サービスのサイバーコインは、直管型発光ダイオード(LED)照明を扱う子会社「エバーレックス」を設立する。LED照明の製造や販売、保守などを手がけ、1年後に15万本、3年後に100万本の販売を目指す。資本金は9455万円。2月23日に会社設立を発表し、製品の販売も始める。販売する製品は3種類、いずれも既存の蛍光灯と同じ口金を採用し、蛍光灯器具にそのまま装着可能。ただし、器具側の電源部に簡単な工事が必要になる。主力は、オフィスで一般的に使われる、40ワット型で長さ120センチメートルの蛍光灯の代替を想定した低消費電力モデル。価格は1本当たり1万円。
有機EL 基盤技術でリード目指す=山形	東京読売新聞	2011年2月23日	県は2011年度当初予算で、有機EL関連として、10年度から1億円以上を積み増し、総額2億8834万円を計上した。昨年3月、これまで有機ELの基礎研究を担ってきた「有機エレクトロニクス研究所」が閉鎖され、同7月に「産学官連携有機エレクトロニクス事業推進センター」として開所したことに伴い、同9月補正で大増額した関連予算をほぼ同水準で維持した。予算の内訳は、センターの運営費が2億円余りと多くを占める。
戸田建設、軽量のLED投光器、環境配慮作業所向け調達	日刊工業新聞	2011/2/24	戸田建設は従来比4割軽量化し、9割省CO2できる軽量LED投光器「エコバン」をCO2を作業所に順次導入する。韓国メーカーから本体を調達、日本の工事事情に合わせて仕様を変更した。価格は28000円。
MARUWA、倉庫・体育館向けLED照明発売	日本経済新聞	2011/2/24	MARUWAは倉庫や体育館などに設置する高天井用のLED照明を3月1日に発売する。新商品「TAKATEN(タカテン)」は水銀灯400Wと同等の明るさで12万円前後の見込み。
オフィス照明、無線タグで自動点灯、三菱電、大幅節電の技術実証	日経産業新聞	2011年2月24日	三菱電機は23日、オフィス照明の消費電力を大幅に減らす技術の実証実験を4月から始めることを発表した。オフィス用の無線式タグを使って、利用者が入室すると、必要な部分の照明だけを自動で点灯する仕組み。同社では照明に使う電力量を従来より50%程度減らすことができると見込んでいる。実証実験は東京・千代田の三菱電機の本社内で12月まで実施する。電力消費削減の実績を計測するほか、使い勝手を見極める。オフィスのエネルギー負荷を軽減するシステムとして、実証実験の結果を見て商品化を検討する。オフィスの入室を管理するタグの新たな機能として付加する。
MARUWA、倉庫・体育館向けLED照明発売	日本経済新聞	2011年2月24日	MARUWAは倉庫や体育館などに設置する高天井用のLED照明を3月1日に発売する。水銀灯と同等の明るさで、配光設計の工夫などで低価格にした。消費電力などを大幅に削減でき、長く使用できることも特徴。2011年度に2万台の販売を目指す。新商品は「TAKATEN(タカテン)」で、明るさの異なる3種類の商品を用意した。配光設計の工夫や放熱技術の改良でLEDの素子を減らした。水銀灯と比較して3倍長く使用でき、10年経過しても70%の照度を維持できる。水銀灯400ワットクラスと同等の明るさの製品では、価格はオープンだが実勢で12万円前後の見込み。
LED照明、海外企業に中核部品、東芝が供給、脱・内需依存狙う	日本経済新聞	2011年2月25日	東芝はLED照明の中核部品を海外の照明器具メーカーに供給する。世界の照明業界は各国の地場メーカーが強く、これまで日本の照明大手は内需に依存してきた。東芝は中核部品を外販する新たなビジネスモデルで、照明でも海外に本格進出する。照明子会社の東芝ライテックがLED光源と電源を内蔵した中核部品「LEDライトエンジン」を、日米欧や中国の照明器具メーカーに3月から順次売り込む。器具メーカーがそれぞれ自社の器具と中核部品を組み合わせて、LED照明の完成品を顧客に販売する。光源と器具をつなぐ口金(ソケット)を、ロ金世界最大手の独BUBと開発した。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
大学大競争(2)「米沢モデル」に熱視線、産学連携、地域と一体(岐路の東北)	日本経済新聞	2011年2月25日	盛岡市の岩手大学工学部キャンパス、ここに本拠を置き超小型精密駆動装置を開発するアイカムス・ラボは、国内外の精密大手が注目するベンチャー企業だ。昨年後半には産業用の部品加工などロボット向けの小型駆動装置の量産に入った。ロボットの動作精度が上がるという関係者の間で期待を集めている。アイカムス電気の県内事業所に勤務していた片野圭二社長が、事業所閉鎖を受け起業を検討したのがきっかけ。片野氏に工学部の岩淵明教授らが協力し、高精度・長寿命を実現するプラスチック成型技術をもとに2003年に設立した。産学を地域社会が支える枠組みに発展させたのが、山形県米沢地域だ。
米沢市 有機エレクトロニクスの未来を考えるシンポジウム 新産業創出へ重点投資が必要、研究者ら指摘	山形新聞	2011年2月26日	有機エレクトロニクスの産業化を展望するシンポジウムが25日、米沢市の伝国の社置陽文化ホールで開かれた。大学の研究者、民間企業関係者双方から、新産業創出に向けた重点投資の必要性が指摘された。三変化学の山岡弘明OPV事業推進室統括部長が「有機薄膜太陽電池の開発と今後の展開」と題して基調講演。引き続き、世界で初めて照明用有機LEDパネルの量産出荷を開始したルミオテック(米沢市)の森田好彦取締役マーケティング部長と山形大の城戸淳二、時任静土両卓越研究教授を交えてパネルディスカッションを行った。
多色有機EL、カナカ先行、事業買収後、半年で実用化——世界展開へ提携も。	日経産業新聞	2011年2月28日	価格・薄さなお課題 カナカは有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルを3月22日に発売する。昨年9月に同製品の量産技術を持つベンチャー企業を買収してから、わずか半年。自前の薄膜技術と融合させ、有機EL照明の多色展開を世界で初めてスタートさせる。
小型のLED光源、東芝ライテック、全世界に供給。	日経産業新聞	2011年2月28日	東芝ライテックは電源を内蔵した発光ダイオード(LED)光源「LEDライトエンジン」を3月から全世界の照明器具メーカーに順次供給する。光源と器具をつなぐ口金(ソケット)の部分で、熱を逃がす新方式をドイツのメーカーと開発した。光源を薄く小さくできるので、様々な明り色や色などのラインアップをそろえられる。「LEDライトエンジン」は3月の欧州を皮切りに、米国や日本、中国など全世界の器具メーカーに販売する。明るさが1100ルーメン、1600ルーメンと2機種を用意し、色や光線の向きなども選べる。価格は1個1万円前後の見込み。
小型のLED光源、東芝ライテック、全世界に供給	日経産業新聞	2011年2月28日	東芝ライテックは電源を内蔵した発光ダイオード(LED)光源「LEDライトエンジン」を3月から全世界の照明器具メーカーに順次供給する。光源と器具をつなぐ口金(ソケット)の部分で、熱を逃がす新方式をドイツのメーカーと開発した。光源を薄く小さくできるので、様々な明り色や色などのラインアップをそろえられる。「LEDライトエンジン」は3月の欧州を皮切りに、米国や日本、中国など全世界の器具メーカーに販売する。明るさが1100ルーメン、1600ルーメンと2機種を用意し、色や光線の向きなども選べる。価格は1個1万円前後の見込み。
パナ電工11年度、LED照明の販売倍増	日本経済新聞	2011年2月28日	パナソニック電工は2011年度のLED照明器具の国内販売目標を10年度見込みの2倍にあたる360億円に設定する。店舗や施設などでLED照明の普及が想定以上に進んでおり、10年11月に発表した300億円の目標を2割上積みする。ダウンライトなどで明るさやデザイン性を高めた新製品を投入し国内シェア首位の座を固める。店舗向けのLED照明器具の販売が好調で、10年度の売上高も09年度比8割増の180億円となる見込み。期初の予想を3割上回る勢いのため、11年度の目標も上方修正する。蛍光灯に代わる直管形LEDランプなどを中心に、オフィスや倉庫、工場への採用を働き掛ける。
多色有機EL、カナカ先行、事業買収後、半年で実用化——世界展開へ提携も	日経産業新聞	2011年2月28日	カナカは有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルを3月22日に発売する。昨年9月に同製品の量産技術を持つベンチャー企業を買収してから、わずか半年。自前の薄膜技術と融合させ、有機EL照明の多色展開を世界で初めてスタートさせる。「当社の有機ELには照明を根本から変える可能性がある。今月15日の記者会見、カナカの首原公一社長は白、赤、青、緑、オレンジの5種類のパネルを前向きに強調した。その表情は、住友化学や三菱化学などと並み居る競合他社に先駆けて多色の照明パネルを実用化した自信にあふれる。
西日本高速、トンネル用LED灯開発、高松道で実験	日本経済新聞	2011/3/1	西日本高速道路会社は28日、トンネル用のLED照明灯を開発し、高松自動車道で3月14日から実証実験を始めると発表した。同社によると高松自動車道トンネル用のLED照明灯導入は全国初。環境負荷の軽減と同時に路面の見えやすさも向上するという。
LED灯、トンネル用開発、西日本高速、高松道で実験、「路面の見やすさ向上」	日本経済新聞	2011年3月1日	西日本高速道路会社は28日、トンネル用の発光ダイオード(LED)照明灯を開発し、高松自動車道で3月14日から実証実験を始めると発表した。同社によると、高松自動車道トンネル用のLED照明灯導入は全国初。環境負荷の軽減と同時に路面の見えやすさも向上するという。実験を通じて性能や運用コストなどを確認し、他の道路会社などへの販売も目指す。トンネル用LED照明灯の「NECOL-T」は西日本高速グループ会社の西日本高速道路エンジニアリング四国(高松市)、藤崎電機(徳島県阿南市)が共同開発し、愛媛大が協力した。
照明用LEDモジュール、シチズン電子が参入、電流変換省き小型化。	日経産業新聞	2011年3月2日	シチズン電子は照明用発光ダイオード(LED)のモジュール(複合部品)事業に参入する。電源回路や光の広がり調整するレンズを組み合わせた小型モジュールを開発。4月からまず欧州と中国で発売し、10月以降に日本と米国市場にも投入する。2013年度に100億円規模の事業に育てる考えだ。
照明用LEDモジュール、シチズン電子が参入、電流変換省き小型化	日経産業新聞	2011年3月2日	シチズン電子は照明用発光ダイオード(LED)のモジュール(複合部品)事業に参入する。電源回路や光の広がり調整するレンズを組み合わせた小型モジュールを開発。4月からまず欧州と中国で発売し、10月以降に日本と米国市場にも投入する。2013年度に100億円規模の事業に育てる考えだ。シチズン電子は現在、外部から購入したLED素子に電極や蛍光体を取り付けた照明用の白色LEDパッケージを生産、日本や欧州などで販売している。中小の照明器具メーカーから電源回路を組み込んだモジュール製品の要望が多いため、新たにダウンライト向けモジュールを開発した。
世界初の有機EL地球儀 最新の観測情報お届け/日本科学未来館	電気新聞	2011年3月2日	次世代の発光デバイス、有機ELの地球儀が登場——。日本科学未来館にある大型球体ディスプレイ「ジオ・コスモス」が有機ELパネル仕様となりリニューアルし、1日にテスト点灯が行われた。「ジオ・コスモス」は最先端の科学技術を紹介する同館のシンボル展示。地球温暖化シミュレーションなど地球環境に関する最新の観測情報などを表示し、疑似的に宇宙空間から地球を観察することができる。有機ELを使った球体ディスプレイによる地球儀は世界で初めての試みで、従来のLEDによるものに比べて解像度が10倍以上となり、球形がより美しく見えるようになったという。
ウシオライティング、オフィス向けLED参入、人や照度感知、個別に自動制御。	日経産業新聞	2011年3月3日	ウシオライティングは発光ダイオード(LED)照明でオフィス市場に参入する。人の有無や太陽光の強さに応じて照明器具の明るさを個別に自動制御するシステムを開発。消費電力の抑制につながる省エネシステムとして照明と一体で企業に提案する。まずは会議室やショールームなど特定の場所への販売を15日に開始。2011年度は1億円の売上高を目指す。
エルシード、LED、明るさ4割増、「ガの目」構造ヒント、基板に凹凸、反射抑制。	日経産業新聞	2011年3月3日	名城大発ベンチャーのエルシード(名古屋市中、神谷忠雄社長)は、発光ダイオード(LED)を3〜4割は明るくできる加工技術を開発した。ガの目の構造に似た凹凸を基板につけて光の反射を抑える。同じ明るさなら、消費電力を減らせる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
GSユアサ、LED照明を発売、住宅密集地の街路灯向け	化学工業日報	2011年3月3日	GSユアサは、道路幅の狭い住宅密集地の街路灯として最適なLED(発光ダイオード)照明を開発、4月1日から生活道路用照明シリーズ「RENO+mini(レノプラスミニ)」の新モデルとして販売を始める。道路幅7メートル以下の照明を設計基準としており、この条件で既存の80ワット水銀灯や70ワットの高圧ナトリウムランプタイプと同等の明るさを確保。電気代は最大で4割削減できるという。全国の自治体は経費削減を目指して管轄内に設置する街路灯などの省エネ対策に乗り出しており、同社もこうした需要を掘り起こす考え。初年度1万台の販売を目指している。
松山 LED照明で色づく松山城 ライトアップで幻想空間 / 愛媛	毎日新聞	2011年3月3日	松山城(松山市丸之内)が今、ほのかな青や桃色に色づいて、夜空に浮かんでいる。先月3日に取り換え工事が始まった、新しい発光ダイオード(LED)照明が、併用されている従来の白色の水銀灯とはひと味違う色味でお城をライトアップし始めたからだ。青、赤、緑の光の3原色を発するLEDの組み合わせで照らす新しい照明。放つ光線の色調は微調整中で、現在は水銀灯より青白い印象で、お城も青っぽく見えている。現在は、新しい照明と従来同様の水銀灯の補助照明を併用しており、近くでお城を見ると、LEDの青白い光と水銀灯の白い光の差がはっきり分かる。光りの加減で、なぜか桃色が紫のように見える城壁もある。
LEDランプ、NEC系も直管形、端まで光るタイプ投入。	日経産業新聞	2011年3月4日	NECライティングは直管形発光ダイオード(LED)ランプの市場に参入する。端までムラ無く光る独自の製品18品種を4月5日に発売。日本電球工業会が定めた規格に準拠した製品4品種も4月28日に売り出す。直管形LEDランプは昨年10月の規格策定を受け、パナソニック電工や東芝ライテックが参入しており、大手の競争が激化してきた。
東芝ライテック、GX53口金LEDユニットフラット形シリーズ搭載の「LEDブラケット」を発売	日経速報ニュース	2011年3月4日	東芝ライテック株式会社は、LED照明「E-CORE(イー・コア)」シリーズに、LEDユニットフラット形シリーズを自由に組合せて多彩に壁面を演出できる「LEDブラケット」4機種をリリース、4月1日から発売する。このたび発売する「LEDブラケット」は、GX53口金を採用したLEDユニットフラット形シリーズ(300～1200シリーズ)全てが適合する屋外用LED照明です。省エネ・長寿命はもちろん、目的や好みに応じて明るさや光色・配光が異なるLEDユニットフラット形を自由に組合せることで、従来光源を使用した器具では難しかった多彩な配光を実現することが可能です。ビルやマンションの壁面部分・外構周りなど、照明による演出の幅を広げます。
LEDランプ、NEC系も直管形、端まで光るタイプ投入	日経産業新聞	2011年3月4日	NECライティングは直管形LEDランプの市場に参入する。端までムラ無く光る独自の製品18品種を4月5日に発売。日本電球工業会が定めた規格に準拠した製品4品種も4月28日に売り出す。直管形LEDランプは昨年10月の規格策定を受け、パナソニック電工や東芝ライテックが参入しており、大手の競争が激化してきた。独自の製品は直管形ランプと器具を組み合わせ「シームレスLEDベース照明器具」。端まで光るので、複数つなげて使ったときに発光面が途切れない、きれいな天井照明を実現できるという。消費電力や器具の形状、色など18品種をそろえた。税抜き価格は2万5000円～9万円。年間3万台の出荷を見込む。
大修理進む姫路城 LEDで素屋根明るく 照明器具会社が寄付	神戸新聞	2011年3月5日	姫路城大天守を覆う素屋根(工事用建屋)南側を照らす照明が、水銀灯から発光ダイオード(LED)に変わった。素屋根全体が青白い光に覆われ、描かれた英物大の天守の絵も、くっきり見えるようになった。修理見学施設「天空の白(しら)窟(さぎ)」が26日にオープンするのを前に、照明器具製造会社「ドウエル アソシエイツ」(大阪市西区)の顧問が、姫路市に住んでいる縁で寄贈を提案。姫路市出身の営業部長、中村友(とも)律(のり)さん(37)らが同市の担当者に伝えた。
照明の発光効率、有機EL、蛍光灯並み—NECライティング、60ルーメン実現。	日経産業新聞	2011年3月7日	実用サイズ NECライティングは実用サイズで世界最高の発光効率を備えた照明用の有機EL(エレクトロルミネッセンス)パネルを開発した。有機ELは発光ダイオード(LED)に次ぐ省エネ照明として期待されるが、発光効率で蛍光灯やLEDに劣っていた。蛍光灯などに近い水準となり、普及に弾みが付きそう。開発した有機ELパネルは縦110センチメートル、横9.6センチメートル、厚さ2ミリメートル。黄色っぽい電球色で光る。発光効率は1ワット当たり60ルーメン。照明用として実用的な30平方センチメートル以上のパネルで世界最高という。実用サイズでこれまでの最高は同50ルーメンだった。同60ルーメンを超える例もあるが、数ミリ角など小さなサイズに限られていた。
LEDブラケット、ランプの明るさお好みで、東芝ライテック、取り換え自由。	日経産業新聞	2011年3月7日	東芝ライテックはビルやマンションの壁面に取り付ける発光ダイオード(LED)照明「LEDブラケット」=写真=4機種を4月1日に発売する。光源のランプを好きな明るさや色から自由自在に選べるようにした。照明を設置した後、必要に応じてより明るいランプに取り換えるなど使い勝手が上がる。年2000台の販売を目指す。
照明の発光効率、有機EL、蛍光灯並み—NECライティング、60ルーメン実現	日経産業新聞	2011年3月7日	NECライティングは実用サイズで世界最高の発光効率を備えた照明用の有機ELパネルを開発した。有機ELはLEDに次ぐ省エネ照明として期待されるが、発光効率で蛍光灯やLEDに劣っていた。蛍光灯などに近い水準となり、普及に弾みが付きそう。開発した有機ELパネルは縦110センチメートル、横9.6センチメートル、厚さ2ミリメートル。黄色っぽい電球色で光る。発光効率は1ワット当たり60ルーメン。照明用として実用的な30平方センチメートル以上のパネルで世界最高という。実用サイズでこれまでの最高は同50ルーメンだった。同60ルーメンを超える例もあるが、数ミリ角など小さなサイズに限られていた。
着脱OK、LED照明、点灯操作をリモコンで—ラプロス、災害時は懐中電灯に。	日経産業新聞	2011年3月8日	中古パソコン販売のラプロス(東京・千代田、金山和男社長)は取り外しができる発光ダイオード(LED)照明を開発する。通常は一般の照明として使い、災害時などにソケットから外して懐中電灯として使える。停電で室内が暗くならなくてもリモコンでスイッチを入れられるのが特徴だ。2011年5月にも販売する。非常時に使い勝手のいい新製品の開発で、LED照明の普及に弾みを付ける考えだ。
LED照明、「集積型」244種投入、パナ電工、光の質を向上。	日経産業新聞	2011年3月9日	パナソニック電工は発光素子を密集させた「集積型」と呼ぶ発光ダイオード(LED)照明器具244種類を4月から年末にかけて順次発売する。従来は住宅用の20種類だけだったが、今回は業務用も投入。ムラのない蛍光灯のような光が特徴で、2011年度に国内で計65億円の売り上げをめざす。11年度中に中国など海外でも発売する計画。
肉や野菜、自然な色で見えます、エイコー、業務用LED照明を開発。	日本経済新聞 朝刊	2011年3月9日	OA機器販売のエイコー(大阪市、山田五十一社長)は、スーパーの棚下や冷蔵ケースに用いる業務用LED照明に本格参入する。太陽光に近い光を再現し、肉や野菜などの商品が自然の色合いで見えるLED照明を開発。光の波長の違う光源を組み合わせ、顧客が希望する光をつくる。省エネや熱で商品が傷まない利点を訴え、店舗向けの需要を掘り起こす。
パナソニック電工、LED照明器具を244種	日本経済新聞	2011年3月9日	新型の発光ダイオード(LED)照明器具244種類を4月から年末にかけて順次発売する。発光素子を密集させることでLEDの課題だった光のムラを解消したのが特徴。住宅や店舗向けなどに供給、2011年度に国内で65億円の売上高をめざす。同年度中に中国など海外でも発売する計画だ。従来のように素子をバラバラに配置するのではなく、まとめて組み込むことでLEDの光特有の「粒々感」をなくした。
肉や野菜、自然な色で見えます、エイコー、業務用LED照明を開発	日本経済新聞	2011年3月9日	OA機器販売のエイコーは、スーパーの棚下や冷蔵ケースに用いる業務用LED照明に本格参入する。太陽光に近い光を再現し、肉や野菜などの商品が自然の色合いで見えるLED照明を開発。光の波長の違う光源を組み合わせ、顧客が希望する光をつくる。省エネや熱で商品が傷まない利点を訴え、店舗向けの需要を掘り起こす。蛍光灯型は通常、光源に1種類のチップしか使わないが、同社は5種類のチップを利用。これらを組み合わせ、光を調整し、例えば牛肉や野菜などがそれぞれ自然な色調に見えるようにする。計5億円を投じて、蛍光灯型で月産30万本の能力を持つ工場を新設し、顧客からの要望に即応する体制も整備した。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
ピージェービー、LED照明用の新ソケット開発	化学工業日報	2011年3月9日	ソケット専業メーカーのピージェービー(横浜市都筑区)はこのほど、発光ダイオード(LED)照明用の新ソケット「GH76p口金」を東芝ライテックと共同開発、全世界で販売を開始すると発表した。新開発の放熱構造口金により、LED照明の熱問題を解決。小型・薄型LED照明用の次世代型ソケットとして訴求する。この新製品は、パネ機能を持たせることで、ランプの装着時に適切な圧力をかける構造を採用した。この結果、放熱効果を最大限に高めることが可能となり、薄型・小型のLED照明でも1000ルーメン以上という明るさを実現した。
東芝が次世代照明をイタリアの展示会に出展 欧州で販売拡大	電気新聞	2011年3月9日	東芝は8日、4月にイタリアで開かれる展示会「ミラノ・サローネ」で「ユーロルーチェ」に、次世代照明システムを出展すると発表した。LED(発光ダイオード)など次世代照明事業の海外展開強化の一環。欧州でのブランド認知度を向上を図り、同事業での販売拡大を図る。照明機器展示会のユーロルーチェには、東芝として初出展となる。欧州で今後発売するLED電球やキャンドル型LED照明などの製品群を展示。ドイツのBUBと共同開発した次世代光源向け新ソケット「LEDライトエンジン」も出展する。
LED照明拡販へ開発加速 一粒タイプ、人感センサー…新製品続々	FujiSankei Business i.	2011年3月9日	消費電力が少なく環境性能が高いLED(発光ダイオード)照明の拡販に向け、関連メーカー各社が新製品の開発を加速させている。LEDは蛍光灯などよりも割高だが、長寿命、省エネが特長。住宅やオフィス向けの市場が今後、急拡大するのは確実で、蛍光灯からの「世代交代」が一気に進みそうだ。複数のLEDを使う従来品と比べ、光のムラや影の拡散などをした「一粒」タイプの新たなLED照明を提案するのは、パナソニック電工。同社は8日、この新タイプのLEDを4月21日から順次発売すると発表した。ダウンライトや外灯など幅広い品ぞろえで、家全体の照明の買い替え需要を促す。
ライティング・フェア開幕 過去最大規模258者が出展	電気新聞	2011年3月9日	日本照明器具工業会などは8日、東京・有明の東京ビッグサイトで「ライティング・フェア2011」を開催した。第10回となる今回は「あかりでチャレンジ 快適ライフと低炭素社会」をテーマに設定。LED照明を中心に、最新照明器具や光源を一堂に展示する。次世代照明への関心の高まりを反映し、大手照明メーカーから海外のベンチャーまで、過去最大規模となる258社・団体が参加。各社は独自技術の優位性を訴求した。三菱電機グループ、東芝グループ、日立アプライアンス、パナソニック電工など大手電機メーカーは、それぞれ幅広いラインアップのLED照明を展示した。
化学メーカー各社、有機ELパネルの意匠性をデザイナーに訴求	日刊工業新聞	2011年3月9日	三菱ケミカルホールディングスやカネカなどの化学メーカー各社は有機EL照明パネルの意匠性をデザイナーに訴求する活動を活性化している。照明の流行をリードするデザイナーらに有機ELを知ってもらい、パネルの販売促進につなげる。また、薄くて軽く、面で発光する有機ELの魅力を発信する。消費者のモノを選ぶ目は技術や機能に留まらない。新しい素材やデバイスの魅力を感性に訴えることも今後は重要になりそうだ。カネカは有機EL照明のデザインコンペを初めて開いた。同事業を担当する河野正彦上席幹部は、「デザイナーからの『使いたい』という声が増えることが、需要につながる」と開催の狙いを語る。
三菱重工が環境配慮型の独身寮竣工 有機ELなど最新機器導入	電気新聞	2011年3月9日	三菱重工グループの三菱エステートが東京都大田区に建設を進めてきたワンルームタイプの共同住宅「ディアレンス田園調布」が8日、竣工した。太陽光発電システムやLED(発光ダイオード)、有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明やヒートポンプ機器など最新の省エネルギー技術や製品を導入。屋上・壁面緑化も施すなど環境配慮型の住宅となっており、今後三菱重工社員向けの独身寮として利用される。敷地面積は約3650平方メートル、延べ床面積約6770平方メートルで、地上4階建ての西棟、地下1階、地上5階の東棟や管理棟で構成。居室数は220に及ぶ。09年10月に着工し、16カ月かけて建設した。
有機ELデザイン競う、照明展示会「ライティング・フェア」、LEDは直管形対応品。	日経産業新聞	2011年3月10日	東京ビッグサイト(東京・江東)で開催中の照明の総合展示会「ライティング・フェア2011」(主催・日本経済新聞社など)で、照明各社が有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明のデザインを競っている。本格的な普及期を迎えている発光ダイオード(LED)照明では交換可能な直管形が新しいテーマに浮上した。
三菱電機オスラムと日立アプライアンス、直管形LEDで新規格の認定依頼	日刊工業新聞	2011年3月10日	三菱電機オスラム(横浜市西区、津谷公三社長、045-323-5192)と日立アプライアンス(東京都港区、石津尚澄社長、03-3502-2111)は直管形発光ダイオード(LED)ランプで、日本電球工業会に自社製品の規格化を求めていることが分かった。昨秋に同工業会は直管形LEDランプの規格「JEL801」を制定している。この規格とは異なるが、自社製品の規格を工業会に認めてもらうことで、販売しやすい環境を整える考えだ。
有機ELデザイン競う、照明展示会「ライティング・フェア」、LEDは直管形対応品	日経産業新聞	2011年3月10日	東京ビッグサイトで開催中の照明の総合展示会「ライティング・フェア2011」で、照明各社が有機EL照明のデザインを競っている。本格的な普及期を迎えている発光ダイオード(LED)照明では交換可能な直管形が新しいテーマに浮上した。各社が市場投入を本格化する有機EL照明では、NECライティングが発光効率の高い製品をアピール。パナソニックは取り外し可能な薄型品を参考出品し、カネカは赤や緑などカラフルな製品を展示した。ロームは曲げられるタイプを出品したほか、同社などが出資するルミオテック(山形県米沢市)が1月から量産するパネルを使って豊富な品ぞろえを強調した。
アール・ビー・コントロールズ、浴室LED照明量産、テレビと合わせ売り込み	日本経済新聞	2011年3月10日	リンナイ子会社のアール・ビー・コントロールズ(金沢市、園田享志社長)は、浴室用発光ダイオード(LED)照明器具の量産化に乗り出した。主力の浴室用小型液晶テレビを生産する鶴来工場(石川県白山市)で、防水対応を施した照明器具を生産。2011年度に5000セット(1万5000個)の販売を目指す。長寿命・省エネルギーが特長のLED照明で浴室関連製品事業を強化する。照明器具は浴室の天井部分に埋め込む。販売価格は3個1セットで約1万5000円。LEDによる照明時間は延べ4万時間。浴室を毎日2時間使用した場合の寿命は50年程度で、白熱灯や蛍光灯に比べて省エネルギーで大幅に長持ちする。
LEDメーカーの先行きは不透明	新華社ニュース	2011年3月10日	液晶・バックライトのアプリケーション拡大に伴って、ここ数年のLED関連業界は目覚ましい成長を見せている。世界のLED生産能力が09年以来、中国に大きくシフトした結果でもあるだろう。しかし中国のLEDメーカーを取り巻く市場環境は必ずしも明るいわけではなさそうだ。——インセンティブが設備投資の呼び水に 統計によると、09年のLED業界の計画投資額は220億元に上った。そして10年は、上場会社だけでも、LED事業への計画投資額が300億元を超えた。なかでも三安光電の計画投資額は200億元に上り、德豪潤達もLED事業に41億元の資金を注入すると発表した。
シーシーエス、LED照明開発、インドに拠点	日本経済新聞	2011年3月11日	シーシーエスは10日、インド南部のトリバンダム市に開発拠点を設けると発表した。月内にも現地法人を発足させる。インドの優れた人材を生かし、主力の発光ダイオード(LED)照明の開発体制を強化する。初期人員は6人。生産拠点としての活用も検討する。
岩手・宮城の半導体工場、停止 有機ELでも障害	朝日新聞	2011年3月12日	東芝は、岩手県北上市の製造子会社で半導体を製造しているが、地震発生時からラインを止め、12日も再開のめどは立っていない。ソニーは宮城県白石市に半導体工場、福島県郡山市などにリチウムイオン電池工場2カ所を持つが、これらの生産を中断。パイオニアは山形県米沢市の有機EL工場の設備の一部に障害が出ており、生産を停止している。いずれも設備の点検などが必要で、復旧には時間がかかる見通しという。
モリテックス、医療用LED、明るさ2倍、冷却用ファンで長寿命。	日経産業新聞	2011年3月14日	半導体関連装置向けのレンズやカメラ、照明などを手掛けるモリテックスは、新型のLED(発光ダイオード)ライトモジュール「LEDgine」を開発した。従来品に比べて2倍の明るさを実現したほか、冷却用のファンを内蔵したことで従来品と比べて長寿命にした。手術用の顕微鏡や内視鏡などの医療装置に組み込んで使う需要を見込んでいる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東芝ライテック常務井上純一氏——LED光源口金、世界標準に(ナビゲーター)	日経産業新聞	2011年3月14日	電源を内蔵したLED光源「LEDライトエンジン」=写真=を開発した。光源と器具をつなぐ口金(ソケット)をドイツの口金世界最大手B.J.Bと共同開発した。放熱構造を器具に備えることで、光源をコンパクトにできる。これを日本だけでなく欧米や中国の照明器具メーカーに供給して海外売り上げを増やす。
三菱電機照明、「JEL801」対応の直管形LEDランプ参入	日刊工業新聞	2011年3月14日	三菱電機照明は、日本電球工業会が定めた規格「JEL801」に対応した直管形LEDランプに参入する。直付けタイプ2製品を31日に発売、4月21日には直付けタイプ1製品、埋込みタイプ2製品を発売する。同社ではオフィス向けなどLED照明需要が堅調で、2010年度は売り上げに占めるLED照明の割合が20%となる見通し。11年度はこの割合を30%まで引き上げる。三菱電機照明の直管形LEDは、初期照度補正機能により、常に明るさを一定に保ちながら省エネルギー化した。Raは84で、従来の三波長蛍光灯と同等の明るさを持たせた。31日発売の「EL-LS4002AHJ」は逆富士形2灯用で、価格は4万7500円。
東芝ライテック常務井上純一氏——LED光源口金、世界標準に	日経産業新聞	2011年3月14日	電源を内蔵したLED光源「LEDライトエンジン」を開発した。光源と器具をつなぐ口金(ソケット)をドイツの口金世界最大手B.J.Bと共同開発した。放熱構造を器具に備えることで、光源をコンパクトにできる。これを日本だけでなく欧米や中国の照明器具メーカーに供給して海外売り上げを増やす。欧米や中国には地場メーカーが数千から数万あるといわれ、日本メーカーよりもLED化が進んでいない。これらに強く採用を働き掛け、今回開発した新しい口金方式の世界標準化を目指す。LEDライトエンジンはランプ、照明器具に次ぐ新しい商材として今後は「三位一体」で海外を攻める。
住宅用LED照明、フィリップス、日本参入、今夏にも、電球や器具一体型。	日経産業新聞	2011年3月16日	照明世界最大手のオランダのフィリップスは、2011年夏をめどに日本の住宅照明市場に参入する。発光ダイオード(LED)電球や器具一体型のLED照明を販売する計画で、具体的な製品の詳細を詰めている。日本の住宅用照明はパナソニック電工など国内勢が高いシェアを握るが、世界最大手の参入で競争は一段と激化しそうだ。
星和電機、レジャー施設向け水中照明	日刊工業新聞	2011/3/17	星和電機は、水中で利用できる照明「LED水中灯」を発売した。ホテル、レジャー施設や公園などのウォーターガーデンや噴水での利用を見込む。価格は6万円、制御盤は36万円。
水辺の光源にLED	京都新聞	2011年3月17日	星和電機は、噴水や水辺の空間などに利用できる発光ダイオード(LED)式水中灯2種類の販売を始めた。水族館の水槽に使われる高強度の透明樹脂を使い、水深2メートル以内で常時使える防水性能を備えた。LEDを光源にしたことで、4年半以上連続点灯できる長寿命も実現した。暖色タイプ、白色タイプも想定価格は1灯6万円。5灯まで接続できる制御盤(想定価格36万円)が別途必要。初年度は500灯の販売を目指す。
LED器具、中国の生産能力倍増、遠藤照明、店舗・工場向け好調	日経産業新聞	2011年3月22日	遠藤照明は12月までに、中国で発光ダイオード(LED)照明器具の生産能力を約2倍の月20万台に引き上げる。作業員を2割増の600人にするほか、約2億円を投じて組み立て工程の一部を自動化する。日本のほか、アジアや欧州にも出荷する。日本とタイを含めた生産能力は4割増の月35万台になる。同製品の2011年度の売上高を10年度見込み比2倍の160億円に増やす。部材の製造から器具の組み立てまで手がける中国・江蘇省昆山市の工場を増強する。
経営ひと言／三菱電機照明・中村俊夫社長「雰囲気変わる」	日刊工業新聞	2011年3月23日	「発光ダイオード(LED)製品の普及が進み、照明関連の展示会もここ数年でだいぶ雰囲気が変わってきた」と語るのは、三菱電機照明(神奈川県鎌倉市)社長の中村俊夫さん。シャンデリアなど、華やかな製品が多い印象だった従来に比べて「LEDを使ったオフィスや倉庫向け照明の拡大」に合わせ、よりビジネス色の強いものに変化しているという。同社も、月内に直管形LEDランプ対応の照明器具を展開し企業向け需要の取り込みを狙う。「それぞれの設置場所にあった品ぞろえを増やさなければ」と、スポットライトを当てる場所を変えつつあるようだ。
秋芳洞でLED切り替え進む	中国新聞	2011年3月23日	美祿市は、国の特別天然記念物、秋芳洞(秋芳町)の照明を、発光ダイオード(LED)電球の照明機器に交換する工事を進めている。省エネルギーのため、蛍光灯や白熱灯などからの切り替えを決めた。作業は今月中に完了する予定。洞内には、観光道(約1キロ)を照らす蛍光灯の通路灯138基、見どころの「百枚皿」や「黄金柱」など洞窟生成物を照らす水銀灯、ハロゲンランプ、白熱灯の投光照明79基があった。
LED道路灯新技術に認定／2技術を設計比較対象／九州整備局	建設通信新聞	2011年3月23日	九州地方整備局は、福岡市の福岡第2合同庁舎で2010年度第4回新技術活用評価会議を開いた。フィールド提供型のLED道路照明灯の試行結果が報告され、「十分製品として使用できる」と評価された。事後評価では2技術を設計比較対象技術に選定した。併せて建設技術研究開発会議を開き、整備局が取り組む研究開発課題の11年度の方針について議論した。同局は、LED道路照明灯を福岡国道事務所管内の国道3号に設置し、視認性など技術性能を確認した。試行設置したのは、1.0カンデラ(cd)/m2のMARUWA SHOMEI、岩崎電気、東芝ライテック、因幡電機製作所、0.7cd/m2のパナソニック電工。各社3灯の計15灯を設置した。
熊本に有機EL、産学官拠点開所、「新産業生み出す」	日本経済新聞	2011年3月24日	次世代の照明や太陽電池などの開発に産学官共同で取り組むくまもと有機薄膜技術高度化支援センターが23日、開所式を開いた。九州の大学や企業が連携して有機EL(エレクトロルミネッセンス)などに使われる技術の開発や産業化に取り組む。同センターは「フェニックス」の愛称で、熊本県産業技術センター(熊本市、写真)内に開設。最新鋭の分析装置や製造装置など37台を備え、有機ELや有機太陽電池に適した材料を探したり、実際に有機ELなどを試作、評価したりできる。
熊本に有機EL、産学官拠点開所、「新産業生み出す」。	日本経済新聞 地方経済面	2011年3月24日	次世代の照明や太陽電池などの開発に産学官共同で取り組むくまもと有機薄膜技術高度化支援センターが23日、開所式を開いた。九州の大学や企業が連携して有機EL(エレクトロルミネッセンス)などに使われる技術の開発や産業化に取り組む。同センターは「フェニックス」の愛称で、熊本県産業技術センター(熊本市、写真)内に開設。最新鋭の分析装置や製造装置など37台を備え、有機ELや有機太陽電池に適した材料を探したり、実際に有機ELなどを試作、評価したりできる。
タムラ製作、光波を完全子会社化	日本経済新聞	2011年3月26日	タムラ製作所(傘下で発光ダイオード(LED)照明を手掛ける光波を株式会社により、8月1日付で完全子会社化する。タムラはLED照明向けの化学材料などを開発・生産している。光波との連携を加速し、成長著しい省エネ照明市場で、部材から完成品まで一貫して生産する体制を整える。
補修・文殊菩薩群像を公開 安倍文殊院、本堂も改修＝奈良	大阪読売新聞	2011年3月26日	桜井市の安倍文殊院は本堂の改修を終え、25日、本尊・木造騎獅文殊菩薩(きしもんじゅばつ)像(鎌倉時代)など5体の「文殊菩薩群像」(いずれも重文)を公開した。群像背後の壁を一旦に、和紙を貼って「白壁」に改装。地盤に備えて菩薩像の上の天蓋を外し、光背もピアノ線で固定した。各像は昨年9月から、彩色の補修などを施していた。本堂改修では、照明を従来の蛍光灯から、熱を出さない16基のLEDに替えた。この日は、「文殊の知恵」を授かる「文殊お会式」が始まり、参拝者らが、明るくなった堂内で、菩薩像の表情をじっくりとながめていた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
次世代化学材料11社が共同研究、三菱ケミカル・住化など、開発・生産効率化めざす	日本経済新聞	2011年3月27日	三菱ケミカルホールディングスや住友化学など化学大手11社と産業技術総合研究所は、次世代化学材料の研究組織を4月中にも開始させる。まず表示装置や照明に使う有機ELを対象に、寿命や性能などの評価技術を共同開発する。次世代材料は日本が強みを持つ分野。有力企業が連携し、東日本大震災で揺らぐ懸念のあるもの作りの力を強化する。新組織は「次世代化学材料評価技術研究組合(CEREB)」で今月18日の設立。震災後の混乱の中でも予定通り発足した。茨城県つくば市の産総研内に本部を置き、三菱ケミカルの富沢龍一会長が理事長に就任。
LED照明、企業レンタル、ヤマダ電機来月から、節電対策向けに、負担増なしで導入	日本経済新聞	2011年3月28日	家電量販最大手のヤマダ電機はオフィスや工場、店舗など企業の節電対策に向け、消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明のレンタル事業を4月から始める。LEDの消費電力は白熱電球の7分の1程度とされるが、価格は数倍以上と高く、企業の採用が遅れている。初期費用は不要で月額料金を既存照明の電気代との差額程度に抑え、導入しやすくする。1日当たり40キロワット以上の電力を照明に使う事業所向けで、蛍光灯を50本以上使うオフィスや通常規模のコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどが対象になるという。例えば水銀灯75個をLEDに換える場合、料金は月額17万円程度を想定。
LED照明、企業レンタル、ヤマダ電機来月から、節電対策向けに、負担増なしで導入。	日本経済新聞 夕刊	2011年3月28日	家電量販最大手のヤマダ電機はオフィスや工場、店舗など企業の節電対策に向け、消費電力の少ない発光ダイオード(LED)照明のレンタル事業を4月から始める。LEDの消費電力は白熱電球の7分の1程度とされるが、価格は数倍以上と高く、企業の採用が遅れている。初期費用は不要で月額料金を既存照明の電気代との差額程度に抑え、導入しやすくする。
日産、売上高過去最高、10年12月決算 2566億円	徳島新聞	2011年3月29日	日産化学工業の2010年12月期連結決算は、売上高が前期比41%増の2566億970万円となり、08年同期の2371億円を上回る過去最高を更新した。液晶テレビ用バックライトや、照明向けを中心とする急速なLED需要の拡大が寄与した。28日、本社で開いた株主総会で報告した。純利益は前期の圧縮要因となった在庫評価過剰が改善し、前期比21%増の405億2500万円を確保。経常利益も18倍増の660億8200万円となり、大幅な増収増益となった。売上高の事業別内訳は、主力の光半導体事業が1969億5000万円、蛍光体や電池材料の化学事業が597億4700万円。光半導体の売上高比率が大幅に拡大し、4分の3強を占めた。
パナソニック、新興国向け電球型蛍光灯を国内でも発売	日刊工業新聞	2011年3月30日	パナソニックは新興国向けに商品化した電球型蛍光灯を国内市場にも投入する。ポリウムソーンをターゲットに開発した低価格モデルだが、高価格帯が中心だった国内でも4月19日に発売。もともとは2010年10月からインドネシア工場で生産を開始し、東南アジアから順次販売を始めていたが、今回の国内向けは中国工場で生産する。低価格モデルを品ぞろえに加えることで、LED電球とすみ分けながら、白熱電球からの置きかえを加速したい考えだ。国内で新たに発売するのは発光管がらせん状になったスパイラル型。
有機EL照明で新会社、パナエ工・出光、7月に生産	日本経済新聞	2011年3月30日	パナソニック電工と出光興産は29日、照明用有機エレクトロルミネッセンス(EL)パネルの生産と販売を手掛ける共同出資会社を4月中旬に設立すると発表した。7月から生産を開始する予定。発光ダイオード(LED)に続く省エネ照明として注目される有機EL照明の市場開拓を目指す。新会社の社名はパナソニック出光OLED照明。資本金は15億円、パナエ工が51%、出光興産が49%を出資する。本社は大阪府門真市のパナエ工本社内に置き、社長はパナエ工情報機器品質革新センター長の鎌田策雄氏(56)が就任する。
有機EL照明で新会社、パナエ工・出光、7月に生産。	日本経済新聞 朝刊	2011年3月30日	パナソニック電工と出光興産は29日、照明用有機エレクトロルミネッセンス(EL)パネルの生産と販売を手掛ける共同出資会社を4月中旬に設立すると発表した。7月から生産を開始する予定。発光ダイオード(LED)に続く省エネ照明として注目される有機EL照明の市場開拓を目指す。
韓国学者が有機EL標準化部会の初代議長に	聯合ニュース	2011年3月31日	韓国電子通信研究院(ETRI)は31日、同院の趙ドゥ照(チョドゥウ)博士が国際電気技術委員会(IEC)の有機EL標準化作業部会の初代議長に選ばれたと明らかにした。趙博士は2009年10月に有機EL照明に対する国際標準化の必要性を訴えた。2年間の努力の末、同作業部会の新設と議長就任にこぎ付けた。これで、韓国は、将来有望なグリーン技術として注目されている有機EL照明産業の国際標準化で優位な立場に立つとみられる。
耐熱接合材でLED明るく、タムラ、発光効率1割向上、銅使い安価に。	日経産業新聞	2011年4月7日	タムラ製作所は発光ダイオード(LED)の明るさを向上できる新素材を開発した。LED素子(発光体)と基板の接合に使い、新素材の耐熱性を高めることで多くの電気を流せるようになる結果、明るさを1割程度高められるという。すでにLEDメーカーにサンプル出荷している。省エネ照明の光源として普及しつつあるLEDの一段の市場拡大につながる可能性がある。
LED電球——価格重視する人も多い(売り手にも言わせて)	日経産業新聞	2011年4月11日	東日本大震災以降、企業や消費者の節電意識が高まっている。照明では省エネ性能の高い発光ダイオード(LED)電球に注目が集まる。ヨドバシカメラマルチメディアAkiba(東京・千代田)のコンシェルジュ第5チームに所属する松村健一郎さんに聞いた売り筋は……「3月下旬から4月上旬の売り上げはLED電球が市場に出回り始めた昨年同様に比べ2倍以上となった。LED電球の認知が広まったことに加え、震災の影響などで省エネ意識が高まったためとみられる。購買層は家族連れが中心で高齢者は少ない」
三菱化学、有機ELパネル量産、7月、色合い調整も可能。	日経産業新聞	2011年4月13日	三菱化学は12日、カフラルに光らせることができる有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルの量産を今年7月に始めると発表した。明るさだけでなく色合いの調整が可能な製品の量産は業界で初という。商業施設向けを中心に営業で攻勢をかけ、低コスト化を図ることで家庭向けでも需要の掘り起こしを狙う。2015年度に300億円の事業に育てる。
ラブロス、LED電球「マジックバルブ4ワット型」(checkUP出足快調)	日経産業新聞	2011年4月13日	停電時、懐中電灯に早変わり 中古パソコン販売などのラブロス(東京・千代田、金山和男社長)が昨年10月に発売した電球型発光ダイオード(LED)照明「マジックバルブ4ワット型」が売れている。リチウムイオン充電電池を組み込んであり、普段は室内照明、停電時にソケットから外せば懐中電灯になる。東日本大震災を受けた防災意識の高まりから、3月の販売は約5万台と目標の1000万台を大幅に上回った。家庭だけでなく、企業向けの出荷も増えているという。
ハロゲン電球形LED、寿命3割長持ち、日立アプライアンス、4万時間。	日経産業新聞	2011年4月15日	日立アプライアンスは14日、他社製品より寿命を約3割延ばしたハロゲン電球形発光ダイオード(LED)電球「写真」を18日に発売すると発表した。電球に組み込む放熱板の面積を大きくして放熱性能を高める工夫で熱による電球の劣化スピードを抑制した。節電意識が高まるなかLED照明の需要は増えている。主に店舗や美術館などでの需要を見込む。価格はオープンだが店頭想定は6000円前後で、年間の生産台数は10万台を予定している。
ルミオテック、伊照明2社と提携、有機ELパネルで製品開発。	日経産業新聞	2011年4月19日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)を手がけるルミオテック(山形県米沢市)はイタリアのデザイン会社2社と提携した。「次世代の光源」として期待されている有機ELパネルを使った照明を共同で開発する。日本市場だけではなく欧州市場での販売力強化にも役立つのではないかと考えた。
IDEC、耐圧防爆構造のLED照明、危険場所用に864機種	電波新聞	2011/4/22	IDECは、耐圧防爆構造のLED照明器具「EFlA」を25日に発売する。864機種を取り揃えた。可燃性ガス、液体が存在する爆発危険場所において、増大している従来の蛍光灯や白熱灯からLED化の需要に、防爆照明器具を商品化し新規参入する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
岩崎電気、米でLED照明参入、現地用に道路灯開発	日経産業新聞	2011/5/17	岩崎電気はLED照明で米国市場に参入する。現地で道路灯を開発・生産して今秋から全米で販売、今後は中国などの海外市場も開拓する。投入するのはLED照明を搭載した道路灯で、高速道路や一般道路に使う。光の広がり方や明るさを現地仕様に変えて開発する。
パナソニック電工、暗闇で見えやすいLED防犯灯、青白い光採用	日経産業新聞	2011/5/18	パナソニック電工はLEDによる防犯灯で、従来より暗闇の中で見えやすい製品を発売する。人の目で認識しやすい波長の短い青白い光を発するため、道路の際までくっきりみえるという。製品名はエバーレズシリーズ「LED防犯灯アカルミナ」。
パナソニック電工、高出力型LEDダウンライト3タイプ発売	電波新聞	2011/5/20	パナソニック電工は、高天井空間に適した高出力型LEDダウンライト3タイプ(1000形、550形、350形)24品番を6月1日から順次発売する。節電や省エネニーズの高いショッピングモール、オフィスのエントランスなどに適している。全品番調光可能で、別途センサーにより外光に合わせて制御ができる。
岩崎電気、LED太陽灯を約半値価格で発売	電波新聞	2011/5/24	岩崎電気は、LED太陽灯の価格帯を約半値まで引き下げたLED太陽灯3タイプをこのほど発売した。太陽光により発電した電力を蓄電池、夜間照明の電力に利用するで電気代は不要。価格は66万-76万円。
LED照明、三菱化学、欧州で販売、来年、日米でも来春以降に	日本経済新聞	2010/09/12	三菱化学は来年1月をめどに欧州でLED照明を発売する。米子会社の「パーバイタム」ブランドで家電店や日用品店に7種類の電球を投入する。日本と米国でも来春以降、市場参入する。三菱化学はLEDの主要素材を手掛けているが、照明市場への進出で2015年に素材・機器合わせて1000億円の売上高を目指す。今月上旬に独ベルリンで開かれた家電見本市に出展し、小売店などの商談を始めた。発売するのは電球型の3種類とスポットライト型の4種類で、現行の白熱電球より消費電力を70～80%減らした。寿命は2万5千～3万5千時間。標準的な10ワットの電球タイプで店頭価格は30ユーロを想定している。
最新モデルがずらり 照明機器展示場を開設／岩崎電気	電気新聞	2010/09/15	岩崎電気はこのほど、ショールーム「アイラボ」を開設した。本社移転にともなうもので、これまで東京都港区に所在していたものを同中央区に移した。LED(発光ダイオード)照明など同社の最新照明機器を一堂に展示するほか、顧客が照明対象物を持ち込んで投光実験などができる「実験スペース」を設置。顧客の環境に最も合った照明器具と方法を選ぶことができる。展示スペースにはLED仕様の屋外照明が「道路」「防犯」など用途向けに展示。携帯情報端末「iPad」を用い、実際の採用事例を見ながら製品の特徴を知ることができる。
有機EL事業化、山形53社が研究会、次世代照明参入狙う	日本経済新聞	2010/10/09	有機ELの事業化を目指す山形県内企業など53社が13日、研究会「OLEDヤマガタ」を設立する。次世代照明への参入に向けた情報収集や技術研修が狙い。運営主体の山形県産業技術振興機構は山形大学工学部と連携協定を結ぶことで基本合意、同日にも顔印する見込み。研究会の設立で県も含めた産学官連携を強めたい考えだ。年会費1万円の一般会員として三菱重工などが出資する有機ELパネル産産会社のルミノテックなど50社が参画。同5万円の特別会員にタカハタ電子など3社が手を挙げた。特別会員は県産技機構が保有する14センチ角の有機ELパネル2枚を3カ月借りられる。大半が県内企業だが、県外企業も数社加わるもよう。
アイリスオーヤマ、LED照明の営業強化一年間売上高100億円へ	日刊工業新聞	2011/01/18	アイリスオーヤマ(仙台市青葉区、大山健太郎社長、022・221・3400)は、発光ダイオード(LED)照明事業の営業体制を強化する。今月から国内の営業拠点を地域ブロックごとに6カ所新設。6月をめどに全国の営業人員を現在の約2倍の50人に増やす。製品群も拡充し、オフィスや店舗、工場の需要を開拓する。2011年の重点事業の一つに位置づけ、LED照明で年間100億円の売り上げを目指す。アイリスオーヤマは今年1月にLED照明事業の営業組織を改組し、官公庁を開拓する「LED環境事業部」、法人営業の「LED照明事業部」を東京支店内に設置。
住宅用LED照明、フィリップス、日本参入、今夏にも、電球や器具一体型	日経産業新聞	2011/03/16	照明世界最大手のオランダのフィリップスは、2011年夏をめどに日本の住宅照明市場に参入する。発光ダイオード(LED)電球や器具一体型のLED照明を販売する計画で、具体的な製品の詳細を詰めている。日本の住宅用照明はパナソニック電工など国内勢が高いシェアを握るが、世界最大手の参入で競争は一段と激化しそうだ。日本の住宅照明の市場規模は年間1500億円程度で、店舗向けの約3倍とされる。パナソニック電工のほか東芝ライテックや中堅の専業メーカーなど日本勢が大半のシェアを握るとみられる。
きらめくXマスツリー 南区、早くもイルミネーション点灯			京都市南区の大型商業施設「イオンモールKYOTO」で3日、クリスマスイルミネーションが点灯した。色とりどりの電飾できらめくモミの木やケヤキ並木が夜の冷気に加え、行き交う買い物客を魅了している。消費電力が少なく環境に優しいLED(発光ダイオード)電球を約20本の木に約12600個飾っている。 1階の広場であった点灯式では、近くの任天堂にちなみ、スーパーマリオブラザーズのマリオの着ぐるみが登場した。子どもたちが大きな声でカウントダウンに加わり、午後5時15分ごろに一斉にともった。
LED照明、HRDが生産能力倍増、太陽光下とほぼ同じ色、医療・美容分野狙う	日本経済新聞	2011年4月5日	発光ダイオード(LED)照明製造のHRD(鳥取市、原田宣明社長)は本社工場の生産ラインを増設し、今月からLED照明の生産能力をほぼ倍増させる。同社製品は照らした物の色が太陽光下とほぼ同じ色に見える「高演色性」が特長。医療・美容関連分野など大手と競合しない分野を中心に、2011年度の売上高を10年度見込み比で約70%伸ばす計画だ。本社工場に約9000万円を投じ、電球に相当する白色LEDの発光部品をプリント基板に実装する最新鋭ラインを増設した。蛍光灯型製品の場合で生産能力を従来の約2倍の1日3000本に引き上げた。
独シーメンス、「集中と選択」加速、照明撤退、インフラ部門設立	日経産業新聞	2011年4月4日	独シーメンスは経営の集中と選択を加速する。照明子会社オスラムの株式を今秋をめどに新規公開(IPO)し、株式の過半数を売却。一方、鉄道や次世代電力網「スマートグリッド」事業を集約した都市基盤部門を設立。中期的に年間売上高を2010年9月期比3割増の100億ユーロ(約1兆8400億円)まで引き上げる。シーメンスは昨年末、ITサービス事業を仏IT大手のアトス・オリジンに8億5000万ユーロで売却したばかり。これまでも自動車機器事業を独タイヤ大手コンチネンタルに売却したほか、半導体部門も分離(現インフィニオン)して、経営資源をエネルギー、産業機器、医療の3部門に集約してきた。
日吉大社、灯籠などLEDに、環境配慮、消費電力15分の1	日本経済新聞	2011年4月2日	全国の日吉、日枝、山王などの神社の総本宮である日吉大社(天津市)は2日、境内の夜間照明を発光ダイオード(LED)に切り替える。ろうそくの光に近い温かみのある色を再現する。参道などに置かれた赤灯籠228基と山門前などの高張りちようちん5対を切り替える。日没から午後10時ごろまでとしている照明の消費電力が白熱球の15分の1の1ワットに減らせる。天津市では比叡山延暦寺も夏季の夜間特別拝観時のライトアップにLEDを使っている。日吉大社は「環境への配慮から社にもLEDに関心が高まっているが、本格的に導入する例はまだ少ない」と説明している。
日本街路灯製造、LED照明のデザイン・製作で人材育成を支援	日刊工業新聞	2011年4月4日	日本街路灯製造(名古屋市中区、後藤正社長、052・681・2181)は発光ダイオード(LED)照明のデザインや製作を担う人材の育成事業支援を始めた。NPO法人あかりの架け橋(横浜市磯子区)が始めた人材育成塾「LEDあかり塾名古屋」に日本街路灯の豊明工場(愛知県豊明市)を会場として提供する。国内でLED照明器具産業に従事する人材のデザイン力や製作力を高めるのが狙い。LED照明関連で社外の人材を対象とした育成事業は初という。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
LED関連 物色のすそ野広がる一省エネ意識の高まり背景 —岩崎電気、遠藤照明など	日本証券新聞	2011年4月5日	原発事故を受けた計画停電を受けて、世間の省エネ意識が一段と高まるに伴い、寿命が長いメリットも併せ持つLED(発光ダイオード)関連への人気が盛り上がりつつある。銘柄としてはパナソニック(6752)、シャープ(6753)、東芝(6502)、シチズンホールディングス(7762)、豊田合成(7282)あたりが有名であるが、節電対策の重要性が高まる中、物色のすそ野は広がる方向だ。4日に商いを伴って急伸し、年初来高値を更新してきたのが岩崎電気(6924)。3月15日に付けた安値(91円)から株価は倍増し、約11カ月ぶりとなる200円乗せを目前にとらえてきた。
防犯灯LED化 廿日市市も補助 8000基対象 今月から	中国新聞	2011/04/05	廿日市市は今月から、町内会などが防犯灯を長寿命の発光ダイオード(LED)照明に切り替える際の費用の一部を補助する。LED照明1基につき、専用柱新設を伴う場合は4万5千円、既存の電柱へのLED照明新設は1万8千円、蛍光灯からの切り替えは1万5千円を補助する。蛍光灯設置への補助制度も継続する。また市は、中国電力が3月末で防犯灯の電球交換作業の無料サービスを終了することに伴い、電気代の一部として1基当たり年間1600円支払っている維持管理補助金を、交換作業費分を上乗せして2千円に増額する。
LED照明機器、高機能化進む、交流電流駆動や電球並み配 光角など	化学工業日報	2011年4月5日	低消費電力のLED照明機器の高機能化が進んでいる。課題だった照明範囲(配光角)を電球並みに広げた製品をパナソニックと東芝が開発。室外向け照明では米アパコ・テックノロジーが低コスト品で市場開拓に注力する。シチズン電子は直流変換が不要の照明モジュールを4月から量産する。シチズン電子は交流電流を直流に変換せず、そのままLED駆動に使える照明モジュールを開発、200ボルト対応型を4月から量産する。同様の製品は韓国メーカーが先行しているが、同社は米ベンチャーの開発した駆動回路技術を用い、直流変換レスに特有の立ち上がりの遅さやちらつきを抑えた。10月からは国内用に100ボルト型も量産予定。
西日本高速道路がトンネル照明LEDを活用 高松自動車道 で実証/地域	電気新聞	2011年4月8日	西日本高速道路(NEXCO西日本)はこのほど、高松自動車道の国分寺トンネル(高松市)でLED(発光ダイオード)照明を使用する実証実験を開始した。営業中の高速道路トンネル内の照明にLEDを使用するのは国内初となる。実験は12年3月末までの予定で実施し、走行視認性や維持管理面の効果を検証する。同社はLED光源を活用することで環境負荷の低減を図ると同時に、走行時の視認性向上を図る次世代照明の研究を進めてきた。この研究の一環として、NEXCO西日本のグループ会社が開発した専用照明器具を実証実験で使用する。
パナソニック、シャープがLED増産検討へ	産経新聞	2011年4月8日	パナソニックが、白熱電球などに比べ消費電力の少ないLED(発光ダイオード)電球の増産に向け検討に入ったことが、7日わかった。東日本大震災で原子力発電所などが被災したことを受け、首都圏を中心に電力供給不足の長期化が避けられない中、白熱電球に比べ消費電力を8分の1程度に抑えられるLED電球の需要が高まっているため、稼働率を上げて供給体制を整える。
防災灯:LED使い 新技術開発企業グループ、安芸太田町で デモ点灯 /広島	毎日新聞	2011年4月6日	中国地方の企業を中心に、LED(発光ダイオード)の新技術開発を進める「KT技術応用部会」が消防防災用の灯具を開発し3月30日夜、安芸太田町内で地元消防団に向けたデモンストラレーションを行った。同部会は昨年秋、LEDの技術研究を進める約10社が参加して発足した。各企業の専門分野を持ち寄り同年末、消防防災用の灯具を完成させた。既に東日本大震災の被災地で活用されているという。
サムスン・LG、大型TV用有機EL、高付加価値品で先行	日本経済新聞	2011年4月4日	サムスンとLGの両グループが第8世代の大型ガラス基板を使った有機ELパネル生産をそれぞれ検討するのは薄型テレビの高付加価値化で先行する狙いがあるためだ。主力商品の発光ダイオード(LED)搭載型液晶テレビは既に汎用化。急成長する中国メーカーを振り切るため、利幅の大きい高級テレビに搭載する次のデバイスの育成に取り組み。有機ELパネルでシェア世界首位のサムスンモバイルディスプレイは韓国中部の忠清南道湯井で2兆5000億ウォン(約1900億円)を投じて5・5世代(1300ミリ×1500ミリ)基板を使った新ラインを建設中。7月から本格量産する。
米沢市 有機ELパネル製造のルミオテックが欧州での拡販強化 伊企業2社と提携、照明製品で協力	山形新聞	2011年4月5日	有機EL(エレクトロルミネッセンス)パネルを製造するルミオテック(米沢市)は欧州での販路拡大に向けた取り組みを強化する。イタリアの企業2社と提携しパネルを用いた照明製品のデザイン性を高めるとともに、プロモーションの一環として現地で開催される国際見本市にも出展する。早期のマーケット創出が期待できる欧州での存在感を高め、拡販の足掛かりにしたい考えだ。次世代光源として注目を集める有機EL。
ルミオテック 照明用有機ELパネル 量産成功、開発競争の 先頭に立つ	FujiSankei Business i.	2011年4月4日	LED(発光ダイオード)とともに省エネ性能に優れた次世代照明として注目されているのが、薄くて軽い有機EL(エレクトロルミネッセンス)だ。多くの企業が製品化を目指す中、「ルミオテック」(山形県米沢市)は今年1月、他社に先駆けてパネルの量産に成功した。まだ発光効率や価格などの課題も多いが、従来の照明のイメージを変えるべく技術開発にも余念がない。
オーデリック、交換できる電球形LEDライトを発売	日刊工業新聞	2011年4月11日	オーデリックはランプ交換が可能な電球形LEDダウンライト「XD258シリーズ」を発売した。埋め込み穴は直径100ミリ、125ミリ、150ミリメートルの3タイプを用意しており、それぞれ昼白色と電球色をそろえた。価格は8190—9240円。主に照明のリニューアルを検討する店舗向けなどに、省エネ対策として提案する。一般電球に比べて消費電力を約5分の1に抑えた。光源寿命は4万時間、メンテナンスが難しい場所などへの取り付けに適している。演色性を示すRaは、昼白色タイプがいずれも70、電球色タイプがいずれも75。全タイプともに消費電力は7・2ワット。
ラックランド/棚下照明を50%省エネ/演色性追求、食品別に30種	建設通信新聞	2011年4月12日	食品スーパーを中心に総合スーパー(GMS)、飲食店舗などの建築、内装、設備、メンテナンスを手掛けるラックランド(本社・東京都新宿区、望月圭一郎社長)は、ショーケース専用の直管型LED(発光ダイオード)棚下照明「棚子(たなこちゃん)シリーズ」を開発した。従来のLEDは、食品を美しく見せるための「演色性」を出すのが難しいとされてきたが、同社はこの分野の施工、メンテナンス実績を生かし独自の棚下照明の開発に着手、食品別に30種類の光のバリエーションを開発した。導入により、ケースの照明にかかる年間電気代、消費電力を約50%カットできるという。
シャープ・住生活、提携、省エネ住宅設備で新会社	日本経済新聞	2011年4月14日	シャープと住生活グループは太陽電池やLED照明を組み込んだ省エネルギー住宅向けの機器やシステムを開発・販売する共同出資会社を年内にも設立することで合意した。環境関連技術を持つシャープと工務店などに強い販路を持つ住生活が組むことで、省エネ住宅に強いパナソニックグループなどに対抗する。週内にも発表する。新会社への出資比率は折半とする方向で調整中。屋根材と一体化した太陽電池や、天井に組み込みやすいLED照明などの共同開発を検討する。シャープは建材生産のノウハウを持つ住生活Gと組んでより施工しやすい商品を作り、住生活Gの販路も活用する。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
コイズミ照明、LEDモジュールを自社生産 年産100万台	日経速報	2011年4月14日	照明器具メーカーのコイズミ照明は、発光ダイオード(LED)モジュール(複合部品)の自社生産に乗り出す。滋賀県にモジュールを生産する新工場を建設。2012年4月にも量産を始める。LED照明への他社の参入が相次ぎ競争が激化するなか、川上のモジュール生産に手を広げコスト競争力や製品開発能力を高める。新工場は照明器具をつくる子会社コイズミライティング(滋賀県東近江市)に隣接した敷地に床面積800平方メートルの工場を新設する。基板上にLED素子などの電子部品を装着したモジュールを生産するラインをつくり、年間100万台のモジュール生産を目指す。
ハロゲン電球形LED、寿命3割長持ち、日立アプライアンス、4万時間	日経産業新聞	2011年4月15日	日立アプライアンスは14日、他社製品より寿命を約3割延ばしたハロゲン電球形発光ダイオード(LED)電球を18日に発売すると発表した。電球に組み込む放熱板の面積を大きくして放熱性能を高める工夫で熱による電球の劣化スピードを抑制した。節電意識が高まるなかLED照明の需要は増えている。主に店舗や美術館などでの需要を見込む。価格はオープンだが店頭想定は6000円前後で、年間の生産台数は10万台を予定している。
富士キメラ総研が動向分析 白色LED、世界で急成長	電気新聞	2011年4月12日	10年の白色LED(発光ダイオード)パッケージ市場は、前年比2倍以上の急成長――。民間調査会社の富士キメラ総研はこのほど、世界のLED関連市場についての調査を実施し、こうした結果をまとめた。10年のLED関連市場は製造装置、素材とともに成長したが、中でも白色LEDパッケージは大型液晶パネルのパッケージ用途がリードする形で急伸。15年にかけても拡大速度は鈍化するものの、10年比で2倍近い成長を果たすと予測した。
電力不足の夏に希望の光LED補助制度も	サンケイスポーツ	2011年4月9日	運動節電啓発担当相(43)は8日、記者会見で、電力需要が高まる夏に向けた家庭の節電対策の“切り札”として期待される、発光ダイオード(LED)照明への切り替えに補助を検討する考えを明らかにした。政府はこの日の「電力供給緊急対策本部」会合で、一般家庭は15～20%の削減目標を掲げたが、省エネ効果抜群ながら値段が高いことがネックのLED照明の購入に、補助で弾みをつけたい考えだ。全閣僚で構成する「電力供給緊急対策本部」の会合では、大口需要家には電力使用制限令の発動、家庭にも削減目標を設けることなどとした夏の電力不足対策の骨格案を正式提示した。
遠藤照明が4年ぶり高値 LED製品の需要増期待	日経速報ニュース	2011年4月11日	大幅に上昇。前週末比49円(6.8%)高の770円で買われて2007年4月17日以来、約4年ぶりの高値水準を付けた。時価総額は100億円を回復し、午後後も高い水準で推移している。直近安値(3月15日の361円)の2倍強となり、売値高は5日連続で10万株を超えた。遠藤照明は発光ダイオード(LED)照明器具の製造・販売やレンタル事業を展開している。東日本大震災により東電管内を中心に夏の電力不足が懸念されるなか、節電につながるLED照明の需要増を期待した買いを集めた。岩井証券ワイリサーチセンターの有沢正一センター長は「早くからLED事業に力を入れており、省エネ関連銘柄として注目されている」ととんでいた。
大阪市工研、次世代光デバイス評価支援センター始動、中小企業を支援	化学工業日報	2011年4月12日	大阪市立工業研究所は、11日から西日本初となるLED関連製品などの評価を総合的に行う「次世代光デバイス評価支援センター」の運用を開始した。同施設ではLEDパッケージや最長150センチメートルの照明器具、液晶ディスプレイなどさまざまな種類の製品の光学特性などを測定することが可能で、LED、有機EL(エレクトロルミネッセンス)にかかわる中小企業を支援していく。同センターは、敷地面積約66平方メートルの既存建屋を改装し、設備として全光東測定システム、配光測定システム、2次元輝度分布測定システムを導入した。同施設内には大型の照明器具を測定できるよう、光路長12メートルのL字型の暗室も設けている。
照明各社、LEDシーリングライト販売強化	日刊工業新聞	2011年4月13日	発光ダイオード(LED)を使った住宅用シーリングライト(天井直付照明)の販売が本格化してきた。丸形タイプではNECライティングが今夏をめどに参入し、東芝ライテックも4月15日に発売する。パナソニックも調光や色の調整、配光切り替えなどができるLEDシーリングライトを5月25日に発売する。NECライティングは丸形シーリングライトのほか、天井からつり下げるペンダントライトの製品化も検討するなど、家庭用LED製品の投入を本格化させる。現在は家庭・業務を合わせたLEDの標準の機種数約150を2011年上期に約200まで高める計画。
経産省、製品安全規制体系見直し―“取り締まり”から官民協調へ転換	日刊工業新聞	2011年4月14日	経済産業省は製品安全規制の基本的なあり方を変える。規制の対象品目を改訂で個々に指定する方式から、関連する製品をひとまとめに捉える方式に変更し、新しいタイプの製品が実用化された時に個別に指定しなくてはならないとする。国がすべて定めている技術基準も一部を民間で定められるようにする。まず電気用品安全法で5月をめどに作業の実行計画を策定し、2014年の改正政省令施行を目指す。
セブンイレブン、5000店にLED照明、節電へ夏までに――ローソンも拡大	日本経済新聞	2011年4月15日	大手コンビニエンスストア2社は14日、節電のため発光ダイオード(LED)照明などを店舗に導入すると発表した。セブンイレブン・ジャパンは100億円強を投じ、夏までに東京電力管内の店舗に設置。ローソンは70億円強をかけ、2012年2月までに全国の店舗に導入。他の対策も含め電力不足が懸念される夏場に20～25%程度の電力削減を見込む。セブンイレブン・ジャパンは約5000店で店内照明や店頭の誘導看板をLED照明に切り替える。さらにビル内の店舗などを除いた約1000店には太陽光発電パネルも設置。旧型の冷蔵庫なども省エネ型に置き換える。
数万色発光の有機EL照明、三菱化学、パネル量産	日本経済新聞	2011年4月13日	三菱化学は12日、自在に好みの色を光らせることができる有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明パネルの量産を7月に始めると発表した。有機EL照明はこれまで、白や緑などの単色が一般的だった。業界で初めて数万色以上の色合いで発光できるようになった。2015年度に300億円以上の事業に育てる。薄型テレビの液晶パネルのように、赤、緑、青の各色に発光する有機EL材料を基板に均一に塗布する技術の実用化にめどをつけた。各材料にかける電圧を調整することで、色合いをいかようにも変えられるという。
三菱化学など有機EL照明参入 高まる節電意識、普及へ商機	FujiSankei Business i.	2011年4月13日	次世代照明として注目されている有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明の製品化が相次いでいる。三菱化学は12日、基幹部材である光源のパネル生産を7月から始め、有機ELの照明市場に参入すると発表した。パナソニック電工と出光興産もパネルを生産・販売する共同出資会社を同日立ち上げ、7月から生産する。有機EL照明はデザイン自由度が高く、消費電力も白熱電球に比べはるかに少ない。東日本大震災による電力不足で節電意識が高まっている中で、開発競争が進めばLED(発光ダイオード)と並ぶ次世代照明として普及が見込めそうだ。
夏の電力規制に備え、LED照明、節電需要、リコーが参入	日本経済新聞	2011年4月21日	電機各社が発光ダイオード(LED)照明事業を拡大する。LED照明の消費電力は蛍光灯の半分。日本の電力消費の約20%を占める照明がLED照明に置き換えればこれが半減する。政府は環境対策の一環で2030年までに国内のすべての照明をLEDなどの省エネルギー型に置き換える方針。電力不足で企業や家庭の節電意識が高まっており、置き換えが早まる可能性もある。これを受けリコーはLED照明事業に参入。パナソニックや東芝も品種を増やす。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
ソディック、LED照明に参入	日刊工業新聞	2011年4月18日	ソディックはLED照明事業に本格参入する。LED点灯用電源を自社開発し、直管型LED灯を製品化した。40形蛍光灯と同等の明るさで消費電力を半減。工事不要で簡単に取り付けできる。LED照明は大手コンビニを中心に需要が拡大。夏場の電力不足を見据え、オフィスや工場でも導入機運が高まっている。事業化により、大口需要家の省エネ投資を支援する。子会社ソディックLEDが40形蛍光灯代替LED灯「SL-1200」として開発、20日発売する。市場想定価格は7000円で、月産2万本を見込む。「SL-1200」は消費電力22ワットで、寿命は4万時間。一般的なグロータイプ、ラビットタイプ蛍光灯と比べて、消費電力が半減できる。
LEDランプ、蛍光灯器具活用、ケイミックスが参入、感電の危険なく取り付け	日本経済新聞	2011年4月20日	ビルメンテナンス業のケイミックスはLED照明事業に参入する。既設の蛍光灯器具に取り付け可能な直管蛍光灯形のLEDランプを開発、20日に発売する。蛍光灯器具に一般的なLEDランプを挿入すると感電などの危険性があったが、新製品では器具を支えとしてしか使わず安全性が高いという。初年度3万本の販売を目指す。新製品「ワンダーエコーライト」は直管蛍光灯形LEDランプとして初めて、電気製品の第三者安全認証「SJ-ETマーク」を取得した。オフィスビルなどに既設の蛍光灯器具をそのまま活用し、口金の部分でランプを支える。天井裏にある電源から直接配線する仕組みだ。
岩崎電気—上値視界が広がる	日本証券新聞	2011年4月18日	岩崎電気が急騰して連日の年初来高値更新。昨年来高値(221円)も一気に上抜いて、上値視界が広がってきた。屋内照明用以外に、街路灯や防犯灯など多くのLED(発光ダイオード)製品をそろえていることから、節電対策関連として物色の矛先が向かっている。夏に向けてさらなる省エネ化が避けられない中、コンビニなどがLED照明の導入を進めることも支援材料。震災後は一時茨城県内の工場が生産停止を余儀なくされていたが、その後は順調に回復傾向をたどっているようだ。
CCSアジア タイ・マレーシアに拠点を LED照明装置拡販へ	化学工業日報	2011年4月22日	発光ダイオード(LED)利用の画像処理や検査機器向け照明装置の世界大手シーシーエス(本社・京都市)のシンガポール拠点、CCSアジア(伊谷幸彦社長)は東南アジアでの事業展開を拡大する。昨年末にはタイ・バンコクに新拠点を設立。自動車やエレクトロニクスなど同国で伸びている産業の需要取り込みを強化するとともに、今年3月にはマレーシア・ペナンに出張所を設けた。ペナンにはマレーシア資本の装置産業などが集積し拡大しており、現地で技術サポートを一層充実させ、事業の拡大を目指す。
富士フィルムHD、オフィスの電力使用量10%減へ、照明方法を変更	化学工業日報	2011年4月21日	富士フィルムホールディングスは20日、今夏の電力不足問題に対応するため、オフィスの主要な照明方法を天井照明から切り替えると発表した。窓からの外光を最大限に取り入れ、作業面の明るさを手元照明で確保する「デスク・アンビエント照明」を採用する。まず省エネ効果に優れたLED照明スタンドを、富士フィルムHDおよび富士フィルム、富士ゼロックスの本社に導入。ピーク時における使用電力の削減目標25%の約4割に相当する約10%の電力を削減する計画。
富士経済、LED照明など光源・照明市場の調査結果を発表	日経速報ニュース	2011年4月19日	LED電球:前年比4.3倍の151億円…急速な低価格化、エコポイント制度など要因に大幅増加 LED蛍光灯:前年比10%増の33億円…2010年に規格制定、今後本格的に市場拡大の予測 総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小島町)社長 阿部 界は、各種光源とアプリケーションへの採用動向及び照明関連製品の市場を調査した。その結果を報告書「Special Appli. 光源/照明市場 実態・技術・予測2011年版(上巻:市場動向編)」にまとめた。
オーデリック3期ぶり黒字、前期経常5億6000万円、LED照明伸びる	日本経済新聞	2011年4月22日	照明器具販売のオーデリックの2011年3月期の連結経常損益は、5億6000万円程度の黒字(前の期は1億4100万円の赤字)だったようだ。従来予想(5億1000万円の黒字)を5000万円程度上回り、3期ぶりに黒字を回復した。省エネ意識の高まりを背景に発光ダイオード(LED)照明の販売が伸びた。新設住宅着工戸数の回復も追い風となった。売上高は前の期比7%増の約232億円となったようだ。東日本大震災の影響で3月は東北地方での販売が減少したが、LED照明が伸びたことなどで従来予想を上回った。
オフィス・工場の使用電力、1部屋単位で遠隔制御、内田洋行、節電システム販売	日経産業新聞	2011年4月22日	内田洋行はオフィスや工場の電力使用量を部門やエリアごとに管理し、遠隔地から制御できる節電システムに参入する。分電盤内のプレーカーに小型電力計を接続し、ネットを經由し1部屋単位で消費電力量を管理、照明や空調を制御できる。東日本大震災の影響で首都圏を中心に夏場の電力ピーク時の節電が必要となる大口需要者向けに25日から発売し、初年度3億円、3年後には10億円の売上高を目指す。
コニカミノルタ、フィリップス、有機EL照明、共同開発—今夏から独で量産	日本経済新聞	2011年4月22日	コニカミノルタホールディングスは、照明世界最大手のオランダのフィリップスと提携した。有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明向けのパネルを共同開発し、フィリップスが今夏に生産を始めて全世界で販売する。有機EL照明は折り曲げたり、光の色調を自在に変えたりできる。数年後に発光ダイオード(LED)照明並みの省電力を実現できる見通しで、世界の電機や素材大手が開発に力を入れている。
コニカミノルタ、フィリップス、有機EL照明、共同開発—明るさ・コストに課題	日本経済新聞	2011年4月22日	有機EL照明は省エネ性能の高い発光ダイオード(LED)照明とともに、既存照明を代替する次世代品として市場の拡大が見込まれている。光源が面全体で発光するため、LED照明より光がやわらかく、広い範囲を照らせる。光源は数ミリメートルまで薄くでき、住居や自動車、屋外など幅広い分野での利用が期待できる。一方で明るさを示す発光効率は現時点で、LED照明の最大6割程度にすぎない。価格はカネカの量産する単色タイプで10センチメートル角の製品が2万円程度と、普及に向け製造コストも課題だ。
ルミオテック、伊照明2社と提携、有機ELパネルで製品開発	日経産業新聞	2011年4月19日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)を手がけるルミオテック(山形県米沢市)はイタリアのデザイン会社2社と提携した。“次世代の光源”として期待されている有機ELパネルを使った照明を共同で開発する。日本市場だけではなく欧州市場での販売力強化にも役立つのではないかと考えた。照明デザインを専門とするトリアンフ・デザイン・アンド・コンサルティング社、照明器具のポリテ・イルミナツィオーネ社と手を組んだ。今後、有機ELパネルを組み込む照明器具の設計やデザインで協力する。これを機に、イタリア現地の照明協会にも加盟する。
GE製LED照明販売、アイリスオーヤマ、店舗や街灯用	日本経済新聞	2011年4月28日	生活用品製造卸のアイリスオーヤマ(仙台市)は米ゼネラル・エレクトリック(GE)製の発光ダイオード(LED)照明製品を5月から販売する。店舗向け照明が多いGE製品を101品目投入し手薄だった法人販売をこ入れする。販売契約によりGE製品の国内販売の9割以上をアイリスが手がけることになる。GE製品は飲食店や衣料品店向けの電球や街灯用などほとんどが法人向けで、品ぞろえの幅が広いのが特徴。ただ日本市場はパナソニックや東芝などが流通ルートを押さえているため、開拓が進まなかった。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
大震災が普及促すLED照明 消費者の意識に変化も	日経デザイン	2011年4月24日	東日本大震災と福島第1原発事故により、東京電力管内で電力不足が切実だ。節電は今や社会的義務となり、各所で照明が軒並み落とされている。そんな中、省エネ効果が高い直管形LED照明が注目を集めている。直管形LEDは、オフィスなどの主照明として普及している直管形蛍光灯の形状にLEDを並べたもので、直管形蛍光灯の代替を狙っている。その普及は照明環境に大きな影響を与えそうだ。直管形LEDは海外製品の登場は早かったが、性能や安全性に課題が多く、国内で広く普及するには至らなかった。
NECライティング、LED照明、取り付け簡単、蛍光灯用、専用アダプター開発	日経産業新聞	2011年4月25日	NECライティングはLED照明への切り替えを促すために「専用アダプター」を開発した。蛍光灯の照明器具に取り付けるだけで、器具そのものがLED照明用に改まるという。大がかりな工事に二の足を踏んできた事業者などへ提案し、LED照明の販売上積みにも役立つ。専用アダプターはストレートタイプ(直管型)の照明器具に対応する。まず蛍光灯を外してアダプターを固定。一度の配線作業を済ませるだけでLED照明を取り付けることができる。LED照明とセットで発売する予定で、1灯設置タイプは約2万円、2灯設置タイプは約3万6000円になる見通し。年13万セットの販売を目指す。
LED表示装置、節電型を共同開発 富大大学院の中嶋教授グループ、京都府の会社と 従来型より40%省エネ 高速道の情報板に導入 夜間の視認性研究	富山新聞	2011年4月29日	富大大学院理工学研究所の中嶋芳雄教授の研究グループと星和電機(京都府)は28日までに、節電型のLED(発光ダイオード)表示装置を共同開発した。東日本大震災による福島第1原発事故の影響で、省エネ性能に優れたLEDの需要が高まる中、節電型の表示装置は、LEDの数を減らして従来型より消費電力を40%削減した。既に高速道路の情報板などに導入されており、今後、一層の普及を目指す。
入口灯もLED設置 椎葉・野地トンネル、共立電機開発	宮崎日日新聞速報版	2011年5月3日	県は、椎葉村松尾の国道327号に3月開通した野地トンネルに、省エネ効果が高いとされるLED照明を設置した。トンネルでのLED活用は、全国初だった2009年の板谷トンネルに続き、県内2例目で、共立電機製作所が開発した。東日本大震災による計画停電などで全国的に電力消費の在り方が見直される中、県内外への普及に期待がかかる。野地トンネルは、延長1019メートル。国道327号岩屋バイパスの一部で、09年から掘削工事を開始。今年1月から3月にかけて照明が設置された。設置したLED照明はトンネル内部に使用する基本灯56基と、出入口付近に用いる入口灯、坑外灯の計109基。
LED照明 美術館でも実力 進む導入 文化財保護+演出効果	FujiSankei Business i.	2011年4月26日	美術館・博物館の照明にLED(発光ダイオード)照明を導入する動きが広がっている。白熱電球と比べて消費電力が少なく長寿命であるのに加え、展示物を傷める紫外線や赤外線もほとんど含まず、幅広い演出効果も見込めるためだ。住宅やオフィスに次ぐ新たな市場として需要拡大が期待されている。パナソニック電工は、東京都港区の本社ビル内にある「パナソニック電工 汐留ミュージアム」で23日に始まった企画展に合わせて、すべての照明をハロゲンライトからLED照明に切り替えた。
横浜市営地下鉄、駅の照明、LEDに――7月メド、主要9駅で、消費電力3割削減	日本経済新聞	2011年4月23日	横浜市営地下鉄は2013年度までに、ブルーライン線の駅で常時点灯している蛍光灯を、発光ダイオード(LED)照明に切り替える。第一弾として7月をめどに主要9駅でLED照明への交換を実施する。電力不足が懸念される中、LED照明は蛍光灯より消費電力を3割減らせるため、環境負荷の軽減と電力コスト削減につながる。ホームや事務室など毎日20時間程度点灯している40ワット蛍光灯を取り換える。今後、販売会社を募って価格交渉する。
イオン「夏時間」で営業、開店・閉店1時間早め節電――6月下旬、最大で1000店	日本経済新聞	2011年4月24日	イオンは今夏、全国のスーパーに「サマータイム」営業を導入する。6月下旬から最大1000店で3カ月間、開店・閉店時間を1時間程度早める。本社などオフィスでも就業時間を繰り上げ、グループで節電に取り組む。夏の電力不足に対応し、小売業に営業時間の見直しが必要とされている。営業時間変更は、自治体への届け出や店舗周辺の住民への説明が必要で、調整のついた店で実施する。
三菱化学メディア、照明関連事業を強化、LEDと有機EL照明の市場投入本格化	化学工業日報	2011年4月28日	三菱化学メディア(MKM)は、発光ダイオード(LED)と有機ELからなる照明関連事業を強化する。昨年欧州で展開しているLED照明については、1月に販売を開始した米国に続き、7月から日本市場にも投入する。また有機EL照明は、4月に降世界各国を対象にサンプルキットと光源モジュールの供給を開始する。MKMは同事業を第3の事業柱と位置づけ、国内、海外でパーペイタムのネットワークを活用した販売に注力する。2015年度にはMKMと三菱化学両社のLED照明、有機EL照明および両関連部材を合わせた照明関連事業で売上高1300億円を達成する方針だ。
LED照明の国内市場 省エネ意識後押し 順調な成長予測 20年に3.7倍へ	電気新聞	2011年5月2日	民間調査会社の富士経済はこのほど、2020年の国内LED照明関連製品市場が10年比3.7倍の3180億円に成長すると報告をまとめた。10年は前年比2.7倍と爆発的な成長を遂げたが、省エネ意識の高まりと製品の低価格化などを背景に、今後も順調な成長が続くと予測。特に直管形LED照明は10年比で7倍に成長するとした。10年の国内LED照明器具市場の規模は前年比221.1%増の610億円で、照明器具全体に占める金額ベースのシェアが13.9%となったと報告。「LED照明器具の70%以上を占める白熱灯代替形が、低価格化や改正省エネ法の施行によって前年比3.6倍と大幅に増加し拡大をリードした」としている。
遠藤照明が急騰、純利益予想を大幅引き上げ、デリバティブ評価損が改善	株式新聞速報	2011年5月2日	LED照明などを手掛ける遠藤照明が急騰。一時103円高の1155円まで買われ、4月22日に付けた年初来高値1157円に迫る場面がみられた。前週末4月28日、11年3月期連結の純利益予想を上方修正、好感された。11年3月期の売上高は190億円から188億9000万円(前期比43.6%増)、営業利益は23億円から22億8000万円(同14.8倍)に引き下げたものの、純利益は1億円から4億2000万円(同26%増)に増額。売上高と営業利益は、東日本大震災の影響を受け減少する見通し。ただ、純利益については、デリバティブ評価損が為替などの影響により改善、大幅引き上げにつながる見込み。
岩崎電気が新値浮上に値上がり率トップ、11年3月期業績予想の上ブレが刺激に	株式新聞速報	2011年5月2日	岩崎電気が上入れ、一時46円高の256円を付ける場面があった。4月15日の年初来高値234円を更新し、東証1部値上がり率トップに立っている。前週4月28日引け後に11年3月期連結業績予想の上方修正を発表し、刺激材料となった。売上高は前回予想の530億円から541億円(前期比3.2%増)、営業利益は同12億円から29億8000万円(前期比4倍1200万円の赤字)にそれぞれ上積みされた。LEDなどの新商品が第3四半期(10年10-12月)以降、国内市場を中心に好調に推移した。コスト削減効果も加わり、黒字幅を大きく広げた。
ローソンの空調・照明最適に、人工知能使い節電――今夏、全店で共有	日経産業新聞	2011年5月5日	ローソンは人工知能を使ったシステムで割り出した店舗の節電法を今夏をメドに全店に展開する。日照時間など立地条件が異なる全国8店舗で試験導入している同システムの空調や照明の制御データを活用する。最適手法を共有化し、店舗の消費電力を1割程度減らす。LED照明の採用などあわせて、政府が今夏に求めている最大消費電力の15%削減に対応する。人工知能は人間の脳の働きをコンピューターで模倣したもので、様々なデータから推論したり学習する機能を持つ。ローソンは店舗の空調などを自動制御するシステムを東大と共同開発し、北海道、東京、神奈川、長野、富山、大阪、愛媛、大分の8都道府県で各1店で運用している。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
有機EL照明の国際標準化、研究施設建設目指す	毎日新聞	2011年4月28日	有機EL照明などの国際標準化を目指す山形大は、有機EL分野の応用研究施設の「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」を米沢市内に建設するため、経済産業省のイノベーション拠点立地支援事業「先端技術実証・評価設備等事業」に補助金の申請を提出した。山形大工学部が研究を進めている有機EL照明、太陽電池、トランジスタは、紙のように薄い膜で窓に張って太陽光発電をしたり、薄くて軽いディスプレイになるなど、さまざまな応用が期待できる。
有機エレクトロニクス研究拠点構想、山形大、国に申請、13年春稼働めざす	日本経済新聞	2011年4月29日	山形大学は次世代有機デバイスの実用化研究拠点整備構想をまとめ、28日までに国に正式申請した。建設予定地は米沢オフィス・アルカディア（山形県米沢市）で、総投資額は約16億円。採択されれば年度内にも着工、2013年春の稼働を目指す。有機EL（エレクトロルミネッセンス）照明などこれまでの研究実績を生かし、新産業の育成・集積につなげる。「有機エレクトロニクスイノベーションセンター」（仮称）は約1万平方メートルの敷地に延べ床面積3800平方メートル程度の研究棟を建設。クリーンルームや実験室、事業化支援室などを整備する。
震災に立ち向かう、最先端研究の火消さぬ、有機エレクトロニクス開発、士気向上	日本経済新聞	2011年5月1日	震災の影響は最先端研究にも及ぶ。山形大学が今春開設した有機エレクトロニクス研究センターは本格稼働が大幅に遅れ、国内外のトップ研究者を招く予定だった記念式典も中止。海外研究員が離散するなど二重三重の打撃に見舞われた。『有機エレクトロニクスなら米沢』を世界にアピールする絶好の機会だったのに……。大学幹部らは肩を落とす。
大型電子看板、世界初の曲面型有機EL、出光、本社内に設置	日経産業新聞	2011年5月5日	出光興産は、東京都千代田区の本社に、大型の有機エレクトロルミネッセンス（EL）のデジタルサイネージ（電子看板）を設置した。三菱電機、東北ハイオニアと組み、出光は有機EL素材の提供などで協力した。96ミリの有機ELパネル240枚を組み合わせて、丸みを帯びた筒状に設計。有機ELの曲面ディスプレイは世界で初めてという。大きさは縦1・15メートル、横1・92メートル。有機ELが持つ光を拡散して発光し、残像が残りづらい特徴を生かした。消費電力は液晶に比べ2分の1になるという。
NECライティング／直下照度1500ルクスのLEDスタンド照明	日刊工業新聞News	2011年5月10日	NECライティング 直下照度1500ルクスを実現した発光ダイオード（LED）スタンド照明「HSD16001W/W-D12」を発売した。読書用途のほか、LED常夜点灯モードが付いており、メイン照明消灯後の明かりに適している。演色性の高いLEDを使用し、色を正確にみせる基準である「Ra」は80。本体カラーは高級感のあるミルクホワイトと、ピアノブラックの計2タイプを用意した。価格は2万1000円。
D、ID、LED日本市場参入	日経産業新聞	2011年5月12日	韓国のLED液晶用バックライトメーカーであるD、IDは日本のLED照明市場に参入する。電球型など一般照明40機種を6月10日に発売する。日本市場で主流の製品に比べて1〜2割安く設定し、需要獲得を目指す。蛍光灯に似た形の直管型タイプで実勢価格が3万9500円程度となる見込み。日本のLED照明事業で50億円の売上高を目指す。一般照明では直管型のほか、電球型や防犯灯型、光の量を調節できる調光型、器具と照明の一体型など8タイプ40機種を発売する。一般照明型のほかには工事の夜間作業などに使える板型の業務用タイプも発売する。日本人のD、IDジャパンを通じて量販店やインターネットサイトなどで販売する。
リコー——オフィス向けLED照明、既存器具生かして省電力	日経産業新聞	2011年5月11日	リコーは今年7月、直管型と呼ぶオフィス向けのLED照明を発売する。今あるオフィスの蛍光灯の取り付け器具をそのまま活用し、管だけを付け替えるだけで済むのが最大の特長だ。顧客にとっては、面倒なオフィス内の工事をせずに簡単に省電力化が図れるため需要は今後、拡大しそうだ。「これで既存のオフィスのLED照明の導入が加速するはず」、リコーのエコソリューション事業部の小黒正樹事業部長はこう言って自信を示す。なぜなら、オフィス照明のLED化は口金を付けた取り付け器具ごと取り換えられないとできないという業界の常識を覆した「画期的な商品」との自負があるからだ。
明るすぎた店内照明—電力不足、「適正」探る契機に	日経MJ（流通新聞）	2011年5月9日	震災と原発事故による電力不足の影響で店内の照明を若干落として営業している店舗が多いが、インターネットなどでは「このくらい明るくて十分」「今までが明る過ぎた」という意見が大勢を占めている。筆者もまったく同感で、この問題に関しては、今回の電力不足が店内の照度の「適正」を考えるきっかけになってくれればと思う。以前であれば「スーパーマーケットは1000ルクス、ドラッグストアは2000ルクス」と言われていたものだが、近年の店内照明はこの数字を大幅に上回っていたのではないかとと思われる。
青色照明で防犯って本当？	朝日新聞	2011年5月7日	自宅近くに毎晩まぶしい青色の光を放っている地下歩道がある。同じように青色の蛍光灯がついた自転車置き場も見かけた。地元区役所に聞いてみると、防犯目的で設置されたのだという。JRでは飛び込み自殺防止のために、ホームや踏切の電灯を青色に変えるところも出ている。青色照明には心を落ち着かせる効果があるというのだが、どこまで裏付けがあるのだろうか。
LED1046個で62%省エネに、東大、館内の照明実験	日経産業新聞	2011年5月10日	東京大学は9日、工学部2号館で取り組んでいた照明の低消費電力実験の結果を発表した。館内の蛍光灯を1046個の発光ダイオード（LED）に切り替え、消費電力を62%削減した。東大が産業界と協力して進める省エネ実証実験「東大グリーンICTプロジェクト」の一環。本郷キャンパス（東京・文京）の工学部2号館で、大塚商会が無償提供した電球型LED1046個を廊下やエレベーターホールなどに設置した。消費電力は4440ワットと、切り替える前の38%にまで下がった。
大和ハウス、被災地にLED街路灯を3万台寄贈	The Sankei Shimbun & Sankei Digital	2011年5月6日	大和ハウス工業は6日、東日本大震災の被災地復興支援に向け、被災した宮城、福島、岩手3県の各自治体に合計3万台のLED（発光ダイオード）搭載型の「街路灯」を寄贈すると発表した。1台当たり1万5000円の製品で、トータルでは3億1500万円にのぼる。寿命は4万時間（約9年）で、一般的な蛍光灯型の街路灯に比べ約4倍、消費電力も、最大で約45%削減できるという。
パナソニック電工、汐留ミュージアムの全館を次世代照明化	化学工業日報	2011年5月11日	パナソニック電工は、4月23日から開催している企画展「ルオーと風景—パリ、自然、詩情のヴィジョン—展」に合わせて、東京本社内にある「パナソニック電工汐留ミュージアム」を、すべて次世代照明化した。既設のLED照明器具28台に加え356台を新規導入、合計384台のLED照明と有機EL（エレクトロルミネッセンス）照明（試作品）による全館次世代照明で展示を行う。これにより、ミュージアム内の消費電力を従来より約50%削減するとともに、展示物をより最適な照明とし「快適」と「エコ」を両立した美術館として生まれ変わった。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
独の店舗見本市——照明機器に新たな可能性	日経産業新聞	2011年5月11日	店舗関連の見本市「JAPAN SHOP 2011」が3月8日から11日まで都内であったが、独デュッセルドルフでも「ユーロ・ショップ」が2月26日から3月2日まで開かれた。前者と比べ、後者はかなり大がかりだった。デュッセルドルフの見本市会場は基本的に平屋だが、19あるホールの展示可能面積は「JAPAN SHOP」の会場だった東京ビッグサイトと、幕張メッセの合計を上回るという。ユーロ・ショップはそのうち17ホールを使って開いた。世界中の企業が参加した展示を全部見るには、丸々1日はかかるほどだった。
遠藤照明／明るさ、効率向上／LED新製品1858点追加	建設通信新聞	2011年5月11日	遠藤照明は、LED照明器具の新製品1858型番を発表した。これによりLED総アイテム数は2700点となる。明るさや効率をバージョンアップした製品を増やした。得意とする商業施設向けのほか、オフィスや学校、工場など幅広い分野に普及させる。6月初旬に販売を始めた。同社のLED製品群「LEDシリーズ」は、豊富なアイテム数と低価格が特徴。蛍光灯に対抗する「Lシリーズ」は、デザイン性にすぐれたモジュール4種を追加した。色温度5000ケルビン、Ra(平均演色評価数)85タイプを加え、光の品質も高めている。
パイオニアと三菱化学、発光効率最高の塗布型有機EL	日本経済新聞	2011年5月11日	パイオニアと三菱化学は10日、世界最高の発光効率となる塗布型有機エレクトロルミネッセンス(EL)素子を開発したと発表した。光源となる有機材料を基板に塗布されるようにした。照明などでの用途を見込む。塗布型有機ELは現在主流の蒸着型と呼ばれる有機ELに比べ量産に向くため、製造コストが下がる可能性がある。2014年の製品化を目指す。新開発の有機EL素子は発光効率が1ワットあたり52ルーメン。蛍光灯は1ワットあたり60ルーメン程度のため、実用照明に近づいた。
LED照明、岩崎電気、米で参入、現地用に道路灯を開発	日経産業新聞	2011年5月17日	岩崎電気は発光ダイオード(LED)照明で米国市場に参入する。現地で道路灯を開発・生産して今秋から全米で販売、今後は中国など他の海外市場も開拓する。LED照明の世界市場は2015年に10年の3・9倍の96億2500万ドル(約8000億円)に成長すると予測もある。東芝ライテックなど大手メーカーがオフィス・家庭用を米国で販売しており、中堅の進出でグローバル展開が本格化してきた。LEDは電球タイプの場合、白熱電球に比べ消費電力が約5分の1以下で、長寿命は約40倍。岩崎電気が米市場に投入するのはLED照明を搭載した道路灯で、高速道路や一般道路に使う。光の広がり方や明るさを現地仕様に変えて開発する。
LED防犯灯、暗闇で見えやすく、パナ電工、青白い光採用	日経産業新聞	2011年5月18日	パナソニック電工はLEDによる防犯灯で従来より暗闇のなかで見えやすい製品を6月1日から順次発売すると発表した。人の目で認識しやすい波長の短い青白い光を発するため、道路の際までくっきり見えるといふ。地方自治体など向けに、2012年度に年10万台の販売を目指す。製品名はエバーレックスシリーズ「LED防犯灯アカルミナ」。明るさは消費電力8・4ワット、16・5ワット、24・9ワットの3種類。自動減速の有無を含めて、合計6種類をそろえた。希望小売価格は1万8900～7万6650円。人の目特有の感覚に着目。暗闇のなかでは、青白い色など短波長の光が見えやすくなるという「ブルキン現象」を応用した。
パナ電工、高い天井向けLED、24種、明るさ調整で節電	日経産業新聞	2011年5月20日	パナソニック電工は19日、商業施設などの高い天井に取り付けるLED照明「高出力型LEDダウンライト」24種類を6月1日から順次発売すると発表した。蛍光灯並みの明るさを確保し、吹き抜けのある空間でも使いやすくなった。同じ明るさを出すのに必要な電力の消費効率はLED照明の中でも最高水準といふ。2011年度は10億円の売り上げを目指す。希望小売価格は6万2475～12万6000円。蛍光灯型と比べると高いが、電気代が安くなるため1年以内には元を取れる計算といふ。全商品に明るさを調整する機能を搭載し、いっそうの節電が可能になる。光の色は白色や電球色など4種類から選べる。
日立、LED照明を内製化—ライン新設でOEMから順次転換	日刊工業新聞	2011年5月17日	日立製作所はLED電球の生産ラインを新設し、LED照明の内製化に乗り出した。これまでLED電球はOEM調達だったが、自社で設計から行うことでより高性能な製品を開発するのが狙い。照明の生産再編も同時進行して白物家電のノウハウを取り入れ、コスト削減も目指す。生産移管も含めた総投資額は約10億円。これまでパナソニックなどの後塵を拝してきたが、国内シェアを現状の数%から10%以上に引き上げる。白物家電製造の日立アプライアンスは多資事業所でLED電球の生産を始め、内製化の第1段階を今春から販売している。現在、同社が取り扱うLED照明は100種類。今後はOEMから自社開発品へ順次置き換えていく方針だ。
街路灯照明のLED化への補助を18日から先行受付 特定施策推進型商店街事業で都産業労働局	建通新聞(東京版)	2011年5月16日	東京都産業労働局は、震災や地球温暖化対策、バリアフリー化などを目的とした商店街の取り組みに補助する「特定施策推進型商店街事業」のうち、街路灯照明のLED化に対する補助申請を先行して18日～20日に受け付ける。今夏までにランプの交換を完了させることが条件。通常6月に行っている補助申請の受付を前倒すことで、夏季に見込まれる大幅な電力不足に備える狙いがある。
照明2団体が統合検討 LED国際標準化に力	電気新聞	2011年5月16日	日本照明器具工業会と日本電球工業会が、統合を検討していることがわかった。LED照明の国際標準化へ向けた取り組みを一元化し、強化するのが目的。LED照明は国内では省エネルギー、節電ニーズから一層の普及が予測される一方、継続的な発展のためには国際展開が不可欠とされる。規格の国際標準化はメーカーの海外進出を後押しする効果が期待される。照明器具工業会は1942年、電球工業会は1933年に設立。従来型照明は器具と光源の境界が明確で、それぞれの領域で役割を分担して照明の近代化と普及に貢献してきた。
サムスンLED、設備増設に1643億ウォン投資	聯合ニュース	2011年5月16日	サムスンLEDは16日、生産力の拡大とユーティリティの増設、補完に向け、機械装置の購入などに1643億ウォン(約121億6000万円)を投資すると公示した。サムスンLEDは、発光ダイオード(LED)関連事業のためサムスン電子とサムスン電気が2009年に共同出資で設立した合弁法人。サムスンは昨年5月、太陽電池、自動車用バッテリー、パイオ製薬、医療機器とともに、LED分野を5大主要事業の一つに定めた。サムスンLEDを通じて、照明エンジンと自動車用LEDランプなどに事業領域を広げ、2020年までに8兆6000億ウォンを投じ、年間17兆8000億ウォンの売上高を計上するとの目標を提示した。
日亜、LED生産棟増設 世界トップ堅持へ 700億円を投資	徳島新聞	2011年5月19日	日亜化学工業は、LEDの世界的な需要拡大に対応するため、大幅な増産体制の整備を進めている。本社敷地内で建設中だった生産棟が3月に完成したのに続き、新たに生産関連施設2棟の建設にも着手。生産能力の強化と合理化を急ピッチで進め、競争優位を維持する方針だ。建設が始まった施設のうち、本社敷地中央に建つ新生産棟は、鉄骨8階建てで延べ床面積約2万平方メートル。LED製造の前半工程の中でも、LEDが光る元となる結晶を基盤上で作り上げる工程を担当する。2012年5月末に完成し、夏ごろに稼働させる計画だ。また県道に面した敷地北側には、LED製造用の内装装置を製作する施設を建設中。
LED照明にエレコム参入、家庭の需要取り込み	日本経済新聞	2011年5月15日	エレコムはLED照明事業に参入する。5月下旬に直管型家電量販店などを通じて売り出す。韓国メーカーに生産を委託し、価格を同業他社製品より抑えた。電力不足懸念が広がるなか消費意欲が落ちており、家庭を中心に蛍光灯からの置き換え需要を取り込む。照明関連品も含め、3年後に10億円の売上高確保を目指す。新ブランド「レスンライティング」から、玄関や台所などに使う15、20型の2種類を売り出す。8400～9870円。寿命は蛍光灯の約3・3倍の5万時間あり、消費電力も2分の1という。従来の蛍光灯を取り外し、そのまま交換できる。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
ファイルいい話／上尾興業－LED照明器具	日刊工業新聞	2011年5月18日	上尾興業のLED照明器具のリース事業が好調な滑り出しをみせている。2月の事業開始以降引き合いが相次ぎ、ドラッグストアチェーン店をはじめ2件で施工が始まった。病院や福祉施設など5件での試験導入も決定済み。「試験期間後は10件単位で一気に納入できる」(加藤社長)見通した。同社のLED照明事業は、製品ラインアップの豊富さが強み。メーカー約30社が手がける計約1000種の製品を扱っている。設置場所ごとに種類やサイズを提案し「建物の照明をトータルプロデュースするサービス」だ。
東京都、オフィスビル事業者へ節電対策の徹底要請	日本経済新聞電子版ニュース	2011年5月18日	東京都は17日、主に都内のオフィスビル事業者を対象に節電セミナーを開催し、今夏の電力不足に備え節電対策を徹底するよう要請した。希望する事業者には専門家を無料で派遣、各事業所の状況に応じた節電の方法を助言する。節電対策として要請したのは(1)室内温度を28度に設定する(2)室内の照明を4分の1以上(目標は2分の1)減らす(3)白熱灯から発光ダイオード(LED)照明などへの更新――など10項目。ビルのテナントにも同様の取り組みを求める。都は2010年度から大規模なビルや工場に温暖化ガスの排出削減を義務付ける制度を始めている。
オフィスの節電 照明・空調で効果高く、昇降機の効果は低いJSBC	建通新聞(東京版)	2011年5月19日	オフィスの節電効果は照明や空調設備が高く、昇降機設備は低い。日本サステナブル建築協会(JSBC)は、東日本大震災の影響で懸念されている今夏の電力不足を円滑に乗り切る節電対策の緊急提言をまとめた。今後若干の修正を加え、5月25日午後1時30分から東京・文京区のすまいるホールで開くシンポジウムで発表する。JSBCが国土交通省や経済産業省の協力を得て構築した非住宅建築物の環境関連データベース(DECC)による電力消費量解析結果などの客観的データを基に、効果・効率的な節電手法を示した。今夏の対策に間に合うよう、運用面を主体にまとめている。
有機EL照明、後発でどう攻める？、コニカミノルタ社長松崎正年氏	日本経済新聞	2011年5月15日	コニカミノルタホールディングスが有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明を事業の柱に育成するため、オランダのフリリップスとの協業を決めた。蛍光灯から消費電力の少ないLED照明への買い替えが進む中、その「次」の本命と期待される有機ELの事業化を急ぐ。なぜ照明に注力するのか、松崎正年社長に聞いた。――有機EL照明を開発中の企業は多い。「我々は事務機でオフィスへの販路を持っている。照明のビジネスでは後発メーカーでも、十分に逆転が可能と判断した。写真のフィルムで培った発光効率の高い材料技術があり、世界の照明メーカーも評価してくれている」
パナ電工、トレーラーで巡回、LED照明を展示	日経産業新聞	2011年5月26日	パナソニック電工は25日、大型のトレーラーを使ったLED照明の移動式展示会を始めると発表した。大型の荷台にLED照明や解説用のモニターなどを設置。見学者に対して省エネ効果をアピールするとともに、実物で白熱灯などと比較しながら体感してもらう。6月1日から、住宅や建材関連の業者、官公庁や代理店など照明業界の関係者向けに全国の約40カ所を巡回する。トレーラーは5台を1組とし、住宅用や店舗用、施設向けなどに分けておよそ220点のLED照明を展示する。日本の東西2組に分かれて合計10台のトレーラーが各地を移動し、全国で2万人の動員を目指す。
パナソニック電工、LED照明の移動式内覧会を開始	日刊工業新聞	2011年5月26日	パナソニック電工は25日、電材店など業界関係者向けに発光ダイオード(LED)照明を体感できる移動式の内覧会「V-BOX」を6月1日に始めると発表した。各種製品を展示する大型トレーラーを使って、全国約40カ所を巡回開催する予定。東日本大震災の影響で今夏に大幅な節電が求められ、個人、法人ともに節電意識が急速に高まっていることに対応して製品をPRする。開催期間は9月までで、約2万人の来場者を見込む。内覧会は北海道から沖縄県まで全国主要都市を2班に分けて、それぞれトレーラー5台で巡回する。
ローム、明るさ抑えたLED照明	日本経済新聞	2011年5月24日	直管形蛍光灯と同じ形をした省電力タイプの発光ダイオード(LED)照明を開発した。従来のLED照明より明るさをおさえ、蛍光灯に比べて消費電力を7割、従来型LED照明に比べても4割引き下げたという。消費者の節電意識の高まりに対応する。
LED照明、秋葉原に展示場、OPTILED、他社品の半値	日経産業新聞	2011年5月24日	中国・香港に本社機能を置いているLED照明のOPTILEDが7月、東京・秋葉原にショールームを開設する。日本市場に売り込んでいた「直管型」のLEDだけでなく、「電球型」や「ハログラム型」などの海外向け商品も一堂に集めるという。気軽に明るさを省エネ性を体感してもらうことで、日本でのブランドカアップと事業拡大に弾みをつける。開設するショールームは、同社の日本法人が入る東京都台東区のオフィスビル1階に設置する。延べ床面積は約91平方メートル。店舗やオフィスを再現した空間構成にして、LED商品の効果的な使い方を例示する。
東芝ライテック、日本電球工業規格に適合する直管形LEDベースライト68機種を発売	日経速報ニュース	2011年5月25日	東芝ライテック株式会社は、日本電球工業規格(JEL 801・2010)(注1)に適合する直管形LEDベースライト68機種を7月から順次発売、ラインアップを拡充します。国内オフィスにおけるエネルギー消費のうち、約21%の割合を占めている(注2)照明の省エネ化は、重要な課題となっています。当社はこのようなニーズにお応えするため、照明のLED化を様々なシーンで推進しており、2011年1月からは、ランプ交換可能な直管形LEDベースライトを発売しています。今回、直管形LEDベースライトに新商品として68機種を追加することにより、使用場所やニーズに合わせたよりきめ細やかな提案が可能になりました。
ウシオライティング、LED照明で米進出、店舗や商業施設向け12種	日経産業新聞	2011年5月27日	ウシオ電機の子会社であるウシオライティングは米国のLED照明市場に参入する。オフィスや店舗、施設向けの電球型LED照明「Let(レット)」シリーズを6月を以て発売する。ウシオライティングはこれまで海外ではLED照明を欧州のみ展開していたが規模は小さかった。米市場に進出、2013年末までLED照明事業で30億円の売上高を確保し、収益基盤の拡大を目指す。米国で販売するレットシリーズは発光部をフィラメント状にして外観を白熱電球に近づけたデザイン性の高さが特長。特に店舗や商業施設のシャンデリアなどで採用が増えている。
ラックランド「棚子ちゃん」・生鮮対応のLED棚下照明を開発	週刊流通ジャーナル	2011年5月23日	店舗設備の企画・設計を行うラックランドは今期、冷ケース用LED照明「棚子ちゃん」を開発し、業界で初めて生鮮3品にも使用できる棚下照明として提案している。30種類の光のバリエーションをつくり出す演色性の高さが特徴で、蛍光灯を使った一般的なケース照明に比べ、消費電力を約50%削減できる。同社はエコロジー・スーパーマーケットを追求し、省エネ技術を中核とした「エコモデル」を提案する。棚下照明の技術革新により、省エネ化のトータルソリューションの幅を広げた。
有機EL照明―量産成功、実用化で火花(攻防デジタル市場)	日経産業新聞	2011年5月26日	有機エレクトロルミネッセンス(EL)照明で各社が実用化に向け火花を散らしている。三菱化学とパイオニアは共同で好みの色味に発光できるパネルを7月から量産する。三菱重工業などが出資するルミオテックは2010年末に世界で初めて量産に成功。本格普及はまだ先だが、次世代照明の柱として市場争奪戦は激しさを増している。黄色、水色、淡いピンク色……。車内に設置されたスマートフォン(高機能携帯電話)を操作すると車内の照明が色とりどりに変わった。電気自動車(EV)ベンチャーのSIM―Drive(川崎市)が開発した1回の充電で333キロメートル走行できる次世代EVの車内照明として採用されたのは有機EL照明だった。
住友化学、LED照明を本格販売、アクリル導光板採用	化学工業日報	2011年6月2日	住友化学は、アクリル導光板を用いたLED照明を6月から本格販売を開始する。コイズミ照明とタイアップして製品化したもので、「スミルック」のブランド名で販売する。アクリルシートの販売会社である住化アクリル販売など複数の販路を通じて、当面は住友グループを中心に営業活動を展開する予定。2012年度には売上高50億円を目指す。同社はMMA(メチルメタクリレート)を基礎化学事業部の主力事業の1つとしており、モノマーから加工品まで手がけている。さらにアクリル導光板と白色LEDを組み合わせた照明器具の開発に09年から開発を進めていた。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
東大准教授の岩船由美子さん——クールにこなす職場の節電	日本経済新聞	2011年5月28日	原子力発電所事故などで夏の電力不足が心配な首都圏。オフィスや店舗の電力量を抑えて仕事に影響が出ないようにしたい。夏を乗り切る職場の節電ノウハウを東大生産技術研究所の岩船由美子准教授に聞いた。「これは技術的な解決策では間に合いません。小さな努力を積み重ねる総力戦になります」と切り出した岩船さん。東京電力管内の夏期平日に想定されるピーク需要6000万キロワットの内訳を「家庭2・業務4・産業3」と推計。業務用の節電がカギになる。「日本のオフィスはもとも、明るすぎます」と岩船さん。日本工業規格(JIS)の照度基準は750ルクスで、欧米諸国の500ルクス前後より高く、1000ルクス以上ある事業所も多い。
京急の「羽田国内線」/「天空橋」2駅、全照明LEDに、節電の一環	日本経済新聞	2011年5月28日	京浜急行電鉄は東日本大震災による夏の節電対策として、羽田空港国内線ターミナル駅と天空橋駅の全照明を発光ダイオード(LED)照明に交換する。6月1日に交換作業を始め、下旬にも工事を完了させる。使用電力量の多い地下駅でLED化を進め、ほかの駅にも順次導入を広げる方針。グループの全従業員にLED電球を配り、節電への意識向上も図る。羽田空港国内線ターミナル駅と天空橋駅にある計約1800基の照明をLEDに取り換える。これにより、両駅構内の使用電力量を現在の半分以下に抑えることが可能という。このほか、構内にエアコンを設置している品川駅など6駅で設定温度を引き上げる。
蛍光灯型LED規格、議論平行線 工業会「安全性」中小は「低価格」	産経新聞	2011年5月31日	節電意識の高まりで蛍光灯をLEDランプに切り替える動きが広がる中、日本電球工業会が策定したロ金(接続部)の統一規格をめぐる、中堅・中小のメーカーから「開発負担がかさむ」などと反発の声が出ており、安全性重視の工業会との間で主張が平行線をたどっている。「新たな器具の開発・製造を行わなければならない、中小メーカーの経営は成り立たない」。危機感をあらわにするのは、LEDランプ製造・販売を手がけるアクトグリーンの岡野基喜社長だ。工業会は昨年、直管型と呼ばれる蛍光灯型LEDの統一規格を策定したが、従来の蛍光灯とロ金の形状が違うため、既存の照明器具にそのまま差し込むことはできない。
大阪府、LED道路照明認定制度の対象製品募集	日刊工業新聞	2011年5月31日	大阪府は道路照明灯の発光ダイオード(LED)化を狙いに、性能など一定水準を満たした製品を認定する「LED道路照明技術評価制度」の対象製品募集を始めた。対象はLED道路照明灯を自社開発・設計する国内企業。連続照明用のほか、今年度は交差点照明用を追加した。応募締め切りは7月25日
特集 LED、すべてを照らす	日経エレクトロニクス	2011年5月30日	第1部＜総論＞ 白色LEDは頂点を極める 史上最も高効率と最安が目前に 第2部＜白色LED＞ コールは200lm/W超 使い勝手向上との高立図る 第3部＜照明とITの融合＞ LEDが「光の質」への変化促進 制御技術は戦国時代に 第4部＜有機EL照明＞ 多様性で勝負に出る 蛍光よりも安くなる可能性も
全照明LED化で節電効果 原費13基分 初期費用は16兆円	産経新聞	2011年6月1日	国内外のエネルギー事情を研究する財団法人、日本エネルギー経済研究所は31日、国内の全照明をLED(発光ダイオード)ランプに置き換えた場合、照明用の消費電力の6割にあたる922億キロワット時を節電できるとの試算をまとめた。原子力発電所13基分に相当する。ただ、初期費用には約16兆円かかる見通しで、実現には企業への税制優遇や家庭への補助金制度導入などの対応が求められる。国内の照明用の年間消費電力量は計1506億キロワット時で、全消費電力の16%を占める。すべてLED化した場合、省エネ効果は、国内消費電力の全体の9%にのぼるとみられる。
LED売り込み強化 中国地方量販店など 自宅訪問や節電PR	中国新聞	2011年6月1日	東日本大震災による節電意識の高まりを受け、中国地方の家電量販店などが発光ダイオード(LED)照明の販売を強化している。家電量販店デパートを展開するエディオン(大阪)は1日から、LED電球の取り付けなどの訪問サービスを期間限定で始める。エディオンは、デパートを展開する中国地方をはじめ全営業エリアで訪問サービスを開始する。電話などで依頼を受けた顧客宅をスタッフが訪問。主要メーカーのLED電球を持参し、取り換えが可能な照明器具をチェックする。最適な製品や費用を案内し、顧客の要望に応じてその場で販売、取り付ける。
有機EL、合従連衡加速 コニカミノルタなど、普及促進に光明	FujiSankei Business i.	2011年5月30日	次世代の照明として期待される有機EL(エレクトロルミネッセンス)メーカーの合従連衡が加速している。コニカミノルタホールディングスは、照明器具大手の蘭フィリップスに光源のバルブ生産を委託。三菱重工業などが出資するバルブメーカーのルミノテック(山形県米沢市)も、イタリアの器具メーカーなど2社と組んで器具販売に乗り出す。材料技術などの強みを持ち寄り、商品開発力や用途提案力を高めるのが狙い。有機EL照明は実用化元年を迎えたばかりだが、企業連携が進めば普及が早まる可能性もある。コニカミノルタは「蒸着型」と呼ぶ製造法を採用したバルブの製造ノウハウをフィリップスに提供し、生産を委託。今秋までに両社が販売を始める。
直管形LED 東芝ライテックが製品群を大幅に拡充 防湿形など68機種	電気新聞	2011年6月7日	東芝ライテックは、直管形LED(発光ダイオード)照明の製品群を大幅に拡充する。日本電球工業会が昨年制定した「直管形LED照明規格(通称=L型ロ金)」に対応する。7月から防湿・防雨形や、衛生的な環境に適した照明器具など68機種を順次発売。事業所の省エネルギーニーズに応える。直管形LED照明規格は従来の直管形蛍光灯を代替するもので、ロ金形状を工夫することで安全性を確保している。東芝ライテックは1月から対応製品77機種を販売している。
パナソニック、中国で照明専売店倍増、5000店に、LED需要取り込む。	日本経済新聞	2011年6月10日	パナソニックグループは9日、中国で同社の照明製品の専門販売店を2015年度までに現在の2倍の5000店に増やすと発表した。電力消費の少ないLED照明を売り込む。中国でも電力不足で節電意識が高まっているのを追い風に、同年度の照明事業の売上高を09年度比5倍の400億円に引き上げるとをめざす。専売店は沿海部に比べ手薄だった内陸部にも広げる。同グループの中国でのLED照明の販売実績はまだわずかなが、15年度には照明販売に占める比率を60%以上に高める計画だ。パナソニック電工の松蔭邦彰専務は9日に広東省広州市で開いた中国戦略の発表会見で「中国での照明事業はLEDに大きくカギを切る」と強調した。
コイズミ照明/15年度の海外売り上げ80億円へ/アジア各地に代理店網構築	日刊建設工業新聞	2011年6月9日	コイズミ照明(大阪市中央区)の梅田幸社社長は7日、東京都内で会見し、グループの海外売上高を、11年度の30億円から15年度までに80億円に引き上げる計画を明らかにした。02年に進出した中国市場で拡大する需要を追い風に事業規模を倍増させる一方、シンガポール、マレーシア、タイ、香港、台湾、韓国といった国・地域での本格的な販売を目指し、「本年度は代理店網の構築に力を入れていく」とした。同社は、中国国内に照明器具の開発や製造、販売などを手掛ける子会社を、香港を含めた4カ所に持ち、海外事業を展開している。このうち、02年に設立した香港の現地法人「小泉産業(香港)」を今後は、アジアの販売拠点として再整備する。
大量開発で流行つかむ、アイリスオーヤマ大山社長に聞く—LED、低価格でリード	日経MJ(流通新聞)	2011年6月10日	震災後も「意思決定の速さ」というトップダウン経営の強みを発揮し、快足を続けるアイリスオーヤマ(山台市)。ほぼ半世紀にわたり同社を率いてきた大山健太郎社長に、注力する発光ダイオード(LED)照明事業や今後の販売戦略について聞いた。——角田工場の復旧が早かった。「現場で社員に対して明確な方針、具体的な指示を出せたことが良かった。アイリスには被災した人が一刻も早く欲しい商品がたくさんある。メーカーは商品を届けることが一番大事。社員にはアイリスが元気になることが宮城県を復興させると聞いた」
効果的な照明、バルコに学ぶ、節電でも客足消さぬ——柱周り…、道しるべに	日経MJ(流通新聞)	2011年6月6日	バルコは「間引き」照明のモデルとして渋谷店と調布店の各1フロアを設定し、節電と集客を両立する照明の工夫を導き出した。それは、客の動線に沿って4つのポイントを決めてフロアを両立すること。最も重要なのはエスケーター近隣の共用部分。いわばフロアの玄関口であるこの場所の照明を消すと、全体が薄暗い印象を与えてしまう。次に柱の周辺の照明。売り場を探そうとしてフロアに立つと、柱周りは見通ししやすい位置にある。この明かりを残すことで、来店客がフロアを買い回る際の道しるべを提供することになる。そして肝心の商品がどう見えるか。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
オフィス終日消灯、日興LEDスタンド3000台配布	日本経済新聞	2011年6月4日	夏場の節電に取り組むため、SMBC日興証券は7月から、本社機能がある首都圏のオフィスで終日、照明を消す。社員に約3000台の発光ダイオード(LED)スタンドを配布し、夜間の業務など必要時に使用を認める。これらの節電対策で照明の電力消費量を昨年夏に比べて約8割減らせるとみている。終日消灯の対象は投資銀行部門や管理部門が置かれている東京・兜町や丸の内7つのオフィスで、9月末まで実施する計画だ。LEDスタンドを使うことによって、蛍光灯や白熱灯に比べて電力消費量を2～5割に抑えられる見込み。全国109カ所の営業店や関連会社は対象外だが、部分的な消灯で節電を進める。
太田の防犯灯 LEDに＝群馬	東京読売新聞	2011年6月7日	太田市は、市内にある1万7942本の防犯灯すべてを、従来の白色蛍光灯から、寿命が長く防犯効果の向上も期待できる青色LEDに取り換えを終えた。同市の防犯灯の電気代は、年間約5200万円かかっていたが、LEDへの切り替えにより、電気料金が25～30%削減できるという。地球温暖化につながる二酸化炭素の排出量も年間約350トン減らすことが出来ると説明している。さらに、青色の光によって防犯カメラが人影を判別しやすいことから、防犯灯本来の効果が上がることも期待できるという。
建築学会光環境運営委 照明の効率的利用に向けて緊急提言	建通新聞	2011年6月6日	日本建築学会の光環境運営委員会は、東日本大震災による電力供給不足を踏まえ、生活者の安全・健康を守りつつ照明を効率的に利用することを目指した緊急提言をまとめた。当面の間、日本工業規格照明基準総則(JIS Z9110:2010)の推奨照度を現行値から一段階下げることや、LEDなどの高効率光源の使用などを求めている。照明設備の設計・施工だけでなく、施設管理者、行政担当者など幅広い関係者を対象に取り組みを求めている。JISの推奨照度は、推奨範囲の中央値であり、必要な最低の照度を規定するものではないとの考えから、推奨照度を1段階下げても適格性は欠かれないと判断。
都留市 公共施設トイレ LED照明化へ＝山梨	東京読売新聞	2011年6月7日	都留市は、東日本大震災に伴う電力不足を受け、節電対策の一環として市役所など公共施設のトイレ照明を蛍光灯から人感センサー付きLED照明に切り替えることを決めた。予算額は約104万円で、10日開会の6月定例会議に提出する今年度一般会計補正予算案に盛り込んだと6日、発表した。市によると、照明を切り替えるのは、市庁舎内トイレ8か所と文化会館、ミュージアム都留、ふるさと会館のトイレ16か所。いずれのトイレも現在は消費電力40ワットの蛍光灯照明が設置されているが、人が入室したのをセンサーが感知した時だけ点灯する同8ワットのLED照明に替える。消費電力は5分の1以下に抑えられるという。
LED電球補助 申込枠1000件追加 佐賀市＝佐賀	西部読売新聞	2011年6月7日	佐賀市は6日、発光ダイオード(LED)電球の購入費補助事業について、追加で1000件の申込枠を設けると発表した。8日から、市環境課と各支所で受け付ける。LED電球を購入した世帯を対象に、5000円を上限に購入費の半額を補助する事業。1000件の枠で1日から受け付けたが、2日午前でいっぱいになり、締め切った。6日の記者会見で秀島敏行市長は「もっと枠を増やしてほしい」という要望を多くの市民からいただいた」と説明した。
経産省、LED照明比べやすく＝評価法を国際標準化	日刊工業新聞	2011年6月8日	経済産業省はLED照明の性能評価方法の国際標準化に乗り出す。産業技術総合研究所や日本電球工業会、東芝、パナソニックなど官民が参加。国際エネルギー機関(IEA)の作業部会で2013年までに案をまとめ、照明の性能評価方法の国際標準を決める国際照明委員会(CIE)に提出する。LED照明の性能を客観的に評価できるようにして、消費者が各メーカーの製品を比較しやすくする。製品の性能を差をつけたい日本企業の競争力を支える狙いがある。LED照明の明るさや色の見え方(演色性)の評価方法について国際標準化を目指す。
まだ減らせる一快適さと省エネは両立する－三菱地所	日経エコロジー	2011年6月8日	「タスク&アンビエント」。次世代オフィスのキーワードとしてよく登場する考え方である。タスクは作業を、アンビエントは環境を意味する。空調や照明で、部屋全体に対するもの(アンビエント)、個人々の作業内容に応じたもの(タスク)とを併用する方式のことだ。三菱地所は、東京・丸の内にある新丸ビルに、地域の環境活動や環境技術の実証実験などの施設「i-COZZEアリア」を持つ。ここ「次世代低炭素実証オフィス」に、照明と空調に最新の設備とタスク&アンビエントの思想を取り入れている。実証オフィスでは、2009年9月から2010年9月まで具体的にデータを計測。年間のCO2削減量の目標値は14～15%。
有機EL照明(三菱化学・バイオニア、カネカ) 柔らかな光が人を癒やす	日経ビジネス	2011年6月6日	停電が終わって最初につけた蛍光灯。長い道のりを歩いて見つけた自宅の窓から漏れる明かり。東日本大震災で疲れた人々の心を、1つの照明がどれだけ癒やしたのだろうか。はるか昔、火をおこした人類の祖先は初めて「光」を自らの手に入れた。長い時を経て電球が開発され、蛍光灯からLED(発光ダイオード)照明へと進歩した光は、さらに「広がり」を得ようとしている。それが「点」でなく「面」で発光する有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明だ。「このパネルを見つめてみてください。まぶしくないでしよう」
バッテリー内蔵LED照明、停電時も安心、自動点灯－東芝ライテック、補助灯	日経産業新聞	2011年6月15日	東芝ライテックは14日、停電時に補助灯が自動的に点灯する発光ダイオード(LED)照明を7月15日に発売すると発表した。充電式のバッテリーを照明器具に内蔵した。震災の影響で防災意識が高まっていることに対応する。価格はオープンだが、リモコンを合わせて5万円前後を想定している。年間2万台の販売を目指す。発売するのは「バッテリー補助LED付きLEDシーリングライト」で、小型のニッケル水素電池を搭載した。充電約7時間で補助灯を30分程度つけることができる。充電式のバッテリーを使って自動点灯するLED照明は業界で初めてとなる。
LED照明、素材も活況――震災後に需要急拡大、省エネ性に脚光	日本経済新聞	2011年6月12日	LED照明の需要は東日本大震災と東京電力福島第1原子力発電所の事故をきっかけに国内で急拡大している。夏場の電力不足を控えて企業や家庭で節電に対応する動きが高まっているためだ。LEDを使った電球は寿命が約4万時間。一般的な白熱電球に比べて寿命は40倍、消費電力は5分の1以下になる。こうした省エネ性に消費者が注目。大手メーカーが本格参入した2009年に4000～5000円だった電球の価格も最近では平均2300円に下がり、普及を後押ししている。
中国LED照明市場は1兆元規模へ、内外資本が熱い視線	新華社ニュース	2011年6月14日	世界での低炭素化の動き、中国の各種産業支援策の相次ぎ発表を受け、中国のLED照明市場という巨大なパイに資金が向かっている。このほど開催された広州国際照明展覧会には、オスラム、GE、Lumileds、CREEなど世界照明大手および国内の三安、銀河、勤上などの国内大手が未来の中国LED市場に先手を打とうと競って出展した。中国のLED照明市場は将来的に1兆元規模に達すると専門家は断言している。中国は都市照明、道路用照明、家庭用照明などのプロジェクトにおけるLED光源技術の応用をテクノロジー省エネ事業として位置付け、またLED産業を第12次五カ年計画(2011～2015年)の戦略的新興産業に指定した。
LED照明、素材も活況、住友化学、基板原料に100億円	日本経済新聞	2011年6月12日	素材や情報機器メーカーがLED(発光ダイオード)照明向けの投資を拡大する。住友化学は2012年夏までに100億円強を投じて基板原料の生産を増倍。コニシノルタホールディングスはLED照明事業に参入する。低消費電力と長寿命が特長のLED照明は今夏の節電対策を急ぐ家庭や企業による需要が急増。これに伴い関連産業の裾野が広がっている。住友化学は愛媛工場(愛媛県新居浜市)に発光基板の原料となる「高純度アルミ」の新生産ラインを造り、年産1600トンから同3200トンに増やす。これにより米サール社を抜き世界首位になる見通し。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
パイオニア、三菱化学、有機EL照明事業化へ、顧客開拓部門を統合	日本経済新聞	2011年6月11日	パイオニアと三菱化学は年内に有機EL照明の営業・マーケティングを統合する。試作タイプの開発・生産にとどまっている提携業務を本格的な事業に発展させるため、合同会社で有限責任事業組合の設立で最終調整に入った。2013年下期には蛍光灯の明るさに匹敵する次世代パネルを市場投入する計画で、本格的な量産を前に市場調査、ブランド管理、営業の準備を整える。LLCかLLPを選ぶ運営母体の資金負担、人員規模などの詳細は今秋までに詰める。店舗やインテリアなど一般照明向けの蛍光灯の販売で実績のある三菱化学の営業ノウハウに加えて、カーナビゲーションシステムやAV機器を手掛けるパイオニアの販売ルートを活用。
LED照明、電磁波少なく、NTT—AT、蛍光灯の100分の1	日経産業新聞	2011年6月21日	NTTアドバンステクノロジー(NTT—AT、東京・新宿、花沢隆社長)は、従来の蛍光灯に比べて、電子機器に影響を与える電磁波などのノイズを100分の1に低減した発光ダイオード(LED)照明装置を開発した。消費電力も6割程度少ない。使用時の発熱を抑えることでエアコンの冷房効率も大幅アップできる。電子機器を大量に抱え、節電対策を迫られるデータセンターや医療機関、精密機器工場などへの活用を見込んでいる。通常の照明の場合、スイッチを入れたり切ったりする際に「突入電流」と呼ばれる大きな電流が瞬間的に流れる。
久豊技研、LED投光器が高効率で人気	日刊工業新聞	2011年6月17日	久豊技研が開発した発光ダイオード(LED)投光器「アマテックス」の販売が好調だ。独自の形状のレンズを使い光の角度を最適にすることで、約9分の1の消費電力で水銀灯と同等の明るさを実現した。倉庫や工場などの照明向けに2010年10月に発売し、ガソリンスタンドなどへ6件33個を納入した。今年度は2000個の販売を目指す。LEDの光は指向性が高く、レンズの角度で「使用環境や用途に合わせて20—45度の範囲で変える」(森岡社長)ことで最適な光線状態をつくり、必要な光量を提供する。直流24ボルトに対応し、太陽光、風力発電機にも接続可能。価格は「ユーザーが2年程度で費用を回収できるよう」(同)、400型で10万4790円に抑えた。
住宅用LED照明、携帯で点灯方法設定、パナ電工、赤外線機能使用	日経産業新聞	2011年6月21日	パナソニック電工は20日、リモコンの代わりに携帯電話を使って点灯方法を設定できる住宅用LED照明など新製品32種類を発表した。うち16種類が赤外線機能と、照明の点灯時刻などが制御できる。携帯電話をリモコン代わりに使って点灯方法の切り替えができるLED照明は業界初という。新製品は人の出入りを感知するセンサーを組み込んだ玄関灯など。希望小売価格は2万3100円～5万1975円。2012年度に年間5万台の販売を目指す。リモコン代わりに携帯電話を使うには、照明器具に付属している取扱説明書に印刷されたQRコード(2次元バーコード)から専用アプリケーションを入手する必要がある。
コイズミ照明、LED照明アジア参入—中国、現地組み立て、東南ア、販売網を整備	日経産業新聞	2011年6月23日	コイズミ照明(大阪市、梅田照幸社長)は発光ダイオード(LED)照明で東南アジア市場に参入する。2011年度中に中国の自社工場で現地生産を開始、東南アジアでLED製品を販売する。中国・東南アジアでLED照明の売上高を積み増し2014年度までにアジア全体の売上高を10年度の約1.7倍の50億円に引き上げる。中国の主力生産拠点である東莞小泉照明(広東省)に11年度中にLED照明の組み立てラインを設置、生産を開始する。LEDモジュール(複合部品)は日本から取り寄せ、現地で調達するなどした電源や反射板などと組み合わせ、現地のライバルメーカーと価格面で競争力を確保する。
ツインバード、LED品ぞろえ倍増 割安電球やシーリング照明	日本経済新聞	2011年6月23日	ツインバード工業は省エネルギー性能に優れた発光ダイオード(LED)照明の品ぞろえを増やす。今秋に現行商品よりも2～3割安い電球型を投入するほか、天井に据え付けるシーリングライトに参入する。商品の種類を前期に比べ最大2倍に拡充する。商品企画力と低価格を武器に攻勢をかけ、2012年3月期の照明事業の売上高を前期比3割増の20億円に増やす。新たに投入する電球型LED照明は店頭価格が3000円前後の現行商品より、2～3割安くする予定だ。部品点数を大幅に減らしてコストを引き下げる。電球型LED照明は白熱電球の代わりに使え、消費電力が8分の1以下で消費者に省エネと安さを訴求する。
道路照明灯2.5万灯をLED化 リース方式導入を検討 兵庫県	建通新聞	2011年6月17日	県は、省エネ・節電対策の一環として、県内の道路照明灯約2万5,000灯を2011～15年度の5か年でLED化する考えを示した。LED化することによって削減できる電気代とメンテナンス費用でリース料を負担するリース方式の導入を検討しており、これから具体的な方法を検討する。県の試算によると、現在1灯当たりにかかる費用は、電気代が年間13万円、メンテナンス代金が年間5万円。これに対し、LED照明は電気代が年間5万円程度で収まり、残りの13万円をリース会社への支払いに充てることが可能となるため、初期投資が不要となる。
ダイシン、全店LED照明に、来月までに、製品PRも狙う	日本経済新聞	2011年6月18日	生活用品製造部のアイリスオーヤマのグループ会社が運営するホームセンター「ダイシン」は7月までに、既存全店の照明をLEDに切り替える。電力不足に対応して節電に取り組みむとともに、アイリスが製造、販売している照明器具を取り付けることで、製品のPRにも役立てる考えだ。ダイシンは昨秋、泉本店で全店の照明をLEDに転換し、既に3店でLED照明への切り替えを終えている。2011年いっぱいにかけて残り10店の照明を代える予定だったが、夏場の電力不足に対応するため、7月までに工事を完了させることにした。8月に開業する新店もLED照明を使う。新設店を含めた切り替え工事に伴う投資額は2億円。
中国地方都市にLED拠点続々、高額補助金でメーカー誘致、供給過剰懸念も	日経産業新聞	2011年6月20日	中国の地方都市で発光ダイオード(LED)関連産業で振興を目指す動きが活発になってきた。広東省江門市や安徽省蕪湖市中核部品のLED素子を製造するメーカーを高額の補助金などで誘致、他都市も拠点を移している。電力不足に苦しむ中国では省エネルギー光源のLEDに期待が高いが、拠点を急増により同国の生産量は2012年にも世界一になりそうで、早くも供給過剰を懸念する声が出てきた。中国南部の江門市が5月28日から開いた「中国緑色光源国際博覧会」の開幕式。「LED産業は市の経済発展のカギを握る」と南海市長が力を込めた。
LED照明産業、「川上」苦境の影響を受ける「広州日報」紙指摘	新華社ニュース	2011年6月20日	13日の新華社電子版によると、13日付「広州日報」は中国の発光ダイオード(LED)照明業界の現状について次のように伝えた。昨日(12日)終了したばかりの「世界—の大大照明とLED展」—第16回広州国際照明展覧会は、さながら中国国内のLED企業の華やかさを競い合う
韓国LED照明市場、GE参入で競争本格化	朝鮮日報	2011年6月21日	米ゼネラル・エレクトリック(GE)系のGEライティングは20日、韓国市場で発光ダイオード(LED)照明の新製品16種類を発表した。毎年35%のペースで拡大している韓国の発光ダイオード(LED)照明市場は、GEライティングの参入で、欧州系のフィリップス、オスラムとともに本格競争に入った。LED照明は電気で発光するLED素子を利用した照明製品で、蛍光灯や白熱電球など既存の照明器具に比べ、消費エネルギーを画期的に減らすことができ、寿命も2.5倍以上長い。
豊電機、工場用LED照明開発、消費電力、水銀灯の3分の1	日本経済新聞	2011年6月23日	電子部品製造の豊電機(長野市、丸山昭社長)は工場用の発光ダイオード(LED)照明に参入した。顧客企業の工場に合わせて本体を設計し、国内メーカーから仕入れた素子を組み合わせて納品する。水銀灯に比べ、消費電力は3分の1程度に抑えられる。商業ビル向けのLED照明と合わせ、事業規模を数年で現在の3倍の年間2億円強に増やす。同社のLED照明は3年前から東日本旅客鉄道(JR東日本)の子会社、ソニーール東日本ビルテック(東京・渋谷)と共同で開発してきた。すでに商業ビル向けに蛍光灯の代替品となるLED照明を商品化した。

4. 新聞

題目	新聞名	発行年月日	概要
変わるか出光(2)非本業では提携巧者—効率と迅速、両立カギ	日経産業新聞	2011年6月21日	「上場から5年。本当に良かったですね」。出光興産の創業記念日を控えた今月中旬。財務担当の松井憲一副社長は東京・丸の内に出光本社に表敬訪問に訪れる金融機関の幹部の対応に口ごたえを吐いた。巨額の負債で経営不安説まで流れた2000年前後とは、銀行の目も様変わりだ。出光は1990年代、10億円の資本金に対し約2兆5千億円の有利子負債を抱え、格付け会社から「投機的」とされた。10年度末の負債は9861億円。上場で資金を得るとともに、不採算事業から手を引いた効果だ。
日立アプライアンス、LED照明を自社生産、ライン新設、新製品対象	日経産業新聞	2011年6月30日	日立アプライアンスは発光ダイオード(LED)照明の自社生産を始めた。多賀事業所(茨城県日立市)に生産ラインを新設、今後新製品については従来のOEM(相手先ブランドによる生産)調達から自社生産に切り替える。開発から生産まで一貫体制とすることで新製品の開発期間を短縮、品質も向上させて競争力を引き上げる。現在国内照明市場で7%程度にとどまる販売シェアを早期に10%に引き上げる計画だ。新設したのはハロゲン型のLED照明の生産ラインなど。総額約10億円を投じて多賀事業所内に成形機などの新設ラインを整備した。ハロゲン型LED照明の年間の生産台数は10万台で、4月末から段階的に生産を開始している。
コマデン、上下両面発光のLED照明	日経産業新聞	2011年7月1日	商業施設向け照明などを手掛けるコマデンは天井取り付け式のLED照明で、上下両面が発光する新製品を発売した。室内を明るくするときは両面、間接照明として使いたいときは上面のみといったように状況に合わせて発光面を使い分けられる。発売する「デュアルミネス」は商業施設やオフィス、家庭など向け。3機種を販売する。真ん中のサイズの製品は縦116.5ミリメートル、横224ミリメートル、厚さ25.5ミリメートル。重量は6.45キログラム。消費電力は上面のみ発光時43.2ワット。下面のみ発光時は49.6ワット。価格はオープンだが電源装置代込みで15万8000円～29万8000円を見込む。
道に庁舎にLEDの光、節電旗振り役、自治体率先——リース方式、費用抑制	日本経済新聞	2011年6月28日	近畿の自治体が道路や公共施設の照明を消費電力が少なく寿命が長い発光ダイオード(LED)に切り替える動きを加速させている。大阪府は初期費用を抑えるリース方式を道路照明に新たに導入する予定だ。防犯灯や庁舎照明の切り替えも相次ぐ。電力不足の懸念が強まるなか、節電の旗振り役の自治体の施設でLEDが急速に普及しそうだ。大阪府はLEDの道路照明灯について独自の評価基準を設けており、100ワット未満相当の製品の募集を始めた。この水準の照明であれば通常のナトリウム灯に比べて電気料金を約6割削減でき、LED化で照明灯交換のコストも抑えられる。
同志社大省エネルギー照明システム研究センター(京田辺市多々羅) 好みの明かり 自動調節	京都新聞	2011年6月28日	オフィスと言えば、真っ白の蛍光灯が天井に並び、明るさが十分に確保されているのが一般的だ。白く明るい照明の方が目に良い、仕事がはかどる、イメージがいい……。そんな固定観念による画一的な照明環境のあり方を、三木光範教授はあっさり否定する。「お風呂の温度だと38度が好きな人がいれば41度がいいと言う人もいる。照明も人によって好み異なるのに、均一化された場所で我慢して仕事をするのは良くない。
外食各社、LED照明導入加速、モンテローザは全1900店に	日本経済新聞	2011年6月30日	外食企業が発光ダイオード(LED)照明の導入を加速する。居酒屋最大手のモンテローザは2012年3月期中に全約1900店に導入。日本ケンタッキー・フライド・チキン(日本KFC)は2年以内にLED導入店を3倍にする。外食業では厨房設備の電力削減は売り上げ増に直結するため難しく、LEDの導入で節電に対応する。モンテローザは「白木屋」「笑笑」などの看板や室内の照明をLEDに切り替える。投資額は約3億円。まず東京電力管内にある約1100店を優先する。日本KFCは現在約100の直営店にLEDを導入しているが全約3500店に拡大する。順次、フランチャイズ店にも対象を増やす。
都内のオートガスタン্ড、スタンド全灯をLED照明に切り替え電力3割カット	日刊自動車新聞	2011年6月30日	省エネ・電力使用の削減を目的に利用拡大が図られているLED照明。電気器具販売店での売れ筋商品となっているばかりでなく、ガソリンスタンドなど防塵仕様の照明が求められる場所でも水銀灯からLEDへの切り替えが進もうとしている。LED照明の販売・施工業者の触れ込みは切り替えることで照明電気代は最大80%削減でき、工事費の回収も2年という短期間で達成できるという。都内のオートガスタン্ড、オカショウがこの5月からスタンド内の照明を水銀灯からLED照明に切り替えた。その状況を追った。
有機EL技術、韓国に集積 アルバックは装置の開発拠点	日本経済新聞	2011年6月26日	液晶より高精度で消費電力が少ない有機EL(エレクトロルミネッセンス)の最先端技術を持つ日本の企業が韓国に相次いで進出する。製造装置をつくるアルバックは研究開発拠点を新設するほか、住友化学や宇部興産は高機能素材を現地生産する。スマートフォン(高機能携帯電話)向け有機ELパネルの量産で先行したサムスンやLGは、巨大な需要が見込めるテレビ用の開発を急いでおり、韓国に関連産業の集積が加速する。液晶テレビなどの薄型パネル製造装置で世界最大手のアルバックは7月、海外初の研究開発拠点を韓国平沢市に新設する。有機ELは発光材料をガラスに塗布し高温で定着させる。
三菱ケミカルHD 有機EL照明 蛍光灯並みの明るさに	化学工業日報	2011年7月1日	三菱ケミカルホールディングスは、有機EL(エレクトロルミネッセンス)照明事業を強化するため、蛍光灯並みの輝度をもつ製品を開発する。同社は蒸着型の有機EL照明を「VELV E」ブランドで7月から国内販売するが、来年には輝度を2倍に向上した新製品を発売し、用途を拡大する。14年にかけて、新材料を用いることでより量産に適した塗布型プロセスに転換するとともに、蛍光灯並みの高輝度化を通して市場の拡大を図る。

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
「新光源発達度研究調査委員会報告書」平成18年度 本報告書は、平成18年4月から平成19年3月までの1年間に亘って、LEDと有機ELに関する情報を収集し、項目別に分類・整理したもの。	(社)照明学会新光源発達度研究調査委員会	http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-094.pdf
「新光源発達度研究調査委員会報告書」平成19年度 本報告書は、平成19年4月から平成20年3月までの1年間に亘って、LEDと有機ELに関する情報を収集し、項目別に分類・整理したもの。	(社)照明学会新光源発達度研究調査委員会	http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-100.pdf
「新光源発達度研究調査委員会報告書」平成20年度 本報告書は、平成20年4月から平成21年3月までの1年間に亘って、LEDと有機ELに関する情報を収集し、項目別に分類・整理したもの。	(社)照明学会新光源発達度研究調査委員会	http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-102.pdf
「新光源発達度研究調査委員会報告書」平成21年度 本報告書は、平成21年4月から平成22年3月までの1年間に亘って、LEDと有機ELに関する情報を収集し、項目別に分類・整理したもの。	(社)照明学会新光源発達度研究調査委員会	http://www.ieij.or.jp/publish/files/IEIJ_JIER-110.pdf
LEDランプの選び方・使い方	日本電球工業会	http://www.ielma.or.jp/07kankvou/ledlamp.htm
LED照明ハンドブック	LED照明推進協議会	http://www.led.or.jp/publication/handbook.htm
LED照明信頼性ハンドブック	LED照明推進協議会	http://www.led.or.jp/publication/reliable.htm
導入事例集(用途別事例、地域別事例)	LED照明推進協議会	http://www.led.or.jp/
照明/LEDの市場調査レポート	Global Information, Inc.	http://www.gii.co.jp/topics/EL05.jp.shtml
「有機EL照明デザインコンペ2010」作品の展示発表会と表彰式	Light Bridge Association JAPAN NPO	http://www.lba-japan.org/有機el照明デザインコンペ2010-1/
LEDあかり塾 名古屋 開塾	Light Bridge Association JAPAN NPO	http://www.lba-japan.org/ledあかり塾名古屋-開塾-1/
雑誌「Signs & Displays」 LED WATCHERなどのホームページ	マスコミ文化協会	http://www.signs-d.ne.jp
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2010年04月01日 第20回 LED Next Stage 2010を視察して(その1)	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/58771.html
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2010年06月18日 第21回 LED Next Stage2010を視察して(後編)～Light+Buildingの報告も交えて	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/62587.html
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2010年08月26日 第22回 Light + Buildingの視察(後編)と2つの研究会(LEDとOLED)	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/65916.html
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2010年11月10日 第23回 躍動する日本のSSL(次世代光源LEDとOLED)	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/68890.html
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2011年3月3日 第24回 温故知新(有機EL照明デザインコンペと藤岡市助の電燈)	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/77356.html
照明技術・デザイン最新事情【落合 勉】 2011年6月3日 第25回 3.11を想う ～ライティング・フェア2011とEuroLuce2011を視察して～	日本経済新聞社	http://www.shopbiz.jp/ld/column/ochiai/84726.html

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
TI, 照明器具メーカーと共同でLED電球用参照基板を開発, LED駆動用制御ICも併せて市場投入へ(4/9)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100409/181772/
サンケン電気が22W出力のLED照明用電源を発売, 電子安定器と同サイズで実現(4/13)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100413/181838/
LED電球のコストを分析, 普及の条件を探る(4/20)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100420/182001/
550V入力が可能なLED駆動用制御ICをClareが発売, 100個の直列接続にも対応(4/22)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100422/182079/
LED利用のプロジェクターやヘッドランプ, 照明に朗報, OSRAM Opto社が新LED構造で大電流投入時の効率低下を抑制(4/23)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100423/182128/
「次世代の高輝度LEDをプロキシミティ露光装置で製造できます」, SUSSが2.5μmのパターンを形成(4/24)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100424/182143/
大阪府、LED道路灯を募集	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/const/news/20100507/541111/?ST=led
三菱地所、丸の内の賃貸オフィスにLED照明を全面導入	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100512/541154/?ST=led
岩崎電気、衝突実験などに使う車載用の小型LED照明ユニットを開発	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100519/182726/
100lm/WのLED照明が登場 性能向上と低価格化が加速	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/report/20100525/103896/
National Semiconductorが大型照明用途に向けたLED駆動ICを発売, 4×20素子の駆動が可能(4/27)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100427/182240/
【上海万博】スイス館、太陽電池利用のLED発光器を1万個(5/4)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100504/182341/
太陽電池でのLED駆動に向けたICをDiodesが発売, 0.9Vから動作可能(5/14)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100514/182618/
シャープ、青色LEDチップの生産能力を増強, 2011年度に年間で約50億個規模へ(5/14)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100514/182591/
上海万博・大阪館の「植物工場・技術展示モデル」で椿本チエインが製作に協力(5/17)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100517/182660/
【上海万博続報】「LEDで閉じた生態系の構築を目指します」, Philips社がオランダ館で「家庭農場」を紹介(5/17)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100517/182667/
入力電圧範囲が+4.5~42Vの一般照明用LED駆動ICをMicrelが発売, 駆動電流誤差は±5%(5/18)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100518/182670/
岩崎電気、衝突実験などに使う車載用の小型LED照明ユニットを開発(5/19)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100519/182726/
ソディック、LED照明事業へ参入(5/21)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100521/182782/
シャープ、青色LEDチップの生産能力を増強, 2011年度に年間で約50億個規模へ(5/14)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100514/182591/
【上海万博続報】「LEDで閉じた生態系の構築を目指します」, Philips社がオランダ館で「家庭農場」を紹介(5/17)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100517/182667/
岩崎電気、衝突実験などに使う車載用の小型LED照明ユニットを開発(5/19)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100519/182726/
ソディック、LED照明事業へ参入(5/21)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100521/182782/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
オムロンが紫外線硬化型樹脂用のUV照射器向けに、LED搭載照射ヘッドと超集光レンズの新製品、タクト・タイムを半減(5/22)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100522/182816/
東京都市大、Ge量子ドットを埋め込んだSiベースのLEDを作製(5/24)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100524/182832/
Linear Technology、18灯のLEDを直列接続したストリングを駆動できるICを発売(5/26)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100526/182952/
大電流を流しても効率が落ちにくいLED技術「UX:3」、効果を生む理由をオスラムに聞く(5/27)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100527/182959/
【JPCAプレ】LED回路基板材料を有機系へ、パナ電工が中国工場新設で生産能力を1.5倍に(5/28)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100528/183013/
最終回:0.4V動作の昇圧型コンバータ、単セル太陽電池を有効活用可能に(5/31)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/LECTURE/20100406/181653/
第3回 高速ミリングと微細加工への展開(5/31)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20100530/183055/
ヤマザキマザック、加工範囲を広げた低価格な複合加工機を発売(6/1)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100601/183109/
【JPCA】薄型2次電池を内蔵したプリント基板、沖プリントドサーキットが参考出展(6/2)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100602/183155/
中小型液晶パネルに向けたシステム電源ICをAnalogicTechが発売、白色LED駆動回路も集積(6/3)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100603/183191/
【JPCA】立体形状を維持するフレキシブル基板、日本メクトロンが開発(6/4)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100604/183220/
負電圧出力のチャージ・ポンプ回路を使ったLED駆動ICをMaximが発売、効率が12%向上(6/7)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100607/183256/
大和ハウス工業、太陽電池とLiイオン2次電池、LED照明を組み合わせたコンビニを施工(6/9)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100609/183323/
LED光源を利用しながらも2000lmと明るいプロジェクターをNECディスプレイが初展示(6/10)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100610/183350/
「ついに1000lmに到達」、SamsungがLED光源を用いた各種プロジェクター製品を出展(6/10)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100610/183351/
太陽電池分野で東京エレクトロンと共同開発、ナノ粒子の英Nanoco社(6/14)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100614/183442/
エコリカ、なめらかな調光を実現したLED電球を発売(6/15)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100615/183449/
OSRAM Optoが小型プロジェクター向けLEDの新製品発表、パルス・モードで最大6A投入可能(6/17)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100617/183550/
三菱電機がLED照明事業を強化、2012年までに器具効率で120lm/W達成へ(6/18)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100618/183570/
東芝がLEDディスプレイに向けたLED駆動ICを発売、25ns幅のパルス出力が可能(6/20)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100620/183593/
PFC回路不要で高調波規制に対応、サンケン電気がLED駆動ICを発売(6/21)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100621/183616/
内田洋行、照明の消費電力63%減という全館LED照明採用の本社ビルを公開(6/22)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100622/183664/
東北大学、太陽電池と蓄電池、直流給電などを組み合わせた研究棟が完成(6/23)	日経BP	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100623/183702/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
パナソニック電工、蛍光灯タイプからの取り換え用「LED防犯灯」2タイプを発売	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/news/20100525/103899/?mail
iGuzzini designs Osram LEDs into highly efficient streetlamps	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/3/23
Unilumin LED street light receives LM79 report	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21587
ローソンのLED照明、店舗の電力削減効果は7.6%	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100325/540183/?ST=led
Novald is working on OLED lighting for a European car maker	OLED-Info	http://www.oled-info.com/tags/oled-cars
LED lamp from GE is not yet available	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/9
Cree introduces LED modules	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/4
Lumitech introduces LED-Downlight E8 at Light+Building	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21658
Aurora introduces Odyssey LED Strip Lights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21642
PPML shows two new OLED Lighting designs	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ppml-shows-two-new-oled-lighting-designs
Ingo Maurer to show new OLED lighting designs	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ingo-maurer-show-new-oled-lighting-designs
Korea's CPRI to specialize on OLED Lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/taiwans-cpri-specialize-oled-lighting
世界最大級の国際照明・建築技術専門見本市「Light+Building(ライト・アンド・ビルディング)2010」に出展	NEDO	https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/events/EA/nedoeventpage.2010-04-06.4125441093/
CDT and CIT Demonstrate ITO-Free P-OLED Lighting Panel	OLED-Info	http://www.oled-info.com/cdt-and-cit-demonstrate-ito-free-p-oled-lighting-panel
Researchers from Berkeley found a new way to process white OLEDs	OLED-Info	http://www.oled-info.com/researchers-berkeley-found-new-way-process-white-oleds
Target supermarkets will install GE LED lighting in refrigerated cases	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/12
Elation Unveils ELED Par RGB Zoom Compact LED Par Can with Motorized Zoom	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21689
Deco introduces color-changing in-ground LED uplights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21841
Chroma-Q introduces Color Force LED theatre lights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21821
Sanchuen(hk)Industry offers LED rope lights, light boxes, and power supplies	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21778
Avago introduces miniature 3W LED with High CRI for SSL applications	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21840
Seoul Semiconductor achieves luminous efficiency of 150 lm/w in Acriche LED	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21847
Philips and Future Lighting Solutions extend LED relationship	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/11
Toshiba to demonstrate power and beauty of lighting at Fuori Salone 2010	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21893
Novald and Willing show OLED emergency light	OLED-Info	http://www.oled-info.com/novald-and-willing-show-oled-emergency-light
GE and Konica Minolta shows flexible OLED lamps	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ge-and-konica-minolta-shows-flexible-oled-lamps

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
More information on the Ingo Maurer designed transpantnet OLED lamps	OLED-Info	http://www.oled-info.com/more-information-ingo-maurer-designed-transpantnet-oled-lamps
Panasonic unveils OLED lighting panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/panasonic-unveils-oled-lighting-panels
LEDON shows their first OLED Lighting modules	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ledon-shows-their-first-oled-lighting-modules
Osram ORBEOS OLED Light hands-on	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osram-orbeos-oled-light-hands
OLED JAPAN	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月14日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/
Lighting Orient releases RGB LED flood lights – DMX 512 available	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21930
オスラム	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月15日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/post-b460.html
Kaneka: our OLED Lighting panels are “ready to be shipped”	OLED-Info	http://www.oled-info.com/kaneka-says-their-oled-lighting-panels-are-ready-be-shipped
The Holst Centre and NeoDec to partner on inks for flexible electronics	OLED-Info	http://www.oled-info.com/holst-centre-and-neodec-partner-inks-flexible-electronics
CeramTec announces modular CeramCool LED retrofit lamp kit	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21986
LED tunnel lighting yields 60% energy savings for Chinese highway project	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/21993
OSRAM LEDs illuminate Expo 2010 in Shanghai	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22040
コニカミノルタと三菱化学	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月17日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/post-adb1.html
フィリップス	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月17日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/post-4d83.html
Black Body	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月18日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/black-body.html
NOVALED	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月19日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/novaled.html
インゴ・マウアー	大学教授のぶっ ちやく話 2010年4月20日	http://juniikido.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/post-4d9b.html
GE and Konica Monica partner on OLED LED lighting demonstration	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/14
Philips unveils the Lumiblade Creative Lab	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-unveils-lumiblade-creative-lab
VS Optoelectronic introduces LEDLine Flex SMD HighCRI modules	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22041
CELMA and ELC host LED Forum at Light+Building	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/4/27
Jason Bruges shows a new artwork using Philips Lumiblade OLED panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/jason-bruges-shows-new-artwork-using-philips-lumiblade-oled-panels
Neoview-Kolon is also working towards OLED Lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/neoview-kolon-also-working-towards-oled-lighting
Philips Lumileds addresses LED array lifetime performance	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/4
Korea to build a Gen-4 OLED lighting plant, will start mass-producing in 2013	OLED-Info	http://www.oled-info.com/korea-build-gen-4-oled-lighting-plant-will-start-mass-producing-2013
OSRAM opens skills development center for Penang LED plant	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22275

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
Fobsun releases LED horizon downlight replacement	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22320
丸の内の賃貸オフィスにLED照明を全面導入、三菱地所	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100512/541154/?ST=led
DOE releases more details on street lighting consortium plan	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/6
EPA releases draft Energy Star requirements for Luminaires	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/5
WAC lighting shows an ORBEOS-based OLED chandelier	OLED-Info	http://www.oled-info.com/wac-lighting-shows-orbeos-based-oled-chandelier
UDC reports financial results. LG, Panasonic, NEC and Showa Denko use UDC's materials for OLED Lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-reports-financial-results-lg-panasonic-nec-and-showa-denko-use-udcs-materials-oled-lighting
Universal Display to establish OLED lighting pilot facility	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22413
光の色で客の気持ちをコントロールする	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/knp/column/20100525/541342/?ST=led
Novald shows a new long-lifetime, 30lm/W white OLED	OLED-Info	http://www.oled-info.com/novald-shows-new-long-lifetime-30lmw-white-oled
The holst center shows us what's possible with flexible OLED lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/holst-center-shows-us-whats-possible-flexible-oled-lighting
Novald and Universal Display advance OLED lighting technology	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/13
Blackbody is introducing a new 282-OLEDs chandelier called The Big Bang	OLED-Info	http://www.oled-info.com/blackbody-introducing-new-282-oleds-chandelier-called-big-bang
UDC announces new All-Phosphorescent OLED lighting technology	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-announces-new-all-phosphorescent-oled-lighting-technology
Ringdale and Sojitz partner on LED luminaires for the Japanese market	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/18
EPA will host Energy Star lighting Webinar on June 8	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/17
「LEDならではの」の器具も多数、ドイツ照明見本市	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100602/541493/?ST=led
Spark upgrades LED street lights with Cree LEDs	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22761
Ambergreat LED canopy targets petro and convenience store applications	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22781
DOE recommends new approach to LED luminaire lifetime ratings	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/21
Osram lending a shine to the soccer world cup in South Africa	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/22882
ETRI announces the 2nd OLED lighting competition	OLED-Info	http://www.oled-info.com/etri-announces-2nd-oled-lighting-competition
LEDs Magazine Japan to launch in September	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/27
NIST develops CQS alternative to CRI for color quality specs	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/5/29
UDC awarded \$99,000 to advance Phosphorescent OLED Lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-granted-99000-grant-advance-phosphorescent-oled-lighting
「戦略的国際標準化推進事業」に係る公募について	NEDO	https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/cहितeki/nedokouboplace.2010-06-14.4640347294/nedokoubo.2010-06-14.4640347294
三菱LED照明器具「erise(イライズ)」色温度可変タイプ発売のお知らせ	三菱電機	http://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2010/0618-b.htm

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
Ultra-slim (12.3mm) LED panel light with CE & FCC approved	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23055
AltiLED Series Modular LED High Bay Light	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23050
Retrofit your way to savings with Osram's new LED retrofit lamps	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23187
ASSIST evaluates outdoor lighting impact on human circadian system	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/6/15
店舗における省エネルギー活動の実践事例	東京都環境局	http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/sgw/home-section/shouenegataeigyuu/store-case.htm
DOE announces funding opportunity for SSL manufacturing	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/6/17
パナソニック電工、オフィス向けLEDベースライトの効率を52%向上させ、100lm/Wを達成	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100708/184094/
シャープがE17対応の小型LED電球を拡充、E26対応品は約半分に軽量化	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100713/184170/
蛍光灯代替を狙うLED新製品、遠藤照明	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100721/542367/?ST=led
GE社ら、フレキシブル有機EL照明で効率56lm/Wを確認	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100720/184289/
照明技術・デザイン最新事情 第21回 LED Next Stage2010を視察して(後編)~Light+Buildingの報告も交えて(6/18)	落合勉	http://www.shopbiz.jp/lf/column/ochiai/62586.html
最新アカリReview ほっとする街アカリ(6/17)	泉 ルミ	http://www.shopbiz.jp/lf/column/review/62584.html
内田洋行、照明の消費電力63%減という全館LED照明採用の本社ビルを公開(6/22)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100622/183664/?ST=green_device
東芝、仏ルーヴル美術館に約4500台のLED照明器具を提供へ(6/30)	Tech-On	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100630/183901/
東北大とロームのZnO系紫外LEDの出力が100μWに、「GaN系に追い付く道が見えた」(7/6)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100706/184023/
韓国LED関連展示会、日本企業、台湾企業からの出展増加(7/7)	Tech-On	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100707/184050/
Linear Technology、10直×3並に対応したLED駆動ICを発売、変換効率は90%超(7/8)	Tech-On	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100708/184066/
パナソニック電工、オフィス向けLEDベースライトの効率を52%向上させ、100lm/Wを達成(7/8)	Tech-On	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100708/184094/
蛍光灯型LED照明の価格を従来の半分以下に、OPTILEDが卸値を改定《訂正あり》(7/8)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100708/184080/
シャープがE17対応の小型LED電球を拡充、E26対応品は約半分に軽量化(7/13)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100713/184170/
東芝ライテックがLED道路灯の新製品、400W水銀ランプ搭載の道路灯と同等の明るさを実現	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100802/184733/
37年前のブランド「ELM」を冠して挑む、シャープLED照明事業の本気度	日経トレンドイネット (日経BP社)	http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/column/20100729/1032516/
千葉駅高架下の商業施設にフィリップスのLED照明	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100804/542672/?ST=led
シャープ、住宅の主照明に向けたLED照明器具を発表、最大12畳間での機種を用意	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100819/185068/
法の“空白地帯”でLEDトラブル、札幌市	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100818/542866/?ST=led

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
【テクノフロンティア】電解コンデンサ・レスのLED照明電源、村田製作所が展示(7/22)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100722/184404/?ST=energytech
LED量産の150mmウエハー化に対応、一括等倍投影露光装置をウシオが発売(7/26)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100726/184526/
「製品バラつきや性能変化が少ない照明用LEDモジュール」をうたうXicatoに、製品設計の勘所を聞く(7/30)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100730/184724/
米Dow Chemical社、LED市場向けにトリメチルガリウムの製造能力を増強(7/30)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100730/184719/
LED電球LED light bulb(8/2)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100708/184072/
LED照明LED lighting(8/2)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100708/184071/
LED用語辞典(8/2)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100708/184070/
東芝ライテックがLED道路灯の新製品、400W水銀ランプ搭載の道路灯と同等の明るさを実現(8/2)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100802/184733/
蛍光灯型LEDLED light bar(8/3)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100722/184363/
LEDプロジェクターLED projector(8/3)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100722/184364/
演色性color rendition(8/16)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20100722/184382/
第3回: 季節・時間で変わる照明—節電だけがLEDの良さにあらず、調光駆使して快適な作業環境も(8/18)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20100809/184920/?ST=green device
シャープ、住宅の主照明に向けたLED照明器具を発表、最大12畳間までの機種を用意(8/19)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100819/185068/
パナソニック電気、5000台以上のLED照明器具を東和薬品の新工場に納入へ、同工場は全照明をLED化	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100830/185311/
江戸川区がLED街路灯の実証実験	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/const/news/20100827/543063/?ST=led
パナソニック電気、「LED防犯灯」を北海道浦幌町に463台納入	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/news/20100901/104687/?mail
ウシオライティング、ハロゲンランプに対応したLED電球	モノウォッチ (JCAST)	http://www.j-cast.com/mono/2010/09/02074764.html
岩崎電気と帝人、樹脂筐体の屋外用LED照明を共同開発	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100902/185413/
岩崎電気、配光を強化し、寿命を6万時間に延ばしたLED道路灯	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100907/543236/?ST=const
東芝ライテックがLED光源の街路灯を発売、400Wや250Wの水銀ランプの置き換え可能な明るさ	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100915/543351/?ST=led
明かりはもっと便利になる、シャープLED照明の秘密とは?	+D Life Style (アイティメディア)	http://plusd.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/1009/17/news004.html
50%省エネ、「エバーレッズ」シリーズ新商品	JCASTモノウォッチ (JCAST)	http://www.j-cast.com/mono/2010/09/18075832.html
Heico Lighting announces a breakthrough in Cove Lighting and Display Lighting	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23499
Cree and Philips sign LED licensing agreement	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/7/3

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
平成22年度 LED応用研究会	中小企業支援事業	http://www.astf.or.jp/chusyo/bunva/LED2010.html
Blackbody announces a new OLED lamp, the MGR	OLED-Info	http://www.oled-info.com/blackbody-announces-new-oled-lamp-mgr
Sharp and Panasonic boost brightness in LED retrofit lamps	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/7/11
Cooper Lighting introduces McGraw-Edison Ventus outdoor LED area luminaire	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23928
Synthe FX releases Luminair for iPad	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/23808
GE and KM: efficiency breakthrough (56 lm/w) in roll-to-roll printable white OLEDs	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ge-and-km-efficiency-breakthrough-56-lmw-roll-roll-printable-white-oleds
Philips Lumileds Luxeon Rebel ES delivers 300+ lumens for outdoor lighting	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/7/20
「戦略的国際標準化推進事業(標準化研究開発/グリーンイノベーション推進事業/LED光源、並びにLED照明器具の性能評価方法の国際標準化に係る研究開発)」に係る公募に	NEDO	https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EF/nedokoubo.2010-07-27.2871874338/
Panasonic shows OLED Lighting panels in their Shiodome Museum	OLED-Info	http://www.oled-info.com/panasonic-shows-oled-lighting-panels-their-shiodome-museum
2010 Solid-State Lighting Market Introduction Workshop Materials	DOE	http://www1.eere.energy.gov/buildings/ssl/philadelphia2010_materials.html
OSRAM's ORBEOS OLED panel wins the Electron d'Or award for product of the year	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osrams-orbeos-oled-panel-wins-electron-dor-award-product-year
Mercedes-Benz implements Lumileds LEDs for daytime running lights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/8/14
Ningbo Yuanyang announces LED street light for the US and Europe	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/25159
Hera Lighting introduces the ER-LED and EQ-LED spotlights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/25705
San Diego State installs Lithonia LED luminaires in lecture hall	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/8/8
Cree LED product revenue reaches \$790 million	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/8/15
Konica-Minolta to start making flexible OLEDs in 2010?	OLED-Info	http://www.oled-info.com/konica-minolta-start-making-flexible-oleds-2010
NanoMarkets releases new OLED Lighting report, forecasts \$6 billion in revenue by 2015	OLED-Info	http://www.oled-info.com/nanomarkets-releases-new-oled-lighting-report-forecasts-6-billion-revenue-2015
New low-cost OLED lighting project gets funding from the UK	OLED-Info	http://www.oled-info.com/new-low-cost-oled-lighting-project-gets-funding-uk
UDC is showing some beautiful new OLED lamp prototypes	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-showing-some-beautiful-new-oled-lamp-prototypes
Transparent Light OLED Origami	OLED-Info	http://www.oled-info.com/transparent-light-oled-origami
シャープ、住宅の主照明に向けたLED照明器具を発表、最大12畳間までの機種を用意	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100820/542912/?ST=led
法の“空白地帯”でLEDトラブル、札幌市	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100818/542866/?ST=led
Novald launches “The OLED Lighting User’s Manual” market report	OLED-Info	http://www.oled-info.com/novald-launches-oled-lighting-user%E2%80%99s-manual-market-report
拡大するLED照明市場、制度面を整備し、安心・安全な製品に 第1回 LED照明推進協議会 専務理事 小紫正樹氏	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20100819/185041/
拡大するLED照明市場、制度面を整備し、安心・安全な製品に 第2回 LED照明推進協議会 専務理事 小紫正樹氏	Tech-on	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100902/543166/?ST=led

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
LG officially shows a new 31" 3D OLED TV prototype	OLED-Info	http://www.oled-info.com/lg-officially-shows-new-31-3d-oled-tv-prototype
i-Pix introduces 6 new products at PLASA 2010	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/26273
Vossloh-Schwabe modules offer more than (just) warm white light	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/26264
All-plastic LED lamp targets outdoor illumination	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/2
OSRAM Opto社のトップに聞く、白色LEDの近未来像、そして有機EL照明への期待と課題	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100909/543272/?ST=led
Philips demonstrates world's first mains-powered white-light OLED module	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/5
スタジオ用LED照明、消費電力80%オフ!! ～環境にやさしい、明るく自然な光を実現!～	NHKインフォメーション	http://www.nhk.or.jp/pr/marukaji/m-giu279.html
Bayer develops thinner polycarbonate for LED lenses	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/9
Seoul Semiconductor LEDs used in ground-breaking lighting field test	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/26437
White paper on outdoor lighting issues and quality lighting applications published by NEMA	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/16
Nichia files LED patent complaints, reaches agreement	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/15
LED chip makers Epistar and Toyoda Gosei sign cross-license deal	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/14
月産2億個から3億4000万個体制へ、昭和電工が青色LEDチップの生産能力を引き上げ	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100916/543357/?ST=led
LED照明のレンタル開始、オリックス・レンテック	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100914/543316/?ST=led
Q&A with Verbatim's OLED team	OLED-Info	http://www.oled-info.com/qa-verbatim-oled-team
DOE awards seven SBIR/STTR grants for SSL technology	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/9/11
Universal Display awarded three new OLED lighting DOE grants	OLED-Info	http://www.oled-info.com/universal-display-awarded-three-new-oled-lighting-doe-grants
LEDにパワー半導体、2次電池、期待集まるデバイスを事業強化 第1回	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100921/543414/?ST=led
吉祥寺平和通り商店街の街路灯がLEDに、シャープが開発した3万2000lmのモジュール採用	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20100930/543561/?ST=led
UDC and Armstrong demonstrate their white OLED lighting ceiling system	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-and-armstrong-demonstrate-their-white-oled-lighting-ceiling-system
Lumiotec OLED lighting panel hands on review	OLED-Info	http://www.oled-info.com/lumiotec-oled-lighting-panel-hands-review
Osram is building a \$70 million OLED lighting pilot production line	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osram-building-70-million-oled-lighting-pilot-production-line
Astron Fiamm shows a new OLED-Lighting car concept	OLED-Info	http://www.oled-info.com/astron-fiamm-shows-new-oled-lighting-car-concept
パナソニック・東芝 国内規格の制定を受け、年内に直管形LED照明を発売	環境ビジネス.jp (日本ビジネス出版)	http://www.kankyo-business.jp/news2010/20101018f.html
パナソニック電工、規格化に対応した「直管形LEDランプ」と「専用照明器具」の製品化を目指します(PDF/200KB)	パナソニック電工	http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1010/1010-7.pdf
東芝ライテック、安全性と快適性に配慮したJEL801に適合する直管形LEDランプシステムの商品化について	東芝ライテック	http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p101018_b/p101018_b.htm

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
東芝、業界最高の明るさで高い天井への設置に対応したLEDダウンライト発売	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/news/20101019/105034/
東芝ライテック 業界最高の発光効率110lm/WのLEDベースライトを発売	環境ビジネス.jp (日本ビジネス出版)	http://www.kankyo-business.jp/news2010/20101020a.html
応物学会プレビュー】新潟大学が発光強度2.6倍の蛍光体を開発、LEDの発光効率が大幅アップか(9/1)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100819/185068/
照明用途に向けたLED駆動回路用オンライン設計支援ツールをNational Semiconductorが開発(9/1)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100901/185388/
拡大するLED照明市場、制度面を整備し、安心・安全な製品に 第2回(9/2)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20100819/185042/
岩崎電気と帝人、樹脂筐体の屋外用LED照明を共同開発(9/2)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100902/185413/
Cree, 口径6インチのSiC基板を発表(9/6)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100906/185472/
OSRAM Opto社のトップに聞く、白色LEDの近未来像、そして有機EL照明への期待と課題(9/8)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100908/185523/
東芝ライテックがLED光源の街路灯を発売、400Wや250Wの水銀ランプの置き換え可能な明るさ(9/14)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100914/185660/
月産2億個から3億4000万個体制へ、昭和電工が青色LEDチップの生産能力を引き上げ(9/15)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100915/185678/
LEDにパワー半導体、2次電池、期待集まるデバイスを事業強化 第1回(9/21)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20100819/185049/
フィリップスのLEDランプが衣料店舗に大量導入、消費電力は約54%減(9/28)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100928/185962/
カネカが照明向け有機EL事業を本格展開、東北デバイスから事業を譲り受け(9/29)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100929/185975/
吉祥寺平和通り商店街の街路灯がLEDに、シャープが開発した3万2000lmのモジュール採用(9/29)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100929/185996/
トステム住研が「CO2マイナス」の家を建築、バイオマス・ストーブや有機EL照明も(9/30)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100930/186014/
Linear Technology, 最大8直の白色LEDを駆動できるモジュールを発売、+40Vの入力保護を備える(9/30)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20100930/186019/
商店街の照明をLEDに切り替え、消費電力は半減、人通りも変わる(10/4)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/HONSHI/20100924/185854/
拡大するLED、競争激化の2次電池、技術を磨いて新規市場をつかむ(10/4)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/HONSHI/20100924/185848/
拡大するLED照明市場、制度面を整備し、安心・安全な製品にLED照明推進協議会 小紫 正樹氏(10/4)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/HONSHI/20100924/185845/
【CEATEC】ガラス封止の紫外LED、スタンレー電気が出展、寿命の長さをアピール(10/5)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101005/186191/
CEATEC】スタンレー電気の屋外照明向け高耐候LEDモジュール、明るさを1130lmから2000lmにアップ(10/6)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101006/186243/
【CEATEC】明るさや色を変えられる照明向け有機ELパネル、2011年には量産へ(10/6)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101006/186257/
【CEATEC】カネカ、有機EL照明で“やわらかい光”を演出(10/7)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101007/186309/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
三菱エンブラ、LED電球のカバーにも適した難燃性PC樹脂を発売(10/13)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101013/186407/
AC入力できる照明向けRECOM製LEDドライバ・モジュール、アークテイクが発売(10/13)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101013/186411/
東芝ライテックやパナソニック・グループ、ついに直管形LEDランプを年内製品化へ(10/15)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101019/186612/
【IMID/IDMC/Asia Display報告】酸化物TFT、白色有機EL、光配向の進展が目立つ——コンファレンス総括(10/19)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101019/186638/
OSRAM Optoが白色LEDの新シリーズ、メタル・リードフレームで5万時間と6.5K/Wを達成(10/21)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101021/186708/
写真で見る東京スカイツリー照明実験	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101018/543829/?ST=led
パナソニック、独自の放熱技術でLED電球の業界トップの明るさと省エネ性を両立	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/news/20101022/105068/?mail
電気用品安全法(PSE)はLED照明に適用されるのか	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186763/
昭和電工など 世界初、稲作や果菜類が栽培可能なLED照明ユニットを開発	環境ビジネス.jp (日本ビジネス出版)	http://www.kankyo-business.jp/news2010/20101104b.html
直管形LED照明の規格決まる、企業の省エネ対策で普及に期待	NIKKEI BP NET	http://www.nikkeibp.co.jp/article/news/20101110/251324/?rot a=home
三菱電機、「紳士服のコナカ」全254店舗分のLEDスポットライトを納入	三菱電機照明	http://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2010/1117-b.html
OSRAM Optoが白色LEDの新シリーズ、メタル・リードフレームで5万時間と6.5K/Wを達成(10/21)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101021/186708/
「2014年には世界トップのLEDメーカーへ」、Seoul Semiconductor が事業戦略を語る(10/22)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101022/186722/
第1回:LEDの安全確保の問題が急浮上(10/27)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186764/
第2回:既存照明とLED照明は何が違うのか(10/28)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186765/
第3回:法の記載内容を逆手に取る企業もある(10/29)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186766/
第3回:デバイスの進化は材料開発に依存(10/29)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101021/186704/
ついに国内規格が決まった直管形LEDランプ、日本電球工業会に規格の特徴を聞く(10/29)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101029/187019/
第4回:本腰を入れ動きだした経済産業省(11/1)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186774/
ヒステリシス制御を採用したLED電球向け駆動ICをMicrelが発売(11/4)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101104/187093/
OSRAM、350mA投入時の光束425lmの白色LEDなどを発表(11/6)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101106/187178/
パナソニック電工、直管形LEDランプを搭載した照明器具を発売(11/8)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101108/187227/
【続報】パナソニック電工の直管形LEDランプ、LEDチップ実装を工夫して線光源を作り出す(11/8)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101108/187235/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
【続報2】まだまだコスト高の直管形LED, 改正省エネ法が普及を後押し(11/9)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101109/187243/
【FPDI・GD】次世代照明はどのように変化するのか(第1回) 白色LEDの高効率化, 高出力化, 長寿命化(11/16)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187398/
【FPDI・GD】次世代照明はどのように変化するのか(第2回) 白色LEDの演色性を追求(11/17)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187399/
【FPDI・GD】次世代照明はどのように変化するのか(第3回) 面光源の有機EL, 点光源の半導体レーザーによる白色光源(11/18)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187400/
1万8000の防犯灯を青色LEDに切り替え, 群馬県太田市	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101203/544570/?ST=led
高演色のLEDダウンライトを展示会でアピール, コイズミ照明	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101208/544630/?ST=led
新製品約450点を投入して店舗用LED照明を強化, 大光電機	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101209/544646/?ST=led
【エコプロダクツ】業界規格準拠の直管形LEDランプ, 東芝ライテックとパナソニック電工が実機を披露	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101213/544689/?ST=led
「有機ELは究極の照明」、城戸淳二・山形大教授インタビュー	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101217/544773/?ST=led
触れたい照明, 有機ELで提案	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101222/544873/?ST=led
有機ELディスプレイorganic electroluminescence display(11/29)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20101129/187667/
LEDディスプレイLED display(12/1)	日経BP社	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/WORD/20101129/187668/
【専門記者が振り返る】グリーン・デバイス, この1年——LED照明への注目度の高さが目立つ(12/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101207/187986/
【エコプロダクツ】業界規格準拠の直管形LEDランプ, 東芝ライテックとパナソニック電工が実機を披露(12/10)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101210/188097/
【記事ランキング2010】LED照明と将来技術に注目集まる——エネルギー(12/20)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101215/188164/
スタンレー電気の屋外照明向け高耐候LEDモジュール, 明るさを1130lmから2000lmにアップ	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101006/186243/?ref=ML
写真家、ライティングデザイナーが語るLEDの光	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101005/543653/?ST=led
【CEATEC】明るさや色を変えられる照明向け有機ELパネル, 2011年には量産へ	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101006/186257/
ロームがフレキシブル有機EL, カメラ向けフラッシュも披露	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101006/186223/
【CEATEC】カネカ, 有機EL照明で“やわらかい光”を演出	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101007/186309
D Signed and the Fraunhofer Institute presents a new modular OLED lamp design	OLED-Info	http://www.oled-info.com/d-signed-presents-new-oled-lamp-design-collaboration-fraunhofer-inst
OSRAM Optoが白色LEDの新シリーズ, メタル・リードフレームで5万時間と6.5K/Wを達成	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101021/186708
Osram's Zelion H modules put LEDs in the limelight	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/27489
GE scientists employ jet engine cooling technology in prototype LED bulb	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/27550
LEDON's sample OLED lighting panels to ship in November, volume delivery in early 2011	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ledons-sample-oled-lighting-panels-ship-november-volume-delivery-early-2011

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
Are AUO working on OLED lighting panels?	OLED-Info	http://www.oled-info.com/are-auo-working-oled-lighting-panels
Ten Labs Added to NVLAP Directory of Accredited Laboratories for SSL Test Methods	DOE	http://www1.eere.energy.gov/buildings/ssl/news_detail.html?news_id=16435
建築家のあかりコンペ、最優秀は漏れる光の三日月	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101021/543904/?ST=led&P=1
国際固体照明連盟(ISA)発足	中国半导体照明网	http://www.china-led.net/info/20101019/2010101993058.shtml
DOE Releases Summary Results from Round 11 of CALiPER Testing	DOE	www.ssl.energy.gov/reports.html
電気用品安全法(PSE)はLED照明に適用されるのか 第1回:LEDの安全確保の問題が急浮上	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186764/
電気用品安全法(PSE)はLED照明に適用されるのか 第2回:既存照明とLED照明は何が違うのか	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186765/
電気用品安全法(PSE)はLED照明に適用されるのか 第3回:法の記載内容を逆手に取る企業もある	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186766/
電気用品安全法(PSE)はLED照明に適用されるのか 第4回:本腰を入れ動きだした経済産業省	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/FEATURE/20101022/186774/
戦略的国際標準化推進事業(標準化研究開発/グリーンイノベーション推進事業/LED光源、並びにLED照明器具の性能評価方法の国際標準化に係る研究開発)に係る委託先の決定について	NEDO	https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EF/nedokoubo.2010-10-26.1832361204/
OLED Lighting Products and Market Strategies	bharatbook	http://www.bharatbook.com/detail.asp?id=150603&rt=OLED-Lighting-Products-and-Market-Strategies.html
Ostar Lighting Plus - a newcomer to Osram Opto Semiconductors' high-power LED portfolio	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/27868
ついに国内規格が決まった直管形LEDランプ、日本電球工業会に規格の特徴を聞く	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101101/544027/?ST=led
Philips and Fraunhofer to co-develop a new process for OLED production	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-and-fraunhofer-co-develop-new-process-oled-production
UDC and Acuity Brands won a \$2 million DOE grant to develop a color-tunable OLED lighting system	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-and-acuity-brands-won-2-million-doe-grant-develop-color-tunable-oled-lighting-system
Cree XM-L provides outstanding performance from single LED chip	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/11/12
パナソニック電工の直管形LEDランプ、LEDチップ実装を工夫して線光源を作り出す	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101108/187235/
まだまだコスト高の直管形LED、改正省エネ法が普及を後押し	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101109/187243/?ref=ML
EVやPHEVの普及はヘッドランプのLED化を加速、Philips Lumiledsの基調講演	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101111/187358/?ref=ML
Philips and Lemnis sign LED patent license agreement	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/11/10
AUOが有機EL照明パネルを出展、発光効率は50lm/W	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101111/187342/
OSRAM introduces a new OLED lamp, the PirOLED	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osram-introduces-new-oled-lamp-piroled
Samsung, 印刷法で製造した19型有機ELテレビを出展	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101111/187327/?ref=ML
Lumiotec to start mass producing OLED lighting panels in January 2011	OLED-Info	http://www.oled-info.com/lumiotec-start-mass-producing-oled-lighting-panels-january-2011
Plextronics and Cambrios to co-develop materials for OLED lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/plextronics-and-cambrios-co-develop-materials-oled-lighting
Interview with Gerd Guenther, Novald's marketing chief	OLED-Info	http://www.oled-info.com/interview-gerd-guenther-novalds-marketing-chief

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
Light and human health: LED risks highlighted	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/11/13
次世代照明はどのように変化するのか(第1回)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187398/?ref=RL3
次世代照明はどのように変化するのか(第2回)		http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187399/
次世代照明はどのように変化するのか(第3回)		http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20101115/187400/
Osram Opto Semiconductors released LM-80 reports for two product families	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28525
LKO Lighting launches LED Smart Lighting System for full white control LED lighting system	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28514
最も簡単な温暖化対策は「電球交換」 国連が報告書	asahi.com	http://www.asahi.com/international/update/1202/TKY201012020447.html
Kingsun Optoelectronics successfully completes revamp of Dongjiang Main Road street lights	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28519
Showa Denko to produce 80lm/W white OLEDs in 2015	OLED-Info	http://www.oled-info.com/showa-denko-produce-80lmw-white-oleds-2015
Cree Introduces Industry's First Lighting-Class LED Arrays to Accelerate Indoor LED Lighting	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28663
PAS-NGL introduces the first 400 watt multifunctional LED	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28662
Unilumin LED Street light have launched Type II light distribution	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/28706
高演色のLEDダウンライトを展示会でアピール、コイズミ照明	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101208/544630/?ST=led
Aston Martin uses 750 white OLEDs in their new One-77 supercar showroom	OLED-Info	http://www.oled-info.com/aston-martin-uses-750-white-oleds-their-new-one-77-supercar-showroom
Hotel SSL retrofit delivers 1.1 year payback	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/7/12/10
車内照明にLEDを採用 阪急電鉄	週刊LED業界ニュース	http://www.led-koubou.com/week/
仙台・一番町平和ビル 全館LED照明に 平和不動産	週刊LED業界ニュース	http://www.led-koubou.com/week/
Philips announces an OLED-Lighting R&D and production project in Brazil	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-announces-oled-lighting-rd-and-production-project-brazil
「次世代グリーン・イノベーション評価基盤技術開発」の公募について(予告)	NEDO	https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/EF/nedokoubo.2010-12-15.2949599476/
触れたい照明、有機ELで提案	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101222/544873/?ST=led
「有機ELは究極の照明」、城戸淳二・山形大教授	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101217/544773/?ST=led
フィンなしセラミックボディのLEDランプ、スタンレー電気	ケンプラッツ(日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101220/544809/?ST=led
UR都市機構 大規模な省エネ化を推進、共用照明100万台のLED化など	環境ビジネス.jp(日本ビジネス出版)	http://www.kankyo-business.jp/news2011/20110111b.html
岩崎電気 国内最長寿命90,000時間のトンネル用LED照明を発売	環境ビジネス.jp(日本ビジネス出版)	http://www.kankyo-business.jp/news2011/20110120a.html
【次世代照明展】Cree社、160lm/Wの高効率LEDを出展	Tech-On!(日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188856/?ref=ML
【次世代照明展】ロームがりん光材料を用いた有機EL照明技術を出展	Tech-On!(日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188859/?ref=ML

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
【次世代照明展】円筒型有機EL照明のフジテック、発光品を初展示	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188860/?ref=ML
【次世代照明展】200lm/Wの白色LEDはいつ手に入るのか、LEDメーカーのロードマップを見た	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188871/?ref=ML
【次世代照明展】ありそうでなかったLED技術たち	アイティメディア	http://plusd.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/1101/19/news087.html
【次世代照明技術展】安全性に配慮したL形/G13口金の直管形LEDランプが登場	家電Watch	http://kaden.watch.impress.co.jp/docs/event/ev201101/20110121_421834.html
IDEC、TISの次世代型データセンターにオーダーメイドのLED照明を納入---高効率型電源を採用(1/6)	日経ものづくり	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110106/188510/
iWatt、デジタル制御方式を採用したLED駆動制御ICを発売、100V/230V交流入力向け(1/12)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110112/188675/
白熱電球並みに広範囲を照らせる、パナソニックがLED照明の新製品を発表	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110126/189069/?ref=ML
パナソニック、断熱材施工器具に対応した放熱性の高いLED電球を開発	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110126/189074/
IDEC、工場などに向けたLED照明器具を発表、総合効率は90lm/W	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110201/189256/
「前世紀の照明を一掃」、CreeがEnergy Star準拠の60W級LED電球を発表	EE Times Japan	http://www.eetimes.jp/news/4563
URが共用部分にLED照明を100万台、独自の基準策定も	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110202/545525/ST=led/?P=1
直管形LEDが本格デビュー、新規格化は追い風となるか	ECO マネジメント (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/em/report/267/?mail
急成長するLED市場の死角	日経ビジネスオンライン (日経BP社)	http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20110208/218364/
東芝ライテック、400W水銀ランプ級のLED投光器~建築物のライトアップや工場照明などに適合	家電Watch	http://kaden.watch.impress.co.jp/docs/news/20110210_425981.html
高輝度LEDのコストが10分の1に、塗り変わる業界地図	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20110205/189354/?ref=ML
Samsung LEDが照明用LED市場で本腰、5分野で七つの新製品を一気に投入	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110208/189429/?ref=ML
LED照明は効率が高いが利用法には課題 - 省エネ照明デザインアワード表彰式	マイコミジャーナル (毎日コミュニケーションズ)	http://journal.mycom.co.jp/articles/2011/02/14/led/
カネカ、有機EL照明パネルを2011年春に販売へ	Tech-On! (日経BP社)	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110215/189573/?ref=ML
直管形LEDランプに新たな動き 第2、第3の規格が誕生か	ECO JAPAN (日経BP社)	http://eco.nikkeibp.co.jp/article/report/20110214/105864/?mail
LEDs Magazine Japan(1/24)	ICSコンベンション デザイン	http://www.led-japan.com/mag/
LED照明に最適な温度センサIC(1/21)	ICSコンベンション デザイン	http://www.led-japan.com/mag/product_details/20110121_SII.html
IP66 規格適合、LED 機器用小型AC-DC 電源(1/21)	ICSコンベンション デザイン	http://www.led-japan.com/mag/product_details/20110121_TDK.html
【次世代照明展】Cree社、160lm/Wの高効率LEDを出展(1/19)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188856/
【次世代照明展】SCIVAX、ナノインプリントでサファイア表面を加工、LEDチップの光取り出し効率向上を狙う(1/19)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188868/
【次世代照明展】プランゼージャパン、LEDウエハーの基板張り替えに向けたMo基板などを出展(1/19)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188869/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
【次世代照明展】ソニーケミカル、LEDチップの簡便なフリップチップ実装に向けた、異方性導電接着剤を出展(1/21)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188870/
【次世代照明展】200lm/Wの白色LEDはいつ手に入るのか、LEDメーカーのロードマップを見た(1/21)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188871/
調光・調色制御に向けたLED照明用コントローラIC、シャープが開発の狙いを聞く(1/24)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110121/188928/
白熱電球並みに広範囲を照らせる---パナソニックがLED照明の新製品を発表(1/26)	日経ものづくり	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110126/189069/
パナソニック、断熱材施工器具に対応した放熱性の高いLED電球を開発(1/26)	日経ものづくり	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110126/189074/
Diodes、効率が最大90%と高いLED駆動制御ICを発売、交流85~265V入力に対応(1/31)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110131/189180/
IDEC、工場などに向けたLED照明器具を発表、総合効率は90lm/W(2/1)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110201/189256/
調光・調色・配光切替え機能付LEDシーリングライト(1/28)	ICSコンベンションデザイン	http://www.led-japan.com/mag/product_details/20110128_panasonic.html
EVERLEDS「LEDウォールウォッシャーダウンライト」と「LED楕円配光ユニバーサルダウンライト」2シリーズ(1/14)	ICSコンベンションデザイン	http://www.led-japan.com/mag/product_details/20110114_panasonic.html
カーマナ・テクノロジー、競争力のある価格でソーラLEDリリース(1/21)	ICSコンベンションデザイン	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110121_02.html
ローム、トライアック調光方式に対応したLED照明用電源(1/21)	ICSコンベンションデザイン	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110121_03.html
2010年LED市場は67%成長、40億ドル増加(1/17)	ICSコンベンションデザイン	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110117_02.html
Samsung LEDが照明用LED市場で本腰、5分野で七つの新製品を一気に投入(2/8)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110208/189429/
高輝度LEDのコストが10分の1に、塗り変わる業界地図(2/9)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20110205/189354/
シャープが2300lm超の照明用LEDを発表、25W投入時の発光効率は91lm/Wと高い(2/9)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110209/189453/
阪神高速・京都線、LED照明採用で保守を軽減	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/const/news/20110302/546158/
ウシオライティング、自在な調光と色調のコントロールで快適空間をつくる「LEDIU(レデュー)インテリジェントLED照明システムLmia(エルミア)」を発売	JCASTモノウォッチ (JCAST)	http://www.j-cast.com/mono/2011/03/04089680.html
NECライティング、発光効率が“世界最高レベル”の有機EL照明を開発	家電Watch	http://kaden.watch.impress.co.jp/docs/news/20110307_431690.html
GaN基板が大きく安価に、LEDやパワー半導体を変革(2/18)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/HONSHI/20110211/189504/
「LED照明の点灯システムを簡便に」、小型・薄型電源モジュールを展開するRECOMに聞く(2/18)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110218/189702/
LED電球に向けた駆動ICをSTMicroが発売、800V耐圧のパワーMOSFETも内蔵(2/24)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110224/189871/
「ゼロからの出発だったLED照明ビジネス、2011年は飛躍の年へ」、大塚商会に聞く(3/1)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110301/189990/
アバゴ・テクノロジーがLED照明器具市場に参入、各種ランプを取りそろえる(3/2)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110302/190015/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
LEDの光出力を大幅に向上する製造技術の開発に成功(3/3)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110303_01.html
ナノフォトニカ、QLEDフラットパネルディスプレイ技術開発(3/4)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110304_01.html
BJB, 放熱構造付き口金を東芝ライテックと共同開発(3/7)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110307/190125/
EVERLEDS LED電球ハロゲン電球タイプを発売(3/7)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/product_details/20110303_panasonic_2.html
【ライティング・フェア】パナ電工, “ワンコア(ひと粒)”タイプのLED照明器具244品番を一気に投入(3/8)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190168/
【ライティング・フェア】国内大手照明メーカーが直管形LEDランプをこぞって出展, 業界規格の制定を受け(3/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190186/
【ライティング・フェア】フィルタを取り付けるだけで一般的なLEDランプが高演色タイプに早変わり, 東芝ブースで披露(3/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190188/
【ライティング・フェア】ローム, “ろうそくの明かり”を狙ったLEDランプを出展(3/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190190/
中国LED展示会報告, 中国製品購入者の多くは欧米企業(3/8)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190194/
【ライティング・フェア】LED照明によって物体の影はどうなるのか…, フィリップスのブースで体験(3/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190195/
【ライティング・フェア】LED照明器具の光源部を交換できる利点を, BJB社が力説(3/9)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190217/
【ライティング・フェア】写真でつづる有機EL照明(3/9)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190226/
【ライティング・フェア】薄型高出力の白色LEDでも130lm/W超を目指す, シチズン電子のロードマップ(3/9)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190227/
【ライティング・フェア】高配光角化や調光対応など, LED電球がフルラインアップ化で“普通の商品”へ(3/9)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190230/
【ライティング・フェア】“電球用口金”から“シーリング”と“蛍光灯用口金”へ, 次の競争に入ったLED照明(3/10)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110310/190243/
【ライティング・フェア】LEDメーカーが照明器具市場に参入, 事業領域を拡大したAvago社に狙いを聞く(3/11)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110311/190262/
【ライティング・フェア】交流駆動する, 照明向け薄型白色LEDモジュールを出展, 消灯時間を半減させ効率改善(3/11)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110312/190278/
Novald at Photonics21 conference – Visions for Photonics as a Key Enabling Technology(2/28)	日経エレクトロニクス	http://www.novald.com/news/download/2011_02_28_news_engl.pdf
【関連サイト】山形大, 大手企業の研究所並みの有機エレクトロニクス研究センターを一部限定公開(3/16)	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110316/190396/
ブリッジラックス, シリコン基板LED照明開発で初めての成果(3/23)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110323_01.html
フィンなしセラミックボディのLEDランプ, スタンレー電気	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101220/544809/?ST=led
i Laboセミナー「光の基礎とLED照明」	岩崎電気情報ライブラリー	http://www.iwasaki.co.jp/info/lib/event/images/20110201.pdf
ダイクロハロゲン同寸のLED電球を発売, ウシオライティング	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101224/544887/?ST=led

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
丸の内の夜景をつくる照明とLED導入	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101222/544868/?ST=led
高価でまぶしくLED不採用、品川の区道で	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20101227/544919/?ST=led
大阪・中之島の2011年ライトアップ2件に岩崎電気	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110105/544983/?ST=led
『半導体照明省エネ産業発展意見』発布	LED環球	http://laovaoba.com/ss6/?action-viewnews-itemid-158933
パチンコ大手のマルハン、2店舗をオールLED照明に	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110106/545028/?ST=led
Novald shows a new "Jumping Flash" transparent OLED lamp design	OLED-Info	http://www.oled-info.com/novald-shows-new-jumping-flash-transparent-oled-lamp-design
UDC shows OLED lighting panels at CES	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-shows-oled-lighting-panels-ces
Cree社、160lm/Wの高効率LEDを出展	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110120/545280/?ST=led
200lm/Wの白色LEDはいつ手に入るのか、LEDメーカーのロードマップを見た	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188871/?ref=ML
Blackbody shows a new battery-operated OLED-Lighting sculpture	LEDs MAGAZINE	http://www.oled-info.com/blackbody-shows-new-battery-operated-oled-lighting-sculpture
円筒型有機EL照明のフジテック、発光品を初展示	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188860/?ref=ML
ロームがりん光材料を用いた有機EL照明技術を出展、2011年1月にルミオテックが量産出荷へ	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110119/188859/?ref=ML
Fire hazard causes recall for Eco-Story LED lamps	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/1/22
「ソリューションとローカライズ」で市場開拓を目指すGEのLED照明事業	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110124/545345/?ST=led
調光・調色制御に向けたLED照明用コントローラIC、シャープが開発の狙いを聞く	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110125/545354/?ST=led
Philips OLED Lighting spotlight video	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-oled-lighting-spotlight-video
SPORTLITE takes efficiency to next level with new LED Garage Fixture series	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30132
Sharp introduces MegaZeni series of 15W & 25W LED modules with high light quality	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30173
Revolutionary Printoptical Technology by LUXeXcel aXXelerates development of LED lighting	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30181
有機EL照明タワーお披露目	おっさんデザイナーの眼	http://kuniharuichi.blogspot.com/2011/02/el.html
UDC and Moser Baer sign an OLED Lighting technology & licensing agreement	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-and-moser-baer-sign-oled-lighting-technology-licensing-agreement
Philips to offer more free OLED workshops	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-offer-more-free-oled-workshops
Verbatim unveils color-tunable OLED lighting	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/2/9
「平成22年度 省エネ照明デザインアワード」グランプリおよび優秀事例の決定について	環境省	http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=13479
Philips installs LED lights along 7-km length of highway	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/2/21
Philips Ledalite combines design, performance and sustainability with high performance LED luminaire	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30409

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
パナソニック、LEDと有機ELによる光の空間をミラノサローネで展示	家電Watch	http://kaden.watch.impress.co.jp/docs/news/20110218_427971.html
【ライティングフェア2011】LEDに続く新光源「有機EL照明」の試作品が続々登場	家電Watch	http://kaden.watch.impress.co.jp/docs/event/lfair2011/20110309_431954.html
Philips offers a discounted Lumiblade OLED kit	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-offers-discounted-lumiblade-oled-kit
Benwirth Licht Cluster+, a modular OLED and LED lamp	OLED-Info	http://www.oled-info.com/benwirth-licht-cluster-modular-oled-and-led-lamp
Research Scientist Embedded Software and System Simulation for Solid State Lighting	Philips	http://www.eal.ei.tum.de/aktuell/externes/Philips/Research_Scientist_Embedded_SW_and_System_Simulation_for_SSL.pdf
棚の外側に光が漏れないLED棚下照明、岡村製作所	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110302/546117/?ST=led
「LED照明は価格でなく、光の質で選ぶときが来た」、遠藤照明に聞く	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110225/189896/?ref=ML
LRC evaluates LED and induction street-lights for local roads	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/1
アバゴ・テクノロジーがLED照明器具市場に参入、各種ランプを取りそろえる	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110303/546160/?ST=led
OSRAM extends the Orbeos family with two new OLED panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osram-extends-orbeos-family-two-new-oled-panels
有機ELパネルのモチーフ編み、カネカのデザインコンペ	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110301/546111/?ST=led
Philips' StyliD LED spot wins gold iF product design award	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30564
LED照明向けトータルソリューション提供を開始	株式会社村田製作所	http://www.murata.co.jp/new/news_release/2011/0307/index.html
薄くフラットなデザインと天井面への配光を実現した「丸形LEDシーリングライト」の発売について	東芝ライテック	http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110307b/p110307b.htm
白熱電球・電球形蛍光灯に近い光の広がりを実現したLED電球 LED電球「一般電球形7.7W」の発売について	東芝ライテック	http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110307a/p110307a.htm
Lighting Science Group enters L Prize with 60W-equivalent LED lamp	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/7
Juno Lighting Group expands Indy multi-head portfolio to include efficient, optimized LED luminaires	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30589
Philips earns eight LED design competition awards	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30596
パナ電工、“ワンコア(ひと粒)”タイプのLED照明器具244品番を一気に投入	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110309/546234/?ST=led
LED照明器具の光源部を交換できる利点を、BJB社が力説	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190217/?ref=ML
フィルタを取り付けるだけで一般的なLEDランプが高演色タイプに早変わり、東芝ブースで披露	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190188/?ref=ML
LED照明によって物体の影はどうなるのか・・・、フィリップスのブースで体験	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110308/190195/?ref=ML
ウシオライティング、デスクのパソコンからも照明を操作可能に	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190232/?ref=ML
タッチ・パネルか照明か、山田照明が導光板利用の照明スタンドを出展	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190221/?ref=ML
Luxeon LEDs shine brightly on the Guangzhou TV tower	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30569
国内大手照明メーカーが直管形LEDランプをこぞって出展、業界規格の制定を受け	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110309/546236/?ST=led

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
高配光角化や調光対応など、LED電球がフルラインアップ化で“普通の商品”へ	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190230/?ref=ML
薄型高出力の白色LEDでも130lm/W超を目指す、シチズン電子のロードマップ	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190227/?ref=ML
OLED Lighting news from Japan's Lighting Fair 2011	OLED-Info	http://www.oled-info.com/oled-lighting-news-japans-lighting-fair-2011
写真でつづる有機EL照明	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190226/?ref=ML
NECライティング、約10cm角で60lm/Wのりん光有機EL照明パネルを出展	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110309/190207/?ref=ML
Osram Opto demonstrates 142 lm/W warm-white LED	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/12
E-Lite OptoTech unveils 25500-lm LED Flood/Canopy light with Cree inside	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30653
NEMA publishes two solid-state lighting standards	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/9
Osram Sylvania claims PAR38 LED lamp record	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/16
Clean Light Green Light introduces LED freezer and cooler lights unlike any other	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30716
LEDs play an increasingly vital role in life-science applications	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/19
Pyxis and Corvus: new LED downlighters	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30815
GE Lighting launches new version of Infusion LED module	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/3/27
LED system for retail environments by Vossloh-Schwabe	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/30923
Panasonic Idemitsu OLED Lighting: a new JV by Panasonic and Idemitsu Kosan	OLED-Info	http://www.oled-info.com/panasonic-idemitsu-oled-lighting-new-jv-panasonic-and-idemitsu-kosan
OLED Lighting: From Spotlights to Walls of Light	PCB007	http://www.pcb007.com/pages/zone.cgi?artcatid=&a=75603&tpg=1&artid=75603&
小鳴門トンネルの照明全灯をLEDに切り替え、徳島県	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/const/news/20110401/546750/?ST=led
パナソニック電工、汐留ミュージアムをオール次世代照明化	パナソニック電工	http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1104/1104-5.htm
SemiLEDs、超高輝度I-Do LEDチップを発表(3/29)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110329_01.html
住友化学と三星LED、サファイア基板事業会社設立(4/1)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110401_01.html
東アジアのLED電球分解、設計思想の違いが明らかに日本はデザイン重視、海外はコスト優先(4/1)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/HONSHI/20110331/190755/
Diodes、供給電流が1.5Aと大きいLED駆動ICを発売、LED電球など向け(4/4)	Tech on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110404/190838/
CreeとOSRAM、LED照明などについて広範囲のクロスライセンス契約を締結(4/5)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110405/190885/
LED電球の放熱フィンがあった方がいいのか(4/6)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/TOPCOL/20110406/190888/
米Cree、製品間の色バラツキを抑えた白色LEDを発表、ハロゲン・ランプ代替など向け(4/8)	日経エレクトロニクス	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110408/190974/

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
RICが、世界および中国LED産業調査レポート発表(4/13)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110413_01.html
加州エネルギー委員会、新しい照明の研究に50万ドル拠出(4/15)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110415_01.html
ユニバーサルディスプレイ、OLED単層エンカプセル技術(4/20)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110420_01.html
ユニバーサルディスプレイ、日本支社設立(4/21)	LEDs Magazine Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110421_01.html
人感センサー付きLED電球、アイリスオーヤマ	ケンプラッツ (日経BP社)	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110425/547113/?ST=led
EVERLEDS革新体感キャンペーン「V-BOX」LED「光の質」を体感できる移動式内覧会	パナソニック電工	http://denko.panasonic.biz/Ebox/everleds/special/v-box/outline.html
Osram and Cree sign LED patent-license agreement	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/4/1
CreeとOSRAM、LED照明などについて広範囲のクロスライセンス契約を締結	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110406/546827/?ST=led
2011 Solid-State Lighting R&D Workshop Materials	DOE	http://www1.eere.energy.gov/buildings/ssl/sandiego2011_materials.html
「消費電力は約40%減」、大塚商会が全館にLED照明を導入した新ビルを竣工	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110406/546828/?ST=led
本社ビル照明を全面LED化、東急ファンリティサービス	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110405/546818/?ST=led
「全世界のLED向けウエハー処理能力、2011年は+50%の650万枚/月」、SEMIが発表	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110406/190898/?ref=ML
改修・増床を期にLED4.5万台、大丸梅田店・渡辺氏	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110406/546835/?ST=led
Largest OLED lighting panel (33x33cm) to date developed by the OLED100.eu project	OLED-Info	http://www.oled-info.com/largest-oled-lighting-panel-33x33cm-date-developed-oled100eu-project
Nanomarkets: the OLED lighting market in Asia will generate \$2.1 billion by 2016	OLED-Info	http://www.oled-info.com/nanomarkets-oled-lighting-market-asia-will-generate-21-billion-2016
米Cree、製品間の色バラツキを抑えた白色LEDを発表、ハロゲン・ランプ代替など向け	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110408/190974/?ref=ML
DOE municipal consortium posts draft street-lighting specification	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/4/5
Verbatim enters the LED lighting market in the US and Canada	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31204
New LED traffic signal lighting from Osram Opto Semiconductors provides safety for pedestrians	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31203
RICが、世界および中国LED産業調査レポート発表	LEDs MAGAZINE Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110413_01.html
Panasonic shows OLED lighting panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/panasonic-shows-oled-lighting-panels
Verbatim shows their VELVE color-tunable OLED lighting	OLED-Info	http://www.oled-info.com/verbatim-shows-their-velve-color-tunable-oled-lighting
Osram convinces the judges of the red dot design award, with a new LED and a new OLED luminaire	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31206
Lumiotec OLED lighting updates	OLED-Info	http://www.oled-info.com/lumiotec-oled-lighting-updates-april-2011
Velve sample kits to ship in May, to cost ¥90,000 (\$1,050) in Japan	OLED-Info	http://www.oled-info.com/velve-sample-kits-ship-may-cost-%C2%A590000-1050-japan
加州エネルギー委員会、新しい照明の研究に50万ドル拠出	LEDs MAGAZINE	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110415_01.html

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
Philips Lumiblade Plus – the world’s most efficient OLED lighting panel	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-lumiblade-plus-worlds-most-efficient-oled-lighting-panel
ユニバーサルディスプレイ、日本支社設立	LEDs MAGAZINE Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110421_01.html
シャープの照明関連サイト	シャープ	http://www.sharp.co.jp/led_lighting/akari/index.html
Acuity Brands launched new outdoor SSL products, while San Francisco seeks bids on wireless-enabled street lights, and controversy hits Nova Scotia’s mandatory LED	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/5/3
Philips adds Trilux to list of licensees for LED luminaire program	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/4/20
DOE publishes updated SSL R&D plan	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31338
Philips to showcase OLED lighting in Europe and Asia	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-showcase-oled-lighting-europe-and-asia
Blackbody shows interesting new OLED lighting designs	OLED-Info	http://www.oled-info.com/blackbody-shows-interesting-new-oled-lighting-designs
Acuity Brands debuts two OLED luminaries planned for 2012 using LG Chem panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/acuity-brands-debuts-two-oled-luminaries-planned-2012-using-lg-chem-panels
Toshiba introduces new high luminous flux white LEDs	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31406
複数の影が出ない新開発のLEDランプ、東芝が出展	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110509/547294/?ST=led
Osram Opto unveils Brilliant-Mix LED mixing concept	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/5/11
LSG plans intelligent LED lamp for Android @ Home	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/5/9
Cree high-output LED module delivers both high-quality light and efficiency	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31436
クリーの231 lm/W LED、LED効率記録	LEDs MAGAZINE JAPAN	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110512_01.html
Philipsの展示は一般住宅のLED照明が中心、ミラノ	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110511/547338/?ST=led
照明の転換期にLEDと有機ELで「光の質」を訴求、パナソニック電工	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110429/191541/
三菱化学、フルカラー有機ELパネルの光の質に触れる展示	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110511/547343/?ST=led
有機ELの意匠照明器具で欧州照明市場へ、Lumiotec	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110511/547359/?ST=led
薄く軽いカラー有機ELパネル約2500枚で空間を構成、カネカ	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110511/547342/?ST=led
単に省エネを図るだけでない照明デザインを	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110506/547287/?ST=led
Gaiker-İK4 to study the environmental impact of OLED production	Ruiyuan Group	http://www.rivngroup.com/?en-n-d-3490.html
Cheil Industries to start producing OLED materials	Ruiyuan Group	http://www.rivngroup.com/?en-n-d-3489.html
GE enables all-LED rooms with LED edge-lighting fixtures	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31506
IDECのLED照明ユニット、「餃子の王将」で採用---実証実験で性能確認済み、新規店舗中心に設置へ	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110517/547432/?ST=led
Lightfair announces 2011 Innovation Awards winners	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/5/16

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
ソニーが13.3型の曲がるカラー電子ペーパーを開発	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110518/191893/?ref=ML
Philips invests in OLED production facility in Aachen, Germany	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/5/20
Universal Display shows new flexible OLED lighting prototype	OLED-Info	http://www.oled-info.com/universal-display-shows-new-flexible-oled-lighting-prototype
UDC unveils a new OLED lighting panel with 58 lm/W, 30,000 lifetime hours	OLED-Info	http://www.oled-info.com/udc-unveils-new-oled-lighting-panel-58-lmw-30000-lifetime-hours
WAC Lighting introduces innovative hybrid OLED luminaire at Lightfair	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31526
Acuity Brands LED Outdoor launches roadway lighting technology that enhances safety and energy efficiency	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31598
SaaS型LED照明コントロールソリューションでエネルギー問題を解決	CNET Japan	http://japan.cnet.com/release/30002945/
折りたたみ型やフレキシブルの有機ELにタッチ・パネルを一体化、Samsungの研究所が開発	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110520/191973/?ref=ML
折り曲げのデモに歓声、ソニーが有機TFT駆動のフレキシブル電子ペーパーを開発	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110520/191957/?ref=ML
東芝がフレキシブル有機ELパネルを開発、200°Cプロセスの酸化物TFTで駆動	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110520/191953/?ref=ML
パイオニアが開発のHUDや有機EL照明、SIM-Drive試作のEV「SIM-LEI」に搭載、スマホで各種操作	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110520/191958/?ref=ML
Nanomarkets – the European OLED lighting market will reach \$1.5 billion by 2015	OLED-Info	http://www.oled-info.com/nanomarkets-european-oled-lighting-market-will-reach-15-billion-2015
NHK技研、曲がる有機ELディスプレイをパナソニックと共同開発	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110526/192137/?ref=ML
フィリップス、本社オフィスにLED照明を導入	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110531/547716/?ST=led
Philips offers a Special 2of3 OLED kit – electronics and two OLEDs for just 180€	OLED-Info	http://www.oled-info.com/philips-offers-special-2of3-oled-kit-electronics-and-two-oleds-just-180%E2%82%AC
東芝、被災地避難所に有機EL照明を提供 – 乾電池や太陽光充電で駆動可能	CNET Japan	http://japan.cnet.com/311/support/35003351/
NEDOの広報ビデオの「未来の科学を夢見る親子の物語」	NEDO	http://www.nedo.go.jp/library/introducing_video_index.html
Philips introduces the Fortimo LED Strip	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31639
US DOE announces \$14.8 million in new SSL R&D funding	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/6/7
25社の直管形LEDを比較、東京ビルディング協会	ケンプラッツ	http://kenplatz.nikkeibp.co.jp/article/building/news/20110609/547938/?ST=led
Jusung to develop OLED technology in Morocco	OLED-Info	http://www.oled-info.com/jusung-develop-oled-technology-morocco
The Fraunhofer Institute and Renetec to build a €140 million OLED lighting fab in Korea	OLED-Info	http://www.oled-info.com/fraunhofer-institute-and-renetec-build-%E2%82%AC140-million-oled-lighting-fab-korea
US DOE awards two OLED research projects and a \$3 million production project to Moser Baer	OLED-Info	http://www.oled-info.com/us-doe-awards-two-oled-research-projects-and-3-million-production-project-moser-baer
OSRAM developed a 87 lm/W white OLED panel, close to production	OLED-Info	http://www.oled-info.com/osram-developed-87-lmw-white-oled-panel-production-soon
Blackbody Helix	OLED-Info	http://www.oled-info.com/blackbody-helix
Acuity Brands' new products increase pedestrian safety and decrease light pollution	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/products/31726

5. ホームページ

題目	作成団体	URL
東芝 LED Lighting Vol.9	東芝ライテック	http://page.cextension.jp/tlt/index.php?submit=next&page=1&catselect=&child_catselect=&granchild_catselect=&title=&textalltext=&disppage=1&sort1=1&sort2=2&sort3=10&model=&id=c3355
「LEDライトエンジン」の形名および発売時期の変更について	東芝ライテック	http://www.tlt.co.jp/tlt/kokuchi/info_20110622.htm
フィリップス、日本における照明事業の売上高は今夏、半分がLED関連に	Tech-on	http://techon.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20110620/192732/?ref=ML
LED lighting installed in London road tunnel	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/6/16
LEDON shows the world's brightest OLED module (1001 lumens) made from LG Chem panels	OLED-Info	http://www.oled-info.com/ledon-shows-worlds-brightest-oled-module-1001-lumens-made-lg-chem-panels
Philips to acquire LED outdoor-lighting specialist Indal	LEDs MAGAZINE	http://www.ledsmagazine.com/news/8/6/29
LED照明でフランスの国家研究所とLEDの専門企業が手を組む	LEDs MAGAZINE Japan	http://www.led-japan.com/mag/news2011/news_20110624.html
Black Eyed Pea Fergie goes on stage with an OLED outfit	OLED-Info	http://www.oled-info.com/black-eyed-peas-fergie-goes-stage-oled-dress

6. 委員会・プロジェクトなど

団体名	委員会などの名称	委員長(主査)名	期間	目的	概要
照明学会	新光源発達度研究調査委員会	大谷 義彦	平成18年4月～ 平成23年3月		
照明学会	次世代固体照明光源に関する研究調査委員会	椿 健治	平成20年4月～ 平成23年3月		
照明学会	LED照明の視覚的影響に関する特別研究調査委員会	原 直也	平成21年4月～ 平成24年3月		
照明学会	LED照明に関する正しい情報発信研究調査委員会	中村芳樹	平成23年5月～ 平成24年3月		
照明学会	有機EL照明のガイドライン作成に向けた研究調査委員会	大谷 義彦	平成21年6月～ 平成22年5月		
照明学会	有機EL照明のガイドライン作成委員会	大谷 義彦	平成22年7月～ 平成24年3月		
照明学会	LED照明のJIS用語制定準備委員会	石井弘允	平成22年7月～ 平成24年3月		
照明学会	JIS C8152-1原案作成委員会	中川靖夫	平成23年4月～ 平成24年3月	照明用発光ダイオード(LED)の測光方法第1部照明用LED素子の測光方法	
日本照明器具工業会	LED照明器具小委員会	安岡悦章			
日本照明器具工業会	LED照明器具標準化小委員会	大塚啓二			
日本照明器具工業会	LED照明器具測定技術小委員会	加藤 篤			
日本照明器具工業会	LED電安法WG	安岡悦章			
日本照明器具工業会	直管形LEDランプ検討WG	竹内啓泰			
日本電球工業会	照明用LED標準化委員会	中川靖夫			
日本電球工業会	一般照明用LED・JIS制定分科会	鈴木 篤			
日本電球工業会	照明用LED測定分科会	鈴木健一			
日本電球工業会	照明用LED技術委員会	清水恵一			
日本電球工業会	LED制御装置類(旧電子トランス類)分科会	迫 浩行			
日本電球工業会	照明用LED技術委員会・電安法WG	清水恵一	2010/6/16～		
日本電球工業会	LEDランプ業務委員会	宇津木隆久	2010/10/27～		
日本電球工業会	OLED検討WG	柳 正	2010/11/19～		
日本照明委員会	LEDを含むランプの光源色及び演色性による区分に関する事前検討WG				
CIE (国際照明委員会)	TC 1-69 白色光源による演色特性	W.Davos	活動中 (委員:矢口博久・橋本健次郎)		
CIE (国際照明委員会)	TC 2-46 LEDの光度測定に関するCIE/ISO規格 CIE/ISO standards on LED intensity measurements	J. Scarangelo (米国)	活動中 (委員:坂東完治)	CIE技術報告書 No.127に基づいたLEDの光度測定についてのCIE/ISO規格を作成する。	
CIE (国際照明委員会)	TC 2-50 LEDクラスター及びLEDアレイの光学的特性の測定 Measurement of the optical properties of LED clusters and arrays	J. Schuette (ドイツ)	活動中 (委員:大嶋浩正)	可視域のLEDアレイやクラスターの光学的特性の測定に関する技術報告書を作成すると共に、大型のLEDアレイのための光学量や、測定方法や測定条件に関する勧告を導き出す。	2008年7月にトリノ(イタリア)にてTC会議を開催予定
CIE (国際照明委員会)	TC 2-58 LEDの放射輝度および輝度の測定 Measurement of LED radiance and luminance	河本康太郎 (日本)	活動中	LEDの輝度および放射輝度についての推奨される測定方法を示したCIE技術報告書を作成する。ここでは特に、関連する光生物学的安全性基準における特定要求事項を考慮する。	北京にてTC会議を開催。第2ドラフトを審議。放射量に係る記述を充実させる。生体安全性に係る記述と章を分離した構成とする。
CIE (国際照明委員会)	TC 2-63 ハイパワーLEDの光学測定 Optical measurement of high power LEDs	Y.Zong (米国)	活動中 (委員:大嶋浩正ほか)	温度条件とその取扱い(有効性、普遍性、必要性etc)について多くの議論あり。TC2-63で含めるべきScopeについて議論を継続し、来年のTC会議(CIE2011)までの範囲を確定させ、ドラフト1を準備する。	
CIE (国際照明委員会)	TC 2-64 LEDの高速試験法 High speed testing methods for LEDs	G.Heidel (ドイツ)	活動中 (委員:大久保和明ほか)	Package Binning/Sortingに加え、Wafer/Chip Probe Testingもスコープに加える。今後の主な検討課題は、パルス点灯と測定タイミング、温度条件、パルス点灯用の電流源など。	

6. 委員会・プロジェクトなど

団体名	委員会などの名称	委員長(主査)名	期間	目的	概要	
CIE (国際照明委員会)	TC 2-66 LED関連の用語の整理 Terminology of LEDs and LED assemblies	J.Shanda (ハンガリー)		活動中	用語の収集背いるが着実に進められている。(現在ドラフトVer.6用語リスト)。用語の選別(ランク付け)・定義の精査など引き続き行い、年内にVer.7を予定	
CIE (国際照明委員会)	R2-42 LED照明器具の測定方法 Measurement methods for LED luminaires	J.Pan (中国)		2009.6	LED照明器具の測光(全光束、配光分布、色度、輝度分布、ニアフィールド etc.)における検討課題についての調査報告あり。TC設立の提案あり。	
CIE (国際照明委員会)	R2-43 集積LEDの測定	P-T.Chou (台湾)		2009.6	終了。LED Light Engine を中心とした測定についての調査報告あり。レポート内容は、TC2-50へのインプットとして活用される。TCは設立しない。	
CIE (国際照明委員会)	R2-44 照明用大面積平面光源の測光特性評価 Photometric characterization of large areas flat sources used for lighting	A.Sperling (ドイツ)		2009.6	終了。電極配置に依存した輝度勾配を考慮した面内Homogeneity の定義や主要測光量の測定、空間分布などの特性評価などを中心とした調査報告あり。TC設立の提案あり。	
CIE (国際照明委員会)	R2-47 曲面の発光面に対する測光	H-L.Yu (台湾)		新設	OLEDベースのフレキシブルTVなどにおけるcurved surface の輝度測定および測定結果の理論解析(モデル式)に関する調査報告あり。TC設立の提案あり。	
CIE (国際照明委員会)	TC3-50 LED照明システムにおける屋内照明の質	M.Knoop(オランダ)	設	新		
CIE (国際照明委員会)	TC 4-47 交通用の信号と照明におけるLEDの適用 Application of LEDs in Transport Signalling and Lighting	S.E.Jenkins (オーストラリア)		活動中		
CIE (国際照明委員会)	TC 6-55 LED の人体への安全性 Light Emitting Diodes	Werner Horak (ドイツ)		活動中 (委員:河本康太郎)		LEDの人体に対する光生物学的安全性の評価方法の相違点について報告する。CIEの光安全基準であるCIE S009/E:2002はICEの光安全基準IEC 60825-1-2001と比較検討すべきである。必要要件は、過剰照射からの目の障害を守るために、生物学的立場からの影響と、危惧される照射量の決定の報告である。

7. 講演会・シンポ・展示会など

名称	開催時期	会場	主催者	参加費	問合せ先
LED照明器具の放熱設計技術の基礎と応用	2010/4/9	化学会館	日経エレクトロニクス	一般45,000円、読者38,000円	
第2回次世代照明技術展—ライティングジャパン	2010/4/14-16	東京ビッグサイト	リードエグジジビジョンジャパン(株)	¥5000 (招待券申込無料)	ライティングジャパン事務局 http://www.lightingjapan.jp/lighting/
JCIEセミナー 新しい色の見えモデルの研究の光源の演色性評価および画像色再現評価への応用～LED、OLEDなど次世代照明用光源の時代に向けて～	2010/4/15	産業技術総合研究所臨界副都心センター本館第1、第2会議室	日本照明委員会	会員4000円 非会員8000円 学生1000円	日本照明委員会事務局 03-5294-7200
第7回TSRセミナー2010 躍進するLEDビジネス2010:LED光源とアプリケーション	2010/4/27 13:30～17:40	東京コンファレンスセンター品川	(株)テクノ・システム・リサーチ	28000円	TEL:03-3866-4505 E-mail:seminar@t-s-r.co.jp TSR セミナー係 担当:濱田
ライティング・フェア2011関連企画 ドイツ・フランクフルト 「Light+Building」報告会—LED照明の最新事情を中心に—	2010/5/14	日本経済新聞社 東京本社2階 「SPACE NIO多目的スペース」	日本経済新聞社 特別協力 Light Bridge Association JAPAN NPO	無料	ライティング・フェア事務局(日本経済新聞社文化事業局イベント事業部)03-6256-7355
ライティング・フェア2011関連企画 ドイツ・フランクフルト 「Light+Building」報告会—有機EL照明の最新事情を中心に—	2010/5/31	日本経済新聞社 東京本社2階 「SPACE NIO多目的スペース」	日本経済新聞社 特別協力 Light Bridge Association JAPAN NPO	無料	ライティング・フェア事務局(日本経済新聞社文化事業局イベント事業部)03-6256-7355
LS:12-White LEDs 3 合同シンポジウム「第12回白色LED&固体発光の国際会議」	2010/7/11～16	Eindhoven工科大学、オランダ			照明学会誌94-4会告
高分子エレクトロニクス・有機EL合同研究会 有機エレクトロニクス材料の最先端:材料設計からデバイス応用まで	2010/7/23	化学会館7階ホール	高分子学会 高分子エレクトロニクス研究会 有機EL研究会	①企業 5,250円 ②大学・官公庁 3,150円 ③学生 2,100円 ほか	(社)高分子学会 〒104-0042 東京都中央区 入船3-10-9 新富町ビル6F TEL 03-5540-3771 FAX 03-5540-3737
平成22年度LED応用研究会① 「LED照明技術の発展を目指して」: 上山智(名城大学)、②「LED Museum 21(名古屋に21世紀型LED ミュージアムを!)」落合勉(M&Oデ ザイン事務所)	2010/7/27	名城大学タワー 75 15F レセプションホール	(財)科学技術交流財団 名城大学	8000円(4回分) 交流会1000円	名城大学052-832-1151(代表)
JLEDSシンポジウム:LED照明 飛躍の幕開け ・LED照明の成長戦略(経産省:吉本 豊) ・環境問題の解決に貢献するLED 照明技術(東大名誉教授:月尾嘉 男) ・LED照明市場動向と今後の 課題(野村総研:前原孝章) ・東京スカイツリーにおけるLED化 への挑戦(シリウスライティング:戸垣浩 『電気用品安全法1日速習講座』 ～規制対象品目に追加されるLED 関連製品を中心に～	2010/9/7	きゅりあん大ホール	LED照明推進協議会	一般5000円(3000 円) JLEDS会 員2000円 学生 1000円(無料) カッ コ内は早期登録	LED照明推進協議会 http://www.jleds2010.or.jp/
LEDジャパン2010/Strategies In Light	2010/9/29-10/1	パンフィコ横浜 ホールB	ICSコンベンションデザイン	無料(事前登録 制)	TEL: 03-3219-3642 FAX: 03-3219-3641
#####	2010/10/7	日本大学理工学部駿 河台校舎1号館121会 議室	照明学会光関連材料・デバイ ス研究専門部会/照明学会次 世代固体照明光源に関する 研究調査委員会	3000円	照明学会
技術セミナー: 「LED照明の現状と明るさ感設計への取り組み」 滝澤 総(日建設計)ほか	2010.10.26	TEPCOホール	照明学会東京支部	会員2000円、一 般3000円、 学生1000円	照明学会東京支部

7. 講演会・シンポ・展示会など

名称	開催時期	会場	主催者	参加費	問合せ先
応用物理学会関西支部シンポジウム 持続可能社会を目指した材料・デバイス開発の新展開～環境に適した材料・デバイス開発の最新動向～ ・高効率白色LEDの現状とその応用 (成川幸男ほか:日亜化学)ほか	2010/11/15	島津製作所関西支社マルチホール	応用物理学会関西支部	会員2000円、一般5000円、学生1000円	応用物理学会関西支部
電気四学会関西支部専門講習会 LED照明の現状と将来展望	2010/11/29	中央電気倶楽部	照明学会/電気学会/電子情報通信学会/映像情報メディア学会/各関西支部	会員10000円(学生3000円)、会員外12000円(学生5000円)	照明学会関西支部
照明学会公開研究会 LED照明光の視覚的効果 ・不快を感じにくいLED照明設計の検討:東洋邦(東芝ライテック)・光の生物時計機構への作用とLED照明への期待:野口公喜(パナソニック電工)・LED照明の演色性評価:矢口博久(千葉大学)	2010/12/13	東京国際フォーラム会議室G701	照明学会視覚研究専門部会	会員1000円、会員外2000円、学生500円)	照明学会
第3回次世代照明技術展～ライティング ジャパン～内 第1回LED/有機EL 照明フェア	2011/1/19～21	東京ビッグサイト西展示場	リードエグジビジョンジャパン	5000円	リードエグジビジョンジャパン http://www.lightingjapan.jp/eguide/
Strategies in Light 2011	2011/2/22～24	Santa Clara, USA		展示会無料(事前登録制)	直接HPより問合せ
ライティング・ステージ ・LED照明の使い方と注意すべきポイント・LEDで変わる照明設計・進化するLED・LED間接照明(住宅編)・ほか	2011/3/8～11	西展示棟アトリウム	日本照明器具工業会 日本経済新聞社	展示会無料(事前登録制)	直接HPより問合せ
ライティング・フェア2011セミナー ・次世代照明の成長戦略と国際標準化(経産省:吉本豊)・LED照明評価技術の国際標準化活動とSSL戦略推進(JCIE会長:淵田隆義)・一般照明用LED光源の標準化動向(電球工業会:赤澤幸造)・LED照明器具の標準化動向(照明器具工業会:神谷文夫)	2011/3/9	東京ビッグサイト会議棟レセプションホール	日本照明器具工業会 日本経済新聞社	一般5000円(照明器具工業会、電球工業会会員は4000円)	直接HPより問合せ
有機EL照明シンポジウム2011 ～ここから始まる有機EL照明の未来～ ・有機ELの基礎と世界最新動向(山形大:城戸淳二)・有機EL照明発展の課題と可能性、世界の事例紹介(LBA理事長:落合勉)・パネルディスカッション:有機ELで描く未来の街の姿	2011/3/10	東京ビッグサイト会議棟レセプションホール	日本照明器具工業会 日本経済新聞社 Light Bridge Association NPO	一般5000円(照明器具工業会、電球工業会、LBA会員は4000円)	直接HPより問合せ
ライティング・フェア会場内特設 ～有機ELラウンジ～ 「有機EL照明デザインコンペ2010」入賞作品発表展示会	2011/3/8～11	ライティング・フェア会場内	Light Bridge Association NPO	展示会無料(事前登録制)	直接HPより問合せ
電気四学会関西支部照明技術セミナー 次世代の照明の課題と実例～照明器具長期使用に関する課題およびLED照明の現状と将来の展望について～ ・一般照明用LEDの最近の技術と将来:大黒弘樹(日亜化学)・A-ringのLED照明の特徴:宮下智弘(金沢工大)・光の話～東京スカイツリーの照明:戸垣浩人(シリウスライティング)ほか	2011/3/15	中央電気倶楽部	照明学会/電気学会/電子情報通信学会/映像情報メディア学会/各関西支部	会員2000円(学生1000円)、会員外4000円(学生2000円)	照明学会関西支部
Strategies in Light, China	2011/5/10～12	Kowloon Shangri-La Hotel Kowloon, Hong Kong		Exhibition Only: \$0 Full Conference \$295(early, before 1 Apr), \$345(Full)	http://www.sil-ledchina.com/index.html
LEDジャパン2011/Strategies in Light	2011/9/28～30	パシフィコ横浜	LEDジャパン事務局		TEL: 03-3219-3642 FAX: 03-3219-3628

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
ザ・ウインザーホテル洞爺湖改修工事の照明(北海道)	照明学会誌94-4(2010)213-214(照明のデータシート)	パナソニック電工 東芝ライテック
Green Avenue あざぶの丘の照明(愛知県)	照明学会誌94-4(2010)215-216(照明のデータシート)	日本街路灯製造
「赤坂Bizタワー」のエントランスの照明(東京都)	照明学会誌94-4(2010)218(ライティングフォトグラフ)	パナソニック電工
LED道路灯LEDioc ROAD PAZU II(レディオック ロード パズー II)	照明学会誌94-4(2010)262(新製品紹介)	岩崎電気
西国第二十三番札所宗教法人勝尾寺の照明	照明学会誌94-6(2010)303-304(照明のデータシート)	パナソニック電工
LED電球「一般電球形6.4W」、「一般電球形4.6W」(「E-COREシリーズ」)	照明学会誌94-6(2010)352(新製品紹介)	東芝ライテック
LEDユニットフラット形搭載シリーズ屋外用LED照明器具(「E-COREシリーズ」)	照明学会誌94-6(2010)352(新製品紹介)	東芝ライテック
HIDから代替を可能にした店舗向けLED照明器具(「E-COREシリーズ」)	照明学会誌94-6(2010)352(新製品紹介)	東芝ライテック
「カーボン・ニュートラル・ステーション」阪急電鉄「摂津市駅」の照明	照明学会誌94-7(2010)375~378(施設報告)	荻野友次(パナソニック電工)ほか
JR新千歳空港駅の照明	照明学会誌94-9(2010)593-594(照明のデータシート)	パナソニック電工
アステラス製薬つくば研究センター(美幸が丘)/居室・厚生棟の照明	照明学会誌94-9(2010)595-596(照明のデータシート)	竹中工務店
LEDIU(レデュー)「LED電球 ミニレフランプ形」E11口金タイプ	照明学会誌94-9(2010)668(新製品紹介)	ウシオライティング
「LEDiocCEILING HB」(LED高天井用照明器具)	照明学会誌94-9(2010)669(新製品紹介)	岩崎電気
車室内高速度撮影用LED照明ユニット	照明学会誌94-9(2010)669(新製品紹介)	岩崎電気
(株)中電工 上天満町ビルのライトアップ	照明学会誌94-10(2010)677(ライティングフォトグラフ)	中電工
広島鉄砲町ビルディングの照明	照明学会誌94-10(2010)679(ライティングフォトグラフ)	パナソニック電工

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
フルカラーLED照明器具 「i Color MX Powercore」	照明学会誌94-10(2010)730(新製品紹介)	フィリップスエレクトロニクス スジャパン
白色LEDモジュール 「Affinium LED posterbox module」	照明学会誌94-10(2010)730(新製品紹介)	フィリップスエレクトロニクス スジャパン
「E-CORE」 LED道路灯	照明学会誌94-10(2010)730(新製品紹介)	東芝ライテック
エレナホール上福岡の照明	照明学会誌94-12(2010)785(ライティング フォトグラフ)	宮地電機
LED道路灯 LEDioc ROAD	照明学会誌94-12(2010)821(新製品紹介)	岩崎電気
水銀ランプ400W、250Wから置き換え可 能な「E-CORE」 LED街路灯	照明学会誌94-12(2010)821(新製品紹介)	東芝ライテック
LEDIU(レデュー)「LED電球 ミニレフランプ 形」E11口金タイプ	照明学会誌94-12(2010)822(新製品紹介)	ウシオライティング
100lm/Wを超える効率と明るさの実現 LED電球「ミニクリプトン形5.4W」	照明学会誌95-1(2011)71(新製品紹介)	東芝ライテック
高天井での使用を可能にした LEDダウンライト「9000シリーズ」	照明学会誌95-1(2011)71(新製品紹介)	東芝ライテック
永観堂 御影堂の照明	照明学会誌95-2(2011)79(ライティングフォ トグラフ)	パナソニック電工
軽量化・コンパクトなLED防犯灯 「LEDioc STREET 10VA」	照明学会誌95-2(2011)122(新製品紹介)	岩崎電気
首都高速10号晴海線の照明	照明学会誌95-3(2011)127-128(照明の データシート)	因幡電機製作所
ららぽーと磐田の照明	照明学会誌95-3(2011)129-130(照明の データシート)	パナソニック電工
LEDの光のイメージを一新 「LEDアイランプ」	照明学会誌95-3(2011)186(新製品紹介)	岩崎電気
明るさアップと軽量化を実現したLED電球 「一般電球形7.2Wと6.3W」	照明学会誌95-3(2011)186(新製品紹介)	東芝ライテック
固有エネルギー消費効率(110lm/W)を実 現した新形「LEDベースライト」	照明学会誌95-3(2011)187(新製品紹介)	東芝ライテック

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
演出性に優れた薄形の住宅向けLED照明「LEDシーリングライト」	照明学会誌95-3(2011)187(新製品紹介)	東芝ライテック
LEDIU(レデュー)LED電球 ダイクロハロゲン形JDRφ50タイプ	照明学会誌95-3(2011)188(新製品紹介)	ウシオライティング
LEDIU(レデュー)LEDフィラメント電球 「Let」調光タイプ	照明学会誌95-3(2011)188(新製品紹介)	ウシオライティング
新潟県五泉市 本町2番町商店街 街路灯の照明	照明学会誌95-4(2011)195-196(照明の データシート)	岩崎電気
高出力型LED投光器 「LEDioc FLOOD BLITZ」	照明学会誌95-4(2011)240(新製品紹介)	岩崎電気
LEDトンネル照明器具 「LEDioc TUNNEL」	照明学会誌95-4(2011)240(新製品紹介)	岩崎電気
成蹊学園本館の照明	照明学会誌95-5(2011)247-248(照明デザ イン)	三菱地所設計
有楽町マリオン北ゲート「光の都市門」の 照明	照明学会誌95-5(2011)249-250(照明デザ イン)	ライティングシステム
空間の明るさ感を保ちながら設置台数削 減「LEDウォールウォッシャーダウンライ ト」	照明学会誌95-5(2011)286(新製品紹介)	パナソニック電工
LED電球「一般電球形9.4W」	照明学会誌95-5(2011)286(新製品紹介)	東芝ライテック
水銀ランプ400W形搭載投光器とほぼ同 等の明るさ「LED投光器」	照明学会誌95-5(2011)287(新製品紹介)	東芝ライテック
GX53口金LEDユニットフラット形シリー ズを搭載した「LEDブラケット」	照明学会誌95-5(2011)287(新製品紹介)	東芝ライテック
グリーンフロント堺 LED照明の全面採 用	照明学会誌95-6(2011)291-292(照明の データシート)	清水建設
羅漢寺川プロムナード LED照明設備	照明学会誌95-6(2011)295(ライティング フォトグラフNo.284)	小糸工業
刈谷駅南北連絡道路LED照明設備	照明学会誌95-6(2011)296(ライティング フォトグラフNo.285)	小糸工業
放熱構造付口金を使用した電源内蔵の LED光源「LEDライトエンジン」	照明学会誌95-6(2011)338(新製品紹介)	東芝ライテック

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
「LEDライトエンジン」用高機能次世代型新ソケット(GH76p口金)	照明学会誌95-6(2011)338(新製品紹介)	ビージェービー
薄くフラットなデザインと天井面への配光を実現「丸形LEDシーリングライト」	照明学会誌95-6(2011)339(新製品紹介)	東芝ライテック
「LEDioc LEDアイランプ」白色仕上げ	照明学会誌95-6(2011)340(新製品紹介)	岩崎電気
反射形ハロゲン電球から取り換え可能なLED電球 EVERLEDS「LED電球ハロゲン電球タイプ」	照明学会誌95-6(2011)341(新製品紹介)	パナソニック電工
徳島市立高等学校 街路灯の照明	照明学会誌95-7(2011)347-348(照明のデータシートNo.1272)	東芝ライテック
うたづ海ホテル「宇多津町産業資料館」の照明	照明学会誌95-7(2011)349(ライティングフォトグラフNo.286)	パナソニック電工
徳島市秋田町商店街の照明	照明学会誌95-7(2011)350(ライティングフォトグラフNo.287)	ヤマギワ
宮地電機(株)松山支店事務室のLED照明	照明学会誌95-7(2011)351(ライティングフォトグラフNo.288)	宮地電機
今治市役所 本庁舎の照明	照明学会誌95-7(2011)352(ライティングフォトグラフNo.289)	パナソニック電工
「LED Next Stage」レポート	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-4 36-40	日本経済新聞社 日本照明器具工業会
LED WATCHER ハウス食品「ウコンの力」LEDフルボトルサイン ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-5 28-29	キングプリンティング(株) ほか
第2回次世代照明 技術展～ライティングジャパン～	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-5 30-31	リードエグジビション ジャパン
LED WATCHER LED可視光通信を活用した「光のマジカルクエスト」 ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-6 48-52	「e空間Kansai」コンソーシアム事務局 ほか
LED WATCHER 「福岡パルコ」壁面サイン ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-7 32-36	(株)竹中工務店 (株)昭和ネオン ほか
LED WATCHER 汐留ミュージアム「ルオーギャラリー」ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-8 32-36	パナソニック電工(株)ほか
LED WATCHER 美容院「Artemis」のLED照明 ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-9 32-36	(株)コンテンツ Luci事業部ほか

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
LED WATCHER ネオン管のようなLED「ルナチューブ」ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-10 56-60	(株)ユーボンほか
LED WATCHER LEDキャラバンカーで全国行脚ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-11 40-44	IDEC(株)広報グループ ほか
LED WATCHER 新大塚 榎本クリニックの屋上広告塔ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2010-12 40-44	(有)ワールドシート ほか
LED WATCHER 光都東京・LIGHTOPIA2010ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-1 36-40	(株)ジェイアール東日本 企画ほか
LED WATCHER ドコモショップ西尾店ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-2 28-32	岩崎電気(株)CSセンター ほか
LED WATCHER ビッグカメラJR八王子駅前店のLEDサインほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-3 48-52	(株)昭和ネオンほか
LED WATCHER 中国・武漢「武漢新世界商場」ファサードのライン照明ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-4 38-40	(株)プロテラス Luci事業 部ほか
LED WATCHER 飯田橋 榎本クリニックのLEDサインほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-5 42-44	(株)ライズデザインほか
LED WATCHER CO2排出ゼロの屋上広告塔 東京・四谷の「雪印メグミルク」ほか	サイン&ディスプレイ(マスコミ文化協会) 2011-6 48-52	アオイネオン(株)ほか
よりお求めやすい価格を実現したLED電 球 「一般電球形6.4W」「一般電球形4.6W」の 発売について	プレスリリース	東芝ライテック
LEDユニットフラット形搭載シリーズ 屋外用LED照明器具の発売について	プレスリリース	東芝ライテック
業界最高の明るさを実現し、HIDからの代 替えを可能にした 店舗向けLED照明器具の発売について	プレスリリース	東芝ライテック
省エネ業界No.1(※1)のEVERLEDS「LED 誘導灯コンパクトスクエア」 法改正に対応した60分間タイプ(※2)や機 能付の誘導灯を揃え、48品番 新発売	プレスリリース	パナソニック電工
東京スカイツリー® ライティング機器の パートナー企業にパナソニック電工が決定 ライティングデザインのオールLED化を目 指し、タワー専用のLED照明器具の開発 を進めてまいります	プレスリリース	パナソニック電工
業界初(※1)センサをLED照明の中央に 一体配置して、圧倒的な省エネと小型化 が実現	ニュースリリース	パナソニック電工

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
業界初(※1) 白熱灯60形器具相当の明るさを1粒のLEDで実現。	ニュースリリース	パナソニック電工
LED電球「EVERLEDS」 小形電球タイプ6品番、斜め取付専用他	パナソニックホームページ(2010.4.22) http://panasonic.co.jp/corp/news/official_data/data.dir/jn100422-1/jn100422-1.html	パナソニック
業界初(※1) 白熱灯60形器具相当の明るさを1粒のLEDで実現。	ニュースリリース	パナソニック電工
冷凍・冷蔵ショーケース向けLED照明ユニット	IDEACホームページ(2010.4.22) http://www.idec.com/jpja/news_and_events/press_releases/10/100421.html	IDEC(株)
密閉形LED透視灯(LCTA)	星和電機ホームページ(2010.4.24) http://www.seiwa.co.jp/new/001570.html	星和電機
住宅用装飾照明器具2シリーズ7品番	パナソニック電工ホームページ(2010.5.18) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1005/1005-2.htm	パナソニック電工
車室内高速度撮影用LED照明ユニット	岩崎電気ホームページ(2010.5.19) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/high-speed-led/	岩崎電気
LEDスポットライト、LEDユニバーサルダウンライト	パナソニック電工ホームページ(2010.5.20) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1005/1005-3.htm	パナソニック電工
EVERLEDS(エバーレッズ)「LED防犯灯」2タイプ	パナソニック電工ホームページ(2010.5.24) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1005/1005-4.htm	パナソニック電工
LED照明器具「erise(イライズ)」 色温度可変タイプ	三菱電機照明ホームページ(2010.6.18) http://www.mitsubishielectric.co.jp/news/2010/0618-b.htm	三菱電機照明
LED電球「PARATHOM(パラトン)」 2タイプ、4形名	三菱電機オスラムホームページ(2010.6.18) http://www.mol-oml.co.jp/news/frame_news10_0618.htm	三菱電機オスラム
EVERLEDS「LEDベースライト ストレートタイプ(直付型・埋込型)」	パナソニック電工ホームページ(2010.7.8) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1007/1007-5.htm	パナソニック電工
LED高天井用照明器具「LEDioc CEILING HB(レディオックシーリングエイチビー)」	岩崎電気ホームページ(2010.7.8) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/led-hb/	岩崎電気

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
小形電球・シャンデリア電球・一般電球 3タイプ6機種発売	シャープホームページ(2010.7.13) http://www.sharp.co.jp/corporate/news/100713-a.html	シャープ
「LED電球4.3Wタイプ、7Wタイプ」 (発光面積が大きいE17口金タイプ)	日立ライティングホームページ(2010.7.21) http://www.hitachi-hll.co.jp/pdf/20100721LED.pdf	日立ライティング
EVERLEDS「非住宅市場向け全般照明用 LEDダウンライト」	パナソニック電工ホームページ (2010.7.27) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1007/1007-12.htm	パナソニック電工
E-CORE「LED道路灯」	東芝ライテックホームページ(2010.7.30) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p100730/p100730.htm	東芝ライテック
LEDシーリングライト「ELM(エルム)」	シャープホームページ(2010.8.19) http://www.sharp.co.jp/corporate/news/100819-a.html	シャープ
業界最高効率(※1)100 lm/W以上の EVERLEDS「LEDベースライト ストレートタイプ」新発売	Tech-on	パナソニック電工
LED道路灯「LEDioc ROAD(レディオック ロード)」連続照明用・交差点照明用	岩崎電気ホームページ(2010.8.30) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/led-road/	岩崎電気
LEDIU(レデュー)「LED電球 ミニレフランプ 形」E11口金タイプ	ウシオライティングホームページ (2010.8.30) http://www.ushiolighting.co.jp/news/10/100830.html	ウシオライティング
樹脂製屋外照明用LEDランプ	岩崎電気ホームページ(2010.9.2) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/led-lamp/	岩崎電気
E-CORE「LED街路灯」	東芝ライテックホームページ(2010.9.9) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p100909/p100909.htm	東芝ライテック
EVERLEDS「LEDベースライト ストレートタイプ FL20形×1灯器具相当」	パナソニック電工ホームページ (2010.9.13) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1009/1009-2.htm	パナソニック電工
EVERLEDS「LEDダウンライト ラインタイプ」	パナソニック電工ホームページ (2010.9.16) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1009/1009-8.htm	パナソニック電工
LED電球「ミニクリプトン形5.4W」	東芝ライテックホームページ(2010.9.16) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p100916/p100916.htm	東芝ライテック

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
E-CORE「LEDダウンライト9000シリーズ」	東芝ライテックホームページ(2010.10.14) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p101014/p101014.htm	東芝ライテック
EVERLEDS「リチウムイオンソーラー街路灯」	パナソニック電工ホームページ(2010.10.14) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1010/1010-5.pdf	パナソニック電工
EVERLEDS「LED道路照明器具」	パナソニック電工ホームページ(2010.10.20) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1010/1010-8.htm	パナソニック電工
E-CORE「新形LEDベースライト」110lm/W	東芝ライテックホームページ(2010.10.20) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p101020/p101020.htm	東芝ライテック
erise「LEDダウンライト拡散光シリーズクラス700、クラス500」	三菱電機照明ホームページ(2010.10.21) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/lighting/101021_01.html	三菱電機照明
LED電球EVERLEDS一般電球タイプ	パナソニックホームページ(2010.10.21) http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn101021-1/jn101021-1.html	パナソニック
安全性と快適性に配慮したJEL801に適合する直管形LEDランプシステムの商品化について	東芝ライテック(プレスリリース)	電球工業会
社団法人日本電球工業会による規格化(※1)に対応し、「直管形LEDランプ」と管形LEDランプ専用照明器具」の製品化を目指します	パナソニック株式会社 パナソニック電工株式会社	電球工業会
LED電球 「一般電球形7.2W」「一般電球形6.3W」	東芝ライテックホームページ(2010.10.28) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p101028/p101028.htm	東芝ライテック
erise「LEDラインライト埋込形」	三菱電機照明ホームページ(2010.10.29) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/lighting/101029_01.html	三菱電機照明
erise「LED防犯灯10VAタイプ、20VAタイプ、40VAタイプ」	三菱電機照明ホームページ(2010.10.29) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/lighting/101029_02.html	三菱電機照明
EVERLEDS 「直管形LEDランプ搭載ベースライト」	パナソニック電工ホームページ(2010.11.8) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1011/1011-7.htm	パナソニック電工
E-CORE 住宅向け「LEDシーリングライト」	東芝ライテックホームページ(2010.11.24) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p101124/p101124.htm	東芝ライテック

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
LED防犯灯「LEDioc STREET 10VA (レディオックストリート10VA)」	岩崎電気ホームページ(20101130) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/led-street10/	岩崎電気
屋内外兼用LED電球「LEDアイランプ」	岩崎電気ホームページ(20101208) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/led_eyelamp/	岩崎電気
高出力型LED投光器「LEDioc FLOOD BLITZ(レディオックフラッドブリッツ)」	岩崎電気ホームページ(20101210) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2010/britz/	岩崎電気
屋内照明用LEDコントローラ	シャープホームページ(2010.12.22) http://www.sharp.co.jp/corporate/news/101222-a.html	シャープ
EVERLEDS「LEDウォールウォッシャー ダウンライト・LED楕円配光ユニバーサル ダウンライト」	パナソニック電工ホームページ (2011.1.14) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1101/1101-2.htm	パナソニック電工
LEDトンネル照明器具「LEDioc TUNNEL (レディオックトンネル)」	岩崎電気ホームページ(2011.1.20) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2011/led-tunnel/	岩崎電気
EVERLEDS(エバーレッズ)「LEDウォール ウォッシャーダウンライト」と「LED楕円配 光ユニバーサルダウンライト」2シリーズ 新発売	パナソニック電工ホームページ (2011.1.14) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1101/1101-2.htm	パナソニック電工
erise(イライズ)なっ得バリューシリーズの ご案内	三菱電機照明(2010.12.24) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/news/pdf/1012erise_na.pdf	三菱電機照明
EVERLEDS「LED電球 一般電球タイプ」	パナソニックホームページ(2011.1.26) http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn110126-1/jn110126-1.html	パナソニック
EVERLEDS「LEDシーリングライト」	パナソニック電工ホームページ (2011.1.26) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1101/1101-10.htm	パナソニック電工
「E-CORE LED投光器」	東芝ライテックホームページ(2011.2.9) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110209/p110209.htm	東芝ライテック
EVERLEDS「美術館・博物館向け個別調 光機能内蔵LEDスポットライト」	パナソニック電工ホームページ (2011.2.17) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1102/1102-7.htm	パナソニック電工
LIFELED'S「シームレスLEDベース照明、 直管形LEDベース照明」	NECライティングホームページ(2011.2.24) http://www.nelt.co.jp/information/press/2011-02-24-2.html	NECライティング

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
E-CORE「LEDライトエンジン」	東芝ライテックホームページ(2011.2.25) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110225/p110225.htm	東芝ライテック
LED電球「EVERLEDS」一般電球タイプ2品番	パナソニックホームページ(2011.1.26) http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn110126-1/jn110126-1.html	パナソニック
独自の熱解析技術により放熱特性を改善したLED電球を開発	パナソニックホームページ(2011.1.26) http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn110126-3/jn110126-3.html	パナソニック
プレスリリース	ノバレッドホームページ(2011.1.17) http://www.novaled.com/news/download/2011_01_17_pr_jap.pdf	ノバレッド
「調光」・「調色(※1)」・「配光切替え」機能を搭載 EVERLEDS(エバーレッズ) LEDシーリングライト 新発売	パナソニックホームページ(2011.1.28) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1101/1101-10.htm	パナソニック
EVERLEDS(エバーレッズ)「LEDウォールウォッシャーダウンライト」と「LED楕円配光ユニバーサルダウンライト」2シリーズ新発売	パナソニックホームページ(2011.1.14) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1101/1101-2.htm	パナソニック
高出力・高演色照明用LEDデバイスを開発、発売	シャープホームページ(2011.2.9) http://www.sharp.co.jp/products/device/index.html	シャープ
EVERLEDS「ワンコア(ひと粒)タイプ店舗・施設用LEDダウンライト」	パナソニック電工ホームページ(2011.3.8) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1103/1103-9.htm	パナソニック電工
EVERLEDS「LED電球ハロゲン電球タイプ」	パナソニック電工ホームページ(2011.3.8) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1103/1103-9.htm	パナソニック電工
LED電球EVERLEDS「小形電球タイプ」	パナソニックホームページ(2011.3.4) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1103/1103-6.htm	パナソニック
GX53口金「LEDブラケット」	東芝ライテックホームページ(2011.3.4) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110304/p110304.htm	東芝ライテック
丸形LEDシーリングライト	東芝ライテックホームページ(2011.3.7) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110307b/p110307b.htm	東芝ライテック

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
LED電球「一般電球形7.7W」	東芝ライテックホームページ(2011.3.7) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110307a/p110307a.htm	東芝ライテック
LEDベースライトライン形	アイデックホームページ(2011.3.3) http://www.idec.com/jpja/news_and_events/press_releases/10/110202.html	アイデック
インテリジェントLED照明システム「Lmi α (エルミア)」	ウシオライティングホームページ(2011.3.10) http://www.ushiolighting.co.jp/news/11/110310.html	ウシオライティング
一般電源(AC電源)からの直接駆動が可能なAC駆動回路内蔵型照明用LEDモジュールを開発ーモジュールビジネスに進出ー	シチズンホームページ(2011.3.2) http://ce.citizen.co.jp/release/product/20110302.html	シチズン
放熱構造付口金を使用した電源内蔵のLED光源を発売	東芝ライテックホームページ(2011.2.25) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110225/p110225.htm	東芝ライテック
LED電球「ミニクリプトン形5.7W・5.4W」 「ボール電球形8.9W」	東芝ライテックホームページ(2011.4.14) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110414/p110414.htm	東芝ライテック
LED電球ハロゲン電球形(E11口金、電球色相当)	日立アプライアンスホームページ(2011.4.14) http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2011/04/0414.html	日立アプライアンス
JEL801規格適合直管形LEDランプベースライト	三菱電機照明ホームページ(2011.4.15) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/lighting/110415_01.html	三菱電機照明
LED電球「PARATHOM(パラトン)一般電球形12.0W・11.2W」	三菱電機オスラムホームページ(2011.4.19) http://www.mol-oml.co.jp/news/frame_news11_0419.htm	三菱電機オスラム
LEDダウンライト拡散光シリーズ クラス600、クラス300」	三菱電機照明ホームページ(2011.4.21) http://www.mitsubishielectric.co.jp/group/mlf/lighting/110415_01.html	三菱電機照明
既設蛍光灯リニューアルキット直管形LEDランプ	NECライティングホームページ(2011.4.25) http://www.nelt.co.jp/information/press/2011-04-25.html	NECライティング
IP65(防水・防塵)高輝度LED照明ユニット	IDECホームページ(2011.4.28) http://www.idec.com/jpja/news_and_events/press_releases/11/110428.html	IDEC(株)
LED太陽灯	岩崎電気ホームページ(2011.5.16) http://www.iwasaki.co.jp/whatsnew/release/2011/led_solar/	岩崎電気

8. 新製品・施設例など

事例名	出典	関係団体 (メーカー・設計事務所)
LED防犯灯アカルミナ	パナソニック電工ホームページ (2011.5.16) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1105/1105-3.htm	パナソニック電工
高出力型LEDダウンライト	パナソニック電工ホームページ (2011.5.19) http://panasonic-denko.co.jp/corp/news/1105/1105-5.htm	パナソニック電工
直管形LEDベースライト	東芝ライテックホームページ(2011.5.25) http://www.tlt.co.jp/tlt/topix/press/p110525/p110525.htm	東芝ライテック

おわりに

新光源発達度研究調査委員会設立から5年が経過し、5冊目の報告書が出来上がった。今回は2161件のLEDと有機ELについての情報を集録することができ、これまでの総計では7449件となった。なお、これで当委員会は終了である。5年前に比べると、LED照明器具の種類や数の多さに目を見張るものがあり、その進展には凄まじいものが感じられる。また、有機ELについても日々情報の絶えることがない状況となってきている。

委員会発足の目的は、LEDや有機ELに関する情報を会員へ提供することにより、情報利用者が拡大され、さらに情報提供が継続されるならば情報利用者は定着し、省エネルギーに基づくLED、有機ELなどの新光源を活用した照明システムの研究、開発、活用がますます推進されることを願ってのことであった。

実のところ、これまでの情報提供に意義があったのかどうかについては、何ら直接の反応が返ってきているわけでもないので全く不明である。幸い平成22年10月から照明学会情報システム管理委員会が照明学会ホームページの各項目について、来訪者の数などを調査するようになったので、若干の見当がつけられるようになった。それによると、平成21年度新光源発達度研究調査委員会報告書(JIER-110)への来訪者数は、平成23年1月～6月を平均すると、2725回/月であり、項目別のランキングでは4位から9位を上下していることがわかった。思ったよりは見て頂いている、ということで些か安心した次第である。

最後に、照明学会が新光源発達度研究調査委員会の5年間に亘る継続的な存在について十分な理解と評価をされ、承認されたことについて、心から感謝申し上げます。